

Daily Freinet 2003



(C) free school JAPAN FREINET_Hiroshi Kohata 2005.

==== デイリー・フレネ =====
 ----- 2003新春増刊号! ----
 ----- 2003/01/06

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

1. ワークショップをお願いした「水と油」(パントマイム集団)第2回朝日舞台芸術賞を受賞!

=====

皆さん、明けましておめでとうございます。今年もよろしく願いいたします。

1月11日(土)~12日(日)に行われる合宿研究会でワークショップ(身体表現)をお願いしたパントマイム集団「水と油」が第2回朝日舞台芸術賞「寺山修司賞」を受賞しました。

合宿は身近に彼らの芸術とワークショップに触れるまたとない機会です。合宿の申し込みはすでに終了致しましたが、受賞後初の「ワークショップ」ですので、若干名のみ再募集させていただきます。

参加ご希望の方は、下記の案内をお読みいただき、大至急、ジャパンフレネにご連絡ください。

ちなみに第2回朝日舞台芸術賞グランプリは今年の冬合宿のワークショップをお願いした「平田オリザ」さんでした。JFは先見の目があるなあとつくづく感じました。

申し込み方法と切り

下記お問い合わせ先まで電話・ファックス・メールにて1月10日(金)必着をお願いいたします。

お問い合わせ先

フリースクール ジャパンフレネ
 160-0022 新宿区新宿2-8-17 SYビル6F
 TEL 03-3353-3135 FAX 03-33523039
 e-mail sinjuku@jfreinet.com (JF新宿オフィシャル)

1. ワークショップに参加しませんか 冬合宿のお知らせ
 毎年最低三回は行われるジャパンフレネ主催の合宿。フリースクールは「学校以外の学びの場」という観点でJFはたくさんの授業を作ってきました。同時に学校の皆さんと協力しながら授業作りの会も定期的に行っています。それが、「基礎・基本を獲得する」教育運動 BASICです。

デイリーフレネ読者の皆さん、ぜひ一緒に楽しいワークショップを楽しみませんか?

「BASIC」2003年冬合宿のお知らせ

今回は新進気鋭のパントマイム集団・パフォーマンスシアター「水と油」、フォークの鬼才・高田渡をスペシャルゲストとしてお迎えします。夜はフォークライブを楽しみ、昼はワークショップを通し、「表現」の意味を考えていきましょう。

BASIC世話人・ジャパンフレネ代表 木幡寛

* * * * *

日時 2003年1月11日(土)~12日(日)

<日帰りの参加も可>

内容と日程

1月11日(土)

【13:30~17:00】

「授業レシピ100本、一挙大公開!授業ライブ!」

「授業レシピの検討」

過去3年間で作成した授業レシピをセレクトし、参加者の皆さんにお配りします。すぐに授業化できる優れものばかり。授業ライブも同時に行います。

予定授業ライブ

森井学の「オノマトペから言葉へ」、岩瀬直樹の「たほいや」、木幡寛の新作「?」他...

参加者で授業レシピの発表を行う方は40部ご用意ください。

前置きとして今までのBASICの流れを洗いなおし、これからの方向性を打ち出すために、木幡寛(ジャパンフレネ代表)が問題提起を行います。

【19:00~21:00】

「高田渡フォークライブ」

フォークの鬼才、その世界

日本を代表するフォークシンガー「高田渡」のライブを行います。

高田渡

日本最高のフォークシンガー、フォークの鬼才と言われる。1949年岐阜県生まれ。69年自衛隊をアイロニカルに風刺した「自衛隊に入ろう」でブレイク、高石友也、岡林信康に続くアングラフォーク界のピクスターに。

1980年、木幡がインタビュー記事を「ひと」誌に掲載したことをきっかけに親交が深まり、以後、吉祥寺界限を飲み歩く間柄に。2002年はJFおよびBASIC、山梨県教組の共同主催で3回の「高田渡」ライブを実現。

高田渡、NHKドキュメンタリー番組に出演!

12月8日(日)NHKBS2 22時45分~23時30分
 「世界 我が心の旅-ドイツ、ぼくと生きてきた詩(うた)」

旅人-高田渡 語り-柄本明

12月14日(土)NHK総合 24時~24時45分にて再放送
 1月12日(日)

【9:00~12:00】

ワークショップ「パントマイム 身体の可能性」

by パフォーマンスシアター「水と油」

パントマイムのパフォーマンスを観た後、身体を使ったワークショップを行います。

「水と油」第2回朝日舞台芸術賞を受賞!

日本マイム研究所にて佐々木博康氏にマイムを師事した、じゅんじゅん(高橋淳)ももこん(藤田桃子)おのでらん(小野寺修二)の3人により、1995年12月に『水と油』結成。

マイムを基盤としながらも従来のマイム作品に飽き足りないものを感じ、既成のマイムのイメージから離れていくようになる。

98年よりすがぼん(須賀令奈)が加わり、現在に至る。身体の可能性について深く追求し、マイム・演劇・ダンス、それぞれの要素を作品に取り入れるその舞台は、静寂の中、幻想的なシーンやシニカルな笑いを散りばめながら、日常の裏側へと観るものを引き込んでいく。「自分達の日常の認識が何によって成り立っているのか」「何が視覚的な認識の核になっているのか」をテーマとし、「人間の不確かさ」について作品を通して追求し、『水と油』独自の舞台空間を創りだす。

2000年8月、エディンバラフェスティバルにおいて『TOTAL THEATRE AWARD』に400団体中の8団体にノミネートされる。国内では、同年12月に東京都千年文化芸術祭

より「見えない男」優秀作品賞を受賞。
2000年に引き続き2001年8月に参加した、エディンバラ
フェスティバル・フリンジでは地元スコットランド新
聞紙「THE HERALD」より『HERALD ANGEL AWARD』を受賞。
(参加団体のうち6団体が受賞)。

2002年10月に行ったニューヨーク公演では、チケット
が売り切れるほどの盛況で、ニューヨークの舞台
関係者、観客から非常に高い評価を受けた。
舞台公演活動のほか、ワークショップの開催や小学校で
のマイム教室など、公演以外のアウトリーチ活動も積極
的に行っている。

日本発の新しい舞台芸術の発信を目指し、舞台を通して
たくさんの人々に出会い、共に「ソウゾウ=創造・想像」
する喜びを分かち合うため、国籍・年齢・性別を超えて、
国内外問わず、積極的に活動を展開している。

2003年活動予定

3月16日・17日

新作『4x4』 in DANCE EXHIBITION 2003

@新国立劇場小劇場

8月中旬 新作 @世田谷パブリックシアター

10月『見えない男』ヨーロッパ公演 (ベルギー他)

11月『見えない男』国内ツアー

昼食後解散

会場

宿坊・柏尾山大善寺 山梨県・勝沼町勝沼3559

tel 0553-44-0027

(武田家とかかわりの深い寺。自家ブドウ園でとれた
ブドウを住職自らが搾ったワインがおいしい!座禅も
できます。)

費用

15

(一泊三食、参加費、イベント費込み、飲み放題)

宿泊しない方は11

費用は当日集めさせていただきます。(キャンセル
はご容赦下さい。)

この費用の中に交通費は含まれていません。

食堂への飲み物持ちこみできませんが(大善寺の飲
み物を利用してください。各部屋への飲み物持ち込み、
OK!

家族連れの場合、家族部屋可能です。お子様連れ
でどうぞ!

アクセス

中央高速道・勝沼インター降りてすぐ。(駐車場はとて
も広くて無料です。相乗りでどうぞ!)

JR線JR中央本線・勝沼ぶどう郷駅下車。タクシー
で5分(1000円以内)。

その他の連絡

東京方面からは次の列車が便利です。

- ・ 高尾発11時49分 勝沼ぶどう郷着13時01分
- ・ 高尾発11時21分 勝沼ぶどう郷着12時32分

夜は冷え込みますので、防寒の用意を各自お願いし
ます。

=====

===== デイリー・フレネ =====

----- VOL/0616----- 2003/01/10

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

1. 新春トピックス! ジャパンフレネあれこれ

2. お知らせ「システム強化」と「ワークショップ」

3. 湘南&熊谷サタディスクール

=====

今日はなんの日

1863 イギリスで世界初の地下鉄開通

今日の花言葉

つげ「堅忍」

今日は誰の誕生日

ロッド・スチュアート(ミュージシャン 英 1945)

今日の名言

「願わくば我に七難八苦を与え給え」

山中鹿之助

人間とは本来弱い生き物だ。その弱さをカバーするのが、
強い意志の力であり、何事にも屈しない精神力である。
そしてこれを支えるのが、生きるうえでの志であり目的
だと思う。いかがでしょう?

- 1. 新春トピックス! ジャパンフレネあれこれ

みなさん、新年明けましておめでとうございます!

今年も「今日の名言」にあるように志と目的を明確

にし、強い意志の力で前進していきたいと思ひます。

ご支援のほど、よろしくお願ひいたします。

JFがTVに!

1月19日(日)午後6時30分~7時「世の中 ガブッと」
TV東京でJFが紹介されます。

12月に三日間カメラが入り、授業、ミーティング、ク

リスマスパーティーなどの様子を撮影。正太郎君、さ

きちゃん、それに木幡がインタビューに応えました。

「どうして学校に行かないの?」(仮題)というテー
マでのフリースクール特集だそうです。良心的に放映
されることを期待したいと思います。

地方局にも配信されます。ぜひ、ご覧下さい。

げっそりテッシー

11日からの合宿のためこれまでの学習会で作成された

授業レシビを参加者に配布することにした。しかし、

その数が半端じゃない。

バインダーに閉じれるよう30穴の無地の用紙を発注し

た。約一万枚印刷しても半分しか終わらない。しかも、

紙切れ...。お店に発注しても品切れ...

黙々とただひたすら印刷しているテッシー、機嫌悪そう。

「テッシー、疲れて不機嫌なの?」

「ぼくって顔に出るんですよ...」

そりゃそうだ。6時間も連続して印刷してりゃね。

にっこりテッシー

新春恒例の「紐引き」!紐にいろんな景品がついている。

もちろん、紐だけのスカも...

「この袋の中、なあに?」

「図書券3000円分入っているの」

「えー!もったいない!」

「500円と1000円にわけてよ」

「これ引いた人、悲惨!」

ガムの包み紙だけの紐を指差し、大笑いのジェイシー。

小さい子順に紐を引く。三連続スカのれんげちゃん。

かたや中ちゃんは三連続当たり!チョコや鉛筆(湯島

天神特製)、ポテチ、クッキー...

「あ!いいなあ!」

中ちゃん、500円の図書券をゲット!

残り少なくなってきたが2000円分の図書券の封筒は、
まだ残っている。

「オレ、絶対に図書券を引きたい」と、テッシー。
言った矢先にゲット！

「あーあー！大人気ない！なんで引くんだよー！」
子ども達、ブーブー。テッシー、にっこり。

にんまりりょうちゃん

「ねえ、木幡さん！見て見て！これおもしろいよ」
少年チャンピオンを見ていたりょうちゃん。覗きこむ
と、ちょっとエロっぽいマンガ。
水着の女の子のはみ出しそうなおっぱいとおしり...、
そんな感じ。

「これってエロマンガになるの」

「こんなのエロマンガじゃないよ」ミッキーが笑う。

「このマンガ、ここからは面白くないんだよねえ」
りょうちゃんが指差したところから、ヌードがない。
みんな、大爆笑！

「お家に持って帰って静かに読もうと」

お母さんに見つかると叱られるからだそうです。

その気持ち、わかるなあ。

2. お知らせ「システム強化」と「ワークショップ」 システム強化

ジャパンフレネは授業するフリースクール。不登校
児童・生徒の救済センターという考え方はしません。
学校も学校以外の学びの場もパラレル（対等）と考え
るからです。

学校に行かないことに負い目を感じる必要は、全くあ
りません。学びをさらに充実させていくために、次の
ようなことを保護者会で確認しました。

【算数・数学学習カードの設置】

一人一人の学びのスピードに応じ、いつでもどこから
でも学ぶことができる算数・数学の自学学習カード
（小1～高3まで）をこの3月末までに完成させます。

演劇ワークショップのお誘い

湘南BASICの森井学さんと国分一哉さんをお招きし、
演劇的手法のワークショップを行います。

時：1月19日（日）午後2時～4時30分

所：大江戸線光が丘駅前

光が丘区民センター5階 集会室

主催：いちごKIDS

問い合わせ：宇治川 03-5998-5506

ichigokids@hotmail.com

当日受付ですが、できたら事前にご連絡ください。

3. 湘南&熊谷サタディースクール

湘南サタディースクール

ジャパンフレネがお送りする楽しい授業に参加しま
せんか？今までにない授業を準備してみなさんをお
待ちしています。

【日時と内容】

1月18日（土）「われないシャボン玉づくり」

1月25日（土）「簡単版画自作カレンダーを作る」

2月8日（土）「おもしろ科学実験の数々」

2月15日（土）「似顔絵ごっこでお写真遊び！」

3月8日（土）「紙芝居を使ってゲーム」

3月16日（土）「驚きの『矢印パズル』作り」

時間はいずれも午前10時～12時

【会場】

茅ヶ崎市勤労市民会館会議室

国道1号沿い、郵便局並びJR茅ヶ崎駅北口徒歩4・5分

茅ヶ崎市新栄町18-88 Tel0467-88-1881

【対象】

小学生から大人まで...どなたでも

【募集人員】

毎回10名 先着順 定員になり次第〆切ります

【参加費】

1回1500円 6回通し7千円

上記の他、ものづくりや化学実験の場合、教材実費
を集めさせていただきます。

【講師】

木幡 寛（ジャパンフレネ代表 教師は芸人が持論）

【主催】

フレネ自由教育「フリースクールジャパンフレネ」

【申し込み方法】

電話・FAX・メールでジャパンフレネ新宿まで！

詳細を郵送、メールいたします。

〒160-0022 新宿区新宿2-8-17 SYビル6F

Tel 03-3352-3135 Fax 03-3352-3039

sinjuku@jfreinet.com

熊谷サタディースクール

ダイナミックな造形講座、そして木幡マンのおもし
る授業。学校とはひと味もふた味も違う「学び」の
楽しさを体験できるよ！

みなさま是非是非参加してください。

【日時と内容】

1月11日（土）「お菓子の国づくり」

1月18日（土）「Art in the park」

思いっきり公園をデコレーション

2月1日（土）「木幡マンのスペシャル授業」

2月8日（土）「偶然から出来る彫塑 take 3」

2月15日（土）「思いっきりフィンガーペイント」

3月1日（土）「木幡マンのスペシャル授業」

3月8日（土）

3月15日（土）

時間はいずれも午前10時～12時

【会場】

フレネ自由教育 フリースクール ジャパンフレネ熊谷
JR熊谷駅北口から徒歩7分。星川沿い。

〒360-0043 熊谷市星川 2-17 Tel048-528-3501

【対象】

小学生から大人まで...どなたでも

【募集人員】

毎回15名 先着順 定員になり次第〆切ります

【会費】

1回1500円 3回通しは3500円/月

初回のみ入会金として3000円。

今までサタディースクールに参加した方は半額（1500円）。

材料費として、1回につき700円申し受けます。

一括納入の場合は割引あり

【講師】

木幡 寛（ジャパンフレネ代表 教師は芸人が持論）

富田 順子（アーティスト）

【申し込み方法】

電話・FAX・メールでジャパンフレネ熊谷まで！
 フレネ自由教育 フリースクールジャパンフレネ熊谷
 〒360-0043 熊谷市星川2-17
 Tel 048-528-3501 Fax 048-528-3502
 Mail kumagaya@jfreinet.com

==== デイリー・フレネ =====
 ----- VOL/0617----- 2003/01/14

- //////// CONTENTS //////////////////////////////////////
 1. BASIC合宿、大成功！
 2. 新宿便り スタ・テッシー
 3. フレ熊便り スタ・かおりん

=====
 今日は何んの日
 1959 南極でタロー・ジローの生存確認
 今日の花言葉
 シクラメン「内気」
 今日是谁の誕生日
 三島由紀夫（作家 1925）
 シュバイツァー（哲学・神学者 仏 1875）
 今日の名言
 「知ることがむつかしいのではない。いかにその知
 っていることに身を処するかがむつかしいのだ」
 司馬遷「史記列伝」
 - 木幡私用のため、不在。一日遅れのデイリーです。
 1. BASIC合宿、大成功！
 11日（土）～12日（日）、山梨県勝沼町の宿坊「大
 善寺」で行われたBASICの合宿は、山梨・静岡・
 神奈川・東京から40名以上の参加で大盛況！
 学校で「学校以外の場」でも学びの場はたくさんある。
 どんな場所にも通用する教材を発掘していきレシピに
 していくのがBASIC。
 すごーい！レシピの数！
 スタ・テッシーがうんざりするほどのレシピの印刷
 も紙切れでストップ。大善寺に運んで並べると、
 大広間三分のスペースに、授業レシピがずらーっ
 と並ぶ。
 「すんげー！こんなにあるのー！」
 いや、紙がなくならなければ、この倍以上...。
 「これだけでも来たかがありますよ」
 しかし、全部そろえていくのが大変。なにしろ、畳に
 ずらっと並んでいるのを一枚ずつ取っていくのに一人10
 分近くかかる。
 「いやあ、まいった。ひざが、がくがく...」
 授業パフォーマンス さし上げます
 湘南Mさんの国語の授業に結構時間がかかって、時
 間が押せ押せ...。木幡、市販のカードゲーム「ピッ
 コロ」と「ワードバスケット」を使ったレシピ。
 「タホイヤ」という辞書を使うゲーム的国語のレシ
 ピ、それに「ミウラ折り」という新しい「紙の折り
 方」のレシピを発表。
 テッシーも発表する予定だったが、時間切れ...。一番
 のごめんは、教え子・少年。設計技師の彼に「プレゼ
 ンテーションの勝ち方のレシピを作ってきてよ」と言
 いながら、結局、やらせずじまい。
 彼、朝の3時までレシピを考えてたんだって。
 新作のレシピ、希望者に差し上げます。連絡してね！

夜は、高田渡さ！
 友人・フォークの鬼才高田渡のライブ。
 「2、3曲歌って帰りますからね。電車、まだあるだろう」
 笑わせながら、ペースに満ちた歌を...。
 しかし、かなり酔っ払っていて、いつ寝てしまうか、ひ
 やひやもの...。
 印象に残った彼の言葉、
 「大事なことはね、『嫌（いや）』ってことを認めて
 あげることでしょ。ね！最初に覚える言葉がそれなん
 だから。『どうしていやなの？』って聴いてあげなき
 やいけないのに、頭ごなしに大人の価値観で否定して
 しまう。」
 彼のライブを20回以上企画したけれど、酔っ払いなが
 らも、今回が一番長く歌ってくれた。感謝！
 いつの間にやら...
 目覚めたら、「あれ？」服を着たまま、布団の中にい
 る？記憶がない...。
 「コタツの横で寝ていた木幡さんを何人かで抱えて運
 んでいったんですよ」
 「いやあ、ほっぺたをたたいても全然起きないんだか
 ら...。あんなのはじめて見ましたよ」
 「運ばれている時、むっくり起き『ここ、どこ？』って
 きいて、誰かが『吉祥寺だよ』っていったら『そう...』
 っていうて、こてっ...」
 まったく憶えていません...。
 なんとって「水と油」！
 朝日舞台芸術賞を受賞したパントマイム集団「水と油」。
 勢いが違う！
 彼らのすばらしいところは、パントマイムにあき足らず、
 パントマイムをベースにしながらパントマイムから離れ
 ようとしているところ。
 簡単な準備運動から壁を触るところまで、実際の指導。
 いやあ、言葉では表現できません。互いのコミュニケー
 ションがパントマイムを作っていくというくだりは、ま
 さに授業と同じ。
 茅ヶ崎の若い女性教員達、完全な追っかけ状態。サイン
 をもらってきゃあきゃあ言っていました。
 夏の合宿も来て欲しいなあ...。
 2. 新宿便り スタ・テッシー
 あけましておめでとうございます。手島です。
 今年も始まりました。よろしく願いいたします。
 2003年初日、みんな元気な顔でやってきました。
 「あけましておめでとう！アイーン！！」とりょう君。
 「なんでだろう、なんでだろう。」とみんなで踊り。
 どうやらお正月番組を満喫したようです。
 そんな中でも、
 「勉強、勉強！」とさきちゃん。あやちゃんも英語。
 ジェシーも「木幡さん、数学！」
 休み中に解らなかつたところをチェックしていきまし
 た。大きい子はなかなか。お正月休みもしっかり勉
 強をしていたみたい。
 では、みんなの様子。
 毎年恒例のひもひき
 今日は初日ということもあって、毎年恒例のひもひ
 き。商品にはお菓子から、図書券、りょう君のおみ
 やげ等、種類も値段も様々。
 中でも、目玉は2000円分の図書券。
 「おれは、これだと思ふな！」とひくとスカだったり。

「こういうのは欲を出していると当たらないんだよ。」
と、言いながらスカだったり。みんな一喜一憂。
中ちゃんは新年早々ツキがきているみたいで、じゃ
んじゃん当てている。

「?缶詰のマリモ??」なんて商品まで。
ぼくはもちろん図書券ほしい!その願いが通じてか、
図書券を引き当てました!

「ズリーヨー!」

「大人げねーヨー!」

とみんなブーブー。

そんな風にいわれても、いいもん!!今年は何だか
運気が回ってくるのかなと嬉しくなりました。

3. フレ熊便り スタ・かおりん

第3期も始まりまして。今期もそして、今年もよろ
しく願います。

おひさしぶりです

「あけましておめでとう!」

「おひさしぶりです。」とみんなが揃う。休み中は広
く感じた熊谷のスペースもやっぱりみんながいて
とやっぱり違う。声が響き、笑い声がひびく。

「お年玉もらった?」とか、冬休み中たまった分を
一気に話そうと、話が止まらない。この調子で元氣
にいきたいね。

ひもひき

「冬休み中何やっていたの?」とみんな話したくて
仕方がない。それなら、恒例のご報告会。

今回は、紐ひきバージョン。たこ糸の先に質問を
くっつけて、どんな質問が当たるかみんな楽しみ。

「どこに行った?」という質問では、

エリ君は沖縄の宮古に行ったそうだ。ダイビング
も体験したそうで、詳しくいろいろ話をしてくれた。

みんなそれぞれに楽しい冬休みを過ごしたそう。

私は、ごろごろ生活...

今年やってみたいこと

ひもひきの質問の中に「今年、これをやってみたい!
ということは何?」という質問を加えた。特にないなあ
という子もいれば、

「PCができるようになりたい!」というエリ君。

「英検の4級取りたい」というルーちゃんに、

「受験したい」というきぐちゃん。

だんだんとやりたいことも定まってきたようだ。それ
を実現できるようにサポートすること!が、スタかお
りの何よりの今年の目標だ。今年も楽しく行くぞー。

今月の予定

お散歩

1月15日 熊谷市運動公園
22日 国立科学博物館
29日 スポーツ文化公園

お料理

1月16日 焼きそば・焼き飯・フライ
23日 ベトナムカレー
30日 トムヤンクン

ものづくり

1月20日 フローズンヨーグルト
27日 ぐにゃぐにゃ風つくり

=====

===== デイリー・フレネ =====

----- VOL/0618----- 2003/01/15

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

1. 群馬・Eさんのお便り
2. 新宿・テッシーのお便り
3. 熊谷・かおりんのお便り

=====

今日はなんの日

1939 双葉山69 連勝で連勝記録ストップ

今日の花言葉

とげ 「厳格」

今日は誰の誕生日

落合恵子(作家 1945)

今日の名言

「演出家の仕事は想像力を見積もること」

平田オリザ(劇作家・演出家)

- 1. 群馬・Eさんのお便り

ジャパンフレネの「おもしろ通信講座」にお二人の
お子さんが入会しているEさんから、講座の感想が
送られて来ました。

-----以下、転載。

「迷子のこねこちゃん」は、自分ではわかってい
ることを書いたものが、別の人の頭の中を通して別
のものになって出てくる面白さに笑い、「トポロジー」
では、予想と違う結果を生む図形の不思議さに魅せら
れました。

「迷子のこねこちゃん」

最寄駅から自宅までの道を200字にまとめ。それを読
んだ人が地図を描き、実際にその地図を頼りに家を訪
ねる。

トポロジー

表も裏もない「メビウスの輪」が有名。形や大きさ
にとらわれない幾何学。

蛇足ですが。

我が家では、Tがゾムツールで図形を組みながら、辺
の数と頂点の数と面の数の間に法則性がありそうだ
と言い始めました。

でも、それがどういうものかわからない、というこ
ろで主人が助け船を出し、納得とともに感激してい
ました。

「Who am I?」も、今も楽しんでいます。参加者が親し
い程、質問もし易く、小さな弟も参加して(?)遊んで
います。

「Who am I?」

紙に動物やものの名前を書きこみ背中には。相手に背
中を見せて、質問により、自分は何者かを調べるゲーム。
イエス、ノーでしか返事はもらえない。

「私は食べられますか?」「ノー」こんな感じ。

「コボ作」は、こどもだけでなく私も取り組んでい
るので、お互いの作を見せ合い乍ら、ここはいいね、な
どと感想を述べあうことが出来ます。こどもも自由に、
私の作の善し悪しを批評しています。

家庭ごとに、楽しみ方、学び方も違ってくると思
いますので、どうぞ舗装されていて抜け道のある課題を、
これからもお願い致します。

-----以上、転載終了。

「舗装されていて抜け道のある課題」という言葉に
は感心させられました。言い得て妙ですね!これ

からも面白いものをたくさん作りますね。

「おもしろ通信講座」についてのお問い合わせは、
JF 新宿までお願いいたします。

2. 新宿・テッシーのお便り

今日は少し暖かかったかな。だけど、寒い時の姿勢に
体が固まってしまったのか、背中丸まりっぱなし。腰
は重し。お風呂で解凍しなくては。

それでは、今日のみんな

ちょっと授業

今日はお昼ごろには大きい子が揃っていたので、簡単
に経済の授業。

流れを簡単に。

「奥多摩から立川までと、新宿から八王子までは、距離
は同じなのに切符の値段は200円近く違うのはどうして
?」といった物語から。

「線路作るのにお金がかかるんだよ。」

「気温が違うから。」

「働いている人数?」

「乗っている人の数が違うから(乗車率)。」

なんてみんな様々な意見。

ここで、ヒント。

「奥多摩から立川までと、東京から千葉までは距離が
同じくらいで、切符の値段は同じくらい。」

「ハンバーガーとか牛丼の値段が下がったのはどうし
て??」

ここまできるとさすがにみんな解ってくるね。

知る授業と、気付く授業。みんなが何気なく知っている
ことは実は大きな知識だったりするというところに気
付く授業を少し目指したいなと、ふと思ったので。

その後も、需要曲線、供給曲線の話まで。気がつい
たら税金の話題でみんなで話し合っていました。みんな
の学習欲は止まることを知りません。

オウム返し??

「おばあちゃんの家におウムがいたんだ! すごい
かわいいの!」とりょう君。

「じゃあ、なんかしゃべるんだ?」と聞くと、

「そう、飛行機っていうとエアブレイン!」

「英語しゃべるのかよ!??」

「じゃあ、ウッチーっていったらなんていうと思う?」
とボラ・ウッチー。

「??」

「かっこいい、だよ!」

「...」

ミーティング

今日のミーティングは今月のお料理とお散歩だけ。司
会はぼく、書記は正太郎君にお願い。

決定事項は、

お料理

納豆料理(チャーハンなど)

かに玉

チゲ鍋

お散歩

スケート

小金井公園

ボーリング

なんともあつという間。15分足らずのミーティングで
した。このくらいスムーズだと気持ちいいね。

番外編

昨日、合宿の荷物を届けに新宿のフレネまで車でひ
とっ走り。用事があった両親と、姉も一緒に来たのだ
けれど。

荷物を運んで車に戻ると、

「鍵は?」とみんなで聞き合う。

「おれ持っていないよ??」

まさか! と思っても後の祭り。車の窓越しに椅子の上
の鍵が見えるでは...

やっと一段落と思った矢先の出来事。どうしたもんだ
か...。そんなとき、

「窓が少しあいてるよ。」と母。

後ろの窓が指が通るくらい開いているでは!

あとはフレネから針金を拝借。わずかな隙間から鍵釣
りにチャレンジ。道行く人は「家族で何やってんだ?」
と言った顔つき。だけどそんなことお構いなし。

「ユーフォーキャッチャーよりむずい!」と姉。

だけど、こういう変なことに長けている姉が見事にキャ
ッチ!

窓の隙間まで鍵を運びながら笑いが止まらず。

「笑うな! 落ちる!」なんて自分が笑って言いながら何
とか30分に及ぶ地味な戦いが終了。

「せっかくだから」と、鍵屋さんを呼んだら必要だった
お金で飯を食べて帰りました。

だけど「これじゃ同じじゃない?」と一言。

3. 熊谷・かおりんのお便り

タングラムで遊ぼう!

“タングラム”とは、正方形が、2つの大きな三
角形、1つの中くらいの三角形、2つの小さな三
角形と、正方形、平行四辺形、合計7つの図形に
分割されている。よく旅館とかでおいてあったり
するような木のパズル。

いろんな形にするのも楽しいけれど、今日は折り
紙を使いながら、だんだんと難しくしていく。

まずは三角形3つで長方形、大きな直角三角形、
平行四辺形、台形、そして正方形を作る。結構み
んなあつという間に出来る。

「あ、できた!」とユータ君。できるとやっぱり
嬉しい。

「トロフィーも出来たよ。」とエリ君。

なかなか出来ない子にも教えあいながら進んでい
く。楽しく進んだところで、

「じゃあ、みんな四角形だけどみんな何が違ってい
るのだろうね?」と質問。

けど、ちょっと質問の仕方が難しかったせいか、
みんな沈黙。うーむ難しい...

けれど、パズルでいろいろ作るみんなの表情は生
生き生きしていた。やっぱりこれがまず第一だなぁ。

がんばるエリ君

今年はPCをがんばりたいというエリ君。今週の予
定で確認した通り、今日は、来週のお料理の「ベト
ナムカレー」について早速検索。入力するにはやは
りローマ字が必須。つづり用のカードをつくり。

検索。「ヌックマム」というわからない調味料も検索。
お料理にも役に立つし、エリ君のためにもなる。

一石二鳥。

自分のやりたいことをやっているときの表情はや
っぱり生き生きしているね。

=====

==== デイリー・フレネ =====
 ----- VOL/0619----- 2003/01/16

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

- 1. 納豆な一日 臭いけれどおいしい!
- 2. 寒い日 新宿編(テッシー)
- 3. 寒い日 新宿編(かおりん)

=====
 今日は何の日
 1920 アメリカで禁酒法の実施
 今日の花言葉
 ヒヤシンス(黄色)「勝負」
 今日是谁の誕生日
 藤田藤八(映画監督 1932)堀内恒夫(野球 1948)
 今日の名言
 「金銭は肥料のようなものであって、ばら蒔かなければ役にはたたない」

ベーコン随想集

- 1. 納豆な一日 臭いけれどおいしい!
 本日の御料理は「納豆料理」! 納豆オムレツ、納豆チャーハン、納豆スパゲッティ、その他いろいろリクエストが出る。
 結局、簡単に早くできるものということで、納豆そばに決定!
 そばをゆでる。しその葉、おくら、ねぎをきざむ。
 「納豆汁は作らないの?」と、木幡。
 「えー! 気持ち悪い! そんなのあるの?」
 「もう最高だよ。俺が作るからね」
 ということで、油揚げ、豆腐を追加。
 納豆はこまかくきざむ。とんとことんとこ、とんとことん! 「おもしろそう! 私もやりたい!」さきちゃんも、とんとことんとこ、とんとことん!
 冷たいお蕎麦にする子、暖かいおそばにする子。おいしいなあ...。幸せだなあ...。納豆汁も大好評!
 遅れてやってきたジェイシー、「くっせー! なんでこの部屋、こんなに臭いの?」
 納豆の匂いが充満しているフレネの一日でした。
 ちゃんちゃん!

2. 寒い日 新宿編(テッシー)
 今日はまだ一段と寒い一日でした。帰り道も寒さで足が前に進まず。ふらふら寄り道をしてしまって、尚更寒い...。パソコンに向かう指も思うように動かず。明日はもっと寒いそう。凍えてしまうんじゃないかといった感じです。

では、今日のみんな。
 みんなそれぞれ
 久しぶりに静かな一日。勉強組は一日テーブルの上に問題集。
 「これ教えてくれー!」といった感じ。
 なんだかんだと着々とすすんでいるのが分かります。他のみんなはこの寒さの中公園へ。買い物があってふと前を通ってみると遠目にみんなの元気な姿、耳にはみんなの楽しそうな声。いいなあ。ぼくも小さい頃、寒くたって雨だって雪だって外を走り回っていたなあ。ちぎれそうな耳の感覚が余計にそれを思い出させました。
 外から帰ってきたみんなの顔はリンゴのよう。手洗いうがいもしっかりしていました。みんないいなあ

と。ますます懐かしい。
 その後は、フレネに新登場のゲーム三昧。一つは少し難しいしりとりゲーム。たかがしりとり、されどしりとり。妙に頭を働かせなければならず、ぐるぐるぐる...。小さい子から、大きい子まで遊べる楽しいもの。
 もう一つは、簡単な算数計算ゲーム。これは、反射神経も関係していて、ミッキー、体験のゆう君が速い! 二人の圧倒的な勝利でした。
 今日一日なんともゆっくり時間が流れていきました。そんな中に身を任せるのはフッと一息つけるみたいです。

3. 寒い日 新宿編(かおりん)
 お散歩の授業 スポーツ文化公園
 今日はさむい。さむい。さむい。手袋をしていても手が冷たくなってしまふほど。熊谷は気温だけでなく、風まで強いのでよけいに寒く感じられる。そんな日にお散歩。しかも、スポーツ文化公園へからだを動かしに行こうというのだから、ちょっと...。市内循環バスでお安くいけるのだけれど、一日に2本しかバスがないから、公園に行ってもすぐに帰ることはできない。

「さむーい。」といいつつもみんな元気に集まった。ユータ君は電動のキックボードを持参。サッカーボールにフリスビー、バットにグローブ。準備は万端。寒さに負けずに楽しむぞ。

筋力
 公園の一角に、子ども向けの筋力をトレーニングの場所がある。腹筋をしたり、足をどこまで上げられるか勝負。

「こんなの簡単。」というしーちゃんはやっぱり身軽。腹筋もらくらくこなす。それに負け時とボラやくしくん。うーんみんなさすが。スタかおりは...。運動不足を痛感するこの頃なり。

いざ勝負
 「いざ勝負だ!」ときぐちゃんとえりくんが野球で勝負。ピッチャーとバッターを交代で繰り返す。やっぱり年の功かきぐちゃんが優勢。

しかし、最後にびっくり。きぐちゃんの自信の一球をエリ君が、カキーンと一発。みんな唖然。
 「すっげーショック。今度また勝負しよう。」と。勝負はまだまだ続く。

とても寒い日だったけれど、みんなはひっきりなしに動き回り、ぼかぼか。子どもは「風の子」とはよく言ったものだ。(ちょっと古いかな。) からだを動かすと気持ちがいい。一緒に楽しむ子がいればなおのことだ。帰りのバスはお疲れの様子だったけれど、フレネに戻っても下がらないテンション。楽しい時間を過ごせた証拠かな。

おまけ
 しかし、そんな楽しそうなみんなとは裏腹に、ターザンから落ちてしまった...。ロープののって終点にどーんとぶつかった矢先に飛んでしまった。気がつけば芝まみれ。はあ。今週も後半戦。がんばるぞ。

=====

==== デイリー・フレネ =====
 ----- VOL/0620----- 2003/01/17

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

- 1. ジャパンフレネあれこれ 新宿
- 2. 納豆な一日 テッシーバージョン
- 3. ダブルレットな一日 熊谷・かおりん

=====

今日はなんの日
 1893 カメハメハ王朝倒れ、ハワイ王制廃止
 今日の花言葉
 すいば 「親愛の情」
 今日は誰の誕生日
 ベンジャミン・フランクリン (政治家・科学者 米 1706)
 坂本龍一 (1952 B型)
 今日の名言

「『知は知からなり』。とんでもない、きわめて多くの知識を身につけていても、少しも力を持っていない人もあるし、逆に、なけなしの知識しかなくても、最高の威力を揮う人もある」

「知性について」ショーペンハウエル

- 1. ジャパンフレネあれこれ 新宿
- あせる&あせらない

「木幡さんかテッシー、わからないよー！教えて！」
 さきちゃんが数学の練習問題のヘルプ。
 「受験問題ならテッシーのほうが強いよ」と言いつつ、
 「わからなかったら解答を見てもいいんだよ」と木幡。
 「見てもわかんないもん」
 こうなってああなって、そしてこうなるの...うんぬん。
 「わかった！」
 高校受験を控え、ナーバスになっているサキちゃんに対し、余裕があるのはジェイシー。
 「木幡さん、数学やろうよ！」
 「ジェイシー、試験科目に数学がないんだから、論文の練習をしよう」「論文は家でやっているからいいよ。数学やろうよ」
 「でもねえ...」
 「書くのはいいんだけど、人に読まれるのがいやなんだよ」
 「?????」
 「じゃあ、面接の練習やってよ。」
 「あ！私も！」
 「私も！」

サキちゃんとアヤちゃんも含めて、急遽、面接官になる木幡です。

面接の思い出 木幡の青春

面接や試験で思い出した。大昔、北海道の教員採用試験を受けた時のこと。ピアノの試験が含まれていた。課題がバイエル64番 (これは練習していた) と文部省唱歌4曲の中から1曲だけ試験官が指定する。4曲もやっている余裕はない。「雪やこんこ」のみ練習した木幡。
 「では、指定曲だけれど...」
 試験官が指定する前に「はい！ぼく『雪やこんこ』がすごく好きで得意なんです。ぜひ、それをやらせてください！」

「.....」
 「お願いします！」
 「しょうがないなあ...」
 採用試験に合格したのは、もちろん、言うまでもありませんね。
 見てね！はてさて...

19日(日)午後6時半TV東京「世の中、がぶっと」という番組にJF登場の予定。フリースクール特集とかで年末の三日間、カメラが入った。しかし、不安...。どんな風に扱われるのだろう。「正太郎君がいていたけれど、ものすごく酷評された番組らしいんですよ。お金を使わないで、何とかこなすみたいなの。高木美保っていう売れなくなったタレントが司会やってるのもねえ」
 テッシーの言葉に、うーーーむ...

- 2. 納豆な一日 テッシーバージョン
- お料理-納豆

今日のお料理は納豆を使って。
 あまりにも曖昧なので、まず話し合い。
 「納豆料理で作りたいものは??」
 「納豆チャーハン。」
 「納豆オムレツ。」
 「納豆スパゲッティー...。」
 などなど...。
 納豆が嫌いな子がいるかな?と思っていたけれど、それほどでもなく。
 結局、納豆そばに木幡さん作成の納豆汁。
 と、いうわけでたいした準備もなし。そばを大量に茹でて、やくみはオクラに山芋など。もう、それはそれはネバネバ。
 それにしても、そばが多すぎたみたい。ひいひいしながら食べる。そんな中、お昼を買ってきたさきちゃん。
 パカッとあけると??
 「なんで、ざるそば買ってきちゃうの。いっぱいあるのに。」といいながらみんな大笑い。
 仕方なく少し残してしまいました。もう少し量は考えねば...。
 片付けもネバネバ。しかも、納豆を温めたせいか、部屋中納豆臭が。
 「うっ、納豆臭い！」と外から帰ってきた木幡さん。
 さすがにあの量は強力。
 ちなみに本日の手島家食卓には、納豆が置いてありました。うー、もうタクサンダァ。

- 3. ダブルレットな一日 熊谷・かおりん
- ダブルレット

本を見ていたら「ダブルレット」ということば遊びが出ていた。本によれば『不思議の国のアリス』のルイス・キャロルと言う人が考えたものだそうだ。最初のことばと最後のことばを決め、ことばを一文字だけ変え最後の文字にたどり着くように進めていく。
 例えば、あさ よるに変えてみると、
 ・あさ あめ さめ さか つか つる よると言うような感じ。
 変えるのは一文字、しりとりのように順番を変えてはいけない。
 10個のことばで最後のことばにする。
 条件をつけた。
 早速みんなスタート。
 「なかなか難しいね。ううーん。」といいつつあっという間に出来たのはきぐちゃん。
 「次の問題は何か?」
 「早く出してよーー。」としーちゃん。こんなにはまるとは思ってもなく、思いつくままに。「今日食べた

そば飯にしよう。そば めしに変えてね。」
 2文字が出来たら、3文字に挑戦。3文字のこぼを
 1文字だけ変えてすすめる
 「おとこ おんなね。」
 「これって、おかま？」とりょうくん。ひと笑いおきた
 ところで、みんなまた黙々と考え出す。
 「きりりって言葉ある？」としーちゃん。
 「じゃあ、おうんは？」
 「わたしも聞いたことないのもあるから、辞書をみ
 て載ってたらOKにするよ。」
 すると、みんな辞書を必死にのぞいている。
 しかも！考えつかなくて悩んでいる子に、わかりや
 すく周りの子がヒントを与えている。考えつかない
 子にとってはヒントを出されてもなかなかぴんとこ
 ない。そうすると、もっとわかりやすく説明しなけれ
 ばならないので四苦八苦。わかりやすく説明すると
 いうことも一緒に学べるみたい。
 みんなで盛り上がる午後ひと時。

 デイリーフレネは月～金の平日刊です。
 今、行きたい映画や展覧会で
 「大江戸八百八町展」江戸博物館
 「第2回鉄道映像展」青山の???
 映画「マブイの旅」(テアトル新宿レイトショー)
 リストラされた男が沖縄に流れ、沖縄の娼婦に恋をした。
 女にはボクサー志望の恋人がいた。
 見たい！しかし暇がない...
 それではまた来週！楽しい週末を！

===== デイリー・フレネ =====

----- VOL/0621----- 2003/01/20

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

1. テレビに映ったよ！
2. スケートに行った！ 新宿・テッシー
3. ゲームに夢中！ 熊谷・かおりん

=====

今日はなんの日
 1933 オードリー・ヘップバーン死去、63歳
 今日の花言葉
 きんぼうげ「こどもらしさ」
 今日のは誰の誕生日
 フェデリコ・フェリーニ(映画監督 伊 1920)
 今日の名言
 「ひとを罰しようという衝動の強い人間たちには、
 なべて信頼を置くな！」
 ニーチェ「ツアラトウストラはこう言った」より

- 1. テレビに映ったよ！
 「さきちゃん、昨日、テレビ見た？」
 「見てない、見てない」
 「うそだ。本当は見てるんだよ」
 「見てないもん！」
 しかし、目は笑っている。
 昨夜放映された「世の中、ガブッと！」(TV東
 京)は、「不登校キッズ」と題し、フリースク
 ールを好意的に取り扱ってくれた。
 「友達から電話があつてさ『お前テレビに写って
 るぞ！』って言われて、テレビをつけたら本当に映っ

てるの！ビックリした！」とジェイシー。
 少しずつフリースクールも認知されてきて、本当に
 良かったなあ！
 名古屋から放映に関するお便りが入っているの
 で、ご紹介しましょう。

-----以下、転載。
 「世の中ガブッと」(テレビ東京 名古屋はテレビ
 愛知))の番組を拝見しました。名古屋でも放送さ
 れましたよ。

はじめてフレネの中を見て、子供たちが生き生き
 して活動している...。正直不登校の人数がこんな
 にいるとは思いませんでした。驚愕しています。
 僕の中3(平成元年度)のときに僕のクラスに1人
 一時的ですが不登校になった人がいます。
 しかし、その他の人はその子に対して積極的に「学
 校へ行こう！」「みんなが待ってるから」など、積
 極的に呼びかけてその子は学校へ来ました。
 ですが、今回の番組を見てそれは「登校刺激」と
 いう言葉になって先生はそれをやらなくなった...結果
 これが原因で不登校になった子が多くなってきたの
 ですね。

僕としては正直そんな子を増やしていいのだから
 と思いましたが、ジャパフレネとしてはこんな子
 を救いたいのではないのでしょうか？だからといって
 必ずしもという場所ではないですね。
 僕はこんな子を増やした今の行政に不満がありま
 すね。正直言って。

ですが、それよりももっと不満というべきですか
 はじめてメールをお送りしたときに書いたのですが
 「摩擦」が大きくなったからだと思います。

いじめ、少年犯罪の若年化もそのひとつだと思います。

また、フリースクールなどに関するのですが、僕
 としては少しだけ不安があったのです。それは「将来
 の履歴書」といっていいのでしょうか。
 これは今の社会「履歴書」で人間を査定されてい
 ると思うのです。これで不登校の人がここで査定され
 なければ思っていたからです。ですが、尾木先生の一言
 でこのわだかたまりも解けられたと思います。

そして、木幡さんが言われたことですが、「通過期
 間」ということ。僕は学校生活もすべて「通過期間」
 ではないだろうかと思います。「卒業」もひとつの通
 過期間しかないのですから。

また、「学校は同年齢の均質な集団でフリースク
 ールは異年齢の異質な集団」といわれましたが、まさ
 にそのとおりではないでしょうか？僕はこの言葉はその
 とおりだと思いました。なぜなら、学校というところ
 はいくら上でも同級生は6歳(小学校の例)しか
 ないのですが、フリースクールはそんなことがない
 と思うのです。

それと、子供の会話も興味を引きました。
 まずは加々見君「お料理もできて散歩に行けて楽
 しい」これが普通の学校ではいえないのではない
 でしょうか？
 いえるはずはないですよ。楽しいと思えないの
 ですから。集団行動で面白いと思えるのでしょ
 うか。これが僕の疑問ですね。

次に大井君「機械的、強制的でイヤ」ということ
 これはそうですね。強制して何かをやらせて育
 てる。これは僕も感じていました。「能力無視」と
 いうことを。

ノルマさえクリアすればいいのですが、できない子もいるのです。

現に僕は中学の頃はかなりの落ちこぼれで何をやってもだめ（というよりやる気さえ出ませんでした）、何をやっても不器用という人間です。こんな人間でも強制的にテストをやらされ、点数をつけられ、みんなから馬鹿にされる・・・僕はそのことを感じました。「能力は強制的に押し付けるのではなく育てるものだ」ということを。

そして、岡部さん「何でも勝手に決まってしまうより自分でいろいろ考えたほうが納得しやすい、あんまり反発することもない」

そうですね。たとえば授業のカリキュラム、国語・数学・理科・社会・英語・家庭科（技術）・音楽・体育など、すでに決められて単位数も決められてしまう。

これで本当にいいのだろうかと思いましたが、僕はこの3人を褒めたいと思います。インタビューに素直に対処できている。本当のことを言っている。裏表がない答えということです。

褒めてやってください。好感を持っていますから。そして僕から「あがらずにはっきりと答えていました。」もちろん木幡さんにも好感は持っていますよ。ただ、言葉にはできないですが。

最後にテレビのことをもう1度最初のOPを見て、まじめにやってくれるかな？という不安もありましたが、これだけしっかりした内容をしてくれたので僕としては成功したのかな？と思いました。

今回のテレビを見てそんなことを考えさせられました。

2. スケートに行った！ 新宿・テッシー

久々のスケートでした。運動不足がたたってか、滑っている最中に筋肉痛ではなくて、関節痛。いやはや、たまには運動しなくてはと再確認。

では、みんなの様子

お散歩スケート

「テッシーはスケートできるの？」と、朝からさかんに聞かれました。実は物心ついてからのスケートというのは一度だけ。それも10年以上前の話。「寒いのが苦手なんだよね。」とだけ答えていました。

場所は新宿御苑の向こう側。何度か行ったことのある子が先頭で道案内。

「ひろ君つぎどっち？」

「あっち！」とひろ君。

「ひろ君の方向感覚はすごいんだよ。」とまっつ

あん。おかげで無事に到着。

みんなは、大きい子はスイスイ。まっつあんは特にすごい速い！正太郎君と競争してスッコロんだり。まっみんな奔放とクルクル。ちなみにひろ君はマイシューズ。

小さい子は少しおっかなびっくり。中ちゃんとりょう君は壁につかまって、ソローっと。それでもシリモチついている。

「こうやって、膝を曲げて...。」と言っても、なかなか難しい。やっぱり、ヘルメットとかをしっかりとしているとはいえ、最初は怖いもんね。

でも、ここで止めたら意味がない。

「転んだら立てばいいんだよ。」と、特訓開始。

「もう壁につかまっちゃだめ。こっちまでおいで。」

と言うと、自分で必死になって滑ってくる。中ちゃんは転んで立って、転んで立ってとやっているうちにしっかり滑れるように！

りょうくんも「膝を曲げて！」「前向いて！」とみんなが応援。「ほら、ここまで！」と言いながら後ろに下がるべく。

「なんか、テッシー後ろに下がって行ってない？」とりょう君に見つかってしまったけれど、最後には一人で端から端まで滑りきりました。頑張った！

「もう帰るの？まだやりたいな。」のセリフまで聞くことができました。

「上手くなったね！」

「頑張ったね！」

とみんなが誉めたから、達成感もより一層大きくなったのだと思います。

必死になって頑張っている顔、それを応援しているみんなの顔、とても良かったなあ。

3. ゲームに夢中！ 熊谷・かおりん

金曜日は木幡さんの日。今日は2種類のカードゲームを持ってきた。

1つは、「ピッコロ」5までの足し算の計算力と反射神経が必要とされる。2つめは「ワードバスケット」簡単なしりとりゲーム。

みんながはまったのは「ワードバスケット」バスケットの中にあるカードの文字から始まり、手持ちのカードで終るようなことばを探し出す。

3文字以上の条件がつく。実際にゲームが始まると、なかなかことばが出てこなかったり、思いつかなかったり。木幡さんも一緒に白熱。

「あひる！」とか「きいろ」とか単純なことばもあれば、「代理！」「利率！」なんてよく知っているなあということばまでくる。

あつという間にあがった木幡さん。みんなのカードを覗いて、

「ああ、あのことばがある。」と教えたくて仕方がない様子。だけど、「だめ！教えちゃダメ。」とみんなから。「うーん。」とうなりながらも自分で答えを探し出せた時が嬉しいようだ。

こじんまりとした熊谷では人数的にもちょうどいい。みんなで盛り上がる。いろいろな単語とピッコロで使うベルのちーんと言う音が鳴り響く熊谷でした。

=====

===== デイリー・フレネ =====

----- VOL/0622----- 2003/01/21

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

1. 大忙しの日
2. チューリップ観察日記 新宿テッシー
3. フローズンヨーグルト 熊谷・かおりん

=====

今日はなんの日

1793 フランス革命でルイ16世処刑

今日の花言葉

きづた 「友情」

今日は誰の誕生日

クリスチャン・ディオール（デザイナー 仏 1905）

ジャック・ニクラウス（ゴルフ 米 1940）

今日の名言

「狭き門より入れ。滅びにいたる門は大きく、その道は広く、これより入る者多し。生命にいたる門は狭くその道は細く、これを見いだすもの者少なし。」

マタイ伝第七章

1. 大忙しの日

朝、出勤後、「おもしろ通信講座」の添削（コボちゃん作文）を二本こなす。続いて、学研からでるフリースクールガイドのJF紹介の分（なんと4ページの特集を組んでくれた）の校正。ひろ君の「こぼちゃん作文」を読む。
ふーっと息をつく暇もなくスキー旅行の段取りをテッシーから聞く。
正午、南千住のH君宅へ。一緒に食事をしながら定時制高校に通っているH君の近況を聞く。心身ともに安定してる様子で一安心。新宿にとんぼ返り。
そのまま小田急線で神奈川の相模原へ。てっちゃん宅で近況を聞く。新しい自転車を買ったとかでご満悦。不登校になった時、周りの人間が状況もわからずあれこれいったことに憤慨。その気持ちよくわかる。
午後5時過ぎ、新宿に帰着。教育（授業）系のサイトを持っているI氏と会談...
今日もこうして暮れていく。授業やりたいなあ...

2. チューリップ観察日記 新宿テッシー

テレビ放送から一夜明けて、興奮していたのは大人のほうだったのかなと。子ども達はというと、「あー、見たよ。」
「写ってたね。」なんて案配。落ち着いているでは...。何だか放送前に話していた心配事なんて余計な気苦労でした。しっかりと取り上げられていて、放送を見た友人も「頑張れよ。」と一言。とんでもない暴言をこの場でお詫びしたい次第です。
今回の放送で自分のしていることを客観的に見ることができ、再確認することができました。取材に来た若い二人を思い浮かべながら、自分も負けじと頑張りたいと思います。

では、今日のみんな

新しい試みー観察日記

先週の金曜日、新ボラ・日下部さんがチューリップの球根をおすそ分けしてくれました。みんなで植えて帰ったので、今日の朝から一仕事。
びっくりしたのは、何と芽がでていたのでは！これは植えたときにすでに頭が出ていたのかな？と思いつつも、素直に嬉しい！
観察日記の用紙を作成。それを使って、これから毎日それぞれ絵日記をつけようということに。今日は中ちゃんが、第一弾。

「テッシー、ここ何かけばいいのぉ？」といろいろ試行錯誤。色鉛筆で絵もしっかり。もちろん「様子」の欄には、文章も。今日は、「めがでていた。」とのこと。

茶色い土の中にひょこっと黄緑の芽が描かれていました。

3. フローズンヨーグルト 熊谷・かおりん

テレビ

「昨日見たぁ。」と昨日のTVの話題が持ち上がった。新宿の様子がもっと出るのかと思ったけれど、少なくとも残念だったねという感想が多かった。それよりも、「すごい人数多いよね。」というユータ君の感想。普段熊谷で過ごしていると、新宿での光景は驚き。「ミーティングも大きなテーブルぎっしりだったね。」

と自分達との違いを比較する。

私自身も新宿の普段の様子は、見るのが初めて。目に映る様子が刺激を受けながら、私は自分の目の前に広がる現場ががんばらないとなと思った。フレネのこともフリースクールのこともよく映っていて嬉しかった。
TVを見た親戚から早速電話がかかってきて、「楽しそうなところで仕事をやっているんだね。こういう（出席のことなど）システムのことも知らなかったよ。」と。まだまだ知られていないことも多い。もっと多くの人に理解してもらえたら、いいなあ。

ものづくりーフローズンヨーグルト

今日のものづくりは、「フローズンヨーグルト」ヨーグルト・生クリーム・卵黄・砂糖を混ぜて凍らせれば出来あがり！なんと簡単。材料を混ぜて冷凍庫にポン。しーかし、そんなすぐに凍るわけもなく。出来上がりは明日へ持ち越し...。出来上がりが待ち遠しい。おいしくできるかな。

砂糖の違い

「あのさぁ、入れる砂糖をいろいろにしてもいい？」とエリ君。

「4つに分けてやってもいい？」とユータ君。

2人一緒にフローズンヨーグルトを作っていたのだけど、ただ作るのではなく、いろいろ興味が湧いてきたらしい。

フレネには、上白糖・グラニュー糖・三温糖・黒砂糖と4種類の砂糖がある。味が変わるのか試してみるのだそう。目の付け所がおもしろい。

「こんなものが！」とエリ君は、冷蔵庫から抹茶を持ち出す。

「抹茶ヨーグルト???おいしいの?」

「なら、試してみましょ。」と意気込みがすごい。

一体どんな違いがあるのか、明日のお楽しみ。

=====

=====**デイリー・フレネ**=====

-----VOL/0623----- 2003/01/22

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

- 1. 迷路の正解
- 2. 国語の授業ー比喻 by テッシー
- 3. タングラムで遊ぼう by かおりん

=====

今日はなんの日

1905 「血の日曜日」ロシア革命の契機

今日の花言葉

こけ「母性愛」

今日は誰の誕生日

中田英寿（サッカー 1977 O型）

星野仙一（野球 1947 O型）

今日の名言

「勇気と節操をもっている人たちは、ほかの人たちからみると、いつだって非常にきみのわるいものさ」

ヘルマン・ヘッセ『デミアン』

- 1. 迷路の正解

もえちゃんの弟、しょう君がジャパンフレネの「おもしろ通信講座」を受講することになった。ジャパンフレネで行っている授業の出前というところかな。毎週1回教材を発送・配信し、「コボちゃん作文」

の添削もファックスで行う。
 「ようやく、やってみたいというもんですから」とママ。第1回の教材は地図の迷路。迷路をたどっていくとある国の形と都市が浮き出てくる。それを当てようというもの。
 「木幡さん！あの迷路ってスウェーデンでしょう！私が初めて行った外国だから、すごく印象に残ってるんだ。」もえちゃんが嬉しそうに報告してくれました。
 - - - - - もえちゃん・しょう君ママ
 木幡さんへ
 迷路やってみました。正解は「スウェーデンのストックホルム」ですね！もえが参加しなかったので、代わりに家に遊びに来ていた6年の男の子と一緒にやりました。
 とっても盛り上がりまして楽しかったですよ。そうしたら今朝になってもえもやるという遅ればせながら挑戦しています。
 それにしても、あの細かい迷路！私など、迷路を解く前に、ヒントで答えを出そうとしている横で、「あーつながったー」としょう。すごいもんですね、感心してしまいました。
 スウェーデンにはしょうが幼稚園の年長の時に行ったことがあったので、スウェーデンのおいしいものは？なんて、思いで話にも花が咲きました。又次回の教材を楽しみにしています。
 こぼちゃんもやってみました。あれはFaxすればよいのでしょうか？それとももえに持たせますか？こちらと一緒にやってみました。なかなか難しいもんですね。しょうのを読んだら、視点が違うので、なるほど、うまいことまとめるなと思いました。こちら楽しみながらやっていきたいです。よろしくお祈りします。
 - - - - -
 大正解！ストックホルムです！左の上に「イングリッド・バーグマン」というアルファベットが出ていますので、スウェーデンとわかります。とは言っても、これがわかるのはほくも含めて年配？ですね。
 今週の教材は木曜日になります。家庭でできる科学実験を楽しんで下さい。
 「コボ作」はできたらすぐにファックスで送って下さい。翌日までに添削してファックスで流します。教材のリクエストがあればどんどん出して下さいね。
 2. 国語の授業ー比喻 by テッシー
 新宿フレネには、風邪で休みの子がチラホラ。インフルエンザという話もあって油断できません。
 だけど、そういうほくも風邪気味…。先週末からのどの調子は良くなかったのだけれど、「風邪じゃないよ。」なんて言っていたら、鼻は出るしくしゃみは出るし。手洗いうがい早寝で対処しなくては。
 では、きょうのみんな
 今日は比喻の授業を簡単に。受験を控えている子もいるので、直喩・隠喩・擬人法といった用語も簡単に説明。「きれいな手」のことをみんなに表現してもらおう。
 「白魚のような手。」
 「雪のような手」なんて。
 両方とも白い手のことだけれど、それだけじゃない。冷たい感じ、華奢な感じなどなど他にもいろいろんことが感じ取られる。

中には、
 「白魚の場合は生臭そう…」
 「じゃあ木幡さんの手を、～のような手と表現してみてください。」と、いうと
 「ウィンナー。」
 「ソーセージ。」って…。
 最後に擬人法。これも、みんなでいろいろ出し合う。「街が目覚める。」
 「雲が走る。」などなど。
 中には、
 「ミッキーマウスが…って、中に人が入っているからダメか！」
 ちょっと違うんだけどね…。
 ほくがごちゃごちゃ書き込みしたホワイトボードを見て、「ホワイトボードが騒ぐ。」なんていうのも。
 ほくが気に入ったのはとうこちゃんの「空が泣く。」
 帰りの電車の中でぼんやり考えていて、あゝ雨のことかと。頭の中では雲一つない青空が浮かんでいたの。受け手によっていろいろ七変化するのが比喻のいいところ。その時々受け手の気持ちが積極的にくみ取られるんだね。
 3. タングラムで遊ぼう by かおりん
 先週に引き続き今週もタングラムで遊ぶ。先週はミニタングラムだったけれど、今週は「タングラム」
 タングラムとは、正方形が、2つの大きな三角形、1つの中くらいの三角形、2つの小さな三角形と、正方形、平行四辺形、合計7つの図形に分割されている。歴史は古いらしい。日本では平安時代からあったそうなの。
 板目紙に正方形を作って、それぞれ自分のオリジナルのものを作る。ウサギ・鯨・トンボ・ハゲタカなどなどお手本はどう組み合わせられているのかわからない。「早く作って、ハゲタカを作るぞ！」と意気込むユータ君。しかし、なかなか出来ない。おかしいなと試行錯誤。「トンボできた！」ときぐちゃん。
 「みてみて、これは僕オリジナル。」
 「これは亀？」と聞くと、「ポップサップ。」だそうなの。
 できそうでできない。なかなか頭を使うタングラム。「初心者マークって、簡単そうでなかなか出来ない。」
 「それは、初心者向けだから。」
 みんなであれやこれや。外は寒くてもアツク盛り上がる一日だった。
 =====
 =====
 デイリー・フレネ
 ----- VOL/0624----- 2003/01/23
 ////////// CONTENTS //////////////////////////////////////
 1. ボラ・ウッチー、ギャグで1次試験試験突破！
 2. 静かな一日 新宿・テッシー
 3. 科学博物館 熊谷・かおりん
 =====
 今日は何の日
 1902 八甲田山死の彷徨、210人の兵士遭難。死者199人。
 今日の花言葉
 がま 「従順」
 今日誕生日
 ジャイアント馬場（プロレス 1938）
 湯川秀樹（物理学者 日本人初のノーベル賞受賞 1907）

ジャンヌ・モロー（女優 仏 1928）
ハンフリー・ボガード（俳優 米 1899）

今日の名言

「死ぬだけじゃ何にもならない。ちょうどいい時に死ななければ...。」

ジュール・ルナール 仏 作家「にんじん」の作者

1. ボラ・ウッチー、ギャグで1次試験試験突破！
「面接、どうだった？」

「校長とか教務主任とかきてやったんですが、まあ、普通でしたね。」

ボラ・ウッチー、都内某私立小学校教員採用試験の面接に行ってきた。

「フリースクールとか、興味ないんですかねえ。全然知らないみたいでしたよ。結構、好感を持ってくれたみたいなのでうまく行くかもしれません」

「好感って？」

「最後に自己アピールの時間があったので『女の子には持ってませんが、子どもにもてます』って言ったら、大爆笑でオオウケでした。5時に返事がくるんですよ」(笑) ところが話しているうちに、ウッチーの携帯が鳴る。

「おっ、来たかな？」

結果はいかに？

「OK！でした！」満面笑みのウッチー。

「それじゃあ、今日の新年会は、ウッチーの合格祝いということにしよう。ウッチーのおごりで」(爆笑) この後、作文を提出し、授業もやらなければいけないとか。「いつでも、プランニングしてあげるからね」さて、合格すれば、またまた、伝説が生まれる。昨年のふくちゃんに続き、JFでボランティアすれば、私立学校に合格できる！

ほんとだよ！

2. 静かな一日 新宿・テッシー

今日は朝からスロースタート。まず、いつも早い子がこない。久しぶりにゆっくりと掃除。

しばらくして、ひろ君登場。一緒にコボ作。

中ちゃんは日課となったチューリップの観察を終えると、すぐにお出かけ。

久々登場のまっちゃんも体調が完全に回復していないらしくいつもの元気がない。

「誰かジュース買ってきてえ。倒れるう。」だって。

こんな日はみんなそれぞれ。あやちゃん、山ちゃん、新入会員のゆう君は黙々と勉強。

ミッキーとけんご君は何でかスクワットに励んでいる。

「あと350回！」とかいって。

しまいにはよたよたでただの屈伸になっていました。

「やることねー。」と暇をもてあそんでいる子もいたけれど、何か自分で見つけられたらね。

ちなみにぼくは、一日スキーの準備と鼻詰まりで終了。

3. 科学博物館 熊谷・かおりん

お散歩の授業 国立科学博物館

寒い日の続くこの頃。こう寒いと外へのお散歩も少し抵抗がある。「室内で楽しめる場所...。」と考えても熊谷近辺は行き尽くした感じ。そこで今日は、少し遠出をして、上野にある国立科学博物館へ。

まずびっくり。入り口に大きな鯨。全長30mの実物大のシロナガスクジラ。あまりの大きさにびっくり。みんなすでに興奮気味。

「こんな体が大きい割に、食べるのは5cmの魚なん

だってさ。変なのおー。」とみんなうなずく。

本などで説明を見ると実際に見て感じるのでは大きな違い。

科学？

本館・みどり館・新館と3つの建物に分かれている。生物の進化や実際に科学や自然を探検できるたんけん広場がある。恐竜の骨など、みんなびっくり。恐竜の化石だけではなく、動物も多く展示されている。

「あ、これがトドなんだ。」

「くまでつけー。」

「あ、チョコQで出てきた『カニ』だよ。こんな大きかったのか。」

「これ、上野動物園にいたパンダだね。」

と、ご近所に動物園があるせいか、やけに動物の剥製が多い。時には、全長4mもある巨大イカがホルマリン漬けになっている。

「これで、どれだけの塩辛ができるのだろうか。」

「食べきれないよね。」

と自分に置き換えて考えて見たり。みんなそれぞれに発見が多いようだ。

あんなるほど

「あ。なるほど。水星・金星・地球・火星・土星ってさ、曜日と同じなんだね。何か関係があるのかなあ。」

と展示物を見ながらつぶやくユータ君。

自分で気づくこと、そして疑問に思うこと。これが何より学びの第一歩なのかな。

熊谷だから...

「ここは一日じゃ見終らないかもしれないね。だから、早く回ろうよ。」としーちゃんが言うほど、いろいろな内容が盛りだくさん。それなのに、入館料は小・中・高までは70円！となんともお得。

しかし、熊谷からは行くつくまでが遠すぎる。けれど、「ここまで、来たかいがあったよ。」と帰りの電車でユータ君。

「ホント、面白かった。」ときぐちゃん。

少し遠出をしたけれど、本物に触れること。そして、それを感じることは目には見えないけれど自分の財産になるのではないかな。

往復2時間の移動距離。お疲れ様！

=====

===== デイリー・フレネ =====

----- VOL/0625----- 2003/01/24

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

1. 先輩・ふくちゃんからのお便り
2. かに玉はうまい！ 新宿・テッシー
3. ベトナムカレーもうまい！ 熊谷・かおりん

=====

今日はなんの日

1972 太平洋戦争で生き残った横井庄一軍曹グアム島で
発見される

今日の花言葉

サフラン「節度的美」

今日は誰の誕生日

五輪真由美(1951)

尾崎将司(ゴルフ 1947)

今日の名言

「世界には数百万の困苦人々がいるのに、なぜ君たちは私一人のためにあつまっているのか」

トルストイ

真の独立と自由を得るため、家出をしたトルストイが、中央アジアの寒村の駅長室で肺炎で死去。そのときの最後の言葉。

- 1. 先輩・ふくちゃんからのお便り

お久しぶりです！ふくちゃんこと、
木幡さん、フレネのみんな、そしてボランティアの方々、元気ですか？いつもデイリーフレネ読んでます。(学校のインターネットにて、朝飯をくいながら...)

今日入ってきた情報に、まだ一度もお会いしたことはありませんが、ウッチー様の吉報の情報を目にして、これは！！と思い、メールしました！がんばってください！(これだけかい！)合格祝いにはぜひ呼んで下さい(笑)。

なにはともあれ、この2年間本当に学校のいい面・悪い面、納得いかないところなど様々なことを体験しています。このことをみんなに話してあげたいのですが、まだまだ未熟で、自分の言葉として伝えることができません。修行して、いつの日かお話できるようにしたいです。

いつも帰る時間が、フレネが終わった数時間後なので、なかなか顔が出せずにいますが、そろそろ新宿2丁目が恋しくなってきました！

そのうちに顔を出したいとおもいます。それではインフルエンザが大流行中なのでみなさまも体には気をつけて...

2. かに玉はうまい！ 新宿・テッシー

通勤電車から外を眺めていると、雪が降り始め。今年はよく降るなあなんて思いながら新宿地下道へ。地上にあがってみてびっくり！東京の降り方じゃない。フレネを早めに閉めるかどうかなんて心配するほど。だけど、お昼過ぎには雨に変わり、帰りには何も降っていませんでした。寒さだけはいつも以上だったかな。では、今日のみんな

お料理ーかに玉

雪のせいもあってか、午前中はみんなまばら。早めに閉めなくてはならないかもということもあって、簡単にできる和風かに玉に。

簡単に言えばあんかけが大変なので、それを省いて和風だしで味付けしたもの。買い物が終わってしまえば、切るものも少ないしあっという間。

あとは、誰が一番上手く焼けるかの腕勝負。一番手ひいちゃんはしっかり形に出来上がり。二番手のぼくは、半熟っぽくしたかったのが失敗の原因。

「何か汁でてねえ。」なんて始末。

一番上手かったのが山ちゃん。これは、お店で出してもいいくらいの出来栄え。見た感じも、味のほうも申し分なし。

付け合わせのお味噌汁はりょう君。

「テッシーは手伝わないでね。おうちでやってるんだから！」その言葉通りに、味噌をお玉を使ってとく姿なんてかっこいいくらい。

いつもは余ってしまうので、ご飯も少な目に炊いて完了。フレネのお米はただ今玄米なので、少し炊くのが難しい...

「なんかボソボソする...。」って。

これはもう少し研究が必要かな。

みんなでわいわい食べ比べている姿は楽しそうで、それだけでもおいしく感じるなど思いながらの食事でした。気がついてみれば、いつもと同じくらい的人数。英語の授業が2回に世界史...。みんなそれぞれに興味のあることが出てきて、積極的。

「ブルさん、英語。」なんて言われるのが当たり前のよう感じられるようになってきています。みんなこの調子でね。

3. ベトナムカレーもうまい！ 熊谷・かおりん
雪だぁ

フレネに出勤したら、ちらほら雪が舞いだした。そのちらほらが気がつけば本降りに。お料理の買出しは、「ルーラー、るるる〜。」と北の国からのテーマ曲が似合うほど雪の降り続く中だった。

「この調子で積もれば、明日は雪合戦だ！」と期待していたユータ君。しかし、残念ながらお昼過ぎには雨に変わった。

「今のうちに！雪で遊ばないと。」

としーちゃんとユータ君は雪だるまを作り出した。

「このビー玉いい？」

「このきらきら使おうよ。」とあれやこれ。

「ねえ、見てみて！」とお誘いの声。見に行くと、とってもかわいらしい雪だるま君。ビー玉のボタンがついていたり、クリスマスの飾りがマフラーに。

明日まで、残っているといいな。だけど、寒いのは勘弁だな。

探せ！ヌックママ お料理の授業・ベトナムカレー

今日のお料理は「ベトナムカレー」カレーにはとことんこだわる熊谷。前回のグリーンカレーの反省を活かして、早めにレシピを調べ、手に入りにくい材料はみんな探すことにした。

今回の難関は「ヌックママ」聞きなれないこの調味料は、魚を発酵させて作られた醤油。ベトナム料理には欠かせないものようだ。

「家で買い物に行った時探したけど、なかった。」との声ばかり。

「仕方ない、ナンプラーで代用かな。」と諦めかけた。

大宮ならあるかな...。とぶらぶら。そこは輸入物専門店のお店。すると、あるではないか！やっとのことで見つけたヌックママ。これでおいしいカレーができるね。

くっせー

子ども達も万歳の「ヌックママ」

「舐めてみてもいい？」と興味津々。しかし、フタを開けたとたん、

「くっせー。」「くさーい。」「異臭だ。」の声。

魚くささが部屋中に充満。一体こんな調味料でどんな味になるのか心配したけれど、完成したカレーはとってもおいしい。今日のベトナムカレーは、炒めずに煮込むものだった。そして、ご飯ではあまり食べず、ビーフンで食べるそう。ビーフンでも食べたけれど、やっぱりご飯の方がいいな。

カレーでいるんな世界が知れるね。

- - - - -

デイリーフレネは月～金の平日刊です。お知り合いの方に、ぜひ、デイリーフレネをご紹介ください。インフルエンザが流行っています。お気をつけください。それでは、楽しい週末を！チャオ&ラブ！

=====

===== **デイリー・フレネ** =====

----- VOL/0626----- 2003/01/27

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

1. 「昨日の夜、何を食べたか？」 木幡のお授業です
2. 小金井公園にお散歩 新宿・テッシー
3. フレ熊便り 熊谷・かおりん

=====

今日はなんの日

1983 青函トンネル開通

今日の花言葉

ななかまど「怒りない心」

今日は誰の誕生日

モーツァルト(オーストリア 1756)

ルイス・キャロル(作家 1832)

今日の名言

「幸福だけの幸福はパンばかりのようなものだ。食えはするがごちそうにならない。むだなもの、無用なもの、よけいなもの、多すぎるもの、なんの役にも立たないもの、それがわしは好きだ。」

ユーゴー「レ・ミゼラブル」より

- 1. 「昨日の夜、何を食べたか？」 木幡のお授業です

「木幡の地理か、地理の木幡か」と言われたほど、地理が好きだった。地理は社会科学の基礎なんだ。これを知るためのお授業。

「昨日の夜、何を食べたの？」

この質問が学校だったら大変。40人分のメニューを書くだけで1時間かかる。JF熊谷は人数が少ないのでたずかるなあ。

あんかけ焼きそばと中華スープ。

みそ煮込みうどん。

よせ鍋とうどんと、たくあん。

チンジャオロースにとろろ芋、塩辛とご飯と味噌汁。

「主食は？」「ご飯かなあ？」

うん、日本人なら米を食え。それに味噌汁もね(なくなったおばあちゃんのお言葉)。

「じゃあ、ヨーロッパ人の主食は？」

たいていはパンと答えるがそうではない。スライドや本を見ると、パンは添え物。主食は肉。じゃあ、なんで？ここから学習が始まる。

米を栽培する 温帯モンスーン 農耕民族 共同作業
和(保守的) 仏教

米が栽培できない 西海岸気候・大陸性気候 麦の栽培
熱効率を考え 狩猟・遊牧民族 進取の精神(革新的) キリスト教

簡単に言えば、上記のような感じで1時間が過ぎる。

気候・風土が違うと思想や宗教までも変わるんです。

日本に生まれて良かったかなあ？

2. 小金井公園にお散歩 新宿・テッシー

今週のお散歩は小金井公園へ。ぼくは昔この近くに住んでいて、20年ぶり。少し感慨深いものが。

だけど、何といっても寒かった！

到着してすぐにお昼を食べただけで、食べている手がかじかんでしまうほど。終いには雪までチラホラ。これから本格的に寒くなってしまふのかな。

では、みんなの様子

お散歩ー江戸東京たても園

少し前にブームになった映画「千と千尋の神隠し」。そのモチーフになった建物があるということで、小金井公園内にある江戸東京たても園へ。

ちょうどこの日にテレビで放映されるということもあってか、映画のセル画や原画などが展示されているイベントも。

(これが見たかったので提案したのだけれど)

チケットは、受付の人の

「何年生ですか？」という質問に答えれば都内の中学生は無料。特に生徒証などの提示も求められませんでした。

ついでにぼくまで

「学生さんですか？」なんて懐かしい質問をされてしまいました。よしよし。

まずは、「千と千尋」の展示コーナーへ。入ると目に飛び込んでくるのが、山積みされた原画。その量の半端なさにビックリ。また、一つ一つの背景画の丁寧さには感動に近いものが。おにぎり食べてるでっかい絵があったりで、こりゃマイッタなって。

だいたいの子が映画を見たことがあるみたいだったけど、「飽きた。」

「つまなくない？」なんて。

ここは早々に切り上げ。

たても園では二手に分かれて見学。館内の人が、「みんなはあっちの方が楽しいよ。お湯屋もあるし。」と教えてくれたので、そっちのほうへ。

路面電車や釜爺の棚みたいのがあって、その度に記念撮影。やっぱり人気は電車だねえ。

銭湯では、

「おっ、女風呂が覗けるんじゃない??」なんてみんなで覗く真似。(もちろん入ってないけど)

お風呂に入っているふりをしたり、気がついたらかくれんぼをしていたり。みんなそれぞれに歓声をあげていました。あまり時間がなかったのが残念。一日がかりで来て楽しめそう。ぼくはもう一回ちゃんと絵を見に来たいなあ...

ぼくはこの映画を去年の夏にビデオで見たのだけれど、「ちゃんと映画館にいけば良かったな。」と思ったほどでした。親子関係の描写や、失敗した千尋をねぎらうところ、元気になったら涙が出てしまうなどなど一つ一つが、見ていて自然と何とも言えない気分させました。だけど、単純にあゝこれはいい映画だなと思えたかな。今度はおかねてから提案されているジブリの森に行かなきゃね。

3. フレ熊便り 熊谷・かおりん

流行中

今一番アツク流行中!といえ、あのお菓子でもあのドラマでもなく、「インフルエンザ」ニュースや新聞を見ると、かなりの猛威を振るっていることが伝わってくる。

「手洗った?うがいした?」とみんなに声をかけつつ自分でもしていたのに、この週末は鼻水とせきくしゃみが止まらない。声は女とはとても思えないようなガラガラ。熱はないのでまだ平気だけど...。やっぱり辛い。健康第一。体調を崩してこそ実感するものだ。

昨日の晩ご飯は?

今日の木幡さんの授業は、「昨日の晩ご飯は?」という質問から始まった。

「あんかけ焼きそばと中華スープ。」とユータ君。

「みそ煮込みうどん。」としーちゃん。

「俺は、よせ鍋とうどんと、たくあんでしょ。」きぐちゃん。
 「チンジャオロースにとろろ芋、塩辛とご飯と味噌汁。」
 はスタかおり。
 「この中に共通しているものは？」
 「メインは何？」
 「ご飯？」
 「そうだね。ごはんとか焼きそばとかうどんと言った炭水化物って言われているものだね。それを食べるためにおかずがあるよね。」
 と木幡さんの質問は続く。
 「じゃあ、ヨーロッパの人の食事のメインは何？」
 「ピザ？スパゲッティー？」「パスタ？」
 「じゃあ、それが本当かどうか、本で見よう。」
 すると違う。フランス料理のコースを考えてみるとメインが何かわかる。
 「なんで、同じ人間なのに食べるものが違うの？」
 と今日一番の木幡さんの質問。みんなの顔には「？」「？？」が並ぶ。その「？？」を解決するために、木幡さんが地図帳や雨温図で説明。
 最後に木幡さんから、
 「気候・風土によって衣・食・住といった生活形態が決まる。ものごとの考え方もそうだ。歴史や政治といったものもその上に成り立っている。だから、地理を学ぶことは、県庁所在地がどこかそういう問題じゃないんだよ。」と。
 ずっと地理がすきになれなかったけれど、今日のことばにはぐっときました。そう考えると、地理に対する心構えも変わってくるね。

=====

==== デイリー・フレネ =====

----- VOL/0627----- 2003/01/28

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

1. ジャパンフレネのお子様達
2. 東京は雨 新宿便り・テッシー
3. 熊谷は雪 熊谷便り・かおりん

=====

今日はなんの日
 1687 生類憐れみの令発令
 今日の花言葉
 黒ボプラ「勇気」
 今日のは誰の誕生日
 三浦友和(1952 AB型)
 小松左京(作家 1931)
 今日の名言
 「小生は今日迄ただの夏目なにがしとして世を渡ってまいりましたし、是から先も矢張りただの夏目なにがしで暮らしたい希望を持って居ります。...右の次第故、学位授与の儀は御辞退致したいと思ひます。」
 夏目漱石
 官製の栄誉は学問や芸術の自由な発展を妨げると文部省にたてつき、文学博士号を辞退。
 - 1. ジャパンフレネのお子様達
 お茶目なたかちゃん(1)
 「今度、たかちゃんちの近くに引っ越すよ」
 「ことわる！」
 ぼくとのやりとり、たかちゃんの顔は笑っている。
 「あ！そんなこというやつは退会だなあ」

僕の顔も笑っている。
 「ホワイトボードに書きゃあ」
 たかひろ、1月27日をもって退会と処す。
 ジャパンフレネ代表 木幡寛
 「あ！よせよ！」
 たかちゃん、黒板消しで必死に消そうとする。小さいのでジャンプしながら...。JFが好きなんだね。周りにいたお兄ちゃんたち、爆笑。
 用事があるって、木幡早退。
 「じゃあ、また明日ね！」
 「もう来なくていいよ」
 「あ、そ！」
 笑い会う二人。
 木幡53歳、たかちゃん11歳です。
 お茶目なたかちゃん(2)
 「おれって、タレントことならなんでも知ってるよ」
 お昼を食べながら自慢するたかちゃん。
 それを小耳にはさんだ木幡、すかさず「フランク永井、知ってる？」
 「そんな人知らないよ」
 「じゃあ、ピンカラ兄弟は？」
 「誰、それ？」
 周りの子ども達、爆笑。
 「じゃあ、最後ね。石原裕次郎」
 「それは知っている」
 なるほど、限定付きなんだねえ。木幡の質問もマニアック？
 目指せ大検！頑張れ、やまちゃん
 周君、正太郎君、きぐちゃんの3人はすでに大検合格。けんご君は世界史1科目を残すのみ。そして、やまちゃんは、数学と理科2科目。
 「木幡さん、数学をやろうよ！」
 待ってたんだよ、その言葉。しばらくは笛吹けど踊らずの状態だったけれど、ようやく自分で動けるようになってきた。
 「世界史もやりたいなあこれは、けんご君と一緒にやるそうだよ。」
 いいね、いいねえ！そういう姿を見て、小さい子達も学んでいくんだねえ。
 2. 東京は雨 新宿便り・テッシー
 今日、天気予報では雪から雨。朝起きてカーテンを開けると雪ではなくて雨でした。どうせ寒いのなら雪でもいいなと思って眠っていたので少し残念。
 では、きょうのみんな
 毎週月曜は静かな日？
 今日も人数が少ない。月曜日はやっぱりみんなの足は重いのかな。人数が少ないので特に何をするという雰囲気もなく。
 山ちゃんは英語のプリント。先週やったところのおさらいだったけれど、完璧だね。この調子。
 しばらくすると男の子達はお出かけ。そうするともうホントに人が少ない。たかちゃんは、ダンボール、ストローなどを使って車作り。ポラ・ウッチーはプラモデルで車作り。
 ぼくは何するという事もなくギター。
 「翼をくださいを歌おうよ。」とたかちゃん。
 みんなで口ずさむ。
 その後も、「地上の星がいい。」などなど。

「中島みゆきはやっぱりいいねえ。」というと、
 「他の歌は知らないよ。」だって。むう...。
 その後もサザンやオフコースなど気の向くままに。
 「図書館でも行こうか。」
 「今日は休みだよ。」
 なんて調子でゆっくり一日が終わりました。

3. 熊谷は雪 熊谷便り・かおりん
 雪...

朝、フレネにつくと木曜日に作った雪だるまがいなくなっていた。残ったのは手袋とマフラー。抜け殻のような跡を見て、「淋しいな。」と思っていたら、午前中熊谷では雪になった。今年になって何度目の雪だるまか。

「雪だしみんな大丈夫かな。」と水野さんも心配していたけれど、みんな元気にやってきた。その頃には雪は雨に。

「たまに降るといいけれど、こう何度も降るとさみーし、面倒だ。」というきぐちゃん。本当に寒いのはこりごり。夕方、新宿に連絡を入れたら、今日は雪の「ゆ」の字もなかったらしい。熊谷って、そんなに寒いのか???

カルボナーラ

今日のものづくりは「ぐにゃぐにゃん」づくり。素材はゴミ袋。骨が2本平行に並び、その名の通りぐにゃぐにゃしている。ビニール袋を切って骨となる竹ひごを張るだけだからとても簡単。

みんな模様や大きさを一工夫。りょう君は自分のお気に入りなことばを書き込む。ユータ君はゲゲゲのきたろう(ってもう古い!?)のイッタンモメンのようななぐーいんを作る。

「あたしのは、まる吉号。」とスタかおり。

「いかにも飛ばなそうですね。」とエリ君。

「それなら、いっそのこと『タイタニック』とかにしてみました。」だってさ。キーくやしい。

そんなエリ君は、

「竹ひごの部分をスパゲッティでやったらどうなるんだろう?」となんと骨の部分をスパゲッティにした。「いっそのこと茹でてしまえば、本当のぐにゃぐにゃんだね。」と。

自分の凧の名前に悩むエリ君。

「カルボナーラとかペペロンチーノにしたら?スパゲッティだしさ。」と突っ込まれる。

わいわいとみんなの凧が完成した。しかし、あいにくの雨で飛ばすことは出来なかった。今度のお散歩では是非飛ばそう!ちゃんと飛ばかな。楽しみだね。

=====

===== デイリー・フレネ =====

----- VOL/0628----- 2003/01/29

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

- 1. ハイテンションな一日
- 2. サタディースクールにて 湘南・茅ヶ崎
- 3. 本日のおすすめ

=====

今日はなんの日

1872 初の全国戸籍調査、総人口約3300万人

今日の花言葉

こけ「母性愛」

今日は誰の誕生日

キャサリン・ロス(女優 米 1943)

チェーホフ(作家 露 1860)

ロマン・ローラン(作家 仏 1866)

今日の名言

「空中独り唱す白雲の吟」

夏目漱石

死ぬ二十日前に作った最後の漢詩の最後の行。

- 1. ハイテンションな一日

火曜日は子どもたちの数が多い。人が多いと自然とテンションも高くなる。そうすると楽しい会話も増えてくる。

お相撲大会

「木幡さん、たかちゃん、話があるって。言っ

てごらん」テッシーにうながされ、

「球技大会をやりたいたいんだけど...」

「いいね、いいねえ!」

先刻のミーティングで、来年度の行事について

提案を出してほしいことを話したのだ。さっそく、

たかちゃんから出てきて、嬉しいなあ!

「お相撲大会とか、どう?国技館を貸してもら

ってさあ」(たかちゃんのお父さんは、相撲協会関係者)

「無理、無理。絶対無理」

「フレネに太った人がいないから無理じゃん」

と、さきちゃん。

「ジェイシーがいるじゃん」(笑)

ぼくの言葉を受けて、たかちゃん、

「けんご君もいるよ」(大爆笑)

いやあ、実に和むなあ...

実験の結果

「木幡さん、家で実験やったよ」と、もえちゃん。

弟・しょう君に送った教材「ジャガイモは水に浮くか?」にさっそくチャレンジしてみたい。

「水に塩を入れて浮かして、お砂糖でもやってみたんだよ!」

「浮いた?」

「浮いたよ。お味噌も入れてみたし、牛乳でも。お

味噌は浮かなかったなあ。そのあと、ジャガイモのお味噌汁を作って、飲んだの」(笑)

卵を塩にくるんで塩卵も作って食べたそう。

「いいこと教えてあげるね。新鮮ないかを買ってき

てね、いかのわたを塩でくるんで一日置くの。そうすると、包丁でスライスできるようになるの。酒のつまみに最高!」

「お父さん向けだね」(笑)

これまた、和むなあ...

2. サタディースクールにて 湘南・茅ヶ崎

毎月2回行っている湘南サタディースクール。顔ぶれもほぼ定着。気心もわかり、楽しい授業が進む。

先週は、「簡単手作り版画」でカレンダー作り。アルミシートにボールペンで好きな絵書き、インクを乗せたあと和紙にアルミシートを置き、パレンでこするだけ。乾かして手製のカレンダーにはりつけると、お

お!簡単にカレンダーが!

うまくすれるかあ...と不安げな子ども達。うまくすれたときのこっとなんていい顔。これが嬉しくて湘南にくるんだなあ。

湘南サタディースクールのお問い合わせは、JF新宿ま

でお願いいたします。

3. 本日のおすすめ

「ノーベル賞受賞者にきく子どものなぜ? なに?」
 ベッティーナ・シュティーケル 主婦の友社1680円
 「どうして1 たす1 は2なの?」「空気がなあに?」
 親では答えられない難問にその道の天才たちが答えます。
 おもしろいよ!

===== デイリー・フレネ =====

----- VOL/0629----- 2003/02/3

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

- 1. ジャパンフレネあれこれ
- 2. 美沙ちゃんの本が推薦図書に!
- 3. 今月のジャパンフレネ

=====

今日はなんの日

1901 慶応義塾創設者・福沢諭吉没

今日の花言葉

たねつけばな「君に捧げる」

今日は誰の誕生日

メンデルスゾーン(音楽家 独 1809)

今日の名言

「宙宇は絶えずわれらによって変化する。誰が誰よりどうだとか、誰の仕事がどうしたとか、そんなことをあっているひまがあるか」

『生徒諸君に寄せる』 宮澤賢治

- 木幡の引っ越しのため、先週の木金、デイリーフレネを発信することができませんでした。申し訳ありません。本日より、平常に戻ります。

1. ジャパンフレネあれこれ

ティッシュに電話

忙しい忙しい、鼻炎で鼻水ずるずるの木幡。
 リーンリーンと電話。熊谷・かおりんから手島(テッシー)君に事務連絡。

木幡「ティッシュ! 電話だよ!」
 それを聞いていた子ども達「テッシーはいるけれどティッシュなんかいないよ」と、大爆笑!

「カバ」で帰る...ごめんなさい...

熊谷サタディースクールでのこと。JF熊谷に行くや「はげたねえ。はげはげ」と、かずき。相変わらずだなあ。

授業は「Who am I?」背中に張ってある紙にものや動物の名前。それを質問で当てる。まず練習。木幡が見本を見せる。

「動物ですか?」

「はい!」

「大きいですか?」

「はい!」

こんな感じで進み、

「水の中にいますか?」

「はい!」

「それは2文字ですか?」

「はいはい!」

「それはかずきの反対ですか?」

みんな大爆笑しながら「はい!!!」

「それはカバです」

「大正解!」

こんな感じで次の授業に進もうとしていたら、

「ぼく、帰る...」とかずき。

「えっ? どうしたの?」

かずき、いじけ気味に退出。

「冗談を冗談に受け取らないんだから。自分はおつと言うくせに」と、かずきママ。

ああ、そうか。かずきの反対 バカの反対 = カバ...

。ちょっとした冗談がかずきを傷つけたんだなあ。

木幡、深く反省...

あとで戻ってきたかずきに、謝ったのはもちろんです。

またもや、かずきネタ

JF熊谷にチョコQのおまけ、動物のフィギュアがたくさん。

「これって、海洋堂っていう有名なフィギュアメーカーが作っていて、結構プレミアがつくのよねえ」とかずきママ。

「ツチノコなんて、二万個に一つしか入ってなくて、2万円のプレミアがついたのよ。それが家にあったの。

ところがかずきがツチノコのベロを取っちゃったのよ」

「それでどうしたの?」

「思わず『バカ!』って言ったわよ。」

大爆笑。

バカに関しては、さっきのさっきだもんなあ...

2. 美沙ちゃんの本が推薦図書に!

元会員の美沙ちゃんが昨年、詩集を自費出版しました。このたび推薦図書に選出され、新たに版元が付き、再出版されることになりました。

おめでとう!

「美沙のポエム」

発売「星雲社」著者「鶴 美沙」

定価1300円+消費税

-----お母さんからのメッセージ
 娘の美沙は16歳。心臓疾患のあるダウン症です。障害を含め、自分に与えられたものをおまに受け入れ、その中で楽しみを見つけて生きている。自分自身・周囲の人・自然、それらを認め尊重し合い共に生きる事の素晴らしさを私に教えてくれている。

そんな美沙が10歳前後のころに書いた詩や絵をまとめて「美沙のポエム」という本を、昨年7月に作りました。表紙の色と紙質は美沙が選びました。そして仔細あってドイツ語訳付きです。<私はドイツ語全くわかりません>

色々な方が感動と生きる喜びを感じてくださいました。また、ドイツ語圏の「日本資料図書館」のある大学など15ヶ所に贈呈したところ、心のこもったお手紙を戴きました。

ボン大学からは、学生さんの妹さんがダウン症でそのご家族にも差し上げたい、との嬉しいご依頼を戴き送りました。この子達が「世界を結ぶ架け橋にもなるようだ」とオーヴァーに喜んでいました。その本がこの度「日本知的障害福祉連盟」の選書となり表紙とはまた趣の異なるカヴァーを付けて書店の文芸コーナーに並べました。もっとも無名人なので置いていない書店も多いのですが、人様との輪がさらに広がるのが楽しみです。

本を通して一人でも多くの方に生きる喜びを感じて欲しい。ダウン症など障害を身近に感じて欲しい。

そんな気持ちです。

また、本の売上は、美沙がお世話になっている各機関に寄付させて戴いています。「私」という窓口を通して皆様の心が繋がってなにかの役に立てたら素敵だな、とも思っています。

美沙の母

以前行われた美沙ちゃんの個展でエッチングを購入しました。それはそれはすてきなラインで眺めていても全然飽きません。

そんな美沙ちゃんの詩集、ぜひ読んで見て下さい。

お申し込みはジャパンフレネまで

3. 今月のジャパンフレネ

2月のジャパンフレネのイベント、および、木幡が関わる会のお知らせです。興味関心を持たれた会がありましたら、ぜひお誘い合わせの上、お集まりください。

以下に関する問い合わせは、明記されているもの以外はジャパンフレネにお願いします。

木幡の講演など

三鷹市市民大学

日時：2月7日(金)午前10時～12時

会場：三鷹市社会教育会館

下連雀6-13-13

内容：「フレネフリースクールとは？」

授業や実験を入れながらの楽しい講演です。

授業作りのあれこれ

学習研究会

日時：2月10日(月)午後3時半～5時

会場：山梨県六郷町立六郷小

内容：授業作りのあれこれ

湘南サタディースクール

ジャパンフレネがお贈りする楽しい授業に参加しませんか？お待ちしております。

【日時と内容】いずれも午前10時～12時

2月8日(土)「おもしろ科学実験の数々」

2月15日(土)「似顔絵ごっこでお写真遊び！」

3月8日(土)「紙芝居を使ってゲーム」

3月15日(土)「驚きの『矢印パズル』作り」

【参加費】1回1500円

材料実費は別途集めさせていただきます

【定員】10名

【会場】茅ヶ崎市勤労市民会館会議室

【問い合わせ申し込み先】ジャパンフレネ

Tel 03-3352-3135 Fax 03-3352-3039

e-mail sinjuku@jfreinet.com

詳細を郵送、メールいたします

熊谷サタディースクール

おもしろビックリな授業が待っているよ！

2月08日 偶然から出来る彫塑 take3

いよいよ本物の粘土を作って形を作る

よ。そして野焼きでテラコッタ作り。

2月15日 思いっきりフィンガーペイント

指もペイント用具。しっかり使って、

からだでArt。

会場：ジャパンフレネ熊谷

〒360-0043 熊谷市星川 2-17

048-528-3501

対象：小学生から大人までどなたでも

募集人員 毎回15名 先着順

会費：1回1500円 3回通しは3500円/月

初回のみ入会金として3000円。

今までサタディースクールに参加した方は半額(1500円)になります。材料費として、1回につき700円申し受けます。

(一括納入の場合は割引あり。)

お支払いいただいた入会費・会費・通信費などはお返しする事は出来ません。あらかじめご承知置き下さい。

申し込み方法 電話・FAX・メールでジャパンフレネ熊谷まで！

新宿「BASIC」定例学習会

毎月第4土曜日の午後1時半から行われています。

日時：2月22日(土)午後1時30分～5時

会場：ジャパンフレネ新宿

内容：「対話」を目指す授業、そのために必要な力の獲得方法。各教科授業レシピの検討など。

参加費：1000円(JF会員無料)

湘南「BASIC」定例学習会

毎月第2土曜日の午後2時から授業づくりのあれこれを考えます。

日時/2月8日(土)14:00～17:00

会場/茅ヶ崎市勤労市民会館

*1F案内表示は、「選択登校を考える会」となっています。

参加費/2000円

(年間は、一括10000円)

内容/授業レシピを使った

ワークショップ

BASICでは、基礎・基本を問い直し、新しい授業の展開を進めています。今回は、素材をもとにして授業レシピをつくることをやってみましょう

山梨「BASIC」定例学習会

基礎基本を獲得するための授業づくりのプランを作成しています。

日時：2月10日(金)午後6時～8時

会場：西八代郡六郷町六郷小学校

=====

===== デイリー・フレネ =====

----- VOL/0630----- 2003/02/04

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

1. ジェイシーとの会話
2. 豆まきな一日 新宿編・テッシー
3. 豆まきな一日 熊谷編・かおりん

=====

今日はなんの日

1861 アメリカ南部11州が合衆国から脱退、アメリカ連邦を結成し南北戦争起こる

今日の花言葉

さくら草(赤)「美の秘密」

今日は誰の誕生日

小泉今日子(1966 O型)

リンドパーク（飛行家 米 1902）

今日の名言

「人生は一行のポオドレイルにしかすぎない」

芥川竜之介

- 1. ジェイシーとの会話

面接練習編

「では、受験番号と名前を言って下さい」

「受験番号31番...」

「さっき30番ってことにしたんじゃない？」

「あ、そうか！」

「自宅からここまでの経路を言って下さい」

「ええーと」

「『ええーと』はだめ」

「どうしてこの高校を受験したの？志望動機は？」

「.....」

「この高校でやってみたいクラブは？」

「サッカー」

「どうして？」

「スポーツといえばサッカーでしょう！バスケみたいにならんとちょっと触るとファールなんてのは、男のスポーツじゃないっしょ！」

こんな感じで面接の練習をしているジェイシーです。

蔵書編

「引越していただいて本を捨てただけだけど、それでもダンボール60箱分あったなあ。JFのも入れるとその倍以上になるかなあ」

どうしてそんなにあるの？おれなんか漫画を入れても1箱もないよ」と、ジェイシー。

「それはねえ、勉強したからだよ」

「えーっ？本当？」

にやっつと笑ってぼくを見るジェイシーです。

2. 豆まきな一日 新宿編・テッシー

10年ぶりにみんなとモノポリー。午後には、ひいちゃん、さきちゃん、たかちゃん、ボラ・ウッチーとバトミントン。いつもと同じで人数の少ない月曜日だったけれど、楽しい一日でした。

みんなでわいわいやるのってやっぱりいいなあ。

豆まき

すっかり忘れていたけれど、今日は節分。ひいちゃん、さきちゃんが豆を買い出し。

いざ始めるぞ！って雰囲気だけど、鬼のお面もっているたかちゃんはなかなかかぶらず...。待ちきれずみんな豆合戦開始。

「鬼は外！」なんて掛け声はどこへ。みんな、

「このっ！」とか。

ぼくなんて気がつくと頭の上に豆がのっけられている。

「鳥の巣みたい...。」って。これこれ。

さらには、

「ブルは30粒食べるんでしょ？」って。

まだ24歳だよ！

木幡さんは、

「こういう攻撃もある。」なんて鼻に詰めていたり。

「当てちゃえ！当てちゃえ！」って集中攻撃。

大変なのは後片付け。豆だらけ。しかもみんな走り回ってやっていたもんだからつぶれているし。みんなで掃除もできました。これで今年もいいことがたくさんあるかな？

昨日の夜は何時に寝た？

みんなで話をしていたら、ふとしたところから昨日の睡眠時間についての話題に。

「私は2時だよ。」とさきちゃん。

「やった！私3時！」とひいちゃん。

「いや、私4時だし。」とあやちゃん。

みんな、「負けた！」だって。

「なんか寝た時間で勝負しているなんて小学生みたい...。」とぼそつ。

ちなみにぼくはなんと8時。ちょっと昼寝(?)が気がついたら1時に。急いで風呂に入って、再び床についたのが1時半。なんだか寝疲れの一日でした。

3. 豆まきな一日 熊谷編・かおりん

豆まきだ!!!

今日は節分。もちろん豆まきだ！ポラナナちゃんに豆をたくさん買ってきてもらった。

勉強していたきぐちゃんも、

「みんなでやりたいよね。早く終わらせよう！」

「今日は早く帰らないとだけど、もう少しなら平気。」

りりちゃん。

「思いっきり投げちゃっていいんでしょ。豆。」とユータ君。みんな豆まきが楽しみのようだ。

豆を煎って、豆を入れる箱を作って準備は万端。何で節分を行うのかも軽く説明。みんなはうずうず。

エンマ様

節分のやり方を調べたら、豆をまく人は年男女や家の主が投げるらしい。

「あたし年女だからもってこいじゃん！」

と意気込んだスタかおりだけど...。誰が鬼役をやるかということになった。

「え、やっぱ吉田さんでしょ。」

「かおりちゃんじゃん。」

年女で投げる役のはずなのに。

「鬼っていうよりも、エンマ様？」

「鬼のお面いらないよねえ。」とコソコソ言っているし...

えーい、うるさい。かっかってこいと豆まき開始。

「鬼は--外！福は--内！」

どころか、豆のばちばち言う音が、フレネ内に響く。痛たた。

こっちも負けてられない。なんてやっているうちに、豆まきが、豆合戦？机の下に隠れて身を防御する子もいる。思いっきり豆を投げる子もいるし...

日頃の運動不足を発散するかのごとく、白熱した豆まきだった。

掃除機

終わってみれば、フレネ内は豆だらけ。つぶれた豆やら散々な状態。だけど、ここはみんなのいいところ。

「自分たちでやったからな。」と豆をせっせと集めている。

「あたし、掃除機かけるの好きだからいいよ！」としーちゃんはフレネ内全部を掃除機をかけてくれた。

「ジャラジャラ吸っているのがたまらないんだよね。」って。

最後に、掃除機の中のごみパックをのぞいて見たら...

やっぱりそこは豆だらけだった。

豆を年の数以上に食べ、福茶も飲んでこれで今年一年元気に過ごせるといいね。

=====

===== デイリー・フレネ =====

----- VOL/0631----- 2003/02/05

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

1. テッシー危機一発！
2. 子ども達あれこれ...
3. 静のハワイ便り(1)

=====

今日はなんの日
 1862 小学校設置令公布、小学校の開設を奨励
 今日の花言葉
 しだ 「愛らしさ」
 今日のは誰の誕生日
 大地真央(1956 B型)
 今日の名言
 「やや長きキスを交わして別れ来し 深夜の町の遠き火事かな」

石川啄木の句

- 1. テッシー危機一発！
 深夜、テッシーからメール。ジンマシンが出たらしい。病院に行くので、朝のスペース開けは急遽木幡が。ちょっと遅れていくと、エレベーター前にすでに10名が待っている。
 「遅いよ！」
 「テッシーはどうしたの？」
 「テッシーはね、入院！」
 「えー！」「本当」「は、しません」
 しかし、「しません」がいつのまにか「する」に変化して伝わって...。テッシーが病院から戻ってきたら
 「テッシー！入院じゃなかったの？」
 いやあ、良かった良かった！テッシーがいないと本当に困る木幡と子ども達です。

2. 子ども達あれこれ...
 ゆーびん！
 「木幡さん、ゆーびん！これって明かに飲み屋からだな」
 おいおい、中身を読むなよ。新宿の牛タンとテールの店「平次」の店舗移転のお知らせでした。

学習に目覚めた
 「木幡さん、数学やろうよ。」と、やまちゃん。
 あっという間に連立方程式の文章問題を終了！
 ミーティングでも「午前中は静かにしてよ。声がキンキンしていらいらするよ」
 半年前と立場が逆転の発言。これも一つの成長です。
 お風呂の理由？
 「木幡さん、スキーに行った時、一緒にお風呂には入ろうよ！」と、りょうすけ。
 「いいよ。どうして？」
 「だって、ちんこ、でっかいから」
 「バカー！」「変態！」
 女の子達から総すかん...

お料理
 実行委員会によるお料理とお散歩の提案。
 「けんご君は、実行委員なのに会議に参加しなかったの
 で、実行委員会を助命します」
 「忘れてた。ジェイシーは出てたの？」
 「10時にちゃんと来てたよ」
 「えーマジ？」
 そんなこんなでお料理とお散歩の発表。
 お料理では「エンパナーダ」の提案？
 「それなあに？」

「南米風のミートパイかな？」
 議長のさきちゃん、ホワイトボードに...、「ナンパ野郎」と書く。まあ、似たようなものか？んなわけない！
 3. 静のハワイ便り(1)

元ボラ・静ちゃんがハワイに留学。ハワイからのお便り、連載します。

 いかがお過ごしですか。ハワイは土曜日の午後6時30分。今日は大学のアクティビティー(毎週末主に寮の生徒向けに企画される遠足?のようなもの)で、オニツカスペースセンターというところに行ってきた。折しもコロンビアの事故が伝えられたその日であることもあり、センターは報道関係の人がたくさん。私たちも大学の生徒ということでインタビューをされたりしてなんだかどきどきでした。施設自体は空港の横にある小さなものですが、スペースシャトルの歴史などを説明する資料などがおかれていて、模型などもあり、子供の方がたのしめるかもという感じのところでした。授業が始まり3週間。少しずついろいろなことになれてきたように思います。

キャンプ
 先週末はハワイ島の反対側、リゾート地のコナにキャンプに行ってきた。風が強くてさざんげな目に遭いました。一緒に行った女の子たちが何人か沖に流され、ライフガードのお世話になりました。女の子たちは「注意しなね。フィンつけずに沖に行っちゃだめだよ」と言われたくらいですんだのですが、同行していた男の子たちが「もっと気をつけなきゃだめだろう！何で目を離したんだ！」とひどく怒られすねてしまい、グループの男女仲が一時険悪になりました。ライフガードが男の子たちを叱りつけた、というところになんとかアメリカを感じてしまいました。まだよく知りもしない人たちとキャンプなんて、と思われるかもしれませんが、彼らは皆バプテスト教会のメンバー。とても戒律の厳しいキリスト教の教派の人たち(両親の教会とは違います)なので、安心して参加できました。先週の海洋学実習の授業は早速船に乗ってまさしく「実習」でした。実習の授業では半分くらい海にでてのデータ収集とその手法などを学びます。(続く)

=====

===== デイリー・フレネ =====

----- VOL/0632----- 2003/02/06

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

1. ジャパンフレネあれこれ
2. フレ熊便り かおりん
3. 静のハワイ便り(2)

=====

今日はなんの日
 1937 戦時下、駅名からローマ字が消える
 今日の花言葉
 いわれんげ「家事に勤勉」

今日は誰の誕生日
ベーブ・ルース(野球 米 1895)
今日の名言

「ひざを屈して生きるより、足で立って死のう！ノーパ
サラン！」

イバルリア(スペイン人民戦線共和国政府の女性活動家)

フランコ反乱軍に対するラジオでの呼びかけ。ノーパサ
ラン(やつらを通すな)がこれ以来抵抗運動の合言葉となる。
以来、世界各国から誰に頼まれたわけでもないのに、自発
的に理想を求めて若者が義勇軍としてスペインに集まる。
今から66年前の話である。

- 1. ジャパンフレネあれこれ

不登校のハンディー

引越しの片づけをしていたら、携帯電話の着信音。

「もしもし、今、大変なことに気づいたの！高校の
入試に自己申告書が必要な！大至急なの」

「大至急っていつまで？」

「すぐ！今すぐ！今日中！」

「ええーっ！」

一般入試には必要ないのかもしれないが、特別枠に
は必要とのこと。内容は、「何故、特別枠を受験し
たのか？」、「この学科を志望した理由は？」

「じゃあね、今からアドヴァイスするからそれをも
とに書いてごらん」

「うん、わかった」

不登校のハンディキャップは、こういう所に出てく
る。学校に行っていないので学習や生活の内申が出
ないのだ(「フリースクールでの活動を書いて下さ
い。それを記載します」という学校もまれに有る)。
かつて私立校に勤務していた時様々な内申書が送ら
れてきた。不登校児童・生徒の内申書のパターンは、
次のようになる。

不登校のため成績評価できず

全教科オール1

まれに(大阪の高槻市のみ)「5段階の成績評価
は採用していないので、不登校・登校に関わらず
記載できず」

欧米のようにフリースクールやホームエデュケーショ
ンが認知されるのはいつの日のことか...

大騒ぎの「お帰り」です

「りょうすけ、もう帰ったら？5時過ぎだよ」

テッシーの呼びかけにもかかわらず、

「ねえ、木幡さん！今これやってるんだけどあつ
てる？」1桁の数字を三つたす連算。

「いつも言ってるでしょ。そういうのは午前中にや
りなさいって」

再度テッシーの促しも我関せず。

りょうすけに算数を教えていたまっつぁんに、

「ほら、引越しの後片付けしていたら、こんなパ
ズルが出てきた。まっつぁん、やったことあるでし
ょう」

「ぼくにやらせて！」と、りょうすけ。

「パズルはいいから、お帰りの仕度をしなさいよ」

また、また、テッシー。

やり方を忘れたまっつぁんに、やり方をそつと教え
ようとしたら、

「どうして、ぼくには教えてくれないの？」

「りょうすけ、パズルはねえ、自分で考えるからお
もしろいの。それに今、おかつづけでしょ？」
後片付けをしながらもきょろきょろこちをうかが
うりょうすけ。

「こっち来ちゃだめ！」

「ぼく、お道具とりに来ただけ！」

そういいながらもパズルをうかがう。

そんなこんなの大騒ぎをして、りょうすけが帰ったの
は6時過ぎ。帰り際、「遅くなったのはねえ...」、ち
ゃんとお母さんに言い訳していました。

2. フレ熊便り かおりん

見てください。

「ねえ見て見て。」とシーちゃんが声をかける。

「一体なんだ？」とのぞいてみると、それは足の裏。
なぜか、異様に黄色い。

「みかん食べ過ぎたら、こんなになっちゃった。」
だそうなの。

「あの、これ見て下さい。」とエリ君から声がかかる。

「お弁当にからしが入っていたのですが、何に使っ
ていいのかわからない。コロケにからしってつけます？」

うーん。謎。

「ねえ、見てみて。」と私もコンビニで見つけた変な
おもちゃを見せる。

「また、変なものにはまっているの？」

なんて言われながらも、やっぱり反応が返ってくる
のは嬉しい。どんな些細なことでも、伝えたいと思
える相手がいるのは何気ないことでも、大事なこ
とだね。

小林サッカー

「あの、ちょっと前の映画で小林サッカーってありまし
たよね。」エリ君。

「????」

「あつたじゃないですか、サッカーするヤツ。」

「小林さんという人でもサッカーするの？」

「いや。」

と話がかみ合わず。「？」が飛び交う。

「それって、『少林サッカー』じゃない。」

少林寺拳法をやっている子どもがサッカーする映画。
(そんなだったかな...)

「小」と「少」違い。ちょっとの差だけど大きな違い。

3. 静のハワイ便り(2)

ハワイの大学に留学した元ボラ・静ちゃんからのお便りです。

授業

今期は英語のクラスの他、海洋生物学、海洋生物学
実習、海洋学実習、生物静力学分析(海洋科学で使
う統計学のようなもの?)を履修します。実習はほ
ぼ半分が海岸や船に乗って海にでて行われるとのこ
と。楽しみです。

アメリカの大学に来て一番驚いたのが、ひとつの授
業が週に何コマもあること。たとえば海洋生物学の
クラスは週に3日あります。多ければ週に5日ある
科目も!

日本の高校までの授業をイメージしてもらえばわ
りやすいかもしれません。だから、5科目もとると
スケジュールは結構埋まってしまい他の科目がとれ
なくなります。

とはいっても、どのクラスも毎回のよう宿題がで

るので(！)、それ以上とろうとしても物理的に不可能なんですけどね…。

そしてなんと朝8時から授業がはじまります！！
私は週に3回はその8時からの授業があり、朝型人間じゃなくても強制的に朝型にさせられます…。
今のところ、統計の授業では大学でやったことが、そのほかの授業ではダイビングのライセンスをとるときに講習で習ったことが大分支えになっています。

=====

===== デイリー・フレネ =====

----- VOL/0633----- 2003/02/07

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

- 1. ドーナツとコーヒーカップは同じ？
- 2. 復活テッシー！すかさず「お授業」！
- 3. 熊谷も「お授業」 かおりん

=====

今日はなんの日
1184 源氏と平家、一の谷の合戦
今日の花言葉
忘れな草「私を忘れないで」
今日は誰の誕生日
加護亜依(モーニング娘 1988 AB型)
今日の名言
「恋人として男と女とが違う点は、女は一日中恋愛をしていられるが、男は時々しかできないということである」

「月と六ペンス」サマセット・モーム
- 本日は「お授業」三連発！

1. ドーナツとコーヒーカップは同じ？
「では、油粘土を右手でつかみ、そのまま口に持って行って下さい」
「????」
「口を大きく開けて食べましょう！」
「ええっ！木幡さんやってみなよ！」
「いいよー」ガブリ！
「キャー！本当に食べた！」(大爆笑)
こんな風に始まった本日の「お授業」。まずは思い思いに粘土細工。できた作品を見せてもらいながら、「ほら、このボールとこのグローブは実は同じ仲間なんだよ」
グローブをぐちゃぐちゃつぶしてボール形に。
「せっかく作ったのにー！」
今日の「お授業」は「トポロジー」。形や大きさ、角度などにとらわれない幾何学。
「じゃあ、このドーナツとコーヒーカップは？」
「円があるから同じ？」
「そう！円からコーヒーカップを作ってみよう」
ドーナツ形の一方を伸ばしてくぼみを作る。
「ああ、そうか！」
しいちゃんは「ほら、私も作ったよ！まな板！」
すかさず木幡も「絵描きが使うパレット！」
「そんなパレットで描きたくない」(爆笑)
穴が二つあるものを作ってから、今度は平面図形「アルファベット」を考える。A～Zまでを仲間分け。例えば「C」と「W」は同じ仲間。伸ばせば1本の線分になる。
こんな風にトポロジーは、粘土やゴム膜、ゴムの

ひもの幾何学って考えてもいい。
最終的には有名な「ケーニヒスベルグの橋」の問題。

「ケーニヒスベルグの橋」の問題。
川にかかっている7つの橋を一度だけ通って散歩をすることが可能か？有名な数学者オイラーが不可能を証明した。
これもトポロジー。橋の大きさや途中の経路の長短など無視して単純な線と点でグラフ化し、要するに「一筆書き」可能かを問う。

あつという間の90分。いろんなパターンの一筆書きから、一筆書きの法則を発見した一日でした。
一人も飽きずに集中！こんな風にして身につけた力を「学力」って言うと思うけどな…。

2. 復活テッシー！すかさず「お授業」！
昨日は病院から出ると、「おいっ！早く来て勉強教えるんだぞ！」とさきちゃんから電話。フレネについてからも、「ブルさん英語。」と山ちゃん。さおりちゃんとも英語の復習。身体をぶっ壊している場合じゃないかと再確認です。ご迷惑をおかけしました。

ものづくりー版画
今日は水曜日。水曜は人が少ない。みんなそれぞれ勉強したり。ごそごそ探し物をしていると、版画用のゴム版発見。彫刻刀もあったので、りょう君と版画作り。

とは、言ってみたものの、「版画って何？」とりょう君。
版画の説明なんて簡単だけれど、大変なのが彫刻刀の使い方。

「抑える手は、削る手より後ろだからね。」と念を押す。
「わかってるよ！」とは言うものの、気がつく刃が自分のほうに向いていたり、ぼくの方に向いていたり…。危なっかしい。
作業をしていると電話。電話中に何だか強い視線を感じてふと目をやると、りょう君が指を持って、今にも泣きそうな顔をしている。

「どうした？切った？」とほぼ確信を持って聞くと、「結構痛いよぉ。」
傷を見ると指先から血が出ているけれど、そこまで大きくない。

「泣くな。男の子でしょ。」とありがちなセリフを言いながらバンソウコウ。
「もうやめる？」と聞くと、

「やる。」と一言。これで一安心。もう一度彫刻刀の使い方を確認。気がつけば、スイスイ削っている。できあがり、りょう君は電車。ぼくは花畑。なかなか。

買い物から帰ってきたたかちゃん、「ぼくもやりたかったな。」
ということで、明日も版画をやる事が決定です。

3. 熊谷も「お授業」 かおりん
私はなんでしょう？
「Who am I？」は、はい・いいえで答えられる質問をして情報を収集し自分は何であるかを推理していくゲーム。
今日はその逆。自分が何であるのかヒントを出し、相手に当ててもらおうゲーム。これではただのなぞな

ぞと同じ。これはちょっと違う。10個のヒントを出し、10個のヒントで当ててもらえなかったら、問題を作った人は0ポイント。

10個で相手にわからせるようにヒントを考えなければならぬので結構ヒント作りも難しい。多くのヒントで最後の最後に答えを当ててもらおうと、問題を作った人に多くのポイントが入る。逆に、少ないヒントで答えを当てると、当てた人にポイントが入る。例えば、「みかん」

- ・私はまるいものです。
- ・私は甘いものです。
- ・私はくだものです。
- ・私は冬食べます。

このような感じで、わかった時点で答えを！問題を作る人も、当てる人も燃える。面白かったのは、しーちゃん。

わたしは「水」が入っています。

「え、かっぱ？」

「ひざ？」

「違いマース。」

私は食べ物ではありません。

生きています

私は動物ではありませんが動きます。

私は6文字です。

「アマゾン川？」

「注射器？」

(とっさに6文字のものを見つけ出すみんなもすごい。)

私はめがねをかけています。

「あ！水野さんだ。」

「当たりー！！！」

みんな最初の「水」入っているで惑わされた。ヒントの文章を作るのは難しかったようだけれど、白熱したひと時だった。

デイリーフレネは月～金の平日刊です。JF、来週は水～金曜まで「スキー旅行」。デイリーフレネ10日(月)のみの発行です。

旅行後に「スキー旅行特集」を組んでお伝えしますね！

では、楽しい週末を！

チャオ&ラブ！

=====

==== デイリー・フレネ =====

----- VOL/0634----- 2002/02/10

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

1. 三鷹市民大学にて授業！大好評！
2. 江戸東京博物館に行ったよ！ 新宿
3. 「おすし」を作って食べた...美味しかった！ 熊谷

=====

今日はなんの日

1763 フランスがカナダ、インドの植民地をイギリスに割譲

今日の花言葉

じんちょうげ「えいこう」

今日は誰の誕生日

高橋英樹(1944 B型)

今日の名言

アンドレ「英雄のいない国は不幸だ！」

ガリレイ「英雄を必要とする国が不幸なんだ」

プレヒト『ガリレイの生涯』より

- 1. 三鷹市民大学にて授業！大好評！

久しぶりに三鷹に行った。社会教育の一環「市民大学」講座での授業だ。約20名の市民を前に、授業を交えながらの講演。

「学校とは？今、どういう力が必要なのか？」など、単に話だけでは伝わらないし、ぼく自身も楽しめない。だから、講演を依頼された時には、必ず授業込みで行うことにしている。

今回もそうで、あれこれ準備するものを頼んだ。

「何とか話だけ、あるいはビデオで代用できないか？」ということだったが、ようやく2000円ないの予算でOK!となった。

学校とフリースクールの違い、基礎・基本、ジャパンフレネの特質など2時間めいっぱい演技(?)した。

授業は定番の「大根切り」(モーメント)と「ジャガイモは水に浮くか？」(密度、あるいは比重)で参加者ものりものり、学校とは一味違う学びを経験したと思う。

「フリースクールといえは不登校の子どもが行くというイメージなんです...」という質問には、「いや、ジャパンフレネは不登校児童・生徒の救済センターという立場は取っていないんですよ。学校以外の学びの場です」と応えるのだが、学校は行かねばならない場所というイメージが払拭できないようだ。群馬のEさんのお便りを紹介しよう。

-----以下、転載。

新聞報道には“不登校児”復帰のプログラムが、連日形を異にしながら登場しています。放置できない状況によく気付いたのでしょう。

当局は、何故こどもたちが学校へ行かないのか、ではなく、どう首に縄を付ければ登校させられるか、という事に御執心。宥め脅し水辺へ運んだとて、水を飲むかどうかはわからないのに。

学校は「行くために在る」のではなく、「学ぶために在る」と、何故認識できないのでしょうか。学校へ行っても、学ぼうとしないこどもたちへ何故目を向けられないのでしょうか。問題の解決へ近づいているとは思えない行政指導に、現場の教師は反発しないのでしょうか。

-----以上、転載終了。

ジャスト2時間、いい運動をした後のような爽快感。三鷹駅南口の「江口」(中華ソバ専門店)でビールと五目ソバを食して新宿に戻る。

月曜日は、山梨県は六郷町で授業。フリースクールのほうが授業では進化しているぞ！

授業巡業の旅は続く...

2. 江戸東京博物館に行ったよ！ 新宿・テッシーもうすぐスキー。けれど何も準備をしていない状態。いろいろ揃えたりしなければならぬのに。防寒対策だけはしっかりと。

では、みんなの様子

お散歩ー江戸東京博物館

今日のお散歩は江戸東京博物館へ。目の前が両国国技館。たかちゃんのお父さんが国技館の案内をしてくれるとの話もあったのだけれど、今日は時間が足りなく敢え無く断念。んーもったいない！またの機会にぜひお願いしたいものです。

江戸東京博物館は江戸八百屋町展の最中というこ

ともあって人が多い。話を聞いてみると、版画の展示が主らしく、多数決でいろいろ体験できる常設展に決定。

中は大きな橋があったり、お屋敷があったり。江戸の模型や鹿鳴館の模型などなど、しっかり見たら一日がかりになりそう。

みんなは、千両箱の重さの体験や昔の自転車、かごに乗ってみたりといろいろ触れ合えるほうが良かったみたい。

「テッシーもこれ持ち上げてよ。」といわれたのが肥だる二つ。みんな両肩に支えの棒を通して持ち上げている。

「じゃあ、おれは片方の肩で...。」なんて調子に乗ったら腰がグキ。

「ハハハ！ジジイ。」なんて。あんまりだ！

展示もおもしろかったけれど、ぼくが気になったのは他に見物に来ている子。10校近くは来ているんじゃないかというくらいに小中学生がたくさん。みんな手には宿題らしき「しおり」。

どうみても飽きてしまっている子、やっぱり走りまわってしまっている子、先生に叱られて泣いている子...。うまく言えないけれど、妙な感覚に襲われました。自分にあっていること、自然でいられること。これが子どもにも大人にも大事だなというのが頭を過ぎりました。

3. 「おすし」を作って食べた...美味しかった！ 熊谷

金曜日はぼかぼかいつもよりも暖かかった。やっぱり暖かい日はいい。とは言いつつも、来週はスキー。偶然見かけたスキー場の積雪量。野沢温泉は350cmだった...。一体どんな世界が広がるのだろう。寒いだろうなあ。

お料理の授業 おすし

今日のお料理は「お寿司」手巻き・にぎり・太巻き・ちらし。何でもあり。ネタは何にする？と盛り上がる。

「マグロ！」

「いか！」

「たこ！」

「大トロ！」って一体いくらするのやら。

「コンビーフ！」という声もあがる。

TVを見ていたらやっついて試してみたいそう。ネタを決めて買出し。残ったエリ君はお吸い物。お米を炊いたり準備は万端。ネタを切るだけなので買出し組みが戻るとあっという間に出来上がり。お吸い物はなんと星型の麩を入れた。とてもかわいらしい。思い思いにお好きなネタを巻いて食べる。話も盛り上がる。全員勢ぞろい。やっぱりみんなで食べるのはいいね。

卵焼き

お寿司用の厚焼き玉子はきぐちゃんが焼いてくれた。見た目は卵が何層にもなっていてすごく上手。仕上げはまきすで形を整える丁寧さ。しかし、食べてみると・・・。

「卵焼きなのに、卵の味がしない...。塩っ辛い。」

「でしょ。調味料の分量間違えたんだよね。味付け以外は完璧でしょ。」ときぐちゃん。

一番重要なのは味付けだよ！もう。

自業自得

手巻き寿司をすると必ずいる。ワサビをたくさん入

れる子。「絵の具じゃないんだからさあ。」といわんばかりにムニムニと出している。

「誰か食べませんか。僕が作りました。ワサビ巻きて言うのもありますし。」とエリ君。

「いるわけないよ。」

「じゃあ仕方ない。」とパクッと自分で食べたが...。げほっ。げほっ。むせる・泣く・トイレにこもる。

「自業自得って言うんだよね。」とみんな笑う。

けどなかなか出てこない。みんな心配。

やっとトイレから出てきたエリ君。

「今日、命日になるのかもしれない。」つぶやく。

「そんなことないよ。」となだめつつ、

「でもさ、死因が『ワサビ』って言うのもちょっと間抜けじゃない。」一同爆笑。

ワサビのつけすぎには気をつけましょう。

塩辛

スタかおりの密かなマイブームは塩辛。出来合いのものでなく、手作り。お酒のつまみではなく、ご飯にのっけて食べる。刺身用のイカを買ってきたので早速作る。イカを切ってハラワタと混ぜ塩を入れればあっという間。

「イカの中身ってこうなっているんだあ。」

「これ、目玉？」

「皮って剥くの大変だね。」

とイカの解剖のようになってしまったけれど完成。

少し冷蔵庫に入れておく。

「あの、食べてみたいんですけど。」とエリ君。

もぐもぐ。

「あ、おいしい！」

と言うことば通り。なかなかおいしく出来た。

柚子があればまた一味違うんだけどね。これがあるとご飯何杯でもいけるんだ。

バタバタと終わった1週間。来週はスキー。体調を整えてのぞみたい。それでは。

12日(水)～14日(金)まで「スキー体験旅行」で、新宿・熊谷ともスペースは閉鎖しています。したがってデイリーフレネもお休みです。

17日(月)また、お会いしましょう！楽しいスキー旅行のことを報告しますね！チャオ&ラブ！

=====

e-mail : sinjyuku@jfreinet.com

URL : <http://www.jfreinet.com>

=====

===== デイリー・フレネ =====

----- VOL/0635----- 2003/02/17

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

1. 野沢温泉に行ってきた！ スキー旅行！
2. 静のハワイ便り(3)
3. スキー前のフレネです

=====

今日はなんの日

1564 イタリア彫刻家ミケランジェロ死去

今日の花言葉

きんぼうげ「こどもらしさ」

今日は誰の誕生日

オノ・ヨーコ(1933)

ジョン・トラボルタ(俳優 米 1954)

今日の名言

「急な山を登りつめて頂上に腰をおろす旅人は
ほっと一息入れるのがもうかぎりない喜びだろ
うが、もし永久にそうやって休息していると無
理強いされたら、彼は幸福であるだろうか？」

『赤と黒』スタンダールより

- 1. 野沢温泉に行ってきた！ スキー旅行！
朝7時新宿集合なのに1時間前から来ていたけんご君。
楽しい行事の時は、みんな遅れずやってきます。
目指すは、野沢温泉スキー場！

ミッキーダウン...

インフルエンザの発熱でミッキーダウン。スキー
に行きたかったのに残念...

「私一人行っていいのか、悩んじゃったよ」と、
お姉ちゃんのひいちゃん。次があるぜ！ミッキー！

左手に見えますのは...

新宿副都心を通り、バスは関越道に入る。途中、
熊谷でJF熊谷の子ども達をひろい、野沢を目指す。

「皆様、左手をごらん下さい」と、とうこちゃん、
ガイドを始める。

「左手の真中に見えますのは、『中指』でございます」
全員、大爆笑！

食べる！食べる！

「次、どこに止まるの？」けんご君は30分ごとに
聞く。インターに降りたら、すかさず売店へ。お
握りやらフライドポテトや...、とにかく食べる。

「だって、腹減るんだもん」

それにしてもねえ...。ちなみにホテルでの夕食、みん
なが残した魚のフライを三人前を始め、肉系統をバク
バク！そして野菜系統は手付かず。

「典型的な肥満の食べ方だぞ」

「ほっといて」バクバク、バクバク...

雪に感動！

「スキーやるの初めての人？」

「はい！って言うか、こんなに雪があるのを見た
のは初めて！」

とうこちゃん大感動！

猫、飼ってるの？

ホテルで着替えてさあリフトへ！木幡、北海道生ま
れだけあって7年ぶりのスキーにもかわらず、す
ぐに雪になれ、ちょちょいのちょいとクリスチャニ
ア。

「木幡さん、頭の後ろに猫飼ってるの？とら、とら、
おいで」と、もえちゃん、ぼくの帽子のしっぽを引
っ張る。

ぼくの帽子は、ラビットの毛皮。そして後ろにはラ
ッコの尻尾がついている。熊谷ボラのやくし君も言
っていたなあ、「木幡さん、今日はすごいですねえ」
ふん、猫飼ってるんだい！

転びのテッシー

「ぼく、スキー苦手」と言いつつも、ボーゲンで中
級コースをクリアするテッシー。しかし、どうい
うわけか平坦なところでいつも転倒。

「ケガすると嫌だなあ」

「大丈夫、テッシーは平らなところでしか転ばないから」
言ってる。

一日目だけ上級

もえちゃんパパ・ママはかなり上手い。自信有る木
幡、「上級コース行きましょう」と誘う。

途中まですいすい行くが...、最後のコースが「こぶ」
だらけ...。こぶをこまめにターンする力がもう残って
いない。右足の裏がつって、ギブアップ...

やっぱり、一日目だけの上級だなあ...

スキースクール

スクールに入って指導を受けたのは、りょうすけ、
とうこちゃん、しゅん君、りょう君、りりちゃん。

「あっ、木幡さん！」

スキーの先をつないでボーゲンの練習をしているり
ょうすけ。初めてのスキーだけど滑られるようにな
ったね！

風になった...

正太郎君が直滑降で標識に激突！

幸運なことに標識の先は崖...、ぶつかなければ滑落
...、あるいは立ち木に激突...。不幸中の幸いでした。

しかも、標識のとなり、レスキュー隊員がいて、
即、スノーモービルで病院に搬送。その病院の医師は
オリンピックや世界選手権にチームドクターとして派
遣されるといふスポーツ傷害の権威でした。

結果、右手首骨折...。左手首捻挫。あごの下と左ひざ
下の傷を縫いました。

正太郎君曰く、「風になっちゃいましたよ(笑)。止
まらなくなって標識にぶつかって止めるか、転ぼうか
かと思っていたら、ぶつかっちゃいました」

それにしてもビックリしたなあ...。ぼくの目の前でボカ
ーンって...。入院じゃなく、本当に良かった。

優しい心

正太郎君、ケガの話で同室のまっ君、けんご君、よう
へい君、「ぼくたちにできることがあったら言って」。

積極的にお手伝いしてくれました。

正太郎君の荷物を運び、お弁当を買い、なんとけんご
君は、「包帯あるから使って」。包帯各種にネットま
で持ってきているではないか！

みんなのやさしい心にぐっと来たなあ...

【もえちゃんママ談】

新宿と熊谷の子どもが仲良くなれてとっても良かった
ですね。去年はそれぞれ分かれて活動し、食事も別々
だったのに...。こういう交流がどんどん深まればいい
ですねえ。嬉しかったです。

さあ、次は熊谷での球技大会！ファイトー！

2. 静のハワイ便り(3)

元ボラ・静ちゃん、ハワイの大学で頑張っています。

先生方

英語のクラス(アカデミックコミュニケーション)
の先生は50代の女性。この先生が話すことはほぼ
聞き取れるのでほっとするひとときです。

皆が理解できるように身振り手振りだけではなく時
には演技までしながら授業を進めます。英語だけ
ではなく、アメリカの大学のシステム(たとえば授業
には絶対に遅れてはいけません。先生も授業時間の5
分前には教室に入って準備している。

日本の大学とは大違い)やアメリカの歴史につい
ても折に触れて教えてくれます。アメリカでは1/20
(月)がマーティンルーサーキングJr.の日で祝日
です。この間の授業ではマーティンルーサーキングJr.

の演説をビデオで見せてくれたのですが、先生は一人感激して大泣きしていました。
 海洋生物学、生物静力学分析は同じ先生です。30代かなあという女の先生でUCバークレーの大学院を出たとか。かなり優秀な人だと思います。ものすごく早口でしかもニコリともしないので、はじめはかなり怖がっていたのですが、よくよくきいていると真顔のまま冗談を言ったりします。
 私は授業の聞き取れない部分を家で聞き直すためにレコーダーを使っていますが、それに気づいたようで、なんにも言ってはくれませんが、黒板を使うとき以外は私の前にきて話してくれたりします。
 海洋生物学・海洋学実習も同じ先生。この先生はまるで船長みたいな感じのふとっちょな白人のおじさんです。(後に本当に船長でもあることが判明。)
 自己紹介の時にずうずうしく「ゆっくり話してもらえたらうれしい」なんて言ってみたのですが、覚えてくれているようで、時々早口になっては「そうだゆっくり話すんだっけ」などと独り言を言っています。
 授業中プリントの空欄を埋めているときなど教室を歩き回り、私のを特に念入りにチェックしてくれているようです。きっと私が聞き取れているか、どのくらいのスピードで読み終わるかとか気にかけてくれているのだと思います。
 時々「日本では“魚拓”でしょ？」などと話をふられるのでびっくりします。実習以外は日本人の人が1人は一緒なので、どうしてもわからないときなどは聞けるのですが、このクラスでは親切なアメリカ人の女の子と知り合いになれたため色々教えてもらっています。
 彼女の名はキャンピー。日本語にも興味があるらしいです。ルームメイトも結構同じ授業をとっているので帰ってからわからないことを聞いたりしています。
 3. スキー前のフレネです
 新宿は版画！ テッシー
 先週からやっている版画。今日もメンバーが変わって挑戦。
 「どうやってやるの？」と言われてもなかなか上手く説明ができなかったけれど、先週からのみんなの作品があるので一目瞭然。注意しなければならないのは、彫刻刀の使い方くらい。
 みんなそれぞれに彫るものが違っていて楽しい。先週は電車が人気。今日は、たかちゃんが栗の絵。茶色に刷ると、
 「うんこみてー。」だって。これこれ。
 ちせちゃんはウサギの絵。模様も入っていて楽しい。
 「今日は時間が無いから、来週またやるね。」とのこと。出来上がりが楽しみ。
 しょうや君は宇宙人(?)。力があるから、ゴム版だとやりづらかったかな。
 「できたのは持って帰っていいんだよ。」というのと、にっこりかばんにしまっていました。
 ぼくは、何の気なしにロングヘアーの女の人。
 「テッシーはショートカットの人がいいって言ってたじゃん！」って。
 そういう問題じゃないんだよ。風が描きたかった

だけなのに...。
 何の気なしにやった版画だけど、結構おもしろい。何よりも色々な色で刷ると、同じ原版でも色々な表情を出してくる。二度と同じ作品はできないというのがいいな。彫るのも刷るのも何とも言えない良さがあります。
 今、新宿フレネの入り口は小さな版画でいっぱいになってきています。またやって版画で埋め尽くしたいね！
 熊谷はくしゃくしゃ染め
 今日のものづくりはきぐちゃんからのリクエスト。くしゃくしゃ染め。和紙を染料で染める。仮説社の『ものづくりハンドブック』に載っていた。難しいことはなく、和紙をくしゃくしゃにして染める。いたって単純。簡単に使うものを説明して、「とりあえず、いろいろやってみてごらん。」とみんなにお任せ。輪ゴムでとめたり、紙を折ったり、紙を切ったり。みんなの工夫が始まる。どんな仕上がりになるのかわからないし、自分が予想したものとは違う色になったり。その意外性が面白い。
 海の色や青系のすきなリリちゃんは染料を薄めてその濃淡を楽しむ。リリちゃんとは対照的にビビットな色で染めていくしーちゃん。みんなそれぞれの表情が出る。きれいに染まる和紙といっしょに、自分の手も染まっていく...。
 今度はこの染めた紙で何を作ろうか。
 なにやらマジックで和紙に書き込むユータくん。「やった成功だ！」と声が聞こえる。
 油性のペンで模様を書き込めば、染料で染めても落ちないのだ。マジックで描いた模様が浮き出たように染め上げられた。言われてみれば油性のマジックは水に落ちないから当然のことだけど、よく思いついたなあ。
 黄色で星座を描き黒で染めたユータ君の作品。とてもきれいだった。
 =====
 ===== デイリー・フレネ =====
 ----- VOL/0636----- 2003/02/18
 ////////// CONTENTS //////////////////////////////////////
 1. 野沢温泉に行ってきた！ スキー旅行！（2）
 2. JF新宿あれこれ テッシー
 3. 静のハワイ便り（4）
 =====
 今日は何の日
 1564 イタリア彫刻家ミケランジェロ死去
 今日の花言葉
 きんぼうげ「こどもらしさ」
 今日誰の誕生日
 オノ・ヨーコ（1933）
 ジョン・トラボルタ（俳優 米 1954）
 今日の名言
 俺は 傷であって また 短刀だ。
 俺は 撲る掌であり、撲られる頬だ。
 俺は 車裂きにされる手足で、また裂く車だ。
 犠牲（いけにえ）であって、首斬り役人だ。
 ボオドレール『悪の華』

- 1. 野沢温泉に行ってきた！ スキー旅行！（2）
熊谷スタ・かおりんの見たスキー旅行です。

- - - - -

温泉めぐり

野沢温泉には13の共同浴場がある。宿泊者は無料で入れる。この温泉を全部制覇！することが目標。ボラ・リエちゃんもひろみちゃんも一緒に。意気込んでいるのに、いきなり迷子。当てにならない。「もういい。地図かして。」とひろみちゃん。すてき！

こっち、あっちと進んでいくとおふろ。硫黄くさいけど温まる。4つお風呂をはしご。さすがに最後はぐったり。

「また、入るの？おばさん。」なんて言いながらも、一緒に入ってくれたひろみちゃんでした。ありがとう。

正太郎くんのけが

正太郎君のけがはデイリーフレネに書いてあった通り。私は病院まで付き添った。診察室に入ったもののなかなか出てこない。待つこと1時間半。やっと出てきた正太郎くんは包帯だらけ。これだけのけがをしていながら、「俺、風になってました。」なんて淡々と話していたから、よけいに私は驚いた。彼の強さを感じた。私だったら...、考えるだけでも恐ろしい。

部屋にもどり、患部を冷やす。それにはタオルが必要。

「俺のタオル使ってよ。いっぱいあるから。役に立ってよかった。」けんごくん。

「これ使って。使ってなくてきれいだから。」、ゆうへいくん。

「けど、自分のは？」なんて聞いたら、

「使ってよ！」と逆にいわれてしまったぐらい。

ご飯を食べる時は、「機動かすよ。」とテキパキ。

食堂からご飯を運ぶときは、「あたし行く！」とひろみちゃん。

私は普段新宿にいるわけではないから、よくわからないけれど、みんなで一生懸命正太郎くんをサポートしていた。そんなみんなの様子に心を打たれた。一緒にいればそれだけ、また新たな一面に出会える。たくさんの素敵な一面に出会えた3日間だった。スキー旅行を終え、予定していた行事はすべて終了。最後の最後で楽しいだけではない経験をした。自分の立場も改めて考え直すきっかけにもなったし、子ども達もつパワーの大きさも感じた。こんな稚拙な言葉では表せないものもあるし、自分の中でまだ噛み砕けないものもある。

子ども達の中で私も一緒にいろいろな経験をさせてもらっているのだと思った。

2. JF新宿あれこれ テッシー

スキーに行ってきました。いろいろと行事をしてきたけれど、こんなに反省点の多い行事は初めてです。だけど、それに負けないくらいたくさんものを得てきました。

言葉や理屈じゃ表せない時間をみんなと共有できたことが、とても嬉しいです。こういう所にこそ、無条件に自分の感情をあずけることができるのかな。

転んでもただじゃ起きない。ゆっくり消化していきたいです。

では、今日のみんな。

球技大会どうしょ？

以前、たかちゃんからの提案で球技大会をやりたいと。気がついてみればもうじき春休みになってしまう。

「球技大会の実行委員やってみよ。」との誘いに「うん。やる。」と二つ返事でOK。

まずは、やりたい競技。バドミントン、バスケ、ドッチボール、卓球...

思いつく限りに挙げてみる。

次は、場所と時間を考えた上で競技を再考。

「体育館だからねえ。」

「卓球は他の競技することを考えると準備に時間がかかるし。」

体育祭の経験が生きているのか、いろいろと取捨選択。なかなかいいねえ。

「とりあえずこっちでやりたいもの決めて、あとは熊谷と調整すれば？」

自然と熊谷の子との調整についても考えていて、とても嬉しいな。

明日のミーティングでもっと具体的な提案ができるようになりました。みんな成長しているなあ。

またまた版画

今日も版画。先週からのメンバーに加えてジェシーにさきちゃんも挑戦。

ジェシーは「天才」と。

「おいおい、ハンコじゃないんだから。」

「もっといいの思いついた！」

見てみると、×ゲーム。しかも引き分け。

これこれ...

しばらくすると、またまたジェシー、

「これはどう？」

今度は「100点」。

「あー！でも版画じゃ反対になるから1点だ！」

だって。それじゃあもう0点...

さきちゃんは、

「やっぱり、戦争は良くないよ。テーマは反戦！

反戦といえばゲルニカ！」

何も見ることなしにすらすら描いている。これがまたイメージがばっちり！反戦からゲルニカへの発想、そして、それをイメージさせるものを作ることができるさきちゃん。すごい！

帰りに今日の作品をまたまた入り口に貼り足す。

「そろそろいっぱいだね。」とボラ・うっちー。小さな作品が所狭しと壁に貼られています。

3. 静のハワイ便り(4)

今週はテストと宿題に追われる地獄の一週間でした。実家の横手はかまくら祭りが行われています。今年も40万人の人出とのこと。ちなみに横手市の人口は4万人ほどですからその10倍です。

コロンビアの事故の日にスペースセンターに行った私たちはやっぱりばっちりテレビに映ったのだそうです。何人かの人にでてたね～と言われ驚きました。

はじめてのテスト

海洋生物学のはじめてのテストがありました。

この教科は毎週の小テスト(各10点・15回)が計

150点、4回あるテストが合計200点、5回あるレポートが計50点の400点満点で成績が出されます。

9割以上がA(優=Excellent)の条件なので毎週の小テストも気が抜けません。(当たり前ですが、一度10点満点の8点をとってしまうと次は10点をとらないと平均が9割に戻らないので...)

そして今回のテストも成績の8分の1をしめるのでかなり重要でした。

成績が悪いと奨学金のチャンスもなくなるし、大学院にも行けなくなるしとかなり切実。それだけではなくて英語のせいでできないのはくやしいというか、日本語でやってとれる点数と同じくらいとれないとなんだか自分で納得いかない!ので頑張ってみました。テスト自体は4択式でそれほど難しくなかったのですが、ケアレスをしまい結果は45点(50点満点)ぎりぎり9割です...

教科書のこと

こちらの授業で使う教科書はまるで小学生の図鑑か百科事典のようです。3つも授業がある日はリュックが重くてつい前傾姿勢になってしまいます。

とはいっても授業に教科書を持っていく必要はかならずしもなく、小テストや予習のためにいるだけです。私は授業でわからないところ、聞き取れないところを確かめるために持っていくのですが、アメリカ人の学生はほとんどもって来ていません。

分厚いだけにもちろん値段もそれなりです。高いものでは1冊1万円ほどのものも。大学の売店では、新しい本と古本が並んで売られています。

前の学期に使った学生などから買い取り、新本より2割ほど安く売られています。新しいものである必要は全くないので、このしくみはとてもいいと思います。ただ、アメリカ人の人たちが使ったものはかなり(この点を強調したい)汚いので、よくよく中を確かめて選んで買う必要があります。日本の古本屋さんで売られているものとは違い、書き込みなどもががんでありますので。

程度のいい古本の見つからなかった海洋生物学と、古本が売り切れだった英会話のテキストは新しいものを買いましたが、それ以外は私も古本で済ませました。

先日授業でホエールウォッチング(海洋生物学実習の「海のほ乳類」というタイトルで、ちゃんとした授業の一部なんです)に行ってきました。

鯨の潮をふいているのを見つけて、その方向に船を走らせ、近くに来てエンジンをとめて鯨の声(?)のテープを流して待っていると...、赤ちゃん鯨が三匹ならんでこっちに向かって泳いできました!本当にすぐ近くまで!

船の10メートル先くらいのところまで来てくれました。跳ねてひれのところまで水面にでたりして、キャプテンも今日はすごいと驚いていました。三匹並んでくるところなんかまるでいるかのようでした。

今日は日曜日。明日はPresident's Dayで祝日。

いいお天気なので、午後から友達と一緒にビーチに出かけようと思います。まだ終わっていない宿題もあるのですが、たまには自分にご褒美もあげないと、ということで。

=====

===== デイリー・フレネ =====

----- VOL/0637----- 2003/02/19

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

- 1. このちゃんの合格!
- 2. お授業です! 静電気
- 3. フレ熊便り かおりん

=====

今日はなんの日

- 1185 源氏と平氏、屋島の戦い
- 1837 大塩平八郎の乱(飢饉に苦しむ人のために決起)
- 1972 連合赤軍、浅間山荘を占拠 警官と銃撃戦

今日の花言葉

かしわ「あいそうのよさ」

今日は誰の誕生日

コペルニクス(天文学者 ポーランド 1473)

今日の名言

- 「ゆうべどこにいたの?」
- 「そんな昔のことは憶えていない」
- 「今夜、会ってくる?」
- 「そんな先のことはわからない」

映画「カサブランカ」の中、ハンフリー・ボガードの名セリフ

- 1. このちゃんの合格!

「木幡さん、受かったよ!」

携帯に弾むようなこのちゃんの声。良かった!

小4の後半から不登校...、すぐJFに入会し、引越しをきっかけに中2から学校復帰。3年以上のブランクは、やはりハンディキャップがある。

「木幡さん、数学教えてよ」

中2の後半から、月に数回一緒にお勉強した。その甲斐あってか(?)、割とのびのび学ぶ事ができる神奈川県私立に合格。

「中間とか期末で何点ぐらい取ってるの?」

「90点ぐらいかなあ?」

「えっ!すごいじゃない!」

「いや、全科目でだよ(笑)」

なんて会話もあったけれど、「中2の1年間は無遅刻・無欠席にチャレンジする」の言葉通り、見事それをやり遂げた意志の強さがある。

合格したらご馳走する約束、ちゃんと果たすからね!

「ところでなんで学校行かなくなったの?」

「あれ?言わなかったっけ?いじめだよ」

「どんなふうに?」

「シカとされたり」

今だから言える話だなあ。でも、JFに来て友達を作り元気になって本当に良かった。

これからも、いつでもそばにいるからね。困った時は連絡してね!このちゃん!

- 2. お授業です! 静電気

10円玉を立てて、セロテープで固定する。10円玉の上に小さな紙でシーソーを作る。その上に透明なコップを立てる。

「さて、コップや机を触らないで中のシーソーを動かしてごらん」

「それはマギー司郎しかないね」と、さきちゃん。

大爆笑!

このマジシャン、ぼくに似ているとの事だが、テレ

ピをあんまり見ないのでわかりません。
 みんな、シーソーを動かす手だてを発見できない。
 続いて風船を膨らませる。
 「この風船を天井や壁にくっつけるにはどうするの？」
 「それはね！」
 りょうすけ、風船を持ってあちこちこする。
 しかし、「あれえ？」うまくいかない。
 「りょうすけ、いいセン行ってるよ。こっちにおいで。
 頭貸してね」「やっぱり、ぼくの頭が必要なのか」(爆笑)
 風船を頭にごしごし。「うひょう！」髪の毛が逆立つ
 がりょうすけには見えぬ。
 「見たいよー！」鏡をのぞいて納得。
 「みんなで風船をふくらませて、くっつく場所を探し
 てごらん」
 こんな風に始まった静電気の授業。下敷きや発泡ス
 チロールをごしごしこする。+電子と-電子の話も
 ちょっと。
 もうわかったね！ストローをこすってさっきのシー
 ソーに近づけると、「おおおおー！」動いた！
 どんな物質でもプラスとマイナスの電子を持っている。
 水道の水をちょろちょろ流し、こすった下敷きを近づ
 げると、「おおおおー！」水道の水が下敷きに近づ
 いて曲がる！
 とどめは蛍光灯！下敷きをこすって近づけると、
 「光った！」「見えない！見えない！もう一回やって！」
 あっという間の1時間でした。りょうすけの髪の毛、逆
 立ってくちやくちや...。そのままお家に帰ったのかな？
 3. フレ熊便り かおりん
 ベルばら
 きぐちゃんと一緒に「ベルばら」(=ベルサイユのばら)
 の話で盛り上がっていた。
 「あれで、結構フランス革命の流れつかんだよ。」
 「目が輝きすぎて抵抗あるかもしれないけれど。」
 とあれやこれや。
 するとエリ君。横から口をはさむ。
 「『ベルばら』ってなんですか？ベルサーチのばら？」
 略せば一緒だけど、なんか違う。
 ものづくり チョコバナナとカルメ焼き
 今日のものづくりは2つとも2度目。チョコバナナ
 は去年は最悪。
 チョコが固まっちゃって、とてもおいしそうには
 見えない代物。
 最後にはバナナをオープンで焼いたり、カレーを
 つけて食べたりで散々。(でもおいしかった。)
 カルメ焼きはなかなか膨らまない...。
 リベンジなのだ。
 エリヤ隊長
 「今度こそカルメ焼きを成功させる。」と意気込む
 エリ君。カルメ焼きはエリ君中心にテキパキ進む。
 「エリ君これはどうするの？」
 「ええーっとですね、すばやくコン口からおろし
 てください。」
 「わかった！」
 「一気に混ぜる！」ぐるぐるぐる。
 いつもにはない連携プレー。
 私は傍観者。スキーを終えて一回り大きくなったかな。
 舐める
 去年の失敗を生かして、バナナにつけるチョコは

コーティング用のものを購入。
 「今年これで安心だね。」とユータ君。
 今年は、夜店顔負けのチョコバナナができた。
 後片付け、ボールにへばりついているチョコ。
 「それ、洗うよ。」
 「いや、そのスプーンについているチョコを舐め
 ますっ。」とえりくん。
 「そのボールについているのも。」と今度はユータ君。
 お行儀悪いけど、チョコを落とす手間が省けた！？
 日常に戻ってきました。戻ってくればあと一ヶ月で
 春休み！？楽しんでいきましょう
 =====

===== デイリー・フレネ =====

----- VOL/0638----- 2003/02/20

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

1. 新宿 南千住 新宿 相模原
2. 遅れてやってきたバレンタイン 新宿発・テッシー
3. すてきなお客さん 熊谷発・かおりん

=====

今日はなんの日
 1911 夏目漱石、文学博士号を断る
 今日の花言葉
 カルミア「大きな希望」
 今日誰の誕生日
 しむらけん(1950 A型)
 長嶋茂雄(1936 B型)
 石川啄木(1886)
 志賀直哉(1883)
 今日の名言
 「人生に解決などない。あるのはただ、前進していく力だ
 だけだ。その力を創造しなければならない。解決などそのあ
 とで見つかる。」

サンテック・ジュベリ

- 1. 新宿 南千住 新宿 相模原
 いやはや、多忙な一日だった...。
 ジェシーの高校受験を明日に控え、最後の面接に関
 するアドバイスを。月に何回か訪問する南千
 住のH君と一緒に食事。
 H君はジェシーの受験する学校を昨年受けたが、残
 念ながら不合格。今は都立の定時制に進学している
 のだが、ジェシーも第2志望でそこを受験する。
 「先輩もいい人達ばかりだから、安心だよ」と、
 H君。
 「オジさん達も通ってくるの？部活はどういうのが
 あるの？」ジェシーもいろいろ質問していた。第1
 志望の発表後、定時制の見学にH君も付き合ってく
 れるとの事。ジェシーも一安心。その後、喫茶店で
 最後のアドバイス。
 それにしてもジェシーは、がたいがでかいだけあつ
 て、よく食べる。
 「家で納豆ご飯と天ぷらを食べて、北千住の駅でも
 稲荷寿司を食べてきた」と言いつつ、ヤキソバの大
 盛りを食べていた。そして、喫茶店ではなんと！
 「オムライス食べていいかな？」
 若いっていいねえ。
 新宿に急いで戻り、小田急線で相模大野へ。久しぶ
 りにテッちゃんと会う。自転車の新車を買ったとか

で、ひとしきり、その話題。
 4月13日(日)、富士スピードウェイで行われる100キロレースにJFでチームを作って出場する事を確認。もちろんぼくも出場。練習あるのみだなあ。
 「木幡さん、名古屋のNっていうひどいやつの番組見たって言ってたよねえ」
 そうそう、不登校の子どもを恫喝し、強制的に学校に戻すってやつだ。
 「不登校の気持ちなんて、全然わかってないよねえ」と、テツちゃん。
 脅しや暴力で登校を強制する事にどれほどの意味があるのだろう...。1時間半も話し合った。明日はこのことを少し詳しくDFに書こう。
 町田経由で自宅に帰る。いやはや、忙しかったけれど楽しい一日だったなあ。

2. 遅れてやってきたバレンタイン 新宿発・テツちゃん
 「おはよう。」と入ってきたもえちゃんの手には何やら大きな袋。気がつく、みんなにチョコを渡している。
 「昨日、とうこちゃんともえちゃんと作ったんだ。」とれんげちゃん。来た子みんなに、
 「はい、これ。」
 お昼過ぎにやってきたジェシーにも
 「はい。」とれんげちゃん。それを見ていたりよう君、
 「れんげちゃんは、ジェシーが好きなの？」って。自分ももらってるのに...。
 なんだか懐かしい雰囲気が出ていました。昔はバレンタインというと何だかドキドキしたもんだなあ。そう思った自分はバレンタインと縁のない生活にどっぷりつかっているのか。ちょっと(結構)寂しい。

ミーティング
 今日のミーティングは、議長さきちゃん、書記がれんげちゃん。ここで、
 「誰かが板書をしないと進行が遅い。」との声を受けて、「じゃあ、おれがやるよ。」とジェシーが板書係。議題の中心は、球技大会について。
 「やりたい種目は...。」とたかちゃんから昨日の話合いについて発表。
 今回はいつも熊谷の子に来てもらっているの、新宿が遠征することに。いつも来てもらうだけでは「熊谷=お客さん」の雰囲気になってしまって、交流という意味では一歩足りないね。やっぱりお互いに行き来ができて初めて横一線。
 子どもの要望から始まったことだし、いろんな意味でみんなの連携が進むチャンスだね。

3. すてきなお客さん 熊谷発・かおりん
 おととい携帯がなった。見たことのない番号。思わずでてしまった。するとにぎやかな声。
 「あの、新宿のとうこです。もえちゃん達とチョコを作って熊谷に届けます！熊谷の子には秘密にしておいてね。」と。
 お約束通り今日のお昼、もえちゃん、れんげちゃん、とうこちゃんが熊谷に現れた。
 3人の姿にみんなびっくり。
 「なんでいるの？」とユータ君。そりゃ驚くね。
 「バレンタインのチョコ作ってわざわざ届に来てくれたんだって。」みんなびっくり！
 「チョコだと溶けちゃうと思って、チョコケーキだよ。」かわいらしくラッピングされた箱を開けてみるとア-

モンドの散りばめられたおいしそうな手作りチョコケーキ！感動。
 お味は？
 お散歩で体育館へ。新宿の3人も一緒にレッツゴー。電車の時間もあるので一緒に遊んでお別れ。体育館で疲れた後には、あのチョコケーキが待っている。早速、みんなでお味見。
 「すっげーうめーっ。」
 「中に、胡桃が入ってる。」
 「ねえ、もう1個食べてもいい??」
 「俺も、食べたい!!!!」ともう絶賛。
 私がお皿にくっついたケーキのカスをちょっと食べただけなのに、
 「吉田さんなにやってるんですか。僕のケーキ。」とえりくんから注意をうけるほど。
 みんなとっても喜んで食べていました。
 思えばスキーの時、ユータ君・しゅんくん・エリ君ともえちゃん・とうこちゃんが一緒に温泉に出かけたのがきっかけのかな。
 新宿から熊谷まではなんだかんだで1時間半はかかる。とうこちゃんやれんげちゃんはそこからまた1~2時間の距離に住んでいるという。片道何時間かかったのだろう？それなのにわざわざ熊谷まで届けに来てくれた。ありがとう。
 新宿と熊谷距離は遠いけれど、気持ちは近くに感じるね。

(おまけ)
 大学の時バレンタインの時はバイトでチョコを売っていた。「このチョコを50個ください。」
 「〇〇会社で領収書お願いします。」
 「カードで支払いできますか？」
 なんて現実を見ていたので、みんなバレンタインに踊らされていると思っていた。だけど、今回のこの様子を見ていて、見ているわたしもほんわかとも幸せな気分になった。あたしも枯れていちゃいかん。まずは、チョコをあげる人か...

・球技大会のこと
 3月14日(金)に熊谷にて球技大会。体育館は抑えました。きぐちゃんが熊谷の代表として新宿のたかちゃんと連絡をとっています。
 今日早速一回目の連絡。新宿のミーティングで決まったことの連絡を受けた。きぐちゃんはその内容をみんなに伝え、その意見を受け、熊谷ではどうして行きたいか、こんどの金曜日のミーティングで話し合うことになった。
 「それまでに、参加するしないに関わらず、意見考えてきてね。」

とみんなに声がけ。
 みんなきぐちゃんを中心によくまとまっている。この調子で進んで行って欲しいものです。

=====

===== デイリー・フレネ =====
 ----- VOL/0639----- 2003/02/21
 ////////// CONTENTS //////////////////////////////////////
 1. ジャパンフレネあれこれ お姉さんがやって来た他
 2. 木曜日は賑やか！ 新宿・テツちゃん
 3. フレ熊便り かおりん
 =====

今日はなんの日
1965 黒人指導者マルコムXが暗殺される

今日の花言葉
ネモフィラ「愛国心」
今日は誰の誕生日
前田吟(俳優 1944 A型)

今日の名言
『これがどん底だ』などと言っている間は、
どん底になっていないのだ
シェイクスピア『リア王』より

特報!

火曜日と木曜日に讀賣新聞の取材が入った。23日(日)の全国板で写真付きで紹介してくれるとの事。皆さん、ぜひ読んでね!

- 1. ジャパンフレネあれこれ お姉さんがやって来た他
熊谷はいいなあ 三人娘語録

「熊谷へバレンタインのチョコを届けてきたよ」と、
とうこちゃん、もえちゃん、れんげちゃん。
「遠かったあ」
「でも、熊谷っていいよねえ。おちついてるじゃん」
「新宿の男の子って、ぐれてるもんね」
指差さしてきついことを言うなあ。
「ぐれてるって言えば、『青い鳥』のヘンデルとグレーテル。小さい頃、ぐれてる子かって思ってた」
(爆笑)
そろそろ、お後がよろしいようで...

「マスク写真」のお授業

ウレタン生地を適当にカットしてマスクを作る。ピーズや鳥の羽、モールなどを好きなようにデザインして...、かっこいい! それをつけて、はいチーズ!
取材に来ていた讀賣新聞のカメラマンにお願いし、
写真を撮ってもらいました。
りよすけは「新幹線のお面だよ!」。おお! かっこいい! なかちゃんとたかちゃんは「仮面ライダー!」
これまた、かっこいい!
それぞれの願望をマスクにたくしました。

お姉さんがやって来た

ボランティア志望のうら若き女子大生二人がJFにやって来た。すぐにうちとけて、子供達と楽しいひととき...。舞いあがる男の子達。
5時過ぎ、1階まで降りていったりようすげが戻ってくる。

「まだ帰らないの?」
「下でジーコ達がお姉さんを待ってるよ」
ぼくがエレベーターで1階に下りていくと、近づくにつれて声が聞こえてくる。
「おっ、降りてきた!」
エレベーターの扉が開くと、ジーコ、ミッキー、やまちゃん、「なんだあ、木幡さんか」
「なんだよ、誰を待ってたんだよ」
「誰だっていいじゃん」
男の子達もお年頃です。

2. 木曜日は賑やか! 新宿・テッシー

今日は昨日とうってかわって賑やかな日。お客さんもたくさん。ボラ希望の人や取材の方と一緒に遊びにいたり。みんな帰るのを惜しんでいるようでもありました。
新しい人との出会いは、みんなにとって一つの財産

だし、かけがえのないものになるんだね。久しぶりに見たみんなの表情をみてそんな風に思いました。
では、きょうのみんな

お料理-馬公ビーフン

今日のお料理はビーフン。ぼくははっきりおかずだと思っていたけれど、

「それじゃあ、お好み焼きをおかずにご飯を食べようなもんだよ。」と山ちゃん。ビーフンは確かに米でできているけど、何か物足りないんだよね...。そんな風に思っていたら、遅れてやってきたとうこちゃん、「あれ? ご飯はないの?」

そうだよな!

調理は簡単だったけれど、準備にてこずった。

「あれ? さつま揚げは?」

「あっ! 忘れた!」

急いでとうこちゃんとれんげちゃんが買い出しに。帰って来て、

「安かったからちょっと多めに買ってきた!」

袋を開けると...ん?

「これはあぶら揚げじゃない!」

「あー!!」

急いで再買い出しへ。

調理は木幡さんとぼくで分担。

「ぼくの作ったほうがおいしいよ。」と木幡さん。ちょっとした味比べ...。だけど、エビ入りはちょっと食べられないから今回の勝敗はお預けということで...

片付けは小さい子達を中心に良くできたね。

ごちそうさま!

熊谷へ行ってきたよ!

昨日熊谷へ行って来た3人が今日は新宿に勢揃い。「どうだった?」なんて色々聞いてみる。近くて遠かった存在の熊谷の子達とかなり仲良くしてきたみたい。

「やっぱり狭かった!」

「人がいないって言ってたのに、たくさんいたよ。」

「帰りは疲れて二人が寝ちゃったから、私は起きてたよ。」とれんげちゃん。そりゃ遠いもんね...と思っ

ていたら、「行きは寝てたじゃーん。」
3人の話にもぼくも何だか楽しく嬉しく耳を傾ける。

だんだん話が進んでいくと、
「やっぱり、熊谷は静かでいいよあ。なんで新宿はこんなうるさいの?」って。

気がつけばお絵描きをしている3人の周りを男の子達がちょっかいを出している。

「ああ、もう熊谷がいい!」とまで。

3人は今回熊谷のいいところに触れることができたんだね。とても嬉しいです。お互いにいいところを見つけて認め合えていたらいいね。そう思うと今回のことは大きな一歩だったのかも。

でも、新宿にもいいところあるんだよ...

灯台もと暗しかな。

ふと気がつくとうこちゃんが電気コードを持って後ろにいる。

「これはお疲れテッシーの充電器。」なんて。

これこれなんてことを言うんだと思っていたら、

「これ、かおりさんのアイデア...。あっ! 言っちゃ

った！」
これはメモしとこ...。まだ電池切れはしないよ！！
3. フレ熊便り かおりん

お料理の授業 うどん
今日はトムヤンクンの予定だったけれど、お店の定休日です。スパイスが買えず、来週と交換。今日の料理はうどん。寒い天気なのでちょうどいい。うどんは一人ひとり手打ち。味付けは醤油と味噌。醤油はつけ汁。味噌は煮込み。ゼーンぶ手作りだ。
「なかなかまとまらないよ。」ぼろぼろ。うどんの生地はまとまるまでが大変。

「あ、すごいね。」としーちゃん。
きぐちゃんがなかなかいい手つきで生地を作る。
「なんだかんだで、3回目だからね。そりゃできるようになるって。」と照れくさそうにつぶやく。
みんな悪戦苦闘しながらも、うどん完成。太い麺に細い麺。短い麺。様々だけど、みんないっぺんに煮込むとさほど変わらない。だしのおいしい味のおつゆをきぐちゃんが作ってくれて、最高！
物足りないかと思ったけれど、お腹一杯のお料理でした。

なが い麺
「この作った生地で、1本の長い麺ができるのかな。」とそんなひと言から、エリ君の試行錯誤が始まった。生地を細くのばしていく。切れないように気をつけながら、延々とエリ君はうどんと格闘。
「お腹はすきましたけれど、これを作ります。」と集中中。

50cm ぐらいの一本の長い麺が出来た。
「これだけ時間かけて作っても、ひとすすりでうどん食べ終わっちゃうね。」なんていわれていたけれど、エリ君の健闘むなしく、茹でている途中で麺は分裂していったのであった。
無念。

デイリーフレネは月～金の平日刊です。インフルエンザが流行っています。みなさん、楽しい週末を！
チャオ&ラブ！

===== デイリー・フレネ =====

----- VOL/0640----- 2003/02/24

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

1. 「ガッコウデクサルマエニ」 JF、読賣で紹介される！
2. 動物園に行ってきた！ 新宿・テッシー
3. お便りコーナー

今日はなんの日
1978 「未知との遭遇」封切。SF映画ブームに。
今日の花言葉
じゃこうばら「移り気な愛」
今日は誰の誕生日
ジョージ・ハリスン（元ビートルズ 英 1943）
ルノアール（画家 仏 1841）
今日の名言
「ある私的な意見を是認する人々は、それを意見〔世論〕と呼ぶのに、それをこのまない人々は、異端と呼ぶ」

ポップス『リヴァイアサン』より
- 1. 「ガッコウデクサルマエニ」 JF、読賣で紹介
18日（火）と20日（木）、読賣新聞社の取材が入った。都民板「東京ホットぶれいす2003」というコーナーがフリースクールを特集。その中でジャパンフレネが大きく取り上げられた。
ミッキーの「どアップ」の写真、柔和でとってもいい顔だ。女の子達のイラストもアップで取り上げられていた。

-----以下、読賣新聞2003.2.23（都民板）より転載
「ガッコウデクサルマエニ」

不登校生、フリースクールで「自分回復」
雑居ビルのワンフロア。二十畳ほどの広間に子どもたちの笑い声が響き渡る。テーブルにノートを開き、好きな漫画のキャラクターを描く子どももいれば、教員免許を持ったボランティアに教えてもらいながら、数学の問題集に取り組む生徒の姿も。学校の先生と生徒といった関係は見られず、まるで仲のいい兄弟のようだ。

新宿の「ジャパンフレネ」（木幡寛代表）は六歳から二十歳ぐらいの、おもに不登校児が通うフリースクール。詰め込み式の時間割はなく、一日のスケジュールは子どもが自分で考えて決めていく。出席も強要されない。

一九九二年、当時の文部省が「不登校はだれにでも起こりうる」として、フリースクールに通う子どもでも出席日数を認めため、生徒たちは元々通っていた学校に席を残し、進級、卒業ができるようになった。大検を受け高等教育に進む者や専門学校に通う者など進路は様々だ。

小中学校に通わない子どもは二〇〇〇年度で約一三万人。NPO法人の学校経営参入も議論されている。（中略）

「ガッコウデクサルマエニ」。取材で出会った一人の少女がイラストに添えた言葉が印象的だった。

JFの写真は2枚。
キャプション「『学校は退屈で詰まらなかった。ここは個性を認めてくれる』。書いたイラストに本音がにじむ。」

キャプション「みんなで作る調理実習。友人の冗談に笑顔がこぼれる」

写真・文 川口正峰

2. 動物園に行ってきた！ 新宿・テッシー
朝、りょう君到着。

「ただいまぁ！」と大きな声。
すでに到着しているたかちゃんは、
「なんだそれ?? 帰るときはいつてきますかよ！」
新宿のスペースがアットホームな空気に包まれる楽しい瞬間です。

では、みんなの様子

お散歩ー上野動物園

熊谷のみんなも行った上野動物園。新宿では「キリンがみたい！」というりょう君のリクエストが採用され決定。熊谷からよりは近いけれど、さすがにクタクタ...。なんてたつた参加者6人中5人が小学生だったから。

みんな大騒ぎ

中に入るや否やたかちゃんがギブアップ。

「おれ、鳥が大っ嫌い！！」
 遠くからみんなの様子を伺っている状態。
 鳥のオリを通り抜けなくてはならないところでは、
 「目をつぶるしかないのかよお。」
 しまいにはお弁当を食べていたら鳩が寄ってくる始末。
 「今日は災難だ！」
 「わー！かわいい！！」と見るものほとんどに歓喜の
 声を連発していたのはちせちゃん。だけど、爬虫類館
 ではお手上げ状態。
 「うぎゃー！キモチワルイー！！」
 絶叫と走る音が響き渡る。
 「テッシー！早くでようよ！！」

動物との触れ合い
 動物園内ではいろいろな催し物。
 せっかくだから全部参加。
 まずはウサギやモルモットと記念撮影。みんな膝の
 上に乗って嬉しそうな表情。「連れて帰りたい！！」
 」とまで。やぎにも触ることができてみんな肌で動物
 を感じる事ができて御満悦。
 帰り際にはペリカンに餌あげ。アジをペリカンに向
 かって投げるとでっかい口で器用にキャッチしてくれる。
 「ちゃんと投げる前に、あげたいペリカンの目を見
 てあげるんだよ。」と、係りのお姉さん。
 「あのペリカンはあまり食べてないから...。」
 とか、みんな楽しそう。
 隣にいた小さい女の子に餌を分けてあげていたりして、
 何だか暖かい雰囲気。

キリンと御対面
 目的のキリンに到着。
 「ほら、あれ！」とたかちゃんがりょう君に教えて、
 「知ってるよ。見たことあるもん。」
 「なんだよ！ないと思ってたよ！」とたかちゃん。
 「なんか、ヨダレがたくさんでてる...。」
 みんなで記念撮影もばっちり。

お父さん??
 動物園内ではボランティアの人が色々なブースを
 作っている。
 「ほらほら、カバのウンコだって。」とりょう君。
 カバはフンをしっぽで払ってしまうために、形が
 残っているのは珍しいんだって。
 へーっと話を聞いていると、
 「お父さんも触ってみて下さいよ。」と係りの人。
 「いやいや、ぼくは引率者です...。」と苦笑い。
 「えーっ！」って驚かないでよ。
 よくよく見ると他のお客は、学生、幼稚園生、そ
 れかヤンパパ・ヤンママ。茶髪にピアスに皮ジャ
 ン、サングラスじゃ仕方ないか...

「考える人」と「地獄の門」
 「考える人」、「地獄の門」に寄り道。小さい頃か
 ら上野に来る機会がたくさんあったぼくは、上野に
 来たらず必ず寄る場所。
 「何を考えているんだろうねえ。」と言っているの
 が、「地獄の門」に来ると少しイメージ出来てくる
 ね。みんなアレコレと考えていました。
 なんだかんで新宿到着は4時50分。さすがにみんな
 遊んで帰る元気もなく帰宅。
 ぼくも久しぶりの動物園。子どもと大人の反応は明らか

に違う。動物を見て純粋に目を輝かせて、歓喜の声を
 あげ、体が動いていました。みんなの年頃にこういう経
 験をたくさんしていけたらね。

3. お便りコーナー

体験入会で来ているHちゃんのお母さんからの
 お便りです。

----- 以下、転載。
 娘がお世話になっております。
 郵便のお便りありがとうございました。
 今週は、本人曰く「久しぶりにあんなに沢山のひと
 と会った！」という訳で、少々くたびれたようですが、
 とても楽しかったようです。
 本人ははっきり「入りたい」、と言っておりますが、
 じっくり型の性格か、「あと一回チケットがあるか
 ら、もう一度行ったらちゃんと決める」とのこと
 ですので、月曜日、宜しく願いいたします。定員が
 いっぱいで、万が一しばらく待つことになりまし
 ても構いません。
 下には小4の息子と小3の娘がおりますが、この息
 子が最近言うことには、
 「学校は楽しいところだよ！ってみんなに言われ
 て入ったのに、ボクはだまされた。あんなところ
 にいて皆同じように勉強をやらされるのは、人生
 のムダだー！」と。

知識欲も旺盛で、友達とも何とか上手くやれる方
 で、学校の先生方も決して悪くはないのに、子供
 にこんな風に思わせる学校のシステムというのは、
 一体何なのだろう？としみじみ思います。
 息子の場合は、課外活動でやっているプラスバンド
 が唯一の楽しみで、それがあつたために何とか行
 かれていますが、「ボク、中学は行かない」と明
 言。ヤレヤレ。

しかし、娘の事で本当に色々な経験（精神的にも）
 をしましたので、いつのまにか息子のそんな考えを
 理解できるようになっていました。つくづく子供に
 育てられている昨今です。
 そんな姉兄の下でも、末の娘は楽しく学校に通っ
 ていますので、人それぞれ。木幡さんが言われる「選
 択登校」の意味が良くわかります。大事なものは、つ
 まらない枠に自分を当てはめて、卑屈にならないこ
 とだと思えます。

卑屈になると、前向きになんかなれませんからね...。
 自分が自分でいられる場所で、伸び伸びと色々なこと
 を学んで欲しいものです。

当初は、私も混乱していて、ベッドから子供を叩き
 起こして登校させようとしていた親でした。あのま
 ま冷静になれなかったら、どんなに嫌な家庭になっ
 て、子供はどうなっていたかと思うと、かなりぞつ
 とします！

でも、いつの間にやら、「いい経験だったなあ、こ
 ういうことがあるから人生捨てたもんじゃないんだ
 なあ」と、今は思えてしまっている、能天気な親
 です...

----- 以上、転載終了。
 =====

==== デイリー・フレネ =====
 ----- VOL/0641----- 2003/02/25

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

1. お便り二つ JF保護者より
2. 疾風のように現れて... 熊谷・かおりん
3. ミーティング、議論になるか? 新宿・テッシー

=====
 今日は何の日
 1978 「未知との遭遇」封切。SF映画ブームに。
 今日の花言葉
 じゃこつばら「移り気な愛」
 今日誰の誕生日
 ジョージ・ハリスン(元ビートルズ 英 1943)
 ルノアール(画家 仏 1841)
 今日の名言

「どんな闘争でも、折衷派というやつを生み出す」
 服部之総『黒船前後・志士と経済』より

- 1. お便り二つ JF保護者より

もえちゃんママ
 見ました、見ました。
 もえかは自分の書いた物がタイトルになって
 大喜びでした。
 ミッキーの表情もとても良いですね^^
 さすがにカメラマン、いい表情をとるねと
 親子で感心していました。
 最近のもえかは成長著しく
 目を見張る物があります。
 以前のように一緒にいても疲れることもなく
 毎日のおしゃべりが楽しくてしょうがないほどです。
 (以前は一緒にいるとお互い気を遣って
 ぐたくたになってしまっていたのです・・・)
 木幡さん、フレネと出会って
 本当に良かったです。これからも
 よろしくお願いします。

ジェシーママ
 おかげさまで試験が無事に終わりました。面接の
 アドバイスを本当に有り難うございました。おかげ
 さまでどうやらスムーズに言えたようです。
 最初はとても緊張したようですが、いろいろと話
 しができたようです。試験官の先生から、あまり
 たくさん質問はされなかったようですが、自分
 からはいろいろ言えたようです。
 フレネでのことも話し、どんな授業だったのかを
 聞かれたときに、実験の内容と共に、フレネでは
 大きな子と小さな子が一緒に実験に参加すること
 について木幡さんが最近子供たちに説明したことを
 言ったそうです。
 そして、最後に自分のPRをする際は、ちょっとつ
 まったようですが、自分の長所や短所についてま
 だ話していなかったなので、そのことを言ったそう
 です。
 今回の受検勉強で、面接や作文ができるようにな
 ったのも、振り返ってみると、きっかけは、一度、
 「爆発の実験」について作文をしたことだったよ
 うです。
 それまで、作文は短いものしか書けなかったのです
 が、その作文は、800字を超えるものでした。いろ
 いろとフレネでの経験が自信につながったのだと思
 うと、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。
 今回合格するかどうかは別として、得るものはいっ

ぱいあったようです。本人も私もやっとほっとして
 います。

これからもどうぞ宜しくお願いいたします。

2. 疾風のように現れて... 熊谷・かおりん
 「疾風のように現れて～疾風のように去って行く～」
 ちょっと古いですが、月光仮面の歌の歌詞の中にでて
 きた一部分。金曜日の木幡さんはまさにそんな感じ。
 急用が入り、熊谷について30分で帰っていった。
 「木幡さんてまだ来ないの?」とりりちゃん。
 「きてすぐに帰っちゃったよ。」ときぐちゃん。
 「え!? あたし、全然会ってないかも。」
 授業のやり方を伝授して去っていったのであった。
 忙しそうですが、からだには気をつけて欲しいです。

お面写真
 今日の木幡さんの授業は、「お面写真」
 過去の自分・現在の自分・未来の自分このうちどれか
 を画用紙に描き、その絵と一緒に写真を撮る。
 絵はうまく描く必要はない。とはいえ描き慣れてい
 るものではないからみんなあれやこれや。とはいい
 つつも集中。

過去の自分や将来なりたい職業についている自分を
 描く子など様々だ。

写真もばしゃばしゃ。普通のカメラだけではなく、
 木幡さんの一眼レフも活用。しかし、イマイチ一眼
 レフは使いこなせず。ピンぼけ写真が出てこないこ
 とを祈るのみ。

どんな写真が出来ているのか、
 この写真を懐かしく見る時期がくるのか楽しみだ。

フィルム探して3軒目
 「お面写真」の授業には白黒のフィルムが必要。白
 黒のフィルムを調達に行くが。近くの写真屋さんにも
 なければ、量販店にもない。そんなに珍しいものなの
 か? 困りはてて、近くの写真館へポラリえ
 ちゃんがゴー。
 帰ってきて「じゃーん。」と白黒フィルムが2本。
 「使えるけれど、期限が切れて売り物にはならないの
 で、2本もくれました!」だって。

3. ミーティング、議論になるか? 新宿・テッシー

静かな月曜日
 今日みんなの数は少ない。午前中は7人、途中か
 ら3人だけ。

「熊谷もこのくらい静かだったな。あっちはおと
 なしい子が多いから。」とれんげちゃん。

「でも、新宿が静かなのはやっぱり変な感じ。」

いつもの賑やかさがないとやっぱりやるのがな
 さそう。たかちゃんは遊び相手を探しつつ、今日

はビー玉を使ったもの作りを自分でやっている。
 (カーリングのようなもの?)

何かしらを自分で見つけようとしているみたい。
 「だけど、うるさいと疲れるし、静かだと眠くなっ
 てきちゃうなあ。」とはれんげちゃんでした。

パシリ
 以前ミーティングの議題にあがったパシリの問題。
 今日山ちゃん、ジーコ、ミッキー、ゆう君がじゃ
 んけんをしている。そしてゆう君が何度か買い物
 に出てみんなの買い物をしている。
 「じゃんけん...。」という声は聞こえるのだけれど、

様子をみているばかりには何だか腑に落ちない。完全に勝ち組と負け組が決まっているみたい。今日は人数も少ないし、しばらく静観とっていると、みんな揃ってゲームセンターへ。しばしいろいろ考える...

誰かがどうのこうのというより、やっぱりみんなの問題にすべきだね。用事の電話がてら「明日のミーティングで提案するからね。」と一言。悪乗りのおもちゃも否めず。明日は事実関係を確認してミーティングの議題にあげたいです。忘れた頃に...というのか、ゲーム感覚なのか。どちらにしても強い嫌悪感あります。

=====

===== デイリー・フレネ =====

----- VOL/0642----- 2003/02/26

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

1. ジャパンフレネあれこれ
2. 通電チェッカーを作る
3. フレ熊便り かおりん

=====

今日はなんの日

1936 陸軍皇道派の青年将校らが政府、軍部の要人を襲撃。高橋是清らを殺害。世に言う2・26事件

今日の花言葉

福寿草「思い出」

今日は誰の誕生日

桑田佳祐(サザン 1956 A型)

ユーゴー(小説家 仏 1802)

今日の名言

「きょうもわれに日々のパンをあたえたまえ、のあと、おまえは、なんて言ったの?」「おかあさん、おこらないでね!」と、小さい女の子は言いました。

「あたしね、こお祈りしたのよ。パンの上にたくさんのパタをつけてくださいまして!」

アンデルセン『絵のない絵本』より

1. ジャパンフレネあれこれ

出張?

「パンダ、いなかったよ」

動物園でパンダを見るというのは、一つの定番。

「出張なんだって」

「????」

「メキシコに出張して書いてあったよ」

そうかあ、パンダも出張かあ...

友情のサポーター

スキーで怪我をした正太郎君が、久々に登場。

「もう大丈夫」

アゴの傷も目立たなく、ギプスも取れている。

「けんご、これ」

正太郎君が手渡したのは新品のサポータ。

怪我をした時、けんごがもってきたサポーターをもらったのだ。

けんご、照れて「なんだかわからんけど」と、嬉しそうにカバンにしまっていた。

嗚呼、友情のサポーター!」

ミーティングにて

「漢字検定を受けてみよう!

木幡提案に「やだー!」のこだま。

「しょうがねえなあ。例えば、この四文字熟語わかる?」

肉食

ジェシー、「弱肉強食!」

ゆうへい、「焼肉定食!」(爆笑)

やぶへび、もしくは「口は災いのもと」

これも、ミーティングの事。久しぶりに議長をやった木幡に「木幡さん、木幡文字読めないよ」と、けんご。「

だったら、次回からけんごに書記をやってもらおうか?みなさん、いかがでしょう?」

「さんせーい!」

満場の拍手。とどめは、やまちゃん。

「いつも議長に文句ばかり言っているから、議長もやってもらった方がいいんじゃない」

「さんせーい!」

これまた、満場の拍手!

けんご、苦笑いして沈黙。

2. 通電チェッカーを作る

二つの端子を物質にくっつける。電気が通れば発行ダイオードが点滅し、ブザーが鳴る。本日のもの作りは、電気系。

これを作っておけば、電気回路を当てる「回路ゲーム」や「いらいら棒」などの電気ゲームに発展できる。

先週の土曜日、授業作りのグループ「BASIC」でもチャレンジしてみたが、みんな大の電気オンチ。半田ごてを使うのも初めて、「あっちゅー!」なんて言いながら、約2時間もかかってしまった。製作の過程が楽しい。それぞれ性格が出てくる。テッシーは、はんだ付けする前に通電するか確かめてから。木幡は、通電チェッカーの付属部分を全部製作してから一気にはんだ付け。型を作って型から入るんですね。

「作る!」と言っていたたかちゃん。

「やっぱり、作らない。見ちゃったから、もういいや」

「絶対だね?後で作りたいて言ってもだめだよ。」

「いいよー!」「絶対、作らせねえ!」

なにムキになってんだか。

とうこちゃんとちせちゃんがチャレンジ!

「なんでここに抵抗を入れるの?」

「入れないとバグルから」と、とうこちゃん。

おお!するどい!大きな電流が流れた時、発光ダイオードやブザーがいかれちゃう可能性があるからね。

「これをたくさん作って、フェスティバルの時、ゲームでもうけようよ」と、とうこちゃん。

いいねえ!

しかし、その前に「アッチッチ!」の連続。

来週は「回路ゲーム」を作ります。

3. フレ熊便り かおりん

朝、電車に乗る前の雨が熊谷につくと雪に変わっていた。降り方も強い。今年何度目の雪だろうか。梅の花をちらほら見かけるようになったと思ったけれど、春はまだまだだね。

ものづくり マネーエクステンジャー

「こっちから入れた白い紙が、ハンドルを回すとあ

れやびっくり、お金になって出てくる！」
 「今度は、お金を入れると、領収書が出てくる！」
 「偽札作れんの？」とみんな飛びついたマネーエクスチェンジャー。もちろん偽札なんて作れるわけではなく、単純な手品の道具。
 フィルムケースにカセットのケース。身近な材料で簡単にできる。しかし、作り方をみるとちょっと面倒な感じ。「これ、できるのかなぁ。」なんて心配したけれど、そんな心配をよそに、ポラキゅうどう君を中心にみんなあれこれ言いながら、盛り上がっている。
 「ちょっと、出来ないんだけど。なんなん。」
 「げ、紙が折れてるし。」
 「ここ教えてよ。」
 ぶーぶー言いながらも完成目指している。
 「あ、入れた紙が大きくなって出てくる！」
 「これ入れてみて、出てくるのはレシート。」
 「くだらないけどすっげー。すっげー。」とユータ君。
 早く家にもって帰って、披露したいようだ。
 外の天気とは裏腹に、週の初めから元気な熊谷。私も元気をもらったよ。
 気がつけば2月もお終いの週。髪も切ったし心機一転。今週もがんばるぞー。

また、さるりんになったのかな？(木幡)

=====

==== デイリー・フレネ =====

----- VOL/0643----- 2003/02/27

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

1. ジェシー、都立高校に合格!
2. ボクシングも行き過ぎると... 新宿・テッシー
3. ボーリングに行ったよ! 熊谷・かおりん

=====

今日はなんの日
 新撰組の日
 今日の花言葉
 おおあまな「純粹」
 今日のは誰の誕生日
 エリザベス・テラー(女優 英 1932)
 今日の名言
 「世界は偉人達の水準で生きることにはできない」
 フレイザー『金枝篇』より
 - 1. ジェシー、都立高校に合格!
 26日(水)は都立高校の合格発表日。都立桐ヶ丘高校(単位制)を受験したジェシー。ここは不登校の生徒も積極的に受け入れてくれる。単位制なので選択科目も自由に取れる。試験は、論文と面接。前日まで面接の特訓をしたのだが...。
 9時合格発表とのことで朗報を待っていたのだが、なかなか連絡がない。痺れを切らしてジェシーに電話。
 「もしもし、今、どこにいるの？」
 「桐ヶ丘だよ」
 「結果は？」
 「合格したよ」
 なんと! 淡々と話すジェシーより、こっちが舞いあがってしまった。なんとって、倍率3.86! 良かった! 良かった! 良かった!
 何が合格の秘訣か? こじつければ前日の特訓と、最後

に食べたおご飯(納豆ご飯、天ぷら、稲荷寿司、ヤキソバ大盛り、とどめにオムライス! これがお昼ご飯)かな?

4月からの健闘を祈る。

受験本番 テッシー

朝、木幡さんから電話。

「ジェシーがうかったってよ!」

おお! いやいやよかったよかった! これも、面接の練習などを自分から志願していたゆえ。一生懸命の賜物です。一つの結果が次への大きな一歩。

夕方前にはさきちゃんから電話。

「今終わったよ。疲れたあ。」

その後フレネに来て、採点開始。

本人は納得の結果ではないみたいだったが、実はなかなか良い点数。あれだけの点数を取るのほどれだけ大変か元塾講師のぼくには痛いほどわかる。これもコツコツと自分で勉強してきた結果だね。あとは明日の面接。

「これで、受験勉強ともおさらばできるかなぁ。もう、出来ない問題とかがあるとキーってなってきたかなあ。」とさきちゃん。

合格圏とかの問題ではなくて自分のやりたいことに合った学校を受験したさきちゃんには、すでに大きなものが残っている。

受験勉強は内容云々ではなくて大きな経験。ぼくも受験の時には机に頭叩き付けながら勉強したな。あんな経験もうしないだろうと。

2. ボクシングも行き過ぎると... 新宿・テッシー 遊びの延長か?

気がつくともつつぁん、ミッキー、山ちゃん、けんご君がいない。

「ああ、太宗寺にいったよ。」

なんか嫌な予感。非常階段から見ていると、けんご君とまつつぁんがボクシングの真似事をしている。見ていて顔を狙わないなどのルールを作っているのはわかるんだけど、いかんせん力の加減が出来ていない。残りの二人は周りで見ている。上から見ていると、周りで見ている二人には煽っている印象すらあり、とても不快。

ボラ・ウッチーと少し様子を見る。

「あれって遊びの延長になるのか?」

二人の顔が赤くなってきている。狙う場所も見ていて嫌になる。怪我をしてもおかしくない。

4人をフレネに呼んで話をすることに。

「ほんとはやりたくないけど、反射的にじゃんけんに入っちゃって負けた。」とけんご君。

いろいろ話をするけど、

「フレネでやるなって言うから外でやっているんだ。」

「ケンカじゃなくてスパーリング。」といった論理。みんなのやり方では怪我をしてもおかしくない、怪我をしたらお互いの関係が変わってしまう、やりたくない人を無理矢理やらすのはどうか、といったことを中心に話をする。

前にもまつつぁんがアザを作っていたことがある。正直、同じ話の繰り返しでむなししい。

「そんなにやりたいなら、空手とかボクシングとか行ったら?」

「そんな金ないよ。ここに来てて時間も無いし。」

「だったら、フレネやめてそっちに行ってもいいんじゃない？ここで自分のやりたいことができないと思うなら、そのほうがいい。」
 ぼくもここは引きたくない。格闘技は好きだけれどフレネの中では許される行為であってほしくない。それに、上から見ていてスポーツという印象なんてとても受けない。
 エスカレートしていくのは時間の問題。今がゲーム感覚なものも怖い。ケンカじゃないだけに、日常的になって麻痺しやすい。
 そのうち蹴りがありになり、顔面もありになる。殴り合いはやっていると同級生に「どうしちゃったの？」とも言える。大怪我をしてからでは遅い。
 とりあえず「わかった」とのこと。必要ならばミーティングの再議題かな。
 一番怖いのは完全に目の届かないところで継続されること。これは注意していかなくては。
 みんなの年頃で、そういうことをやりたくなるのも男性としてよくわかる。わかるというよりも自分もやっていたというのが正直なところ。元気が有り余っているのだから、何かスポーツを企画したほうがいいのか。
 我ながらあの頃はろくな目つきしてなかったなあ。久しぶりに会った同級生に「どうしちゃったの？」とか言われちゃって。今思えばとても恥ずかしくて仕方ない若かりし頃。

 ぼくも高校1年の頃、休み時間にボクシング遊びをやったなあ。手に座布団を持って殴り合い、結構エキサイト。
 ビートルズが日本武道館でライブを行った、1960年代の後半です。(木幡)

3. ボーリングに行ったよ！ 熊谷・かおりん
 今日のお散歩は予定では、「東大総合博物館」へ行く予定だったけれど、大学入試のため入ることが出来ず、急遽変更。みんなとの話し合いの結果、ボーリングへ行くことになった。
 ボーリングが初めての子、何年もやっていない子そんな子ばかりでみんなもわくわく。
 誰がうまいでもなく、みんなほとんど同じ感じ。「玉はどんなのを選べばいいのでしょうか？」
 「指はこう入れるんだよ。」
 と言うところから始まるけれど、みんなお互いに教えあっている。ファミリーレーンでガーターなしだから、誰でも楽しめる。ボーリングよりもピンボールのような気もしないでもないけれど...。
 「やったーストライク！」
 「すごいじゃん！すごいじゃん！」と
 みんなで楽しんで何よりなにより。楽しかった気持ちが次へつながるね。
 負けない
 「かおりちゃんには絶対負けない。」とシーちゃん。
 「あたしだって、絶対負けなーい。」とスタかおり。
 そんなことを言っても、大学時代あまりにも下手すぎて友達と遊びに言った時はいつもみそっかす。しかし、今日はガーターなし。なんてすばらしい。いつもならガーターの玉が跳ね返って、ピンに当たっているのではないか。

「やったあ、スベア！」なんてはしゃいでいたら、私が投球するタイミングに合わせて、「は・ず・せえ」だの、「わっ」っておどかすは大変...。
 苦闘の末、1ピン差でシーちゃんの勝ち。ぐやじー。

研究
 ボーリング初めてのエリ君。どうしたらいいのかあれこれ熱心に研究。球筋を見て、「どうも、手の振りが左側にいってしまうから、直さなければ。」
 「今度はこうしてみなくては。」と研究熱心。
 そんなかいあってか、2ゲーム目はスベアを3回連続でとるほどに。しかも、トータルのスコアでは一番。見習いたい姿勢だわ。

バスの中
 今日はバスで移動。途中から込み始めた。その中にはお年よりもちらほら。ボラやくしくんになおちゃんは自然と席を譲る。
 少し経つとまたお年よりの姿。すると、エリ君・きぐちゃんが席を譲る。譲る前には少し悩んだ姿もあったようだ。
 別に「譲って。」といったわけでもない。ボラの2人の行動が自然とそうさせたのだろう。
 「席を譲る」単純な行為のようだけれど、勇気を出して行動を起こした2人はとてもすてきだった。

(おまけ)
 髪を切ったスタかおりです。木幡さんのご期待むなしく、「さるりん」のような短さではありません。だって、あんなに切っちゃうと、頭が寒いんだもの。
 童顔で髪が短いからよけいになのか、年相応にはあまり見られない。美容師さんには「高校生でもいけちゃうよ。」と...。それもまたむなししい。
 駅前でビールの試飲をやっていた。欲しかったから、2・3度前をうろろうしたけれど、見向きもされなかった。
 うーん。

 ぼくは、さるりんの髪型が好きです(木幡)

=====

===== デイリー・フレネ =====

----- VOL/0644----- 2003/02/28

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

1. 新宿フレネあれこれ エンパナーダ他
2. 新宿&熊谷便り お授業「朝鮮」他
3. お便り二つ 東京&佐賀

=====

今日はなんの日
 1591 千利休、豊臣秀吉の逆鱗に触れ死を命じられ切腹
 今日の花言葉
 わら「一致協力」
 今日誰の誕生日
 菊川怜(1978 AB型)
 今日の名言
 「或ことをなしたために不正である場合のみならず、あることをなさないために不正である場合も少なくない」

マルクス・アウレーリウス『自省録』より
 - 1. 新宿フレネあれこれ
 エンパナーダ、おいしい！

本日のお料理は、南米の「エンパナーダ」。ミートパイのようなもの。ボリビアの小都市の公園でボーっとしていた時、小さな女のこが売りに来たのを買って食べたことがある。その味が忘れられなくて…。朝日新聞、土曜日の特集「秘伝 うちの味」にこれが掲載されていたので、さっそくチャレンジ！牛肉の赤身にたまねぎやパプリカを入れて炒め、ゆで卵の輪切り・干しぶどうと一緒にパン生地で包み、オープンで焼く。これだけ。

待つこと15分…、「うんまーい！」
買出しから調理、みんな手伝ってくれたね！

似ているなあ
「おはよー！ああ、やっと終わった！」

高校受験の面接帰りのさきちゃん。
おやおや…？髪が黒い？

「面接だから黒に戻したの？」

「茶髪のほうが似合ってるよ」

みんないるんなことを言っているが、とどめはりょうすけ。

「この人、さきちゃんによく似ているねえ」

みんな、大爆笑！
絶対、座るぞ！

「さあ、帰ろうっと」

通電チェッカーを完成させたとうこちゃん。彼女の家は小田急線で1時間半もかかる。

「新宿始発だから、座っていけるよね」

「一番前の車両に乗って、絶対に座っていくよ」

さきちゃんも東武東上線で池袋経由で1時間半コース。二人に聞いた「絶対に座るコツ」。

真ん中の車両は人の移動が多い。前部、後部は長距離通勤者が多い。

老人、制服（学生）の人の前に立つ（長距離は少ない）。

スーツ姿のサラリーマン、特に中年は、長距離通勤者が多い。

学校の制服と最寄駅の関連を憶えておく。

会話をよく聞き、降りる駅のめぼしをつける。

なあるほどねえ…

鮭は高いなあ…

高校に合格したジェシー、「木幡さーん、鮭食いに行こうよ！」

合格したら、お祝いのお食事会ということになっている。

「さきちゃんの結果がわかってからね。」

「値段の書いてない鮭屋のカウンターで食べようぜ」

「鮭って決まってるだろう。鮭屋は、さきちゃんできりごりなんだよ」

「そのことは言わないでよー。気にしてんだから」

と、さきちゃん。

以前、鮭屋のカウンターで「おおとろ」の連発をくらって、大散財の経験がある木幡です。

2. 新宿&熊谷便り

世界史の授業、朝鮮史 新宿・テッシー

最近何かと話題にあがる北朝鮮。北朝鮮に限らず韓国と日本は仲が悪いという印象はみんなにも根づいているみたい。

「どうして仲が悪いの？仲が悪くなったのには原因があるはず。」

といったことを中心に一時間近く。

ペリーの来航、日本の近代化の加速、朝鮮半島への侵略、朝鮮人の強制連行…。日本本土、朝鮮半島の両方でどのようなことが行われていたのかを、関連する背景を含めて進める。

中でも衝撃的なのは、日本の軍人が王妃を勝手な推測で殺害、ガソリンをかけて燃やすというエピソード。もちろん治外法権によって無罪だし、中心の人物はその後学習院の院長になるというおまけ付き。こんな事件は、人類の歴史上他にないのでは。他にもみんな関東大震災のときの流布、従軍慰安婦、安重根のことなど知っていることを挙げて話し合い。

「そういえば、日本もアメリカに不平等条約を押し付けられたんだよね。なんだっけ？船が転覆しても日本人を助けなかった外国人が無罪になった事件？結局同じことしてるんだ。」

いろいろ知っていることが自然と関連して出てくる。問題なのは、この様な歴史的事実に関する態度に、両国間ズレがあること。ぼくの知っていることなんて、朝鮮半島の人達からすれば微量に過ぎない。しかも、学校で教わった内容ではない。思わぬ本からといったもの。

このような歴史的背景を知らずに、お互いのことを認識し合うことなどできないだろう。理由を知らずに「なんか嫌だ」というのはあまりに無責任すぎるし、無知であることが恥ずかしくなる。

ドイツでは「アウシュビッツはなかった」と言ったら犯罪者になってしまうくらい。この様なことは朝鮮だけに限らず、中国など多くの国に対してもう一度見詰め直さなくてはならないことに違いない。アメリカでは日本に原爆落としてよかったと思っている人が結構いる。このようなことを知って、日本人達は怒るわけ。それが普通の感情だと思う。なのにね。

こんなときこそ、お互いの考えを知った上での対話が必要だよ。

授業の最後にひとこと。

「昔は、朝鮮半島から色々な技術を持って来てもらって、日本人は感謝の気持ちを込めて贈り物を返していたんだよ。」

もしもし 熊谷・かおりん

まだまだ日がある、と思っている球技大会。熊谷はきぐちゃんが連絡調整役。

「もしもし、きぐちゃんお願いします。」

とたかちゃんから電話が入る。熊谷で決まったことを伝え、新宿で決まったことをみんなに伝える。きぐちゃんは責任感も強い。

「新宿はミーティングだから、連絡来ると思うよ。」

とひと言付け加えたら、

「そのつもり。」

と頼もしい返事。当日はどうしようか、こうしようか、話も盛り上がる。

「これは、いつまでに決めればいいんだろ？」

「新宿に聞いてみよう。」とまた電話。

「あの、もしもし、もしもし。」

と何度も繰り返すきぐちゃんの声。「何が起きているんだろ？」と電話の周りでみんなも不思議そうな顔。

話し終わった後、
「新宿はにぎやかすぎて、声が聞き取れなかったよ。」
だって。負けない元気で球技大会は会いたいね。

3. お便り二つ

練馬区のMさんからの便り。不登校問題に関わる主婦のかたです。

- - - - - 以下、転載。

練馬区のフリーマインドスクール（適応指導教室）も少しだけ私達の声を聞き入れてくれて、来年度週3回から月～金の5日間へ、半日から全日へ、心理1名と、そのほかに2名の指導員追加（また退職校長でした）という成果を上げました。パチパチパチ???

我が家の次女は5年生から学校へ復帰、三女も今年度春に少しだけ行きましたが、途中で止まり、2学期は家でゆっくりしましたが、「私はやっぱり外が好きみたい。ママやお姉ちゃんが帰ってくると外のおいがするでしょ」と言い出し、3学期からフリーマインドに戻りました。

間が開いたので少しは中身も充実してきたのかと思いきや、相変わらずのお仕着せのスキーマの説明会、心からがっかりです。稚拙でもいいから話し合いで一つ一つ決めたり自分達の場を作っていくような活動を、きっちり関係を見る目のある人のところで、させたいと思いますが、長女が予想外に私立に行くようになった我が家にはますますフリースクールは遠い存在になってしまいました。

親の会のほうも、それぞれ課題が変わってきて結集している人はまばらになってきましたが、相談に見える新しい方はどんどん増えているので、あちこちで掘り起こしの会を開いていこうと確認したところです。木幡さんもお忙しいでしょうが、春あたりに、授業プラス講演お願いできませんか？

- - - - - 以上、転載終了。

新しいネタもありますので、いつでもお声かけ下さい。続いて、ボラ・ウッチーの弟からのお頼りです。

- - - - - 以下、転載。

先日はお邪魔させていただきありがとうございました。正直言いまして、フレネに行くまで、『どんな子たちがいるんだろう。』とか『初めて会う自分がみんなの輪にいれてもらえるんだろうか。』などとすごく心配していました。

でも、フレネに行ってみるとまるで前からそこにいたかのようにみんなから話し掛けてもらって心配などふきとんでしまいました。そして心配してた自分がなんだか恥ずかしくなりました。

フレネでのみんなは元気いっぱい、で圧倒されっぱなしだったような感じがします。フレネではとても楽しい時間が過ごせました。一日しか行けなかったので全員と話したりできなかったのもまたフレネに行ってみたいななんて思っています。

お邪魔でないのでしたらぜひまた遊びに行かせて下さい。

- - - - - 以上、転載終了。

ボラ・ウッチーもそろそろ(?)定職につきそうです。弟さんも4月から東京の大学生。ボランティアに来てくれると嬉しいなあ。

- - - - -

デイリーフレネは月～金の平日刊です。今年度終了まで残り実数13日。4月にはJF熊谷オープン3周年記念「フォークの鬼才・高田渡」ライブを企画しています。ぜひ、いらして下さいね!

では、楽しい週末を!チャオ&ラブ!

=====

===== デイリー・フレネ =====

----- VOL/0645----- 2003/03/03

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

- 1. しょうや君との対話
- 2. お料理対決 チリ料理VSタイ料理
- 3. いろんな行き違い かおりん

=====

今日はなんの日

1860 桜田門外の変で大老井伊直弼暗殺される

今日の花言葉

れんげ草「私の幸福」

今日は誰の誕生日

ジーコ(サッカー ブラジル 1953)

今日の名言

「私たちはときとして情念に動かされ、これを熱心さと思い違える」

トマス・ア・ケンピス『キリストにならいて』より

- 1. しょうや君との対話

17歳のしょうや君。一緒に遠山啓の「数学入門」の読書会をやっているのだが、新宿にやって来るのが夕方4時ごろと遅い。

先日、白土三平の「カムイ伝」をJFの本棚から借りていった。その前は、「古武術からの発想」...。とにかく、読書が大好きで図書館、紀伊国屋書店巡りをしている。

そんな、しょうや君との対話...

「今、どんな本を読んでいるの？」

「『力士の心・技・体』だよ」

「どういうところに興味があるの？」

「家系とかで巨人が多いってのあるでしょう。日本人も昔は今より大きい体格の時があったんだって。身体の問題に興味があるの」

「出発は？どうしてそういう興味が湧いたの？」

「テレビでそういう特集をやっていて、それからかな？」

かれの関心は、身体...

「鷲田清一って知ってる？彼はその辺に詳しいよね。歴史や状況で人間の身体や動作も変わってくるんだ。昔の日本人は行進できなかったのって知ってる？」

「ああ、『ナンバ』のこと」

こいつはずごい!17歳で『ナンバ』を知っているのは...

ナンバ

歩く時、右手と右足が同時に出る歩き方。江戸時代の農民はナンバだったらしい。

「自分が何に興味を持って、何を讀んだのか...、そしてどう思ったのか、どう考えるのかを時系列でまとめてみたらおもしろいよ。これは、学者の仕事と同じだよ」

「うん、わかった。やってみる」

JFの本棚をながめて「ああ、この言葉、知っている。借りていってもいい？」

彼が本棚から取り出した本は、松岡正剛の『フラジャ

イル』。

フラジャイル

が弱きもの、痛々しいものなどの意味。弱者の視点の重要性を説く名著。

「読むのが楽しみだなあ」

そう言うしょうや君の瞳、輝いていたなあ。

2. お料理対決 チリ料理 VS タイ料理

お料理 エンパナーダ(チリ)新宿・テッシー

今日はチリ料理のエンパナーダ。簡単に言ってしまうとミートパイ。もちろん生地から作る。

今日も買い物でアクシデント。帰ってきた袋を見ると、パブリカが赤いピーマン。調味料というのを言い忘れていた！急いで取り替えに。

さてさて、準備は大変極まりない。生地、具と両方一辺に準備していかなくてはならない。

生地のほうは山ちゃんやあやちゃんを中心に。

「どりゃ！」という掛け声やドン！という音がしている…。ふと覗くと生地をブン殴っている…。これこれ。

具のほうはゆで卵から。ゆう君が、

「こんなんでいいよね。」といういろいろ動いてくれている。サラダまで準備。

「俺は超がんばった！」と終了後に言うだけのことはある。

生地ができて、具を炒めて。ここまですで2時間近く。その後はつつんで焼くだけだけれど、いかんせんフレネのオーブンが小さい。オーブントースターも使っていると木幡さん。だけどこれがうまくいかない。

「なんか焦げ臭くない？」というあんばい。

しかなくオーブナー一つで地道に。全部焼きあがるのに一時間強。焼けたらみんなでワーツと食べてしまうのでお腹いっぱいにはならなかったかな。気がつけば、パンとか買ってきている子が続出。

お味のほうはというと、手間をかけただけあっておいしい！あつという間になくなっちゃうのも納得。

何より今日は片付けがすばらしい。気がついたらけんご君が洗い物。

「ここにあるやつは、全部やるよ。」

ゆう君もテーブルを拭いている。

「早く片付けてもサッカーいけないっぼいよ。」と

他の男の子の声にも、

「別にそのためにやってるわけじゃないし。」

とても気持ちいい幕切れ。腹八分目でも、なんだか胸がいっぱいでした。ごちそうさま！

お料理 トム・ヤム・クン(タイ)熊谷・かおりん

今日のお料理は、「トムヤムクン」タイの料理世界の3大スープなんだとか。

「トムヤンチャンじゃダメなのかな。」とかあれやこれや。見たことのない料理にみんなもわくわく。

「今回も、ナンプラー使うんだって！くさいよー。」

と何回か続いたアジアの料理でみんなお馴染み。

「見たことないこんな香辛料があるよ。」

「コリアンダーだって、こりゃなんだー。」

とさむいギャグを飛ばしながらも、アツクお料理が進んでいく。

スープだけではさみしいので、焼きピーンも一緒に。ピーンもタイの料理のようだ。テーブルがアジアに彩られていく。

出来上がったトムヤムクンと焼きピーン。

しかし、みんなほとんど食べたことがないもの。

「これってこの味でいいの？これがおいしいの？」

「レシピには書いてないけれど、塩コショウ入れちゃえ。」

と、どんどん味付けが変わっていく。

「何か、物足りない。こんな味じゃない気がする。」

とエリ君。あたしも何か、違う気がするけれど

「ここが違う！だからこうだ！」とも言えず。

「これでいいのかなあ??？」

「これがおいしいの？」

「多分こんな味だったかな？」と「？」が浮かぶお料理の時間。本当の味はどんななんだろうか？

謎。

今度は、みんなで本物を食べに出かけるのもいいかなあ。やっぱ、タイに行かないと。

3. いろんな行き違い かおりん

お料理の時間きぐちゃんがきれた。

原因は私にあったようだ。焼きピーンを分けて炒めるのに、

「フライパンを準備して。」といわれ、

「あいよ、ちょっと待って。」と私は返事をしたつもり。

麦茶沸かしたり、食器を片付ける段取りをしたり、あれやこれ。問い合わせの電話がかかってくるわで

てんてこ舞い。

「フライパン！」と出した時には、きぐちゃんはきれていた。あたしが無視したのだと思っただけ(これはあたしの言い分)。私の返事も彼の耳には届いてなかったようだ。

「もういい。俺ひとりでやるから。出してといった時にしてくれねえじゃネえか。」と。

頭ごなしに言われ、私もカチン。お互いのくい違い。

周りの子はみんなびびっていた。

こんなとききぐちゃんに何を言っても耳には入らない

だろうし、とりあえず、時間を置いて話すことにした。

些細な自分の行動でも受け取られ方によっては、今回のようなことになる。自分ではそういうつもりは

なくても今回で言えば「無視した」と思われ、頭ご

なしにあれこれ言われるのは私も嫌な気持ちだ。

何より相手にそう思わせてしまった自分も情けない。

自分の行動も見直さないとだなと思う。

金曜日、授業のため熊谷に行ったら、ミーティングで上記の件を話し合っていた。お互い、きちんと話してわかりあえたようで、なにより。

やはり、「お互いの違いを認めつつ話し合う=対話」

が必要なんだね。(木幡)

=====

===== デイリー・フレネ =====
----- VOL/0646----- 2003/03/04

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

1. Nさんからの便り

2. 久々の運動は...、他 新宿・テッシー

3. 木幡のお授業です 熊谷・かおりん

=====

今日はなんの日

1861 リンカーンが第16代アメリカ大統領に就任

今日の花言葉
 きいちご「愛情」
 今日誰の誕生日
 浅野温子(1961 A型)
 今日の名言

「すべてを疑うか、すべてを信じるかは、二つとも都合のいい解決法である。どちらでも我々は反省しないですむからである」

ポアンカレ『科学と仮説』より

1. Nさんからのお便り

入会希望のNさんからのお願いです。

-----以下、転載。

しばらく間が空いてしまいまして、ご連絡もせず、申し訳ありませんでした。フレネのみなさんの受験の報告など、メールマガジンやHPで毎日拝見しています。こちらまで嬉しくなってきました。

自分で選んで、自分で計画し、自分で勉強して、自分で受けて、自分が行く。当たり前的事だと思えますが、何と潔く、明快なことでしょう。

振り返って、自分の中学高校時代を思い出して見ますと、どうしてそうしたくて、どうしてそうするのか、分からないまま、深く考える時間もないまま、ただ親や周りの言葉を鵜呑みにして、進路のことを決めていたように思います。

当然勉強にも身が入らず、それでも、何となく「行かなければ大変だ」というあやふやな不安を抱えて進学。当時の自分には、まだ時期というものが来ていなかったのだと思いますが、それは、後になってから分かることです。

その頃漠然と感じていた曖昧さは、心の奥深く潜伏して、ずっと経ってからちくちくと自分を責めたりするのです。

「自分で決めて責任を取る」というのは、人間の基本ですね。...子供のことで、自分の来し方のカウンセリングまでしてしまった私なのでした。自分にとって、思い掛けない、すごい出来事だったように思います。

また、「当たり前」と何気なく思っていることの中にも、正面から尋ねられると答えられない事が、意外に多いということも知りました。例えば、「どうして学校へ行くの?」という問いからしてそうです。

まだまだ、子供との些細なやりとりが「親」の感情に触れて、あっという間に、一度は反省したはずのつまらない大人の権威主義に逆戻りすることもある、未熟な私ですが、子育ては、格段に面白くなりました。つまり、一方的ではなくて、お互いに与え育てあう関係の心地よさを知ったということかも知れません。

前置きが長くなりました…。ごめんなさい。あれから、仕事が忙しくなってしまうと、娘のこともしばらく放ってありました。

そうこうするうちに、中学の担任の先生から電話があって、「2年に進級するに当たって、今後学校に来る来ないは別として、『進級したい』という意志を、親子で学校に来て、校長の前で示して貰わなければならないのだが、どうしましょうか」と言われました。

「ヤーな感じ!」とまず思ったのですが、娘に話しますと、「逃げるみたいで嫌だから絶対行く」と言います。

このあたりが、良くも悪くも娘の頑固な所ですが、まあ、部活の件以外では先生や友達とのトラブルがあったわけではないので、「行って行かれぬことはない」と思ったのかも知れません。

それが来週の4日(火)。期末テストで、生徒達が教室に入っている午前10時頃、ということになります。娘にとってはかなりハードな儀式だと思います。しかし、本当に学校に不信感や嫌悪感を抱いている子供だったら、どうなるのだろう?と心配になってしまいました。

娘の希望では、その儀式が終わってからフレネに申し込みに行きたいようなので、できれば来週中にはそちらに親子で伺いたいと思うのですが、ご都合はいかがでしょう。

コースですが、娘の意見も汲んで、まずは週二日から始めたいと思います。「二日」に関しては、木幡さんがご心配されていましたが、確かに、親も子どももどこか無意識に「ねばならぬ!」が染みついているかも知れないので、そのあたりに気をつけながら、まずリラックスして、慣れて行ってほしいと思っています。

(後略)

-----以上、転載終了。

学校という場所は、どこまで入っても理不尽なところ。進級の意志うんぬん、しかも校長の前で...、学校の権威主義そのものではありませんか。

そういう場所で生きていける子どもはいるでしょうが、そうではない感受性豊かな子もいるはず。学びは学校だけで可能なものではありません。

これからも一人一人の子どもを応援していきたいと強く思った木幡です。

(木幡)

2. 久々の運動は...、他 新宿・テッシー

今日はひなまつり。お客さんからひなあられの差し入れ。みんなでポリポリかじりながら、のんびりとしたひととき。やっぱり、こういう季節のものを感じられるのはいいね。

では、きょうのみんな

月曜日だけ??

毎週人数の少ない月曜日。だけど、今日はなんだかたくさん。

ボラ・ウッチーと移動ボラ・やくしくんと一緒にサッカーに行ったのは総勢なんと10人!

「結構もりあがったよ。」とのこと。いいなあ。

英語の授業も朝から2本。それとさきちゃんと「三匹のこぶた」の英語版絵本を読む。残っている子もなかなか。

みんな帰って来てからもピッコロをやったり。なんだかんだと盛りだくさんの月曜日でした。

朝からコボ作が日課になってきたたかちゃん。みんなそれぞれに新しいことに挑戦しています。

久々の運動。全身痛い。ロボットみたいな動きになってしまっています。キーボードを打つのも結構苦痛...

では、みんなの様子

お散歩-バドミントン

久しぶりの運動お散歩。年度末ということもあってか道の工事が多い。バスで移動するばく達は出発からてこずる。

「走って行ったほうが早いんじゃない？」なんて言葉が出るほどにバスがこない...

到着すると、体育館の中は思ったよりすいていたのでみんな思うままに。

最初は羽根つきのようなもんだけど、だんだん羽根のスピードが上がってくる。飲み込みが早い。遅れてもえちゃんママとしょう君到着。なんてたってこの二人が上手い！いいあたりも当たり前のよう返って来てしまう。

しばらくすると、試合をやることに。だけど、やっているとおれもませろー！」ってな感じで乱入開始。気がつく一つのコートに10人くらい詰め込まれている。他にもコートが空いているんだからそっちでやればいいのに...

淋しがり屋が多いのかな？

ぼくは1時間もすれば足がきしんできて。それでも、「ブル、勝負だ。」と言われると体が動いてしまう。そのツケが二日たっても取れない。山ちゃんには2戦全敗。悔しい！！

帰りには、

「久しぶりに運動楽しかった！」と中ちゃん。

新ボラ・かおりちゃんと頑張ってたもんね。

たかちゃんも、

「やっぱり球技大会でバドミントンやりたいなあ。」

やっぱり運動はいいね。もう少し定期的にやろう。

3. 木幡のお授業です 熊谷・かおりん

おちを考える

金曜日は木幡さんの授業。今日は、3コマの漫画のおちを考える。それから、その漫画を200字にまとめるというもの。

「え、そんなことできないよ。」

「オチなんて思いつかないよお。」と言いながらも、

「30分で書いてみよう！」と木幡さんの声がかかると、

みんな真剣。すらすら書き始める子。鉛筆が止まってしまう子。様々だ。

時間が経ってみんなで発表。いろんなオチが出てきた。子どもそれぞれで面白い。

ただ、文を書きなれていないので抵抗がある子が多かったのも事実。

木幡さんから

「文を書くのは、まずは事実を描写するというのが第一なんだよ。お相撲さんが毎日の繰り返しの練習でまず型を作っていくのと同じように、文を書くのも、まず書く型を作ることが大事なんだよ。」と。

みんなに届くといいなあ。

みんなだけではなくて、私も心にとめておかねばならぬひと言でした。

=====

==== デイリー・フレネ =====

----- VOL/0647----- 2003/03/05

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

1. 偉いぞ！りょうすけ！ ミーティングにて
2. フライパン騒動のその後
3. 3月の湘南BASIC

=====

今日はなんの日

1933 ドイツ総選挙でナチス第一党に

今日の花言葉

やぐるま草「幸福感」

今日は誰の誕生日

榊原み(1951 A型)

木幡、昔からの大ファン！ファンクラブに入っていました。

今日の名言

「子曰く、書は言を尽くさず、言は意を尽くさずと」『易経』より

- 1. 偉いぞ！りょうすけ！ ミーティングにて毎週火曜日のミーティング...、司会は先週のご指名により、けんご。

「司会は、司会のこと以外はしゃべらないでよ」

「しかい、しかい、しかい」

変わんねえなあ、プーイング。

あれこれ議事進行して、「他に何かありませんかあ？」

「けんご君、ひとのことを『あれ』とか『これ』とかいうのは、よくないと思う」と、りょうすけ。

実は、司会のけんご、議事進行中にぼくに対し、「これ」と指差したことをちゃんと見ていたのだ

(もちろんぼくは、その場で注意したが)。反面教師として、ちゃんと見ているなあ。

「りょうすけ、他にないの？」木幡が促す。

「あとね、けんご君とかジーコ、ぼくをベランダに閉じ込めないで」

ううん、これに関してもその通りなので、なんら反論の余地なし(これもその現場を木幡に押さえられ、注意を受けていた)。ベランダの閉じこめは危険極まりない。「絶対禁止！」と、木幡がプッシュ。命に関わることは絶対に妥協しない。

実は、ミーティングの前にはりょうすけママから電話があった。

「『いやなことがあった』って言うんです」

それがベランダ事件。

「お母さんが木幡さんに言ってあげようかって言ったんですが、なにやら手紙を書いて『自分で言う』そうなんです。もし、ミーティングで話す機会がありましたら、よろしく願います」

きちんとミーティングで話すことができた。いやなことは黙ってはいけな。フレネは、自分をちゃんと主張できる場なんだよ。

偉かったね！りょうすけ！

2. フライパン騒動のその後

【スタ・かおりん】

曜日のきぐちゃんとの一件。一晩たって話し合う。きぐちゃんはその時、

- ・早く作らないととあせっていた
- ・フライパンは誰でも言いから出して欲しかった。けど、出してもらえず腹が立った。

無視されたと思った。

誰かお願いといったつもりだったけれど、自分の中では伝えたつもりだったが今思えばそう思い込んでいた部分も大きかった。

- ・一回意地を張ったら、後に引けなくなった。

みんながひいてしまった状況を作ったのは申し訳ない。とのこと。

吉田

・あれやこれやとバタバタしていた。
 ・無視したわけではなく、「ちょっと待って。」と返事をした。
 それが伝わっていないとは思わなかった。
 ・きぐちゃんに頼まれたことが後手後手になってしまったのは申し訳ない。
 ・お互いのくい違いはあったものの、いきなりきぐちゃんにきれられ、腹が立ちがちんとなった。
 とお互いのズレを確認。
 今後どうしたらいいものかと話す。
 ・すぐに来ないことを曖昧に返事をしない。(吉)
 ・自分では伝わっていると思って伝わらないこともある。お願いする時は不特定多数にむけても反応のない時は、名前で指名してお願いしてみる(木)

・今回で言えば、フライパンを出すことは周りにいたこもできることなので、やってもらうようにお願いする。
 お料理の時間に起きたことなので、ミーティングで話す。周りで見ていた子達もなんでいきなり、なんできぐちゃんがきれていたのかわからず、納得した様子。
 きぐちゃんと私がカチンとなっていたとき、ボラさゆりちゃんが雰囲気緩和してくれたのは助かった。きぐちゃんも、「ひとりでやるからいい。」といった手前、後にひけず、さゆりちゃんが「分けてやろう。」と仕切りなおしをしてくれたのは、助かったといっていた。私も普段ならば間に入るが、当事者なのでどうにも出来ずよかった。
 ほんの些細なことだったが、やっぱりお互いが嫌な気持ち。そのままにしないで起きたことを改めて話してみると相手のわからなかった部分が見えてきたり、お互いの話し合いの中で悪かったところを次につなげるにはと、見えてきたり。
 次につながっていけばいいな。と思う。

【テッシー】

・熊谷のフライパンのことを読んで。
 こっちからでは現場にいるわけではないし、その雰囲気とかはわからないのだけど、とても刺激になりました。
 今回のようなことを、お互いに話し合える状況がとてもいいなと。個人の感情というのは、行き違って当たり前なのかも。みんながみんな同じ感情しか持てないなんてそれこそ恐い。
 ようは、どっちが「いい」・「悪い」なんてことじゃなくて、その気持ちを相手にどのように伝えて、どのように認識しあえるかが問題なのだと。個人的な感情は未解決のままだと、とても利己的になってしまいそう。
 飛躍してしまうけれど、最近の世界情勢というのがとても利己的に感じてしまうのは、「いい」・「悪い」を片方の立場からしか伝えられていないからかなと。お互いに言い分があるのだから、その両方を話し合わなければ、何の解決にもならないと思う。

「お前はどっちの立場だ？」なんて第三者に感情を押し付けるなんてそれこそねえ...。
 対話という言葉がよく出てくるけれど、これができている場所って日本じゃ少ない。それでは、イメージすら湧かないだろうな。個々のところから始めないとグローバルな時限になんて到底行き着かないに違いない。
 その解決の道筋が何だか感じ取れたし、それと同時に新宿ではどうかなと自分を振り返るきっかけでもありました。今の新宿ではここまでできているのかな？まだまだ足りない部分があるのだと。熊谷のいいところはどんどん真似していききたいなと思いました。

3.3月の湘南BASIC

日時 / 3月8日(土) 14:00 ~ 17:00

会場 / 茅ヶ崎市勤労市民会館

1F案内表示は、「選択登校を考える会」となっています。

参加費 / 200円 + 実費

内容 / 授業レシピを使ったワークショップ

BASICでは、基礎・基本を問い直し、新しい授業の展開を進めています。今回は、素材の面白さに着目する企画第1弾「通電チェッカーをつくる」です。電気関係は、ちょっと？という向きにもきっと楽しくいろいろやりたくなる素材が待っています。

「通電チェッカーのメーカーごっこ回路推理ゲーム」

電池、端子、発光ダイオード、整流ダイオード、電子ブザーに100抵抗。たったこれだけの部品からちょっとした面白いものができるんですね。一つひとつの部品の働きは、何となく分かる程度です。でも「できあがったチェッカーを使って何ができるだろう」、いろいろアイデアがでてきます。楽しみの広がる素材です。他にも水銀スイッチなど面白い部品を見せてもらいました。

紹介者も「キットをまとめるのではなく、工夫してまとめ上げること、そしてその世界に熟練の広がり(包容力)はあることに注目して、デスクワークからの解放をねらった。したがって、電球をつける直列と並列増幅回路というような系列に乗らずに、発光ダイオードと回路にこだわって実践を組んでいる」といっています。

「世紀を刻んだ歌イマジン2001 - 2002」

これは、NHKの教育番組国際コンクールの受賞作品の一つです。9.11のテロの後に全米に半旗が掲げられ、テロに対する報復が叫ばれた頃、テレビやラジオの世界では、放送自粛の曲リストがつくられたようです。

その中には、このジョンレノンのイマジンも入っていました。詩のイメージがテロ報復の高揚感に水を差すと判断されたのでしょう。

しかし、ラジオでは徐々にイマジンのリクエストが増え、街角でもその演奏が聴かれ、クラブなどでもイマジンが流されるようになり、この曲は巷にあふれます。

そして、この曲を作り上げる時のジョンとオノヨーコのエピソードが入ったり、日本の学校でこの歌が取り上げられている様子が入ったりと、映像はてんこ盛り状態です。

放送自粛になったことでも分かるようにイマジンにはメッセージ性が、強くあります。それと同時に傷ついた人の心を癒す面もあります。いろいろな切り口でこの曲や映像を授業として使えないでしょうか。英語が分かる、分からないはあまり問題ではないと思います。

=====

===== デイリー・フレネ =====

----- VOL/0648----- 2003/03/06

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

1. りょうすけ、通電チェッカーに挑戦！
2. 歴史の「お授業」 テッシー
3. かえてきた漢字ゲーム かおりん

=====

今日はなんの日
 1957 黒いアフリカ、ガーナが独立
 今日の花言葉
 ひなぎく（明朗）
 今日是谁の誕生日
 アンジェイ・ワイダ（映画監督 ポーランド 1926）
 ミケランジェロ（芸術化 伊 1475）

今日の名言
 「子孫のために計画を立てる場合、美德は相続されな
 いということを忘れてはならない」

トーマス・ペイン『コモン・センス』より
 - 1. りょうすけ、通電チェッカーに挑戦！
 「ぼくもやりたいーい！」

小さい子にはんだ付けなどの作業は無理かと思いきや、
 見本を見せて、その通りやれば大丈夫ということがわ
 かった。

「半田ごては右手で鉛筆を持つようにね」
 「うん」
 「熱いから気をつけてね」
 「うん」
 慎重にはんだ付けするりょうすけの瞳は真剣そのもの。
 「あっちっちちー！」

気をつけるといっていた木幡が熱せられた線は無意識
 につかみ、火傷…。いい見本。そのうえ、スーツの上
 に溶けたはんだを落として…。泣ける…。
 笑うりょうすけ、泣く木幡…。

2. 歴史の「お授業」 テッシー
 世界史の授業ー第一次世界大戦ー
 今日もお昼前から一時間弱の世界史の授業。
 まずは、日露戦争の結果などを簡単に踏まえて第一
 次世界大戦の対立構造を。バルカン半島の場所も
 ついでに確認。

今日は第一次世界大戦の結果がどのような世界を
 生み出したかと言うこと。ナチスがどのように出現し
 て、どのようなことをしてきたのかということにも。
 「シンドラーのリストって見た？」

「ああ、見てないや。」
 映画から歴史を学ぶというのは賛否が分かるところ。
 だけど、戦争のもたらす悲劇を感じるには、
 映画はよい媒体になってくれる。

そして、今日の目的は日本と中国。いきなり飛んで
 しまうのだけれど、南京大虐殺や、三光、特殊部隊
 の話をしながら日中戦争へ。中国の被害のことを話

す。少なくとも1000万人の中国人が亡くなったと。
 今の日本の人口と比べてみる。

「だけど、1972年に日中国交回復の際に中国側
 は日本に対して賠償金を要求しなかったんだよ。

なんでだと思う？」
 みんな首をかしげている。

「ここで莫大な賠償金を要求することはもちろん可
 能だけれど、そうすると、第一次世界大戦後のドイ
 ツと同じ状況を作りかねかねないからって。」

歴史から学ぶとはまさにこのこと。というところでは
 くはおしまい。

だけど、その後もみんないろいろ話している。
 「中国とか韓国が被害者意識が強すぎるとも言えな
 い？なんか色んな資料館とかあるらしいよ。」

「だけど、日本にも原爆ドームがあるよ。」

そうそう。ちなみに広島・長崎合わせて被害者は30
 万人以上だったかな。その後は自然と今の世界情勢
 についても話が伸びてくる。

みんなの年の頃にこういうことについて問題意識を持
 つことはとても大事なことだと思うな。このようなきっか
 けをどんどん増やせていけたらな

3. かえてきた漢字ゲーム かおりん

熊谷がオープンした時、漢字ゲームが大流行。あの
 頃は、朝から晩まで、来る日も来る日も漢字ゲーム。

（漢字ゲーム：熟語を縦・横・斜めに綴っていく。1マス
 が1ポイント。マスによっては得点が倍になったり、
 重なる熟語で点が倍増したりする）

「徐々に、またやりたいんだよね。」という声を受け、
 徐々に登場。「それって、どうやるの？」と知らない子
 もちらほら。なんか時間の流れを感じるなあ。

今日はやる子も多かったので2チームで対抗。
 チーム内で熟語を教えあったり、ここでこう取れば
 点数が倍になるぞ。あれこれ相談。三人寄れば文殊
 の知恵。いやいや4人でいいチームワーク。勝負事
 には燃えるきぐちゃんと緻密な作戦好きなエリ君の
 協力タッグが優勢力と思いきや、終ってみれば、し

ーちゃん・しゅん君・ポラゆうきくんチームが逆転勝ち。
 決め手はしーちゃんの「自然環境」

ゲームが白熱して、ことばが荒くなったりはしたけ
 れど、思いもつかない熟語が相手チームから出ると、
 「よく思いついたねえ。それはすごい。」

「よく知ってるね。」とお互いを誉めあっている。
 ゲームで負けても、「面白かったから、またやろう！」
 という声。

オープン当時は、負けると悔しくて怒って帰っちゃ
 ったり、ゲームを途中で止めたり。危うく喧嘩とい
 うことも多々あった。ポラゆうきくんと、
 「そんな頃が懐かしいね。」と話合った。

時間は流れて、みんなも成長しているなあ。
 なんて年をとった気分。
 そんな一日でした。

=====

===== デイリー・フレネ =====

----- VOL/0649----- 2003/03/07

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

1. 子ども達との会話あれこれ
2. 豚丼はうまい！ 新宿・テッシー

3. 早くもいちご狩り 熊谷・かおりん

今日は何の日

1788 クックがハワイ島発見

1900 未成年者喫煙禁止法施行

ということはたかだか100年前ぐらい前まで、子どもがタバコ吸ってても平気ってこと？

今日の花言葉

たねつけばな「燃える思い」

今日は誰の誕生日

安部公房(作家 1924)

イワン・レンドル(テニス 米 1960)

ブリジット・フォッセー(女優 仏 1946)

名作「禁じられた遊び」の名子役

今日の名言

「はじめにおわりがある。抵抗するなら最初に抵抗せよ。歓喜するなら最後に歓喜せよ。途中で泣くな。途中で笑うな。」

むのたけじ詞集『たいまつ』より

- 1. 子ども達との会話あれこれ

りょうすけ編

二人で「通電チェッカー」作り。ハンダを付けるのも慣れて来たね。

「ここは難しいから、ぼくがやるね。ちょっと押さえていて」

「こう？」

「いや、もっとこっち」

「これでいい？」

「いや、そうじゃないの。それじゃ、手が交差するでしょ」

あれこれ、やるが意思が通じない。

「木幡さんが動けばいいんじゃない？」

「違うでしょ。なんか、自分本位のところぼくと似ているなあ」

「じゃあ、ぼく、大きくなったら木幡さんみたいになるの？」

「……」

ぼくみたいになるのがいいのか悪いのか、わかりません…。

たかちゃん編

大きな荷物を持って仕事に行こうとしているぼくに、

「木幡さん、荷物1個持ってやろうか？」

「おっ、いいねえ。ありがとう」

「1階まで一緒に行ってあげるよ」

嬉しいなあ。なんてことない一言だけれど、心にずんと入ってくる。

「じゃあね、バイバイ！」

たかちゃんのやさしい心…。

ふみちゃん編

新入会のふみちゃん、「こんなに人が多いのは久しぶり…」。

ボラ・うめちゃん達と図書館に行って、戻ってきた。

「今日は、これで帰ります」

「明日は渋谷の電力館に行くよ」

「はい」

マイペースでやっています。

けんちゃん編

久々登場のけんちゃん、『三国志演義』を読んでいる。

「『三国志』と『三国志演義』はどうちがうの？」

「『三国志』は歴史そのもので『三国志演義』はそれを劇化っていうか、物語にしたものかな」

三国志を読んだことがない木幡…、勉強になりました。

2. 豚丼はうまい！ 新宿・テッシー

少し暖かくなってきたのかなと思っていたのも束の間。またまた、朝の布団から出られないような日々です。三寒四温というよりもまだまだ寒い日が続くそうなので体調には気をつけたいところです。

では、きょうのみんな

お料理ー豚丼

「今日のお料理なに？」

「牛丼の豚バージョンだよ。」

朝からこの会話の繰り返し。「豚丼」といってもみんな「??」といった感じだったからね。

少し時間がかかるのかなと思っていたけれど、すぐに完成。グツグツ煮こむのと、ご飯が炊けるのを待っている状態。

その間に、味噌汁作り。すぐにワカメを入れると、

「あー！ワカメは最後だよ！」

なかなか詳しい。何も考えないでジャンジャカ入れようとしてました。

味噌汁は女の子たちにお任せ。新メンバーのふみちゃんもみんなと一緒にせっせと仕事。

「テッシー、味見。」と言われたときには

「おいしいよ。こりゃ。」といった状態に。

みんな上達しているなあ。

みんなで片付けも。あつという間のお料理でした。

1時半には全て終了！お疲れ様でした。

3. 早くもいちご狩り 熊谷・かおりん

今日のお散歩は、いちご狩り。秩父の手前黒谷駅まで秩父鉄道で揺られていく。ガタゴトのんびり景色が変わっていく。梅の花も咲いている。春の訪れを感じる。しかし、今日は冷え込んでとても寒かった。

電車に乗ること1時間。駅から3分のいちご園に到着。

ハウスの中にはいちごの畝。赤いいちごがたわわに実っている。

「うわ すごい。これ食べていいの！」

「早く食べなきゃ！」とみんな必死。

「甘くて、おいしー。」

鼻の大きさほどもあるいちごや長細いもの、きれいな形のものなど様々。

「ねえねえ、タカさん。」とりょうくんが見せるいちごはなんとハート型。かわいらしい。

スタかおりは果物の中ではいちごが一番好き。

ああ、しあわせ。もちろんたくさん食べたよ！

用意周到

「じゃーん。」とかばんの中からユータ君が取り出したのはコンデスマルク。摘み取ったいちごにつけるために持参したのだ。賢い！

「なんですか？それ。」

というエリヤ君のウエストポーチの中からも、コンデスマルク。

なんて準備がいいのだ。

食べてやる！

「30分で1200円なんて高い。30分でもどれだけ食べられるのか思い知らせてやる。」

と意気込むエリ君。

30分後、ヘタの数を数えてみるとなんと96個。

よく食べたなあ。何バック分になるんだろう？
お腹をこわさないといいけれど。

お金のはじめ

黒谷は昔銅が取れた。日本ではじめての通貨「和同開珎」が作られたそう。遺跡の後には、大きなモニュメント。いちご狩りだけではなく、勉強にもなったお散歩でした。

移動距離もあったせいか、帰ってくるとぐったり。「いちごを食べに行っただけなのに、なんでこんなに疲れるのだろう？」とユータ君。ほんと、なんでだろ。

疲れたけれど一足先に春に舌鼓をうったお散歩でした。

- - - - -

デイリーフレネは、月～金の平日刊です。3月には入りましたが、まだまだ朝夕冷え込みます。風邪には十分ご注意ください。

4月6日(日)はJF熊谷3周年を記念して、友人・フォークの鬼オ・高田渡のライブを行います。ぜひ、熊谷にお越し下さい。

それでは、楽しい週末を！チャオ&ラブ！（木幡）

=====

===== デイリー・フレネ =====

----- VOL/0650----- 2003/03/10

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

1. こここ、腰があ...
2. 渋谷の電力館に行った 新宿・テッシー
3. もう幾つ寝ると 熊谷・かおりん

=====

今日はなんの日

1945 東京大空襲、死傷者約12万人

今日の花言葉

にれの木「高貴」

今日は誰の誕生日

渥美清(1928)

松田聖子(1962 A型)

今日の名言

「二度絶望することはない。二度は絶望できない。二度絶望したと思っているものは、一度も絶望していない」

むのたけじ『詞集 たいまつ』より

- 1. こここ、腰があ...

金曜から土曜にかけて、東京は大雨...。危ないなあと思っていたら、やっぱり予想通り...

疲労がどっと腰に来て、木幡、あえなくダウン。土曜の湘南サタディースクールでは大型紙芝居の上演をする予定だったが、紙芝居を持って行くことができない状態。

このところ、週末は毎週ダウンの状態です。情けない。

そして、本日は、これまた忙しい一日...。南千住(家庭訪問) 新宿(面談) 相模原(家庭訪問)

新宿(面談)...。午前11時～午後6時半まで動き回っていました。

子どもと授業しているときが一番幸せだなあ。

2. 渋谷の電力館に行った 新宿・テッシー

今日はいつもと同じ通勤電車だけれど、高校時代の

友達に会ってびっくり。

「おぉ！何やってんの？」

「何って、これから仕事だよ...。」

久しぶりの再会。しばし、懐かし話。最近の様子なども。

「よくよく考えると、うちの周りって普通に就職少ないね。」

気がついてみればみんなそれぞれの道で頑張っていました。

ぼくも負けてられないなど。

では、今日みんな

お散歩ー電力館

今日はあいにくの雨。移動も少し億劫。傘があるから視界が悪い。さらには、渋谷の人ごみをぬけなければならない。

「あれっ、いない！」

「おい、どこいくの！！」

なんて感じにはぐれそうな場面がしばしば。

電力館の中は、建物が大きいわりにそこまでの広さじゃない。みんな同じ階を原則に自分の興味に沿って。

まっつぁんは、レーザー光線に指を何回通せるか挑戦するゲームに熱くなる。気がついたらTシャツ一枚。

「602回いった！」

ぼくはがんばって400回くらい。しかも、一回やるとしばし休憩。まっつぁん若い！

くるくるまわるショーみたいなものには、小さい子たちが二回も。なんだかんだと結構楽しめるものがたくさんでよかった！

風船があ...

入り口でもらった風船。もしやと思っていたけれど、案の定。中ちゃんの風船が天井へ...

「どりゃ！」と飛んでみてもなかなかとどかない。

それを見かねた掃除のおばちゃん。はたきみたいなものにガムテープをつけて持ってきてくれる。

「おぉ！取れそう！」とまっつぁんが惜しいところまで。だけど、

「ああ...。」なかなか難しい。

最後には受付のお姉さんがなれた手つきで取ってくれました。

「日曜日なんてもっとたくさんあって大変なんですよ。」とのことでした。風船だらけの天井もおもしろいかも??

3. もう幾つ寝ると 熊谷・かおりん

雨降って...

金曜日は、雨がざーざー。かなりの勢い。春の嵐だとか天気予報でも言っていた。雨のせいかみんなのペースものんびり。いつもはトランプやらゲームで盛り上がるのに、今日はそんな動きもなく、みんなでお茶をすすりながらあれこれ話す。気がつけば、3月も2ケタ。

「げ、あと8日しかフレネ来る日がないのか。」

「早すぎるねえ。」

「もう、そうしたら花見の時期だね。」

「熊谷はきれいだから、またみんなでやりたいね。」

「去年は、雨でだめだったから、今年こそはみんなで見たいね。」

「また企画しようか。」

「やろう！やろう！」なんて。
 ほんわか時間がゆっくり流れる。
 毎日一緒にいるのに、みんなでこんなにゆっくりと話すこ
 とって最近なかったなあ。やっぱりみんなと楽しいのはい
 いね。しみじみ。

=====

===== デイリー・フレネ =====

----- VOL/0651----- 2003/03/11

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

1. ジャパンフレネあれこれ
2. 大きな宅急便 新宿・テッシー
3. 交流会、迫る... 熊谷・かおりん

=====

今日はなんの日
 1582 武田勝頼が自殺、武田氏滅亡
 今日の花言葉
 きくにがな「質素」
 今日のは誰の誕生日
 梅宮辰夫(1938 A型)
 今日の名言
 「哲学者達は世界を様々に解釈したにすぎない。大切
 なことはしかしそれを変えることである」

エンゲルス『フォイエルバッハ論』より

- 1. ジャパンフレネあれこれ
 この季節...
 ジャパンフレネは子ども達が通過して行く場所...。
 この季節は悲喜こもごも...。高校に進学が決まった
 子、大検に合格した子、もう少しゆっくりしたい子
 ...。しかし、自分の希望どおりに行かない子どもた
 ちもいる。
 いろんなことにあせってはいけない...。フレネにも
 来て、通信制の高校にも行く。そして、塾に通って
 大学も目指したい。しかし、それは可能だろうか？
 人は何かを捨てることなしに、何かを獲得すること
 はできない。捨てるなければ、すべての記憶を抱え持
 ち、生きていかなければならない。それはとても大
 変なことだ。

言葉でわかっている、身体がついていかないジレ
 ンマ...。ぼくは、彼ら彼女らにどう向かいあえばい
 いのか...。
 この時期、いつも考える。

たくさんの宅急便

「宅急便でーす！」
 まずは、木幡が自宅から送った八角形の座宅。これ
 は教え子・H君達が木工の授業で作った作品。がっ
 しりしていて、まず、壊れない。木幡の引っ越しで
 置き場がなくなり、JFへ。ゲームや工作に使える
 ね。
 湘南からは、サタディースクールで使った教材の数
 々(「通電チェッカー」や「矢印パズル」)が返送
 されてきた。
 出版社からは大量の原稿用紙。6月末にジャパンフレ
 ネの授業の数々を単行本にして出版する予定。✂切り
 は4月末。えう、ご期待！
 とどめは、紀伊国屋書店ブグウェブに頼んでいた
 本の数々...。最近インターネット上で注文するす
 ることが多い。教材になりそうなもの、不純文学...

雑誌&つんどく系...。
 そこで本日のお勧め...。
 森巢 博の最新刊

「越境者達」(上・下)扶桑社(各1333円+税)
 まともなことを目指す人は読んではいけない。なんた
 って国際ギャンブラーの著者が書いた本。セックス・
 ドラッグス・ロックンロール・ギャンプリングでの超
 越の向こう側にある真実とは？

同じ作者の「無境界家族」(集英社文庫)は、ホーム
 エデューションを志向する人の必読書！
 森巢=ギャンブラー兼主夫、森巢夫人(英国人)=社
 会学者、息子=不登校児にして、15歳で大学に通い始
 めた天才。これ、事実なんです。

お金返せなくて...

14日は熊谷の体育館での交流会。新宿と熊谷の子ども
 達が一堂に会し、球技会やお料理を楽しむ。
 「とうちゃん、参加するのかなあ？」
 「ジャズダンスの発表会があるから、どうかなあ？」
 「ジャズダンスって『武富士』のCMでやってるみた
 いなやつ？」
 「そうそう！」
 「あれって、お金返せなくて踊らされてるって、本当？」
 大爆笑！

2. 大きな宅急便 新宿・テッシー

土曜日、日比谷公園から反戦デモ行進に行ってきました。
 思った以上の人ばかりで、行進に出るまでに
 約3時間。結局全てを含めて6時間近くかかり、一
 日ばかりでした。だけど、寒い中でも人ばかりはな
 かなか減りませんでした。
 あれやこれやとしゃべるのは変わっていないけれど、
 今までのぼくだったら、行動に移すことができてい
 たかなと、暇な時間がありすぎたのでふと思い返し
 ていました。
 もうすぐフレネに勤めて一年。みんなが変わってい
 っているのと同じようにぼくも変わってきているの
 かな。

では、みんなのようす

大きな宅急便

「こんにちは一。」といつもの宅急便屋さん。だけ
 ど、いつもと様子が違う。手にはでっかい座卓。
 「ここでいいですか？」と、玄関前に。
 「お疲れ様です。」と送り返したあとに、みんなで
 相談。
 「さて、どこに置くの？」
 一辺1メートル近くあるし、なんてたって丈夫そ
 う。みんな興味深々。
 「ちょうど、スネの高さだ！」なんて、いろいろ話
 が出てくる。
 「とりあえず、ここしかないよね。」とテレビの前
 に落ち着かせました。
 「おはよう」と入ってくる子が、荷物を置きにいく
 たびに、
 「おお！ナンダコリヤ！！」と声がする。どうなる
 ことやら...。
 だけど気がついてみれば、みんなこの座卓を囲んで
 トランプ。ギャハハととんでもない笑い声。んー、
 なかなかいいなあ。
 あとで話を聞いたら、木幡さんの教え子で、さらに

ぼくをフレネに連れてきた人の作品でした。有意義な机になりそうです。

3. 交流会、迫る... 熊谷・かおりん

どうしましょ

金曜日に押し迫った球技大会。熊谷にはダイエット用の？（通販でCMされているらしい）大きなゴム製のボールがある。ぼよんぼよんしていてなかなか面白い。球技大会これを使って何かできないかということであれやこれ。

実際に体を動かさないと、口で言っても始まらない。体育館ヘレッツゴー。

「どうしましょ。」試行錯誤。

- ・大きなボールは1個しかない
- ・人数は10人ぐらいで1チーム
- ・小さい子もいる

「この3つは考えないとだめだね。」

「輪になってしりとりする？」とやってみるがイマイチ。

「転がすドッチボールやったことあるんだけど、それみたいにボール転がしたら？」とユータ君。

「やってみよう。」とやってみたら結構たのしい。

中当ての要領で、外の人がコートの中にいる人をボールを転がして当てる。中にいる人はひたすら逃げる。当たったらそれでおしまい。制限時間内に残った人数が多い方が勝ち。いたって単純。

ルールもみんな決めて。

「来たボールを蹴るのはどうするか。」

「蹴ると上にあがって、小さい子あぶないかもね。」

「制限時間決めよ。どれ位の時間がいいかな。」

みんなで考えて、何とか形になった。よかったよかった。当日楽しくできるといいな。

(おまけ)

天気はいいけれど、風の強いこの頃。熊谷は空っ風が吹き荒れている。「寒くて仕方ない。」とぼやかたくもなる。

けれど、風が強いと雲が吹き飛んで眺めがとてもいい。朝、電車に乗っていると、秩父連峰から、群馬の赤城山その先の山々、そして富士山までぐるっと一望。気分爽快。帰り道は星と月がきれいだ。

同じことでも見方次第でよくも悪くも変化するのだな。今週はお散歩は浅草、週末は球技大会と盛りだくさん。ラストスパート。気合入れて突っ走りましょ。

=====

===== デイリー・フレネ =====

----- VOL/0652----- 2003/03/12

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

1. かつて「ひと」という雑誌があった
2. ミーティングで決まったこと 新宿・テッシー
3. フレ熊便り かおりん

=====

今日はなんの日

1945 「アンネの日記」のアンネ・フランク、収容所で没。

享年16歳

今日の花言葉

やなぎ「従順」

今日は誰の誕生日

江崎玲於奈（半導体物理学者 1925）

ライザ・ミネリ（女優 米 1946）

今日の名言

「鳥の声がいつも同じ調子にしか聞こえてこないというのは、無頓着な人間の粗雑な耳だけのことです」

ローザ・ルクセンブルグ『獄中からの手紙より』

- 1. かつて「ひと」という雑誌があった

昔昔、その昔、「ひと」とい教育雑誌があって、一世風靡した。最盛期には五万部以上も売れ、各地に「ひとの会」も生まれ、教育の状況をリードしていた。出版元は、太郎次郎社。ぼくはアルバイトの第一号として採用され、これが人生を大きく変えた。当時の「ひと」には、数学者・遠山啓（「ひと」創立者）、仮説実験授業の板倉聖宣や平林浩、水道方式の神様・岡田進、国語教育の遠藤豊吉、同じく伊東信夫などそうそうたるメンバーが集まっていた。「若さ」を年齢で語るができないと思ったのも、これらの人達との出会いによる。年を取っていてもみんな生き生きしていた。

やがて教員になったぼくは「ひと」誌に関わるようになり、「若者ひと塾」を中心に活動。「ひと」の編集や「全国ひと塾」の実行委員として全面的に「ひと」にも関わるようになった。

「ひと」誌にも実践報告をじゃんじゃん書きまくり、授業作りがとっても楽しかった。そのとき、一緒に授業作りを行い、「ひと」誌に報告していた仲間が奥地圭子、鳥山敏子... 奇しくもぼくを含めた三人とも学校現場を離れ、フリースクールを立ち上げた。このことから、学校教育の限界が見えてくるだろう。三人とも今の学校に見切りをつけたのだ。

前置きが長くなった。先日、お子さんの件で面談したTさん、「箱根のひと塾で木幡さんの講座に出ていますよ」とのことで驚いた。

あれから二十数年...、若かったぼく達、これからどうい状況を作り出すことができるだろう...

Tさんからのお便りです。

- - - - - 以下、転載。

昨日うかがいましたTです。

木幡先生には、お忙しい時間を割いていただき、ありがとうございました。

さっそく帰宅してから、うかがった内容を息子に話しました。体験入学のほうは、今週末に、中学校のお別れ遠足とやらの準備で微妙なところですが、来週の閉校までには、何度か行きたいとのこと。決まりましたら、すぐに連絡を差し上げます。

私もそうですが、木幡先生にも「白いもの」が目立ちはじめましたね。おそらくは25年ぶりにお会いしたと思うのですが、箱根の「ひと塾」の全国大会には、まだ新進気鋭の数学教師といった風で、年月の流れを感じました。

私も、この25年間、小学校の教員を勤めながら、いつも「ひと」や自由の森、仮説実験授業...などの周辺に関心を持ち、なんとかここまでやってこれたという実感ですので、感無量でした。

あっ。息子のことでしたよね。笑

おそらくはこの四月からお世話になることと思います。中3の男子です。結果的には、どこも受験をすることなく、このフレネにたどりついたという感じです。どうぞ、よろしく願いいたします。

スタッフの さん(名前を聞いておけばよかった!)、お茶、ありがとうございました。では、また。

-----以上、転載終了。
2. ミーティングで決まったこと 新宿・テッシー
いつもは賑やかな火曜日。だけど、今日は静か。「風邪ひいちゃってるのかな?」なんて心配する声もでてくるほど。急に寒さがぶり返して来ているからね。体調には注意。

では、きょうのみんな
ミーティング
今日のミーティング議長はゆう君。書記はさきちゃん。特にこれといって決めることもなく。すんなり終了。

1. 球技大会について
これは、実行委員のたかちゃんから発表。最終的な連絡なので、持ち物、時間、電車賃等の確認。

「参加する人どのくらいいますか?」
大人もあわせて全部で13~15人くらい。
今年度最後の行事。みんなで楽しくやりたいね。
2. 2002年度最終日のパーティーについて
これは先週から出ている案。

「実行委員やってくれる人いる??」
先週決まっていたさきちゃんに加えて、もえちゃんも。ミーティング終了後に、話し合い。
「どういう風にやる??」
「持ち寄りサンドウィッチかな。」
「ケーキ作ってきてもいい?」
クリスマス会の計画もしたからみんなすんなり。何より積極的なところがとてもいい!

だけど問題はレク。
「カルタ大会かぁ...。」
さすがにカルタは飽き気味。
「おれの思い出はカルタばっかっすよ。」と正太郎君。
「ハンカチ落としとかは?」というぼくの案は却下。
「じゃあ、フルーツバスケットとか...。」

なんだかあまりネタがないことが判明。他にもボーリング、カラオケなどなど...。
結局カルタ大会に落ち着いてしまいそう。スペースの広さ、天気のこととか考えるとね。少しアレンジしたカルタ大会にしよう。ボーリングとかは、また二次会ということ。

3. フレ熊便り かおりん
鯛?
インドへ行っていたボラリエちゃんが、顔を出した。「帰ってきましたあ。これお土産です。」とたくさん入ったキーホルダー。タイの首なが族のものだとか。いろいろ話を聞きたいけれど、今日は急いでいるのでまた今度。
「タイへ行ったなら、真鯛がよかったのに。」とエリ君。そりゃ、タイ違い。

3 周目
先週末、誕生日を迎え、スタかおりも大人の?女へ。「おめでと。」とみんなが声をかけてくれた。いくつになってもオメデトウと言ってもらえるのは嬉しい。
なーんて、思っていたのもつかの間。
「おばちゃんになっちゃったね。」

「自分の年考えて、運動しなきゃだめだよ。」
「あ、あたしと12も違うんじゃない。」
「っていうか、3周目突入じゃん。」ときぐちゃん。
「?」と思ったら、干支だそう。ほっとしておくれ。

バイオリン
先週から、英語をはじめたエリ君。テープと一緒に楽しみながら進めている。テープから流れる、外国人の声に続いて、元気よく発音。
まだ、最初なので身の回りの英語から入っている。「日本語と英語って同じ名前でも発音が違うんだね。」
「この発音はどうなんだろう?もう一度やってみよう。」と積極的。自分のやりたいものだと思ってる。エリ君の大きな声の発音につられて、周りの子も興味を持っている。
「バイオリン。」とエリ君は連呼。
バイオリンの発音がどうも気に入らない。
その次は、「ホテル。」
オーバーアクションでなかなかいい。
この調子で続いていくといいな。

=====

===== デイリー・フレネ =====

----- VOL/0653----- 2003/03/13

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

1. 「油ごはん」?
2. ステンシルでディスプレイ 新宿・テッシー
3. 超マイナーな遊園地「花やしき」へ かおりん

=====

今日はなんの日
1988 世界最長の青函トンネル開通
1863 近藤勇ら新撰組を結成
今日の花言葉
野かんぞう「愛の忘却」
今日は誰の誕生日
ヘボン(ヘボン式ローマ字の創始者 1815)
今日の名言

「万人向きの書物は常に悪臭を放つ書物である。民衆が飲み食いするところでは、崇敬するところでさえも、常に息が詰まるものだ」

ニーチェ『善悪の彼岸』より

- 1. 「油ごはん」?

油ごはんって?
体験で来ているしょうくん、「ねえ、木幡さん。お母さんが『油ごはんってどんなの?』って聞いたから『油がはいっているんじゃない?』って言うておいたよ」
そうなんです!油ご飯は油が入っているんです!
【油ごはんレシピ】

ごぼうを大量のゴマ油(カップ2杯)で炒める
その中にみりん、お酒、醤油などで味付けし、
こんにゃく、ニンジン、牛肉などいれ炒め煮る
炊きあがったご飯の中に上記の具を入れまぜる
これだけなんです。お味に関しては賛否両論。

「口に合わない」
「油っぽい」
「ニキビができそう」
「香ばしくておいしい!」
「結構、いける」

たかちゃん、「おかわりしていい？」と、3杯。
 もえちゃんも3杯！木幡は2杯。
 「お母さんに持って行ってあげていい？」
 これはさおちゃん。
 余分に具を作り、明日の交流会のため、熊谷へ持っていきます。

2. ステンシルでディスプレイ 新宿・テッシー
 今日は仕事終了後、フレネに顔を見せに来てくれた周君とボラ・ウッチーと新宿公園でキャッチボール。久しぶりの面々に、久しぶりのグローブの感触。夕焼け小焼けの中でののんびりとした空気。とてもよかったな。
 では、今日みんなものつくりーステンシル
 今日はディスプレイの交換。春目前ということで、桜をテーマにしたものつくり。以前からやってみよう思っていたステンシルに決定。
 「ああ、やったことある。」という子がチラホラ。こりゃ話が早い。
 桜がテーマだけれど、
 「梅でもいいよね？」
 「チューリップは？」と。
 「やりたいものは何でもいいよ。」
 まずはみんなで型紙作り。れんげちゃんはいつも絵を描いているだけあってうまい。なかなかのでき。ぼくも型紙を借りる。
 「まだ桜咲いていないのに、散っちゃってる作品...」
 りょう君はやっぱり新幹線。
 「あんまし細かいとやりづらいよ。」というぼくの声もなんのその。まあ思うままが一番。たかちゃんもいろいろな色のチューリップをどんどん並べて。
 ボラ・ウッチーのは細かくて苦戦！
 「最後までやってやる！」の言葉通りしっかり仕上がり。時間をかけただけあってすごい。
 ひいちゃんは「Japan Freinet」の文字。この出来がまた素晴らしい！型抜きしたほうも使わせてもらいました。何かの際には看板にも使えそう。
 何の気なしのステンシルだったけど、型紙をお互いに交換し合ったりもできてよかったな。フレネの玄関には花びらでいっぱいです。

3. 超マイナーな遊園地「花やしき」へ かおりん
 あと一週間で、今年度もおしまい！？なんだかイマイチ実感が湧かない。早いねぇ。
 お散歩の授業 浅草・花やしき
 今日は「花やしきに行きたい！」というしーちゃん・リリちゃんの案で決定。
 「浅草って、小さい頃いったけどなあ。」
 「なんか前テレビで観たよ。」
 「初めていくんだ。」
 電車に乗ってても、みんなの声が弾む。うきうきわくわくなんだね。どうなる、浅草。
 うんち君
 「あのさ、浅草って変な金色の像みたいなのない？きんと雲みたいなの。」ときぐちゃん。
 「それTVでやってた。なんか、うんちみたいでしょ。」としーちゃん。
 「何それ、見てみたい！」とユータ君。
 地下鉄・浅草駅をおりると、ビルの上に大きな金色

のオブジェ。
 「あれだよ。」と指差すと、
 「あー、ほんとにうんこだ！」とみんな連呼。
 少し、恥ずかしい。
 「けど、あれって何なんだろ？」
 「????」正体いまだわからず。
 おみくじ
 雷門をくぐり、仲見世通りを抜け浅草寺へ。見るものすべてに心を奪われ、あっちへフラフラ、こっちへフラフラ。「観光客丸出しじゃん。」その通り。浅草寺でお参りをして、みんなでおみくじをひく。
 「凶だった...。初詣もそうだったし...。」ときぐちゃん。
 「『半吉』だって。こんなのあるんだ。」とボラしんちゃん。
 「俺大吉！」としゅんくん。
 一喜一憂。みんなでひくのも面白い。スタかおりは「吉」地道にいきます。
 はと
 境内にははとがたくさん。はと用のえさ売り場の周りにはうじゃうじゃ。
 「僕、えさ買ってみるね。」とユータ君。ユータ君が餌を手にしたとたん、はとが押し寄せ。頭の上や腕にも鳩、ハト、はと。
 「『天空の城ラピュタ』のバズーみたいだね。」
 「ビルマの竖琴みたい。」とみんな鳩と戯れている。そんなことを言っているうちはよかったけれど、尋常じゃないハトの多さ。あまりにも多いとこわいかも...。
 花やしき

今日のメイン。花やしき。もっと広いのかと思ったけれどこじんまり。乗り物に乗っていてもすぐ隣は民家というところが不思議な感じ。
 「ジェットコースター、全然こわくなかった。」というしーちゃん。そりゃ、時速48kmだもの。日本で一番古いものらしい。
 こじんまりしていて、あつという間に一回り。そして、あつという間に帰りの時間。
 「どうだったかな。」なんて聞かなくてもみんないい表情してました。
 何をしたわけでもないけれど、やっぱり遠出をするとぐったり。今週はまだ球技大会もある。休める時に休んでもうひとふんばりだね。

==== デイリー・フレネ =====
 ----- VOL/0654----- 2003/03/14
 ////////// CONTENTS //////////////////////////////////////
 1. いまどき、こんなことってある？
 2. あぶらご飯の日 テッシーバージョン
 3. 周君からのお便り
 =====
 今日は何の日
 1701 忠臣蔵の発端、江戸城中松の廊下の刃傷事件
 今日の花言葉
 アーモンド「希望」
 今日誰の誕生日
 アインシュタイン(物理学者 1879)
 今日の名言
 「死に至る病とは絶望のことである」
 キェルケゴール「死に至る病」より

- 1. いまどき、こんなことってある？

昨日、本日と文部科学省の「不登校問題審議会」の話題が新聞に出ていた。

1992年、「不登校は誰にでもありうる」と大幅に路線変更した旧文部省...。今回はその流れを踏まえつつ、登校刺激を一切しない学校に何らかの働きかけを要請している。同時に、不登校を「こころ」の問題に位置付けるだけでなく、進路の問題とした事も新展開。

さて、東京都の場合、フリースクールに通う児童・生徒にたいし、出席扱い・通学証明書の発行が当たり前になっている（もちろん、全国同じ対応が当たり前）。

1992年、旧文部省の通達

ところが、まっつぁんママからのメールを読ませていただき、驚いた。いまどき、こんな校長がいるんです。

中学進学に際し、引き続きJFに通う旨、連絡に行った時の話である。

- - - - - 以下、転載。

本日、子どもと面会に行ってきました。

いちおう、

- 1 制服を作ること
- 2 始業式 終業式などには参加する意志のあること
- 3 基本的には フレネに籍をおくこと

を口頭で伝えてきました

まったく 頭にきました。こちらの話を聞きません。上記のことを 彼のお説教の合い間に、やっとさしはさんできました。

学校に籍を置くんだから、なにかあったら、新聞に名前が出るのはフレネではなく 中学なんだ・・・そうです。

そういう言い方ってないですよ。

制服はもう作るのがあたりまえってかんじです。これに関しては、今の友達に会いたいのので学校にも行くかもしれないというので、昨日、制服は作るうということになっていましたので問題はなかったのですが・・・

どうも 情報によると、この校長は不登校の子にも 給食費とかしっかりとるらしく、今日も「進級・卒業は、こちらで決めさせていただく」といわれました。

一番頭にきたのはいただいたフレネの小冊子をつき返されたことです。おもわず喧嘩しそうなったけれど、おさえて納めていただきました

いやはや、ひさしぶりに頭にきました。とりあえず 怒りの気持ちのままのメールで失礼いたします。

お力を借りることもあると思います。

よろしくおねがいたします。

- - - - - 以上、転載終了。

こんにちは！木幡です。昨日は腰痛で死んでいました。お返事遅くなり申し訳ありません。

さてメールの様子からうかがいますと、このような校長が管理している学校、想像がつかます。出席、通学証明書、進級、卒業に関して何か言ってきたら、こちらに回して下さい。私が対応いたします。

まず、通学証明書と出席に関して、確認を取って下さい。認めないというようなことがあれば、私が前面に立ちます。

熊谷でも同様なことがありましたが、「上部機関（校長の場合は教育委員会に、教育委員会の場合は県に）に話しを持って行く」と伝えたら、即時、こちらの権利を保障する豹変ぶりでした。お役所仕事なんですね。

大変だと思いますが、ここを突破しなければさきへ進めません。ここは、ふんばって下さい。

- - - - - 引き続き、転載。

私も腰痛もちなので、つらさわかります。

お大事にしてください。

校長への対応の件、よろしくお願いたします

> 通学証明書と出席に関して、確認を取って下さい。

すでに、通学証明書は渋い顔をされました。

「小学校でも いただいています」と言ったので、だまってしまいました。でも、新学期になったらなんていいだすかわかりません。

どうも、このところ、目に見えないリバウンドが激しいような気がします。世の中の全体主義的な流れとも無縁ではないのでは...そんな危惧をしてしまいます。

わたしがあまり「ガッコ」に対して怒りまくっていたせいか、今日は、フレネに行きました（笑）息子が学校でえられるものをつぶしたくはないです。あの校長 何とかしましょう...

よろしくお願いたします。

- - - - - 以上、転載終了。

メールを読ませていただき、モハメッドの逸話を思い出しました。

ある時、モハメッドに人々は言った。

「あの山をこちらに持って来ることができるか？」
「山よ、動け！」

モハメッドが叫んだが、山は動かない。人々は、モハメッドを嘲笑した。その時、モハメッドは山に向かってスタスタと歩いて行った。

私の師である遠山啓はこう言いました。

「子どもに『動け！』と言っても、大人の言う通り動くとは限らない。そういうときは、モハメッドと同じように、子どもに向かって歩いて行くべきだ」

2. あぶらご飯の日 テッシーバージョン

新宿の帰り道は少し遅くなると客引きでいっぱい。今日も少し遅くなって帰ると、先にやたら大柄の女の人がチラシまき。

だけど、近づくに連れて...??天使の羽根がついてるの??

「ニューハーフのバーはどおおう」って。

その先ではピンクの熊の着ぐるみを着たひとがやっぱり同じチラシを配っていました。

仕事とはいえ、とても楽しそうなのが印象的でした。やっぱり自分が楽しいと思えることに取り組みるのは、その人の空気を変えるんだなど。節目のこの時期も重なってか、いろいろ考えてしまいました。

人生いろいろ。男もいろいろ...

では、きょうのみんな

おひょうりーあぶらご飯

今日のお料理は「あぶらご飯」。イマイチなじみのない料理だけれど、名前にはやたらインパクトがある。

今日は、明日の熊谷へ持っていく量も作るの、準備が大変。ニンジン、ゴボウがいつもの三倍。せっせっせと包丁を動かす。ミッキーの包丁さばきはやっぱりすごい！速い！きれい！

ゆう君もゴボウをじゃんじゃん。

「酢水につけておくといいんだよ。」と豆知識も。

そして、鍋にごま油をたっぷり入れて（はんぱじゃない量）、具を炒める（揚げる？）、そして、味付けをして煮る。

「すげー！ごま油くせー！」

外から帰ってくると強烈。だけど、ごま油の香りって食欲をそそるんだよね。お腹は準備万端。

いざ食べるとなると、

「おいしい！」

「やっぱり油があ...。」

と二極分解。

油ものが苦手なトンカツ、天ぷらも月に何回かの胃が絶好調日にしか食べたくないほど。器の底に溜まった油を見て絶句...。唇はテカテカ。一週間はリップ必用なし。

みんなの感想は、

「味はおいしい。けど油が多い。」に終結。

明日の熊谷用には油を切っておきました。今日とは違ったおいしさになるかな。連チャンでも違う味だから新宿の子もたくさん食べようね。

3. 周君からのお便り

大検に合格し、来年の大学合格を目指す周君からのお便りです。

----- 以下、転載。

周です。

手島さんから、木幡さんが「頑張って!!」と言ってたと聞きました。ありがとうございます。予備校には、日、祝日も関係なく、毎日通っています。今のところは、体調の波はあるものの予備校に行きながら調整できている感じです。周りの人の受験生モードに少し、圧倒されつつ、まずは自分との勝負!!と自分自身に言い聞かせています。

とにかく今年1年は、大事な大事な土台を、周りの人たちの力も借りつつ、しっかりと自分の手で築いていきたいと思っています。

これからは、もっともっと忙しくなりますが、来年の春に、「受かりました!!」と報告しに行くと思います（多分...）ので、そのときはよろしくお願いします。

それでは、また。

デイリーフレネは月～金の平日刊です。今週は「腰痛」の日々の木幡でした。腰はからだ（月）のかなめ（要）。皆さんもお気をつけください。

それでは楽しい週末を！チャオ&ラブ！

=====

==== デイリー・フレネ =====

----- VOL/0655----- 2003/03/17

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

1. 「いまだき、こんなことってある？」の反響
2. 交流会前日 熊谷・スタかおりん
3. さあ！交流会！

=====

今日はなんの日

1959 週刊少年マガジン創刊

今日の花言葉

豆の花「必ず来る幸福」

今日は誰の誕生日

マギー司郎（1946）

ジェシー曰く、「木幡さん、マギー司郎にそっくり！」

あんまりテレビを見ない木幡は、マギー司郎を知りません。

今日の名言

「量は、質をとまなう」

レーニン

本当かなあ？と思うけれど、いかがでしょう？

時代は変わりましたねえ...

- 1. 「いまだき、こんなことってある？」の反響
先日、発信したまっつぁんママのメールに関し、東京のRさんからのお便りです。

その他、沖縄・金沢・山口・福島・茨城からも転載許可の依頼がありました。

----- 以下、転載。

デイリーフレネも大変楽しみに読んでいます。今日の「いまだき、こんなことってある？」には深くうなずいてしまいました。

私の印象では、直に子供に接する担任よりも、学校の代表である校長の方が、世の中に一歩も二歩も遅れてる、という感じがします。

うちの場合は、娘が「フリースクールに行くことにしました」と告げたところ、校長に「色々なところへ行って世界を広げるのはいいことだよ。あなたより弱い人も世の中にはいっぱいいるからね」と言われました。

一度も娘に会って話をしたことすらなかったのですから、無理もないと大目に見て上げましたが、いわゆる「登校拒否」「ひきこもり」という言葉から連想する陳腐なイメージしか抱いていないこのお偉いさんには、今の教育界のさむ～い一面を見た気がして、怒りを通り越してアホくさくなってしまいました。

しかし、当の娘、校長から「この学校に籍を置いて、2年に進級するつもりはある？」と聞かれ、（ハイ、と答えておけばいいのに）

「.....いえ.....わかりません。フリースクールに行くことにしたので」

校長「.....で、そこのフリースクールはどういうことしているの？」

娘「えーっと.....お散歩の時間にみんなで動物園に行ったりとか.....」

それだけかい！と思わず横から突っ込みそうになりましたが（笑）、その後「勉強はどうしてるの？」

と聞かれて「ハイ、勉強も自分で決めてできるんです」と答えておりましたよ.....やれやれ。

私も横で一応神妙な顔はしていましたが、なかなかの珍問答なひとときでありました。

そうそう、まだ出席扱いの件について、担任に聞き

に行っていないのでした。私も早く動かねば。何かトラブルがありましたら、ご相談申し上げます。モハメッドの逸話を読んで、これもなるほどなるほど。。。娘の不登校があったおかげで、私もモハメッドに一步近づけたのか！と、何だか元気になりました。

よかった、こんな性格で・・・。
腰痛、いかがですか。私も3度のぎっくり腰経験者ですので、痛すぎるほど分かります。どうにもならなくて、キャスト付きの事務イスに乗って、死んだおじいちゃんの杖を權にして台所を動き回っていたこともあります！（一寸法師のように・・・）一番ひどいとき整形外科に行ったら、どのお年寄りよりも私の腰が一番曲がっていました。どうぞ早く良くなれますように。

この時期、寝起きにくしゃみ、という簡単な事でも起こる場合がありますので、どうぞお気をつけ下さい。完全に治ってから、腹筋、背筋を少し鍛えるといいようです。

-----以上、転載終了。

「学校以外の学びの場でヒトはどう学んで行くのか」の一例に「無境界家族」（森巢博 集英社文庫）があります。父親は国際ギャンプラー（森巢博）、母親は英国人の大学教授、その息子は不登校。しかし、この息子、父親がすごい！必読です。

2. 交流会前日 熊谷・スタかおりん 準備だ。準備だ。

明日はついに球技大会。木曜日はみんなと相談してめいっぱい下準備に当てることに。午前中は買出し。午後は下準備。

熊谷からは豚汁・角煮・そして秘密のクッキー。
「みんなで手分けして進めよう！」と一度やったことのある料理のせい、（成果？）取り掛かれればあつという間。

「午後は2時からはじめられればいいね。」なんていついたのに、2時にはほぼ終了。あとはひたすら煮込むだけ。おいしくできるといいな。

アルマジロのせなか

問屋さんに肉の予約をしたせいか、角煮用の肉は3kgそのままの塊でやってきた。肉を広げると、肋骨の跡。豚の骨も所々に残っている。生々しい。

「こんなでっかいの煮込めないよ。このままじゃだめ。」と、きぐちゃんが包丁を入れる。

「うおー、切りづらい...。」と四苦八苦しながら8等分。まずは「おから」と一緒に下ゆで。ひたすら煮込む。浮いている豚肉の脂身はアルマジロの背中のような。ゆっくりコトコト。じっくり煮込む。

2、3時間煮込んで、味付け。しーちゃんとユータ君が味付け。

「どうなるんだろ。おいしくできるといいなあ。」一晩じっくり味が染み込むかな。わくわく。どきどき。

ホワイトデー！

球技大会当日は、3 / 14 ホワイトデー。バレンタインデーにはれんげちゃん、とうこちゃん、もえちゃんが新宿からチョコを届けてくれた。

「お返しをしよう。」と子ども達。

「お返して何をあげるの？女だからわからないよ。」スタかおり。一応私はチョコを上げるほうだったし。「マシュマロとか、キャンディーとか、クッキー？」

「キャンディーは本命だったけ？」
「マシュマロが友だちとかそんなのあったよね。」と盛り上がる。（そうなのか！？）
「クッキーなら、何度も作ったことがあるしクッキーにしよう。」

「じゃあ、他の人も食べられるように多くしよう。」

「目指せ、3桁だ！」

「味も、何種類も作ろう。」

プレーン、まっちゃ、コーヒー、盛りだくさん。

入りきるのか...

子ども達と料理の下準備を終えひとだんらく。

「明日に備えて体力温存」と、いわんばかりに早々に子ども達も引き上げていった。

「このスペースに25人...」

子どもの帰った後に、テーブル、ソファ、ディスプレイ。ガタゴトガタゴト。あれやこれやと移動して、どうすれば一番広く使えるのか試行錯誤。

なんとか、整えて準備万端。明日を待つのみかな。

3. さあ！交流会！

【新宿テッシーバージョン】

朝7時半に集合したみんな。どこかやっぱり眠たそう。通勤時間の電車で揺られること二時間近く。迷子になることもなく、無事に到着できました。

体育館にて

今回は新宿・熊谷混合チームを作ることに。まずは子どもを分けた後に、大人はドラフト制。

「ウッチーがいい！」一番人気は新宿・ウッチー。一番残りはぼく...。ちょいと悲しい...。これが若さか？チームが決まったところで、開会宣言。

「それでは、球技大会を始めます。」ときぐちゃん。最初は、熊谷の子が考え出した大きなボールを使つての中当て。これは結構盛り上がった！

「作戦会議！」なんてしてもなんのその。バンバンみんなボールを転がす。

スプーンリレーもなかなかの盛り上がり。その場でいくつかのルールを決めたけれど、上手に守っていたなあ。中には「練習した！」という子もいてスイスイ。その後にドッチボールと盛り上がる。きぐちゃんの投げの球が速いのなんの。無事に全てが終了した時点で時間が30分以上余っているほどスムーズに進みました。

残り時間は大きい子はドッチボール、小さい子は大きなボールで中当てとそれぞれに。交流会だなあという雰囲気の流れでいてよかったなあ。

熊谷のスペースにて

急いで熊谷のスペースに行きお料理。これも大きい子が中心に協力できてあつという間。新宿の子はあぶらご飯。熊谷の子は角煮と豚汁。それぞれに準備しておいたものを盛り付け。

みんなそろって「いただきます！」

熊谷のスペースに全員が入りきれるかな？と心配していたけれど、床にひいたシートにみんなが丸くなって座って食事。一つの大きな輪になっていました。

カルタ大会も白熱。今回は3種類混合。さすがにお手つきも多くなる。最初はみんな控えめだけど、だんだん取り合いに。

最後の二枚は「て」と「う」。

「手は膝の上において。」の準備の言葉にみんないっ

せいに
「はい！」
お手つきでした。
帰り際、きぐちゃんからホワイトデーのお返し付き。熊谷の子も玄関先まで見送りに。電車の時間も迫っていてあっという間の別れだったけれど、また来ることがあるんじゃないかなあ。
初めて尽くしの球技大会だったけれど、準備の段階から子ども同士の連携がありました。当日も混合チームにすんなりだったし、空いている時間には新宿・熊谷の子達が談笑している場面もしばしばでした。ぼくもそんな様子を横目に見ることができて楽しかったし嬉しかったです。
これで、今年度の大型行事は終了。それぞれで一緒に何かをやってきた結果が、今回の交流会に表れていたと思います。来年度の何かのきっかけになってくれることと期待しています。お疲れ様でした！

【熊谷かおりバージョン】

早い！
体育館の集合は9時15分。私はお昼用のお米をといで現地に向かう。みんな揃っているではないか。早い！みんなの意気込みの表れなのか。準備をして、新宿の子を待つばかり。「さみー。」と新宿の子到着。
寒いといっても、今日はとても暖かいのにな。「髪型また変えた？」「お、久々！」
お互いにことばを交わす。始まる前からわくわくドキドキ。どんな一日になるのかな。

白熱その1

チーム分けをして、球技開始。熊谷で考えた大きなボールのゲーム。「どうなることか。」と心配したけれど、意外に盛り上がった。大きなボールがごろごろ。ごろごろ。
「よけるだけなら、簡単！」と思いきや結構当たってしまう。小さい子たちも「わー、きゃー、」と逃げ回る。我らが青チームは1分足らずで全滅…。頼むよ…。
予定していた球技もあっという間に終了。ドッチボールに白熱する大きい子に大きいボールに戯れる女の子。体育館を探検する小さい子。みんなそれぞれに楽しんでたね。

モップがけ

楽しんだ後は、もちろん片付け。使ったフロアーをみんなで並んでモップがけ。みんなが並んでいる姿はカッコいいぞ。とんずらしてしまう子もなく、モップを交代で使って全員で片付け。
球技だけではなくて最後までさすがらしいね。

ぎゅうぎゅう

「お腹がすいたあ。」の声と一緒に、みんなでフレネのスペースへ。「入るかなあ。」なんて心配したけれど、やってできないものはない。ぎゅうぎゅうになりながら、入りきった。

「こんなに人がいると寒くないね。」って。
みんなテキパキであっという間にお昼の準備。新宿からの油ご飯。熊谷からの豚汁と角煮。
みんな揃っていただきます！

おいしい

「トン汁おいしいね。」
「角煮もやわらかいね。」

「すごく煮たんだよ。」
「油ご飯っておいしいね。」
「昨日のは、もっと油すごかったんだよ。」
あちらこちらに話の花が咲く。熊谷も新宿も関係なくあれやこれ。お腹だけではなく、気持ちもいっぱい。いいねえ。
「そこら辺の料理屋の角煮よりおいしいよ！」と木幡さんのお墨付きももらってなおのこと嬉しい。時間をかけてみんなで作ったかいがあったね。

白熱その2

午後のメインはカルタ大会。
「3つのカルタを混ぜてやるからね。」とテッシー。みんなカルタに集中。
「俺やる気でねえよー。」
と口では言うものの白熱するゆう君。
「かおりちゃんはちょっと邪魔。」としーちゃんは真剣。りょうくんも絶好調。円くなって、みんなで白熱。盛り上がったな。

広い？

気がつけばあっという間に帰りの時間。
「それじゃまたねえ。」とお別れ。
スペースが嫌に広く感じる。そして、なんか静か。
「ほんの数十分前が嘘みたいだね。」
「こんなにここって、広がったっけ？」
「あー疲れた。」なんていっていたけれど、顔はみんな満足そう。準備から片づけまで、みんなお疲れ様！またやりたいね。
球技大会が終れば今年度もあと3回。
残りの時間も楽しんでいこう。

=====

===== デイリー・フレネ =====

----- VOL/0656----- 2003/03/18

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

1. 去るひと、来る人
2. お別れ 新宿バージョン(テッシー)
3. お別れ 熊谷バージョン(かおりん)

=====

今日はなんの日

1984 グリコの社長誘拐され、現金10億円の要求

今日の花言葉

アスパラガス「もっと活用して」

今日は誰の誕生日

ルネ・クレマン(映画監督 仏 1913)

今日の名言

「人は、青春のあやまちを老年にもちこんではいけない。老年は老年自身の欠点があるのだから」

エッカーマン『ゲーテとの対話』より

- 今日は、どういうわけか、お別れ特集になりました。

1. 去るひと、来る人

さよなら ぼくの生まれた街 ぼくを育ててくれた人
今はぼくもおとなになって古い上着を捨てる
巡る季節 流れる時 人生のそれぞれに
出会いがあり 初めがある そして別れがある
こんな詩の季節だ…。胸がキュンとなる季節だ…。
ジャパンフレネも例外ではない。大検に合格し、次の目標を持って移動していく子。学校を変えて再チャレンジする子。高校に進学する子…。

卒業の概念を持たないジャパンフレネ。一人一人が
いい通過をしてくれることを心から願う。

二人の「しょう」君

「4月から入会する、しょう君です」15歳のしょう君。

「もう1人、やっぱり4月から入会するしょう君です」
こちらは、10歳のしょう君。

ミーティングでの紹介。奇遇だね！二人ともしょう君。

「残念&万歳」食事会

残念ながら高校不合格だったジーコ。見事、桐ヶ丘
に合格したジェシー。二人を誘っての食事会。

「何を食いたいなの？」

二人で相談した結果、「しゃぶしゃぶ！」

「はあ？お昼ごはんだよ。このへんにしゃぶしゃぶの
店ないじゃん」

ジーコ、「きょうはやめて、夕食にしようか？」

ジェシー、「いや、おれは今日の夕食にこだわる」

ぶらぶらと歩いて二人が立ち止まった先は...、うなぎや。

おいおいおいおい、ぼくの薄給を考えてね。

来年はがんばれ！ジーコ！

高校での健闘を祈る！ジェシー！

今度はボランティア

正太郎君、大検に合格し受験予備校へ。

「来年は大学生になって、ボランティアでフレネに来てね」

「来ます！」

みんなの励みになる正太郎君です。

2. お別れ 新宿バージョン(テッシー)

いよいよあと3日です。雨がしとしと降っているの

がこの一年間のお終いの足音を告げているよう

です。

では、きょうのみんな

卒業式...

3月、4月というのが大きな節目である日本。どう

してもこの時期には別れというのがともなう。

「今日でなかちゃん最後かもしれないから。」

「えっ、そうなの？」

「だから、そうだから。」

早い時間にビューっと風のように去っていきました。

「じゃあねえ！元気でね！」という言葉は伝わったの

かな。すでにドアのむこうでした。

3時過ぎに大きな荷物を持ってきたのはゆう君。

「どうしたの？こんな時間に？」

「卒業式に行って来たんだよ。」

大きな荷物の中身は学校に置いてあった教科書な

どなど。

「どうだった？」

「なんか先生泣いてた。」

どのような状況なのか、どうして涙が出たのか、ぼく

は当事者ではないし、ましてはその現場にいたわけ

でもないのわからない。彼もそれ以上は多くを語ら

ないし、ぼくも多くは尋ねない。

ただ、毎年この時期に妙に感慨深くなったり、色んな

思い出がよぎってしまうぼくには、どんな理由であれ、

涙腺のゆるんでしまった人というのがわからなくもな

いな。

3. お別れ 熊谷バージョン(かおりん)

今日はかなりの冷え込み。暖かくなったと思えば

すぐにこれだ。寒かったせいか、今日は月がいつ

もより輝いて見えました。

あと2日で今年度もおしまい。信じられないな。

しーちゃん、中学へ

中学校へ進学するため、3月いっぱいだしーちゃん
はフレネを通過していきます。

今までにも、フレネを通過していった子ども達は何
人かいましたが、周りの子ども達にはいつも事後報
告でした。

そのたびに、きぐちゃん達に

「もっと早く教えてよ。なんでいなくなっちゃった後に...。」

という話を何度かされていました。

一緒に過ごしていた仲間が突然いなくなり、もう会

えないかも知れないとうことはやはり、寂しいもの。

きぐちゃんのことばも響いていたので、今回はみんな

に予め報告したいと思っていました。

しーちゃんには、前もって相談。

「どうする？みんなに言う？それとも言わないでおく？」

「言う。かおりちゃん言ってよ。」

本人の口から言ってもらいたかったけれど、自分から

言うのは抵抗があるのか、私の口からみんなへ報告。

フレネ内はしーん。

唐突な報告に状況が飲み込めないのか、

しーちゃんがいなくなることへのさびしさなのか、

フレネは通過する場であることを、しーちゃんがい

なくなることが周りの子に気づかせたのかもしれない。

子ども達が何を受け止めてどう感じたのかはわから

ないけれど、報告した直後の静寂がすべてを物語る

っていたような。

まだ時間はある！残りの時間を楽しまないと。

わたしもちろん、全力投球さ。

=====

===== デイリー・フレネ =====

----- VOL/0657----- 2003/03/19

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

1. 史上最大の持ちよりパーティー！ 2002年度終業

2. 新宿便り テッシー

3. 世界史「アメリカ奴隷制度－鉄腕アトム」

=====

今日はなんの日

1956 日本住宅公団が第1回入居者募集

今日の花言葉

くちなし「とてもうれしい」

今日は誰の誕生日

ブルース・ウィリス(俳優 独 1955)

今日の名言

「うつくしいといえる生き方があるとすれば、それは自

分を鮮明にした生き方である」

むのたけじ詞集『たいまつ』より

- 1. 史上最大の持ちよりパーティー！ 2002年度終業

「すっごーい！一品持ちよりパーティー、グレード

アップしたんじゃない？」

とうこちゃんが驚くように、今日のパーティーは、

すごかった！

木幡は、自慢の手作りミートローフを作る。しょう

君(10歳)、ささみとチーズのフライ...、これも自

作。お姉ちゃんのもえちゃんは、チーズケーキ。

8歳りょうすけは、もちろん自作のフライドチキン。

さおちゃんは、水餃子。肉団子、ゼリー、いちごの

ムース、サンドイッチ各種、オニギリ、ポテトサラダ、チョコレートのケーキ、マカロニカレー味...、その他あれこれ。食べ切れない！

「お土産に持っていったいいい？」

こんな声も出てくる。

いろんなことがあった1年。大検や高校受験で移動が多かったのが、今年の特長。出て行く子がいれば、入ってくる子もいる。15歳しょう君、二日目にもかかわらず、みんなとなじんで、いっしょに御料理。「きゃあ！やめてよ！せっかく、きれいに作ってきたのに！ちゃんと、ナイフで切って食べてよ」とうちちゃんが作ってきたいちごムースを箸で切って食べようとした木幡に、非難ごうごう！

「ナイフ持ってきてよ」

「ついでに、そのナイフで木幡さんをブツ刺してよ」
(大爆笑)

パーティー終わって日が暮れて、囲碁をやっている子、トランプで遊ぶ子、パソコンを操作し笑いあっている子、ギターを弾いている子...

いいなあ、いいなあ。和んでいる空気が伝わってくる。小さい子も大きい子も一緒になって歩み、育みあうジャパンフレネの2002年度終了！

2. 新宿便り テッシー

ミーティング

今日のミーティング議長はさきちゃん。書記はちせちゃんでした。

今年一年、新システムの効果がちょくちょく見られました。みんなそれぞれ自習をしている姿が多かったし、なにより自分の必要に応じて授業を欲することが多かった。

ただ、完全個別に動いていた場合と大検組のようにグループで進めていくのとは随分違ったのも事実。やっぱりグループで取り組むというのはペースメーカーがいる分持続するし、定期的に進んでいた。特に英語の場合は間を空けてしまうと、同じ所を何度もやらなくてはならない。

今日の午前中にも今英語をやっている子に相談。

「そのほうがいいな。休んじゃうんだよ。」と。

なので、ぼくからのお願い。

「来年度からは、いくつかのグループを作って進めていこうと思っているんだけど。これは、曜日・時間もある程度設定に沿ってということになるけれど、いいかな？」

特に反対意見もなく決定。来年度に英語をやろうと思っている子に挙手を求めておしまい。

同じことが算数・数学についても行われました。来年度は、今年度とは少し違った形で授業になります。グループの場合は、欠席やつまづいたときのサポートがさらに重要になってくるので、その対応についてももう一ひねりが必要です。

ギターで作曲

正太郎君は今期でお終い。大検に合格し、自分の方向ができた。

思い返すと、まだ自習があまり定着していなかったころ、フレネに行くたび彼と洋楽を訳し、英語の物語を訳しそこで必要な文法をおさらいしていた。その後、彼は検をめぐすと決め、何人かと一緒に本格的な英語の授業へ。今ぼくがやっていることの始

まりはここだろうな。

そして、もう一つやっていたのがギター。J F F や F S C F などでも発表。2度目にはコーラスも参加。みんなと2曲作ったし。一回り二周り大きくなっていくのを横で感じながらギターを弾いていました。彼の卒業はとても寂しいものであるけど、お互い次の一歩へ踏み出すのかな。そんな感じの曲を二人で作曲。

「始めちゃえばすぐできちゃうね。」

「結構いいじゃないですか？」

そう。なかなかの出来栄でした。いつかこの歌と一緒に発表できたらな。

3. 世界史「アメリカ奴隷制度-鉄腕アトム」

「朝鮮史」、「第2次大戦」に続いて三度目。この三つはいつかはやりたいなとずっと思っていた題材。この3月で退会の子がいるのでやっとこさ行動に移したといったところ。

まずは、鉄腕アトムのマンガから。

マンガの中でロボットが「ロボット権」なるものを求めてデモをしている。

「実際に今このような状況になったとしたら、自分はどっちの立場に立つか。」と単純な質問。

やっぱり「理解できない」が多い。

次に、

「今現在のロボットと、鉄腕アトムの中のロボットとは何が違うのか？（今現在のロボットにはなくて、マンガの中のロボットが持っているものは）」と質問。

「意識」「知識」「心」などなど。その通りなんだよね。これが一つキーワード。マンガの中ではロボットがこれらを持っているから権利を与えなくてはならない方向にアトムが走る。

ここで、方向転換。アメリカ奴隷制度の話へ。簡単に歴史のおさらい。黒人奴隷はいつごろ、どこから、どのようにして連れてきたのかなど。

「奴隷っていうのは奴隷でしかなくて、人間ではないんだよ。やらされる仕事は綿花を摘むなどの単純作業に過ぎないし。つまり、今現在のロボットと同じなんだよね。そういう扱いをされてきたってことになるね。」

黒人が置かれていた状況、また、どうしてそのような扱いになってしまったのか、その後の動きがマンガとリンクしてくる。手塚治虫ってすごいなあ。その後は、奴隷開放について。リンカーンや南北戦争に触れる。

「リンカーンって偉いじゃん！」というけれど、

「でも、なんのために開放したんだろう？」

必ず利権がからんでいるんだよ。アメリカ北部には湖があって、その周りが工業地帯になっていて...と。本音とタテマエだね。

「工業をやるには、機械を扱わなきゃならない。そのために必要なものって何だろう。」

「知識かあ...！」

ここまでくれば、後はぼくがヒントを出さなくても授業はお終いまでつぱしる。

「今のアメリカって...。イラク人をフセインから開放するって言っているけど...。」

もうみんなにおまかせ。横で一緒に話をしていました。

2002年度のジャパンフレネの活動は本日で終了です。

2003年度は、4月8日(火)から始まります。

JF新宿では、4月1日(火)8日のパーティの内容を春休み中に集まって計画することが決定しました。

JF熊谷オープン3周年記念ライブ

4月6日(日)午後5時~7時

フォークの鬼才・高田渡をまねいてのライブ。

詳細はJFまでお問い合わせ下さい。

JFのHPにも載っています。

JFの実践を出版

6月末にPHPより1冊上梓します。

乞う！ご期待！

それではみなさん、4月8日、また、お会いしましょう！

楽しい春休みを！チャオ&ラブ！

=====

==== デイリー・フレネ =====

----- VOL/0658----- 2003/04/08

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

- 1. JF熊谷3周年記念ライブ、大盛況！
- 2. 春休みのジャパンフレネあれこれ
- 3. お便利コーナーです

=====

今日はなんの日

1820 エーゲ海の小島でミロのヴィーナスを発見

今日の花言葉

えにしだ「博愛」

今日は誰の誕生日

桃井かおり(1952 0型)

今日の名言

「人は頭で生きるというが、頭だけではまだ足りぬ。まあ、やってごらんよお前の頭で。生かせるものは、シラミー匹。」

プレヒト『三文オペラ』より

- 1. JF熊谷3周年記念ライブ、大盛況！

「ぼくたちの疾走」ライブ...、代表・木幡のお友達、フォークの鬼才・高田渡参上！なんと60名の参加！

「明星学園時代の木幡さんに出会えて良かった思いますよ。明星から自由の森に行ったかと思ったら、突然やめて、フリースクールを作る。変な先生ですけど、こういう人がいたほうがいい。今度フリースクールをやめたら何をするんでしょうかねえ？」(大爆笑)と、渡ちゃん。

「イラン映画に『黒板屋』というのがあるんですけど、黒板をしょってあちこちの街角で授業してお金をもらうんですよ。そういうのもいいかなあ」と、切り返す木幡。これまた大爆笑！

構造改革特区の問題で、NPOや株式会社が学校参入できるようになった。しかし、学校とフリースクールは全く違う場所だ。ジャパンフレネは、「学校以外の学びの場」として、機能していきたい。この点に関してジャパンフレネ通信最新号(4/1発行)で、ぼくは次のように書いた。

(前略)

以前、このコーナーでも書いたことがあるが、学校とは「国民」を育成するところ。そこでは、到達目標を設定し、それに至らない児童・生徒を個別指導したり、能力別クラス編成を形成する事は可能である。しかし、一人一人の子どものリズムに合わせて授業をカリキュラム化する事は不可能である。

「百マス計算」の危うさについては前回書いたので、ここでは割愛するが、学校でやる事を家庭に持ち込んでではないという持論をぼくは持っている。これは家庭における「母性と父性」の問題同様、学校と家庭は、ある意味での役割分担をしなければならないと考えるからだ。

本来、学ぶ楽しさを実感し、意欲的に次の課題に取り組んでいくために、何らかの動機付けが必要になってくる。それは、方法を問う「How to?」ではなく、何故そうなるのかを問う「Why?」によるところが大きい。

学校が計算練習や漢字の練習を主軸におくのなら家庭では、それと同じことを反復させるのではなく、家庭独自のポリシーで学びの動機付けを行った方が賢明だと考える。

学校では練習や鍛錬、家庭でも練習や鍛錬の反復練習では、深くものを考えていく力は獲得できない。フリースクールは、今の学校と対極に位置することを目指すので、必然的に「Why?」を問う学びを中心に据えなければならないだろう。

(後略)

フリースクールが学校になってしまったら、学校という枠の中におさまりきれない子どもたちの行き場がなくなってしまう。だから、ジャパンフレネはこれからも、「学校以外の学びの場」として、疾走を続けるつもりだ。

JF新宿が4年目、そしてJF熊谷が3年目...、これからもぼくたちの疾走は続く。

今後とも、ご支援よろしく願いいたします。

2. 春休みのジャパンフレネあれこれ

みんなで楽しもう！JFの授業！

おうちでJFが体験できるおまたせいたしました！ジャパンフレネで行っている授業をご家庭で体験できる「おもしろ通信講座」の会員募集が4月4日(金)から始まりました。詳細は、JFのHP

<http://www.jfreinet.com/schedule/index.htm>

よりご覧下さい。

具体的な教材例や映像、授業レシビを見る事ができます。ぜひ、ご活用下さい。

ニキビ牧場

8日(火)のオープニングに何を行うか？実行委員のれんげちゃん、もえちゃん、とうこちゃんが集まった。

「春休みさあ、チョコとか食べ過ぎて、ニキビがいっぱい出ちゃった。ニキビにエサやってるようなもんだよ。ニキビ牧場だね」ととうこちゃん。大爆笑！

さて何が決まったか？JFの週間・月間の予定表、

<http://www.jfreinet.com/schedule/index.htm>

を見てね！

ＪＦ通信発送のお手伝い

ボランティアの大学生が新学期で発送作業を手伝えない。そこで、しょう君、ゆう君、さきちゃんの15歳トリオに来てもらうことにした。みんな快く、ひきうけてくれた。

「おはよー！さあ、花見に行こう！」と、さきちゃん登場！みんなで大笑い。

しかし、数時間後…。印刷された紙を折る、そろえる、封筒に詰める…などなどの単純作業にみんな飽きてきた。

「封筒に入れるだけって言ったじゃん！」

「もう、やりたくない」

「だめだめ、5時まで頑張っ。そうそう、どうしてさきちゃんに連絡したかわかる？」

「どうして？」

「いいや、やめておこう」

「ちゃんと言ってよ！」

「じゃあ、怒らないでね。さきちゃんに連絡しなかったら、『どうして、私だけ、連絡しないの！？』って、怒るから」

「ひどーい！私そんな事あった！？」

声は怒っても、顔は笑っているさきちゃんでした。

仕事は5時までで終了！みんなお手伝い、ありがとうね！

3. お便りコーナーです

元ボランティアのMさんからのお便りです。教職員にチャレンジしています。

----- 以下、転載。

ご無沙汰しています。

1年間の小学校支援活動も終わり、春休みといった感じです。フレネも春休み中ですね。お忙しい木幡さんのことですから飛んでまわっているのでしょうか？八王子の桜はいかがですか？

教員になることを目指し、初の採用試験も補欠で切り抜け、いよいよ採用面接の時期となりました。

先日、となりのH市の面接に呼ばれましたが…、翌日に不採用の通知が届きました。

自分の考えをアピールすることができたので満足していましたが通知後、客観的になぜ落ちたのかを考えてみると、「あはは、そりゃそうだ」と思いました。次はがんばらないと…。

校長先生を目の前に、民間採用の校長先生の自殺の話をしたのがまずかったのかしら…と思いましたが、「指導要領、カリキュラムに遅れをとるのは私の力不足だが子どもを駆り立てるのではなく子どもの実態に計画を合わせていく事も必要だと思う」

「決まりは頭ごなしに押し付けられるものではないはずだから子どもがその決まりに納得できないときは、なぜその決まりがあるのか考えることから初めていきたい」

などなど、思うことを素直に発言し過ぎました。

「Mさんの良いところを見せてください」と言われて「明星学園、和光大学卒ですね。無着成恭ですよ？」とか聞かれたので、“私らしさ”を安心して出していました。

公立学校教員への適格性、組織人の能力、社会的な常識人といった面接の目的を忘れていました…。

面接では自信と謙虚さが大事と言いますが難しいです。デイリーフレネに寄せられたメールにもありました

“学校が変わる”と期待してもそう簡単には変わらない場所なんですよ。呆れること、憤慨するようなことがたくさんある。それでも教師という仕事に挑戦したいと思い、次の呼び出しを待っています。

教育基本法見直しなんて動きもなんだか不思議です。学校教育にどんな希望をもてばいいのでしょうか？

----- 以上、転載終了。

教職への道、なかなか険しそうですね。ぼくが埼玉県の公立学校を志望したとき、主任制が導入される時でした。その是非を面接で問われ、堂々と反対意見を述べたことを思い出します。結果、合格でした。周りに歩調を合わせるのではなく、しっかりした自己主張を持って生きていけば、道は必ず開けます。新宿のボランティアは全員学生で10名の陣容を誇っています。また、遊びにきて下さい。健闘を祈ります。

(木幡)

いよいよ2003年度のジャパンフレネのオープンです。動ける身体になってきた子ども達に行事をまかせ、さらなる自立を目指していきます。同時にシステムのバージョンアップをはかります。自学システム

午前中をより有意義に過ごすため、算数・数学の学習カードを作成し、自学できるシステムを7月末までに整備します。

現在、数の領域のカードを作成中です。同時に、「読むこと」、「書くこと」の学習に意欲的に取り組むためのシステムも考えていきます。

大検講座と基礎数学・基礎英語の講座(新宿)

英語と数学の講座をグループ分けして火曜と木曜に設置します。

今年度もジャパンフレネをよろしく願っています。

ＪＦの「選択登校」ネットワークの会員も募集しています。詳細は、ＪＦ新宿にお問い合わせ下さい。

=====

===== デイリー・フレネ =====

----- VOL/0659----- 2003/04/09

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

1. 雨降って、お寿司大会
2. ジャパンフレネあれこれ
3. お便り 他のフリースクールに通っていても

=====

今日はなんの日

1939 初の集団就職列車が上野に到着。

今日の花言葉

桜「精神美」

今日は誰の誕生日

ジャン・ポール・ベルモンド(俳優 仏 1933)

今日の名言

「いわゆる頭のいい人は、言わば足の早い旅人のようなものである。人より先に人のまだ行かない所へ行き着く事もできる代りに、途中の道端あるいはちょっとしたわき道にある肝心なものを見落とす可能性がある」

寺田寅彦「科学者のあたま」より

おうちでジャパンフレネが体験できる

「おもしろ通信講座」のご案内

4月開講の講座です。詳細は下記のURLをご覧ください。

<http://www.jfreinet.com/tu-sin/index.htm>

- 1.. 雨降って、お寿司大会

あいにくの雨模様で、バーベキュー大会は中止。代りに寿司ネタを買ってきて、お寿司大会。

先日、「お寿司だったら、来ないよ」って言っていたもえちゃん。やっぱり来なかったなあ。

マグロ・納豆・油揚げ・山芋・卵焼き・きゅうり・かにかま...。油揚げは亜麻から煮て「お稲荷さん」に。他は、巻き簾で巻いて巻き寿司に。

「この海苔、色が薄くて海苔の香りがないよ」

「そりゃそうですよ。100円ショップで買って来たんですから」(爆笑)

「ぼくが見本を見せるね」

木幡が巻き簾の上に酢飯をのっけ、とうこちゃん作の卵焼き・きゅうり・納豆を入れたが、

「木幡さん、ぐのいれすぎじゃない？」

その通り！うまく巻けないねえ...

「ぼくもやりたい！」りょうすけも一所懸命巻き巻き...。あつという間にみんなで巻き上げ、楽しいオープニングパーティー！

2003年度の始まりです。

2. ジャパンフレネあれこれ

かわいいー！

新入会のあきちゃん、13歳。同年代の男の子達がはしゃいで騒ぎまくるのを見て、「男の子って可愛いねえ。」

やっぱ、男の子は幼いってことかなあ...

奥さん？

「こないださあ、家で拭き掃除している時、セールスの男の人が来て、『奥さん』って言うのよ。目が点になっていたら、向こうが慌てて、今度は『若奥さん』だって！失礼しちゃう。奥さんには変わらないじゃん！」

若奥さん=とう子ちゃん・14歳でした。

ミーティングにて

【決まった事】

お料理・お散歩実行委員

ミッキー、ドラゴン、とうこ+

スケジュール表をきちんと書く

午前中は「読み・書き・そろばん」を各自のペースで行う

読み=読書、書き=「コボちゃん」作文、漢字検定、そろばん=算数・数学のカード。

カードは、現在、製作進行中

【懸案事項】

やってみたい事、やってほしい授業の提案をする。週1回組みこみます。しゃべり場を作ろうよ！

習字の授業を考え、一日一字テーマを決めて書くのはどうかな？

キャンプの実行委員を募集中！

いい駅長さん

「お母さん、今日、バッグの中に定期券入ってなかったよ」...ということは、お母さん頼みなのか

な？

「それでね、駅長さんが切符買ってくれたの」

駅長さんが???

「りょうすけ、駅長さんが買ってくれたの？」

「そうだよ」

なんとなく解せないが、本当なんだろうねえ。いい駅長さんだねえ。

3. お便り 他のフリースクールに通っていても都内のフリースクール「S」にお子さんが通っているAさんからの依頼です。

- - - - - 以下、転載。

ご無沙汰しております。Aです。

フリースクールフェスタの時は、せっかくお声がけ頂いたにもかかわらず短いご挨拶しかできませんで、大変失礼致しました。

又、いつもJフレネ通信をお送りいただきましてありがとうございます。

「このまま、Sに入れておいて大丈夫なのだろうか。」

という不安が強い時には、フレネ通信を読むとますます不安になってしまうので、読めない時もありましたが、息子も去年通信制高校に入学し、規定のレポート、スクーリング、試験をこなし、単位をとれ、これからも「通信はちゃんとやる」と言っているの、今はちょっと安心しています。

S、ますます“社会運動をする団体”色が強くなってきました。息子もだんだん変わってきたと悩んでいましたが、この間、スタッフに「ミニトレと文科省が無理に学校にもどそうとする時以外の社会活動をやる気はないし、やりたくないとはっきり言ってきた。」とちょっと元気になっていました。

息子も私もトラブルの対処方法や活動のあり方のついてSに違和感を感じる自分を否定しないで、方向性が違うだけだと認識できるのは、フレネのことを実際に知っているおかげだなあとと思っています。同じように悩んで、通信のレポートが手につかなくなってしまった人もいます。

「犯罪者にならないこと、通信はちゃんとやること、Sとの係り方はまかせるから」と言ったら「まかせとけ」という返事がかえってきて「ほっ」としました。と言うわけで、入会しなくてもフレネの存在に助けられているということをお伝えしたくてメールしました。

- - - - - 以上、転載終了。

こんにちは！木幡です。

6日のJF熊谷3周年記念ライブ、60名の入場で大盛況でした。

新宿は30名弱の適性規模を維持し、ますます学習モードが高まっています。今年からは、スペシャル授業はもちろんの事、午前中の「日本語&基礎数学」の充実をはかるため、フレネメソッドの中心である自学のための「学習カード」を作成します。

ご息、大きくなりましたねえ。自分のリズムで歩いている様子、頼もしく感じました。

今後とも、JFをよろしく願いいたします。

=====

===== デイリー・フレネ =====

----- VOL/0660----- 2003/04/10

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

1. ジャパンフレネあれこれ
2. 熊谷もスタート! スタ・かおりん
3. お便りです ちせちゃんママ

=====

今日はなんの日
 1970 ビートルズ解散
 今日の花言葉
 つるにち草「楽しき思い出」
 今日は誰の誕生日
 和田アキ子(1950 O型)
 今日の名言

「青年を見てその国の将来を占うより、その国の親たちが青年をどう扱っているかを見てその国の将来を占うほうが、ずっと正確的中する」

むのたけじ 詞集「たいまつ」より

- 1. ジャパンフレネあれこれ
- 再び「矢印パズル」

まずは、「ジャパンフレネのおもしろ通信講座」の下記のページをご覧ください。

<http://www.jfreinet.com/tu-sin/index.htm>

円盤、もしくはハート型に突き刺さっている「矢印」をはずすことができるか?これはJFの授業の定番になっています。

、興味津々の15歳ゆう君、
 「ねえ、どうやってとるの?教えてよ!」
 「いや、教えることはできないけれど、確実にとれる」
 「じゃあ、今、やって見せてよ」
 「今すぐはできない。15分ぐらい時間がかかるかなあ」
 これは、教えるには意味がない。なぜそうなるのかを考えるには、もってこいの教材。ゆう君、インターネットであれこれ調べるが答えは、発見できない。行き着いた彼の結論。「木を育てるんでしょ」
 うーん、なかなか面白い!小さな苗木を買ってきて、それに円盤を通す。大きくなるまで育て、円盤が通ったまま木を切ってパズルを作る。
 しかし、これでは抜くことができない。そんなに時間をかけないで、入れたり出したりするには、どうしたらいいか?

ゆう君のリクエストに答え、JFオープン以来、三度目の「矢印パズル」の授業を行いましょ!

ところで、このパズルを最初に見つけたのは、本日も行く高尾山でのハイキングでのこと。けんご君このことをよく憶えていた。

「木幡さんがパズル買ったとき、俺たちを見て『ご家族ですか?』って聞かれたんだよね」
 あれから、もう4年の月日が経ちました。

大きな買い物(スタ・テッシー)
 フレネの物もだんだん増えてきて、今の収納スペースでは納まりきらなくなりつつ。そんなこんだで午後、ボラ・やくし君と棚を買い出しに。

なんてたって今日は雨、風。
 「おれのビニール傘じゃ不安っすね。」と、やくし君。言った瞬間に突風。おもしろいくらいに彼の傘はぶつ壊れました。

棚といっても高さはぼくより高く、棚板は全部で14

枚。お店の人が運んでくれるとのことだったけれど、出てきたのは小さなお姉さん。
 仕方ないので、やくし君と二人で運ぶことに。とてつもない大きさ、重さ。途中、知り合いの人に会い、「大丈夫ですか?」と言われても、「大丈夫じゃないです。」と即答。
 降りしきる雨の中、汗だくになりながら到着。二人で汗を拭いながらコーラをぐびぐび。だけど、全然爽やかじゃない。ヨレヨレでした。
 その後みんなで棚作り。ゆうへいにミッキーも遅くまでお手伝い。おかげ様で難なく完成!みんなありがとう!

2. 熊谷もスタート! スタ・かおりん
 今日から2003年度がスタート。天気はあいにく。けれど、久々の面々に会話も弾む。「春休み中はどうだった?」とか「こういうことがあったよ。」

休み明けは、いつもの事ながら、「やっぱりフレネは子どもがいてこそだ。」としみじみ。にぎやかなスペースはやっぱりいい。
 今年度はどんなことがとびだすのか。子どものそばで、いろんなことを見て、感じて、私も一緒に成長していくぞ。

熊谷の桜は咲き乱れているけれど、フレネの中は華が...。(いや、スタかおりがいるのだけど。)

2003年度のスタートは男の子ばかりのスタートだ。

花見+2003年度スタート+お誕生日会
 「今、熊谷の土手は桜がすごいいよ。」とボラりえちゃん。日本百選にも選ばれている熊谷の桜堤。「お散歩でみんなで見に行きたい!」と3年間ずっと思っていた。

1年目、お散歩で出かけた時にはすでに葉桜。
 2年目、3月下旬には桜はおしまい。
 そして、3年目。やっと、お散歩でお花見だ! きぐちゃんとも「やったね!」とことばを交わす。
 「4月は誕生日の子が多いから、お誕生日会も一緒にやってもいいんじゃない?」
 「なら、ケーキ作ろうよ。」
 「花より団子で、団子も作ろう!!」
 「2003スタートだし、盛大に行こう!」

と言うわけで、一日遅れの2003オープニングパーティー。今日の雨で桜が心配だけど、景気よくいきまっしょい。

提案、提案
 「今年ももっともっと楽しいことをしよう!みんなからも提案してね。」とミーティングで提案。
 みんなからも、いろいろ出てくる。
 「ガラスで何か作れるところにいきたいな。」
 「グリーンカレーとかで使う、スパイスを栽培して料理したい!」
 「ミニトマトなら鉢植えでも栽培できるよ。」
 「いろんな国のお料理作ってもいいんじゃない。」
 「地図を作っても面白いかも。」
 みんなでいろいろなものを作り上げていこう。

今月の予定
 ・ものづくり
 14日 ムニユムニユ星人
 21日 バケツでプリン

・お散歩

9日 お花見

16日 さきたま古墳公園

23日 森林公園

・お料理

10日 ロールキャベツ

17日 春巻き

24日 インドカレー

今年度もよろしくお願ひします！

3. お便りです ちせちゃんママ

----- 以下、転載。

今年度も引き続き親子共々よろしくお願ひ致します。
『引越し』の『引越し』も終了し、新学期から新居に程近い小学校へ転入した娘ですが、早速春休みに校長・教頭両先生とお話を致しました。

ちょうど何う前に

『埼玉の小学校で不登校の児童に卒業を認めず...』

というニュースを見ていただけあってちょっと心配になりその点もつっこみつつ出・欠席扱い及び卒業についていろいろと伺って参りました。

こちらの小学校では

『年間50日を超える欠席があったとしても

進級ましてや卒業を認めないと云う事はまずない』

との事でした。

フリースクールに行っている事についても、出来れば親の口答ではなく『行ったと証明出来るものがあればそれでよい』そうです。

A市は子どもに力を入れているだけあって、適応指導教室もあるし(娘の通うこの小学校では極端に児童数が少ないのに)補助教員までしっかり揃ってます...。HPだって持っていたりします。

少人数という点では、娘には『合っている』小学校になるかもしれません。これで中学校でも柔軟に対応してくれたらいいのになぁ~と今から『楽しみ』です。しかし、『フリースクールへ行ってるなら、ほとんどお勉強の方はお出来にならないでしょう?』と云われた時はさすがにムカッ!ときましたね。先生方も『出張』やら『研修』やらをするならもっとフリースクールや不登校についてもお勉強していただきたいですねえ。...といった訳でフレネに通った日をこちらの小学校の方へ連絡していただきたいと思ひますのでよろしくお願ひ致します。

----- 以上、転載終了。

東京でも地区が変われば、対応が全く変わるのには、驚きます。明日は、都区内のある学校、および、教育委員会の対応についてデイリーフレネ上でお知らせいたします。ジャパンフレネで行っている授業は、公教育より質的に高いという自負をもっています。この点に関しては、ジャパンフレネの教材群の一例をご覧下さい。

<http://www.jfreinet.com/tu-sin/index.htm>

=====

===== デイリー・フレネ =====

----- VOL/0661----- 2003/04/11

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

1. 高尾山珍道中 桜ハイキング

2. グライダーを作ったよ 新宿・テッシー

3. こんなに違う! 不登校への対応

=====

今日はなんの日

1814 小林一茶、52歳で28歳の菊と結婚

なかなかやるなあ...

今日の花言葉

はなしのぶ「お待ちしています」

今日は誰の誕生日

加山雄三(1937 A型)

今日の名言

「子どもをしあわせにしたいなら、まず、親の自分が幸せになることだ」

むのたけじ「詞集 たいまつ」より

おうちでジャパンフレネが体験できる!

「おもしろ通信講座」開講!

詳細は下記へ。

<http://www.jfreinet.com/tu-sin/index.htm>

- 1. 高尾山珍道中 桜ハイキング

晴れ!晴れ!晴れ!絶好のハイキング日和!都区内より1週間遅い桜を見に、高尾山へレッツ!ゴー!桜満開と思いきや、頂上は、全く開花していない。もう一度、高尾山に来ようか?

おじいちゃん

八王子といってもほとんど高尾住在の木幡。現地にてみんなを待つ。

「木幡さん!」けんご君、ココロとやってくる。

「さっきねえ、『おじいちゃん?』って、テッシーに聞いたら、『あっち』って反応したよ」

なんだよ!おれは、おじいさんか!?

【そして、テッシー】

新宿で集合していざ出発。だけど、木幡さんとちせちゃんは現地集合。

「ねえねえ、おじいちゃんはどこにいんの?」とけんご君。

「えーと、おじいちゃんは...。」と思わずぼく。

「あー!おじいちゃんって言った!いってやる!」

木幡さんに会って報告されことは言うまでもありません。

そういえば、今までにもフレネで移動して家族に間違われたことが何回か。そうすると、みんなが子どもで木幡さんがおじいちゃん、ぼくが...??

連続うさぎ跳び

「ようし!おれ、登りは全部ジャンプしていく!」

と、まっつあん。高尾山の登りの階段を2段ずつのうさぎ跳び。

本当に、全部やっちゃうんだもんなあ。すげえ!

【またまた、テッシー】

登りはじめて早々、まっつあんはりょうすけをおんぶして走り回る。

「あー疲れた!筋トレ!」登る前なのに...

高尾山にはお寺に続く長い階段がたくさん。

それを見ると、

「よし!階段は全部ジャンプで上ってやる!」

とまっつあん。両足でピョンピョン。しかも一段飛ばし。怪我しないであ。

「まじ疲れた。足痛い...。」
そりゃそうだよ。だけど、階段を見つける度にピョンピョン。とうとう全ての階段を制覇したみたいでした。

八艘とび

そのまっつぁん、ちせちゃんといんげちゃんが並んで陽だまりでお昼寝をしているところをジャンプ！ジャンプ！ジャンプ！
「やめてよー！」うさぎ跳びがおさまらないみたい...。

恋占い... (テッシー)

途中のお寺でおみくじ発見。思いっきり「恋占い」と書いてある。

「ここのはよく当たるらしいですよ。」の一声。

ここは一つ...

「どうだった？」

「末吉...。いいこと何も書いてない...。」とは、ボラ・かおりちゃん。

ちなみにぼくは大吉！

「すごい！なんて書いてあんの？」

「えーっと、愛し合う二人は...。」

「相手いんの？」

「...。」

大吉なのになんかむなし...。

【そして、木幡】

「ぼくも引く！」と、りょうすけ。

「恋占いは、まだ早いんじゃないの？」

要するに、おみくじを引くという行為に参加したいんだな？

しりとりに...？ (テッシー)

下りは恒例のしりとりに合戦。

「じゃあ、ラッパ！」と木幡さん。

「パン！おしまい！」とまっつぁん。

「なーんだよ！じゃあ、ゴリラ！」

「ランラン！おしまい！」

気がついたら、しりとりを終わらせるゲームになっていました。これも結構おもしろい？

買わない 買った...。

「ここで、りょうすけが泣いたんだよね」

「そう！『お母さんにミニカーのお土産、買う』って」

りょうすけ、昔のことを良く覚えている。

「今日は、お金、使わないよ。明日も使わないよ」

「えらいねえ」

しかし、下山後のお土産屋の前...

「あれ、買ったの？」

「うん！おもしろいでしょう！この、ヨーヨー」

変則ヨーヨーを買っちゃったようすけ。

実は、ぼくも欲しかったんです (木幡)。

「また、ハイキングに来ようよ」

「温泉付きがいいね！」

「その前に、キャンプがあるよ」

ハイキング初参加のともちゃん、あきちゃん、

「私たちが実行委員やる」

嬉しいなあ！

自分たちで、どんどん行事を作っていこうね！

2. グライダーを作ったよ 新宿・テッシー

今日のものづくりは「種のグライダー」。「種」といっても、「植物の種」を使うわけじゃない。形が

似ているだけのネーミングなのかな。材料は画用紙とクリップだけ。

画用紙にモデルをコピーして、後は山折り・谷折り。形は単純なのでかなり簡単。

「せっかくだから、色もつけたら？」というのと、「水玉にしようかな??」と、それぞれに思い思いの模様付け。

作るの簡単。だけど、飛ばすのがなかなか大変。

「あー、すぐ落ちちゃう...。」

みんなあれこれ工夫。この過程がやっぱりいいね。重りを外したり、折る角度を変えてみたり、飛ばし方を変えてみたり。

一番最初に上手くいったのは、ともちゃん。スーっと飛んでいく。

「すごい！すごい！」

それをお手本にしてか、あっという間にみんなも大成功！簡単、単純だからこそその工夫が見られたものづくりでした。

3. こんなに違う！不登校への対応

保護者から連絡があった。

「フリースクールへ通うことは、出席にカウントできない」と教育委員会からのお達しとか...。しかもそれは、その地域の生徒すべてに適應されると...

こいつはおかしいと、さっそく、校長交渉。しかし、らちがあかない。同じ地域から通っている小学生は、出席扱いで通学定期も購入している。その点を指摘し、直接、教育委員会に話をし、それでもだめならもっと上のレベルと交渉する旨伝えたら、ころりと態度が変わり、もう一度教育委員会に聞いてみるとのこと。

5分後、連絡あり。出席状況と活動状況の報告があれば、校長裁量で出席も認め、通学証明書も出す...。JFには首都圏全域から子どもたちが通っているが、地区ごとに対応が全く違う。行政は、一体、どこまで不登校の問題を考えているのだろうか？

まっつぁんママからは次のようなお便りが来た。

----- 以下、転載。

校長に会ってきました。

「どうしたいのか」といわれたので、本人が行きたいところを選ぶのがいいこと、学校・フリースクールのよいところを本人が吸収できればいいと思うと伝えました。

とても理解のある校長で、互いのよいところを認めることが大事だと言ってくださいました。

彼にも「中学校にもいいところと悪いところがあるフリースクールもそう。その中で君が必要なものを学びなさい」と言ってくださいました。

担任も「クラスの友達には、君は学校以外に通っているところがあって、学校が嫌いだったりするのではないと伝えるね。それでいいかな」と彼の意志を確認してくださいました。

本人も「そうしてください」と言っていました。

クラスでの彼の立場を他の生徒さんが受け入れられるように配慮して下さったのだと思います。

給食は、いったときに食べて 個別の支払いができるか検討してみると言ってもらいました

出席日数は学校のもの、フリースクールのもを合計して下さるとのことでした。

木幡さんや手島さんにお手数をおかけしますが、その件 よろしくおはからいください。お願いいたします。

担任も校長も「フリースクールって何するの？」

と彼に聞いていました。

「午前中は一応勉強の時間になっていて…」

と、なにやら説明していました。

彼のおおらかさと明るさで、校長先生がおっしゃるよ
うにいろいろなものをいろいろなところから吸収して
くれたらいいと思います。

中学で自己紹介してきたそうです。

「僕は不登校なんであまりこないとおもいます」

とか言ったらしいです。

いろいろな意味で自信をつけて、いい中学のスタート
をきれたのはフレネで3年間大事に育てていただいたか
らだとつくづく思いました。改めて感謝いたします。

ほんとうにありがとうございました。

そしてまた、よろしく願います。

-----以上、転載終了。

不登校児童・生徒は、いわゆる義務教育のなかでは、
わずか1%にすぎない。しかし、不登校が提出する問
題の大きさは、計り知れないものがある。

学校、学校以外の学びの場は、学力問題も含め、新たな
ステージに立たなければいけない。

(木幡)

2003年度がスタートしました。子どもたちもじょじょに
動ける身体を獲得し、行事や学習に取り組み始めています。
この季節、なんとなく胸がキュンとするのは、ぼく一人で
はないでしょう。夢や希望に胸ふくらませ、半面、不安も
あわせ持つ…。

今年も子どもと一緒に進もうと思います。なにとぞ、ご支
援ください。

デイリーフレネは、毎週月～金の平日刊です。14日(月)
にお会いしましょう！

楽しい週末を！チャオ！（木幡）

=====

===== デイリー・フレネ =====

----- VOL/0662----- 2003/04/14

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

- 1. 不登校で考えたこと お便りです
- 2. そろそ始動かな...? 新宿・テッシー
- 3. 行事にチャレンジ! 熊谷・かおりん

=====

今日はなんの日

1912 初航海のイギリス豪華客船タイタニック号、
氷山に衝突して沈没。1513人死亡、705人救助。

今日の花言葉

あさがお(しろ)「喜びあふれ」

今日は誰の誕生日

アンソニー・パーキンス(俳優 米 1932)

ヒッチコックの「サイコ」を思い出しますね。

今日の名言

「人間の『差異』などというものは、じつは、『想像』

(イマジナリティー)上のみ存在する」

森巢博『越境者たち』(扶桑社)より

そして、彼は「『差異』は他者の創造=捏造である」
とも言う。

- 10日(木)、まだ咲いていなかった高尾山の桜を見に、
またまた、山に登りましたが、頂上の桜はまだつぼみ状
態でした。再チャレンジを誓う木幡です。

1. 不登校で考えたこと お便りです

東京都のUさんからの便りです。

-----以下、転載。

二日続けて明星学園高校と、公立中学の入学式に出
席しました。

明星の入学式は日の丸も君が代も無く、起立礼の代
わりに拍手、来賓の長々しい祝辞も無く、校長先生
と自治会長の歓迎の言葉、新入生代表の言葉、管弦
楽+コーラスの天地創造や和太鼓の心のこもった演
奏とシンプルで心に残るものでした。

その心地よさを味わった後のいまや当たり前にな
れている、いきなりご起立願います、の号令で立つと、
礼！君が代斉唱と続く中学校の入学式は、やっぱり
変だわ、と改めて気づかされました。

人が人に何かを強制する権利を持っていると考える
から、大国のトップに立つと、自分が危険に身をさら
さなくても戦争ゲーム実践編のようなことができる
ようになるのでしょうかねえ？

思いも無く考えも無く動いてしまわない人を創るに
は、真剣に一つ一つのおかしな強制を拒絶してい
なくてはならないなあと思いました。(百マス計算
も思いも考えも無くにつなげる気がしますが)

次女は小学校を卒業する時50枚の卒論なるものを書
きました。

『私は長い間学校を休んでいたから、ほかの人たち
より、小学校生活で学んだことや思い出は少ないか
もしれません。でも、私はちっとも後悔していません。
もちろん今の学校生活はとてつもなく楽しいで
す。だからといって、もっと前から学校に行ってい
れば良かったとは思いません。長い間休んでいたそ
の期間は、私にとって必要な期間だったように思
います。私が「学校には行かない」と決めて、その決
断を悔やんだりしないで、逆に、すごかったと、思
ってしまうくらいです。だから、決して間違ってい
たとも思っていません。それは私の人生として、堂
々と生きていくつもりです。私は学校に行かなか
ったことで、ふつうの子はできないことをいっぱい体
験できました。...』

『いっぱい、良い人にも出会えました。だから、自
分の人生が恥ずかしいとも全っ(本文のまま)然思
いません。中学校など、これからの人生、どんな事
があるか、不安もあります。でも、どんなことがある
かわからないからこそ、堂々と、自分にうそをつか
ずに、誠実に生きていきたいです。私の6年間は、こ
れからの人生の中で、最大の思い出になることと、
思います。』

(木幡さんには今度目を通していただきたいです。)

成長の度合いはとくに子どもに追い越されてるな
あと実感します。まだまだ子どもに学びながら、木
幡さんに相談にのってもらいながら、負けずに成長
したいものだと思っています。

これからもよろしく願います。

- - - - - 以上、転載終了。
 明星学園は、古き良き時代の「大正自由教育」の面影を残しているのでしょうか？私が勤務していたころは、「授業はいいから、井の頭公園の花見の場所とりに行ってくれ」なんて、無着さんに言われたものです。
 学校現場にいていつも不思議だったのは、「何故、毎日毎日、子どもは学校に来るのか？」ということでした。大半の子どもは、そして、親も教師も「学校は行かねばならない所」という刷り込みがなされていると感じざるを得ませんでした。
 もし、学校に命令や強制力が無くなったなら、子どもはどう動くのだろうか？まず、自分が楽しいところから始めよう。子どもと一緒に考えよう。そのためには、教材のもつ力だけを信じ、実践していこうと考え、今もそれを貫き通しています。
 学校を否定するわけではありません。学校で学ぶ子どもが大半です。しかし、その範疇に入らない子どもの行き場は...？また、学校における教師や組織の限界も感じ、自分のやりたいことをやるには、自分で旗揚げしなければいけないと思い、ジャパンフレネを設立しました。
 学校にも頑張ってもらいたいと思います。99パーセントの子どもたちは学校に通っているのですから...。
 (木幡)

2. そろそ始動かな...? 新宿・テッシー
 昨日の登山から一夜明けて、「腰が駄目だ...。」と、木幡さん。
 ボラ・なおちゃんは、「筋肉痛が...。」
 もちろんぼくももれなく筋肉痛。朝の目覚めから昨日の余韻が充満。
 それに比べて子どもは元気なこと。わいわいやっていました。
 賑やかな一日
 今週いっぱいはいは助走期間ということで、とりあえず慣れることを重視。だけど、助走どころかぶっ飛ばし気味。
 机の上はまさにおもちゃ箱をひっくり返した状態。お絵描きの色鉛筆、卓球のラケット、積み木などなど...。みんながそれぞれいろいろなことをやっているのが一目でわかる。
 フレネの中には、「ギャハハ！」という笑い声が一日中響いていました。
 だけど、そんな中でも少しずつ学習の兆し。
 とうこちゃんは来るとすぐに数学の問題集を広げる。「これでいいのかな？」なんて質問も。
 りょうすけとも算数の勉強と一緒に。文章題を解きながら九九の復習。さきちゃんも数学の勉強。
 来週からは通常通りに授業開始。今年は去年に増して学習の体制を整えていく予定です。少しずつ波にのっていきたいところです。
 3. 行事にチャレンジ! 熊谷・かおりん
 やってみよう!
 もうすぐ新宿・熊谷合同キャンプ。新宿は実行委員が決まったそう。今日のミーティングで熊谷の子にも提案。「キャンプの実行委員やる人いないかな?新宿と連絡を取ったり、メニューを決めたりして欲しいんだ。その子じゃなくて、みんなでお手伝いしながらやっついこうよ。」

「そんなら、全員でやってもいいんじゃない?人数少ないし。みんな協力してやるんだしさ。」
 「1人だとなんか気がひけるけど、何人かならいいよ。」
 とみんなも結構乗り気。
 そんなで、きぐちゃん、しゅん君、ユータ君3人が実行委員に。よろしくさん。楽しくできたらいいね。
 ジャパンフレネ〇〇?
 実行委員決めから、話が横道に。
 「新宿の実行委員は、あきちゃんともちゃんという女の子なんだって。」
 「新しい子なの?」
 「あたしも会ったことないから、そうだと思うよ。」
 「熊谷に分けてほしいよね。」「ほんと、ほんと。」
 「でも、遠くて通えないのかも。」
 「なら熊谷が移動しちゃうとか。ジャパンフレネ鴻巣とかさ。」
 「そしたら、俺らを通うのが大変になっちゃうか(笑)」
 第一期がスタートしてから熊谷のスペースが広く感じるし、とても静か。あたしだけじゃなくて、みんなも感じているだね。少なめだけれど、みんなで盛り上がっついこう。
 =====

===== デイリー・フレネ =====

----- VOL/0663----- 2002/04/15

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

- 1. 動ける身体になってきた
- 2. エンジン始動! 新宿・テッシー
- 3. 本日のおすすめ 「越境者たち」森巢 博

=====

今日はなんの日
 1947 インド、独立宣言
 今日の花言葉
 はくさんちどり「素晴らしい」
 今日のは誰の誕生日
 レオナルド・ダ・ヴィンチ(芸術家 伊 1452)
 今日の名言
 「ひとりぼっちで生まれ、ひとりぼっちで死ぬ。ひとりぼっちとひとりぼっちの谷間をうずめるために、ひとりぼっちが一緒に存在している」
 むのたけじ詞集「たいまつ」より
 「選択登校」ネットワークの会員になっていただけませんか?詳細は下記をご覧ください。

<http://www.jfreinet.com/manabinet/senntaku.htm>
 ジャパンフレネをご家庭で!「おもしろ通信講座」のご案内です。

<http://www.jfreinet.com/tu-sin/index.htm>

- 1. 動ける身体になってきた
 「おはよう!」しょう君、早々と登場。その後、すぐ「おはよう!」と、ゆう君。
 「二人とも、月曜は午後からだってこと知らなかった?」
 「えっ?そうなの?」
 時間もあることだし、二人はボラ・やくし君と「通電チェッカー」作り。そうこうしているうちに、なんとミッキーもやってきた。
 そうか、ミッキーとゆう君、お料理とお散歩の実行委員に立候補したんだ。その打ち合わせをミッキー

はちゃんと憶えていた。
 「サクサク、決めようぜ！」
 「スケート！」
 「あんまり、お金がかからないのにしたほうがいいんじゃない？」
 「美術館とか博物館もお金かかるよ」
 「それに関しては、お金を出してくれる人がいて基金があるから大丈夫」
 あれやこれや話し合っ、5月の第2週までの予定が決定！ミッキーは書記をやってくれた。JFに来て3年目、初めての書記。いいねえ。動ける身体になってきたねえ。

【春のお料理とお散歩】

アスパラのリゾット&卓球
 70年代風オムレツ&スケート
 潮風公園でバーベキュー&船の科学館
 インターネットであれこれ調べ、きちんと段取っていた二人です。

2. エンジン始動！ 新宿・テッシー

朝、電車の窓から外を眺めていると、線路沿いの小学校の校庭で朝礼中。しばらく進むと学校の壁の外でうずくまっているランドセル。どうしたのかな？朝からいろんな推測でいっぱいでした。

では、きょうのみんな
 勉強、勉強...

今日から通常通りの授業。今年度はグループを作る予定だけれど、いつものごとく月曜日は人が少ない...。だけど、今週から始まるよ！という意味も含めて、英語の授業開始。

始めてみると、
 「ヤバイ！忘れてる！」
 「ここは何とかいけそう。」

と、反応それぞれ。進めているぼくも授業の感覚を探りつつ...

結局、30分と少しの授業。この4月からフレネに入会した子ども何人が参加。徐々にといった雰囲気です。エンジンはかかってきてそんな感触でした。

キャンプの準備

もう間近に迫った春のキャンプ。実行委員のあきちゃんと話し合い。

「去年まではねえ...。」と簡単に説明。

今年は、以前に増して子ども主体で。料理、レク、タイムテーブルと一つ一つを希望を取るだけでなく、段取りまでお願い。

「しおりみたいなのがあったらいいと思うけどどう？」

「あーそうだねえ。作ってみるよ。」とあきちゃん。さっそく熊谷にも連絡を取って、自己紹介から予定まで。お互いに案を出し合って調整しようということに。

連絡のあとも、

「キャンプの料理って行ったら何がいいかな？」と考えていました。明日のミーティングで一段落までいけるかな？

3. 本日のおすすめ

「越境者たち」森巢 博（扶桑社）上下各1400円
 ここ数年、木幡がこれだと思う小説家は森巢博のみ。夫人は、著名な大学教授（英国人）、子どもは不登校児で天才数学少年。そして、本人はバカラを中心

に世界を股にかける「国際ギャンブラー」。
 「無境界の人」（集英社文庫）、無境界家族（集英社）に続く、第3弾！
 日本を捨てたギャンブラー（森巢）。ギャング元大幹部のヴェトナム系青年。そして、マオリの血が流れる白人。3人の越境者たちが、「合意の略奪闘争」の場たるオーストラリアのカシノで織り成す壮絶なドラマ。

これは、「不純文学」として読むのも楽しいが、比較文化・民族論として秀逸の一語！木幡、京大型カードに重要なものを抜書きし、ファイルしました。「難民を受け入れるのなら、難民たちが持つ『差異』も合わせて受容する義務と責任とが社会にはある。...受け入れたのは難民かも知れないが、来たのは『人間』だったのだ。ここのところを理解し受容する責任が受け入れ側社会には確実にある」(上 P115) ぜび、ご一読あれ！

こんな文章(上 P142)もありました。

No Risk

=====

e-mail : sinjyuku@jfreinet.com

URL : http://www.jfreinet.com

=====

===== デイリー・フレネ =====

----- VOL/0664----- 2003/04/16

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

- 1. キャンプ実行委員会始動！
- 2. 「ムニユムニユ星人」ってなあに？
- 3. これからやりたいこと フォルククロ レバンド

=====

今日はなんの日

1877 札幌農学校教頭のクラーク博士帰国、別離に

「Boys be ambitiousu!」の言葉を残す

今日の花言葉

チューリップ「美しい瞳」

今日は誰の誕生日

チャールズ・チャップリン(映画監督・俳優 英 1889)

今日の名言

「隴(ろう)を得て蜀(しょく)を望む」

『後漢書』より

隴という国を獲得したにもかかわらず、さらに蜀と

いう国を獲得しようとする

英語では『Desire desire desire.』

欲望は(更なる)欲望を欲す

- 1. キャンプ実行委員会始動！

【新宿発 テッシー】

冬の間植えておいたチューリップの球根。すくすく育っていると思っていたら、今日の朝、花を咲かせていました。朝から少し嬉しい気分。

とうこちゃんも、

「テッシー！花が咲いている！」

「明日からぼくが花に水あげる！」とりょうすけ。

約3ヶ月の待ち時間でした。別の植木ばちには、すでに違う種が眠っています。

キャンプの「しおり」作り

毎年、キャンプのときにはスタッフから保護者へ案

内状。だけど、実行委員を作ったからには、子どもの間の連絡もできたらなど。そんな理由から、ちょっと提案したところすんなりOK。
 ミーティングでキャンプの流れも決まったことだし、さっそくあきちゃんと「しおり」について話し合い。「書かなきゃいけないことは...。」と、まずは必要事項の枠組みから。その後、それぞれを決めていく。「あいさつ文って、暑い日が続きますが...とか書くものかな?」「いやいや、子ども同士のものだからそれはいいんじゃない?」
 相談に相談を重ねながら。レイアウトや必要事項をまっくんにも手伝ってもらい、完成。
 「しおりって言ってもそんな大きいやつじゃなくていいからね。」といていたけれど、出来上がりはA3サイズ。なかなか。
 完成品を熊谷へファックス。いくつかの点を付け加えてくれました。一緒に作っていている過程がいいな。これからの「飛ぶ教室」などの行事にも、大きく飛躍する一歩じゃないかな。そんな風に思いました。
【熊谷発 かおりん】
 キャンプ実行委員始動!
 きぐちゃん、しゅん君、ユータ君の実行委員3人衆。
 昨日、新宿のあきちゃんと
 「あー、初めましてよろしくお願いします。」と緊張した感じでご挨拶。
 挨拶も終れば、
 「連絡があるって。書くもの。書くもの。」
 「あいよ。紙、紙。」
 「俺、メモとるね。」となかなかの連携。
 「料理とレクをお互いに考えていくんだって。」
 「お料理の時間に作ったので、おいしかったのもいいね。」
 「パエリアとかいいかも。お米とがなくてもいいし。」
 「けど、シーフードだめな人もいるよ。」
 「ミネストローネも煮込めばいいだけだからいいかも!」
 わいわい。がやがや。みんなで楽しい企画を立てていこう。
 しおり
 ピーッ。とFAXの音。「新宿からだ。何が来たんだろ?」
 「あ、キャンプのしおり。」
 「PCつかって作ったんだね。」「すごいねえ。」
 「あ、お昼が『パエリア』『ミネストローネ』に決まってる。」
 「レクにハンカチ落としだって。」
 とみんなで確認。
 「朝・晩冷え込むから防寒のものあったほうがいいよね。」ときぐちゃん。さすが3回目のキャンプ。
 「新宿へ連絡しよう。」と。
 離れていても、一緒に作り上げていこうという感じがいいな。熊谷のなかでも今回は実行委員が3人もいるので、お互いに刺激を与え合っている様子。
 うまくいくといいな。
 2. 「ムニユムニユ星人」ってなあに?

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>
 今日のものづくりは、「ムニユムニユ星人」ぎゅっと握ると不思議な感覚。ストレス解消グッツだそう
 な。
 「ぼく、作ってみたい!!」

とユータ君はのりのり。おもしろそう。小麦粉を風船の中に詰めるだけという至って単純。
 風船の中に小麦粉をひたすら詰める。小麦粉カップ1杯。
 ぎゅ、ぎゅ、ぎゅ。詰めるだけなんて簡単!と思ったけれど、なかなか大変。そして、地味な作業。小麦粉は入っていない。気がつけば粉まみれ。「げ、小麦粉が逆流してる。」
 「風船破れちゃった。」
 作業は単純。なのに・・・。前途多難?
 できました。できました。「ムニユムニユ星人」ぎゅっと握れば、いろいろな形に変形。変なにぎり心地。でも、癖になりそう。
 シールを貼って顔もできれば、あらかわいい。きぐちゃんが作ったのは青目。名前は「てっしー」だそう。つぶされちゃっている...。あららら。
 (熊谷 かおりん)

3. これからやりたいこと フォルクロー レバンド
 「木幡さん、フォルクローレをやりたいですねえ」と、テッシー。いいね、いいねえ!
 フォルクローレと言えば、南米!南米大好き人間で、何度も足を運んでいる木幡、やる気満々!
 「でもぼくができる楽器といえば...」まあ、サンボニーニャとケーナ(いずれも笛の一種)かなあ。
 「まっつあんもやりたいって言っていましたよ」
 しかし、楽器が手に入らない。そこで、南米はボリビアの首都「ラ・パス」でお世話になったとしさん(手編みセーターの製造・輸出を手がけている)に連絡。
 としさんとは、1986年、ぼくがブラジルでの「フレネ教育国際会議」のおり、ラ・パスに立ち寄った時に知り合い、以後、懇意にさせていただいています。リマからラ・パスに直行し、空港で高山病になりかけていたところを助けられました。
 としさんに相談したところ(ラ・パスでの楽器調達)、
 「もっともはやく安価で良質な楽器を手に入れるには瀬木さんに相談してみるのがいい」と連絡あり。
 瀬木さんは著名な「サンボニーニャ&ケーナ」演奏者です
 さっそく、瀬木さんにメール。これからはとってもらいそうです。JFにさらなるレパトリーが増えそう!
 としさんと瀬木さんのHPを紹介します。いずれもアンデスの風を感じることができます。

<http://www.yumikosuzuki.com/home.html>
<http://www2j.biglobe.ne.jp/~segi/>

=====

===== **デイリー・フレネ** =====

----- VOL/0665----- 2003/04/17

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

1. 言葉と心 ちせちゃんママとのメール交換
2. はんこを作ったよ! 新宿・テッシー
3. 熊谷は遠足 スタ・かおりん

=====

今日はなんの日
 1616 徳川家康没
 今日の花言葉
 ドイツ菖蒲「素晴らしい結婚」
 今日は誰の誕生日

板垣退助（政治家 1837）

今日の名言

「この世は無常迅速というである。その無常の感じは若くてもわかるが、迅速の感じは老年にならぬとわからぬらしい」

倉田百三『出家とその弟子』より

1. 言葉と心 ちせちゃんママとのメール交換
 - - - - - ちせちゃんママからのメール
 いつも娘がお世話になっております。

今日娘が以前やり終えなかった版画をやっとこさやり終えて持ち帰って来ました。そこで思い出したように話した事があったのでお話をさせていただきたいと思ひます。

以前版画をさせていただいた時、彼女は余白を残しそこに手紙（文）が描き込めるようにするつもりでいたんだそうです。

その作業中、手島さんにその余白について『なんか空しくないか？』と指摘されたんだそうです。

それで彼女は『余白があつてはいけないんだ』と思ひなんとかその穴を埋めようと思つたがなかなかその空白が埋まらず、そのまま今日返手をつけずにいたんだそうです。

彼女は今迄にも幼稚園でも父の日母の日と称していろいろと作品を作る時『余白』を好んで作成するところがありました。

しかしショックキングな事に幼稚園では『ここにも描きましょうね』と先生に無理にガガ - ッとクレヨンでその余白を塗りたくられた経験があります。

彼女がその作品を持ち帰った時、半べそになりながらも、

『ここは自分が描いたんじゃない。ここは白くしておきたかったんだ』などと訴えていました。

『その時』に自分の気持ちを訴えられれば問題にはならないとだれでも思うと思ひます。

しかし『先生の云つた事は絶対！』という暗示にも似たこの日本の教育の環境の中では、生真面目で応用のきかない彼女のような性格では『こうしたら？』と云われてしまうと『これではダメなんだ。云われた通りに直さなくちゃ』と思つてしまうのです。

それ以来彼女は楽しんで作品を作らなくなりました。学校の作品展でも『学校用』と作つていたんだそうです。

その事の方が『空しい』とは思ひませんか？子どもの作る創作物に意見を云うのでは『学校の先生』と同じなのでは？作る過程で危険があつたりして指摘するのはありがたい事ですが、フレネでは作品を作るのも『自由』ではないのでしょうか？

彼女に『学校ではないんだし云われた通りにしなくてもいいのでは？』と話したら、『あ。そうか。ついで』と苦笑してました。

恐い習慣です。

- - - - - 木幡返信

版画の件ですが、テッシーは強制的に手直しを命じたのではないと思ひます。作品のバランスを考え、アドヴァイスしたのでしょう。そこをご理解ください。作品についてお互い批評したり、アドヴァイスすることは、決して悪いことではありません。

フレネは、命に関わる問題や他者との関係を破壊する行為以外は命令・強制が無い空間です。アドヴァ

イスを受け入れるかどうかは、ちせちゃんが判断する問題です。

ちせちゃんもフレネの空間の雰囲気を理解しているので、テッシーのことはわかつてくれていると思ひます。

「自由」という概念は、とても難しく、「フレネは自由な空間なのだから、こう言つたらいけないんじゃないか。ああ言つたらいけないんじゃないか」と思つた瞬間腰が引け、お互い不自由な関係を作ることになります。

また、それぞれが思ひ浮かべる「自由」はそれぞれ違うものなので、その吟味も重要になってきます。今回のお考えも、例えばフレネのメーリングリストに投稿し、お互いの考えをつき合わせていくことにより、更なる理解が深まるものと考えます。

ぜひ、これからもご意見よろしくお願ひいたします。けつして命令や強制ではないことをちせちゃんに伝えてください。よろしくお願ひいたします。わたしも、このことは手島君に伝えます。

- - - - - スタ・テッシーメール

メール読みました。このような連絡をただけてありがたいですとお伝え下さい。

ちせちゃんは、ぼくの言葉に対して確かに「手紙にするんだよ」と言つていました。「なるほどね」と思つたのを覚えています。今日はハンコ作りの際に出て来たので、それをそのまま渡しました。ただ、まだ刷つていないはず。希望があれば紙を渡しておきたいです。

ぼくが同じことをみんなに対して言つても、一人一人の子どもの受け取り方が違うのは当然です。版画のときに、How to をみんなに言つていたのは事実です。「教える」立場になつていたのだと思ひます。そうすると、ぼくの言うことが今回のように感じさせるのも違ひないと思ひます。

また、子どもが自分の気持ちを直接ぼくに伝えられるかどうか一人一人違ひと思ひます。子どもが日々感じることは、一番身近な親に言うものだと思います。今回のような連絡をただけて子どもの気持ちを把握できることはとても大事なことで思ひますし、ぼくもそれを踏まえて子どもに対応していかなければなりません。

教員を目指していたぼくがそれをやめた理由の一つには、「先生」という絶対的な権力にあります。フレネでの一年間のボランティアを通して、フレネの子どもとの自然体に近い兄弟・親子的な関わり方のほうが理想に近かつたのです。

けど、ぼくがそのつもりでも、フレネの子どもにとつてのぼくは「先生」という存在なのだと改めて感じました。この現実のほうが重要だと思ひます。素直に受け止めて頭に刻んでおきたいです。

- - - - -

「自由」は、本当に難しい。かつて勤務していた学校は、生徒・保護者・教職員のそれぞれ考える「自由」が食い違ひ、「なんでもあり」の修復不可能なカオスと化してしまつた。

それを克服するために、次のことが必要と痛感した。第1に「自治と憲法」、そして、「対話」。この二つは状況により、どちらを優先させるか異なつてくる。

現在のフレネは「自治と憲法」はある程度確立しているので、よりいっそうの「対話」が必要だろう。それぞれの思いを思いとしてのみ存在させるのではなく、闊達な「対話」の中からぜひ、克服すべき現実の問題としてとらえ直していくことが重要だろう。毎日、子どもに教えられている…。そのことを知ることが嬉しい。

(木幡)

2. はんこを作ったよ！ 新宿・テッシー

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>

だんだん暖かくなってきています。今晩は雲一つなく、月明かりに吸い込まれそうです。

では、きょうのみんな

ハンコ作り

今日のものづくりはハンコ作り。

「これ何だか知ってる？」と見せたのは有名な金印の写真。

「あー見たことある！」

「????」

みんなの反応はそれぞれ。

「『漢委奴国王』って書いてあるのね。この中で知ってる漢字ある？」

「『国王』でしょ。」

「漢字の『漢』だ。」

ここから当時の歴史を簡単に説明。

「卑弥呼は？」など、みんなの知っていることがでてくる。

その後は、簡単にハンコ作り。

「文字が反対になるからね。」

「あんまり細かいと大変。」

下書きをみんなで見せ合う。ハンコっていうことで日本語を使うのかなと思っていたけれど、結構英語が多い。これもまたかっこいい！

りょうすけは『12』の文字。

「?どうして12??」みんな??

一番最初の完成はりょうすけ。

「あー、間違っって『21』になってる！」

ところが逆さにするとちゃんと『12』。

「おー、両方使える！」

ぼくは持つところも彫ろうと思ったけれど、いかんせん石だと大変。

「もう止めれば？」の言葉でギブアップ。

文字のレイアウトもいろいろ。四角をひし形にして彫ったりとそれぞれ。いろいろな工夫があっよかったな。

3. 熊谷は遠足 スタ・かおりん

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>

お散歩の授業 ハイキング+ さきたま古墳公園

今日は快晴！雲ひとつない。昨日と比べると11 も気温が上がるとか。まさにお散歩の日にはうってつけ。

今日はさきたま古墳公園までハイキング。北鴻巣駅からさきたま古墳公園まで緑道がある。全長4

こんな長い距離歩くので、「どうかな。」と思ったけれど、子ども達に相談してみると、

「最近歩いてないからいいよ。」

「新緑がきれいかな。」と乗り気！

よし！みんなでハイキングだ。

予想時間

「何時につくか予想してみない？ だいたい、人は1 時間に4 kmぐらい歩くよ。今、11 時40 分。」

「うーん。12 時45 分？」

「1 時8 分。微妙な時間にしたみた。」

「1 時21 分。」

誰の予想が一番近いか。

緑道は桜が散り、若葉が顔をのぞかせていた。風も気持ちいい。

「しりとりやろう！」

「歌も歌いたくなってきた。じゃあ、歌のしりとりしよう。」

ぼかぼか陽気に自然とテンションも上がる。

途中休憩もせず一気に歩き通して、12 時45 分に到着。

リリちゃんお見事。ぴったり賞。

長い道のり。やっぱり疲れ長けれど、心地よい疲れ。

お昼がいつもよりおいしく感じたのは私だけかな。

(中略)

疲れたけれど、徐々に体を動かして気分爽快。筋肉

痛が心配だけど。また、みんなでいけたらいいね。

お疲れ様！

=====

===== デイリー・フレネ =====

----- VOL/0666----- 2003/04/18

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

1. ピンホールカメラで遊ぶ

2. お料理対決

3. 秋田からのお便り

=====

今日はなんの日

1942 アメリカの陸軍機B 25 が東京初空襲

今日の花言葉

れんげ「感化」

今日は誰の誕生日

市川良子(陸上 1976)

今日の名言

「人生は一行のポオドレエルにも若(し)かない」

芥川龍之介

- 1. ピンホールカメラで遊ぶ

朝日新聞で知った石原真澄さんの個展を見に、日本ポラロイド本社へ。そこで見たメルヘンチックな写真 ピンホールカメラの魅力にとりつかれてしまった。

このとき知り合った日本ポラロイドの営業部長からピンホールカメラを1 台プレゼントしていただいたのだが、さらに2 台購入。いざ！ 試し撮り！

「これなあに？」

「ピンホールカメラだよ」

「へー！ いくらするの？」

「1 台、1 万円くらいかなあ」

「えー！ 普通のカメラ買えるじゃん！ こんなピンぼけ、どこがいいの？」

そのピンぼけがいいんです。どんな風に写るのか、やってみなければわからない。

もえちゃん、とうこちゃん、ともちゃん、あきちゃん、

それにりょうすけと連れ立って新宿御苑へ、レッツゴー！

ビニールテープでふさいだピンホールを「ワン、ツー、スリー！」であけて、ほんの数秒。フィルムを引っ張り出し、写ってるかな？

「あー！心靈写真！」

微妙な手ぶれが、即、影響…。こりゃあ、奥が深い。なかなか難しい。

今回は、お試し。次回は、それぞれが撮った写真をつなぎ合わせて、物語を作る。あるいは、スキャナーで大きくし、フォトフレームを作る。科学の学習も。いろんなバリエーションが考えられる。実に楽しみ。

一通りピンホールを使ったら、

「あ！すっぱんがいる！」

「アリの巣だ！水流しちゃえ！」

定番のお子様お遊びにふけるみんなでした。

新宿御苑は、いい気持ちだったなあ…！

石原真澄さんのHP

素敵なピンホールカメラ作品が見られます。

<http://www.artaira.com/>

2. お料理対決

お料理ーアスパラのリゾット 新宿・テッシー

今日のお料理はアスパラのリゾット。去年もこの時期に作ったね。

「付け合わせのもう一品はどうする？スープかな？」

「コンソメスープがいい。」とたかちゃん。

リゾットはレシピ通りだけれど、スープはみんなのアレンジ。今回はレタスにトマト、ベーコン、玉ねぎ。なかなか具たくさん。

買い物が終わってからはどんどん進める。玉ねぎのみじん切りなんてお手の物。毎週包丁を使っているだけあってなかなか。

今回はお米をとぐ必要もなく簡単かなと思っていただけ、いつもは炊飯器におまかせなので、お米の火の通り具合が難しい。途中、お湯を付け足して味を調整。あとはグツグツ煮込む。

さあ、できあがり！みんなお皿に盛っていました。

「どのくらい食べていいの？」なんて声も。

リゾットのお味のほうは…、と言いたいところだけれどアサリが入っていてぼくは食べられず。みんなが食べているのを横目にコンビニのおにぎりを食べていました。

「テッシーは食べないの？おいしいのに。」なんて。

その代わりにコンソメスープはおいしかった！レタスもトマトも今までとはちょっと違ったスープを演出。みんなの工夫の賜物。ごちそうさまでした！

お料理 春巻き 熊谷・かおりん

「春だから、『春巻き』にしよう！」

というユータ君のひと言で決まった今日の料理。

「春つながりで春雨のスープも作ろうか。」

というわけで今日は「春」づくし。春とはいえ天気は27 という夏日。

手際よくばっばと下準備。

「スープは中華風の味にしよう。」と言うことだけ決めて、あとはきぐちゃんにお任せ。

「このにおい、変。」

とオイスターソースのにおいにやられながらあわせ調味料を作るリリちゃん。においは変だけれど、このオイスターソースが効果的なさ。

具ができれば、みんなでくるくる。まきまき。

なかなかいい手つき。あっという間に出来上がり。

「うわっ。油がっ。」と油と格闘しながら揚げた春巻きはこんがりきつね色。サクサク。アツアツ。

「おいしー。」

「やっぱり揚げたてはいいね。」

「この味でどう？」とみんなで味を決めた春雨スープもGOOD！満足！おいしい料理で会話も弾むお料理でした。

おいしい春巻きだけれど、さすがに2個となると抵抗が。

昔は揚げ物も平気だったのに…。この頃はめっきり。

「胃がもたれちゃうかも…」とスタかおり。

ボラかおりちゃんも「あたしも、ちょっと…」

「胃もたれ」話にはながさく。

「あのさ、」とユータ君。「『もたれる』って何？」

そうか、もたれたことがないのか。うらやましい。

「消化しないというか、なんというか…」

返事まで消化不良でした。

3. 秋田からのお便り

覚えているでしょうか。去年の10月にフレネを見学に行った秋田のRです。3月まで、秋田市の児童館で働いたのですが、今年、教員採用試験を受けるために(免許取得のため)大学に行き始めた所です。秋田の試験は評判が良くないので、東京で受けようと思っています。まずは試しに…。その時でも、また会えると良いですね。

さて、デイリーフレネ、毎日楽しく読んでますよ。色々考えさせられながら。

私は、児童館に来る、学校から解放された放課後の子供たちを一年間見てきました。積み木やブロックをめいっぱい使って、思う存分遊んで遊ばたい子、大人の注意を引きたくて、わざと、するなという事ばかりする子、それら一つ一つが子供の個性です。私が子供の頃は「我慢しろ」で育ったけれど、最近あまり我慢させないで、大切に大切に愛情たっぷり保育します。その分、学校の枠は、子供1人1人にとって窮屈になってるのかもしれませんが、だから、不登校も増える。

例えばの話、この子は、「もっと広い机で開放的に頭を使いたいんだな」ということを見抜いて、そういう環境を与えてやるようなことがフリースクールの役割なんだと最近思います。不登校の子供に処方箋を与えること、とでも言うのでしょうか。

机上論が何よりつまらないはずの彼らには、意欲的にやれることを大人が示して見せること。そのために大人がまず意欲的になること。それは学校でも同じなんですね。

木幡さんのフリースクールの取り組み、ずっと見守っていきたくと思います。

子供のために、日本の未来のため、頑張ってくださいね。

- - - - -

デイリーフレネは月～金の平日冠です。日刊メルマガ「デイリーフレネ」をお友達にもご紹介いただければ嬉しいですよ。

今週から、学習も本格的にスタート。みんな意欲的です。自分のリズムを作って、楽しいことをどんどんやっていければいいなあ。

また、「おもしろ通信講座もスタート。ジャパンフレネの授業をご家庭で楽しめます。ぜひ、お試しくださ

い。
HPも毎日何らかの形で更新します。皆様のお便りも
ぜひお寄せください。

それでは、また！楽しい週末を！チャオ！

(木幡)

=====

===== **デイリー・フレネ** =====

----- VOL/0667----- 2002/04/21

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

1. 「言葉と心」を読んで お便りです
2. 新宿便り スタ・テッシー
3. B A S I Cに参加しませんか！

=====

今日はなんの日
1989 ゲーム機「ゲームボーイ」発売
今日の花言葉
やなぎ「従順」
今日は誰の誕生日
西本はるか(バイレーツ 1978 A型)
今日の名言
新しい「伝統」の創造/捏造とは、当然にもそれまで存在し
て
いた「伝統」を否定したところに成立したのである。

森巢 博『越境者たち』下 P169
- 1. 「言葉と心」を読んで お便りです
埼玉県のSさんからのお便りです。スタッフと子どもの関係
に
についての記事に対する長文の感想とご意見です。
- - - - - 以下、転載。
言葉をどう受け取るかということは本当に難しいことです。
特に
文字にされた言葉は生の発言とは異なり、すでに自分の手か
らは
なれ、他者の言語イメージにゆだねられて了解されるもので
すか
ら、そこにはどうしても微妙なズレが生じると思います。
同時に生の言葉は瞬間に消えて無くなってしまふから、これ
また
厄介です。言葉にも賞味期限というものがあるのではないか
と思えることさえしばしばです。
だからこそ、木幡さんの言うように「対話」が必要になって
くるの
だと思えます。「そのところいったいどうなの？」と、(相
手に
あるいは自分自身に対峙するのはちょっときついけど) 発言
の真意
を心配りとちょっとした忍耐をもって、いったいどうなのか
を確認
する必要がある時もあるのではないのでしょうか。
心配りというのは相手あるいは自分の言い分をちゃんと伝え
るこ
と、そして相手のあるいは自分の言い訳をちゃんと言うこと
です。
こんな風に感じているよ、とか其れはちょっと不愉快だった、
とか
実はこうだったんだとか・・・。

そして、言い訳をちゃんと辛抱強く聴くということです。
わたしの尊敬する師匠は「人が言い訳をすることは大事や。
それは
ちゃんと聴かなあかん・・・。」と教えてくれました。
テッシーが言っている(いえいえ、書いている)ように、自
分では
そのつもりはなくても、しらずしらずのうちに、大人は権威
を背後
に背負っているような(に受け取れる)発言になってしまう
ことが
しばしばあります。それを子どもは敏感に受け取って脅威に
感じ、
自分の考えや思いを表出できなくなるひとつの状態になるの
かもし
れません。
それがどんなに親密であるいは安心できるような関係であつ
たとし
ても、本当に(この、ほ・ん・と・う・に・・・が大事)感じ
てい
ることを率直に表現するのはとつてもとつても難しいこと
です。
それくらい人と人が深い信頼関係を築くのは大変な作業
であるの
だと思えます。
そしてさらに、わたしたちがどんなに民主的に物事に対処し
ようと
しても、現実の問題として「ランク」というものは存在しま
す。
(断っておきますが、わたしは決してレイシストではありません
ん。)
木幡注 レイシズム[racism] 人種差別主義、人種偏見
大人と子ども、あるいは親と子、上司と部下、金持ちとそう
でない
人、美人とそれなりの人、でぶっちょとおやせ、秀才と凡人、
など
などもろもろ・・・。
メインストリームにいる人(大方の場合、強者)は知らない
うちに
そうでない人を脅かし、周辺に追いやります。周辺に追いや
られた
存在は思いを深く沈めながら生きていきます。
だからこそ、テッシーの言うように権力を持つ可能性のある
側は常
に其れを意識している(自覚)必要があります。いつでも相
手に脅
威を感じさせる可能性を自分自身が持っているのだ・・・と。
そし
てそれは甘美な魅力を持つものである・・・と。
子どもはとつても辛抱強い存在だとつくづく思えます。
だからこそ、大人の側は丁寧に子どもを扱い、忍耐強く子
ども
の成
長を見守る必要があるのです。
忍耐強く見守るといふのは、単にやさしくというばかりでな
く、あ
るときは厳しく要求することも必要です。子どもの持つ力に
は可能
性というものが大人以上にあるからです。
今回の例の様に、その作品をより良く仕上げるのがこの子

どもに
 は可能だと判断した大人の側は、それを子どもの力に応じて
 要求し
 ていくのは、強制でもなんでも無いのではないかと思います。
 ただ単純に作業に取り組むというレベルを超え、ひとつの上
 質な作
 品を目指すという事ですから、それにどう答えていくかは子
 どもの
 問題となります。そして其れは同時に、大人の側がその子ど
 もが
 持っている力（可能性）をどう発揮させるかという問題をも
 同時に
 含んでいるのだと思います。
 まさに大人の側の力量が問われるということなのだと思いま
 すが厳
 しい事ですね。
 スタッフのお二人さん
 とってもセンスのある若い衆だと思ってます。ここからの
 エール
 をお送りしたいと思います。

- - - - - 以上、転載終了。

2. 新宿便り スタ・テッシー
 今日はスケートと東急ハンズのものづくり展の二つに分かれ
 てのお
 散歩でした。ぼくはスケートに行ったのでその様子を。

お散歩-アイススケート
 冬の間一度行ったスケート。今回は10人以上の参加者。
 新宿御
 苑のちょうど反対側にあるので、たどり着くまでが大変...。
 「あー！もう夏じゃん！」なんて声がしょっちゅう出るほど
 の今
 日の天気。Tシャツ一枚で外を歩くこと30分弱。ようやく
 到着。
 だけど、中はやっぱり寒い。外が暑くて薄着だから余計かも。
 「滑ってればあつくなるよ！」なんて言いながら滑っている
 と、今
 度は足腰が痛い...。
 「人間15を過ぎると、もう年だ。」なんて、ゆうへい君。
 みんなワイワイ滑っていました。その中でもふみかちゃんは
 上手い！
 スイスイ自然に進んでいく。聞いてみたらスケートをやって
 たこと
 があるんだって。りょうすけ達の手を引いて滑ってくれてい
 ました。
 ゆうへい君はズシャーっと進んでいくとスッテンコロリンの
 連発。
 「おれは転び方をマスターした！」だって...。帰りにはびっ
 しょり
 だったからね...。だけど、「転ぶの怖がってたら上手くなんな
 いん
 だよ！」の一言にはちょっと感激。そうなんだよね。
 帰りには、「なんかここが痛いんだけど。」の声続出。久々の
 運動
 だったからね。
 でも、やっぱり運動の後っていいなとしみじみでした。

3. BASICに参加しませんか！
 学校でもフリースクールでも、そして家庭でも楽しい授業を
 経験

したい。ならば、教員もそうでない人も集まって、「わいわい
 授
 業の話しをしようよ！」。それが授業作り集団「BASIC」。
 現在、新宿・湘南・山梨で毎月、定例会を行っています。ぜ
 ひ、
 ご参加ください。また、各地で「BASIC」の支部を作っ
 て、
 授業作りを考えてみたいという方は、新宿のジャパンフレネ
 にご
 連絡ください。

4月の新宿定例会は、下記の通りです。みんなわきあいあい
 で、終

了後は、飲み会です。これがまた楽しいんです。

日時：4月25日（土）午後1時30分～5時

会場：新宿ジャパンフレネ

内容：「ピンホールカメラ」で遊ぼう他

実際にピンホールカメラで写真を撮ります。

参加費：1000円（JFネット会員は無料）

=====

e-mail : sinjyuku@jfreinet.com

URL : http://www.jfreinet.com

=====

===== デイリー・フレネ =====

----- VOL/0668----- 2003/04/22

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

1. 読み聞かせも始まった 新宿発

2. バケブって???? 熊谷発

3. お便りコーナー

=====

今日はなんの日
 1915 第1次世界大戦でドイツ軍が初めてイーブル戦で
 毒ガスを使用。連合軍の死者、5000人。

今日の花言葉

えぞ菊「信ずる恋」

今日は誰の誕生日

ジャック・ニコルソン（俳優 米 1937）

今日の名言

「信の世界に偽詐多く、疑の世界に真理多し」

福沢諭吉「学問のすすめ」より

- 1. 読み聞かせも始まりました 新宿・テッシー

読み聞かせが始まった（新宿発 テッシー）

「おはよう！」と入ってくるや否や、

「テッシー、牛若丸って知ってる？」とりょうすけ。

「??良く知ってるね？仲良かった人知ってる？」

「弁慶でしょ？」

「！！」

それじゃあということで、牛若丸の絵本を探す。だけ

ど、探すに探しても見当たらない...。そんなとき目

ついたのが『おだんごばん』の絵本。

「この話知ってる？」

「知らない。」

「牛若丸はちょっとないみたいだから、この話はどう

??」

「ん！読んで！！」

ということで、『おだんごばん』の話に変更。この絵

本は、ぼくが小さい頃、母親に何度も読んでもらった

もの。何だかちょいと悲しい雰囲気が漂っていてとてもいい。(『泳げ、たいやきくん』の元とも思えるロシアの民話)

「これから毎日一冊ずつ読もうか?」

「うん。読んで。」

毎朝、一冊ずつの読み聞かせ開始です。

読み聞かせは先日の保護者会でも挙がった話。少しずつでも形にしていけたら、そんな風に思います。

シャボン玉の色って? (新宿発 テッシー)

「テッシーなんか暇。」とあきちゃん。

「じゃあ...。」とシャボン玉の色について。

(ボラ・やくし君がシャボン玉用のストローを用意してくれていたことあったので。)

シャボン液にグリセリンを混ぜて割れにくく。それを、黒いものの上に膨らませる。

「今は何色?」

「透明?」

そう。最初は透明。ほとんど色はなし。だけど、時間がたつにつれて色々な色が濃くなって来る。

「ん? 黄色になってきたかな?」

いろいろな色がシャボンの中をグルグルしては消えたり濃くなったり。なんとも幻想的。

「揺らしちゃダメ!」との声。そうなんだよね。静かにしないと色が安定しない。

その後は、親子のシャボン玉を作ったりしておしまい。

「シャボン玉飛んだ...」の歌が頭の中に流れていたのはぼくだけかな?

その後も、ゆうへいが

「この俺の勉強意欲をどうにかしてくれ!」と絶叫。

「じゃあ、これ読もう。」と、英語の絵本と一緒に読解。やっぱりみんな、飲み込みが速い。読むスピードがグングン上がってくる。あっという間に読み終わり。

「家でもちょっとやってくるよ。」と持って帰りました。

「~して!」という声。とてもいいな。

2. ものづくり バケブ(熊谷発 かおりん)

ユータ命名

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>

上記参照

「とても大きなプリンが食べたい。」

というひと言から決まった今日のものづくり。

「バケツでプリン作ろうよ。」

「テレビでやってたけど、固まらなくて失敗してたよ。」

「そんなの、やってみなくちゃわからない。」と、行動開始。

「『バケブ』でいいんじゃない?」とユータ君。

バケブ作りの始まりだ。

HPを検索すると、同じようなことを考える人は結構いるようで、写真入で紹介したり、失敗談が書かれていたり。普通のプリンの分量ではもちろん無理なので、材料の計算も必要になってくる。

「牛乳が2リットルだから...えっと、何倍をして。」

「ここは何倍なんだろう?」

と計算機を取り出し、ぱちぱち。

「俺こんな計算したのは久々かも。疲れたあ。」

とユータ君。「でも、プリンのためだし。」と笑顔。計算の勉強云々なんて言わずとも、必要に迫られれば、自分が必要だと感じれば、どんどん自分の力で進んでいく。

「お鍋が浮いちゃうから、ここ抑えないと。」

「ほらここを持ってください。」とテキパキ。

みんなでプリンに向かってテキパキテキパキ。

冷蔵庫もきれいに掃除して、プリンを冷やす。

「明日が楽しみだねえ。」

「もしも、プリンが減ってたりしたら、一番怪しいのは吉田さんですからね。」と釘をさされる。

「プリンの量の高さを測っておこう。」と念入りエリ君。

うまくいくかな。明日が楽しみ。

3. お便りコーナー

ふみかちゃんママからのお便りです。

-----以下、転載。

お世話になっております。

「スケートやっというてよかったー!」と言っておりました(笑)。先週の保護者会では、他の保護者の方々にお会いできて良かったです。ちょっと緊張してしまいましたが...

木幡さんがフレネでやりたいことの数々、楽しそうですね。私も、いつか何かの形でお手伝いできることがあればいいなと思っています。

私も娘もまだフレネには初心者ですが、私の肌感覚で、フレネの何が気に入ったか?と言いますと、面白いことをやってみたい!という、自由な「楽しむココロ」が、からっと風のように流れていて、それは多分木幡さんの精神だと思いますが、それが伝わって来るのです。

最初にフレネにお邪魔したとき、お部屋の雰囲気が、不思議にとても居心地が良く、それで娘より先に「あ、ここがいいな」と思ってしまったのですが、それは当たっていたと今は思います。いや、まだ初心者なので分かりませんが、多分そうだと思います(笑)。

沖縄旅行も、今度のBASICの「ピンホールカメラ」(HPで見た石原真澄さんの写真はとても素敵でした!)も、実は内心娘よりも私の方が「おもしろそう」と思っているのですが、残念ながら都合によりどちらも参加できません。またの機会にということにします。

今日の「デイリーフレネ」に、子供への接し方のことが少し触れられていました。これは、うちの親子間での話ですが、日々、娘と、そしてその下の二人の子供たちと付き合っていて思うのですが、確かに、私は親である以上「大人」だけれど、どうもすれすれのような、ハツリなような気がしています。

それどころか、子供たちの方が大人なのではないかと思うことがしばしばです。すぐ怒るし気まぐれで傲慢。まったく「えらそうな顔をした子供」とは私の事ではないかと。

特に、娘の不登校の件では、育てられたのは確実にこっちです。今回のことで分かった事ですが、私がどこかに「大人として」などと言う思い上がった気持ちを持って、娘と話をすると、必ずこちらの方が言っていることと考えていることの違いにしどろもどろになり、自分のメッキが剥がれるような情けない気持ちになってしまいます。最初は、それが自分で許せなくて、無謀にも必死で立ち向かいましたが、ことごとく敗北。子供の方がよっぽど

きちんと気持ちを説明することができるのに、ショックを受けました。

そして、自分が鎧を脱ぐことが出来るまでに、数ヶ月かかりました。こんなことでもなかったら、私は大人のふりをしたままいやーなお婆さんになっていたことでしょう。くわばらくわばら。

・・・などと言いつつ、今日も、性懲りもなく都合のいい時だけ大人になって見せたりしながら、一日が終わって行きます。捨てたはずの鎧に手がかりそうになるのです。全く、大人というのは困ったものです。そもそも、私は一体いつから「大人」になったのだろう。

子供 大人への線をまたいだ憶えなどないのに？ 考え出すと切りがありません。自分に線を引かず、ジャンルに分けず、自由自在に行き来する人になりたいものです。

=====

===== デイリー・フレネ =====

----- VOL/0669----- 2002/04/23

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

- 1. 充実の一日...とにかく忙しい
- 2. 新宿フレネから テッシー
- 3. バケブの続き 熊谷・かおりん

=====

今日はなんの日

1975 ベトナム戦争終結をフォード・アメリカ大統領が宣言

今日の花言葉

ききょう「優しい暖かさ」

今日は誰の誕生日

シェークスピア(劇作家 英 1564)

そして1616年の同月日、彼は亡くなった。生死が同じは至難の技。

今日の名言

「真の好評は声にならない。真の悪評も声にならない。それゆえ、世評によりかかる者も、それにおびえる者もたやすくくずれてしまう」

むのたけじ詞集『たいまつ』より

ダンスセラピーのお知らせ

ジャパンフレネを支援してくださっているダンスセラピスト神宮京子さんのワークショップが開かれます。

神宮京子さんは、ニューヨーク市立大学ハンター・カレッジで修士号取得したアメリカダンスセラピー協会認定ダンスセラピストです。

ニューヨークでは、精神疾患の方や情緒障害児を対象としたトレーニングを受けてきました。でも、1997年に帰国してからは、精神病院やデイケアでダンス/ムーブメントセラピーを行うだけでなく、より広く心と身体の繋がりと個人の成長に関心をもつ方々へのセッションも行ってきています。

詳細は、下記のURLをご覧ください。

http://tokyocounseling.com/dance_therapy_japan.html

- 1. 充実の一日...とにかく忙しい

朝、10時45分ごろ、新宿に到着！

「木幡さん、遅いよ！早く、数学をやろうよ！」と、とうこちゃん。

「ごめん、ごめん。東急ハンズでピンホールカメのフィルムを買ってきたんだよ」

せかされて、早速数学の授業を開始！参加者は、とう

こちゃん・やまちゃん・じーこの3人。式の展開をサクサク進める。

それぞれのリズムで学習モードになってきているのが嬉しい。

ミーティングでの提案

【木幡提案】

スケジュール表をきちんと書こう！

「まず、日付と名前をきちんと書いてね。[ミッキー2]って書いてあったから、ミッキーかと思って『ずいぶん書いてるね』ってコメントを書いたら、全然違う人じゃない」(爆笑)

「単語の羅列だけではだめ。いつ・どこで・だれが・どうしたか...、それを書いてね。例えば『工作、楽しかった』だけじゃなく、何を作って、何が楽しかったのか...、そこまで書かなきゃ伝わらないよ」

要求してもいいかな？

「書かないのは、『書けない』ところに原因があるかもしれない。そこでね、こういう学習したほうがいってアドヴァイスしたら、それを受け入れてくれるかな？『コボ作』でもいいし、漢字でも計算でも、ここが弱ってぼくが思ったところを練習として提案するけれど、どうかな？」

英語を読もうよ

「学校英語だけでなく、英語の文章、例えば[ボブ・ディラン]の詩とが短い文学作品なんかをどんどん読んでいかない？付き合うよ」

「私、そういうのやりたかった！」と、さきちゃん。

上記、確認されました。

小学生には、文章を書くことを勧める。同時に、算数の学習プリントを作成し、自学の体制を取る。

英語は、ぼくの好きなアメリカの作家、チャールズ・ブコウスキーの「The most beautiful woman in town」を読んでいく予定。

楽しみ！

数学ゲームで姉弟対決！

正負の数の「赤と黒のゲーム」での一コマ。赤は借金、黒は財産。トランプを使い、ばば抜きの変則で順にカードを引く。

自分が一番と思ったところでストップがかけられる。しかし、赤のカードばかりで困ったときには「赤ストップ」をかけることができる。「赤ストップ」をかけた時点で、カードの価値が逆転。赤が財産になる。

持ち合わせていた図書券を賞品に出したら、みんなエキサイト。5回戦の最終回、みんな競っている。木幡がトップ。ひいちゃん&ミッキーの姉弟が2・3位...

ミッキーのカードが良さそうだ。しかし、無情にもひいちゃん、「赤ストップ！」「なんで、赤ストップかけるんだよ！最悪でも二人で図書券、山分け出来たら！馬鹿！」と、ミッキー、姉を怒る。

超マジ。笑える。本気なんだねえ。

このゲームで、正負の数の「引き算」が理解できるんです。正負の数はゲームも入れて4回のレッスンで終了。少人数だと、とんとん拍子で進みます。

2. 新宿フレネから テッシー

こんな名前って??

読み聞かせの本を探しに、りょうすけと一緒に図書館

へ。
 その途中で、
 「ねえねえテッシー、『江戸』って名前の入ってる？」
 「んー、いるだろうなあ。」
 「そしたらさ、その人が大阪に住んでいたら、『もしもし、大阪の江戸です』ってなるの？変じゃない??」
 おもしろい発想！人込みの中で大笑いでした。

ミーティング

今日は、議長さきちゃん・書記ひいちゃんでした。
 まずは、学習について。数学と英語の時間をしっかりと決めることに。グループごとに時間決め。お料理などの他の授業の時間もあるので、進めながらいろいろと調整することに。

「週2回の他に何かやってくれない？」とゆうへい君。
 そんなところ、
 「英語の本やボブ・ディランの訳とかもやる？」と木幡さん。

何かを読みながら文法をフィードバックしていくのも、とてもいい方法。ぼくも最初の頃はこの方法でやっていました。いろいろと体験して行って、自分に合ったやり方を探せたらいいなと思います。

3. バケブの続き 熊谷・かおりん

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>

上記、参照。

待ちに待ったバケブ（バケツでプリン略：ユータ命名）の完成の日。誰も冷蔵庫を開かず、どうなったのかわからず。開けてびっくり玉手箱。

「あ、固まってるよ！」「ブルブルしている！」
 「早くひっくり返そう！！！」と。
 「僕やってみていい？」とユータ君。うまくいくのか、緊張の一瞬。どきどきわくわく。みんなの視線が集まる。
 ぶるるん！と見事に成功。バケツが大きすぎて、プリンが小さく感じるけれど、なんととも20人前のプリン。
 「8等分しても、1人あたり2
 「わーい。」とはしゃぐユータ君。
 「一番大きいのはどれかなあ。」と選らぶエリ君。
 「おいしーーい。」

けれど...
 さすがに、量が多すぎる。気持ち悪い。
 「気持ち悪くなりそう...。」「もうだめ。」の声続出。
 程よく食べるのが一番だね。

=====

e-mail : sinjuryku@jfreinet.com

URL : <http://www.jfreinet.com>

=====

===== デイリー・フレネ =====

----- VOL/0670----- 2003/04/24

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

- 1. 美沙ちゃんの本が記事に！
- 2. スポーツの春?! 新宿・テッシー
- 3. 家庭菜園にチャレンジ他 熊谷・かおりん

=====

今日はなんの日
 1989 国民的な歌手・美空ひばりが間質性肺炎による呼吸

不全で死去
 今日の花言葉
 パーベナ「家族の和合」
 今日誰の誕生日
 リカルジーニヨ（サッカー ブラジル 1976）
 今日の名言
 「独りで行く方がよい。孤独（ひとり）で歩め。悪いことをするな。求めるところは少なくあれ。 林の中にいる象のように」

『ブッダの真理の言葉』より

1. 美沙ちゃんの本が記事に！
 元会員の美沙ちゃんの詩集が毎日新聞の記事になりました。

-----毎日新聞4/23 第12面より一部転載
 東京の障害者センターに通う鶴美沙さん（17）が今年1月、詩集「美沙のポエム」（星雲社）を自費出版した。

小中学生のころの素直な文章と絵に、周囲の善意でドイツ語訳をつけた。母の正代さん（51）は「障害はあっても、さまざまな力を秘めていることを知ってもらえたら」と願っている。【横田一】

-----後略

写真入り、7段の大きな記事です。
 美沙ちゃんの詩集、ジャパンフレネでも取り扱っています。読んでみたい方は、ご連絡下さい。郵送致します。

本体1300円＋消費税と送料が必要です。

2. スポーツの春?! 新宿・テッシー
 今週は変則で水曜日にお散歩。新宿スポーツセンターまで卓球をやりに行きました。

ついたら...、なんといっぱい。卓球台が一つも空いていない。係りの人と話しをすると、バレーボールコートはガラガラとのこと。急遽バレーボールに変更。

だけど、バレーボールってなかなか難しい。なんてたって、試合の形になるまでに下準備が必要。おのずと練習の雰囲気。

ぼくは真面目にバレーボールをしたことがない。中学時代を必死に思い出しながら。みんなで、下に落とさないように続けるゲーム。

「拳じゃなくて、腕のこの辺...。」

「ボーンって打たないほうがいいのか？」

みんなも試行錯誤。

しょう君はサーブ、ゆうへい君はトスという調子に少しずつ形を作ろうと。みんな飲み込みが速い。「なんかサーブが入るようになってきた。」としょう君。

終わりのほうでは、卓球台もなんとか分けてもらい卓球も。ぼくは、しょう君とけんご君と同じ台。勝ち抜き戦でやっていたのだけれど、一番年下のしょう君が圧倒的に強い！

「ブルとやろうにもできねー...。」とけんご君でした。

3. 家庭菜園にチャレンジ他 熊谷・かおりん

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>

ポーリング

天気予報は雨。子ども達とのミーティングの結果、

「森林公園は晴れた日に行きたい。」
 ということで今日はボーリングへ。2 度目のこともあり、みんな要領をつかんだ様子。スコアも前回に比べると、みんな上がった。ストライクやスペアも多く出ていた。
 誰か、1 人がストライクが出ると、
 「やったね。」
 「いいコースに行っていたね。」
 「手はこういう風にするといいよ。」
 なんて、子ども達同士で声を掛け合っている。やっぱり、ストライクが出れば嬉しいけれど、周りからも声をかけてもらえたら喜びは倍増。そんな雰囲気がいいスコアにつながったのかもしれないね。
 トマトマト
 「何か育てて、お料理の時間に食べたいね。」
 という提案が4 月のはじめのミーティングで出た。大家さんに確認をとり、花壇に苗を植えることに。そんなに手間のかからない、ミニトマトと唐辛子、そしてナスを近くの苗屋さんで購入。苗を植え、
 「この苗に名前つけようか。」
 「『とまとマト』って名字と名前にしたら？上から読んでも下から読んでも同じ。」(いたって単純)
 「じゃあ、もうひとつの苗は『とまとマ子』夫婦にしよう。」
 「漢字も考えちゃおうかな。」
 と辞書をめくるエリ君ときぐちゃん。
 「茄子は、ナスって英語であるからそこから連想して『医者』ってのはどう？」
 と話はいろんな方向へ。
 夏にはおいしく食べられるかな。これからが楽しみだね。
 ~ ~ さん
 苗の名前の話から、人の呼び方の話になった。
 「小学校の頃女の子は〇〇さん男の子は〇〇くんって呼ばなければならぬって言う変なクラスがあった。呼び捨てとかあだ名はだめだったんだよ。」
 とスタかおり。
 「フレネで名字に君付けとかさん付けで読んだら、なんか変だよな。」
 「よそよそしいというか、変な距離感感じちゃうね。」
 「だから、やっぱり今のままがいいよね。」と。
 「でも、木幡さんの場合ってどうなるんだろ？」
 とときぐちゃん。
 「ひ・ろ・しさん!？」
 「変に距離が縮まりすぎて、なんか夫婦みたい(笑)」
 「新宿だったら、てっしーも『ひろし』だからどっかわからないしね。」
 やっぱり、木幡さんは木幡さんだね。
 暖かくなったと思えば、また寒い…。電車の中で咳をしている人が何人も。
 「のどが痛い。」とユータ君。私も鼻水。
 キャンプも近いので、体調管理には気をつけなければです
 =====

==== デイリー・フレネ =====
 ----- VOL/0671----- 2003/04/25
 ////////// CONTENTS //////////////////////////////////////
 1. 新宿あれこれ...凝ってますピンホール他

2. 70年代風オムライス 新宿・テッシー
 3. インドカレー+ナン 熊谷・かおりん
 =====
 今日は何の日
 1932 第1 回日本ダービーが目黒競馬場で開催
 今日の花言葉
 ゼラニウム「決心」
 今日誰の誕生日
 つかこうへい(1948)
 今日の名言
 「一見、勝つことを目的としているのだが、じつは、心理の深層部においては、賭けに敗北し、破滅を迎えることによって、すべてを解消したいと願っている」
 バーグラール『賭博の心理学』より

- 1. 新宿あれこれ...凝ってますピンホール他
 学習一直線モード 学力ってなんだ？
 「木幡さん、数学まだ？いつやるの？早く、やってよ！」ゆう君に急ぎ立てられ、まっつあん・ともちゃん・あきちゃん・ミッキー達も一緒に「正負の数」の3 回目。ここまでで加減が終了。
 小学校後半、学校に行っていなかったまっつあん・ミッキー、分数の計算ができない。
 「やってなかったんだから、できなくて当然。これからやればいいんだからね」
 分数はできなくても正負の数の意味はしっかり理解してくれた。ここで動機付けし、分数や小数もチャレンジすればいいだけ。
 一通り授業が終わって、「こうやれ！ああやれ！」言わなくても、自然に問題集に取り組むそれぞれです。強制や命令が無くても身体が少しずつ、動くようになってきたのが嬉しい。
 最近の学力論を見ると、何が学力かをはっきりと定義しないまま、「百ます計算」だとか「声に出して読む」などが一人歩きしている。
 流行の本を批判的に読んでみた。「読み・書き・計算」を基礎・基本とする根拠がはっきりしない。計算ができる、あるいは漢字が書けると高学年で学習が効率的に行われる...なんてことを平気で書いている。計算の前に「なぜそうなるか」、読み書きの前に「聴く・話す」が来ると考えるのはばく一人だろうか？
 一番驚いたのは、「不登校は低学年での(いわゆる)学力不足が原因」など前近代的なことをしゃあしゃあとと言う無神経さ...。
 練習や反復を否定しているわけではない。しかし、右も左も鍛錬主義に走るしっぺ返しは、必ずどこかで噴出するだろう。教育論議はいつの時代も時計の振り子のように、定期的に右に左に振れている。流行りものには気をつけよう！自分自身が楽しいことを追求していこう！初めて教師になった四半世紀前の決意を肝に銘じる今日この頃です。
 相模原で老師に会う
 昔、父親が写真に凝って、暗室を作り、写真機材一式をそろえた。小学校時代から暗室に入っていた木幡ですが、それから40 年以上も経って、写真にのめりこむとは夢にも思わなかった。

それがピンホールカメラなんです。写真家・石原真澄さんの個展に行き、その魅力に撮りつかれてしまった。日本ボラロイドの営業部長にピンホールカメラのキット一式をいただいたのも拍車をかけた。なんとかカメラを自作できないものかと思っていた矢先、家庭訪問先のとっちゃん曰く、「ぼく、小学校の時、ピンホールカメラを作ったことあるよ。シルバーセンターのお爺さんに教わったの、すぐそこだよ」というわけで、ずうずうしくも、そのおじいさん・Yさんを紹介してもらい、とっちゃんと一緒に伺いました。いやあ、おん年85歳...、元気です。手作りピンホールカメラの手ほどきを受けたばかりでなく、いろいろ人生の蘊蓄を伺えました。曰く、「かつての旧制高校は自由だった。あれほど自由に者を考え、また、自由にやらせてもらったことは無い。もっと生徒の自由にやらせにゃいかん」「日本の大学で学ぶより、海外の大学で学んだほうが良い。責任と自由は表裏一体ということが良くわかる」「夕方4時半に食事をし、7時には寝る。夜中の11時に目が覚め、それから3時までがものを考える時間。それから朝6時まででねて、11時半に昼食。1時間ほど昼寝。このペースは退職してから変わらない」聞けば、東大法学部を卒業後、外務省勤務。海外経験も豊富で、英語とドイツ語もしゃべる。定年後は天下りせず、地域の子供も活動や障害者の支援に打ち込む。自転車修理の技術も獲得し、バイクも乗り回す。東大法学部出身者にはまれな(?)良い人だった(失礼)。今、体調を崩しているが、回復したら機材の整理をするので、ぜひ、使ってくれとのこと。ますます、嬉しくなる。

「とっちゃん、まや、お伺いしようか？」

「そうしましょう」

今日は、いい日だったなあ...

凝ってますピンホールカメラ

そんなこんなで、ピンホールカメラの授業、進化の一端をたどる。

これからの予定、35ミリカメラのレンズをはずし、ピンホールに改造。小さい子どもでも作ることができるピンホールカメラの開発と現像技術の習得、そして、写真部の結成！同時に「光」の授業やできた写真を使ってのストーリーテリング。夢は、どんどん広がっていく。

実は、本日、インターネットで知った手作りピンホールカメラの製作者に会いに、群馬県の太田市まで行きます。4×5インチ(写真館で使うカメラですよ!)ピンホールカメラを譲ってもらいます。いいでしょう!思い立ったら、行動あるのみの木幡です。

2. 70年代風オムライス 新宿・テッシー

このオムライスのポイント

ケチャップはスパイシーなカゴメとマイルドなデルモンテをあわせる。隠し味にバルサミコ酢とトマトピューレ。卵には生クリームを入れる。これだけで、味がぐーんと引き立ちます。

(木幡)

今日のお料理は木幡さん提案の70年代風オムライス。家で作ったらすごくおいしかったみたい。何度かオムライスは作ったけれど、今日は今までとは少

し違ったものになりそう。

まずは下準備。オムライスはチキンライスを作るところから始めなくてはならず、なかなか大変。食材はみんなできざむ...

それを、ケチャップを使って味付けをしながら炒める。「おれは、やっぱり炒めるのが好きだなあ。」

とけんご君。

今まではチキンライスをたまごでくるむところで悪戦苦闘。だけど、今日のは半熟にしたオムレツをのせるといった感じ。

たまごはジーコの出番。「ジーコうまい!。」と声があがるほどのもの。中がトロっとしていて、これだけでもおいしそう!

出来上がったのはあつという間にペロリ。見るからにボリュームもあっておいしそう!

「テッシー、おれ食ってないからね。」とメロンパン片手にジーコ。

「あらら...。残らなかった?。」と喋ってるぼくも食べられず。

それだけ人気のオムライスでした。

今日は一日勉強モード。常に誰かが、机に向かっている状態。授業もたくさん。去年よりも机に向かってる人数が圧倒的に増えています。

3. インドカレー+ナン 熊谷・かおりん

今日のお料理はカレーシリーズ第6弾!「インドカレー」と「ナン」

インドカレーは必要なスパイスを揃えるだけでも大変。ところが、お店でたまたま見つけた「21種類のスパイス」とやらにすべて揃っている!

「スパイス合わせてもいいですか。」とエリ君。薬を調合する薬剤師のように、スパイスを調合。

「予め火にかけると、香ばしくなりいいみたいです!」火にかけると、食欲をそそるカレーの匂いが部屋いっぱい。みんなの食欲を刺激する。

「腹減ったー。お腹がなるのがわかるよ。」

「早く食べるために作るぞー。」と意気込む、しゅん君エリ君がレシピをみながら相談しながら作った。

様々なスパイスの成果!味に深みがある。

「具が少ないね。」「スープはさらさらだね。」

「それにしても辛い。」

玉のような汗を流すユータ君、顔を真っ赤にするリョウ君。

「そんなに辛いですか?」

と涼しい顔のエリ君、きぐちゃん、しゅん君。

辛かった。けどおいしかったインドカレー。

「ナンって何ですか。」とお寒いギャグが飛び交いながら、始まるナン作り。実際は発酵させたり、結構手間がかかるらしいが今は便利な時代。水を入れて焼けば出来上がりという代物。「ナンミックス」なるものがある。生地をつくり一人ずつ、みんな

で伸ばす。

「こんな感じかな。」

「お店だとこんな形になってたりするよね。」と試行錯誤。

「僕、前テレビで変なツポにはりつけて焼いているのを見たよ。」「何で、米じゃなくて何でナンなんだろう?」

話も盛り上がる。

「こんな感じで、こげたりしてたよね。」とユー
君が焼く。試食！アツアツだけどおいしい。特に味
はないけれど、カレーとあわせると最高。

「インド人がカレーとあわせる気持ちがあるね。」
って。

「だけど、これが毎日だと耐えられないな。」

そこはやっぱり日本人。

「今度会うのは5月かぁ。」と帰っていったショータ君。
気がつけば4月ももうおしまい。キャンプは目の前。
早いなぁ。

デイリーフレネは月～金の平日刊です。4月26日(土)
～5月6日(月)までジャパンフレネは、ゴールデンウ
ィーク休みです。

ぼくはこの間、200枚以上の原稿を書かなければいけま
せん。とほほ...です。

みなさん、ぼくのみまで楽しい休日をお過ごしくださ
い。連休明けにお会いしましょう！チャオ！

(木幡)

ぼくは

=====

e-mail : sinjyuku@jfreinet.com

URL : http://www.jfreinet.com

=====

==== デイリー・フレネ =====

----- VOL/0672----- 2002/05/06

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

- 1. 沖縄実行委員始動！
- 2. 春の合同キャンプ in 長瀬
- 3. 5月のジャパンフレネ&木幡の活動

今日はなんの日

1889 パリ万博にエッフェル塔初公開。エスカレーター登場

今日の花言葉

あらせいとう「永遠の美」

今日は誰の誕生日

オーソン・ウェルズ(俳優 監督 米 1915)

今日の名言

「読書を好きにさせるという落とし穴にはまってはいけません。

本を好きになるかどうかは二の次です。例えば泳ぎを習うとき

に、ダイビングを好きになるかどうかは二義的なのと同じ...。肝心なのは泳げるようになること...。...私たちは本を全くある

いはほとんど読まない子どもから出発したいと思います」

M.M. サルト「読書運動アニメーション提唱者」

何とか250枚の原稿、あがりそうです。しかし、腰痛がひどく、よなよな目覚めてしまう木幡です。ヘルプミー！

1. 沖縄実行委員始動！

5月4日(日)全日空の期間限定「超割」チケットの発売時刻...。パソコンの前にスタンバって秒読み！しかし、サイトになかなかアクセスできない。なんたって沖縄まで1万円、石垣まで1万4千円のチケット

なのだ。木幡・テッシー・かおりん・水野さんが手分けし、連絡し合い4時間かけてゲット！ああ、良かったあ。

例年、総費用が14万円にもなっていたけれど、これで何とか安くいけるだろう。7月12日(土)から10泊11日の「飛ぶ教室」 in 鳩間島です。

----- テッシー

キャンプも無事に終了。というわけで、次は「飛ぶ教室-沖縄」。ミーティングで、実行委員の確認。

「今年はいろいろ下調べして、何か冊子を作ろう。」

「どんなこと、書けばいいのかなぁ。」

「タイムテーブルとか？」

「自分の調べたいことでもいいんじゃないかな。」

「おれは、食うだけ！」とゆう君。

「じゃあ、沖縄の料理について調べるのもおもしろそうじゃない？」

「食べるのヤメタ！」だって...。

「もうみんな、いろいろな行事やって段取りとかができるようになってるから、やってみようよ。球技大会だってたかちゃん中心にできたもんね。」

たかちゃんはこっくり首を縦に。

「やってみれば、できるんじゃない？」とあきちゃん。

ミーティング終了後、実行委員と話し合い。

「20人も鳩間島に行くとき普通の3分の1も人口が増えるってことは、ゴミが大変じゃない？」

と、とうこちゃん。なるほど。ゴミのことに調べてみることに。

「向こうの中学生とかと、知り合いになってみたいな。」と、もえちゃん。

いいねえ！

「まずは、文通とかからがいいのかな。」

と、とうこちゃん。

「だったら、6月くらいには連絡とれてないと。」

と、あきちゃん。

もう言うことなし。あとは、みんながペースをつかめるように見ているだけでよさそう。

「みんなのやりたいことを募集できるように。」と

ということで、意見箱のポストまで出来上がりました。

みんなで、製本作業までできたらな。

というわけで、沖縄が動き出しています。一人一人に何かしらの興味を聞いて、調べていきたいと思います。興味はあるけど、調べるのがメンドクサイという子には一緒に調べていきたいです。ぼくが全員についてまわることもしないで、お願いします。

また、今回当日に参加できない子にも、冊子制作に関わってもらいたいなとも思ったりもします。ただ、これは勧めていいことかどうか考え中です。(行きたいけど行けない子もいるので。)

ちなみに実行委員は、

とうこちゃん、もえちゃん、あきちゃんです。

2. 春の合同キャンプ in 長瀬

毎年恒例の春の合同キャンプ。例年通りに長瀬へ。

朝、待ち合わせ場所の池袋へつくと、すでに何人が集合。やっぱりみんな行事のときは早い！

天気も快晴。みんなの気持ちがわくわくしているのが見ていてよくわかりました。

お料理

毎年キャンプといえば、カレーが定番。今年は熊谷の子が調べてくれたパエリアにミネストローネ。
 「なんかやることない？」という声もたくさん。せっかくだからもてあましちゃうのももったいない。
 「これ切って。」
 「火をおこしといて。」
 「荷物を持って来て。」などなど。
 少し早めの仕事もあったけれど、どんどんお願い。それにみんな動きがいい。
 パエリアは外で作るのが少し大変だったけれど、具もたくさんでおいしそうに出来上がりました。
 ちなみに海鮮がドクターストップのぼくは、峠の釜飯の釜で寂しく炊飯。これもなかなか上手に炊けました。
 夜は毎年恒例バーベキュー。肉、肉、肉、野菜、肉...。焼けるとあつという間。だけど、お腹いっぱいになるのも早い。
 「もう食べないの？」
 「お腹いっぱい...。」
 これも毎年恒例。ワーって食べちゃうからね。あまりもので作った野菜炒め、おいしかった！
 自由時間にはみんなそれぞれ。野球をしたり、探検をしたり、かくれんぼなどなど。帰り際にはハンカチ落とし。
 「はい！」とりょうすけはハンカチ持参。滑り込みまで飛び出す盛り上がり。けんご君は上手いんだよなあ。
 みんなで写真を撮って無事おしまい。
 「またね。」の声。嬉しかったな。

 布団干し
 いい天気。ぼかぼかというかとても暑い。
 「布団干そうか。」の水野さんの声。
 キャンプ場の布団は、湿っているイメージ。天気もいいしもって来いだ。人数分の布団を干そうとすると「手伝うよ！」とミッキー。
 近くにいたあきちゃん、ともちゃん、さきちゃん、れんげちゃんも一緒に。24人分の布団を当たり一面に干す。
 布団を積んだりヤカーをなんなく引っ張るミッキー頼もしい。さすが！当たり一面布団だらけ。
 お日様をたくさんに浴びた布団はふかふか。キャンプとは思えぬ寝ごちのよさでした。
 探検
 「川のほう探検に行こう。」
 と、さきちゃん、れんげちゃんと川原を探検。ぼかぼかの陽気にも誘われて、会話が弾む。
 「なにか、あそこに大きな穴があるらしい。」とれんげちゃん。
 「行って来なよ。」と言われ走るスタかおり。そこには日本一の甌穴なる穴が。
 「落ちたら登れないみたい。」こわいなあ。
 ひとりしゃぐスタかおりと着いてくるさきちゃんれんげちゃん。不思議な3人の探検は続いたのであった。
 心配した天気もばっちり。
 新宿との合同の行事も特別なことではなく、当たり前のことのようになっているのが嬉しい。
 初めての顔も、おなじみの顔も溶け込んで楽しい2日間でした。
 日焼けした顔がまぶしかったな。

3.5月のジャパンフレネ&木幡の活動
 9日(金)山梨BASIC 六郷小学校
 10日(土)午前 湘南サタディースクールで授業
 午後 湘南BASIC
 いずれも、茅ヶ崎勤労福祉会館
 15日(水)東京・国立市で授業と講演
 17日(金)午前 湘南サタディースクールで授業
 24日(土)午前 埼玉・日高市高萩公民館で授業
 午後 新宿BASIC
 25日(日)港区で講演
 詳細はジャパンフレネ新宿まで

=====
 e-mail : sinjyuku@jfreinet.com
 URL : http://www.jfreinet.com
 =====

===== デイリー・フレネ =====

----- VOL/0673----- 2002/05/07

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

1. ものづくり-母の日カード 新宿
2. お散歩の授業 このこたけのこ掘り 熊谷
3. お便りです 「イマジンの『想像力』」

=====

今日はなんの日
 1872 日本最初の鉄道が品川・横浜間で開通、車両はイギリス製、運転士もイギリス人
 今日の花言葉
 いちご(葉)「愛と尊敬」
 今日誰の誕生日
 ブラムス(作曲家 独 1833)
 チャイコフスキー(作曲家 露 1840)
 今日の名言
 「ある文化には他の文化よりさらに束縛されないヴィジョンがある。ヘブライ人やケルト人のように征服された民族の中に、われわれは最も高邁な想像力を見出すのである」
 ノースラップ・フライ

- 1. ものづくり-母の日カード

http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm
 今度の日曜日は母の日。予定のモーター作りを諸事情ゆえに変更してカード作り。
 紙を渡すと、さっそくチョキチョキ...。
 「いろんな色の紙があるから、貼り絵みたいにできるよ。」
 あきちゃんは、定規で計算している。
 「テッシー、これで大丈夫？」
 「??? どういうの作りたいの？」
 ぼくの想像からは、出来上がりが予測できない。
 「紙はあるから、とりあえずやってみたら？」
 形になってくると...なるほど！これは力作の傑作。
 「これいつあげるの？」と、りょうすけ。
 「母の日だから、今度の日曜日だよ。」
 と、あきちゃん。
 自分で見せたいだろうから、どんなのができたかは、内緒です。
 昔のアルバイト仲間が母の日にカーネーションを

一輪あげたところ、
「かあちゃん、泣いてた。」と。
「今まで親不孝してたんだねえ。」とみんなに言わ
れていた場面が頭によぎりました。
うちも何かしなきゃなあ。

2. お散歩の授業 のこのこたけのこ掘り 熊谷
今日のお散歩の授業はたけのこ掘り。昨年同様、水
野さんの知り合いの方に今年もお世話になった。秩
父鉄道の波久礼駅から山道を抜け、円良田湖畔を
歩くこと1時間半。天気もよくハイキング。竹林に到着。
「雨が降っていないから、たけのこあるのか、ちょっと
わからないなあ。」

ということば通り、なかなかお目当てのたけのこは
見当たらない。
ここほれワンワンといわんばかりに、竹の葉の下を
探すと、

「あ、あった！」「俺、2本見つけた。」という声。

周りを掘って、見事なたけのこがたくさん。

ユータ君はなんと4本も見つけた。

明日は今日のたけのこを使って、たけのこ料理だ！

あっ！

体験でやってきたかい君7歳。山道、竹林走り回る。
走り回りながらも、いろいろなところに興味関心の
アンテナが伸びているようだ。

「あっ！あんなところにフナの死骸が！」

「あっ！今、蛇がいた。」

「あっ！ウシガエル。」

かい君の声にみんなも一緒に目を向ける。

「あっ！本当だ。」普段は見過ごしてしまうような光景。

熊谷に新しい風が吹いて来たかな。

つる

2mもありそうな、藤のつるが道端に落ちこちていた。
すかさず、かい君拾う。

「これ持って帰る。」と。

かい君曰く、これはヘビのすけ。長いので、後ろは
スタかおりが持つ。周りの人の邪魔にならないよう
に約束をして、藤のつるも一緒にハイキング。さす
がに電車にはのせられないかな、と思ったら、駅員
さんが結んでくれた。コンパクトになって、一緒に熊
谷まで。思いもよらぬ、おみやげ。

天気もよく、気持ちのよかったお散歩。片道1時間半
の道のりをみんな歩き通した。帰りはかんぼの湯で
汗を流して帰り。からだは疲れたけれど、気持ちは
すがすがしい。また、行きたいね。

3. お便りです 「イマジンの『想像力』」

湘南の小倉さんの授業レシピ「イマジン」に触発さ
れ、ジョン・レノンの事を調べていたら、素晴らしい
エッセイに出会った。

HP「義経伝説」

<http://www.st.rim.or.jp/~success/yositune.htm>

を主宰されている佐藤さんのエッセイ「イマジンの
『想像力』」。

http://www.st.rim.or.jp/~success/Imagine2001_ye.html

その、佐藤さんからのお便りです。

-----以下、転載。

大変うれしいメールをいただきました。

拙いものですが、「イマジンの想像力」、よろしけ
れば、どうぞ、ご活用いただければ、光栄に存じます。

ところで、日本の教育は、本当にどこへ行ってしま
うのでしょうか。現在の日本の教育は、どこかゆが
んでいるように感じます。

つい最近も、私のサイトに義経さんを好きで、みん
なに話すと笑われるというので、それからは話さな
くなったという投稿がありました。これは明らかな
イジメですね。他人が好きなものを否定する権利な
ど、ないはずなのに人と違う発想を持つ人間をイジ
メてしまうような風潮が、日本中に蔓延しているよ
うに感じます。そうすると、他人と同じような考え
る人間ばかりが大量生産される危険がありますね。
子供の頃のジョンは不良でしたよね。成績表にも、
手がつけられない。というようなことが書かれて
いました。でも12歳のジョンは、自分を信じていま
した。

「何故、ここに天才がいるのに、みんなは気づか
ないのだろう。」と。先生も友達も判らなかったので
すね。余りの個性に非個性化した人たちは、ジョン
の才能の広がり理解できなかったのです。

昔、私の先生に当たる著名な映画監督が、若かりし
頃、フランスにいた頃の岡本太郎について、「ああ、
彼は、フランス時代から鼻つまみ者でどうしようも
ない人間だった」と言いました。

確かに彼も、日本にあのままいたら、現在ほどの成
功を得られなかったでしょう。岡本は日本人のサロ
ンには、集まらず、名だたる世界的な作家の中に飛び
こんで、自分の考えを思いっきり、あの調子で主張し
たのでしょうか。

きっと、登校拒否したりする中にも、とつてもユニ
ークで素晴らしい才能をもった子どもたちも多いと思
います。ジョンや岡本は彼らの先輩であり、ヒーロー
であると感じます。

どうか子供たちに、ジョンや岡本のように、自分の個
性を強く出して生きる生き方をお伝えください。
今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。

義経伝説HP

主宰

佐藤弘弥

=====

e-mail : sinjyuku@jfreinet.com

URL : <http://www.jfreinet.com>

=====

===== デイリー・フレネ =====

----- VOL/0674----- 2003/05/8

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

1. 原稿が上がった！！！！
2. 船の科学館に行ってきた！ 新宿・テッシー
3. たけのこの日々 熊谷・かおりん

=====

今日はなんの日

1886 アメリカでコカコーラ誕生

今日の花言葉

すいれん「清純な心」

今日は誰の誕生日

デュナン(赤十字創始者 スイス 1828)

今日の名言

「好きなことをみつけるには、まず行動することです」
三田誠広（作家）

- 1. 原稿が上がった！！！！
今までジャパンフレネで実践してきた授業、および、授業作りの会「BASIC」で検討してきた授業のあれこれを連休中に一気にまとめました。毎日少しずつコツコツと仕事をやるタイプではない木幡、出版社に「5月8日、原稿を渡します」と自らを追いこむ...。構想はすでに練ってあるし、パソコンにはかなりの量の実践記録が...。六日間で300枚！面白い授業読み物になりました。7月～8月にかけて書店に並びます。タイトルは未定ですが、「楽しいだけでいい！」って感じかな。ご協力いただいたみなさん、ありがとうございます！原稿に書く必要があって、木幡の小6～中3の通信簿に何が書かれていたかをチェック（母が全部とってくれていたのです）。書かれていたのは、一貫して「落ちつきがありません」。団体行動に反抗した結果、中2の体育の「協力」の欄には「×」。教師受け悪かったんですねえ...。それでも、こうやって生きています...。

2. 船の科学館に行ってきた！ 新宿・テッシー
お料理・お散歩二本立ての日
今日はお台場へパーベキューの予定。だけど、あいにくの天気。そういえば、この前のときも中止だったな。「誰か雨男がいるんだよ！」と、ゆう君。ドキッとしたのはぼくだけかな？そんなで、今日はお弁当を作ってから行くことに。時間があまりないのでサンドイッチ作り。みんなでせっせと作ったかいあって、買い物から合わせて1時間ちょっとでできあがり。このくらいの料理は難なくこなしてしまうようになったね。みんなでお弁当を持って向かうはお台場・船の科学館。着いたときには大雨。いやいや、お弁当にして本当に良かった...。まずは、腹ごしらえ。食べていると、「ピンホールカメラをやっているときに、実は写真部作ったんだけど。」と、とうこちゃん。おお！いいねえ。というわけで、本日のカメラマンは写真部におまかせ。南極探検の船を見学。「あ！取れちゃった！」なんて声も。おいおい...。防犯カメラの目の前で...。とはいっても、いろいろ実際に触れることができ楽しい。模型もたくさん。「こういうの作る仕事って、おれにはできないな...。」と、まっ君。細かいいたらありゃしない。ぼくなにか絶対無理。余った時間は、みんなシュミレーターで遊んだり。ぼくは海や羽田を行き交う飛行機をぼんやり眺めたり。海って言えるような広さじゃないけど、東京湾の出口の先に広がる海が見えて良かったな。さすがに帰りは「疲れたあ」の声。そりゃ、朝からお料理までしたんだもんね。でも、手作りのお弁当っていいね。みんなお疲れ様！

3. たけのこの日々 熊谷・かおりん
お料理の授業 たけのご料理
今日のお料理は、たけのご料理。昨日掘ってきた竹の子を料理する。たけのご飯、お吸い物、メンマとたけのごづくし。「掘ったたけのこで、昨日の夕飯もたけのご飯だった。」と言う声多し。けれど、とことんたけのこいくぞ。ぱくぱく
たけのご料理の味付け。醤油、さけ、みりん、塩、砂糖、だし汁。分量は目安があるけれど、みんなで相談。そして研究。「味見をしよう。」とみんなでぱくぱく。「なんか足りない。なんか足りない。」あれこれ加えて、みんなでぱくぱく。「やっぱり、なんか足りない。なんか足りない。」「食べるのがなくなってしまうのでは。」と思ったけれど、そのかいあってか、とってもいい味付け。「うまい！」
「今日の、料理ほんとおいしくない？」とみんな笑顔。お吸い物はあっという間に完売。たけのご飯も、みんなおかわり。自分達で掘ってきたたけのこだからなおのことおいしかったかな。たまご
「たまご持ってきた。」とかい君。家で7羽の鶏を飼っている。その産み立ての卵を持ってきてくれた。殻は硬いし、たまごの味も濃厚だ。「たけのご飯にのせる錦糸玉子にしよう。」と自分で焼いて細く切る。その顔つきは真剣。ところが、「あ、糸ぐらいの細さなのに、うどんになっちゃった。」だって。かい君がんばってます。
たけのこって？
「たけのこって何で増えるの？種？」とユータ君。「種じゃないよ。」
「じゃあ、一体何で増えるのだろう？」
みんなも首をかしげる。「竹が折れて、そこからでてくるとか？」
「竹の近くだけじゃなくて、遠くにも生えてた。根っこから出てくるのじゃないの？」とかい君。昨日のたけのこ掘りでよく観察していたようだ。惜しいけれど、ちょっと違う。たけのこは何で増えるのか、みんなであれこれ仮説を立てて、PCで調べた。なーるほど。みんな納得。

おれより
PCでたけのこのことを調べると、「1日で1mのびるものもあるんだって。」みんなびっくり。「そしたら、おれ、一日で抜かされちゃうのか。」と笑う、かい君7歳なり。

==== デイリー・フレネ =====
----- VOL/0675----- 2003/05/09
//////// CONTENTS //////////////////////////////////////
1. 忙しくてごめんなさい
2. 新宿あれこれ テッシー
3. 熊谷あれこれ かおりん
=====

今日はなんの日
 1905 森永商店 g エンゼルマーク使用開始
 今日の花言葉
 やえざくら(しとやか)
 今日は誰の誕生日
 原田雅彦(スキージャンプ 1968)
 今日の名言
 あのとときあすればよかったと
 そんなやくざな仮定法があるばかりに
 言葉で過去を消そうとするけれど
 目前の人っ子ひとりいない波打ち際は
 目をつむっても消え去りはしない
 せめて上手に後悔しよう
 過去を苦い教訓に未来を夢見る事は
 あの日あなたのかけがえのない
 こわれやすい愛らしさを裏切ることになる
 くり返す波の教えるのは
 ただの一度も本当の繰り返しは無いという事
 けもののように言葉をもたなかったら
 このさびしい今のひろがりを
 無心に吠えながら耐える事もできようものを
 後悔 五つの感情・その一(谷川俊太郎)
 - 1. 忙しくてごめんなさい
 先週の連休から今週まで執筆に追われ、デイリーフ
 レネも1日遅れで発信するありさま...
 やまちゃんとゆう君に言われてしまった。
 「木幡さん、なんでこの前休んだの?!せっかく数
 学しようと思ってきたのに!」
 ううううー、弁解の余地なし。しかし、ご
 めん...。それにしても、以前はこんなセリフ絶対に出
 てこなかったのに、学びの意欲は確実に育っている
 んだなあ...
 ひさしぶりにりょうすけともあったよう気がする。
 「木幡さん、今日なんの日か知っている?」
 「?????」
 「ぼくの誕生日だよ!」
 さきちゃんからプレゼントをもらって、喜んでいたね・
 まっくん、曰く「りょうすけって、毎日『ぼくの誕生日』
 って言ってない?」
 ううーん、言ってる可能性大...
 12日からは多忙から少しは抜け出せるかなあ...
 2. 新宿あれこれ テッシー
 お誕生日
 「おはよう!今日、何の日か知ってる?」
 と、りょうすけ。
 「今日は5月9日、牛丼の日。」
 と、ゆう君。(ホント???)
 「ぼくの誕生日だよ!」
 そう、今日はりょうすけの誕生日でした。一日中、
 飛んだり跳ねたり。いつもと同じ言ってしまうばそ
 うだけど、ウキウキが伝わってきました。
 おめでとう!
 好きな笑顔は...?
 母の日カードの続きをしていたとき、
 「やっぱり、諭吉の笑顔が一番好き。」
 と、さきちゃん。
 これこれ...。そんな代名詞を使うとは、と思ってい
 たら、

「あっ!諭吉が笑ってたらニセ札だ!!」だって。
 みんな大笑いでした。
 母の日のカードを作っているとっていたら、ぼく
 にも作ってくれていました。もらったときは、なんと
 も恥ずかしくて嬉しくてギクシャクでした。
 ありがとう!!

3. 熊谷あれこれ かおりん
 ひっくり返るコイン
 10円玉2枚と100円玉1枚を準備。10円玉で
 100円玉をサンドイッチ。
 「一番上の10円玉を残して、下の2枚を落とす
 とどうなる?」とボラ田中君。
 実際にやってみるとびっくり!落としたコインは、
 一番下にあった10円玉が上になっているのだ。
 「え、なんで???」
 「やらせて、やらせて。」と子ども達。
 なんで、こういう結果になるんだろう?みんなで
 あれこれ試行錯誤。
 「ひっくり返るってことは、回転するってことで
 しょ。」
 「近くで、落とすとかわらないんだよねえ。」
 なんでだろ?
 ああでもない、こうでもないあれこれ話し合う。
 物理的な分野の話。子ども達の話聞きながら、
 バットを持ち出し、わかりやすく説明するボラ田中
 君。なるほど、なるほど。
 何でひっくり返るのか、という疑問も解決。子ども
 達も満足そうな表情。ちょっと賢くなったかな。
 誰もいない
 天気のよい午後。風に誘われるように、ボラ田中
 くと、ユータ君、かい君は神社に遊びに。
 「くまででバトミントンをしたんだ。」と楽しそうに
 話すかい君。
 「沖縄のこと調べに図書館に行ってくる。」と
 きぐちゃん、りりちゃん、しゅん君。
 気がつけば、フレネにりょうすけと2人。のんびり
 時間が過ぎていく。こんな日もたまにはいいかな。

=====

=====**デイリー・フレネ**=====

-----VOL/0676-----2003/05/12

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

- 1. 本日のおすすめ 森巢博の新刊
- 2. みんなとの会話 新宿発
- 3. サータアングギーを作った 熊谷発

=====

今日はなんの日
 1898 キュリー夫人がラジウムを発見
 今日の花言葉
 ライラック「愛の芽生え」
 今日は誰の誕生日
 ナイチンゲール(看護婦 英 1820)
 今日の名言
 「沈黙しているとき私は充実を感じる。口を開こうと
 するとたちまち空虚を感じる」

- 魯迅
- 1. 本日のおすすめ 森巢博の新刊
 「非国民」森巢博 幻冬社 1800円

「無境界家族」、「越境者たち」などでおなじみの森巢博の新刊が出た！『ハーフウェイ・ハウス・希望』 中野にある「薬物依存」からの“悔悛を志す者”たちが共同生活をおくる施設である。少年院帰りの亮太、輪姦された忌わしき過去を持つ少女バイク、オーストラリア美人の大学院生メグ、元ヤクザのソード、元大手証券幹部の鯨。非国民で不道德の個性豊かな面々は「強制」と「義務」のない日々を過ごし、次第に本当の「更正」に目覚めていく。

しかし施設の運営費に困窮し、汚職と賭博と恥辱にまみれた最悪の警察官たちを相手に一世一代の大勝負を挑むのだが…。森巢博の作品の特長は、徹底的なフラジャイル（弱者）からの発想、そして既成の価値観の糾弾。リズム的な文体も読みやすく、朝方3時までかけての一气読み！ストーリーは、痛快無比…。

最近、小説はあんまり読まないのだが、森巢博だけは別格だ。

2. みんなとの会話 新宿発

「新聞の奨学生ってどうなの？」
 大きい子達の会話からこんな質問。
 「なかなか大変みたいよ。勉強する時間もなかなか取れないみたいだし。」
 大学時代、同じクラスの子が諸事情で途中から新聞奨学生に。朝（深夜？）早く、夕刊配達までには帰らなくてはならない。ぼやいていたのを思い出しました。「奨学金って結構いろいろあるんだよ。」
 育英会に、学内奨学金…。ぼくも大学時代に奨学金を借りたり、もらったり。せっせと返金中…。
 「もう大学のことも決めなきゃならないし…。」
 こんな言葉も。

「やりたいことあるなら、それでいいし。決まっていないうら探すために大学に行くというのも大きな理由だよ。行こうと思うなら行くべきだし。」
 いろいろな人に出会ってやりたいことが変わることだってあるのだし。むしろこの方が有機的な人間関係と言えるかも。

だから、今、「これがやりたい」ということを無理に決めるのが絶対とは思わない。これは、ぼくの今の目標が、大学時代の目標とは違うからとも言えるけど。

大学・学部を選んだ時点である程度のこと決まってしまうかもしれないけれど、他に何かを見つけたときにはそっちに行くこともできる。回り道と言われるかもしれないけれど、その道じゃなかったら見つからなかった目標なんだよね。

無駄な時間なんて過ごしてないんだな。いつのまにかこんな話をしていました。みんないろいろ真剣に悩んでいました。とても大事な時間を過ごしているな。いろんな人と話しをして、いろんな考えに触れていって欲しいです。

次のステップへ足をかけている。そんな印象です

3. サーターアンドギーを作った 熊谷発

今日のものづくりはサーターアンドギー。去年のJFFで200個は作った。「もう当分見たくないよね。」

と言っていたけれど、久々に登場。「なんか懐かしいね。」と。去年の11月を思い出すね。さすがに、嫌というほど作っただけあって、みんなの手際はいい。あつという間に生地が出来上がる。きぐちゃんは、揚げ方をみんなにアドバイス。「最初さえうまくいけば、平気だよ。」
 ということば通り、とつても上手に出来上がった。「やっぱ、教える人がうまいから？」と笑うきぐちゃん。売り物にも負けないぐらいの見栄え。お味は、もちろんおいしいかった！
 くるり、くるり
 「揚げるのは油のおいが嫌だけど、これが面白い。」
 「一体何のことだ？」と思ったら、サーターアンドギーは揚げていると、ひっくり返さなくてもひとりでくるり、くるりと回るのだ。
 じゃあ、何で回るのだろうか？その仕組みを考えるのもまたおもしろいよね。

おやつ
 「サーターアンドギーの他に沖縄のお菓子ってどんなものがあるのか知ってる？」と話が横道にそれた。「ちんすこう！」
 「ポーポー（クレープをくるくる巻いたようなもの）ってあるのあたし知ってるよ。」
 「やっぱ、スッパイマンでしょ。」とエリ君。そりゃそうだけど…。（スッパイマン＝干し梅）
 「じゃあ、スッパイマン2だ！」
 何のことかと思ったら、唐辛子味の干し梅だそう。沖縄のおかし、調べてみても面白いね。身近なところから、沖縄を知っていききたいね。
 あいにくの雨で今週はスタート。雨だと「気分も乗らないな。」思っていたら、玄関先の石楠花が咲いていた。雨に濡れて、それがまたきれいでした。
 今週もよろしくお願いします。

=====

===== デイリー・フレネ =====

----- VOL/0677----- 2003/05/13

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

- 1. 母の日に…
- 2. 通電チェッカーの発展 授業の可能性
- 3. 本日のおすすめ Could Do Better

=====

今日はなんの日

1935 アラビアの独立に尽力したイギリス人、ロレンス（アラビアのロレンス）が帰国後、オートバイ事故で死亡。

今日の花言葉

さんざし「唯一の恋」

今日は誰の誕生日

萩尾望都（マンガ家 1949）

スティービー・ワンダー（米 ミュージシャン 1950）

今日の名言

「済んでしまったことを後悔して思い悩むほど馬鹿げたことはない。みんな正しかったのだ。それでよかったのである。生きてきたことを否定して後悔することなど人生には一つもない」

「ビッグウイング」(ビッグコミック)より

- 1. 母の日に…

「戯れに母を背負いてそのあまり 軽きに泣きて
三歩歩まず」と歌ったのは、石川啄木...、そして5
月11日は、母の日。
「お母さんに薔薇の花をあげたの。赤とピンクを3
本ずつ。全部で300円だった。」と、さおちゃん。
「アイロンビーズでお花とお母さんの顔を作ってプ
レゼントしたよ」これは、りょうちゃん。
さきちゃんとあきちゃんは、ウェッジウッドのお皿。
とうこちゃんは「私、マッサージ機」
「えっ、すごい！」
「そんなんじゃない、卵型の小さいやつ」
「私はね、5000円分の花束」これは、ともちゃん。
「おれは、鯨だよ」テッシーの言葉に大笑い。
「だって、鯨が食いたって言うんだもん」
男の子は、母の日のプレゼント、ほとんどなし。
「聞かないで」と、まっつあん。
そういう木幡はどうなんだと言われそう。札幌で独
り住まいしている母にちゃんとプレゼントを送りま
した。
「ありがとう！立派なブルーベリーの木だね。近所
の人に聞いて、ちゃんと育てるからね」
でも、プレゼントするようになったのは、大人にな
ってから、しかも40を過ぎてから...。
老いてわかる母のありがたさなんですなえ
2. 通電チェッカーの発展 授業の可能性
一世風靡した「通電チェッカー」の授業。先日行わ
れた湘南BASICでその発展をTさんに教わった。
基板に発光ダイオードを6個はんだづけし、その
上にティッシュペーパー・ペットボトル・書類用フ
ァイルなどなんでもいいから乗っけると、...素晴ら
しい！素適な照明のできあがり！
さっそく、授業化しようとする木幡、スピードが信
条です。
【Tさんからの伝言】
子どもの知の共同体をつくる原動力のひとつに育て
て下さい。消費教材になるのは余りにも勿体なさ過
ぎます。
ピンホールカメラが一段落したら、さっそくチャレ
ンジです。
3. 本日のおすすめ Could Do Better
「Could Do Better」
School Reports of the Great and the Good
POCKET BOOKS (英国 15USドル)
著名人の通信簿所見欄を集めた本。これを読むと
、成績の良い者・学校的評価が高い者が必ずしも
良い仕事をするとは限らないことがわかる。
学校の成績なんてあてにならないのだ。ジョン・
レノンの場合はこうだ。
Certainly on the road of failure...hopeless...
rather a clown in classwasting other pupils'time.
「確実に失敗への道をたどっている...絶望的...
クラスの道化としてほかの生徒の時間を浪費し
ている」とでも訳すのだろうか。
ちなみに木幡の場合はこうです。
「授業中の落ち着きのない態度が目立ちます。社会
的知識もあり、積極的で明るく好ましいお子さんで
すが、相手を思いやる立場に欠けることがまます。
この点、矯正していきたいと思ひます」(小5)

矯正かああああ...。
これを読んだOさん、「でも矯正されなかったのね」
大爆笑でした。

=====

===== デイリー・フレネ =====

----- VOL/0678----- 2003/05/14

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

1. みんな違ってみんないい！
2. 音楽は許されるか？ ミーティングにて
3. 気分は沖縄・鳩間島！ 「飛ぶ教室」の計画

=====

今日はなんの日
1878 大久保利通が不平士族に暗殺される
今日の花言葉
おだまき「勝利の誓い」
今日は誰の誕生日
斉藤茂吉(歌人1882)
ジョージ・ルーカス(映画監督 米 1944)
今日の名言
「無知を治そうと思うなら、無知を告白しなければ
ならない」

モンテニュー「エッセー」より

- 1. みんな違ってみんないい！
ぬけるような空が青い 風が髭に遊んでいる
申し訳ない気分がいい すべてはここにつきははず
どうしてこんなに 当たり前のことに
今まで気づかなかったのか

(岡林信康)

なあるほど
「木幡さん、数学の前に飲み物買ってきていい？」
「いいよ」
いざ授業が始まると、「ノート、忘れちゃったよ」と
まっつあん・ミッキー。
「昨日、ミッキーんちに泊まったから」
なあるほど、だから二人とも今日は午後から来たのか。
遅くまで騒いでいたな？
「叱られちゃうしさ」
「無断外泊なの？」
「いや、泊まるって言ったんだけど...、いろいろ言
われて...」
なあるほど...

上手だなあ
「見て！ちせちゃん、すっごく字が上手！」
漢字や熟語のノートにしっかりした字がびっしり。
「木幡さん、これできる？」
ちせちゃんのノートの隅に、次のような問題が...。
日の字に線を1本書きこんで、違う漢字を作り
まし よう。
木幡、チャレンジ！
目・白・旦・田・申・由・旧・甲

おれじゃあ！
しりとりゲーム・ワードバスケットをみんなで楽し
んでいる。木幡は、その横でお仕事。
「し・し・し...」
小耳にはさんだ木幡、「しのもとけんご！」
ボランティアの北斗君、「誰、それ？」
けんご、「おれじゃあ！」(大爆笑)

りょうすけ泣く　すぐ、なおる
 「えーん、えーん、みんながぼくのこといじめる」
 「どうして？」
 「わかんない」
 「だってねえ、いやがることやるんだもの」
 「どうやっていじめたの？」
 「デコピン」
 「ブランコに乗ってるとき、スカートの中を覗こう
 としたり、スカートめくりしたりするんだもん」
 「『さきちゃん、ちょっと太いよね』って言ったり、
 私をおばさんよばわりするの。コンビニでも騒ぐん
 だよ」
 「理由はわかった。でもデコピンは禁止。そして、
 りょうすけもお姉ちゃんたちに悪ふざけしないこと」
 これにて一件落着。3 分後、りょうすけ、すぐに元氣。

2. 音楽は許されるか？ ミーティングにて
 「音楽のことなんだけれどさあ」
 まっちゃんが次のような提案を...

【提案】
 みんながいいと言ったら、音楽を聴いてもいいこと
 にする
 ジャパンフレネでは、音楽を聴くときにはヘッドホ
 ンを使うことになっている。音は他者の迷惑になる
 ので、ゲーム機やビデオ、楽器の練習も時間あるい
 は曜日を決めて実行している。これすべてミーティ
 ングでみんなで決めたこと。そのへんのいきさつを
 話す。

「でもさあ、憲法は一度シャッフルされたんじゃな
 かったっけ？」と、やまちゃん。それはその通り。
 しかし、すでにいろんなことを憲法としておかなか
 てもみんな実行できるようになったという前提あつ
 てのシャッフル。他者が不快に思うことをやっては
 いけないのは道理。

「お散歩にみんな行って、少数で残る場合など、そ
 のつど確認できればいいんじゃない」
 テッシーの発言でほぼ決まりかなあ。

音楽を聴く時は、他者に確認を取る。一人でも
 不快と感じる人がいれば音は出さない。原則、
 お散歩の授業などで残った時などに限る。

3. 気分は沖縄・鳩間島！ 「飛ぶ教室」の計画
 7月12日(土)～22日(火)の10泊11日、沖縄
 の鳩間島を中心に「飛ぶ教室」が計画されてい
 る。参加者は、延べ25名の大世帯。
 昨日のミーティングで下記のことが決定！実行
 委員は、とうこちゃんとあきちゃん、そして、
 もえちゃん。

12日(土)～19日(土)の鳩間島滞在期間中、
 鳩間小・中学校の子ども達と交流会を持ちたい。
 20日(日)は南部戦跡を中心に全体行動。事前
 学習を行う。

22日(月・祝)、23日(火)は3グループもし
 くは少人数の行動。何が可能か調べておく。

「飛ぶ教室」の小冊子を作る。

「うー！沖縄、すっごく楽しみ！」と、とうこ
 ちゃん。気分は、もう、沖縄。

昨年より今年と毎年バージョンアップのジャパ
 ンフレネです。

=====

===== デイリー・フレネ =====
 ----- VOL/0679----- 2003/05/15

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////
 1. なんかおかしい「学力&日本語」問題
 2. ミーティング テッシーの視点
 3. ジャパンフレネ新宿あれこれ
 =====

今日はなんの日
 1972 アメリカより沖縄が日本復帰
 今日の花言葉
 忘れな草「真実の愛」
 今日のは誰の誕生日
 美川憲一(1946 A型)
 伊丹十三(映画監督 1933)
 今日の名言

「わたしたちは、いわば、二回この世に生まれる。
 一回目は存在するために、二回目は生きるために。」
 ルソー『エミール』より

- 1. なんかおかしい「学力&日本語」問題
 昨日の朝日新聞「天声人語」を読んでの感想...。
 文部科学省の学力テスト結果について、最後に
 次のように書いていた。

- - - - -
 このテストでは福沢諭吉の知名度が落ちていること
 も話題になった。その福沢は少年のころ、漢文を徹
 底して読まれた。後に洋学に転じるが、文筆を支
 えたのは彼の漢文という素養だったろう。すべての
 基礎である言葉の力を見直したい。

- - - - -
 これを読むと『すべての基礎である言葉の力』=
 『漢文』と読み取れないこともない。また、『素読』
 =『声に出して読む』ことが基礎であるとも深読み
 できる。ベースには、やはり、『鍛錬・反復』こそ
 基礎・基本とみなす考えが潜んでいるのだろう。
 はたしてそうであろうか？

これらの考えは、学校という強制・強要を余儀なく
 する空間での実践を念頭に置いているのだろうが、
 強制・強要がなくなった時、子ども達はいったい何
 をベースに、何に動機付けられ学んでいくのだろう
 か？

断言してもいい。それは、『『楽しさ』のあくなき
 追求である』と...。学んでいく楽しさ、未知の世界
 に足を踏み入れる楽しさ...。楽しさこそが原動力で
 ある。

ぼくの師匠である故遠山啓はこう言った。
 「楽しいだけでいい。楽しいだけでなんの役にも立た
 ないこと(そんなものはないと私は思うが)が出てき
 た時、楽しいだけでいいのかどうかの議論をすればいい」

福沢もそうであつたに違いない。だからこそ、素読に
 も耐えられたのだと思う。それを勘違いしては困る。
 「漢文の素読=基礎・基本」だと...。

現在進行中の「学力・日本語」問題は、なんか怪しい。
 なんかへんだ。「声に出せ」、「文学を読め」、そし
 て「理想の国語教科書」とくる。
 楽しいだけでどうして悪いの？子どもは強制・強要
 して教育しなければいけないの？

ぼくと同じ考えを持つ人がいた。朝日新聞社の週間朝日読書欄P128に[齊藤孝さん、大きなお世話です]のタイトルで書かれていた内容は下記の通りである。まず、「理想の国語教科書」などない。文学の傑作を与えたいのなら、そのなかのどれか一冊子どもにもたせ、授業など放棄して家に帰すことを説く。別の遊びに耽ってもいい。文学と教育はなんの関係もない。この世で一番の害は教育してやりたいという情熱。情熱の所有者は、自分が間違っているとは絶対に思わないからである。

以下、最後の一節を紹介したい。

- - - - - 「週間朝日」2002.5.31

[齊藤孝さん、大きなお世話です]

.....「声に出して読みたい日本語」は古文や口語文を集めている。そのうちどれ一つとして、覚える必要はない。また、覚えなかったからといって、日本語力に欠けたりはしない。かつて、それらが暗誦されたのに理由があったように、過去の名文が滅び、不要になったのにも確固たる理由があったのである。身体を動かす言葉が必要なら、今日の前にあるものから採ればいい。

家の裏の小学生が学校の帰りに極めて楽しそうに口ずさんでいたのは三木道三のレゲエだった。「森の石松 金毘羅代参」はいらないのである。(虫)

- - - - -

全くの同感である。

2. ミーティング テッシーの視点

今日は、議長まっ君、書記とうこちゃんでした。

1. お料理、お散歩

実行委員が月曜日午前中に話しあったものをまっちゃんが発表。

お料理

- 15日 ペペロンチーノ、スポンジタマゴ
- 22日 カレーうどん、ぎょうざ
- 29日 ゴーヤチャンプルー、もう一品何か

お散歩

- 16日 バスケットボール
- 23日 警察博物館
- 30日 昭和記念公園

2. 音楽について

「みんなに確認を取れば、フレネで音楽を聴きたいんだけど。」と、まっちゃん、ミッキーから提案。「音楽は周りの人に迷惑になる場合もあるし、そういうことがあってLAWでは禁止だったんだよ。」と、いろいろないきさつを交えて木幡さんが話す。ひとえに「音楽」と言ってもジャンルはたくさん。音楽の好き嫌いだけでは話は終わらない。なかなか難しいところ。

「じゃあいいよ。」といった表情があったので、ぼくから提案。

「時と場合、周りにいる子、音量、こういういろいろなことをしっかり判断できるならかまわないと思うけど。」と、ぼく。確かに、外に出る子が多いときには、ぼくと子ども2,3人といった状況もよくある。

また、「聞いていい？」と言われたときに「嫌だ」と言える子と言えない子がいる。これは、男の子と女の子、大きい子と小さい子が同じスペースにいる

から。そういう所までしっかり判断できなくてはならないよね。結構大変。

だけど、このような状況判断ができることは必要なことだと思うし、みんなならできるんじゃないかな。

しばらく様子見です。

3. ジャパンフレネ新宿あれこれ

ものづくり - 折り染め

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>

今日のものづくりは折り染め。熊谷がやっていたのでいろいろ確認。それをもとにちせちゃんとボラ・みよちゃんが買い出しに。

やり方は、和紙を折って染めるといういたってシンプルなもの。いろいろな色の染料を用意してくれたのでなかなかきれいに。

「これきれい！誰の??」

「この色かわいい！」

みんなお互いのものを誉めあっている。

ちせちゃんは二枚重ねにして、同じ物を二つ作るという工夫も。

「こっちは、持って帰ってお母さんに見せてもいい? こっちはフレネに飾るから。」

嬉しいなあ。今月のディスプレイもなかなか綺麗に仕上がりました。

宿題、宿題

今日はジーコとゆう君が英語の授業。先週に出した宿題の答えあわせになると、

「ハンパじゃない量だったよ！」

問題集の見開き6枚分くらい進んだので、「できるところまででいいからね。」と指定しておいたのだけれど、

「出されたら全部やっちゃうよ！」と二人とも。

圧巻...

その横では、山ちゃんが数学の宿題を解いていました。

「結構できるようになってきた。コツがわかった。」

たかちゃんも毎朝コボ作。勉強をすることが習慣になってきています。

=====

===== デイリー・フレネ =====

----- VOL/0680----- 2003/05/16

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

- 1. 新宿あれこれ
- 2. 森林公園に行ってきた！ 熊谷・かおりん
- 3. 秋田からのお便り

=====

今日はなんの日

1995 オウム真理教の麻原彰晃逮捕

今日の花言葉

柳たんぽぽ「宣言」

今日は誰の誕生日

ヘンリー・フォンダ(俳優 米 1905)

今日の名言

「年とった人々は異議が多すぎ、相談が長すぎ、冒険が少なすぎ、後悔が早すぎ、めったに仕事をとことんまでやりとげず、いいかげんな成功で満足する」

『ベーコン随想集』

1. 新宿あれこれ

史上最高？のお料理

「むむむむ…」とけんご君がやって来た。
 「木幡さん、このこと、デイリーフレネに書いてよ」
 なんだなんだ！どうしたんだ！
 「死ぬかと思った！ペペロンチーノ、辛くて食べねえ！」
 本日のお料理は、ペペロンチーノにスポンジたまご。
 パスタをゆでた後がすさまじかった。粉末のんにくをドバツと入れたり、鷹の爪の大盛りとか…。まっつぁんは、鷹の爪が目に入り大騒ぎするは…。そして、ぼくの食べたのは、味が無い…。
 男の子達は楽しんでいただけ、まさしく「むむむむ…」ま、楽しけりゃいいか…。
 スポンジ卵は好評！作り方を紹介しましょう。

【スポンジたまごの作り方】

卵を1個湯のみ茶碗にいれてかき混ぜる。
 その中に、おしょうゆ少々と鰹節を一掴み入れかき混ぜる。
 湯のみ半分程度が沈むお湯の中で、卵がスポンジ状になるまで熱して蒸す。

これだけです。

JFの文化

数学の授業での一コマ。

「木幡さん、それなんて書いてあるの？」
 「数字の2だよ」
 「読めねえ！」
 「それは、木幡文字とって、フレネの中で文化になってるんだよ」
 けんご君、いいこと言うなあ…。
 「ただし、あんまり意味がなくみんなが迷惑する文化」
 ふん！

気分は沖縄なんだけれど

「木幡さん、鳩間島では4人部屋嫌だよ。狭すぎ！」
 やまちゃんの抗議に引き続き、「そうだよ！俺達、成長してるんだよ」と、まっつぁん。
 「ノーマソはあんまり成長してないんじゃないの？」
 「わっはっはー！」と8歳のりょうすけ、笑う。
 「りょうすけ！なんで、お前が笑うんだ！」
 全員、大爆笑！

2. 森林公園に行ってきた！ 熊谷・かおりん

今日のお散歩は、森林公園。「新緑シャワー全開」という垂れ幕がかかっていた通り、新緑がまぶしい。天気はあいにくの曇りだったけれど、今日は全員集合。元気に行ってきました。

せみ？

公園についたとたん、耳に入る虫の声。みーんみんな！
 「蝉が鳴いてない？」
 「蝉だ！」
 なんと！もう蝉が鳴いているではないか。蝉の鳴声を聞くと夏を感じるなあ。
 「せみが鳴いたら…。俺もなく。」とかい君。
 泣く？鳴く？

飛ぶ、転ぶ、つかまる

アスレチックを前に、みんな一斉に駆け出す。久々にからだを動かすのは気持ちよい。筋肉痛が心配なのは私だけかな。

丸太のアスレチックの上で、鬼ごっこをはじめ。みんな、丸太の上をびよんびよんと、飛ぶはねる。鬼ごっこが終わったら、リリちゃんのひざにかすり傷。「転んじゃって。けど、楽しかったから全然平気。」楽しいと痛みも忘れちゃうね。

ちくわ

ひとしきり遊んだら、お昼ご飯。からだも動かしたし、外で食べるご飯はまた格別。

かい君のおかずにはちくわ。

「ねえねえ。めがね。」「指輪。」「たこの口」

とちくわで遊ぶ。

「ストロー。」といって麦茶をずずズーっとちくわ

ですする。すすったと思ったら、口から麦茶を

噴出した。かい君曰く、「墨。」

たこの口から墨が出たらしい。(笑)

「食べ物で遊ばないで。」とは思ったものの、よくおもいつくなあ。おもしろい。

サイクリング・サイクリング

森林公園1周17kmサイクリングの旅。しゅん君、りょうくん、かい君、ユータ君、ショータ君、スタかおり。

新緑の中を進む。みどりの匂い、木漏れ日、鳥

の鳴き声、通り抜ける風。とても気持ちよい。

とはいえ、上り坂あり、下り坂ありの17kmはや

っぱり大変。みんなよくがんばったね。

帰りのバスはみんなぐったりでした。

今週末あと2日。ゆっくり休んでひとつ走り。

3. 秋田からのお便り

秋田県で研修中のTさんからのお願いです。

-----以下、転載。

木幡さん、お変わりございませんか。

連休に「轟木駅」へ行ってきました。正確には五能

線に乗って「深浦」まで行き(終点でした)、徒歩

で轟木駅まで行きました。2時間かかりました。轟

木駅で次の車を待つのに3時間かかりました。

轟木駅では3時間ほど独占状態でした。(たまたま写

真を取りに来る人はいましたが。)木幡さんの推薦

されるだけの理由がわかりました。3時間が長いと

は思いませんでした。こんなにも海に近いところに

駅があるなんて…。

波の音を聞きながらゆっくりと読書をしたりして、

有意義な時間を過ごすことができました。いいところ

を紹介して頂き、本当に有り難うございました。

私は、曲げワッパの技術研修ということで、週に多い

時は4日間ほど大館に行っています。先日は、曲

げワッパを教えて頂いている伝統工芸士のAさんと、

十和田湖、奥入瀬渓谷とドライブしました。十和田

湖の畔にはまだ雪がありました。

湖畔では桜が満開でした。奥入瀬渓谷のブナの新緑

には、言葉に言い尽くせない感動を覚えました。

「これが、こちらでいうところの『春紅葉』なんだ

ろうな。『緑のトンネル』とはこのことを言うのかな

。」とてもいいところでした。

まだまだ東北には、たくさんいいところがあると思

いますので、時間を見つけては回ってみたいと思っ

ています。今度は六郷の「ニテコサイダー」飲んで

きたいと思います。それではまた。

-----以上、転載終了。

こんにちわ！木幡です。
 五能線の旅、うらやましい限りです。この連休は
 300枚の原稿に追われていました。
 今は、「リゾート白神」という観光列車が走って
 いますが、私が最初に行った1970年代初頭は、観
 光客はまばらでした。「男はつらいよ・奮闘編」
 (榎原ルミ主演)を東十条の映画館で見て、その
 足で旅立ったことを思い出します。まだSLが走っ
 っていました。
 轟木の駅に降り立ち、その寂寥感に圧倒されて
 しまいました。線路の数メートル先が日本海...。
 聞こえるのは波の音ばかり...。
 東能代の駅で立ち食い蕎麦を食べていた時、発車
 のベル...。慌ててどんぶりを持ったまま線路に飛び
 降り、列車のデッキにつかまり乗り。
 そば屋のおばさん、「お客さん！どんぶり！どんぶり！」
 木幡、どんぶりを持ったまま五能線の旅へ...。
 その後何度も五能線に乗りましたが、風景は変わって
 いません。
 なれない土地での研修、ご自愛下さい。

 デイリーフレネは、月～金の平日刊です。
 19日(月)、また、お会いしましょう！
 楽しい週末を！

=====

===== **デイリー・フレネ** =====
 ----- VOL/0681----- 2003/05/19

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////
 1. 湘南にて...サタディースクールの愉快的なメンバー
 2. 久しぶりのバスケット 新宿・テッシー
 3. 木幡、寝過ごす

=====

今日はなんの日
 1560 織田信長が桶狭間の戦いで今川義元を破る
 今日の花言葉
 はくさんちどり「美点の持ち主」
 今日のは誰の誕生日
 ホー・チー・ミン(政治家 ベトナム 1890)
 ポル・ポト(政治家 カンボジア 1925)
 今日の名言
 「友たるものは、推察と沈黙の術にすぐれたもので
 あらねばならない」
 ニーチェ 『ツアラストラはこう言った』より
 - 1. 湘南にて...サタディースクールの愉快的なメンバー
 「ねえ！先生！今日は何をやるの？」
 「ピンホールカメラの用意してきたんだけど、
 あんまり天気が良くないねえ」
 持ってきたピンホールカメラのあれこれを見せ、簡
 単な授業。
 「ムシメガネで光を集めると、どうして丸くなって
 集まるの？」
 「蛍光灯の光は集めることができる？」
 あれれれ？どうして？そこが楽しいね。
 天気が悪いので室内でピンホールカメラを使う。露光
 時間を3分にしてみると...、「あれー！なんにも写って
 いない！」「いや、人間の影らしいのが写っているよ」
 露光時間をさらに長くする。

「5分でやってみようね」
 「えー！5分もじっとしているの？」
 昔の人は1時間もじっとしていたらしい。我慢我慢...。
 「鼻が痒くなってきちゃったよー！」
 「おれ、わざと動いて心霊写真みたいにしてよ」
 毎月2回、湘南に行くのが楽しみな木幡です。

2. 久しぶりのバスケット 新宿・テッシー
 今日のお散歩は、体育。コズミックセンターまでバ
 スケットをしに。去年に行ったときには、コートが
 空いていない状態だったので、今日は早めに出発。
 「じゃあ、ゲームをしよう。」
 とはいっても、 HALFコート。スペースがないこと
 もあるけれど、何より行ったり来たりがツライ...。
 始めて5分。
 「おれ、もう駄目...。」と、ぼく。だけど、そんな
 すぐには終わらない。みんなはやっぱり体力がある。
 ぼくもつられるように。
 最初のうちは、
 「シュートはいらねー！」って言っていたけれど、
 しばらくすれば
 「おっ、ナイッシュー！」と入るように。やっぱり
 飲み込みがはやいね。
 途中からは他のグループの人達と交代でコートを使
 ったので休み休み。
 「やろうよ。」と言われるのと、ダムダムって音を
 聞くと体が反応しちゃって参加。久しぶりの運動。
 やっぱりいいね。
 「明日、体中だめだな。」というぼくの言葉に、
 「明後日でしょ！」の返事でした。

3. 木幡、寝過ごす
 目覚めれば、すでに高崎...。あわてて新幹線に乗り、
 大宮で在来線に乗り継ごうかと思ったら、寝過ごして
 しまった。
 電話をかけずらく、メールで送れる旨連絡した木幡
 です。
 以下、かおりん。
 みんな楽しみピンフォールカメラ！(1)
 「どんなことやるのかなあ。」
 とかい君。初めての木幡さんの授業を待っている。
 「もう始まっちゃった？」
 とユータ君から電話。授業が始まっちゃたか確認
 するためだった。
 「ボラロイド用のフィルムがないんだけど、早めに
 行って授業ができないか、フィルムを買って行って
 遅くなるけれど、ピンフォールカメラの授業どっち
 がいい？」
 との木幡さんの電話に声を揃えてみんな
 「ピンフォールカメラ！」
 みんな楽しみ。しかし、待てど暮らせど木幡さんの
 姿は現れず。
 みんな楽しみピンフォールカメラ！(2)
 「木幡さんはどうしたんだろう？」とうわさをした
 頃...、一本のメールが...。
 このまま、遠くへ旅に出ます。
 どうやら、通り過ぎたらしい。しかし、次のメール。
 旅立った結果、熊谷に着きました。
 ホットー安心。と思ったのもつかの間
 そしてまた、孤独な男は旅に出るのであった。

なんてメールが...。
 「一体どこにいるのか...。」そんなやり取りのあと、
 木幡さん登場。
 「おっせーよ。」とみんなの声。みんなお待ちかね。
 新種のピンフォールカメラを携えて、授業が始まる。
 あいにくの曇天で写真はなかなかうまく取れなかつたけれど、みんな満足顔。
 今度は天気の良い日にやりたいね。

かい君入会

「あの、おっさんまだいるんかなあ。」
 と元気に外からフレネに戻ってきたかい君。
 「おっさんじゃなくて、僕は『こはたひろし』いい？」
 少し照れながら、「こはたたろうか。」というかい君。
 入会しました。熊谷の新しいメンバーよろしくね。

=====

===== デイリー・フレネ =====

----- VOL/0682----- 2003/05/20

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

1. 言葉を獲得する力
2. ゆう君の個人学習（新宿）
3. ものづくり クレープ・ゼリー（熊谷）

=====

今日はなんの日

1994 東京・中野富士見中学生の自殺事件で東京高裁が
 「葬式ごっこ」をいじめと認定

今日の花言葉

かたばみ「輝く心」

今日は誰の誕生日

王貞治（野球 1940 O型）

今日の名言

「音楽について話す時、一番いい話し方は黙っていることだ」

シューマン

- 1. 言葉を獲得する力

代表・木幡には、54歳にして2歳3ヶ月の孫がいる。会うなり「ギャー！」と泣くので、あまり会わないようにしている。先日、久しぶりに孫に会って驚いた。

絵本の読み聴かせをしているようで、字は全くわからないのだが、絵本の各ページに書かれている文章ををすらすら言うことができる。

五味太郎の絵本『うんち』をめくりながら、「立ってする！歩きながらする！しゃがんでする！」それが全部あっている。

言葉はまず、音から入ってくる。話し言葉、聴く言葉が先行し、それから書き言葉が来る。いわゆる、どこにその橋渡しがあるのか...。聴く・話す書くの「大分水嶺」はどこにあるのだろう？

もう一つ、驚いたのは、絵本の主語を自分に置き換えてしゃべっていたこと...。主語と述語を置き換えて物語を作っているに違いない。

他者とのダイアログ（対話）は人と人の中だけで行われるのではない。読み聞かせの重要性を、改めて考えさせられた。

しかし、孫は可愛いよ！

2. ゆう君の個人学習（新宿）

週2回の英語の授業。だけど、それ以外にも何かを

したいという子は多い。

ゆう君もその一人。

「おれの余り余った勉強意欲を何とかしてくれ！」

そんなで、授業とは別に「赤ずきんちゃん」を英文和訳。

物語は耳にしたことのあるものだし、家で一人でやってきているみたい。文法的なものよりもどれだけ自然に訳せるか。こっちに重点。

（そのために文法が必要なときももちろんある）

彼の訳してきたものを見てみると、これがなかなか良い。授業でやっていないところも何とも自然に物語りと化している。

例えば、

「Goodbye

Goodbye

の一節。

「行ってきます。」

「行ってらっしゃい。」

と彼の訳。とってもいい！

横で聞いていたたかちゃんも、素晴らしい訳を作ったり。まだ英語の授業を受けていないのにすごい！他にも文字面にとらわれない、いろんなニュアンスを汲み取った訳がたくさんでした。

3. ものづくり クレープ・ゼリー（熊谷）

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>

今日のものづくりは、クレープにゼリー。何度かやっているのもうおなじみ。みんなも手馴れたもの。今回のクレープは、クレープ屋さんで使っているような生地を伸ばす木の道具を作ろう！なんていっていたけど、そんなことはどこかへ押しやられ、気がつけば、みんな食べるのに夢中。

「吉田さんの生地欲張りですね。」とエリ君。

ちょっと厚めに焼いてしまったただだよ。

そんなエリ君は、

「余った生地全部使っていいですか。」

とクレープとは思えない分厚さのもの。しかも、バナナ丸ごと。なんとも、一番贅沢なクレープ。ゼリーはミルクゼリーをつくった。今日は固まらないのでまた明日のお楽しみ。どんなゼリーができるかな。

=====

===== デイリー・フレネ =====

----- VOL/0683----- 2003/05/21

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

1. いろいろな出会い 公立小で授業
2. ミーティングで決まったこと 新宿・テッシー
3. 虫かごを作る 熊谷・かおりん

=====

今日はなんの日

1869 京都に日本初の小学校開校

今日の花言葉

ひえん草「自由」

今日は誰の誕生日

サハロフ（物理学者 ロシア 1921）

今日の名言

「自由とわがままとの境は、他人の妨げをなすと

なさざるとの間にあり」

福沢諭吉『学問のすすめ』より

1. いろいろな出会い 公立小で授業
東京都内の小学校校内研究会で教員向けに模擬授業
& 講演。定番の「ジャガイモは水に浮か Salt Power」と「必殺！大根切り」。

なんと28年ぶり！

理科室で授業をしたのだが、教員の中の一人に見覚えが…。研究会の担当者に聞いてみる。

「なんか、見覚えがあるんだけど、青学出身じゃない？」「えっ！ええ、そうなんです」

やっぱり！大学の後輩だった。ぼくは途中、あちこち放浪したりしていたので、卒業は彼が1年先。

会の最後に司会者発表！

「今日、新たな事実が判明しました。Aさんと木幡さんは大学の先輩後輩です」

「えー！」

結構受けました。かれも気づいていたとのこと。

「A君は、ボクシングやったりしていて、結構変なやつでした」(ボクサーのライセンスを持っているんです)

「木幡さんも変な人でした」(爆笑)

いやはや、28年ぶりの再会。懐かしさがこみ上げました。

お子様は正直

会場の理科室は1階にある。校内に学童保育があるので、お子様達アイスなど食べながら、理科室の窓に顔を寄せて、授業を見ている。

大根をタコ糸で結わえつりあわせ、「さて、どちらが重いか？同じか？」教員は22名中17名が「重さは同じ」と答える。

「じゃあ、子ども達にも聞いてみましょう」

教員が窓のそばに行くと、叱られると勘違いした子ども達、さーっと逃げる。

「ちょっと協力してね。どっちが重い？それとも同じ？」

「ぶっといから、こっちが重い」

「長いからこっちが重い」

「つりあっているから同じじゃない」

つりあっているところを包丁で切って、秤で計ってみる。

秤の目盛りを覗いた子ども…、「えっ!？」

意外な結果に目が点になっていました。

子どもは正直。反応が直裁的。学びは「驚き」からスタートする。

2. ミーティングで決まったこと 新宿・テッシー

今日はミーティングの日。議長は久々木幡さん、書記はとうこちゃんでした。

1. 小さい子への対応について

これはぼくから。最近、大きい子から小さい子への対応がとても気になる。いろいろな原因があるのだけれど、先週のデコピンの件なども。

「言うことを聞かない、迷惑なことをするからといってデコピンとかってしていいのかな？もしも、5時以降にみんながなかなか帰らないからといってぼくが叩いてみんなを帰そうとしたら、これは体罰っていうものになるよね。」というところからいくつか話。

もちろん、ゆっくり説く姿勢の子もたくさんいる。その姿は、見ているぼくに自分のことをふりかえさせるくらい。お互いにいい所は真似していけたらな。

木幡さんから。

「フレネでは弱い立場の人をひいきするよ。どんなこ

とがあっても暴力はなし。」といったことを確認。

2. 下ネタ禁止について

先週、男の子達を集めてぼくから話しておいたこと。みんなは了解していたけれど、「あまり改善されていない」との声も。

なので、木幡さんから再確認。

「フレネというパブリックな場所では話していいことではない。電車の中とかで話せる内容じゃないでしょ。」というところから。

男の子だったら必ず一度は通る道。だけど、やっぱり話をする場所、相手ってというのは気にしなければならない。先週の「フレネで音楽を聞いていいか」という件と同じようなことじゃないかなと。

3. 虫かごを作る 熊谷・かおりん

帰ろうとしたら、ゴロゴロゴロとなんと夕立。

外は真っ暗。今年初の雷。梅雨入りかなぁ。

「おれ、今日は虫かごをつくる。」

とかい君。机には図鑑が広げられている。図鑑には、かぼちゃで作った虫かごの図。

「じゃあ、かぼちゃ探しの旅に出るから。」

と八百屋に買いに出かけていった。大きなかぼちゃと一緒に帰ってきたかい君。かぼちゃをくり抜き、くしを挿して出来上がり。

「かぼちゃが硬くて、くしを刺す穴が開かない。どうすんべえ。」と言っては、錐を使ってみたり、あれこれ試行錯誤。

とてもパワフル。自分でやろうとする姿は、勢いがあるし、見ていてこちらも楽しくなる。わたしも見習わないと。

天気のせいなのか、今日は帰り際は3人になってしまった。静かなフレネはやはりさびしい。明日は天気もいいようだし、みんなきてくれるといいなあ。

=====

===== デイリー・フレネ =====

----- VOL/0684----- 2003/05/22

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

- 1. なんと正夢!?
- 2. 算数パズルでノリノリ 新宿
- 3. 埼玉県人必見! 「キューボラのある街」

=====

今日はなんの日

1898 キューリー夫人がラジウム発見

今日の花言葉

ライラック「愛の芽生え」

今日は誰の誕生日

ナイチンゲール(看護婦 英 1820)

武者小路 実篤(作家 1885)

今日の名言

「こどもは眠っているときが一番美しい」

キェルケゴール『不安の概念』より

- 1. なんと正夢!?

公立小学校での授業終了後、これまた恒例の飲み会。4時間半ぶっ通して飲んで、酔っ払い…。寝覚めが悪い。悪い夢を見た。

場所は新宿・ジャパンフレネ。みんなで使うテーブルにワインオープナーで穴をあけたやつがいる。フレネ

の子ども達の他に、明星学園時代の教え子Mちゃんもいる。やっぱり、夢なんだ...
 「誰だー！穴をあけたやつはー！」
 ぼくは、かんかんになって怒り、くどくど説教をたれている。嫌な夢だなあ...
 そして新宿に来てみれば、「誰、これをやったのは？」と、テッシー。
 みんなで使う大きなテーブルに、誰かがガリガリといたずら書きを彫っている。
 「ご免なさい。でも、私だけじゃないし。これって小学生っぽい言い訳だなあ。」
 正夢だった。しかし、現実では、くどくどと説教はしませんでした。

2. 算数パズルでノリノリ 新宿

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>

「やる子いない？」
 「知ってるからいいや。」といった調子で小人数で始めたパズルの授業。
 だけど、気がつけば大きい子も小さい子も入り交じっての奮闘。
 まずは、「ガチョウとタマゴ」のパズル。一工夫でOK。これはみんなあつという間。
 問題は次の「かわいいパズル」なるもの。魚のような形の紙を二回はさみを入れた後に正方形に。とってもシンプルながらこれは難しい。
 「長方形はできたんだけど。」
 「ん。でも、正方形もできるんだよ。」
 「わかんねー！」
 大きい子はホワイトボードを使って次第に論理的になってくる。この過程が大事。あとは、出題者からこの論理的試行錯誤を後押しするヒントを出すだけ。
 正方形の特徴、三つに分けるといことはどういうことなのか、などなど。
 「ん！？」と、山ちゃん・ゆう君がホワイトボード上でついに核心に。急いで紙を用意していると、
 「できた！」と、一番乗りはそれを見ていたボラ・さかのさんでした。みんなブーブー。
 「ごめん、できちゃった。」って。
 端から見ていて何ともおかしいーコマでした。

3. 埼玉県人必見！ 「キューボラのある街」

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>

木幡さんオススメのビデオの鑑賞。
 木幡さんが選んだのは「キューボラのある街」
 舞台は川口。「埼玉県人ならこれを見ないと！」と。とはいえ、昭和37年の作品。しかも白黒。
 「誰も知っている人出てないよ。」
 「これって、面白いの？」の声多数。
 始まって、2分の時点で
 「さっぱり意味がわからねえよー。」とかい君。
 まだ始まって2分だし...。とはいえ7歳のかい君にはさっぱりなビデオだよねえ。他の子達も...。
 時代背景や状況などわかる範囲で解説を加えながら、見ること100分。寝ることもなく終了よくがんばりました。
 一番盛り上がったのが、大宮駅が出てきた瞬間。
 「あ、大宮駅だ！当時も隣は宮原なんだ。」
 「来週お散歩で行くんだよね！」って。

100分ある映画の中で、これもまたさびしい気がするけれど、自分に身近なものには興味が行くんだね。
 みんなは退屈そうだったけれど、私は吉永小百合の演じるじゅんの姿が印象的だった。
 何かが起きて、どちらか一方の意見で決め付けるのではなく、お互いの話を聞きすすめていこうとする姿。希望する全日制の高校にいけずとも、社会で学ぶことはたくさんあり、勉強だって学ぼうと思えば定時制で学べる。貧しい家のため、家族のためというわけではなく、何より自分のためにそうしたいのだ。という。その表情はとても輝いていた。
 誰かのために何かをするということは限界があると思う。自分がどうしたいのか、自分は楽しんでやっているのか、ここが何事も出発点なのかもしれない。

===== デイリー・フレネ =====

----- VOL/0685----- 2003/05/23

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

- 1. 笛吹けど、ならず...
- 2. お料理対決 日本的VS エスニック
- 3. 進む、沖縄計画！ 飛ぶ教室

=====

今日はなんの日
 1543 コペルニクスが地動説発表
 今日の花言葉
 草の芽「初恋の思いで」
 今日のは誰の誕生日
 サトウ・ハチロー（詩人 1903）
 今日の名言
 「人間は、努力する限り、迷うものだ」
 ゲーテ『ファウスト』より

- 1. 笛吹けど、ならず...
 「フォルクローレのバンドを作って、『エル・コンドル・パサ』を演奏しよう！」
 そのためには、何がなんでも楽器だ！というわけで、名古屋の専門店からサンポーニャ・ケーナを取り寄せたのだが...。
 「笛、吹かせて！」
 とうこちゃんが笛を吹く。すかー...。
 「ぼくにも貸して！」木幡、すかすかすかー...。
 「あーん、私に吹かせてよ」
 「だめー、べろべろべろ」と笛をなめる。
 「もう！最低！」
 ミッキーも「俺が吹く」すかすかすかー、すかすかすかー...。「うううー、頭がくらくらする。貧血だ...」
 まっつあん、頭をプルプル震わせて...、すかすかすかーの、ぴろぴーろ！
 「おっ！音が出た！痙攣させると出るのかなあ？」
 結局、音が出たのは、まっつあん「フルートやってみる」という、とうこちゃんのみ。
 フォルクローレへの道は、険しいのじゃ！

2. お料理対決 日本的VS エスニック

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>

お料理ーカレーうどん&餃子（新宿）
 今日のお料理は手のかかる二本立て。餃子は今までに作ったことがあるけれど、炊飯器のご飯と一緒に

ったかな。
 まずは餃子作りから。下準備、包む、焼く。この作業が
 なかなか大変。
 そんな一苦労の中、ジーコは手際がいい。
 「！これ誰が包んだの??」
 「あー、オレ。」って具合。
 焼くのもうまい。フライパンで油、水、蒸す…。ちゃんと知ってる。
 「よく作るから。」
 あっさり言ってたけれど、やっぱりすごいね。
 カレーうどんは簡単と思いきや、餃子と並走だと大変。ダシ、カレー粉で味付けなど…。一時はどうなるかと思ったけれど、ボラ・なおちゃんを中心に進めて出来上がりは素晴らしい。お店で売っているものに引けをとらないほど。
 「おかわり、いい?」という子もたくさんでした。
 あとは片付け。まっ君が一人奮闘。これはミーティング議題だね。作るのは協力できているんだから、片付けも協力できるはずだよ。
 お料理の授業 生春巻き・ナシゴレン(熊谷)
 今日のお料理は「生春巻き」ベトナムの料理。「生春巻きだけじゃあ。」とナシゴレンも。ナシゴレンはインドネシアの料理。ナシ= ご飯。ゴレン= 炒めるつまり、炒めご飯。
 材料をきって、生春巻きは巻くだけだし、ナシゴレンは炒めるだけだし、簡単!なんて思ったけれど、人数の少なかつたのあって、時間がかかった。初めての料理だし、あれこれ試行錯誤。ひとつの料理をじっくりやるほうがいいのかもなあ。
 お湯で戻したライスペーパーに、レタス・豚肉・もやし・ピーマン・生のにら・エビをくるっとくるめば、生春巻きの出来上がり。
 単純そうだけど、ライスペーパーが破けたり、具がはみ出たりなかなか大変。てこずったけれど、しゅん君が作った特製のタレとよく合う!すごくおいしい。
 「意外においしいね。」
 「食べたことないんだけど、こういう味?」
 「お店のと変わらないよ!おいしい。」
 「水野さんもおいしかったって。」と好評。
 しゅん君の作ったタレはお持ち帰りの子もできるほどだった。時間がかかったけれど、その分おいしいお料理でした。
 3. 進む、沖縄計画! 飛ぶ教室
 「男の子は、『自分たちでコースを決める』って言うてるけれど、来週火曜日までだから、できないでしょう。女の子のやりたいことは『ちんすこう』作りです」
 なんて、他人事みたいに言っているあきちゃんですが、計画は着々と進んでいる。あきちゃん・とうちゃん・もえちゃんの実行委員、「鳩間島の子ども達と交流したいね!」
 うーん、レベルアップしてきたなあ。
 「木幡さん、図書館に行って沖縄の本を借りてきませーす!」
 いいねえ、いいねえ!よろしくたのみます!

=====

===== デイリー・フレネ =====
 ----- VOL/0686----- 2003/05/26

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

1. 二連発のお授業 in 日高&芝浦
2. お散歩 - 警察博物館 新宿・テッシー
3. 熊谷お授業特集 かおりん

=====

今日はなんの日
 1963 大相撲の大鵬が史上初の六場所連続優勝を達成
 今日の花言葉
 オリーブ「平和」
 今日は誰の誕生日
 ジョン・ウエイン(俳優 米 1907)

今日の名言
 「哲学者たちにとって最も難しい仕事のひとつは、思想の世界から現実的な世界の中へ降りていくことである」

マルクス、エンゲルス『ドイツイデオロギー』
 - 1. 二連発のお授業 in 日高&芝浦
 「授業しに来てよ!」「いいよ!」

ってな感じで、木幡どこにでも行きます。先週は、水曜日の国立に続き、日高市(埼玉)・芝浦(東京都港区)でお授業。

土曜日、日高市は公民館主催で子ども&保護者対象。「何人ぐらい参加するんですか?」

「そうですねえ。多くて30人ぐらいでしょうか」
 しかし、いざふたを開けて見ると…、来るは来るは…。80人を超える参加者。ギャラリーが多いと、木幡、張り切り切ります。定番「大根きり」、「ボールころりん」、「Salt Power」で、みんなのりのり。大道芸人と同じです。

今度、新宿の歩行者天国で授業しようと思っています。本当です。

日曜日は芝浦でNPO法人の総会に呼ばれました。ここは地味で20数人。教材を媒介にしてダイアログすることの意味を授業を介しながら話してきました。東京駅大丸で買ってきた無農薬大根を使っの「大根切り」。いい教材は子どもにも大人にも通じます。授業に呼んで下さい。どこにでも馳せ参じます。

2. お散歩 - 警察博物館 新宿・テッシー

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>
 京橋の駅から歩いて一分のところだけど、久しく銀座とは縁がなく、右に行つていいのやら左に行つていいのやら。

何とか到着すると、入り口には白パイのお出迎え。「おー!かっこいい!!」
 もちろんまたがることもできるし、ウインカーやサイレンも動かすことができる。

(もちろん音はでないけど)
 中は昔の制服やらの展示、それにシミュレータ。「なんか夢に出てきそうで怖い。」というのが明治時代の警察の制服。明治時代はそういうイメージなのかな。

車のシミュレーターは「こどもはできません」の張り紙。なんでも動かしか方を覚えては危ないというものの。ひざの上ののっけて運転。

教習所にあるようなものなので、事故が起こるよう
にできている。ぼくなんて、気がついたら後ろから
追突されていたり。一番うまかったのはゆう君でし
た。

帰り際には係りの人に子供用の制服を貸してもらっ
てりょうすけの撮影会。

「これ、気に入った！欲しい！！」

大きめのヘルメットがかわいかった！

3. 熊谷お授業特集 かおりん

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>

熊谷での授業終了後、かい君と木幡、大根をかじり
ながら二人で記念写真。これがまた、笑えるんです。
今までの最高の記念写真です。上記 [http](http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm) をご覧下さい。

(木幡)

大根の授業

大根をタコ糸で結んで、つりあわせ、

「さて、どちらが重い？同じか？」

「太いから、こっちが重い」

「つりあっているから同じじゃない」

さてさて、結果はいかに！？つりあっているところ

を包丁で切って、秤で計る。みんなの目は真剣。

秤の目盛りをじっと見つめる。意外な結果。

「じゃあ、なんでこういう結果になるの？」

木幡さんの説明も聴き入る。

モーメントとお！！！！

「物理のことばで、このことは『モーメント』とい
う

んだよ。」いい？かい君？」そして、すかさず、

「モーメントおーーーーー！！！！」

と叫ぶ木幡さん。それに反応して、かい君も、

「モーメントおーーーー。」

なかなかいいコンビ！？実験で使った大根も2人で

丸かじりして、きょうのスペシャル授業はおしまい。

かい君の本日の感想には、「もうめんと」の文字。

衝撃的だったのかな。それとも、(笑) 撃的かしら。

元気

木幡さんの帰ったあとで、ボソッとかい君。

「あの人元気だねえ。」(笑)

一日中動き回る元気なかい君からでてきた台詞。

木幡さんはかい君以上だった。

パズル

水曜日、新宿で白熱した「ガチョウと卵」のパズル

と「かわいいお魚」のパズル。熊谷でも白熱。

「新宿の子は30分で出来たらしいよ。」と木幡さん。

「じゃあ、負けないようにするぞ。」ときぐちゃん。

5分経過。「俺できましたよ。」とボラたかさん。さ

すが物理学科！？みんなもそれに続けと試行錯誤。

將軍？

部屋中を動き回るかい君。そして、よくしゃべる。

「暴れん坊將軍だね。」としゅん君。

「『將軍』じゃなくて、『少年』じゃない？」

と横からきぐちゃん。

「暴れん坊少年！」みんな爆笑。

=====

===== デイリー・フレネ =====

----- VOL/0688----- 2003/05/27

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

1. 休養の一日

2. ベッコウ飴作り 新宿・テッシー

3. ニジマスはおいしい！ 熊谷・かおりん

=====

今日はなんの日

1997 神戸市須磨区の中学校正門前で小学6年生男児の

切断された頭部発見、酒鬼薔薇事件が起きる

今日の花言葉

ひなぎく「無邪気」

今日は誰の誕生日

キッシンジャー(政治家 米 1923)

今日の名言

「成功者になろうとするのではなく、価値のある人間に
なろうとしなさい」

アインシュタイン

- 1. 休養の一日

木幡、またまた、持病の腰痛…。しかし、面談があ
るので這ってでも新宿に行かなければならない。

面談中、とうこちゃんがやって来た。

「木幡さん、数学の授業終わった？あ、まだ！良か
った！少し遅れちゃったからもう終わったかと思っ
て心配してたの」

待ってくれる人がいるのなら、これまた、授業もや
らなければならぬ。やまちゃん、とうこちゃんに
平方根の授業。まっつぁんとにったんも聴いている。

50分授業をやってから、木幡、リタイア…。

「気をつけてね！」「お大事に！」

優しい言葉に木幡、うるうる…。

整体院に行ってから自宅で休養していたら、電話
のベル…。あきちゃんから伝言。

「木幡さん、鳩間島の小中学校と交流をやるので
連絡しておいて下さいね」

やる気満々だなあ。木幡、休む暇なし…。

2. ベッコウ飴作り 新宿・テッシー

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>

今日は、あきちゃんのリクエストで飴作り。

「家で作るには少し大変だから。」と。

朝日新聞のレシピを見ながらの挑戦。

材料は水飴、ザラメ、抹茶に水。

鍋で熱して練るだけというシンプルなものづくりだ
けど、シンプルすぎて難しい。

分量もしっかり量って、焦げ付かないように鍋で

良く混ぜる。ここまでは順調。

「泡が細かくなってきたら…、ってこのくらい？」

「…。とりあえずやってみようか。」

やっぱり、加減がわからない。

初回は溶けた飴が練る前に固まってしまって失
敗。

「でも、味はおいしいよ。」

そう。形は別として、売っていきそうな味。

二回目は最初の失敗を活かして早めに練る。

初回とは違う色に仕上がりに。見本の写真と同じ

色。形はやっぱり難しかったけれどね。

余った水飴はみんな割り箸で練る練る…。

「懐かしいなあ。」なんて声。

今日は片づけもしっかりでした。よかった！
3. ニジマスはおいしい！ 熊谷・かおりん

http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm
かい君、クーラーボックスを持って登場。
「俺、十何匹も釣ったんだ。お父さんは2匹。」
蓋を開くと13匹のニジマスがたくさん。週末釣りに行ったらしい。
「ニジマスは、お腹ににじの模様があるんだよ。」と図鑑も見せる。
七輪を持ち出してニジマス焼き。ぱたぱたぱた。魚を焼く煙が広がる。
「何を焼いているの？」と道行く人が尋ねてくる。
「俺が釣った、ニジマス。」とかい君も得意顔。塩をつけていい焼き上がり。
「ちょっと、つまんじゃだめ？」と聞いても、
「みんなが来てから食べるんだよ。」って。
運動を終えて帰ってきた、みんな。
「うわー。すげー。うめー。」
ススマミレになったけれど、このひと言で吹っ飛んだね。
おいしかった。ごちそうさまでした。

=====

===== デイリー・フレネ =====

----- VOL/0689----- 2003/05/28

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

- 1. 夏の合宿地、決定！ 照明のワークショップ
- 2. 実行委員、続々決定 新宿・テッシー
- 3. 地図を作ろう！ 熊谷・かおりん

=====

今日はなんの日
1953 イギリス登山隊のヒラリーとシェルパのテンジンがエベレストに初登頂
今日の花言葉
むらさきつめ草「快活」
今日は誰の誕生日
美空ひばり(1937)
ジョン・F・ケネディ(政治家 米 1917)
今日の名言
「その人の性質は、自分自身に課している規範に表れているものです。」

レイ・ロック(マック創業者)

- 1. 夏の合宿地、決定！ 照明のワークショップ
恒例の夏合宿の日程と会場が決まりました。学校でもフリースクールでも「楽しい授業を！」を目指して活動するジャパンフレネ主宰の合宿です。
今回は、収容人員の関係で宿泊参加者を20名に限定せざるをえません。デイリーフレネの読者に限り、先行申し込みを受けつけます。参加希望者は、メールにてジャパンフレネまでお申し込み下さい。

【授業作りの会「BASIC」夏合宿】

日程
2003年7月26日(土)午後2時~27日(日)正午
会場

[旅の宿「ほたる」]
山梨県南巨摩郡増穂町小室1737-17
Tel 0556-22-6654

全館貸切 富士山が一望できる里山の民宿。里山懐石を堪能できます。JR身延線諏訪口駅・市川大門駅より送迎あり。

内容

[ワークショップ「あかりのレシピ」]

発光ダイオードを使い、ひとのところに優しい「あかり」を実際に作るワークショップです。参加者全員で作成し、発表会を行います。

[授業レシピの配布]

今まで作成した授業レシピ(冬に三分の一配りました。今回は、また三分の一、およそ100本)を参加者全員にお配りします。これだけで、大きな財産になります。

[おもしろ授業レシピの検討]

どこでも楽しめる「授業レシピ」をみんなで検討し、実際にやってみます。

参加費

1泊3食飲み放題、ワークショップ材料費・授業レシピ印刷実費込みで1万5千円

申し込み方法

メールにて住所・氏名・年齢・電話番号をご連絡下さい。

2. 実行委員、続々決定 新宿・テッシー

今日のミーティング、議長・まっくん、書記・とうちゃんでした。

1. 8月のキャンプについて

毎回キャンプといえ一泊二日。だけど、「二泊したい。」という声があるので、実行委員を募って計画次第ということになりました。

「誰か実行委員やってくれる人いないかな？」

「実行委員チックなのやる。」とまっつぁん。

「チックじゃなくて、実行委員やってよ。」

「しょーがねーなー。」

ということで、キャンプの実行委員はまっつぁんと、まっくんに決定。

ミーティング終了後にさっそくキャンプ場を調べていました。この調子！

2. 9月の飛ぶ教室について

「これもそろそろ動き出さなきゃならないんだけど、やっぱり実行委員をだれかにやってもらいたんだよ。」

「...」

「場所もまだ決定されていないから、ココってというのがあったらきめられるんだよ。」

「おれ、いろは坂に行きたい！」

とまたまたまっつぁん。

「日光？いいねえ。」

「日光じゃなくて、いろは坂に行きたいんだよ。」

ここで、一つ確認。

「飛ぶ教室っていうのは、学校でいえば修学旅行。学校だったら先生が大まかに決めてすむことが多いけれど、フレネでは一からみんなで決めて欲しいんだよ。」

とりあえずは実行委員にまっつぁん、あきちゃんが立候補してくれて一段落。

沖縄のことで忙しいけれど、その後にも行事がある。そろそろ動き出さないと間に合わない。来週にはある程度の提案を出してくれることを確認しました。

3. お料理に片付けについて

「お料理のあとの片付け、ちゃんとできていないよね。いつも同じ人がやってるんじゃない？」
無反応。
「この前は、まっくん、その前はゆうくと山ちゃん。片付けをしない子は全くやっていないでしょ。」
「片付けを係制にしたら？」との声。
「それでもいいんだけど、本当はみんなが協力し合っているのが一番良いと思うんだけど。お料理は給食じゃないんだから、最初から最後まで自分達でやるべきなんじゃない？準備の楽しい所だけやって、食べて、おしまいでもいいの？そういう人は食べる権利もなくなるんじゃない？」
「給食だって片付けはするよ。」という声まで。
「やりたいことだけっていうわけにはいかないんだよ。誰かがその代わりをし続けるのは良くない。」
というところで一段落。
今度のお料理でどうなっているかな。期待したいです。

3. 地図を作ろう！ 熊谷・かおりん
「フレネの隣に何かがあるか知ってる？」
「なんか工場だよな。」
「じゃあ、フレネの隣の隣は何があるかな。」
「なんだったっけ？？？」
「フレネの向かいには何かがある？」
「あ、焼き鳥屋さん。」と外に出て見るかい君。
自分の記憶の糸をたどりながら、地図を書いてみる。
毎日通いなれた道だけれど、いざそう聞かれるとなかなか思い出せない。
「いつも買いに行くフライ屋さんの名前ってなんだっけ。」
「なんか、お店があったような。」
ある程度かけたら、みんなで話し合い。
「あ、ここはこのお店か。」
「ここって、こうだったっけ...。」
さてさて、答えはいかに？外に出て実際に確認。
「こんなところに、こんなお店が！」
「歯医者さんがあるよ。」
「ミシン屋さんがある。」
「ここって、こういう名前のお店だったのか。」
ご近所再発見！ふだん見慣れた景色も違ったものに見えてくるね。今度はいよいよ地図づくりだ！

=====

==== デイリー・フレネ =====
----- VOL/0689----- 2003/05/29

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

- 1. 新宿の子ども達あれこれ
- 2. 六角ナットのパズル 新宿・テッシー
- 3. お散歩の授業ー大宮公園 熊谷・かおりん

=====
今日はなんの日
1953 イギリス登山隊のヒラリーとシェルパのテンジンがエベレストに初登頂
今日の花言葉
むらさきつめ草「快活」
今日は誰の誕生日
美空ひばり(1937)
今日の名言
「腐敗した善から立ち昇る悪臭ほど胸の悪くなるものはない」

ソロー『森の生活』より

- 1. 新宿の子ども達あれこれ
忙しいと子どもの様子がわからない、伝わってこない。ほんの少しでも子どもと対話するととっても楽しい。
久々の子どもとのダイアローグ。

カットワカメ
「木幡さん、遅れるから数学の授業先にやって下さい」とうこちゃんから電話。
「今、お料理しているから、授業は午後からね。どうしたの？」
「亀の甲羅干しをしていて、そのままにしてきたから、代々木上原から家まで戻ったの」
とうこちゃんは、小田原に近い小田急線沿線から通ってきているから、大変。
「それで亀はどうだったの？」
「水をかけたらカットワカメみたいに動き出したの。良かったあ！」

辞書で調べたら...
「ねえ、『絶倫』って、どういう意味？」
まっくんがミッキーにきいている。
「シモネタやめろよ」とミッキー。
おいおい、シモネタ系とは違うぞ。
「それはねえ、『強い』とか『優れている』という意味だよ。辞書で調べてみたら？」
「めんどくせー」ということなので、木幡が調べてあげました。

【絶倫】
才幹が普通の人の水準から飛び抜けて優れている様子。
「武勇・(精力) -」

「えっ！『性欲』!？」
「違うよ、『精力』」
「ああ、ビックリした...」
男の子、お年頃です。

ゴーヤチャンプル
「チャンプルは沖縄の言葉で『炒め物』っていう意味ね。ゴーヤは『ニガウリ』のこと。キャベツのチャンプルは、『タマナーチャンプル』、もやしのチャンプルは『マーミナーチャンプル』」
木幡、うんちくを傾けながら、必要な材料を確認。
本日のお料理は、ゴーヤチャンプル・ワカメのみそ汁・杏仁豆腐。

「おれ、みそ汁作る！」ドラゴン、率先して調理。
ふみがちゃんもお手伝い。
ゴーヤを手にとって、ひいちゃん、「これ、ナウシカに出てきた『オウム』に似ている」
言われてみりゃそうだ。ああ、お腹が空いてきた...

2. 六角ナットのパズル 新宿・テッシー

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>
今日のものづくりは、先週から続いているパズルシリーズ第2弾。
先週のパズルはコピーだったけれど、今回は作るのが少し大変。六角ナット4つを接着剤でつけること7パーツ。しっかりくっつくまでに時間がかかる。作った7つのパーツを別に用意した枠に収めるとい

うもの。
 解きながら「あっ、とれた。」ということが多々あり。
 一番乗りは山ちゃん。横でけんご君が接着し直しているものを想定しての回答でした。
 小さい子にとっては、パズルを解くより作るほうが楽しかったみたい。
 先週のパズルをやらなかつたふみかちゃんは、一週後れで挑戦。ガチョウのパズルはできたけれど、かわいいパズルにはやっぱり苦戦。
 「結構むずかしい...。」
 試行錯誤しているのを横で見ていたぼくを見て、「なんか楽しそう。」って。
 時間がなくなったので家で解いてくることに。答えを一応封筒に入れて渡しておく、
 「ちゃんと糊付けしといてください。」
 この気持ち、いいなあ。
 3. お散歩の授業—大宮公園 熊谷・かおりん

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>

昨日のジメジメした天気は嘘のようないい天気。お散歩にはもってこい。今日は久々に高崎線を使って、大宮公園へ。桜の名所としても知られるだけ合って、桜の木が多い。今は、葉っぱが青々としている。
 風が気持ちいい。木漏れ日がきれい。
 外で食べるご飯は何よりおいしい。
 天気もいいと気分もいい。
 全員揃ってなお楽しい。

カメ
 池で何やら動いている。なんだなんだ？
 「あ、かめた。」
 カメがすいすい。攻撃するかい君にカメはすばやい動き。カメは、想像するよりもはっこいようだ。
 いい？
 お昼を食べれば、みんな遊びだす。フリスビーにバトミントン。みんなそれぞれに白熱。ただ、ゲームを進める上で、やっぱりかい君は不利な点が多い。相手は体の大きなお兄ちゃん。
 そんな中で、お兄ちゃんみんなが
 「かい君には、ちょっとハンデをあげようよ。」
 「線はこの位置でいいよね。」とやり取り。
 特に私がお願いしたわけでもない。
 見ていてとても嬉しくなる光景だった。

きっぷ
 遊びつかれて、お疲れモード。帰りの電車はみんなぐったり。やっとのことで熊谷に着いた。
 (熊谷は今日28 まで気温が上がったとか...)
 「かい君、切手は？」とスタかおり...。疲れているのか「切符」と「切手」を間違えた。
 「切手じゃ、電車乗れないよ。」と突っ込まれるが、当の本人かい君は、
 「え、何？俺に何か送ってくれるん？」(笑)
 切手を貼って何かを送ってもらえると思ったらしい。
 外で遊び回ったし、天気もよかったので疲れも倍増かな。ゆっくり休んで、今週ラストスパート。

=====
 デイリー・フレネ
 =====

----- VOL/0690----- 2003/05/30

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////
 1. お料理な一日
 2. ゴーヤチャンプル&杏仁豆腐 新宿・てっしー
 3. お料理の授業 ピザ 熊谷・かおりん

=====
 今日は何の日
 1431 フランスの英雄的少女、ジャンヌ・ダルクがイギリス軍の手で処刑
 今日の花言葉
 ライラック「あいの芽生え」
 今日は何の誕生日
 ダンテ(詩人 伊 1265)
 今日の名言
 「幸福で明るい負け犬ってのを見せてくれよ。そうしたら俺だって負けてやるぜ。」
 ヌート・ロックニー(大学フットボールの伝説的コーチ)

- 1. お料理な一日
 木幡、久々にお料理に挑戦！ゴーヤチャンプル！
 木幡 さき&あき テッシーと3回、調理人が変わる。それぞれのおいしさだが、やっぱり自分が作ったのが一番おいしい！と、思ったのはぼく1人かな？
 木幡作 豆腐入れ忘れるも、しょうゆの隠し味グー！
 さき&あき作 豆腐の甘味がいいね！
 テッシー作 泡盛のうまみが出ていてグー！
 杏仁豆腐では、木幡が失敗...。
 「一口、味見させて！」
 すくって食べようとしたのだが、ドラゴンのノートにぼったり...。
 「ひでー！」
 「ごめんごめん。また汚すといけないからしまっておくね」
 ノートを重ねたのだが、もう一冊のノートにも杏仁豆腐が落ちていたのだ！
 「もー！木幡さん、最低！」
 お料理楽しけれど、木幡、あいかわらずのおっちょこちよい...。

2. ゴーヤチャンプル&杏仁豆腐 新宿・てっしー
<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>
 今日のお料理は二本立て。
 まずはゴーヤチャンプル。みんな買い出しの後、さっそく準備。切るものは少ない。木綿豆腐は水を抜いて。後はご飯が炊けるのを待ちつつ炒めるタイミングをはかるだけ。
 「じゃあ、最初はやらせてね。」と木幡さん。
 「んーなかなかおいしい！」
 次はさきちゃん、そしてあきちゃん。最後にぼく。ぼくは以前に余っていた泡盛を味付けに。
 「ファイヤーしてるところ、写真にとらせてよ。」と、ゆう君。
 味はそれぞれにおいしかった！だいたい自分の作ったものが一番おいしいという傾向があったかな？杏仁豆腐は、ふみかちゃんが担当。手際よく準備をして冷蔵庫へ。みんなの食事が終わった後に完成。
 「おいしい！」ぼくはおかわりまで。既成のものとはやっぱり違うなあ。

今日の片付けはみんなでかわりばんこに。この前のミーティングの結果かな。最後までみんなで完了できました。お疲れ様！！

3. お料理の授業 ピザ 熊谷・かおりん

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>

今日のお料理は「ピザ」もちろん生地から作る。イースト菌を発酵させて、生地が膨らむ。気温が高いせいもあって、(今日は30 だとか...)
ガス抜きをしてもまだ膨らむ。イースト菌も活発。みんなも元気。どんなピザができるかな。

粉まみれ？

生地を作るのはなかなか大変。うどんとは違って、菌を発酵させるために28 ぐらいまで生地をこねて温めなくてはならない。なかなか大変。気がつけばみんな粉まみれ。

「粉がついているよ。」

とユータ君に、教えてもらったかい君だけど...。おしろい？といわんばかりに顔じゅうに小麦粉を!!! 粉まみれなのか、粉にまみれにいったのか。傑作!?

フル稼働

生地を薄くのばしてトッピング。くるくるくるとピザ職人のようにうまくはいかないけれど、なかなかいい出来。

トマト・マッシュルーム・ベーコン・ウインナー・玉ねぎ・ポテト・ピーマン・シーフード...など。

お好みの具をトッピング。

かい君はお得意魚のピザ。しゅん君は生地を薄く伸ばしてぱりぱりっと。

みんなそれぞれ、味の好みが出ている。

「おいしー。これ誰が作ったの？」

「このピザの味、あたし好き！」

とお互いのピザを誉めあいながら、おいしいひととき。

来月は何を作ろうかなあ。

- - - - -

デイリーフレネは月～金の平日刊です。

台風が接近していて空模様が怪しい。

木幡、原稿の校正に終われる週末です。

では、楽しい週末を！チャオ&ラブ！

=====

===== デイリー・フレネ =====

----- VOL/0691----- 2003/06/02

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

- 1. 「師匠！」と呼ばれたい
- 2. お散歩 - 昭和記念公園 新宿・テッシー
- 3. お授業あれこれ 熊谷・かおりん

=====

今日はなんの日

1995 ドジャースに入団した野茂英雄、大リーグで初勝利

今日の花言葉

おだまき(赤)「素直」

今日は誰の誕生日

サド(作家 仏 1740)

今日の名言

「知識のある人は、すべてについて知識があるとは

限らない。だが、有能な人は、すべてについて有能である。無知にかけてさえも有能である」

モンテニュ『エッセー』より

- 1. 「師匠！」と呼ばれたい

テッシーと10歳しょう君が将棋の対戦。

「どっちが強い？」

「同じぐらいです」とテッシー。

見ていると、どっちもどっち。テッシーの逆転勝。

「よし、今度はぼくとやろうよ。しょう君」

「いいよ」

そんなわけで、木幡VSしょう！

「負けたら、7月いっぱいまで『師匠』と呼ぶことにしよう」

「ええーっ、やだよー。そんな約束したくない」と、しょう君。木幡、本気です。

「ああ、おとなげない。マジでやることないじゃん」

ギャラリーのドラゴンあれこれとしょう君の味方をするが、将棋を知らないのでアドヴァイスにならない。

「俺、実は将棋二段なの？」

「えーっ、本当なんですか？」

「ファミコンで対戦に勝って棋譜を送ると、将棋連盟が実力診断してくれるの。二段の実力で認定書ももらえたんだけど、認定料十万円なのでやめたんだよ」(爆笑)

結果、木幡の圧勝！

「しょう君、師匠と呼ぶんだよ」

「ぼく、そんな約束してないもーん」

「あーあ、おとなげない、おとなげない」

「そんなに言うなら、ドラゴン、俺と勝負する？」

「やんない」(笑)

逃げるが勝ちか？でも、師匠と呼ばれたい木幡です。

2. お散歩 - 昭和記念公園 新宿・テッシー

ぼくもフレネに来て三年目。そして、毎年この時期

に来ているのが昭和記念公園。

「おれなんか4、5回来てるよ。」とけんご君。

毎年恒例の行事のよう。

天気は快晴。歩いているだけでも汗ばむくらい。

「あー日焼けしちゃう。」とは女の子たち。

到着してお昼を食べたあとは自転車を借りて移動開始！

すべりだい

「あー！あれやりたい！」

こどもの広場には遊具がたくさん。りょうすけやかちゃんたちを中心に走り回る。中でも人気ののがすべりだい。

「テッシー - も一緒にやろうよ！」

つついー一緒に泥だらけ。

友だちづくり

トランポリンの場所では大きい子達がピョンピョン。

遠足の他の学校の子達もたくさん。

気がつくと、一緒に掛け声かけちゃったり。仲良くや

っている。見ていて思わず笑みがこぼれました。

「何年生？」

「中1。」

という年令を聞く会話が飛び交う。ああいいなあと思

いながら見ていると、

「中3？」と言われたぼくでした。

相撲大会

「ブルさん、相撲しようよ。」とドラゴン。
 行事はたかちゃん。
 「はっきょい、のこった！」
 ん？なんか違う…。ドラゴンの腰が重い。なかなか動かせない。そうこうしている間に足を取られて地面へ。「ドラゴンは強いんだよ。」と、ミッキー。確かに他の子達にも連勝。ポラ・ふじさんも負けてしまう。
 ぼくも他の子には何とか負けなしでいくんだけど、ドラゴンには一度も勝てず…。ラグビーをやっていたとか。フレネの相撲チャンピオンはドラゴンに！去年の飛ぶ教室でもやった相撲大会。あのときはまだみんな一回り小さかったかな。ひょいひょい勝てただけどなあ。くやしい！
 帰りはドラゴンの自転車の後ろにりょうすけ。随所にお兄ちゃんぶりを発揮しているのを見ることができて嬉しかったです。
 空も高くて広がったし、また来たいね。何から何まで気持ちの良かったお散歩でした。
 3. お授業あれこれ 熊谷・かおりん
 5月もあつという間におしまい。もう6月。早いなあ。気がつけば、すぐに夏休みかな。
 ピンフォールカメラ
 気温上昇、空は夏の雲。ピンフォールカメラの撮影にはもって来い。今日は中央公園へお出かけ。外は気持ちいい。天気がいいから、どれくらい開けておくのか、時間の調節が大変。
 「空けすぎて、真っ白になっちゃったよ。」
 「あ、よく撮れた。」
 どんな風に撮れるのかわからないから、またそれが面白い。
 「噴水のところの石に置いてとったんだよ。」
 みんな思い思いに写真を撮る。公園に散歩に来ていた写真歴60年というおじさんにレクチャーを受けたりもしながら、噴水・時計塔・空・木々…。みんないい写真が撮れたね。
 とんとんとん
 「これやりたい。」とかい君が本の中を指差す。ボールに小豆がたくさん、その中にピンポン玉を埋め込む。ボールを揺らしたり、叩くと…。と説明がかけられている。
 「小豆ある？」と言われても、ない。小豆の代わりに、お米でチャレンジ。
 「お米じゃ、ダメじゃないかなあ…。」とかい君。とんとんとん。結果は出来た！自分の予想とは違う結果に驚いた様子。
 「小豆じゃなくてもいいのなあ。じゃあ、他のものでやったらどうなるのかなあ。」
 かい君の好奇心はどんどん膨らんでいく。
 どうすればいい？
 「どうすればいいかなあ。」とユータ君。
 「？」
 「本日の感想、書ききらなくなっちゃった。」
 ピンフォールカメラに、午後は神社でバトミントン。一日楽しかったようで、書きたいことがたくさんあるようだ。「書きなさい」なんて言うよりも、書きたくなるような楽しい経験をすることが一番だね。

===== デイリー・フレネ =====
 ----- VOL/0692----- 2003/06/03

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

- 1.
2. JF新宿あれこれ テッシー
3. JF熊谷あれこれ かおりん

=====

今日はなんの日
 1853 アメリカ国のペリー提督率いる黒船4隻が浦賀に来航
 今日の花言葉
 亜麻「感謝」
 今日は誰の誕生日
 唐沢寿明(1963 A型)
 今日の名言
 「今日を疑ったら、明日のこともわからなくなる」
 フランクリン・ルーズベルト
 - 1. 「沖縄」の授業をするぞ！

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>
 7月11日(金)～22日(火)に行われる「飛ぶ教室 in 鳩間島・沖縄」の参加者も決まり、実行委員会も活発に活動しています。
 「鳩間の子どもたちと交流したいなあ！」
 「沖縄本島でのコースも考えたよ！」
 今年は実行委員会を中心に旅のしおりもできそうです。そんなこんなで、今回は事前学習もびしりと決めたいと思った木幡。池袋のジュンク堂で沖縄関係の書籍をたくさん買い求めてきました。歴史・自然・風土…。まず最初は、こんな感じで授業する予定です。

【沖縄クイズ】
 沖縄が全国一の生産を誇る農産物をあてる
 全国各地の月別平均気温・湿度・降水量などから沖縄をあてる
 沖縄に無いものを考える
 沖縄だけにあるものを考える
 日本国政図会などを参照

【絵本の読み聞かせ】
 小さい子も参加するので、わかりやすい戦争の絵本を読んであげる
 「さとうきび畑」
 [絵] 葉 祥明 [詩] 寺島 尚彦 二見書房
 ざわわ ざわわ ざわわ
 広いさとうきび畑は
 ざわわ ざわわ ざわわ
 風が通りぬけるだけ
 今日もみわたすかざりに
 緑の波がうねる
 夏陽ざしの中で
 森山良子の歌でおなじみの詩が絵本になりました
 「おきなわの鳥のこえ」
 又チドゥ タカラ いのちこそ たから

[丸木俊・丸木位里] 小峰書店
 これもおなじみの絵本です
 2. JF新宿あれこれ テッシー

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>

あつという間に6月です。今月もよろしくお願いたします。

では、今日のみんな
ものつくりー箱根ロープウェー

今日は、木幡さんの持って来た「箱根ロープウェー」のクラフト。ボール紙を型通りに切り抜いて切り貼りするだけのもの。

だけど、袋を開けると
「あれ？説明書は??」

部品が書いてある紙が一枚だけ。作り方については何も分からず出来上りの写真が一枚入っているだけ。

最初はりょうすけとボラ・やくしくんの二人だったけれど、コリヤ大変ということでばくも作り出す。

ま、やってみれば説明書は要らないかなというくらいに単純なもの。だけど、単純なものなだけにいろいろと工夫が必要。

りょうすけは自分で余った紙を使って乗客まで。
「おー、いいねえ。」
とてもかわいい。

「箱根のロープウェーからは富士山が良く見えるんだよ。」
「いいなあ。」とさきちゃん。
「でも、結構高いんだよ。揺れるし。」
「知ってる。それで乗るの止めなって言われたことあるんだ。」

りょうすけチーム、さきちゃん、ぼくで一つずつ完成。ロープウェーだけに天井からつるすことに。

すでにいろいろとぶら下がっている新宿フレネの天井が、また一つ賑やかになりました。

お散歩の帰りにて
先週のお散歩の帰りの電車の中、
「ブルさん...。」とドラゴンの声。

指差す先を見ると、小学生が電車の床に問題集をべったり広げて座り込んでいる。見かねたおばさんが席を譲ろうとすると、中腰の不自然な格好で漢字の練習を続けている。

小学校1、2年生くらいかな。彼がそこまでして問題集をしなくてはならない理由はばくが知るよしもないけれども、思わず首をかしげてしまう光景でした。

憶測の域を出ないだけに余計にいろいろな感情が渦巻きます。そんな週末でした。

3. JF熊谷あれこれ かおりん

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>
今週も始まり。台風一過なのか、今日はカラッとした天気。気持ちがいいな。

再び
年末、遅れながらもチョコQにはまったスタかおり。なんと、このたび第7弾が発売。今回は、イダゴ・ハマグリ・ハブなどなど変なものが揃っていて、マイブーム再び。エリ君、ユータ君と今回はかい君も仲間入りして熱中。「1日1個ね。」と約束。

みんなで見せ合いっこ。
今回は「イダゴ」がみんな欲しい！けれど、なかなかでない。ところが、
「あ、タコだ！」とかい君ゲット。みんなから羨望のまなざし。かい君満足そうな表情。

あたしも欲しい。
すき？
かい君が、「ハル好きな人ー！」と。
「はーい！春が季節の中で一番すき！」
と答えたら、みんなから、白い目。
「吉田さん、『春』じゃなくて『ハブ』です。」
ハブが好きな人はなかなかいないよね...。怖そう。
沖縄のおもちゃの指ハブ君はすきだけどさ。

ものつくり ドライアイスシャーベット
月も変わって、空も夏色。熊谷はいよいよ暑くなり始める。そんな季節にはうってつけ。シャーベットだ。今日も、カラッとしているもの気温は上昇。
「よかった。あつとい日で。」
ドライアイスを砕いてお好みのジュースを入れれば、あつという間にシャーベット。
「これって、何なの!? すごーい。」とかい君。
「これこれ、おいしいんだよね。」とユータ君。
暑い日にはおいしいね。
お腹が満たされたら、ドライアイスで遊ぶのに夢中のみんなだった。

つかめる？
バケツに入れたドライアイス。もくもくと煙がバケツの表面でたまっている。すくってみると、手のひらでたまっている。
「あ、すごいこれ持てる。」とびっくりのユータ君とかい君。「煙って、上にいっちゃうのにな。」
どうしてだろうね。そこから始まるね。

凍ったら
ドライアイスを入れたバケツにサッカーボールを入れてみたいかい君。
「これ入れたらどうなるかなあ。」
「ボール凍っちゃったら、サッカーして遊べないでしょ。」と諭すきぐちゃん。けれど、
「凍ったらさあ、溶かせばいいじゃん。」
そうなんだけどね...。苦笑いのきぐちゃんだった。

e-mail : sinjyuku@jfreinet.com
URL : <http://www.jfreinet.com>

===== デイリー・フレネ =====
----- VOL/0693----- 2003/06/04

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

1. S君からの質問 おもしろ通信講座
2. ミーティングにて 新宿・テッシー
3. こんな学習やってるよ 熊谷・かおりん

=====
今日はなんの日
1989 中国・北京で天安門事件が起きる
今日の花言葉
ダマスクローズ「照り映える容色」
今日は誰の誕生日
大山倍達（極真空手創始者 1923）
今日の名言
「やらねばならないことだとわかっていて、だれかがやるだろうと待っているのは二重の悪意です」
むのたけじ『たいまつ』より

1. S君からの質問 おもしろ通信講座

<http://www.jfreinet.com/tu-sin/index.htm>

毎週一回ジャパンフレネの授業を出前する「おもしろ通信講座」。年齢にあわせたおもしろ授業の数々。先週の教材は、「ジャガイモは水に浮くか?」。水では沈むジャガイモが水に塩を入れると...。次のような質問が北海道のS君(9歳)から来ました。

- - - - -

ジャガイモのじっけんをしました。どうしてジャガイモはうくのですか。

- - - - -

S君、こんにちは!木幡です。北海道は気持ちのいい季節ですね。こちらはそろそろつゆに入り、じめじめした毎日が続きます。

このメール(手紙)のわからない漢字は、おうちの人に聞くか、辞書で調べてくださいね。また、説明で難しいところもおうちの人に聞いてください。直接会ってお話できればいいのですが、文章だとしても伝わりにくいので...

さて、「塩を入れるとジャガイモが浮くのはなぜか?」いい質問ですね。学校では小学5年あたりで学びます。中学校で本格的に学びます。

重いものは沈み、軽いものは浮きます。では、何が重く何が軽いのでしょうか?

普通の水ではジャガイモは沈みます。塩を入れるとジャガイモは浮きます。

最初はジャガイモが水より重かったのです。塩を入れるとジャガイモは水より軽くなります。

縦・横・高さが1センチの立方体(さいころ型)を考ましよう。ものはそれぞれ重さが違います。縦・横・高さが1センチの立方体(さいころ型)の水とジャガイモでは水のほうが重いのです。

ところが水に塩を入れると水の中に塩が溶け込み、縦・横・高さが1センチの立方体(さいころ型)のジャガイモより重くなるのです。

油と水で実験してみると良くわかります。同じ量の油と水(例えば1リットル)を精密なはかりで重さをはかってから、そっと混ぜてみましょう。さて、どうなるでしょう?

油と水は液体なのでわかりやすいのですが、水とジャガイモは液体と固体なので難しくなりますね。

学んでいくということは、漢字をおぼえたり、計算練習するということだけではありません。「なぜ、そうなるのかな?」と考えることが一番大切なのです。

わからないことがあればいつでも連絡してね。チャオ!

2. ミーティングにて 新宿・テッシー

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>

今日は議長がぼく、書記・とうこちゃんでした。

1. お散歩・お料理

実行委員のドラゴンから発表。今回はみんなでわいわいやりながら決めたので、バラエティーに富んでいるかな。

お散歩

6日 地下鉄博物館

13日 アイススケート

20日 国立科学博物館

27日 昭和記念公園

7月4日 バasketボール

お料理

5日 たけのご飯、きんぴら、ほうれん草のおひたし、おすいもの

12日 ラーメン、レバニラ炒め

19日 豚肉の生姜焼き

26日 冷やし中華

「ハイキングにいきたいって話もでてるんだよ。」

「おー、行きたい!行きたい!」

「しかも温泉つき。」

ここは意見が分かれるところ...

そんな中、

「テッシー質問。ハイキングではお昼は何食べるの?」

と、りょうすけ。

「???」

「りょうすけえ、ハイキングではバイキングを食べるんだよ。」と、ドラゴンでした。

2. キャンプについて

今年の夏のキャンプを二泊にしたいという子どもからの要望。まずは実行委員のまっ君から説明。

「キャンプで自転車に乗りたいとか、いろいろな案があって二泊にしたいんだけどどうですか?」

「おれは五泊して一な。」と、けんご君。

「一人で連泊すればいいじゃん?」と、とうこちゃん。

多数決をとると、圧倒的多数で二泊に決定。その後も、場所やイベントについての要望を募っていました。

キャンプといえば、去年の沖縄。三泊してみんなぐったりだったね。だけど、恒例の一泊では物足りないみたい。子どもからの新しい試みです。

3. こんな学習やってるよ 熊谷・かおりんぶた

エリ君が英語を再びスタート。テープレコーダーと格闘。今日は、日常の身近な単語をやっていた。

「次は、ぶた。ぶたは聞いた事あるんじゃない?」

「これは知っていますよ。」と自信満々に

「ポーク!」

答えを聞いてみると、あれ違うよね。

「そうか、肉と生きているのは違うのか。じゃあ、牛もビーフじゃないのかな。」

疑問はどんどん広がる。自分で、辞書をひいて熱心に取り組む。

「フィッシュでフィニッシュ!」とお寒いギャグで今日は終了。続けていけないとね。

リレー作文

「リレーしながら、作文を書くんですか?」と質問。

それはいくらなんでも大変。バトンの代わりに、作ったお話を次の人に、ひとつのお話を作っていく。木幡さんのピンフォールカメラ授業で撮った好きな写真を一枚選びグループでお話を作る。書き出しの文は、こちらから。

・ある夏の日、寛(仮名)くん(10歳)が探検に出かけました。

・ある夏の日、すずめのチュン太が旅に出ました。何もつながりのないような写真が4枚。どんなお話が出来るのか、はたまた出来ないのかと思っただけ

れども意外や意外、みんな熱中。
 「グループじゃなくて、自分で作ってもいい？」
 と原稿用紙をせかされるほど。
 寛くんの探検の行方は…。チュン太の旅の終わりは意外な結末。
 普段は文章を書くことに抵抗がある様子だったけれど、今日みんなの表情は真剣そのもの。素材ひとつで変わるのだから。

=====
 e-mail : sinjyuku@jfreinet.com
 URL : http://www.jfreinet.com
 =====

=====
 デイリー・フレネ
 =====

----- VOL/0694----- 2003/06/05

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

1. 「沖縄」の授業 失われた鉄道
2. 新宿あれこれ テッシー
3. 夏の定番「冷し中華」！ 熊谷・かおりん

=====

今日はなんの日
 1864 新撰組が京都・三条の池田屋に集まっていた尊王攘夷派の志士を襲撃
 今日の花言葉
 マリーゴールド「可憐な愛情」
 今日のは誰の誕生日
 ベネディクト(人類学者 米 1887)
 今日の名言
 「物事を考える人間はおおぜいいるが、行動を起こすのはたった一人だ。」

シャルル・ド・ゴール

- 1. 「沖縄」の授業 失われた鉄道

http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm
 「沖縄にないものってなあんだ？」
 「ジャスコ！」(爆笑)
 「いや、そういう種類のものじゃなくてさ」
 「電車かな」と、8歳りょうすけ。
 「そうなの、沖縄には鉄道が無いの。ずっと無かったのかな？」
 「戦争が関係してるんじゃない」
 「前は、あったの？」
 国土地理院に行ってコピーしてきた大正時代の五万分の一の地図と現在の二万五千分の一の地図を見せる。
 「ほら、昔の地図には鉄道があったでしょう」
 今の地図には、鉄道が通っていた場所が道路として残っている。以前、「失われた鉄道」を探しに西海岸の那覇から東海岸の与那原まで歩いたことがある。まっすぐに続く軽便鉄道跡の道の周り一面のさとうきび畑…。そしてかつて鉄橋が架かっていた場所に残されているコンクリートの台座には無数の弾痕…。
 「ぼく、見たい！そこに行きたい」と、りょうすけ。
 「でも、りょうすけ、石垣でわかれて沖縄本島に行かないんじゃないの？」
 「ああ、そうかあ」
 りょうすけ、とつても残念そうだった。
 美しい島・沖縄の底には、戦争という影があることを

忘れてはいけない。絵本「さとうきび畑」を見ながら、森山良子の歌う「さとうきび畑」をみんなでしんみり聴いた一日でした。

2. 新宿あれこれ テッシー
- お料理-4品に挑戦！

http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm
 今日のお料理は、たけのごはん・きんぴら・ほうれん草のおひたし・味噌汁のなんと4品。こんなにいろいろ作ることってあまりないね。
 教材作りをしているほうが、ふと目をやるとひっきりなしにボラ・なおちゃん、かおりちゃんが動き回っている。子どもは出たりはいたりかな。
 メインのたけのごはん。炊飯器に入れて結構時間が経つけれども、うんともすんとも言わない。もしやと思ってふたを開けると案の定。生米状態。2年前のJFFのときもそうだったなあ。
 急遽鍋にうつして炊き直し。
 「キャンプでもやってるからね。」

ぼくが火の当番。
 だけど、しばらくすると焦げ臭い。鍋が薄いから仕方ないかな。
 「おこげも好きだから。」という声があるも、この臭いは、もうただのコゲ。炊けていないのでここは我慢。
 「ねえ、まだできないの？」
 「あと何分？」
 みんなのお腹も限界。
 30分くらい様子を見つつ何とか完成。結構おいしかったんじゃないかな？片付けも順調でした。

来週のミーティングへ
 今日のお料理ではいくつかトラブル。
 「何も手伝ってない人が食べているのは納得いかない。勉強とかは仕方ないけれど、遊んでるだけの人もいる。」と、ミッキー。
 「本当は作るのもやりたいけれど、やる隙がない。そうすると片付けだけになっちゃうし。」とは、さきちゃん。
 如何せん狭い台所。物理的にみんなでというわけにはいかない。だけどいつも片付けばかりで、このような不満が出るのもわかる。ただ、誰も手伝わなくなってボラだけで動いている状況もあるんだよね。
 来週のミーティングの課題です。

ねこねこ子猫

http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm
 帰り際、もえちゃんが子猫を連れてきました。なんでも、しょう君が拾ってきたとか。手のひらにのりそうなくらい小さくてかわいい。目まぐるしく忙しかった一日の最後に癒されたな。
 思わず「いいなあ、いいなあ。」と口に出していました。

3. 夏の定番「冷し中華」！ 熊谷・かおりん

http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm
 今日の熊谷の気温は30近く。窓から入ってくる風も生ぬるい。いよいよ熊谷の夏到来かな。(その前に梅雨が待っているけれど)
 「今日冷やし中華でちょうどよかったね。」とみんなが言うように、こんな日にはうってつけ。
 麺は近所の製麺屋さんでご購入。野菜、鳥のささ

みも手分けして、近所の八百屋さん肉屋さんへ。
 今日は野菜を切って、麺を茹でるだけのお手軽料理。
 「もう他にやることはないの？」とみんな口々に。
 調理も特にないから、今日はみんなにとって物足りないお料理だったかな。
 きゅうり・たまご・ささみ・ハム・トマト・ゆで卵
 などなど、好きな具をトッピング。あっという間
 のお料理。つるつるっつと食べるのもあっという間。
 片付けも手際よくぱっぱっ。あっという間。
 「いつもこんなに早くできるといいね！」とみんな。
 手際よく終ると、気持ちいいね。

=====

e-mail : sinjyuku@jfreinet.com

URL : http://www.jfreinet.com

=====

===== デイリー・フレネ =====

----- VOL/0695----- 2003/06/06

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

1. 新宿あれこれ 授業で...、おやつで...
2. お散歩-地下鉄博物館 新宿・テッシー
3. 熊谷でも沖縄の授業

=====

今日はなんの日

1944 フランス・ノルマンディー海岸で連合国軍が史上
 最大の作戦を開始

今日の花言葉

黄しょうぶ「信じる者の幸福」

今日は誰の誕生日

ドライ・ラマ14世(ラマ教法王 チベット 1936)

今日の名言

「楽観主義者とは、どこでも青信号を見る人のことである。
 それに対し、悲観主義者とは、赤信号しか見えない見えない人。
 そして真の賢者は色盲である。」

シュバイツァー

- 1. 新宿あれこれ 授業で...、おやつで...

ざわわざわわ

「さとうきび畑」の読み聴かせ...

ざわわ ざわわ ざわわ

広いさとうきび畑は

ざわわ ざわわ ざわわ

風が通りぬけるだけ

そして私の生まれた日にいくさの終わりがきた

夏の日ざしの中で

「いくさってなあに？」

「私の生まれた日っていつ？」

こんな質問をしていく。

「ああ！この人五十七・八の中年かあ」

と、とうこちゃん。

「だって戦争が終わったのは昭和20年8月15日でしょ

。立派な中年だよ」

そりゃそうだけれど、そう言っちゃうとみもふたも

ない...。苦笑...

300ccに...

「シュワッての飲みたいなあ」

りょうちゃんがお使いに行ってくれ、みんなに三矢サイ

ダーをご馳走する木幡。

「サイダー飲みたい人、いらっしやい！」

わーいわーい！

「俺はこの皿に入れてくれ。杯みたいにして飲むから」
 けんご君、お皿に並々と注がれたサイダーを飲もうと
 したとき、「私に300cc頂戴！」計量ますをどんと
 置くさきちゃん。

そのとたん、「ぶはー！」

鼻からサイダーを噴出すけんご君。

「笑わせるなよー！鼻から出ちゃったじゃないかあ！」

鼻から出たサイダーは、どこに飛び散ったのか...

木幡のズボンにです...

2. お散歩-地下鉄博物館 新宿・テッシー

お散歩-地下鉄博物館

http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm

今日のお散歩は地下鉄博物館。去年から要望はあつたけれど、改装中で実現せず。この6月からリニューアルオープンということでさっそく。

今日は人数が少なかった。全部で5人。地下鉄を乗り継いで葛西へ。

中には昔の丸の内線などの車両はもちろん、模型、シミュレータも。電車好きのりょうすけはもう大変。敷地があまり広くないこともあって、すぐ見終わってしまってもてあますかなと思ったけれど、飽きた頃に何らかのイベントがあって、それに参加。

一番おもしろかったのは映画。

「マンガ映画、黄金の足音14:30~14:50」

の看板。

「何の映画だろうねえ。」

「やっぱり電車は出てくるでしょ。」

なんて予想していたけれど、始まると日本の農村風景に雪景色。

「???'」と思いながら見ていると、なんと捕まえたキツネを逃がしてあげる話。しかも終わって時計を見ると14:40。笑いが止まりませんでした。

アクシデント

「テッシー！靴が大変なことに！！」と、たかちゃん。見ると靴の底がきれいに取れている！歩くとスラップスケートのようにかかとが外れる。思わずふきだしてしまう。

「歩きづらいよお。」ってそりゃそうだ。

事務所でガムテープを借りて補強。

「帰り一人になるの嫌だなあ。」

3. 熊谷でも沖縄の授業

http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm

絵本「サトウキビ畑」を見せる。

「この絵本、どんな事が書いてあると思う？」

「サトウキビの作り方？」

「最後にこの絵本を読むけれど、そのまえにちょっとだけ、沖縄のことを考えようね」

新宿でやったように、沖縄の位置、沖縄の気候、沖縄にはないもの、沖縄しかないものを考える。

「えっ！沖縄に鉄道がないの？」

「どうして？」

そんなところから「失われた鉄道」を考える。戦争がからんでくるんですね。宮脇俊三の「失われた鉄道を求めて」を題材にし、大正時代の沖縄の地図と

現代の地図を比較。木幡はかつて沖縄の鉄道跡を探して歩いたことがあるので、その体験も披露。

「鉄橋の跡に銃弾がたくさん残っているんだ」
最後に「サトウキビ畑」の読み聴かせ。ざわざわわ...と森山良子の歌がスペースに響く。

【ユータ君の感想】

今日は木幡さんの授業で沖縄の事をやった。「サトウキビ畑」の歌と本はとてもよかった。「沖縄・島の声」の本がとても楽しんだ。

本日の授業の調子、感動した！100パーセント。

=====

===== デイリー・フレネ =====

----- VOL/0696----- 2003/06/09

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

- 1. ようやく読み終わった本 「臨床とことば」
- 2. サタディースクールにて いろんな対話
- 3. 秋田県からのお便り 良寛にちなんで

=====

今日はなんの日
1933 スコットランドネス湖の恐竜の記事が新聞に初掲載
今日の花言葉
スイートピー「優しい思い出」
今日は誰の誕生日
マイケル・J・フォックス(俳優 カナダ 1961)
今日の名言
「多くの人間が大人になるにつれて失ってしまう、あの時が経つのを忘れる無我の集中を長く持続した者が、やがて天才と呼ばれる」

長部日出雄(作家)

- 1. ようやく読み終わった本 「臨床とことば」
鷲田清一と河合隼雄の対談「臨床とことば」(TBSブリタニカ)をようやく読み終えた。何冊もの本を併読し、これはと思うものはチェックしながら3~4回読むので結構時間がかかる。
最近、臨床心理学・臨床教育学・臨床哲学といった学問が提案されつつある。一般化されたもの(定説化されたもの)から現場を見て、一般化に戻すという手法から、逆に現場(臨床)の個別事例からスタートし、定説を撃つ...、これが「臨床」の手法である。二人とも「臨床」を掲げ、現在の心理学や哲学の新しい地平を切り開こうとしている。河合の場合、30年前、「臨床」という言葉は心理学の中で鼻にもかけられなかったといい、鷲田も異端視されているという。
しかし、長く現場に関わってきた私にとって、その言葉の一つ一つが納得いくものだった。特に、最終章「『語り』と『声』について」(鷲田清一)が秀逸である。一部、引用してみよう。

- - - - - P196P ~ 199

まず、分かる、理解するというのは、感情の一致、意見の一致をみるということではないということ。

(中略)

...いいかえると、他人の想いにふれて、それをじぶんの理解の枠におさめようとしないうということ。そのことでひとは他者としての他者の存在にはじめて接することになる。

(中略)

このように見てくると、理解するとは、合意とか合一といった到着点をめがけるものではなく、わからないままに身をさらしあう果てしないプロセスなのではないかとおもえてくる。

一致よりも不一致、伝達よりも伝達不可能、それを思い知ることこそが、理解において重要な意味を持つ。そういう苦い過程を踏んだあとでこそ、「あのとき分からなかったけれど、いまだったら分かる」ということも起こるのではないだろうか。

そのとき、そういう過程をくぐることで、わたし自身が変わったのだ。そういう出来事が起こることが大事なのであって、その場で分かるか分からないかはたいしたことではない。

理解はつねに時間的な出来事でもあるのだ。

(後略)

- - - - -

この文脈は、この間私が一貫して追いつづけてきた「ダイアログ(対話)」そのものであり、「対話のない社会」中島義道(PHP)、「演劇入門」(講談社)平田オリザ、「対話のレッスン」平田オリザ(小学館)などからも学ばせてもらった。この流れは、「看護のための精神医学」中井久夫(医学書院)へと続いていく。

教育とは「ダイアログ(対話)」そのものを目的にしていると言っても過言ではない。教材を媒介にした「ダイアログ(対話)」の可能性を授業という現場で模索していくのが私の流儀である。

昨今、学力論争が盛んに行われ、安易な練習や鍛錬が流行っている。そこにあるのは、「教育してやろう」という大上段の構えであり、大人の権力でもある。強制や命令のない空間で人はどの様に学んでいくのだろうか？臨床教育学の具体的展開が望まれる。

2. サタディースクールにて いろんな対話
熊谷サタディースクールでピンホールカメラ！
大人も子どもも楽しんだ。

「レンズで光を集めると丸くなるのは、太陽が丸いからなんだ！」と参加者のおばさんが驚く。人生五十数年ではじめて知った事実。

ボラロイドのピンホールカメラや35ミリカメラを改造したピンホールカメラを持ち出して撮影していると、いろんな対話が授業以外でも始まる。自動車から顔をだし、「何をしてるんですか？いや、知った子がいたもんでね。へー、サタディースクールでピンホールカメラなの」向かいのおばさんもやって来る。

「なんの勉強？ピンホールカメラ？うちのお花を撮ってもいいよ。こんなんにぼけた写真がいいのかねえ？なんかもったいないような気もするけれどねえ」

DPE 屋のお姉さんも「露光時間がちょっと長すぎるかもしれないねえ。でも、ピンホールもいい味ですよねえ」

来週は、ピンホールカメラを入れるフォトフレームを作ります！

3. 秋田県からのお便り 良寛にちなんで
秋田県のAさんからのお便りです

- - - - - 以下、転載。

前略、ご無沙汰しております。お変わりございませんか？昨日と、一昨日新潟にいる友達と会ってきました。

三条市や燕市の刃物が見てきたかったのですが、たまたま出雲崎で宿を取ったところ、そこが良寛さんの出身地だということを知りました。早速、良寛記念館やら良寛さんについての美術館巡りとなりました。おぼろげながら記憶していた良寛さんの逸話が再確認された小旅行となりました。

少し前、大館で

花開く時 蝶来たり

蝶来たる時 花開く

という書を見たばかりだったので、なにか偶然とは思いませんでした。全文は以下の通りでした。

花無心招蝶	花は心無くして蝶を招き
蝶無心尋花	蝶は心無くして花を尋ぬ
花開時蝶来	花開く時蝶来たり
蝶来時花開	蝶来たる時花開く
吾亦不知人	吾も亦人を知らず
人亦不知吾	人も亦吾を知らず
不知従帝則	知らずして帝の則に従ふ

新潟にいる友達は、6月一杯で仕事を辞め、横浜へ帰るそうです。今度は「横浜ででも会おうか。」とすることになりました。上京の際には、一度木幡さんのところへもおじゃましたいと思っています。よろしく願います。それではまた。

-----以上、転載終了。

滄蓄のある良寛の言葉、ありがとうございます。阿吽(あうん)の呼吸といいますが、これまた、人と人のコミュニケーションの極意ですね。通じるところがあると思います。

上京の際は、ぜひ、お立ち寄り下さい。新宿ゴールデン街にご案内いたします(笑)。

JFが7月12日(土)~夏休みで、12日(土)~22日(水)まで、飛ぶ教室の企画で沖縄・鳩間島に滞在します。

=====

===== デイリー・フレネ =====

----- VOL/0697----- 2003/06/10

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

- 1. 新宿あれこれ
- 2. スライムを作った 熊谷・かおりん
- 3. うわっ！信じられない 長文のお便り

=====

今日はなんの日

1990 日系二世のアルベルト・フジモリがペルー大統領に当選

この年、ぼくは二度目の南米旅行で7月にペルーの首都・リマに降り立った。日本人は大歓迎されたが...、今はもはや...。

今日の花言葉

ひげなでしこ「栄誉」

今日は誰の誕生日

徳川光圀(水戸藩主 1628)

今日の名言

自分のすむところには / 自分で表札を出すにかぎる。 /

自分の寝泊りする場所に / 他人がかけてくれる表札は / いつもろくなことはない。 / 精神の在り場所も / 夕から表札をかけられてはならない / 石垣りん / それで良い。

石垣りん(詩人)

- 1. 新宿あれこれ

師匠！

「木幡さん、将棋やろうよ！ただし、王様と歩以外、全部抜いてね」

「それじゃ勝てないよ。金と銀は残してくれ。

負けたほうは、勝った方に師匠って言うんだよ」

「やだよ！」

ドラゴンVS木幡の戦い。木幡、簡単に勝つと思いきやありやりやりやりや！。負けちゃった...

「やーい！やーい！師匠って呼べよな」

「自分でそんな約束しないって言ったろう」

「もう一回やろう！」

「やーだよ！」

ぐやじー！すごく、ぐやじー！

実験-形態記憶合金 テッシー

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>

「ねえ、今日はなんか実験とかやらないの??」

と、りょうすけ。

そこで木幡さんが取り出したのが形態記憶合金。針金に形を覚えさせるというもの。

まずは、記憶させたい形作り。車がいいかなと思いつながりいじっていると、

「メガネがいい。」とのこと。路線変更。メガネ作りへ。針金を曲げていくのだけれど、これがなかなか大変。慣れない作業だからかな。

曲げた針金をオープンで焼くこと15分。すぐに水の中へ。

出来上がったものをのばしてドライバーをあてると...

「あー！すごい！！」

見事にもとの形へ。おもしろいくらいにクニャっと。他にもやりたいという子がいたので、次回またやってみようかな。

2. スライムを作った 熊谷・かおりん

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>

ものづくり スライム作り

「スライムって何？」とかい君。

「お昼に食べていた、とろろみたいなものだよ。」と周りの子が説明をしながら、今日のものづくりがスタート。ホウ砂と水と洗濯のりを混ぜればあ

っという間にできるスライム。

「うわー、ぶによ。ぶによ。」

「この感触がたまらない！」とみんな楽しむ。

ひとしきり楽しんだ後は、片付け。今日はみんな手分けしてあっという間に終了。

いいねえ。週明けからきもちいいねえ。

レバー

赤い色に着色した、しゅん君のスライム。丸めておくとうどう見ても「レバー」

「あたし、土曜日レバ刺し食べたよ。」

「レバー嫌い。」と話が横道にそれていく。

「レバーと言うより...。」とボラしんちゃん。

「小さくちぎって丸めると、魚の心臓とかにも見ます

よね。」って。うーん。どちらにしても気色悪い。
 そんな横から、エリ君。
 「見て下さい。『血のり』。」って...。
 もっとかわいいの作ろうよ...。

だって...
 スライムの作り方を説明していると、ふらふらかい君。
 「説明聞かないとわからなくなっちゃうよ。」
 作り出してすぐに、
 「次どうやるんだっけ？」
 「ほおら、やっぱり。聞いてないからでしょ。」
 頭を抱えるかい君。
 「だって...、混乱したぁ。」(笑)

話を聞いてたけれど、混乱したってことか。
 3. うわっ！信じられない 長文のお便り
 しょうや君ママのベルタさんからのお便りです。
 ベルタさんは、ハンガリー生まれ。ブダペスト
 大学で心理学を学び20年前に日本にやって来ま
 した。

- - - - - 以下、転載。
 こんばんは、木幡先生、あまり頻りに先生のディス
 プレイにお邪魔するとよくありませんが、今日のデ
 イリーと先生からの返信メールを読んで一言二言三
 言：うわっ！信じられないです。
 何がですか？ 鷺田清一は私も愛読している日本
 人哲学者、そして中義道もです。彼等の本を殆ど...、
 平田オリザという方にも関心があり、彼の発言はい
 つも気になる。河合と鷺田の対談はまだ読んでい
 ないが、さっそく読んでみます。
 臨床教育学、対話の可能性。教育はそもそも対話で
 ある。ソクラテスの教育方法でしょう。文字が広く
 使用される以前の「声の文化」では他に教育する方
 法はほとんどなかった。しかし、文字が一般の人々
 の間でも使われはじめるようになると(グーテンベ
 ルグ以降)言葉が体系化そして統一化され(国語の
 誕生：ヨーロッパは概ね17-18世紀/日本は明
 治以降/実はハンガリーは遅く、19世紀のなかば
 以降)、教科書や辞書ができ等近代化の中で科
 学も体系化、社会制度としての学校も根付いて行く
 ...学校で受ける授業の基本はlectureである。
 しかも、それは本来「読み上げる」ということを
 意味する。つまり学校教育というのはそもそも
 「対話」を意味しなかったようです。少なくとも近
 代においては。近代の学校は「文字の文化」の中
 で生まれた制度だから。(Walter J. Ong / 桜井直
 文他訳『声の文化と文字の文化』、藤原書店、
 1991のこの区分が正しければの話ですが。)
 問題は現代社会においていかなる声による対話が可
 能かです。ひょっとすると、先生が今の学校のあり
 方、あるいは教育のあり方に不満を感じるの「教
 育の存在と学校の学校性」かな。
 おすすめ下さった対談をさっそく読んでみます。と
 ても興味をそそる本です。(河合はあまり好きな心
 理学者ではないけれど、でも鷺田に興味があるから
 何とか乗りこえられそうです。もっとも、「臨床」
 を心理学に持ち込んだのは別に河合ではありません。
 河合はどちらかと言えば日本の臨床心理学をケース
 研究に作り替えてしまったひと、臨床心理学から
 「学問的な=一般化可能な視点/枠組みを追究した

人です。
 私は長い間、臨床心理学会の会員で、彼はその会
 長でした。学会発表はすべてケース研究という感じ
 でした。私は貧乏で学会費は何年も払っていなかつ
 たから結局除名されたけれど、日本の心理学者、臨
 床心理学者の出世はケース研究を通してしかあり得
 ないという「出世方法」にもうんざりでしたから、
 ちょうどよかったとも思いました。(僻かな?)
 この道を作ったのも河合である。彼は確かに興味
 深い著書もたくさんあるけれど、彼は同時に奇妙な
 「学者」であり(もともとは数学者; スイスのユン
 グ研究所にて心理学...の中の一部を学び、臨床心
 理学のまだなかった日本に戻り、日本的臨床心理学
 を特徴づける大きな流れを構築していった一人であり、
 心理学者というより文化人とよべる人物...「ここ
 ころの手帳」の、あるいは「心の教育」の提案者でも
 ある(小淵内閣時代の特別顧問としてのご活躍を見
 れば、うーん、この方一体何をしていたことでは
 しょうか)。
 彼に関係のないことだが、私は20数年前に、覚え
 たての日本語で初めて通読した心理学の本は彼のユ
 ングについて書かれた本でした。別にどうでもいい
 のですが...学問というものを本当に知りたければ、
 学者が何を言っているのかにのみ注目してはだめで
 ある。学者は何をしているのかも同じく重要である。
 ...ようなことを人類学者のGeertz?が言っているが
 ...推測にすぎないけれども、河合の行動を見てから
 こそ、日本人で私の好きな心理学者のやまだようこ
 等が「臨床」という言葉をあいえて使わないで「現
 場心理学」という言葉を使うのに納得できる。
 「臨床」と「現場」=フィールドと言う言葉の日
 本的な違いに敏感でない学者もいるのは確かです。
 臨床心理学者のその河合が鷺田と対談しているから、
 まあ、実に刺激的ではありませんか。)
 ...先生がおっしゃるように、あるいはおそらく鷺
 田も主張するように、個は個の視点からしか理解で
 きないし、あるいは理解なんて初めから不可能であ
 り、「感情や意見の不一致」しか理解につながらな
 い/言葉というものの性質を考えると、表出の面に
 注目すれば、この見解は正しいと言えるだろう。
 しかしながら、伝達の道具、コミュニケーションの
 道具としての言葉に他者と共有しているところはな
 ければ、個と個の間に了解し得る部分(文法や意味)
 がなければ、対話も会話も成立しないから、この見
 解は間違いとも言えるかも。個別的な体験を(主体
 の内面でおきるできごとを)言葉に置き換えること
 は不可能であるから、その意味において伝達不可
 能。言葉がカバーできる領域の方がはるかに狭い。
 つまり言葉の届かない領域が我々の中にあり、言葉
 の射程の外にある体験や出来事があまりにも多い。
 しかし、言葉にする(言葉にして、そしてやがて文
 字にして)変換していかないと、他者に絶対に伝わ
 らない。(まあ、踊りとか音楽などという表現方法
 もあるけれど、正確さの面ではたぶん言葉にはかな
 わない。)
 やあ、きになるな。あの二人は一体何をしゃべった
 のだろうか。明日は買いに行こう。
 今日は本当にありがとうございました。

- - - - - 以上、転載終了。

=====

=====**デイリー・フレネ**=====

----- VOL/0698----- 2003/06/11

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

- 1. お勉強モードで大変です...他 新宿あれこれ
- 2. ミーティング 新宿・テッシー
- 3. 重さの錯覚 熊谷・かおりん

=====

今日はなんの日
 1979 西部劇のジョン・ウェイン没
 今日の花言葉
 ばいも「威厳」
 今日是谁の誕生日
 川端康成(作家 1899)
 今日の名言
 「芸とは恥をかくことです」
 演ずることの後ろめたさがない奴には、芸人の工夫な
 かない。

「芸人」永 六輔 より

- 1. お勉強モードで大変です...他 新宿あれこれ
 勉強しようよ！
 「木幡さん！授業やろうよ！」
 やまちゃん・ドラゴン・じーこ・とうこちゃんた
 ちに「平方根 分母の有理化」の授業。
 解法を説明した後、問題を20問！文句を言うかと思
 いきや、
 「分子の項が二つあるとき、一つだけ約分しちゃい
 けないの？」
 「なんで答えが違うんだ！...あ！そうか！割り算ま
 ちがえていた！」
 最後まで粘り強くやっていたなあ。質問攻めで木幡
 くたくた...。
 メダカ在中

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>

小さな小包が届いた。表書きにメダカ在中の文字。
 「えっ！メダカ！見せて見せて！」
 小包の仲には小さなビニール袋に入ったメダカの卵。
 すでに2～3匹孵化して、スイスイと泳いでいる。
 かつてどこにでもいたメダカだが、今は「絶滅種」
 に指定されているとか。
 りょうすけが観察日記を書きます。乞う、ご期待！
 読み聞かせと科学実験

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>

沖縄「飛ぶ教室」の事前学習の一環として、読み聞
 かせ「おきなわ しまのこえ ヌチドウタカラ(命
 こそ宝)」(丸木位里・丸木俊 小峰書店)を読
 む。
 沖縄戦・日本兵の民間人虐殺問題を扱った作品だけ
 に、みんな真剣...。
 真剣といえば、「反重力マシーン」という科学実験
 も真剣そのものだった。本を2冊と1冊、机の上に置
 く。その本の上に細い棒(定規でもよい)を二本、
 橋の様にかける。坂ができる。この時、坂の上(本
 2冊)にV字型になるよう棒をセット。

小さなロート(じょうご)2個の口をセロテープでく
 っつけたものを棒の上に乗せると...、あれあれ不
 思議あれ不思議！ロートは坂の上を上っていく。
 「どうして？」「????」

「重力で落ちたいんだけど落ちることができなく、
 幅の広い方に行くんじゃないかなあ」ととうこちゃん。
 まっちゃんも似た意見をだしていたね。
 小さな実験だけれど、楽しかった！

2. ミーティング 新宿・テッシー
 今日は議長・まっ君、書記・とうこちゃんでした。
 ・お料理について

これは、先週のお料理のときにあげられた不満につ
 いて。新宿フレネの台所はとても狭い。どうしても、
 作る人、片づける人に分かれてしまう。また、食べ
 るだけという人もでてくることを確認。
 いろいろな案はあるけれど、今回のことは子どもの
 間で何とか解決して欲しいなど。それに、みんなな
 らもうできる。ぼくは静観の立場で。

「そもそも、子どもが手伝うということが間違っ
 ているんじゃない？子どもが中心になってやらなき
 ゃならないのに。意識が違うんだよ。」と、まっ君。
 子どもからこのような意見が出るのはとても嬉しい。
 いつもぼくが知っているのは「給食じゃないんだよ。」
 ということ。理想は子どもが中心、大人がお手伝い。
 「グループに分けて係にすればいいじゃん。ローテー
 ション組んで。」と、ジーク。

よかった！人数やスペースの物理的条件を考えると
 これが最善かも。
 ミーティング終了後、さっそく実行委員とぼくとで
 在籍者を4つのグループに。これでしばらくやって
 みようね。

子どもから出た不満に対して、子どもの中で解決案
 が出ました。すっきりとしたミーティングでした。
 3. 重さの錯覚 熊谷・かおりん

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>

気がつけば、6月も今日から2ケタ。早いなあ。
 「鉄1kgと綿1kgどっちが重い？」
 「鉄！」と答える子が3人。

けれど、どちらも同じ1kg。同じ重さに変わり
 はない。実際にはかりにかけて、同じ重さにあわ
 せた鉄と綿。持ってみると、なんとなく、綿の方
 が軽く感じるような。
 同じ大きさの空のマッチ箱を3つ準備。ひとつに
 は10円玉を12枚入れる。マッチ箱を3つ持った
 時と、10円玉を入れたマッチ箱を持ったときの
 重さの感じ方は...

「あれあれ。」と不思議そうな顔をするきぐちゃん。
 「何でこうなるの？」と疑問はいっぱい。
 その後、板倉聖宣 仮説社『科学的とはどうい
 うことか』の中に収録されている、「鉄一キロと綿
 一キロとではどちらが重いか」を読み進める。
 納得の顔と、退屈そうな顔どちらもあったけれ
 ど、普段感じている人の感覚は不思議でいっば
 いだね。

おまけ
 さる
 お昼にバナナを食すスタかおり。それを見たかい君。

「バナナ食べてて、サルみてえ。」
 小猿のようなかい君には言われたくないな。
 「あたしがサルなら、かい君は何なのよ。」と聞くと、
 「おれ、かば。」
 理由は泳ぐのがうまいかららしい。意外な答えに、
 みんな爆笑。

=====

===== **デイリー・フレネ** =====
 ----- VOL/0699----- 2003/06/12

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

1. りょうすけの「メダカ」日記
2. ラーメンの下準備 新宿・てっしー
3. お散歩中止もビデオで楽し！ 熊谷・かおりん

=====

今日はなんの日
 645 中大兄皇子が蘇我入鹿を討ち、大化の改新始まる
 今日の花言葉
 もくせい草「魅力」
 今日是谁の誕生日
 アンネ・フランク（作家 1929）
 今日の名言
 「骨董界には『ボロ着て、絹着て、木綿着ず』という言葉がある。贅沢はしなくともいつも自分の境遇を高いところに保つ。そのくらいの気位を持たなければホンモノは見抜けないのです」
 中島誠之助（骨董店主）

- 1. りょうすけの「メダカ」日記

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>

【6月11日（水）】

たまご28こ、生きているのが13びき。水はつめ
 たかった

【6月12日（木）】

たまご46！生きているの13！かんそうだ！とって
 もかわいいぞ！おわりだ！

- - - - -

どうしてたまごが増えているんだろう？
 絵を掲載できないのが残念。

2. ラーメンの下準備 新宿・てっしー

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>

ものつくりーTシャツ
 今日は先週準備した絵をプリントすることに。去年
 やったこともあるし順調かなと思っていたけれど、
 結構忘れていたもの。もう一度説明書を読んでおさ
 らい。
 アイロンで強く押して、プリント紙をTシャツへ。
 「おー、できた！」
 やっぱり自分の好きなものがシャツになるだけあつ
 て嬉しそう。
 「見て！」との声で振り向くと、出来上がったばかり
 のTシャツに着替えているりょうすけ。記念写真で、
 駅長さんのポーズ。
 人も少なく今日できあがったのは2枚。
 「来週、私もやる。作りたい写真があるんだ。」
 とさおりちゃん。

夏に向けてのTシャツ作り。しばらく流行るかな？

お料理の準備

明日のお料理はラーメン。今日はその下ごしらえと
 いうことで、スープ作り。

だけど、フレネにあるお鍋で10人以上作るのは
 ちょっと無理。

「つけ麺にしたら？」ということで、少し路線変更。
 山ちゃん、ドラゴンを中心に鶏がらを煮込んでから、

野菜（たっぷり！）、そして煮干しと鍋の中へ。
 グツグツに煮込んでいると、いい香り。おいしそう、

と思っていると、
 「うまい！このままスープでもいいんじゃない？」

ってドラゴンの声。
 明日の完成品が楽しみだね。

3. お散歩中止もビデオで楽し！ 熊谷・かおりん

梅雨に入るのか入らないのか、よくわからない天気。
 天気が持ってくれるのはいいのだけれど...

なんなんだ！

今日のお散歩は「川の博物館」のはずだった。しか
 し、昨日の天気予報では雨。外のアスレチックも多
 い場所。せっかく出かけるなら、晴れた日がいい。

というわけで、みんなと相談して川の博物館は延
 期。けれど、今日の天気は降りそうで降らない曇り。

これぐらいだったら、「平気だったなあ。」と。
 「うそつき！雨なんて降らないじゃんかっ。」とかい君。

「天気平気だったねえ。」と残念そうなユータ君。天
 気ばかりはどうにも出来ず...

これから梅雨になるし、出かけておくんだったね。
 うずうずしているのか、外へ出かけていったみんな。

神社でひと暴れ。みんな汗だくで戻ってきた。
 やっぱり部屋の中だけだと、体がなまっちゃうよね。

ビデオ鑑賞

そんなこんなで、今日はビデオ鑑賞。きぐちゃんから
 のリクエストもあって、チャーリーチャップリンの映画。

「黄金狂時代 / 給料日」どんな時代にチャップリンが
 生き、どんな時代背景だったのかという説明も加える。

時代もかなり古い、無声映画。しかも、白黒。「キュー
 ポラのある街」で白黒の映画には抵抗がみんなの中
 にあるのか、「白黒お...。」の声。しかし、生まれれば

爆笑の渦。
 「笑いすぎて、あごが痛い。」とエリ君。

迎えに来たお母さんに、「すごい面白かったん。」と
 話すかい君。

「思った以上におもしろかった。」としゅん君。
 ナレーションも少し、画面中の登場人物の中の表情
 で状況を判断したり、話の流れも、「こういう事なの
 かな。」とつながりを考えながら見ている様子。

普段見慣れているものとは一味違ってよかったかな。
 また別のもも観てもいいね。

=====

===== **デイリー・フレネ** =====
 ----- VOL/0700----- 2003/06/13

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

1. 怒られて、ちょっとほめられた一日
2. みんなよく動いたなあ「ラーメン」 新宿・テッシー
3. 「ロコモコ」って？ 熊谷・かおりん

=====

今日はなんの日
 1948 太宰治が愛人と玉川上水で入水自殺
 今日の花言葉
 ジギタリス「胸の思い」
 今日は誰の誕生日
 シジマール(サッカー ブラジル 1962)
 今日の名言

「人は悲しい時は存分に泣くのがいい。苦しい日には『苦しい』とさげばよい。そうして、その辺の石に手をつけて起き上がるのだ。そこから歩く。泣きながらでも歩いていく。それしかない」

時実新子(川柳作家・エッセイスト)

- 1. 怒られて、ちょっとほめられた一日
 手伝えよー! 怒られた(1)

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>
 ドラゴンを中心にてきぱきとラーメン・レパニラの準備が進む遅れてきたけんご君も「おれ、チャーシュー、切るよ」前日、スープを本格的に作っていたのもすごい。

11時半ごろから段取り初めて、しかし、食事にありついたのは午後2時過ぎ...

「ねえ、まあだ。まだ食べられないの」と、りょうすけ。お腹すくよねえ。

グループごとにローテーションを組んで買出し・料理・後片付けなどできぱきとこなす。

「りょうすけ、何もやらなかったんだから、後片付け手伝えよ!」

「そうだよ。木幡さんも手伝えよ」

「だって、おれ、他の仕事があって手が回らないんだよ」

「そうだ。木幡さんもローテーションの表に名前を入れようぜ」

「一番年下のりょうすけと一番年上のおれは、やらなくていいの。ねえ、りょうすけ」

りょうすけ、にっこりと「うん!」

「ばかじゃん!」

「大人気ない!最低!」

怒られました。もちろん、冗談です。やります。

りょうすけ、一緒にやろうね!

勉強やらないの! 怒られた(2)

「木幡さん、どうして基礎数学の授業やらないの! 問題だけ渡されてもいやだよ」

「だってさー、今日、ミッキーもまつあんもいなくて、先に進めないんだよ。ドラゴンは、この問題できると思って渡したんだよ」

「えっ、そういうことなの。でも納得いかない」

授業の時間は決めてあるけれど、木曜日はお料理が入るので時間が押せ押せになり、しかも後にずれてしまう。来ない子がいたらさらに困る。

授業時間の再考かな。お勉強したい、ドラゴンの気持ち、よく、わかります。

科学実験 すこしほめられる

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>

「みんな、おいで!実験、やるよ?」

ぼくの周りに子どもたちが集まる。

2 リットルのペットボトルの口から風船をいれ、吹き

口をボトルの縁にまきつけ風船を吹いてみる。

「ふうふうー!」

「顔が真っ赤!」

「血管、切れちゃうよ!」

「ちゃんちゃちゃちゃ...」

風船を吹くのをやめて、口を離しても風船はふくらんだまま。「えー!」

「さあ、どうしてだ?」

「?????」

「じゃあ、りょうすけ、『ワン!ツー!すりー!ふー』って、ボトルを拭いてごらん」

「いいよ!ワン!ツー!すりー!ふー!」

「あれー!」

風船はしぼんじった...

「あははははー!」りょうすけ、爆笑!

「どこかに、穴があいているんだ。それしか考えられない。見せて!あれ?」

ドラゴンの指摘にどぎまぎしたのもつかの間...、「みせるー!」けんご君、ボトルを取り上げる。

「やめろよー!」

「あー!底に穴があったー!」

みんな、二人のやり取りに爆笑!

ボトルの底の穴をあけておき、風船を膨らませた後、穴を押さえる。風船はへこまない。押さえていた指を離すと風船はへこむ。理論的には、指を離れた後風船はへこみ、引き続き反対側にふくらんでいくはずだけど...、何度トライしてもだめだった。

「なんてたって、一番面白かったのは、てんぱってた木幡さんの間合いとやりとりだったね」と、とうこちゃん。

これって、少しはほめられたってことだよな!

2. みんなよく動いたなあ「ラーメン」 新宿・テッシー

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>

お料理ーラーメン、レパニラ&野菜炒め

今日からお料理は当番制。どうなるかなと思っていただけけど、

「あっ、今日は買い物だ。」という声。しっかり覚えているし、何より意識していました。

ラーメンは昨日スープを仕込んでおいたので、あとは麺をゆでるだけ。ちょっとしたものを切ったりするだけ。けんご君としょう君がじゃんじゃん進めてあつという間。

問題はレパニラ。

「嫌い。」

「食べられないよ。」

やっぱり嫌いな子が多い...。急遽野菜炒めも。

野菜炒めは今までのお料理に比べれば簡単。レパニラは、「触りたくない。」なんて子まで。ドラゴンとぼくと

で切ることに。切ったレバーを牛乳につけて、臭みを取る。

炒めるのは作る係の子が順番に。小さい子にもできる仕事をドラゴンが割り振っていました。この調子!

ラーメンは苦労しただけあって、市販のものよりも数倍おいしい。レパニラはドラゴンとぼくとで。

「レバー食いすぎてキモチワルイ。」って言ってたけど。

片付けも係の子が中心に交代で。
 「おれは昨日やったし、片付けやらん！」という声に、
 「それを無くすために係制にしたんだろう。」とけん
 ご君。そうそう。もう、ぼくは見てるだけに。
 「俺なんて、昨日もやったし今日も片付けまでやった
 んだぞ！」
 とドラゴン。彼の働きっぷりは目をみはるものが。
 今日、
 「テッシー、これどうするの？」という言葉に、
 「自分達で決めてごらん。」という答え。
 「じゃあ...。」とみんなできたね。よかった！
 みんなのリクエストでクルクル回る係表を作成。
 「学校の掃除当番表みたい！」
 と言いながらみんなクルクル回していました。
 3. 「ロコモコ」って？ 熊谷・かおりん

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>
 とうとう雨が降り出した。いよいよ本格的に梅雨で
 しょうか。雨は嫌だけれど、フレネ前の紫陽花が雨
 に濡れてとてもきれいです。雨にも負けず、元気な
 みんなです。

お料理の授業 ロコモコ
 今日のお料理は、ロコモコ。しゅん君がずっと提
 案していたけれどなかなか通らず、念願かなった
 料理。レシピもしっかり調べて持ってきた。すご
 いぞ！

ただ、ロコモコって「一体何？」って声多数。
 ご飯の上にハンバーグ・目玉焼き。そして、肉汁
 にとろみをつけたソースをかければ出来上がり。
 日本風にいえばハンバーグ丼かな。ハワイの料
 理。戦後、日系人が作り出した料理だそう。
 ハンバーグを作るのは久々だけど、慣れたもの。
 ハンバーグを作る子、サラダ、スープに目玉焼き。
 みんなで手分けをしてテキパキ、テキパキ。先
 週に引き続き時間も早くできたぞ。
 お味はデリシャス!!! また食べたいね。

格闘
 みんなが闘っている相手は、
 「今日の朝、掘ってきた。」
 と、しゅん君が持ってきた「新玉ねぎ」取れたてだ
 し、新玉だからか、目に染みる。
 「うおー。皮むいただけで目がしみる。」
 とときぐちゃん。私はコンタクトだから平気だけど...。
 サラダに、オニオンスープに玉ねぎ尽くし。甘味が
 あっておいしかったあ。しゅん君ごちそうさま！

ピーマン
 冷蔵庫の中には先週使ったのピーマンの残り。
 しかし、熊谷のみんなはピーマン嫌が多い。
 どうしたものかと考えて、
 「ハンバーグの中にこっそり入れてしまおう！」と。
 正体がばれないように、ひたすらみじん切り。
 みんなおいしそうにハンバーグを食べている。
 よかった。

ドレッシング
 「ちょっと食べてみなよ。」とユータ君。
 今日のサラダのドレッシングを作った。すりおろし
 たニンニク、玉ねぎも入ってとってもおいしい。
 「でしょでしょ。」と得意顔。

「ニンニクすったんだよ。冷たかったあ。」とかい君。
 いい出来！

 それでは、また、来週！楽しい週末を！
 チャオ&ラブ！
 =====

===== デイリー・フレネ =====

----- VOL/0701----- 2003/06/16
 ////////// CONTENTS //////////////////////////////////////

1. 湘南な日々...湘南サタディースクール
2. 3 回目のスケート 新宿・テッシー
3. ヌチドウ タカラ 熊谷・かおりん

=====

今日はなんの日
 1995 オウム真理教の麻原彰晃逮捕
 今日の花言葉
 柳たんぽぽ「宣言」
 今日誰の誕生日
 ヘンリー・フォンダ(俳優 米 1905)
 今日の名言
 「人は生まれて、勉強して、仕事をして死ぬとい
 うのは間違っていると思う。仕事と死の間に隠居
 がなければならない」

山口 瞳

1. 湘南な日々...湘南サタディースクール
 湘南といえば「サザンオールスターズ」だが、ぼく
 らの時代は「ザ・リガニーズ」。
 海はすてきだな 恋しているからさ...
 本日の湘南サタディースクールは、通称「浜こじき
 」、いわゆる漂流物採集。藤沢駅から小田急で片瀬
 江ノ島へ。まずは江の島水族館で海の生物の観察。
 イルカショーもやっていて、みんなの興味関心はそ
 っちの方。
 数分歩いて江ノ電江の島駅から七里ガ浜駅へ。こ
 からゆっくりと稲村ガ崎まで歩きながら漂流物を拾
 う予定が...。
 「ひゃーっほー！」短パンで海に飛び込むはじめ君。
 「あの子ね、溺れる真似が上手くて困っちゃうん
 です。去年なんか、周りの人が本気にして...」
 おいおい、冗談じゃないよ。
 梅雨の合間のいい天気。周りはサーフィン・ウイン
 ドサーフィン、日光浴...、ピキニのおじょうさん。
 無理ないかあ...。ゆうき君もブリーフのまま海へ！
 なかなかやるなあ。
 結局、漂流物を拾っていたのは大人だけ。ぼくは、
 波で丸くなったキレイな木の破片をひろう。稲村ガ
 崎は砂鉄の産地として有名。鎌倉時代から採集され
 ていたそうだ。
 「重たくてそんなにもっていけないでしょ！」
 ビニール袋にパンパンになった砂鉄をお土産に、本
 日のSS、解散！

サタディースクールに関しての問い合わせはジ
 ャパンフレネ新宿までご連絡下さい。
 2. 3 回目のスケート 新宿・テッシー

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>
 お散歩-アイススケート

またまたスケート。年明けから3回目。こんなにスケートすることなんてなかったな。

「うまくできないから好きじゃない。行くのやめようかな。」と言っていたりようすけ。だけど、転ぶこともなくなったし、バランスも上手く取れるようになっていたね。

なにより嬉しかったのは、「あそこまで自分で行くから、手をださないでね！」の言葉。たくましくなってきたね！

初めてだったのはちせちゃん。最初は壁につかまりながらだったけれど、気がついたらスイスイ。

「上手くなるのはやいね！」

「うん。ほら！」

たかちゃんは、もう慣れたもの。

「スキーの真似！」としゃがみながら滑ったり。

同じことを繰り返しやると、みんなの上達がよくわかって楽しいなあ。

でもさ...

そんな中、何回も来ているせいか「飽きた。」という子も。

「みんな飽きるのはやいなあ。」とはボラ・藤本さん。だって来て5分くらいで休憩しちゃう子もいるんだから。

「ブルさん！わかった！同じ所グルグルするから飽きるんだよ！」とドラゴン。

「だって、なんのためにこんなに同じ所まわってるの？」って...。それを言っちゃあねえ...

3. ヌチドゥ タカラ 熊谷・かおりん

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>

6月も気がつけば、半分。飛ぶ教室まであと一ヶ月を切った。第1期もおんなじ。

あっという間だなあ...

読み聞かせ おきなわ島の声

午前中、ひとつの小包が届いた。新宿から絵本。今日は木幡さんの代わりに読み聞かせ。新宿でもやった、『おきなわ島のこえ ヌチドゥ カラ(いのちこそ たから)』

沖縄戦の事が、書かれている。絵本の内容、挿絵から、沖縄戦の悲惨な様子が伝わってくる。話が始めると、みんなしーん。絵本の内容、挿絵に見入っている。

絵本とはいえ、伝わるものは十分。木幡さんも以前言っていたように、観光地としてのイメージの強い沖縄だけれど、その後ろに背負っているものを知らずに表面だけを見てはいけない。

きぐちゃんは本日の感想に、印象に残った文章を書き写していた。

ナギクナヨ シンカ、ヌチドゥ タカラ

(なくなよ みんな、いのちこそ たから)

生きていてこそ、今がある。

=====

===== デイリー・フレネ =====

----- VOL/0702----- 2003/06/17

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

- 1. メダカの学校
- 2. 10円玉を使った実験 新宿・テッシー
- 3. ものつくり われないシャボン玉

=====

今日はなんの日

1956 石原裕次郎が映画「太陽の季節」でデビュー

1985 男女雇用機会均等法が成立

今日の花言葉

チューリップ「愛の表示」

今日は誰の誕生日

ジェンナー(種痘発明者 英 1749)

ジャン・ギャバン(俳優 仏 1904)

今日の名言

だれかに あいたくて / なにかに あいたくて /
うまれてきた / そんな気がするのだけれど /
それが だれなのか なになのか / あえるのは
いつなのか / おつかいのとちゅうで / 迷ってし
まった子どもみたいに / とほうに くらしている

くどうなおこ(児童文学作家・詩人)

- 1. メダカの学校

新宿は学習モードが続いている。その中で、みんなを和ませてくれるのが、先週と似た「メダカ」。

【りょうすけのメダカ日記】6月16日

ふか 34匹 死んじゃったの1匹き

「木幡さん、ほら！」

りょうすけが差し出したのは[メダカの水]。

「へー！こんなのあるの！」

水道水に入れるとカルキが抜け、メダカも元気になるとか...。しかし。その成分は不明。

小さな水槽から大きな水槽へ、メダカを移す。しかし、小さいメダカ網ですくうと、どこにいるのかわからなくなってしまふ。網ですくったまま、網を水槽の中に入れ、メダカを追い出す。しかし、メダカはなかなか網から出てくれない。

木幡&りょうすけでせっせとメダカの世話をした一日でした。

2. 10円玉を使った実験 新宿・テッシー

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>

梅雨のどんよりとした空模様。みんな来るかな？と思っていたけれど、案の定スローペース。

何かやりたいなと思っていたところ、本に載っていた実験を。

10円玉を十字架状に並べてそれにおはじきの要領で10円玉を当てるというもの。いたってシンプル。と、りあえず自分で試しにやっていると、

「何やってるの？」

と、大きい子達。せっかくだから予想を立てながら一緒に進めて行くことに。

一枚の10円玉をはじく場合。これが一つのキーポイント。この結果を使って、二枚を並べてはじく場合の予想を立てる。

「やっぱりね。」と、みんなも納得の表情。

けれど、同じ十円玉二枚でも、重ねてはじくと...

「えっ？どうして??」

みんな500円玉を持ち出したり三枚にしたりしながら、自分の考えの裏付けを試していました。

その後、小さい子にも実験披露。

「じゃあ3枚にしたら？」

「3枚のうち1枚だけ重ねてみてよ！」

こちら興味津々。

準備段階からみんなでやってしまったため、文系の
ぼくの説明ではイマイチだね。これは、もう一度調
べ直してやらなきゃな。

3. ものづくり われないシャボン玉

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>

本格的に入梅と言わんばかりに、どんより天気。
しかも熊谷は気温もある。ムシムシ。
今週もスタート。元気に行きましようか。
今日のものづくりは、われないシャボン玉。くるく
る回すと「あらまあ。」きれい。去年のJFFで新宿
で作っていたもの。チャレンジ！
づくりはいたって単純なんだけれど、結構大変。
「曲がった...」「イライラする。」の声たくさん。
ちょっと大変だけれど、根気強くやりましようか...。
かい君は、足をつけてクラゲ型。スタかおりは16
等分の細かい作業。ユータ君は大きなもの。エリ
君はねじって止める。それぞれ、工夫も。
「こんなのもう嫌だ...」
と言いながらも、最後まで作り上げたよ。よくがん
ばりました。くるくる回すとやっぱりきれい。
どんより天気で憂鬱な気分も少しは晴れるかな。

=====

===== デイリー・フレネ =====

----- VOL/0703----- 2003/06/18

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

- 1. いろんな笑いがあまして
- 2. ミーティングにて 新宿・テッシー
- 3. 梅雨の合間に 熊谷・かおりん

=====

今日はなんの日
1945 太平洋戦争・沖縄戦でひめゆり部隊自決
今日の花言葉
木立じゃこう草「勇気」
今日は誰の誕生日
ポール・マッカートニー（ミュージシャン 英 1942）
今日の名言
「耳をすましてごらん。地上は何ものにも何ごとにも、
それなりの音楽がある。のみり多く快活に生きたいなら、
自分の24時間に自分のリズムを作ることだ」
むのたけじ 詞集「たいまつ」より

- 1. いろんな笑いがあまして

父の日
前の日曜は、「父の日」だった。
「父の日、なにかプレゼントしたの？」
「お店に行ったけど、いいものなんにもないからしな
かった」とひいちゃん。
りょうすけ、「あ！いけない！父の日にテッシーにプ
レゼントするの忘れた！」
「おれは、おとうさんじゃないっつうの」
大爆笑！

少しわかってきたよ
数学は二次方程式の平方完成から解の公式へ...。
指導要領の改訂で高校に送られた内容だけれど、と
ても重要だから、びしっと決める。
「問題やってきたから、見てよ」と、ジーク。

「木幡さん、私、
少しずつわかってきたよ」これは、とうこちゃん。
こんな、微笑みもいいね！
寝られないよ！

「飛ぶ教室」 in 鳩間島での宿泊部屋割りをどうす
るか？

「おれ、去年みたいな4人部屋は、いやだよ」
やまちゃんが抗議するのわかる。ベッドが二つ入
っている部屋に4人だものなあ。

「どうやって、寝てたの？」

「ベッドを二つ合わせて、そこに3人。おれは、床に
寝てただけだけど、足が土間に出ちゃうんだぜ。折
り曲げなきゃ、寝れないの」

爆笑！

そんなこんなで、やまちゃん達、今年は二人部屋に
昇格。22人しか収容できないところに、それ以上行
くんだから、どうしても無理がある。最終的に、ぼ
くの部屋に誰が来るのかで大もめ？

「勘弁してくれよ。おやじとはいやだよ」と、ドラ
ゴン。

「りょうすけ、ぼくと同じ部屋でいい？」

「いや！いびき、すごいから」爆笑！

「どこがいいの？」

「この部屋」

指差したのは、とうこちゃんともえちゃんの部屋。

これまた、大爆笑！

「どれぐらいのいびき？」

「このぐらい、グワーオ！」

「それだったら、おとうさんと同じぐらいだからいいや」
笑いっぱなしの部屋決めでした。

2. ミーティングにて 新宿・テッシー

今日は、議長・木幡さん、書記・とうこちゃんでし
た。話し合うことも少なくてあっという間。

1. 夏キャンプについて

夏のキャンプについての連絡。実行委員のまっ君を
中心に概要は固まりつつ。日時、場所などを確認。
その後も、予算の編成、しおりの作成に着手。ぼく
は今までのデータを渡すだけ。春キャンプのしおり
を手伝ってくれたまっ君は、しおり作りもどんどん
進めていました。

みんなの成長がよくわかるな。大人はほとんどノー
タッチで進んでいます。

2. メダカ世話について

ミーティング前、まっくんが一生懸命メダカの水
をスポイトできれいに。結構根気のいる作業。

「でも、これってちゃんと飼うって決めた子がやら
なきゃだめなんじゃない？」と、まっくん。

そこでまっくんから提案。

「ちゃんと飼うって決めた人がいるんだから、世話
してほしい。」

これには誰も反論なし。メダカは生き物。おもちゃ
ではないし、楽しいところだけではなくて責任を持
って世話をしないとね。

でも、このような提案をしながらも最後まで仕事を
してくれたまっくん。小さい子ではなかなかでき
ない部分を注意するだけじゃなくて、自分から手伝
っていたところが素晴らしいね。こういうのが一つ
の形として定着していったらな。

3. 梅雨の合間に 熊谷・かおりん

雨が降ったり、やんだり。降ったり、やんだり。
台風まで来ているとか。お天道様が恋しいのう。
梅雨の合間に
毎日のように梅雨の話題。今日も朝から勢いよく
雨が降り続く。ところが、昼間になるにつれて、薄
日が差してきた。
「雨、どう？」
「降ってない！道路だって乾いているし。」
「じゃあ、遊びにいこうぜ！」
とみんなはあっという間に外に消えていった。
梅雨の合間。遊べる時にあそばないのかな。
地図だ！

今日は、以前に作っていた地図の続き。外に遊び
に行くついでに、街並みも確認。
「こんなところに、こんなお店が合ったよ。」
「いつも通る道も知らないもんだね。」
「よく行く場所の地図にしよう。」
街角再発見。大きな地図になりそうかな。
明日は、お散歩で体育館。
みんなからだを動かしたくてうずうず。
明日のためにも、早くやすもうかしら。
それでは！
mailto:-----> sinjyuku@jfreinet.com まで。

e-mail : sinjyuku@jfreinet.com

URL : http://www.jfreinet.com

==== デイリー・フレネ =====

----- VOL/0704----- 2003/06/19

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

- 1. 正しい休日の過ごし方？
- 2. Tシャツ作り、他 新宿・テッシー
- 3. 立正大学学食へ、他 熊谷・かおりん

=====
今日はなんの日
1945 沖縄の日本軍が玉砕する
今日の花言葉
ばら「愛」
今日は誰の誕生日
パスカル(哲学者 仏 1623)
今日の名言
「顔は正直な名刺である。人はめいめいの顔に責任を持
たなければならない」
むのたけじ 詞集「たいまつ」より

- 1. 正しい休日の過ごし方？
水曜日は、木幡、お休みの日。子ども達はテッシー
に任せて、ゆっくりしたいところだが、結構仕事が入る。
昨日は、久々のお休みだったけれど、原稿の校正...
しかし、いざ仕事をしようとする、他のことに目が行
ってなかなか仕事に入りきらない。そういうタイプ。
7時から石原裕次郎特集のTV番組を見てしまった。し
かも、「裕次郎17回忌を祈念して、裕次郎の映画を見
よう！」と勝手に理由付けし、昭和35年の芸術祭参加

映画「やくざ先生」を見てしまった。
すでに時計の針は翌日を指している。「あああー！」
と後悔の絶叫...。とにかく、書斎に入るも、机の周りは、
足の踏み場も無いほど資料や本が散らばっている。整理
するとまだ読んでいない本や資料に目が行く。
以下、2冊の本は、松岡正剛の「フラジャイル」に続い
て読んでみようと思っていたものだが、資料の山にうず
もれていた。

「フラジャイル」
弱さ・はかなさ・か弱き者などの意味。
「フラジャイル 弱さからの出発」
松岡正剛 筑摩書房 3200円
なぜ、弱さは強さよりも深いのか。なぜ、われわれ
は脆くはかないものにこそ惹かれるのか 薄弱・
片・あやうさ・曖昧・境界・異端など、従来かえり
みられてこなかったフラジャイルな感覚に様々な側
面から光をあて、「弱さ」
のもつ新しい意味を探る。
木幡一押し の名著！

「スロー・イズ・ビューティフル 遅さとしての文化」
辻信一 平凡社 1800円
スピードに象徴され、環境を破壊しつづける現代社
会は、誰にとっても生きにくい。それとは異なるラ
イフ・スタイルを求めて、さまざまな場所で模索し、
考える人々の言葉に耳を澄ます。「遅さ」という大
切なものを再発見するユニークな試み
「弱さ」のちから ホスピタブルな光景

鷲田清一 講談社 1600円
「そこに居てくれること」で救われるのは誰か？ケ
アする関係の本質に迫る臨床哲学の試み。
「私をほどいてくれるその声は、けっして『強い』
場所から発せられるものではなかった。傷を負って
挫っているようなそんな『弱い』場所から届くひり
ひりした言葉が、なぜか私をぎりぎりのところで支
えてくれたのだった」
うーん、こんな風にして一日が過ぎていく...。
2. Tシャツ作り、他 新宿・テッシー
ものつくりーTシャツ作り その3

http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm
先週プリントできなかった子が再挑戦。
ふみかちゃんは自作の絵。色鉛筆で書かれた線が綺
麗にレイアウトされ、更に猫の絵。
「ふみかちゃん、絵うまいねえ。」の声。
そう。なんとも柔らかくて優しい絵だったな。
出来上がると
「いつ着よう。いかにもお手製って感じで。」
いやいや。なかなかの出来だよ。
さおりちゃんは好きな歌手の写真。
「着るのがもったいない！」と。いいねえ。
ちょっとした作業で洋服になって使えるっていうのが
いいのかな。みんなとことなく嬉しそうでした。
鼻から出るもの。
みんなで話をしていると、ひよんな所から「鼻から何
が出て来た」という話に。
「俺なんかさあ、なんでも出してるよ。この前はサイ
ダー。」と、けんご君。
「痛くないの？」

「痛いって言うより甘い。鼻の中なのに。」
 さらに、
 「それに牛乳にスパゲッティに、カップラーメン各種。カップヌードルはコンプリートしたよ。」
 話はまだ続く。
 「今までで一番何が痛かった？」なんて質問。
 「卵焼き。卵焼きの中に殻が入ってたから。」
 「こんなに笑ったの久しぶりだよ。」とはボラ・坂野さんでした。お腹痛くなるくらいおもしろかった！
 3. 立正大学学食へ、他 熊谷・かおりん

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>
 お散歩の授業 学食へGO！in立正大学+ 体育館
 「僕、学食って食べてみたい。」
 とユータ君の意見で今日は、ボランテアのほとんどが通う立正大学の学食へ。
 6千人近くの学生さんが学ぶキャンパスと言うだけあって、とても広い。みんなきょろきょろ。大学生も不思議なそうにじろじろ。
 「すごい広いねえ。」とみんな口々に。広さに圧倒。
 「右手に見えますのは...」
 とボラヒロちゃんの案内付きで、キャンパスを一周。何ヶ所かある学食の中でも一番おいしいと言われていてところで、念願のお昼ご飯。
 「学食って、安くておいしいんだね。」とショータ君。
 「やったあ。」とユータ君。
 学食だけじゃなくて、大学の雰囲気も一緒に吸い込んだかな。

真剣勝負！
 学食でお腹を満たしたら、バスで市民体育館へ。
 「力の限界まで、からだを動かす。」と今日の目標にしているユータ君。ユータ君だけではなくてみんなもうずうず。体育館に着いたらバトミントン・卓球・バレーボール。思い思いに。
 バトミントンで、トーナメント戦を行なうことに。大人も子どもも関係なし。みんな真剣勝負。
 ただ、「かい君には、ハンデをつけよう。」という声。いいねえ。
 みんな真剣だから、試合も白熱。負ければとても悔しそう。勝ち抜いていった、ボラひろちゃんとユータ君が決勝戦。体の動きではユータ君が圧倒的だけれど、頭脳プレーのボラヒロちゃんが一蹴。
 「苦手なバックを狙われた...。」ととても悔しそうなユータ君。
 3位決定戦はきぐちゃんとスタかおり。こんなに勝ちを意識してスポーツをしたのも久々。懐かしい緊張感。接戦の末、スタかおりの勝ち！本当に悔しそうなきぐちゃん。この気持ちが次につながるよね。

雨
 外を見ると、雨。
 「雨が降ってるよ。帰るの大変だね。」と話すと、
 「俺には、汗の雨が降っている...。」とかい君。
 汗でびしょりなかい君の姿。
 「汗の雨」なんてすごい表現だね。
 明日の筋肉痛が心配ですが、みんな満足なお散歩の授業でした。

<mailto:-----> sinjyuku@jfreinet.com> まで。
 =====

e-mail : sinjyuku@jfreinet.com
 URL : <http://www.jfreinet.com>
 =====

===== デイリー・フレネ =====
 ----- VOL/0705----- 2003/06/20
 ////////// CONTENTS //////////////////////////////////////
 1. かい君との日々
 2. 豚肉の生姜焼き、ポテトサラダ 新宿
 3. タンタン麺 熊谷
 =====

今日はなんの日
 1590 活版印刷機が初めて日本に輸入される
 今日の花言葉
 とらのお「達成」
 今日のは誰の誕生日
 石坂浩二(1941 O型)
 今日の名言
 「祖母は博多に大歌舞伎が来るとなると、ぼくに『学校は毎日あるから行くことなか。千両役者はもう見れんばい』と、学校を休ませて連れていってくれた」

米倉齊加年(俳優)

- 1. かい君との日々

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>
 毎週金曜日は、熊谷に行く木幡。最近入会した7歳・かい君と会うのが、とっても楽しい。昔懐かしいあおっぱなをたらし、ジュースで育ったのではなく、煮干して育った「かつて日本の子どもはこうだった」の典型のようにたくましい感じ。
 「フライドポテト、ちょうだい！」
 これはかい君がぼくに言うのではなく、ぼくがかい君に言うのだが、「いいよ！」と小さいのをくれる。かい君、HPの映像にあるように実験は真剣。食い入るようにつめる。実験の結果が出たときの驚きの顔がまたいい。いいなあ、いいなあ。
 忙しい木幡、今週はたった1時間の熊谷滞在。新幹線に乗り、風のように去っていく。
 「じゃあ、かい君、またね！」
 ところがかい君...、涙っぽい目で「...」。ボラ・田中君、「なんだ、寂しいのか？」
 ぼくも寂しい...。でも嬉しかった...。熊谷で元気ももらって帰る木幡です。

2. 豚肉の生姜焼き、ポテトサラダ 新宿

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>
 お料理ー豚肉の生姜焼き、ポテトサラダ
 今日のお料理も4品。おかず2品にご飯に味噌汁。先週からの当番制がみんなの意識の中にあるのがはっきりわかる。
 みんな来ると、当番表を見て、
 「あっ、今日片付けた。」なんて具合。
 遅れて来た子は、
 「買い物終わっちゃった？何か手伝うことない？」
 4品作るというのは結構な作業。一つ一つならばあつという間だろうけど、そうもいかない。みんな

な分担してせっせと作業。

今日は、当番以外のところでも協力がたくさん。調理当番のしょう君は、流しがいっぱいになっているのを見て、進んで皿洗い。

「お疲れさま、ありがとう！」

と言うのは、買い物当番のドラゴン。

生姜焼きはジーコが最後にボール2つ分の肉を炒める。できたのは惜しみなくみんなに分けている。

「作る係だから、食べるの最後でしょ。」と、同じく作る係の山ちゃんも待っている。

片付けでは少しクリームも出たけれど、それも話をするとあっという間。

「食べたくないときには参加しなくていいでしょ？」というのが来週のミーティングの議題になるかな。

今までは「どうするの？」と聞かれることが多かった。最近資料を渡したり、「みんなで決めな。」という風にしていたら、みんないろいろ相談している場面が。

今までのぼくはそういう態度を取れなかったかも。少しずつでも、やっぱりお互いに変わってきているんだな。外から見ている感じが余計にこんな風に思わせました。

3. タンタン麺 熊谷

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>
 久々のお日様。だけれど、気温は30を超えている。ついに冷房始動。熊谷の夏と言わんばかりのまとわり着く空気。でも、天気がいいとみんなの元気もいいね。

お料理の授業 タンタン麺

今日のお料理は、タンタン麺。

「食べるとタンが出るの？」

とかい君。(食事前には少々汚い話ですが。)

きぐちゃんが調べてくれたレシピを読んでみる。

ラー油や芝麻醬という調味料も作る。

「????。」

「今日のお料理はできるのかな。」

と不安がよぎる。空気も何かどんより。レシピを見た限りは単純そうだけれど、作ったこともないのでやっぱり「？」あれこれ言っても始まらない。やってみるしかないのだから。

玉ねぎ・ねぎ・鷹の爪を油で煮詰めてラー油。ゴマをいって、ごま油とあわせてペーストを作ると芝麻醬。これと酢と醤油をあわせて、鶏がらのスープで薄めればスープの完成。

みんなそれぞれのお味が出来る。

「辛くしよう。」

「僕は辛いのがダメだから。」なんて言いながらワイワイ。麺は延びないうちにできた人から。

「おいしいー!」「なんか、食べたことある!」

「結構、おいしい。」「いいねえ。」

一時はどうなるかと思ったけれど、やっぱりおいしいお料理でした。

=====

===== デイリー・フレネ =====

----- VOL/0706----- 2003/06/23

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

1. 木幡のお授業 in 藤沢
2. 幡の実験 熊谷・かおりん
3. 国立博物館あれこれ 新宿・テッシー

=====

今日はなんの日

1993 長崎県雲仙・普賢岳で火砕流

今日の花言葉

たちあおい「熱烈な恋」

今日は誰の誕生日

ジネディヌ・ジダン(仏 サッカー 1972)

今日の名言

「くっきりしたエピソードを軸に過去を語れる人は、この国では少数派である」

山際淳司(ノンフィクション作家)

- 1. 木幡のお授業 in 藤沢

湘南教職員組合のお招きで授業してきました。会場の教育会館には30名ほどの教員の皆さん。新任教員が三分の一。

基礎と基本の違い、教科がクロスしてどう授業ができるかを定番「ジャガイモは水に浮くか? Salt Power」を例に具体的に説明。参加者の顔がほころぶ...。感想には「百マス計算を子どもにやらせていたけれど、少し減らそう」というのもあった。

学校に自分を合わせるか、子どもに自分を合わせるか...、そこが教員としての分かれ道...。熱意を持って子どもに接することは自分を絶対化していく危険性を持つ。

教材を媒介にして子どもと対話することの意味、少しは伝わったかしら...

2. 木幡の実験 熊谷・かおりん

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>

熊谷の気温は上がり上がり、34...

「暑い、暑い。」とやってきた木幡さん。

やってきたら早速授業をはじめ。

木幡さんの授業 ろうとの行方

木の棒を2本用意。一方を高くして、斜めに置き、高い方の棒の幅を広げておく。その間に、2つのろうとを組み合わせたものを、のっけると...。どう進む?

あらららら。なんとびっくり!?

みんな不思議そうに見つめる「ろうと」の行方。

何でだろう??? 広がる不思議。

「傾いているから?」

「この棒をクロスさせて見るとどうなるの?」

と質問をぶつけていくかい君。

「このろうとの中をのぞいてごらん。」と木幡さん。

必死に覗くかい君。

「あ、目が見えた。」

そうなんだけど。

木幡さんの授業 風船の行方

お次の実験は、ペットボトルの中に風船を入れ、膨らませてみる。

「モーメントォ!」

と呪文を唱えると風船はそのまま。

「モーメント解除お。」

とまた呪文を唱えると、風船はしぼむ。

何でだ？何でだ？何か、仕掛けがあるのかしら。
 みんなが見つめる木幡さん。
 「ストローと水を用意して。」と木幡さん。
 ストローと水でヒントを与える。
 「俺、こんな木幡さんの近くに座るんじゃなかった。」
 ときぐちゃん。
 不思議な実験。みんなもびっくり。
 暑い中、部屋の中はみんなの熱い視線が、
 木幡さんに注いでいました。
 3. 国立博物館あれこれ 新宿・テッシー

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>
 あれよあれよという間に6月も終わりそうです。今日は、梅雨はどこいってしまったのかと思うくらいに暑いです。早くもぐったり夏ばて気味。
 では、みんなの様子
 お散歩ー国立科学博物館
 久しぶりの上野。今にも雨の降りそうな空模様。急いで外でお弁当を食べて中へ。
 博物館の中はたくさんのボランティアの人が親切丁寧に教えてくれる。その度に「ありがとうございます。」自然にお礼が言えるみんな。
 ぼくはりょうすけと一緒に見学。
 「ウサギは白いときと茶色いときがあるんだねえ。」
 「冬は雪が白いから白いんだよ。隠れやすいから。」
 と、りょうすけ。コノハムシの標本を指して同じように説明してくれました。
 「あっ！マンモスだ！角がこーんな感じ！」体を使って表現。
 「こっちにはナウマンゾウだよ。」
 「ナウマンゾウはこーんな感じ！」
 展示の他にも実際に触れることのできる実験も。
 「これやる！」
 「あれもやる！」
 置いてあるものは全て網羅したね。
 タマちゃん？

いろいろな剥製があるのだけど、中でもインパクトが強かったのがトド。単純にでかい。ぼくより大きい。
 「ターマチャーん！」ってみんな。
 「あんま可愛くないタマちゃんだな...。」
 だって口を大きく開いて今にも噛み付きそうなんだから。せっかくだから記念撮影。
 地獄の門
 帰り際には、地獄の門に。これは、物心つく前からぼくが上野にいくと必ず寄る場所。
 「考える人でしょ？地獄門。」とまっつぁん。
 よく知ってるなあ。
 「門の裏はどうなってるのかな？」とみんな裏へ。係の人に注意されちゃったけど、
 「普通にドアがあった。」
 それでも、
 「前からあけたらどうなるの？」とたかちゃん。いろいろな思いを駆り立てる作品なんだよなあ。

=====

==== デイリー・フレネ =====
 ----- VOL/0707----- 2003/06/24
 ////////// CONTENTS //////////////////////////////////////

1. うっちー特集です！
 2. 宅急便の中身 新宿・テッシー
 3. お届けもの！ 熊谷・かおりん
 =====
 今日はなんの日
 1989 国民的歌手・美空ひばりが間質性肺炎による呼吸不全で死去、52歳
 今日の花言葉
 パーベナ「家族の和合」
 今日は誰の誕生日
 リカルジーニョ（サッカー ブラジル 1976）
 今日の名言
 「日の光をかりて照る大いなる月たらんよりは、自ら光を放つ小さき灯火たれ」
 森鷗外
 - 1. うっちー特集です！
 新宿のみんなへ
 はいさい！うっちー in 西表島です。みんな元気にやってるかな？うっちーがいなくて、さびしいだろう。テッシーは疲れてないかな？
 みんなの様子は、たまにHPで見えています。自分がいたあの頃が、とてもなつかしいよ。今度、「飛ぶ教室」で来る人達は、ぜひ、こっちで会おうぜ！また、東京にも行くからぜひフレネに遊びに行くぜ！島のものを送るのでみんなでもって下さい。
 - - - - -
 この4月までボランティアをしてくれたうっちーからの手紙。うっちーは、今、沖縄・西表島にいます。送られてきた箱の中には、パイナップル・黒糖・パークの缶詰・沖縄もずく・シークァーサージュース・塩せんべい・コース（泡盛古酒）などなど...
 「西表島・上原のスーパーマーケット川満で仕入れたのかなあ」と木幡。テッシー、笑う。
 健闘を祈る
 西表島・鳩間島で会おうね！うっちー！
 - - - - -
 「西表島・上原のスーパーマーケット川満で仕入れたのかなあ」
 2. 宅急便の中身 新宿・テッシー

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>
 お昼過ぎに届いた宅急便。差出人は、なんとウッチー。ふたを開けると、いい香りが広がりました。
 「沖縄のニオイがする！」
 とりょうすけ。（この感性、いいなあ）
 中身は香りの正体・パイナップルをはじめ、沖縄名産のものがぎっしり。
 さらには手紙も。なんだか胸がいっぱいになったなあ。ぼくがフレネに来たときからこの3月まで一緒にやってきたのがウッチー。ついこの間の話のことだけれど、ずいぶん昔のことみたい。
 ウッチーの沖縄行きが決まった後、二人で飲みながら「別々の場所になるけれど、この道で頑張っていればいつかまた一緒にできるかもね。」と話したのを思い出しました。
 ノスタルジックになってる暇なんてないね。一つ気合を入れ直してもらいました。ウッチー、ありがとう。7月に会おうね！

3. お届けもの! 熊谷・かおりん

http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm
 「サインお願いします。」と午前中にお届けもの。
 どこから見ても、沖縄からのようだ。心当たりも
 ないので、送り主を見てみると、西表にいる、
 新宿の元ポラウッチーから!!!
 「なんだろう?」とみんなで中身当て。
 「沖縄だからハブとマンガースかな。」
 (無理無理...)
 「シーサーかなあ。」とみんなわくわく。
 空ける前から、甘い匂い。箱を開けるとパイナッ
 プルに、ポーク缶・黒砂糖・シークワサージュ
 ース・塩せんべいにもずく! 沖縄の特産品がた
 くさん。
 「早く食べたいよお。」という声もあったけれど、
 パインは冷やして明日食べる事に。冷やす前に
 パインで一発芸。
 (ちょんまげとか、火星人とか、マイクとか...)
 ウッチーにお礼の手紙を書こう。
 沖縄の空気と一緒に懐かしさも届いた。天気は
 ぱっとしないけれど、晴れ晴れとした気持ち。
 天気に負けずにがんばろうっと。

=====

==== デイリー・フレネ =====

----- VOL/0708----- 2003/06/25

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

- 1. ぼくの帽子が!
- 2. ミーティングにて 新宿・テッシー
- 3. もしも... 熊谷・かおりん

=====

今日はなんの日
 1950 朝鮮半島北緯38度で韓国と北朝鮮が軍事衝突、朝
 鮮戦争が始まる
 今日の花言葉
 あさがお「愛されたい」
 今日誰の誕生日
 アントニオ・ガウディ(建築家 スペイン 1852)
 今日の名言
 「人間の一生は誠にわずかの事なり。好いた事をしてし
 て暮らすべきなり。夢の間の世の中に好かぬ事ばかりし
 て、苦しみて暮らすは愚かな事なり」

山本常朝(「葉隠れ」著者)

- 1. ぼくの帽子が!
 「木幡さん! ねえねえ! 見て!」
 ぼくの帽子(ラビットの毛皮でラッコのしっぽがつ
 いている Made in Canada)を持って、りょうすけ
 がやって来た。
 帽子を床におくと...、するするするーと帽子が動く!
 まるで、狸か大きなネズミ! あるいはカブトガニ?
 「なんだなんだ!」
 中に、電池で動く電車が入っていた。
 数字間後、とうこちゃん、「木幡さん! ねえねえ!
 見て!」。りょうすけと同じことを、ぼくに見せる。
 「それねえ、さっき、りょうすけがやっていたよ」
 「...でも、おもしろいでしょ!」
 おもしろいけどさあ、ぼくの帽子、擦り減っちゃう

よ...。

2. ミーティングにて 新宿・テッシー

今日は、議長・さきちゃん、書記・とうこちゃん
 でした。

・クーラーについて

「この前、寒くてお腹が痛いって言っているのにクー
 ラーを止めてくれなかった。どうして、体調が悪いの
 を優先してくれないんだ。」

と、まっつあんから木幡さんへ。

「ぼくだって、暑くて気持ち悪かったんだ。どうな
 るの?」

と、木幡さん。同じスペースにいる以上、いろいろな
 体調の人がいるに違いない。自分の感覚が共通じゃな
 い。

いろいろ話をしていると、

「いや、あの日は涼しかった。」

「節電だよ、節電。電気が足りないんだぞ。」

周りはいろいろな方向へ脱線させる発言。これには、

木幡さんの発言を聞いているまっつあんも、

「うるさい! 聞こえない!」

臨機応変にということで話はまとまりそうだけど、

まっつあんは納得いかないけど「もう、いいよ。」

といった表情。

「今は、クーラー止めてるでしょ?」と、ぼく。

「これは、俺が止めたんだよ。」

「でも、つけてないでしょ?」

「俺が止めなきゃつけっぱなしなんだよ。」

「この前はつけたまんまだったけど、今日は止まった
 まんまでしょ。この前まっつあんが言ったから、状況
 が少し変わってるんじゃない?」

「だけど、この前は...」

「温度も上げるようにしてるんだよ。」と木幡さん。

「だけど...」

同道めぐり。

聞き入れてもらえないって思ったまんまでいられるの
 は、すっきりしない。もやもやが残る。まっつあんの
 気持ちはわかるし、彼の言葉で変わっている部分があ
 ることはなんとか伝えたい。ここは根気。

最終的にはみんなの意見を聞いて、というところで終
 着かな。一つのスペースにいる上での難しさ。些細な
 ことから痛感です。

3. もしも... 熊谷・かおりん

一日中ザーザーぶりの雨。ここまで降ってしまうと、
 気持ちいいけれど、やっぱり雨は嫌。天気の良いか
 帰りに子ども2人。晴れた天気とみんながいる
 のがいちばんいいな。

もしも...

もしも、何10億、何百億というお金があったらどう
 するか。

「俺、もし何10億もあれば、でっかい船を買って、
 漁に出る。あと、水槽も買う。」

「俺、家買って、本棚を作って、好きな本を買いあさる。」
 「貯金。」

「けど、今の銀行に預けることの方が心配だね。」

と話が盛り上がる。

(フレネに寄付とはならないのね...)

昨日きぐちゃんと話していたときに、村上龍の『あ
 のお金で何が買えたか』と言う絵本の話になった。

何十億、何百億と銀行などの再建のために投入される公的資金。そのお金があれば、他に何が出来たか。盲導犬の訓練、ストーリーチルドレンへの毛布の配布など、かわいらしいイラストでわかりやすくなかかっている。難しいことばもあるので、読み聞かせながら進める。
「もしも...」絵空ごとのようだけれど、みんなで思いを巡らせることはとてもおもしろかったな。

もしも金をいくらか持ってたら
自転車を買ってさ
この狭い部屋から すぐにでも出ていくけどな
もしも何十万円も持ってたら
オートバイを買ってさ
この狭い街から すぐにでも出ていくけどな
もしも何百万円も持ってたら
飛行機を買ってさ
この狭い日本から すぐにでも出ていくけどな
もしも何千万円も持ってたら
ロケットを買ってさ
この狭い地球から すぐにでも出ていくけどな
でもよ おいらにゃ銭はない
あるのは借金ばかり
それで もしもにしてさ 少しばかり
楽しい思いをしてるのさ

ぼくの友人、フォークシンガーで武蔵野タンポポ団のメンバーだったシバが上記のように歌っていた。
今から30年以上も前の話...(木幡)

==== デイリー・フレネ =====

----- VOL/0709----- 2003/06/26

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

- 1. 「構造改革特別区」問題に思う
- 2. 二本立て授業 新宿・テッシー
- 3. 雨の中、国立科学博物館 熊谷・かおりん

=====
今日はなんの日
1968 小笠原諸島が日本に復帰、東京都下の村になる
今日の花言葉
ライラック(白)「美しい契り」
今日は誰の誕生日
具志堅用高(ボクシング 1955)
今日の名言
「中国の農家を回って『トキが苗を踏み倒すのがないですか』と聞くと、『ある』という。『憎らしいと思いませんか』とさらに尋ねると、『思いません。翌朝回って、植えなおします』という答えです」
村本義雄(鳥類保護連盟)

- 1. 「構造改革特別区」問題に思う
構造改革特別区の関係部門で、フリースクールNPO法人や株式会社の学校参入が認められた。世間の風潮はこれを一種の規制緩和として歓迎しているが、ぼくは、この流れに反対の立場をとる。
ジャパンフレネが設立された時、文部科学省の寺脇研氏から、電話がかかってきた。
「いやあ、木幡さん、校長を辞めてフリースクール

をつくるのですか」しばし、雑談の後、彼、曰く
「フリースクールにお金を出せという動きがあるけれど、木幡さん、どう思います」
基本的にもraitakない旨伝えと、「そうですねえ！フリースクールがお上から金をもらったら、フリースクールじゃなくなりますよねえ」
ぼくも、実際、そう思う。寺脇氏と主張は異なるものの、フリースクールが学校化することには反対の立場をとる。フリースクールを学校化するのではなく、フリースクールと学校をパラレル(対等)な学び場として位置付け、認知していくことが重要である。
学校は、どんなに麗しいことを言っても、国民を育成する場で、個を重要視するフリースクールと全く反対の極にある。フリースクールが学校化することで学校という学びの場になじまない子どもの学びの場は、どのように保障されるのであろう。
苅谷剛彦氏(東京大学大学院教授)は次のように述べる。

『『本当の自分』を起点において、教育を作り上げようという発想は、一見好ましいように見えるが、それを公教育という制度に乗せようとしたとたんに、困難な問題に直面する。根本的な矛盾といってもよい。それは税金によって運営され、それゆえ、一定の社会的な合意を前提に、教育内容や教育の資源配分を決定したうえで集行的に行われる公教育という営みと、ここで言う『本当の自分』を尊重しようとする教育とは、原理的に相容れないものだ、ということである」

「なぜ教育論争は不毛なのか」(中公新書クラレ)
この一点に関しては同感である。だからこそフリースクールが必要なのではないだろうか？

2. 二本立て授業 新宿・テッシー
外に出られないので、みんなもてあましているよう。沖縄のしおり作りの日だったけれども、急遽授業。まずは、メビウスの輪。
「これ知ってる？」
「あっ、知ってる。」とは、フレネ歴の長い子。一ねじりをまずは真ん中で切っていく。みんなの予想は...
「ほらね、あたり。」
じゃあ、二ねじり、ハサミを二周入れる...。どんどん広がっていきました。
ただどしばらくすると、
「あー、なんかやることないかなあ。」
じゃあ、もう一本。
3×3の正方形に並んだ点を、4本の直線の一筆書きでなぞる。これは、結構有名。
「あっ、これも知ってる。」
でも、実際にやってみると...??
「どうやるんだっけ??」
次のレベルは4×4を6本で。これは、さすがに骨のいる問題。
「あっ！」と声があがるたびに
「違うじゃん！」
「こういうときは確実にあっているときまで声だすの我慢してないと恥をかく。」と、けんご君。
「これで、いいの？」とドラゴン。

「ん??ちょっとまって...。」
 ぼくのやり方と少し違う。
 そうしている間に、
 「できた！」は、けんご君。ドラゴンと同じやり方で
 正解！
 「ブルさんのせいで、2番目だよ!!」と、ドラゴン。
 みんなの試行錯誤の結果、机の上は消しゴムのカスだ
 だけ。けんご君はそれを集めてサイコロを作っていたま
 した。

3. 雨の中、国立科学博物館 熊谷・かおりん
 お散歩の授業 国立科学博物館
 どしゃぶりの雨の中の今日のお散歩。晴れていれば
 上野動物園に行く予定だったけれど、雨なので、国
 立科学博物館へ。新宿の様子をHPで見ていて、み
 んな触発されたご様子。

「ここなら、雨でも濡れないしさ。」
 ってなわけで、今日は久々の遠出。

大興奮
 科学博物館に入ると大興奮のかい君。用意してきた
 カメラを片手に走り回る。
 「すっげーのがあった。」
 「あっち行ってみる。」
 「生きている魚いないの？」
 「これ、図鑑で見てるから知ってる。」
 「この角度から写真を撮る。」

博物館中を動き回り、そして、しゃべりまくる。
 恐竜や魚が大好きで図鑑もよく読んでいただけあっ
 て、解説を私が読んで、
 「知ってる、知ってる。」「そうそう、そうだった。」
 という感じ。

けれど、本の中と実物大のものを見るのではやっ
 ぱり違う。大興奮のかい君。見ているこっちも楽し
 かった。連れてくるのが出来てよかったあ。

ハス
 「こんなところに、ハスが。」とえり君。
 チョコQと一緒に集めているので、ちょっとした動物
 は詳しくなった。知っている動物がいると嬉しくな
 るよね。

なんとも
 体験できる部屋で物づくりをやりたいかい君。一緒
 に参加。しかし、少し難しそう。そこにいる指導員
 の人から、
 「ちょっと難しいから、お母さんと一緒にいいかな。」
 って。入れ替わり立ち代る指導員さんから、
 「お母さん」と連呼。
 気まずそうな表情を浮かべるかい君。周りからは
 そんな風に見えるのかなと、スタかおり。
 なんともかんとも。

いいねえ
 かい君の周りにいるおにいちゃん。網棚に荷物を
 載せたいけれど、載せられない様子に
 「あいよ。」ときぐちゃん。
 「ほれほれ、傘わすれているよ。」とショータ君。
 博物館を動き回るかい君、探していると
 「あそこにいるから、大丈夫だよ。」とユータ君。
 お願いしたわけでもないけれど、自然とやっている。
 みんなで成り立っているねえ。いいねえ。
 土砂降りだった雨も帰りには嘘のように、夏の日

差し。遠出で疲れたけれど、満足そうなみんなの
 表情のような空でした。

=====

===== デイリー・フレネ =====

----- VOL/0710----- 2003/06/27

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

1. 構造改革特区問題をめぐって
2. 新宿 vs 熊谷「お料理対決」
3. 夏合宿・最終案内

=====

今日はなんの日
 1994 松本市で猛毒ガス「サリン事件」が発生、7人死亡
 今日の花言葉
 とけい草「聖なる愛」
 今日は誰の誕生日
 ヘレンケラー（社会福祉活動家 米 1880）
 今日の名言

「学生がよく、この授業はなんの役にたつかと言
 うが、七割まではムダである。しかし、この七割をば
 かにしてはいけない」

森 毅（数学者・評論家）
 - 1. 構造改革特区問題をめぐって
 昨日の構造改革特区の問題でお便りいただきました。
 - - - - - 以下、転載。

学校もフリースクールも教育あるいは学習の場に過
 ぎませんから、学校あるいはフリースクールを金銭
 的に援助するのではなく、教育を受けるあるいは学
 習をする子供達を経済的に支えると考えべきでは
 ないでしょうか？
 こどもが教育を受ける権利を保証する意味でも、公
 立学校あるいは私立学校を問わず、子供に対して公
 平な経済的援助があるべきです。

- - - - -
 まったく、その通りだと思います。
 学校法人の場合、私立学校の場合でも公的援助はあ
 ります。しかし、フリースクールは学校法人ではな
 いため、援助を受けることはできません。
 現在、通学証明書を発行し、通学定期を購入するこ
 とはできますが、それもいわゆる義務教育までです。
 子ども達がフリースクールに通うことを全面的に認
 めたわけではなく、学校以外の場所に「実習」に行
 くという名目で発行されるのです。
 今や、学校がすべてを担いける時代ではありません
 学校と学校以外の連帯のあり方が模索されるべき
 だと考えます。

2. 新宿 vs 熊谷「お料理対決」

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>

お料理ー冷やし中華
 なんだかとても忙しい。あっちへいたりこっちへい
 たり。今日も、沖縄のしおりやらなんやらで、お料理の
 ことに目がいったときにはすでに準備完了状態。
 トマト、きゅうり、焼き豚などすでに切り終わっている。
 中でも目を引いたのが卵焼き。
 「うまいな、これ。誰が作ったの??」
 「ジーコだよ。一人でやってたよ。」
 ジーコは料理が得意。手つきも素晴らしいし、知識も

豊富。
 そういえば、
 「これからは、男の人料理ができなきゃいけないんだよ。当たり前。」と、話していたなあと思い出したな。ぼくは、麺の第2弾を茹でることに。
 「こんなもんか？あとどのくらい余ってるの？」と聞くと、「あと4玉ですよ。」と、ボラ・なおちゃん。そんなくらいだったら全部入れちゃえ、って勢いで入れたら鍋は溢れんばかり。素知らぬ顔で茹でてはいたけれど、内心冷や冷や。だけど、茹で上がれば「おかわりしたいんだけど...。」
 やっぱおいしいみたい。「みんなの様子見てだね。」
 あっという間の完食でした。今日はウッチーのお土産も頂きました。パイナップル、おいしかったなあ。

お料理の授業 ハヤシライス
 今日のお料理は、ハヤシライス。市販のルーは使わず、ホールトマト、ケチャップ、ウスターソースなどで味付け。けれど、やっぱりなんか違う。「こんな味したっけ？」「なんか、スープみたい。」とあやしい雲行き。
 「あ、塩・コショウ」していないからだ。と原因説明。コトコト煮込めばあっというまに出来上がり。みんなで大きます！
 しかし、本日の感想でユータ君。「今日のハヤシライスの味は納得いかない！」
 そうか。おいしいと思ったんだけどね。今度またおいしいのつくろうね。

3. 夏合宿・最終案内
 恒例の夏合宿の最終案内です。学校でもフリースクールでも「楽しい授業を！」を目指して活動するジャパンフレネ主宰の合宿です。
 今回は、収容人員の関係で宿泊参加者を限定せざるをえません。参加希望者は、メールにてジャパンフレネまでお申し込み下さい。
 残り、若干名の募集です。

【授業作りの会「BASIC」夏合宿】
 日程
 2003年7月26日(土)午後2時~27日(日)正午
 会場

[旅の宿「ほたる」]
 山梨県南巨摩郡増穂町小室1737-17
 Tel 0556-22-6654

全館貸切 富士山が一望できる里山の民宿。里山懐石を堪能できます。JR身延線鵜沢口駅・市川大門駅より送迎あり。

内容
 [ワークショップ『あかりのレシピ』]
 発光ダイオードを使い、ひとのところに優しい「あかり」を実際に作るワークショップです。参加者全員で作成し、発表会を行います。

[授業レシピの配布]
 今まで作成した授業レシピ(冬に三分の一配りました。今回は、また三分の一、およそ100本)を参加者全員にお配りします。これだけで、大きな財産になります。
 [授業レシピの発表とフィールドワーク]

「縄文土器を作る」の発表の後、「古墳の探索・縄文土器の採集」のフィールドワークを行います。

参加費
 1泊3食飲み放題、ワークショップ材料費・授業レシピ印刷実費込みで1万5千円
 申し込み方法

メールにて住所・氏名・年齢・電話番号をご連絡下さい。
 =====

===== デイリー・フレネ =====
 ----- VOL/0711----- 2003/06/30
 ////////// CONTENTS //////////////////////////////////////

1. 本日のおすすめ 錯覚定規
2. 癖になりました またまた、昭和記念公園
3. 錯視な一日 熊谷・かおりん

=====

今日はなんの日
 1872 新橋停車場構内に初の駅食堂が誕生
 今日の花言葉
 すいかずら「愛の絆」
 今日のは誰の誕生日
 マイク・タイソン(ボクシング 米 1966)
 今日の名言
 「親方に授けらるべからず。一意専心親方を乗りこす工夫を切磋琢磨すべし。これ匠道文化の神髄なり」
 西岡常一(宮大工棟梁)

- 1. 本日のおすすめ 錯覚定規
 出版社の編集長と新宿で飲んでたときのこと...。「木幡さん、これを見て下さいよ」
 編集長が財布から取り出したのは扇形を要の部分から半分ぐらいのところでカットした図形(イメージになるかなあ?)二つ。一つには青いリボンの猫。もう一つには赤いリボンの猫。
 「木幡さん、青い猫をかわいがって下さい。優しくなげるんですよ」青い猫をなげて返すと...。「ほら、木幡さんがなげたから大きくなった」
 本当だ！一瞬ビックリしました。目の錯覚とわかっていても、ビックリしますよ。これは授業になります。プランニングし、8月末に出す本に書きました。実に面白い！フレネの近く、伊勢丹のマジック用品売り場に「錯覚定規」という名前で売ってました。消費税込みで1050円です。ご希望の方、買ってお送りしますよ(実費+送料)。

2. 癖になりました またまた、昭和記念公園

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>

お散歩-昭和記念公園
 またまた行ってきました。昭和記念公園。天気が心配だったけれど、そんな心配なんて全く必要のなかった快晴。
 ついたら、みんなでお昼。その後、トランポリン、などなど...。いつものコース。いつもと違うところといえば、他の遠足団体がいなかったということくらいかな。
 ハンモックでは、他に人がいないのでほかのボラも一緒になってワイワイがやがや...。すると、園内放送。「大人の方はやらないで下さい。」
 「監視カメラがあるんですよ。」と、ボラ・かおりちゃん。
 アリ、アリ

まっつあんの腕の上を走りまわるアリ。それを見ている
まっつあんなんだか嬉しそう。横から、りょうすけ、ちせ
ちゃんも覗き込む。
「アリは同じルートしか歩かないんだよ。」と、まっつあん。
「へえー。どうして？」
「尻からニオイをだしてそれにたどって歩くから。」
みんなさらに「へえー」という顔。
まっつあんからの豆知識。いいなあ。
それにしても長い間腕の上にアリを置いているまっつあ
ん。

「なんかかわいいな。」
情が移ったみたい。そういうのも、さらにいいなあ。
暑い！
なんてったって暑い。
「この辺プールないの？」
「水辺に行きたいなあ。」
こんな涼しさを求める声が続出。
そんな中、
「すげー汗かいちゃった！」と、ドラゴン。Tシャツも頭も
びしょり。何かと思えばペットボトルで水浴びをしてい
ました。こんな思いきりも、若さかな？

満員電車
帰りの電車。何とも様子がおかしい。どうやら車両事故
でダイヤの乱れ。立川の駅では電車はこない、ホーム
は人で溢れんばかり。ぼく達もホームの外側にしか入れ
ず、おっかない。
「乗れるの？」という声の中、何とか乗車。でもギュウギ
ュウ。さすがに途中で空いている電車に乗り換え。
最後の最後に一苦労でした。

3. 錯視な一日 熊谷・かおりん
今日は久々に夏の日差しが戻ってきた。こんな日は部屋
にとどまっているはずもなく...。フレネのスペースはもぬけ
の殻。声が響くように感じるのは気のせいかな。

あれあれ？
金曜日は木幡さん。取り出したるは、扇型の猫の絵。
「かい君、ネコをいい子いい子ってしてごらん。」
「え？やだよ。」って言いながらもネコをいい子いい子。
すると、ネコがのびてる。驚きを隠せない様子。
「今度は、ぶってみると。」ほらもとどおり。

あれあれ？なんで？
ニコニコ笑う木幡さんと目を丸くするかい君の表情が
よかったなあ。

錯視
目は意外に騙されている。同じ長さのものでも、並べ
方によって、長く見えたり、短く見えたり。そんな、図を
いろいろ今日は見る。
「あ、これはウサギとアヒルが見えるね。」
向かい合う顔の人と正面の顔が見える絵から、
「なんか、これエリ君に似ているね。」とひと笑い。
いろんなものが見える絵だね。

=====

==== デイリー・フレネ =====

----- VOL/0712----- 2003/07/01

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

1. ミーティングにて
2. 食塩水でシャーベット 新宿・テッシー
3. Tシャツづくり 熊谷・かおりん

=====

今日はなんの日
1997 香港がイギリスから中国に返還される

今日の花言葉
松葉菊「怠情」
今日は誰の誕生日
カール・ルイス(陸上競技 米 1961)
ダイアナ(元皇太子妃 英 1961)

今日の名言
「対等とは、平等という地平の上に花開くもので
ありながら、それぞれは違う。平等が『みんな同
じ』とするなら、対等は個が粒だっているという
ことになる」 落合恵子(作家・随筆家)
餡(あん)で言うなら「平等がこし餡であり
、対等が粒餡である」と解説している。

1. ミーティングにて
パーティー実行委員会
来週の木曜日、第1期終了のパーティーを行うこと
にした。「あんまりお金がかからないものもいいな
あ」と、ミッキー。そこで、ボーリングやカラオケ
などはオプションとして二次会で。
フルーツバスケットとかカルタ大会など出てくるが
なかなか決まらない。
「じゃあ、実行委員会を作って、提案してよ。実行
委員をやりたい人？」

「はーい！」と、りょうすけ。
続いて木幡も「はーい！」
「りょうすけ、パーティーで何をやるのか？」
「木幡さん！電車ごっこやろうね！」(大爆笑！)

講座の変更
毎週火曜・木曜に行われている英語と数学の講座、
木幡・手島ともフル回転でいっぱいいっぱい。そこ
で、講座を他の曜日に散らばせることに...
「えー、週2回しか来れないよ」ここが調整の難しい
ところ。なるべくニーズに応えるようにするけれど、
ジャパンフレネは補習・受験塾ではない。
ここはしっかり確認してほしいところだなあ。

2. 食塩水でシャーベット 新宿・テッシー
<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>
今日は実験を一つ。
「お皿の上に氷があるでしょ？これを糸で持ち上げ
たいんだけど、どうしたらいい？」こんな質問から
開始。
糸をぐるぐる巻きつけたり、結んでみたり。だけど、
つるつと滑ってなかなか上手くいかない。
そこで取り出したのが塩。氷の上に糸を置いて上か
ら塩をかけると...、あら不思議。しっかり持ち上
がる。

「どれどれ、やらせてっ！」
塩まみれの氷ができあがり。
氷の温度、塩をかけるとどうなるのかを簡単に説明。
「海の水にも塩が入ってるよね。」
ちょうど「タイタニック」の映画が先週にやってい
たので盛り上がる。
これだけではおもしろくないので、今度はこの実験
の結果を実用したシャーベット作り。ボールにたく
さんの氷をはり、そこにジュースを入れた試験管を

さす。
 「じゃあ、凍らせるにはどうする？」
 「冷凍庫。」
 そりゃそうなんだけどさ...。
 食塩をこれでもかとかけて温度を下げる。これがかなり冷たくて、あっという間に凍り出す。さしておいた割り箸の動き具合で
 「あっ！もうできてる！」
 みんなで何回も作って、何回も食べて。片付けも子ども中心にしっかりできたし。とっても楽しかった！
 3. Tシャツづくり 熊谷・かおりん

http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm
 新宿でやったTシャツ。「熊谷でも作ってみたい！」ってなわけで、T-シャツ作り。デザインを決めて、書いたり、自分の好きなもの切り抜きを切り貼りする子などなど、自分の思い描くものが出来ていくのはやっぱり楽しい。
 どんなのできるのか楽しみだ。
 にぼし

「おれ、これにするんだ。」とかい君はフレネに着くとすぐに、恐竜の図鑑を取り出した。T-シャツにつける絵を選んできたようだ。
 そこにいるのは「ゲロサックス」という、ウーパールーパー（古いな）に似た恐竜。ポラリエちゃんと拡大コピーをして作る。T-シャツの表と裏にゲロサックス。なかなかかわいい。
 アイロンで貼り付けながら、くっついちゃったり、うまくはがれなかったり四苦八苦。
 「しっぽの部分がなんかにぼしみたいにくしゃくしゃ。」と言いながらも、出来上がりに満足そう。あたしもほしいなあ。

=====

===== デイリー・フレネ =====
 ----- VOL/0713----- 2003/07/02

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////
 1. 立山誠浩からのお便り
 2. お散歩の注意 新宿・テッシー
 3. ザリガニ君&辞書で遊ぼう 熊谷・かおりん

=====

今日はなんの日
 1968 東大全共闘が結成され、安田講堂がバリケード封鎖
 今日の花言葉
 金魚草「欲望」
 今日のは誰の誕生日
 浅丘ルリ子(1940)
 今日の名言
 「思案に余る一大事に会ったときは、一大事と考えるから決断がつかない。大事の思案は軽くすべし。武士は何事も七呼吸で決断せよ。」

鍋島直茂(佐賀藩藩祖)

- 1. 立山誠浩からのお便り
 以前勤務していた学校の教え子の父親である立山誠浩さんからの近況報告です。映画のような美しい情景で、ノスタルジーに襲われ、胸がキュンとなりました。

- - - - - 以下、転載。

ご無沙汰しております。お元気ですか。一昨日の土曜日から、母親の介護で郷里の高松に帰省しております。

84歳の年女で、軽い“老人性退行変化”つまり痴呆の始まった母親が抱える当面の問題は、目下のところ“トイレ”。足腰が極端に弱ったため、トイレまでの移動がおぼつかない、くわえてトイレの場所を瞬時に思い出せない。いきおい、何十回かに一度“失敗”が生じます。殊に、意識がはっきりしていない就寝時に。

母親が眠る居間は、畳で云うと二十畳ほどの洋室。そこにベッドを据えて、一日のほとんどの時間を過ごしています。居間の両端にドアがあり、片方はトイレに、もう一方は小生が眠る食堂につながっています。母親のベッドからはトイレのドアの方が圧倒的に近く、しかもそのドアには、「トイレ」と大書した紙が貼ってあります。

でも、失敗するのです。夜中に目覚めた母親は、なぜかより遠い食堂側のドアに向かい、食堂を越え台所を通過し、洗面所から風呂場に向けておぼつかない足取りでさまよってしまう。そしてそのころには“自然の呼び声”はこらえきれないものになっているのです。

小生が子どものころの母親は、実の息子の目から見ても“ちょいときれいなお母さん”でした。誰に言ったわけではありませんが、幼い小生にとってそれは密かな自慢でした。

もうろくした母親の粗相の後始末をしながら、時おりそのことを思い出します。歯のない口をへの字に曲げた母親に新しい衣類を着せ、もう一度ベッドに寝かしつけながら、子どものころの母親をちらりと思い出すと、なんとも言いようのない思いを覚えるのです。

母親の愛犬“カメ”を連れた午後の散歩は、いつも山を下って港に向かいます。

バス通りを横断し商店街の裏道を抜けると、河口近くの川岸に出ます。さして広くない川の片岸は、船が接岸できる岸壁になっており、何十艘もの漁船がびっしりと停泊しています。岸壁沿いに作られた道路は、漁師たちの作業場。赤錆びた錨や様々な釣具が地面に置かれ、その上には、魚網が舞台の引き幕のように架け広げられて、梅雨の合間の青空からふりそそぐ日差しを浴びています。

河口に向かってぶらぶら歩いていると、岸壁のかたわらに小さなほこらを見つけました。中を覗くと、地藏菩薩を刻んだ石柱が八基、二段に並んでいます。どれも抱えて持ち上げられるほどの大きさです。首を突っ込んでよくよく眺めると、古いものには戦後直ぐの、新しいものには平成の年月日が刻まれています。

ほこらのそばで孫の手を引いているおばあさんに、声をかけました。

「このお地藏さんは、守り神かなにかかな」

「...ここでノ、水に落ちてノ、死んだ子のな、お墓じゃ」

「.....」

どうりでどの石柱も、抱きかかえられるほど小さいわけです。家の前の道も背丈ほどの岸壁も、一気に

越えてしまうほど活発な、可愛い盛りの幼児たちがまつられていたのです。痛ましいな、とつぶやく小生に、ほんにノ、と老婆はこたえました。

漁船がもやう岸壁が終わると、川は、防波堤に囲まれた本格的な港に流れ込みます。港の前は、セメント工場。貨物船が接岸する岸壁は、こぼれたセメント材料の海砂で覆われて、太陽の光をまぶしく反射しています。白い砂を踏んで岸壁の端に立つと、防波堤の赤い灯台の向こうには、初夏の瀬戸内海が広がっています。

港の外では、気の早い若者たちが夏の到来を待ちかねて、水上スキーに興じていました。豆粒のように小さく見えるモーターボートが、スキー板に乗る若者を曳き、青い海原に白い弧を描いて反転しています。

航跡を突っ切って、円の外側に出るんだ。バランスに気をつける！

小生の応援の甲斐もなく、遠心力を捕まえそこなった若者のロープはみるみる垂れ下がり、若者はスキー板とともに水中に沈んでしまいました。

七歳年上の次兄が大学生のころ、水上スキーに連れて行ってもらったことがあります。次兄の高校時代の同級生が呉服屋の跡取り息子で、四十年近くも昔に、なんとモーターボートと水上スキーを持っていたのです。

半日の間、何度も海面に叩きつけられたあと、なんとか立ち上がれるようにはなりました。しかし最後までできなかったのが、反転するボートに合わせて方向を転換すること。倒れこむほど体を傾けて遠心力を捉えることが、できなかったのです。水上スキーに挑戦したのは、後にも先にもこの一日だけ。

モーターボートが、波間に漂う若者のそばに戻ってきました。岸壁に立つ小生には、沖合にいる若者たちの歓声もモーターボートの爆音も、聞こえてきません。彼らと小生の間には、青い海原が広々と広がっています。同じように、モーターボートに曳かれて波の上を滑走した夏の日と、カメを連れて港に立つこの午後の間にも。

きらきらと輝く、おだやかな港の真ん中で、ボラが一匹、ぼつんと跳ねて消えました。

2. お散歩の注意 新宿・テッシーミーティング

今日は議長・まっ君、書記・とうこちゃんでした。

・お散歩のときの注意

「みんなで移動しているのに、勝手な行動はしないで欲しい。」と、まっつぁん。

これは、先週の昭和記念公園でのお散歩のときのこと。みんなで移動をしようとしたときに、何人かがお菓子を買いにいってしまっていて、待ちぼうけになってしまったことを受けて。

もちろん反論の余地はなし。以前にも似たようなことがあったので、再度確認といったところかな。

今日のミーティングに参加していた子の中から、「あっ、私のことだ。ごめんなさい。」という声も。しっかりわかっているみたい。

「団体が動いているんだから...。」という発言。子どもの中から出てくるととても心強いです。

沖縄へいく前での、この発言。とても大きいね。

3. ザリガニ君&辞書で遊ぼう 熊谷・かおりん

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>

ザリガニ君

朝フレネにつくと、なんか生臭いような匂い。玄関先に、バケツ。覗いてみるとそこにはザリガニ。釣り竿も置いてある。

「おれ、朝釣ってきたんだ。」とかい君。

「どうやって持ってきたの？」と不思議そうなユータ君。

「こうやって、かかえて持ってきたん。」とかい君。

電車なのにすごいなあ。

そこから、ザリガニは何で釣るといいかという話で盛り上がる。

「スルメとか、にぼしじゃないの？」と聞くと、

「ザリガニ共食いにするのが一番なんだよ。」

「レバーもすごい、うじゃうじゃ寄って来るんだよ。」

やっぱり自分でやったことの話には盛り上がるね。

「ザリガニにサバを食べさせると青くなるらしいよ。」

とユータ君。ほんとなのかなあ。試してみたいね。

辞書で遊ぼう。

今日は土曜日のBASICでやった、「うしろにひかえしものは・・・。」何がうしろにひかえているかといえ、指定した単語(例えば「かおり」のすぐ後にくる単語は?)辞書ですぐ次にくることばをあてっこする。辞書をみんなでにらめっこ。りょうくんがお題を出し、ユータ君、しゅん君、スタかおりで対決。

「そら」とか「ぶた」とか。みんなで悩む。単純なことばだけれどなかなか難しい。ぶたは「豚」にとらわれてしまうとだめ。

ぴったり当たると嬉しい。みんなではまって気がつけば1時間半。

雨で外に出られないときはいいね。はまりそう。

最終日

「最終日はどうしましょ?」と。

やっぱり最後の日だし、みんなで遊びたいねと言う声。

「お昼ご飯も、そとがいいなあ。」という声もでたら、「なら、みんなで作って外で食べようよ!。」

とあれやこれ。あと一週間楽しめるように、したいね。

第一期の始まりもみんなでお団子作って、外で食べた。そのとき桜が満開だった。その桜の木も今は葉っぱが生い茂っている。時間が経つのを感ずるなあ。

=====

==== デイリー・フレネ =====

----- VOL/0714----- 2003/07/03

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

1. 平和祈念資料館に行く前に...
2. 子ども達が少ない時は 新宿テッシー
3. さいたま水族館へ行ってきた 熊谷・かおりん

=====

今日はなんの日

1981 アメリカで同性愛者から原因不明のガンを発見と

ニューヨークタイムズが報道、エイズの発見

今日の花言葉

けし(白)「忘却」

今日は誰の誕生日

カフカ(作家 チェコ 1883)

トム・クルーズ(俳優 米 1962)

今日の名言

「人間の目は失敗した時初めて開く」

チャーホフ

- 1. 平和祈念資料館に行く前に...

「飛ぶ教室」 in 沖縄の事前学習のため、新宿住友ビル32階にある平和祈念資料館に行くことになった。蒸し暑い日のひとときの子もたちの様子。

ピ・ピ・ピ・ピタゴラス

ドーナツ形のカーペットの面積を求めるには、どうしたらいいか? データは、「ドーナツ形の小円に接し、大円に到達する直線の長さが10メートル」がわかっているだけ。

ある大学の博士に聞くと、100万円を要求されたカーペット会社の社長、100万円惜しさに自力解決! さて、それはどんな解決法か?

「これからやるお授業『ピタゴラスの定理』を使うと簡単に答えが出るんだ」

「でもさ、このデータで本当に答えがでるの?」

「ピタゴラスの定理を使わなくてもできるよ」

「その会社の社長がピタゴラスだったりして」

ジーコの言葉に、みんな大爆笑!

タイタニック

「ねえ、タイタニックのプラモデル、作っていい?」

「りょうすけには手がおえないよ」

映画を見て衝動的に買った1万円のプラモデル...

そこでタイタニックのお絵描きに専念し始めたりょうすけ。

「上手だねえ!」

触先を見ると豆粒のような点が二つ。そこには矢印があり、「ジャックとローズ」と書かれている。みんなで大笑い!

それにしても、主人公の名前、よく覚えていたねえ!

行ってくれ!

「飛ぶ教室」 in 沖縄に行く子は平和記念資料館に行った方がいい。しかし、「行きたくねえー!」という子も多数。

「まっつあん、ミッキー、行きなさいよ」

「どうして?」

「ドラゴンも行きなさいよ」

「おれ、数学やりたいんだもん」

「しつこく誘った結果、「じゃあ、行くか」ミッキーとまっつあん、みんなを追いかける。

行ってくれー!

2. 子ども達が少ない時は 新宿テッシー

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>

今日は人数が少なかった。毎週水曜日は少ないのだけれど、それにしても少ない。少ないときは、少ないときにしかできないことを。というわけで、みんなでお昼ごはん作り。

そばに、野菜炒め。それに納豆。全員で一つのテーブルを囲んでの昼食。一味違っておいしかった。時間がゆっくり、のんびり、妙にアットホームな一日でした。

ディスプレイ七夕

そろそろ七夕。確か去年は、七夕過ぎてから飾り付けをしたような。今年はしっかり、間に合いました。笹を買って来てもらって、あとは飾り付け。折り紙の箱を開けると、今までに作って来たものがたくさん埋もれているでは。これは、日の目を見せてあげなきゃね。

それに去年のJFFで使った傘の楊枝。新しく作っているのは、細かい輪っか。なかなかの出来栄え。さてさて、メインは短冊。どんな願い事かいうと、「いつも笑ってられるように。」

「健康でいられますように。」

「丈夫な体を作る。」(願い事じゃなくて目標か...)

などなど。

だけど、気がつく

「テッシーがモテるようになりますように。」

「テッシーに彼女ができませんように。」

「テッシーが木幡さんみたいにハゲますように。」

お心づかいありがとう...。ってコレコレ! しかもしっかり飾っているし...

一番のお気に入りは

「みんなでフルーツバスケットができますように。」

これはミッキー作。みんなで大爆笑でした。

3. さいたま水族館へ行ってきた 熊谷・かおりん

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>

今日のお散歩はさいたま水族館。淡水魚ばかりがいる。イワナや、ヤマメ、絶滅に近いメダカやゲンゴロウ、タガメ。ちょっと前まではお馴染みだった川に住む生き物達がたくさん。改めて見るとまた違って見えるね。

「イワナだ。僕釣ったことあるよ。」

と釣りの話で盛り上がっていると思ったら、

「焼いて食べるとおいしいよね。」

「塩味がたまらないよね。」

って。魚屋さんじゃないんだから...

だー。。

天気のいい日。お昼は木陰でみんなで食べる。風は湿度もなく心地いい。空は夏の雲。こんな日は、いつもよりもよけいに会話も弾む。

しかし、1名食べるのもそっちのけで、公園内の川に走っていく姿。気づいた時には足首まで水につかるかい君。サンダルでざぶざぶ。

「何かいるかもしれない。」と慣れた手つきで水をすくう。

「見てみて、タニシ。」

「今度はメダカ? かな。」

見てみてと手ですくって見せに来る。見せたらまた川へ。

「川に行きたくってしかたないんだよね。食べることなんてかい君にはどうでもいいんだよね。」

としみじみユータ君。本当にその通り。やりたいことをやっているときの姿はとても輝いているね。

=====

===== デイリー・フレネ =====

----- VOL/0715----- 2003/07/04

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

1. 「飛ぶ教室」 in 沖縄まで1週間!
2. 平和祈念資料館に! 新宿・テッシー
3. 恒例、流し麺類 熊谷・かおりん

=====
 今日は何の日
 1776 アメリカの植民地13州がフィラデルフィアでイギリスからの独立を宣言、アメリカ合衆国誕生

今日の花言葉
 もくれん(紫)「自然愛」
 今日是谁の誕生日
 ルイ・アームストロング(ミュージシャン 米 1900)
 今日の名言
 「頭のいい人は批評家に適するが、行為の人にはなりにくい。すべての行為には危険が伴うからである。」
 寺田寅彦(物理学者)

- 1. 「飛ぶ教室」 in 沖縄まで1週間!
 恒例、沖縄・鳩間島の訪問まで後1週間。とうちゃん・あきちゃん達の尽力で菜も出来上がり、あとは出発を待つだけ。心配なこともあれこれ。

沖縄と戦争の認識を子ども達は、どれほど持っているか?
 今回は、初の南部戦跡巡りで糸数壕に入る。以前、中学生160人を連れて、壕に入った時、ざわざわがやがや...

クラス一しっかりもののMが同学年の子を叱りつけた。「みんな!ここは戦争の犠牲者の霊が眠っているところだよ!静かに!」全員、しーん...。過去の歴史を直視し未来を見つめて欲しい。

鳩間での授業
 これまた初の試み。交流したいという声上がり、その中の一つとして木幡が鳩間小・中学校の子ども達とフレネの子ども達に合同授業。
 しかし、忙しくてまだ準備が...。
 とにもかくにも、体調を整えて沖縄に臨もう!

2. 平和祈念資料館に! 新宿・テッシー

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>

臨時お散歩-平和祈念展示資料館
 今日は沖縄に向けて臨時のお散歩。西新宿にある住友ビルまで。フレネから歩いて30分以上。これがなかなか大変。なんてたって新宿の人ごみの中を縦断していくんだから。
 資料館の中は、戦争のことを兵士という犠牲者の立場から見たものが主。恩給欠格者、戦後強制抑留者、引揚者と、戦争がもたらせた犠牲を少し違った視点で見ることができる。
 いろいろな資料や実際の手紙、当時の新聞など目を引くものが所狭しと並べてある。じっくり見ていくと結構な時間がかかりそう。ふみかちゃんなんかは食い入るようにみていたな。
 だけど、興味のない子はそうもいかず。

「いつ帰るの?」
 「あきた。」
 なんて。強要はしないけれど、沖縄を前にして新たな課題かな。

うちの隣は...
 ひょんなところから、家の周りに何があるかの話。「うちの周りにはラーメン屋でしょ、牛丼屋。結構便

利。」食べ物屋があるのが便利なんだね。
 そんな中、
 「おれなんて頭から血を出したときに、家の隣の救急車まで担いでいかれたんだぜ!」
 家の隣が消防署とはけんご君でした。大笑い!
 3. 恒例、流し麺類 熊谷・かおりん

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>
 お料理の授業 流し麺類
 今日のお料理は流し麺類。今年で3回目。道行く人も、「今年もやっているんだあ。」と声をかけていく。そうめん・そば・うどんに今年はラーメンも流れる。セッティングには戸惑ったけれど、始まるとみんなワイワイ。
 「行くよー!」「今度はすごいよ。もずく入り。」
 ウッチーから送られてきた、もずくも流れる。もずくはぬるぬるしているせいか、滑りがいい。あっという間に流れていってしまう。なかなか取れないのもまたおもしろいかな。
 あまり食べてない子にも、
 「食べてないけれど大丈夫?」
 と声をかけるきぐちゃん。そんな気持ちも嬉しい、お料理でした。

からから
 「流す具を持って行ってもいいの?」とりりちゃん。
 りりちゃんがタッパーを持ってきた。
 「一体何が入っているんだろう?」
 いろいろ質問するけれど、なかなか答えにはたどり着かない。こっそり持ったタッパーは軽め。しかも、「からから」という音が聞こえる!?
 タッパーから出てきたのは、なんと!「うずらの卵」
 意外なものにみんなびっくり!けれど、みんな喜んでお箸でつかまえる。いいなあこの発想。流れながらからからいってました。ごちそうさま!

お願い事
 来週の月曜日は七夕。ユータ君がおじいちゃんの家から立派な笹を取ってきてくれた。飾り付けもばっちり。フレネの玄関が華やかに。やっぱりお願い事。
 「ハワイに行けますように」
 「お願いしたこと全部が叶いますように」
 「背が伸びますように」
 「お散歩、雨が降りませんように」
 将来の夢を書く子の姿も。叶うといいなあ。
 私のお願い事は...、「JRの電車が止まりませんように。(特に朝)」みんな爆笑。けど、切実なんだよ。あともうひとつ。
 みんなの笑顔がたえないフレネでありますように!
 そんなこんなで今日も終了。今日は徐々に全員集合。やっぱり人がたくさんいるっていいな。

=====

=====**デイリー・フレネ**=====

----- VOL/0716----- 2003/07/07
 ////////// CONTENTS //////////////////////////////////////
 1. あと五日!
 2. 久々のバスケット 新宿・テッシー
 3. 超 もの 熊谷・かおりん

=====

今日はなんの日
 1937年 蘆溝橋事件(日中戦争の発端)
 1960年 メイマン、レーザーを発見、発表
 今日の花言葉
 水蓮「清純な心」、
 今日は誰の誕生日
 リンゴ・スター(ミュージシャン 英 1940)
 ピエール・カルダン(ファッションデザイナー 仏 1922)
 今日の名言
 「学問が学歴にすりかえられた。そこに、不幸の根が張った」
 むのたけじ詞集「たいまつ」より

- 1. あと五日!
 2003年度第1期終了まであと五日...。11日(金)には、木幡・やまちゃん・ドラゴン・しょうや君の4人が「飛ぶ教室」in 沖縄の第1陣として那覇に向けて出発。翌日12日(土)の第2・第3陣を待って、石垣 鳩間島へ。
 「木幡さん、先に行く俺たちには、当然那覇でご馳走してくれるんだよね！」とドラゴン。(笑)
 「ご馳走するかどうかは、わかんないけれど、なにかおいしい物を食べよう！」
 気分は、もう沖縄!
 その前に、第1期終了パーティーを行わなければならない。

「前みたいに、一人一品持ち寄りがいいんじゃないの」と、とうこちゃん。実行委員のりょうすけと木幡はみんなで楽しむゲームも考えなければいけない。
 「りょうすけ、電車ごっこはいやだよ」
 「わかった！じゃあね、フルーツバスケットと伝言ゲーム！」
 そういえば、七夕の短冊に「フルーツバスケットができますように」と書いたのは、ミッキーだったっけ...

この3ヶ月で子ども達は心身共に成長した。学習に取り組むことができる子どもが増え、けんごなんかかなり背も伸びた。反面、今までのフレネとは違う雰囲気戸惑う子もいるし、子ども同士の確執もある。

この夏充電して、そのことをゆっくり考えよう！

2. 久々のバスケット 新宿・テッシー

久々バスケット。この4月から運動のお散歩を定期的に入れるようにしてきたので、いつもの道順で体育館まではすんなり。

体育館はいつもより空いていて、ほとんど何かしらやっている状態。最初は大きい子も小さい子も一緒に。それとなく、小さい子には怪我のないようにできていたかな。

バスケも最近いったので、上手くなっているのがわかる。けんご君、山ちゃんはシュートがかなりの確立で入るよう。さすが。ドラゴンはよく動く。

途中からは小さい子は別に。ちせちゃん、たかちゃんは自分達なりのルールを作って真剣勝負。

「テッシー、私が10対9で勝った！」とは、ちせちゃん。最後には全面空いたので、めいっばい使っての勝負。これがまた辛かった...。なにせ、それまででもクタ

クタ。最後の最後に走り回って、終わった後はグッタリでした。

体育祭の日曜開催も実現へ。
 (会場確保にご尽力いただいたもえちゃんママ、ありがとうございます！)

去年にも増した勝負が期待できそうです。
 3. 超 物の 熊谷・かおりん

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>
 気がつけば、もう第1期もカウントダウン。
 楽しく終わるように！

超 物の
 「あざー。」と言ってやってきました木幡さん。
 「今日はものづくり。超 物のだよ。」と。
 「一体なんだ？」
 「不可思議なもの？」
 「不真面目なもの？」
 「おっ近い。僕の性格を考えてよね。」と木幡さん。
 ひとりで笑っている。
 「正解は、『超くだらないもの』！」
 何を作るのかと思ったら、ピンポン玉で目玉づくり。ピンポン玉を半分に切って、穴を開けて目玉の絵を描けば出来上がり。
 くだらないと思いつつもみんな作るときは真剣。結構はまってます。
 最後にみんなで記念撮影。不気味だけど、笑える。
 最終日

もう一週間後は最終日。最終日はどうしようかとミーティングであれこれ。ちょいと前、お昼は外で食べようと言うことは決まったけれど、みんなだけでどんだん話が進んでいく。

「簡単にできる、サンドウィッチとおにぎりは？」
 「お米は、吉田さん朝すぐスイッチ入れて。」
 「おにぎりの具はさあ。」
 「今日決めておけば、お料理と一緒に買出しできるね。」

問題はその後、公園で何して遊ぶ？小さい子から大きい子、最終日だしみんなで楽しめるのがいい。今流行っている、バトミントン？
 うーん。

「ちょっと前に、テレビで関東地方全域で缶ケリやってたのみで面白そうだったから、缶ケリは？」
 と何の気なしに提案したら、みんなのりのり！
 「ルールも曖昧だと、困るからきちんと決めよう。」
 「チーム分けも考えて分けようよ。」

と言うことで、ユータ君ときぐちゃんが中心になって最終日に向けて始動。

早速、みんなで外に行って試してみたそう。汗だくになって戻ってきた。

「スリルがあっっておもしろい！」そう。最終日楽しみだね。

mailto:-----> sinjyuku@jfreinet.com まで。

=====

e-mail : sinjyuku@jfreinet.com

URL : <http://www.jfreinet.com>

=====

==== デイリー・フレネ =====

----- VOL/0717----- 2003/07/08

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

1. JF 新宿お笑いネタ
- 2.
3. Tシャツを作ったよ！ 熊谷・かおりん

=====

今日はなんの日
 1921 イラクのバラスで最高気温58.8 を記録
 今日の花言葉
 みやこ草「また逢う日まで」
 今日是谁の誕生日
 ロックフェラー（実業家 米 1839）
 今日の名言
 「いつかできることはすべて、今日でもできる。」
 モンテーニュ

- 1. JF 新宿お笑いネタ
 かさ地蔵
 「小学校の時、学芸会なんてあった？」
 木幡の質問に、「学年合同の演劇発表会があったよ」と、さきちゃん。
 「セリフのない役を選んだの。傘地蔵のお地蔵さん。お地蔵さんだから、水泳のキャップをかぶって、ずっと動かないの」(笑)
 「ところがさ、セリフがないと思っていたら、最後にソロで歌うことになってたんだ。先生にすごく怒られながら練習してさ。それ以来、カラオケが苦手になったんだよね」(笑)
 ちなみに、木幡の最初の学芸会体験は小1。舌きり雀で舌を切られたチュンコちゃん役でした。これまた、独唱したんです。
 お風呂で何をしてるの？
 「りょうすけ、うざいよー」と、さきちゃん。
 「悪気はないんだけど『さきちゃん、お風呂で何してるの？あひるとかで遊んでるの？ねじで動くイルカ？』とか、聞くの？」(笑)
 「それにさ『さきちゃん、大きくなったらテッシーと結婚するの？あ、木幡さんか！』なんて言うの。もー、おまぬけ」(笑)
 近所迷惑！？
 男の子達、太宗寺で野球をしている。木幡、JFのビル6Fから、「おーい！」
 子ども達、振り向く。通行人もどこから声かと、キョロキョロ。木幡、隠れる。そんなことの繰り返し二度三度...。
 とうとう、やまちゃん「木幡さん、近所迷惑だからやめなさいよ。おとなげない」
 その通りですね...。
 2. 手形とり 新宿・テッシー
 「誰かの手形を取っておいてくれないかな？」という木幡さんからの電話。
 まずは、りょうすけに聞いてみると、
 「やる、やる！」
 黒い絵の具を手に塗っていく。
 「くすぐったい！」と、もじもじ。まんべんなく塗った後に、画用紙へ。
 「あたしの手と、たいして変わらないのかな？」と、さきちゃん。

そんなで、さきちゃんも。
 「？ぜんぜんくすぐったくないよ??」
 ちなみに、さきちゃんのほうが一回り大きかったね。手を比べてみると、大きさはもちろん、形、ふくらみもちがうね。これから大きくなるだろうから、一つ記念にとっておくのもいいかな。

684 件中 683 件目を表示 [親メッセージ]

3. Tシャツを作ったよ！ 熊谷・かおりん
 筋肉ワン？
 お昼を買いに言って来たかい君。
 「筋肉ワンだ。筋肉ワンだ。」と太ももを抑えながら言っている。みんな理解できず、「？」が浮かぶ。
 「おれ、筋肉痛で足が痛いんだけど、ほら、『ワン』『ツー』って言うじゃない。ツーよりワンの方がレベルが上でしょ。すっごい痛いから、筋肉ワンなの。」
 フレネ中に笑いが起きたけれど、なんとなく納得。
 ものづくり Tシャツ作り
 先週に続いて、T-シャツ作り。アイロンでTシャツにプリントをするけれど、アイロンを使い慣れないせいもあってか、てこずっていたり、プリントしたものがくっついちゃったり...。けれど、ほとんどの子が完成。
 「俺もったいなくて着れないなあ。」ときぐちゃん。せつかくだから沖縄で着ようよ！
 「これは、いらないので置いていってもいいですかあ。」なんてエリ君はいていたけれど、
 「Tシャツがよく出来た。」と本日の感想にあった。みんな思い思いのものが出来た様子。
 今日はあいにくの天気だけれど、晴れた日に是非着たいね！

図鑑
 図鑑をよく読むかい君。今日は魚の図鑑。
 「見てみて、この魚は3メートルもあるんだって。」
 「この部分読んで。」と一緒に図鑑を眺める。
 「この魚はおいしいとか載ってればいいのに。」と隣からエリ君。
 「さすがに載ってないよね。」と話していたら、もう一冊の図鑑には、食用だとか、書いてあるではないか！
 「この魚は、この前言った水族館にいたやつだ！」
 「ほんとだ、東南アジアでは食用にされているんだって。」
 「おいしそう。」
 「俺は、タコが好きだからなあ。」
 と図鑑を囲んで話の輪が広がる。雨の日ならではかな。こんなのんびりな一日もいいな。
 ゆっくりペースで今週も始まり。残り5日間よろしくね。
 =====

==== デイリー・フレネ =====

----- VOL/0718----- 2003/07/10

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

1. 明日から沖縄！ 第1期終了です
2. 第一期最後の日 新宿・テッシー
3. 今日は納豆の日 熊谷・かおりん

=====

今日はなんの日

1893年 御木本幸吉真珠の養殖に成功

今日の花言葉

ジンジャー(ginger)「信頼」

今日は誰の誕生日

ザ・デストロイヤー(プロレス 1931年)

今日の名言

「腐った大人に寛大である社会は、清純な子どもに対して必ず残酷である」

詞集「たいまつ」むのだけじ

昨日は、木幡、人間ドックのため休館させていただきました。悪しからず、ご了承ください。

1. 明日から沖縄! 第1期終了です

あっという間に第1期終了! フレネのスペースは、学習モードになってきた。大検を受ける子はもちろん、それぞれのリズム・ペースで身体を動かせるようになってきた。同時に、自分たちの行事を自分たちで作れるようになってきた。キャンプの申し込みをしているニッタンへの対応は、社会人そのものの対応。とうこちゃんを中心に役割分担した「飛ぶ教室」 in 沖縄は、しおりも作ることができた。もちろん自由行動の計画も!

これは、ジャパンフレネが安心できるスペースであることを物語っている。しかし、子どもが集まる場所は、必ずトラブルが起きることを想定しなければならぬ。

トラブルが起きないように管理するのではなく、トラブルが起きたときにどう動くかが問われてくる。その対応は固定的であってはいけない。あるときはじっくり話を聞く。またあるときは大人としての意見を言う。子どもが感情的になっているときは突っぱねることもある。時間をおいて冷静になるまで待つ。先日も女の子同士の確執があった。小さい子に厳しい物言いをしたことに対し、「そんな言い方はない!」と反論していた。お互い、わだかまりがないように話し合いを持った。

厳しい方をしたわけには、それなりの理由があった。しかし、小さい子にプレッシャーをかける物言いはまずい。そのことを確認して沖縄に行く。

誤解を恐れずに言うなら、ジャパンフレネは、子どもに対し、必ずしも公平・平等でない場合がある。子ども達は「ひいきだ! ひいきだ!」と反論する。しかし、ぼくたちスタッフは、弱い子どもの見方をする。その子どもの立場にたつ。

最近、子供たちのトラブルの質も変わってきた。人数が多くなると、単に感情的な問題だけでなく、小さな島を宇宙作り、それを維持しようとする。そこに確執が生まれる。

でもトラブルが起きた時がよいチャンスだ。みんな違ってから対話が生まれる。

9月、一回り大きくなった子ども達と出会うのが楽しみだなあ...

ジャパンフレネは、11日~22日まで「飛ぶ教室」の企画で、沖縄に移動します。日程は、次の通りです。

11(金) 第1陣出発、那覇泊。

12(土) 第2・3陣出発。1陣と合流し石垣経由で鳩間島へ!

13(日) 終日、リーフ(さんご礁)の端で海水浴。夜は、

ヤシガニ探し!

14(月) 竜宮城のような鳩間のサンゴ見学

15(火) 鳩間小・中学校との交流会。木幡が授業! スポーツ大会も! 追い込み漁もやるよ!

16(水) 船で外洋に出て魚釣り!

17(木) 西表島のジャングルをカヌーに乗って挑戦!

18(金) 終日、のんびり...

19(土) 鳩間の豊年祭を見学した後、石垣経由で那覇へ。

20(日) 南部戦跡の見学。壕にも入ります。読谷村へ!

21(月) 読谷村から那覇のホテルまで自由行動。工芸、失われた鉄道探し、博物館など多種多様

22(火) 終日、自由行動。公設市場やショッピング! 夜、東京に!

2. 第一期最後の日 新宿・テッシー

第一期は明日まで。だけど明日には沖縄へ出発する子もいるので、実質今日が最後。

朝早くから来ている子も。

「早く来たから授業やってね!」

せっかく来たのだし、英語の授業を二本立て続けに。今年の流れを最後の最後まで感じることができました。

その後、みんなでお料理。作ったのは、冷や麦にゴーヤーチャンプル、錦糸玉子。さらに、テーブルの上にはみんなの持って来た料理。ソーセージ、から揚げに卵焼きにドリア。それにケーキにゼリー。

みんな一緒に食べはじめれば、わいわいがやがや。それぞれに持って来た料理を口にして、

「おいしい!」

「おかわりしてもいい?」

ひととおり全部食べたけど、どれもおいしいかった! 全部終わって時計を見るとすでに3時をまわっている状態。夏休み直前ということで、それぞれに仕事。沖縄に行く子は、持ち物分担。キャンプの実行委員は、当日の予定、案内作り。

ゲームができなかったのが気残りだったな。

だけど、恒例の2次会。ボーリング場へ。一番最初にストライクを出したのはボーリング2回目というふみかちゃん!

いつもの流れで第一期も一段落。また明日もあるけれど、「ああ、終わったなあ。」と感じさせられました。

みんな、よい夏休みをね。

3. 今日納豆の日 熊谷・かおりん

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>

お料理の授業 焼きもの

今日のお料理は、「焼きもの」つぼを作るのではなく、焼き鳥・焼肉・焼きえび・焼きそば...。「焼くもの」を中心に。

きゅうりの糠漬け・ねぎ・玉ねぎ・サニーレタスなどいろいろなものを持ち寄って、おいしくいただく。

外では、七輪できぐちゃんが焼き鳥をバタバタ。

炭火でおいしく焼きあがる。

「うまく焼くのは大変だけど、やっぱり炭火はいい。」

きぐちゃんが言うだけあっておいしい焼き鳥!

エビ

「えびが食べたいから! 持ってきたんだ。」

とえび持参のかい君。

「7匹いるよ。だから、みんなに一匹ずついくよ。」

かい君が焼き上げる。きれいに並べて、とっても

おいしそう。一匹おこぼれに預かる。もちろんお味は最高でした。
 「それと、これ見て！」
 見せてくれたのは、でっかいきゅうり。
 「計ったら、36cm もあったよ。みんなで食べよう。」
 って。みずみずしいきゅうり。焼肉にはさっぱりと
 いいね。
 おいしかったし、みんな満足。あれこれ話も弾む。
 ただ、匂いが...。心配した通り。次はちょっと考え
 ないと。
 みんなで食べた後は、いっきに片付け。今日は、
 雨のせいか人が少なめ...。明日は、最終日。み
 んなの顔が揃うといいな。

 ジャパンフレネは、7月11日(金)～9月4日(木)まで
 夏休みです。お盆期間(8/11～15)を除いて平日はスタ
 ッフが常駐しています。お問い合わせなどお気軽にご
 連絡ください。

8月25日には、PHP研究所より、ジャパンフレネの授業
 を中心にした木幡の著作が出版されます。お楽しみに！
 それでは皆さん、また、9月にお会いしましょう！
 楽しい夏休みを！

時々、デイリーフレネ臨時増刊が送られます。
 mailto:-----> sinjyuku@jfreinet.com まで。

=====
 e-mail : sinjyuku@jfreinet.com
 URL : http://www.jfreinet.com
 =====

=====
 デイリー・フレネ
 夏休み特別増刊・パイヌカジ(南の風)号(1)-
 -2003/07/18

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

1. 暑い！とにかく暑いぞ！鳩間島！
2. 鳩間&フレネ合同授業
3. 豊年祭に裏方参加

 1. 暑い！とにかく暑いぞ！鳩間島！
 今年もやってきました！鳩間島！西表島の北5キロ、
 ぼっかりと浮かぶ周囲3.9キロの小さな島。
 ビックコミックオリジナルに連載中の「光の島」の
 モデルになっている島。小・中学校の存続をはかる
 為、里子制度を敷いて沖縄県以外から十数名の子
 ども達がやってきている。
 木幡、この島に通い始めて15年。フレネの子どもた
 ちとは4年連続の訪問で、島の人たちも「大きくなっ
 たなあ！」と懐かしそう。
 12日から19日までの滞在で、イベントは盛りだくさん。
 パイヌカジ(南の風)を感じ、いい経験をしてもらいたい。
 見事なテーブルサンゴ！
 20年ぶりに復活した鳩間島の大サンゴ群。大潮の時間
 帯に船をチャーターして見学！「竜宮城みたい！」
 大きなテーブルサンゴに青サンゴの群落。
 「あっ！コハタマン、サンゴを壊した！」
 ちょっと足をかけた途端に、ポロッ...。目ざといかず
 きにみつけれられてしまいました。ご・め・ん...

特別参加の元ボラ・ウッチー、「木幡さん、でっかい
 シャコ貝！」30センチ級のシャコ貝にみんなびっくり。
 夕食のお刺身になったのは、もちろんです。

グルクン釣り！

「酔わないかな」心配そうなとうこちゃん。
 しかし、外洋にでてグルクン(和名:タカサゴ)が
 釣れ始めると、わーわーきゃーきゃー。もえちゃん
 も釣果上々。
 それを横目に木幡、たったの4匹。かずき、船酔いで
 ダウン...、「何時に帰るの？」
 グルクンの塩焼き、お刺身、カルビ、島ダコ、焼きお
 にぎり、焼きそばでバーベキュー！

ハブを見た！

西表島のサンガラの滝ヘカヌーで挑戦！
 「水野さん、しっかりこいでよ！船が進まないじゃない！」
 りょうすけに叱咤されるが、当のりょうすけは、指揮するの
 み。
 滝でひとしきり遊び、滝上部に上がろうと移動して
 いたとき、ハブ発見！「どこどこ！」「しー、静かに...」
 先島ハブ、初めて見ました。

2. 鳩間&フレネ合同授業

「交流会をやりたい」との子ども達の声で、鳩間小
 ・中学校とジャパンフレネの合同授業が実現！公立
 学校とフリースクールの合同授業を平日の学校で行
 うのは、おそらく、日本初ではないでしょうか？
 お題は、虫眼鏡の性質を考えた後、ピンホールカメ
 ラの原理、そして、実際にピンホールカメラでの撮影。
 50名以上の参加者でにぎわったね！

ミッキーのマリンバ演奏も見事！「アンコール！」
 の声に「ないない！アルコールならい」(爆笑)
 みんな、お友達になれるといいね！

3. 豊年祭に裏方参加

鳩間島の最大イベント・豊年祭を前にして人手が足り
 ない。なんとと言っても、学校教職員・子どもを除けば、
 島民は約20名。
 まず、16日に木幡・ドラゴン・やまちゃん・ミッキー
 ・しゅんくんが草むしり。17日は、15名以上で椅子・
 テーブルのセッティング、テント張り。
 気持ちいい仕事振り、島の人たちの役に立ったようです。
 みんな、ありがとう！

mailto:-----> sinjyuku@jfreinet.com まで。

=====
 e-mail : sinjyuku@jfreinet.com
 URL : http://www.jfreinet.com
 =====

=====
 デイリー・フレネ
 ----- VOL/0719----- 2003/09/05

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

1. 第2期の出発だ！
2. 木幡のエッセイ 「寝過ぎして思うこと」
3. 木幡の新刊ができました

=====
 今日は何の日
 1997 ノーベル平和賞のマザー・テレサ死去、87歳
 今日の花言葉
 エルム「信頼」

今日は誰の誕生日
 パッハ(作曲家 独 1725)
 ルイ14世(仏国王 1638)

今日の名言

「気力は眼に出る。生活は顔に出る。教養は声に出る。悲しかな、声は写真のモチーフにはならない」

土門 拳(写真家)

教養の蓄積がないと、ついドスの利いたペラメエ口調になって威嚇的な言葉を繰り返す。語彙が豊富でないから、短くて汚らしい言葉を、相手の話すチャンスを封じめるかのごとく、連発する。逆に教養のある人の言葉は、相手を包みこむように、ゆったりとした声で、自己主張の臭みがない。聞き上手なのである。

土門拳の写真は、対象の声が聞こえるように感じる。

(現代知的名言集より)

- 1. 第2期の出発だ!

本日からジャパンフレネ2003年度の第2期が始まった。

この夏、それぞれどんな成長があったのだろう?みんなに会うのが楽しみだ。

夏休みのスペース開放日は例年になく子どもの数が多かった。ジーコやドラゴンは、テッシーに英語を教えてもらい、りょうすけは、「木幡さんに見せたいものがある」と、やって来た。

「木幡さん、これ見て!」りょうすけが持ってきたのは、手作り絵本。タイトルは、「にゃんちゃん」と「にゃんちゃん、ハワイに行く」。それぞれ、大好きな新幹線や飛行機の絵がたくさん。

「りょうすけ、字がずいぶん上手になったね」

「字は、塾の先生が書いたの。ぼくは絵だけ」

(爆笑)

サマーキャンプでは、てっちゃんやにったん短い時間だったが、自転車に乗った。ぼくは山梨県の雁坂峠まで車で行き、そこから秩父まで一気に下る。にったんは逆のコース。途中で待ち合わせ。

「登りは、結構、きつかったすよ」

第2期は体育祭やジャパンフレネなどの行事が目白押し。自分のペースで楽しいことをどんどんやっていこう!

2. 木幡のエッセイ 「寝過ごして思うこと」

仕事で疲れ、新宿から八王子まで特急で帰ることが多い。寝過ごさないよう、携帯に目覚ましをセットする。先日は、目覚ましで起きたのはいいのだが、その瞬間気が緩み、また眠ってしまったらしい。

気づけばすでに特急列車は、山梨県に入っている。泣ける...

大月駅で下車。キオスクで缶ビールを買い、ホームでのどをいやしている自分に驚いた。以前、子どもが小さかった時、デパートの大食堂によく入った。大食堂は家族連れが多い。子どもはお子様ランチを食べ、父親はおいしそうにビールを飲むのが大食堂の定番。

自分が大食堂にいるにも関わらず、そんな光景が信じられなかった。酒を飲むという行為は極私的なことだと思っていたので、大食堂と昼間からのビールは違和感そのものだった。ビールを飲む父親には嫌悪をさえ感じた。

それがどういうことだろう。ホーム上で缶ビールを

飲むべく自身がいることに愕然とした。と同時に、なにやら安らぎを感じるべくがいる。

人はどんな時、どんな場所でも自分の空間が欲しい。パブリックな場所でもどのようにして自分の空間を作ればいいのか。例えば、大食堂の一つのテーブルに父と母、そして子どもがいる風景は、家族そのものだ。父親は権威の象徴としてビールを飲み、子どもは家族という秩序の中でお子様ランチを食べる。列車の中で一人酒を飲むという風景も自分の空間を作るためになくてはならない儀式なのだろう。

だとしたら、ホーム上でビールを飲むべく自身も自分の空間を作り、仕事の疲れと寝過ごした徒労をそこで癒しているに違いない。では学校という空間で自分の場所をどう作るのか...?

ホーム上でビールを飲み癒されているはずのぼくの中に、また、仕事が進入してくる。乗り過ごしたほんのひととき、日常と非日常のはざ間にいるぼくという存在を感じた。

3... 木幡の新刊ができました

ジャパンフレネは、授業するフリースクール。そのジャパンフレネのおもしろ授業の数々をライブ形式でまとめました。楽しいから夢中になる!夢中になるから学力が伸びる!子どもが大好きなパズルやマジックを使った小学生の親子のためのおもしろ学習ヒント集。

大人も子どもも楽しめます教師には授業作りのヒントになるでしょう。書店発売と共に生協ルートにもあります。ぜひ、ご購入下さい。ジャパンフレネでも購入できます。お問い合わせ下さい。

「学ぶ力」がグングン育つ学習法

ISBN:4569630367 PHP研究所(2003-09-08出版)

木幡 寛【著】

[B6判] NDC分類:379.9 販売価:¥1

プロローグ 矢印パズルの謎

第1章 「算数かな?理科かな?」 算数・理学的、そして算数・理科を超える物語

第2章 「国語かな?」 国語的、そして国語を超える物語

第3章 「社会科かな?」 社会科的、そして社会科を超える物語

第4章 「なんだろうな?」 教科にとらわれない物語

エピローグ 「イマジ」から学ぼう

みなさん、今期もよろしくお願いたします!
 不登校問題・学校以外の学びの場に興味を持っている方にジャパンフレネの存在をご紹介します。

=====

===== デイリー・フレネ =====

----- VOL/0720----- 2003/09/08

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

1. おみやげ抽選会、大いに盛り上がる
2. 熊谷も盛り上がる スタ・かおりん
3. おじさんはわからない...

=====

今日はなんの日

1945年 米軍のジープによる東京進駐開始

1951年 日米安全保障条約、調印

今日の花言葉

藤袴(フジバカマ)「ためらい」

今日は誰の誕生日

1963年 松本人志(ダウンタウン・タレント)

1938年 堀江謙一(ヨット冒険家)

1841年 ドボルザーク(音楽家)

????年 聖母マリア(キリスト母)

今日の名言

「どうして?危ないと思う人は、テラスにへ出ないだろう。出る人はそれを承知でやっているはずだがね。この建物は経ったときからテラスがなかったんだよ。昔と違うことは、傾きがひどくなってきたことだけだ。...そんなことより、この絵葉書を買ってくれ」

舞台美術家・妹尾河童がイタリア・ピサの斜塔に行ったとき、斜塔に手すりがなくとも危険と思ひ、そのわけを聞いたときの土産物屋の返事
(「河童が覗いたヨーロッパ」講談社文庫より)

- 1. おみやげ抽選会、大いに盛り上がる

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>

久々に集まってきた顔・顔・顔...。みんな身体が大きくなっている。日焼けでたくましくも見える。この夏最後の「冷し中華&一品持ち寄り」パーティー、チーズケーキ・フルーツゼリー・洋ナシのプディング・はさみ揚げetcetc。

「なんだよー!冷し中華のタレ、ゴマダレしか残っていないじゃん!醤油はないの?」

「木幡さん、早い者勝ちだよ。もうないよ」と、けんご。くやしいー!

この夏、海外に行ってきた子も何人か。れんげちゃん、ロスアンゼルス。さおちゃんは、サイパン。そして、木幡も4年ぶりに休みが取れ、ヘルシンキ(フィンランド)経由、2度目のハンガリー訪問。

「ハンガリーってどこにあるんですか?」と、ボラ・関口。おいおい、たのんまっせ。

「地図で調べてごらん」

早速地図を出して調べてみる。

「あっ!穴場があった!」ひいちゃん、「アナバ」

(アルジェリア)を発見。おもしろいねえ。

ハンガリーがヨーロッパにあることがわかったところで、旅行の様子を話す。

「エゲルっていう赤ワインの産地からトカイっていう白ワインの産地に行ってねえ」

「結局、飲みに行ったんだ」(爆笑)

いよいよ、木幡がハンガリー・ヘルシンキで買い求めてきた(あさってきた)お土産の抽選会!

「あ、このムーミンの切手、1200円で売っていた!これほしい!」

ずらっと並んで、箱の中から紙を引く。

「スカだ!」

「私も!」

「スカばっかじゃん!」

「やったー!切手だ!」ひいちゃん、大喜び。

かと思うと「エコつま?なあにこれ?」

「それはね、フィンランド航空エコノミークラスの爪楊枝」(大爆笑)

一喜一憂の楽しいひと時でした。

2. 熊谷も盛り上がる スタ・かおりん

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>

長い夏休みもおしまい。今年暑い夏もお休み気味。今日は30を超える予想だったけれど、風はさわやか。もう秋だ。日がくれるのも早くなった。行事目白押しの第2期のスタート。今期もよろしくお願ひします。

取り出だしたるは?

取り出したるは新聞包み。

「これは何でしょう?『はい』と『いいえ』で答えるから質問して当ててね。」

「それは、生き物ですか?」

新聞にぐるぐる巻きにして満員電車ではさすがに持って来れない。もちろんいいえ。

「海のもの?」「だしが取れますか?」試行錯誤。

そして、「それは、貝ですね。」正解!苦労してとってきた、シャコ貝。そんな調子第4弾まで続く。珊瑚、パイナップル・ハリセンボン。沖縄でのお土産話も一緒に。

貝に驚いていたのはかい君。

「海みたいだな。」「ここは欠けていたの?」

貝をずっと触ったり、眺めている。すると、

「きれいに飾ろう。」

と、せっせと周りのものを片付けてシャコ貝と珊瑚、貝をディスプレイ。いつもは「出しっぱなし!」と声をかけられているのにな。

かい君のおかげで部屋の片隅が沖縄色。

お土産とお土産話

みんなが揃うと何気ないことでも楽しくなる。みんなな夏休みの出来事を話したくて仕方のない様子。

「これ、お土産!」とみんなからお土産もたくさん。

お菓子を囲んで、夏休みの報告会。お題はくじで決める。

「夏休み、一番おいしかったものは?」

「ステーキがすごく...。」と話すエリ君の表情はにやけている。とてもおいしかったのだろう。見ていだけでも伝わってくる。

「伊勢エビの踊り食い!」とジェスチャー付きでかい君。やっぱり生き生きしている。

「こんなところに行ったの。それでね。」ととどろん

話が広がっていく。白地図を広げ、

「僕が行った新潟はここかあ。」

「日本列島って『馬』みたい。北海道は『アメフラシ』。」

話が尽きることがない。やっぱりみんながいるっていいなあ。

第2期もみんな楽しくやっぺいこう。

3. おじさんはわからない...

出張であちこち出かける木幡。この夏の「?????」。

【海外編】

ハンガリーは首都ブダペストを中心に放射状に鉄道網が伸びている。なので、地方に出ると一度ブダペストに戻ってこなければならぬ。

以前もそうしたようにドライバー付きの車をチャーターしてあちこち回ることにした。7年前に一緒に旅行した運転手を頼んだのだが...

旅行当日、「She is my wife.」なんと運転手は自分のかみさんを連れてやってきた。結局、かみさん連れ

の旅行。うーん、日本人にはわからん…。ビジネスとプライベートがごっちゃごちゃ…。あとで聞いたら、新婚なんだった。それにしてもさあ…。

【国内編】

この夏もあちこちの研究会に呼ばれて授業をしたり、講演したり…。

ある駅でのごと、若い男性が駅のプラットホームに設置してある自販機の底を覗く。懐中電燈で照らし、持参のステッキでござごそ。なあんと！転がり落ちた小銭を引っ張り出しているのではないか。数台の自販機にチャレンジし、数十円の成果に満足したように退散。

おじさん・木幡はさっぱりわかりません。

都会には「地見屋」といい、早朝の繁華街、あるいは、駅の券売機の周りを歩き、落ちているお金を拾って生活している人がいるのだが、懐中電燈で自販機の下を探る人に、初めて遭遇しました。

mailto:-----> sinjyuku@jfreinet.com まで。

=====

e-mail : sinjyuku@jfreinet.com

URL : http://www.jfreinet.com

=====

===== デイリー・フレネ =====

----- VOL/0721----- 2003/09/09

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

- 1. もったいない&北海道のおみやげ
- 2. 切り紙(新宿)と団子(熊谷)
- 3. 本日のおすすめ 「ブックダーツ」

=====

今日はなんの日

1976 中国共産党指導者・毛沢東死去

今日の花言葉

うら菊「追憶」

今日は誰の誕生日

弘兼憲志(マンガ家 1947)

今日の名言

「若者は、自分を人と違ったものにする個性の種を一つでも探し出して、全力を尽くして育て上げることだ。社会と学校はこの種を奪い、誰も彼も一まとめに同じ鋳型に押し込めようとするだろう。だが、この種を失ってはいけない。それは自分の価値を主張するための、ただ一つの権利だから…。」

ヘンリー・フォード(フォード創業者)

- 1. もったいない&北海道のおみやげ

まっつあんが椅子の足二つで斜め座り。

「そういう座り方、しないほうがいいなあ。椅子が壊れちゃよ」

「だったらさあ、なんか他のことで節約するようにしたらいいんじゃないの？」

「それは、屁理屈だよ。例えば、どんなふうにな？」

「…トイレは外でするとかさあ。水の節約になるジャン」(爆笑)

「どこで、太宗寺の庭でうんこするの?」(大爆笑)

「馬鹿ジャン!」

「こうしよう。トイレは伊勢丹です。水の節約」

まっつあん、沈黙。

そして、りょうすけがみんなに聞いて回っている。

「12日から北海道に行くんだけど、おみやげ何がいい?これに書いて!」

おいおい、本当かよ?!

「雪」(にったん)

「ホタテ」(まっつあん)

「毛がにだね」(木幡)

「夕張メロン」(てっしー)

「くまカレー」(けんご)

新しい学期が始まり、みんな少しづつペースをつかんできたようだね。

2. 切り紙(新宿)と団子(熊谷)

http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm

ディスプレイ 切り紙

今日はものづくり。7月から変わっていないディスプレイの交換。何だか、「暑い!」っていう夏を感じることもなく、すっかり秋の日和。

「秋らしいディスプレイがいいな。」とは木幡さんのリクエスト。

というわけで、切り紙。小さいのときによく見た影絵のような世界がとってもいい。

「どうやったらいいの?」

「本には三角に折ってから…って書いてあるけれど、どうでもいいよ。やりたいように。」

セオリー通りに切る子、インスピレーションそのままに作る子。みんなそれぞれ。だけど、切り終わった折り紙を開くと、どれも不思議な、どこか懐かしい模様が広がる。

「秋らしいのって言ってたから。」とは、体験のやす君。幾何学的な模様が多い中で、木の模様を作ったり。すごい!!

そんな中、我が道を貫くのがまっつあん、りょうすけ。「んー、もう折り方が思いつかない。」といいながら、クシャクシャ、ジョキジョキはまっつあん。

その気持ち、いいなあ。

りょうすけは大きくジョキジョキ。広げてみると、

「はい、車。」

広げた状況を予想してハサミを走らせることができるのもすごい!

みんなの作品を模造紙に貼って入り口に。綺麗なディスプレイの完成です。

ものづくり だんごづくり

火星の大接近。夕方から赤い星が輝いている。9月といえば中秋の名月。お月様がきれいに見えるはずだけど、この頃夕暮れ時には雲が多い。

「お月見と言え、だんごだ!」

ということで、今日はだんご作り。ポラゆきちゃんを中心に、みんなでテキパキ。白玉粉に豆腐を入れて水は一切使わない。大学時代先輩に教えてもらった。みんな不思議そうな顔だけど、もちもちしていてこれがまたおいしい。

ユータ君が作ったしょうゆのタレもまた絶品。ドラえもん形のだんごや、ペンギン。いろんな形のだんごも登場。

だんごをほおばりながら、かい君、

「月なんて全然見えないじゃん。」

「月よりだんごでしょ。」とユータ君。

やっぱり、食欲にはかないませんなあ。

3. 本日のおすすめ

週刊朝日でこんな文房具があることを初めて知った。その名は「ブックダーツ」(made in USA)。薄い金属を矢印形にカットし、本のページにはさむ。しおりだと落ちてしまうが、これは紙をしっかりと噛んでいるので落ちる心配はない。付箋の代りに重要なところを矢印で指し示すこともできる。銀座の伊東屋にも売っていません。品切れだったので本日ようやく手に入れることができました。購入は下記のアドレスから可能です。ブックダーツ(50個缶入り)1200円

<http://www.ubik-net.com/>「ユーピック」

===== デイリー・フレネ =====
----- VOL/0722----- 2003/09/10

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

- 1. りょうすけ、学ぶ! たかちゃん、学ばず!
- 2. 秋なのに「春」?
- 3. お授業ーデジタル&アナログ 新宿・テッシー

今日はなんの日

1561 上杉謙信と武田信玄の川中島の戦い

今日の花言葉

えぞ菊「信ずる心」

今日は誰の誕生日

ランディ・ジョンソン(野球 米 1963)

今日の名言

「対等とは、平等という地平の上に花開くものでありながら、それぞれは違う。平等が『みんな同じ』とするなら、対等は個が粒だっているということになる」

落合恵子

1. りょうすけ、学ぶ! たかちゃん、学ばず!

「りょうすけ、朝来たら、何をやるんだっけ?」

「?????おはよう!」

「いや、おはようじゃないの」(笑)

「木幡さんと一緒に算数やるんじゃないか?」

「あ、そうか!やる!」

以前は、「やだ!」だったけれど、大きな進歩かな?

まずは、復習。引き算から。

「たかちゃんもやるのか?」

「やんない」

むむむむむ...

プリントに取り組むりょうすけであるが、

「ねえ、ウォーターボーイズって、本当にあるの?」

「あるよ。君ねえ、集中できないねえ」って、テッシーに言われていました。

本物のタイルで作った「タイル」を使って算数の学習の始まりです

2. 秋なのに「春」?

12歳のすみれちゃんが体験入会。

JFには、「れんげちゃん」、「萌ちゃん」がいる。

「なんか、春みたいだねえ」

それを聞いたとうこちゃん、「私も春だよ。だって

『桃子(とうこ)』だもん」

「いや、木幡さん、やっぱり秋だよ」

あきちゃんを指差して笑うけんご君でした。

3. お授業ーデジタル&アナログ 新宿・テッシー

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>

今日は少し時間ができたので、単発授業を一本。

まずは方眼紙のマス目を使って書かれた魚の絵を、別の方眼紙へ写す。もちろん場所、形もそのままに。

次は白紙に書かれた魚の絵を、これまた別の白紙へ写す。こっちはなかなか大変。

「無理じゃねえ?」

「重ねてもいいの?」

「重ねるのはダメ。」というルール。

「どっちが正確に写せた?」

「こっちだよ。」と、方眼紙を指差すみんな。

「でも、完全に同じ?」

「色の濃さとか違うな。」と、やす君。

そう。でも、完全に同じではないけれど、より正確なのが方眼紙の方。

ここから、デジタル・アナログの話へ。電卓、パソコンが速くて正確なのはこれと同じ方法を用いているからなんだよ、と簡単に説明。

「でも、自分の思うように絵を描くとしたらどっちがいい?」という質問で一段落。

中学生にはここから二進法、十進法、十二進法の話を中心に。

「パソコンのスイッチには0と1って書いてあるね。」
「本当だ!」

20分足らずの授業だったけど楽しめたかな??

でも、もう少し違うほうにも発展できそうだな。

「アナログ? デジタル? ピンポン!」

野崎昭弘 月刊「たくさんのふしぎ」1990年6月上記を参照して下さい。

代表・木幡の新著、好評発売中!

「学ぶ力」がぐんぐん育つ学習法

ISBN:4569630367 PHP研究所(2003-09-08出版)

木幡 寛(著)[B6判] 販売価:¥1

【内容紹介】

ジャパンフレネは、授業するフリースクール。

そのジャパンフレネのおもしろ授業の数々をライブ形式でまとめました。

楽しいから夢中になる! 夢中になるから学力が伸びる!

子どもが大好きなパズルやマジックを使った

小学生の親子のためのおもしろ学習ヒント集。

大人も子どもも楽しめます教師には授業作りのヒントになるでしょう。

【目次】

プロローグ 矢印パズルの謎

第1章 算数かな? 理科かな? - 算数・理科的、そして算数・理科を超える物語

第2章 国語かな? - 国語的、そして国語を超える物語

第3章 社会科かな? - 社会的、そして社会科を超える物語

第4章 なんだろうな? - 教科にとられない物語
エピローグ 「イマジ」から学ぼう

=====

===== **デイリー・フレネ** =====

----- VOL/0723----- 2003/09/11

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

- 1. 9歳・りょうすけの実験！ 新宿
- 2. 川の博物館へ！ 熊谷
- 3. 鳩間島に沖縄最後の体育館が！

=====

今日はなんの日

1985 女優・夏目雅子が死去

今日の花言葉

アロエ「万能」

今日は誰の誕生日

D.H. ロレンス(作家 英 1885)

今日の名言

「自分が知りたくないことについては自主的に情報を遮断してしまっている。ここに壁が存在しています。これも一種の『バカの壁』です」

養老孟司「バカの壁」新潮新書 より

- 昨夜はボランティア会議。終了後の飲み会、翌日のため、早めに電車(新宿発22時特急かいじ)に乗った木幡。

気がつけば、下車予定の八王子はとっくに過ぎ、なんと山梨県の塩山！寝こんだんですね。泣く泣く、駅前のビジネス旅館に泊まった木幡でありました。

1.9歳・りょうすけの実験！ 新宿

今日は簡単な実験。コップと水を準備。

「コップをひっくり返しても、水がこぼれないようにするにはどうしたらいいかな？テーブルの上のものを使っていいよ。」

「知ってるよ。ティッシュでもいいでしょ？」

と、まっつあん。コップにティッシュをかぶせておさえながらひっくり返すと...、成功！

「何でかな？」というわけでみんなの意見をいろいろ。

「表面張力じゃない？」

小さい子には難しい言葉。百聞は一見に如かず。一円玉を水面に浮かべる。

「あっ！ほくも実験やる！」と、りょうすけ。

拍手喝采！

というわけで、りょうすけの実験開始。コップに水と一円玉をいれる。

「では、この中の一円玉を水をこぼさずに取り出します。」

取り出したるは、あきちゃんに借りた下敷き。

これを...！

結果は成功！

「おー！！」みんな拍手喝采！

(新宿・テッシー)

さて、どうやって1円玉を取り出したのでしょうか？

読者の皆さん、考えてみてください。

2. 川の博物館へ！ 熊谷

今日のお散歩は、寄居にある川の博物館。ミーティングで却下、天気が悪くて中止、はたまた休館日で行くにはいけず、3年越しの実現。

荒川を中心とした川と水を入々のくらしをテーマとした河川系の総合博物館。水のアスレチック、水上の旅が体験できるバーチャルシアターなどなど。

水に関するものが盛りだくさん。戻ってきた夏日に、もってこい。

入り口には、ヒノキでできた大きな水車。

「水車で、お米ひいたりするんだよね。」

「水車ってなんで回るの？」ってボラしんちゃん。頼むよ...

水で紙が切れる？

0.1mmの水が噴出すカッター。ミシンのようになっている。紙どころか、肉も切れるようだ。水で紙が切れる様子にはビックリ。

りりちゃんは、器用に「フレネ」の文字を切ろうとしている。やっぱり水だから、紙はしわしわ。だけど、よくできるなあ。

ぐったり

水のアスレチック、水の上で鬼ごっこ。走り回って、遊びまくって水浸し。

「俺、下着も持ってきたから。大丈夫。」

と準備万端のかい君。

「これって何ですか？」というエリくんの手には豆。

思いっきり遊んだ証拠かな。帰りの電車はみんなグツタリ。第2期お散歩も元気にスタートだ。

ゆっくり休んで、週の後半戦へ突入だ。

(熊谷・かおりん)

3. 鳩間島に沖縄最後の体育館が！

ジャパンフレネが毎年「飛ぶ教室」でお邪魔している沖縄県の鳩間島の鳩間小中学校では、沖縄県の公立小中学校最後となる体育館の建設が進められています。

これにあたり、鳩間島では「鳩間小中学校体育館内部施設充実事業期成会」が結成されました。これは公的な予算ではカバーできない体育館の内外施設、たとえばフロアシート、演台、ピアノ、プロジェクター、周辺環境などを整備するための組織で、その事業達成のため主に募金活動を行なうものです。

そこでデイリーフレネ読者のみなさんをお願いします。この趣旨にご賛同いただけるなら、一口1000円のご寄付をお願いできればと思います。

寄付をご希望される方はsinjuku@jfreinet.comまでメールにてご連絡下さい。郵便振り替え口座番号をご連絡いたします。

【鳩間島】

西表島の北にぽっかり浮かぶ周囲3.9kmのサンゴ礁に囲まれた島。人口は40人未満。交通の便が悪く、有人島では、もっとも観光客が少ない島。それだけに豊かな自然に恵まれている。

島では学校の存続のため里子制度を実施している。ビッグコミックオリジナル連載のマンガ「光の島」のモデルにもなっている。

=====

===== **デイリー・フレネ** =====

----- VOL/0724----- 2003/09/12

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

- 1. まっつあん、がんばるも...
- 2.
- 3.

=====

今日はなんの日

1959(昭和34)ブザンソン国際指揮者コンクールで小沢征爾
が第1位に

今日の花言葉
クレチマス 「心の美」

今日は誰の誕生日
あがた森魚(フォークシンガー1948)

徳田球一(共産党指導者 1891)

今日の名言
「ファッションというのは、既定の何かを外すこと
であり、ずらすことであり、くずすことであり、つ
まりは、共同生活の軸とも呼べるいろいろな標準や
規範から一貫して外れている感覚のことだ」

鷺田清一(哲学者)

昨日発信した鳩間の体育館建設の寄付、早速、お
問い合わせをいただきました。ありがとうございます。

1. まっつぁん、がんばるも...
一昨日の科学実験でのこと...。1円玉がコップの水
の中に浮かぶのは、表面張力のせいとテッシーが説
明。

まっつぁん、「十円玉は、浮かぶかな？」
「無理、無理。浮かばせたら10万円あげるよ」
木幡の挑発に乗ったのか、
ようし！10万だ！絶対浮かばせてやる！
まあ、どう考えても無理なんですけれどねえ...。同
体積での重さは鉄の方が圧倒的に重いので船の原理
を使わない限りだめ。
塩を入れたり、砂糖を入れたり...、だめ。
それでもまっつぁん、お皿の上に10円玉を置き、
少しずつ水を入れている。

「浮いた！」

「えっ！」

爪楊枝で10円玉を押してみると、カチッ！

「あーあー、浮かばないやあ...」

家でも、やってみるそうです。

しかし、今のところ、10円玉は沈むのが真実です。

2. ご飯も食べたし、科学実験もやったし 新宿

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>

お料理-炊き込み御飯

毎年この時期には炊き込み御飯。今日は集まりがス
ローペース。役割分担ではなくて、みんなで調理。
「今日は、レシピ通りに作りたいんだあ！」と、ド
ラゴン。

インターネットを使ってレシピ検索。ひじきご飯に
決定。レシピ通りに味付けをして、具を入れてスイ
ッチを押せば完了。何ともあつという間。

その間に、味噌汁はひいちゃんともまっつぁんが、ほ
うれん草のおひたしはたかちゃんとボラ・なおちゃ
ん。自然と役割分担でできているところがいいなあ。

出来上がりは、

「ちょっと味が薄いかな？」

急遽味を付け足す。その甲斐あってかおいしくできた！

「ブルさん、シソをのっけると美味いよ！」

ちょっとしたアクセント。これまたおいしかった！

実験、実験

「ねえ、なんか実験やってよお。」と、りょうすけ。
天気がよくて時間があったら気球を飛ばそうといっ
ていたものの、なかなか時間が取れない。

そんなで、部屋の中で実験。

お皿の上でろうそくを立てて色水を流す。

その上にコップをかぶせるというシンプルなもの。

ろうそくに火をつけなかったらお皿の底が見える。

「じゃあ、火をつけてからコップをかぶせたらどうなる
と思う？」

「火が消える。」と、りょうすけ。するどい！

だけど、それだけじゃない。

実際にやってみると...

「すごい！」と、第一声はボラ・なおちゃん。

ここから、熱気球の話へ。どうして飛ぶのか、空気を
温めるとどうなるのか、など簡単に。

「でも、二酸化炭素はどこにいったの？」と、さきちゃ
ん。お皿からブクブクと出て来た様子はない。さてさて
どこへ行ったのでしょうか？

みんなで考えていると、答えが出てきたのでした。

熱気球、飛ばそうね！

3. 秋の味=秋刀魚 熊谷

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>

今日は十五夜。まん丸お月様がよく見える。大家さ
んからススキを頂く。いい雰囲気。みんなでお月見
できたらいいな。さて今日の日。

お料理の授業 秋刀魚

今日のお料理は秋刀魚。秋の味覚！今年は大漁で
安い。

「くちばしが黄色いのが新鮮なんだよね。」

「目もにごってないやつ！」

と大きな秋刀魚を買ってきた。

七輪で焼く！炭火はきぐちゃんが火おこし。いい焼
き具合。やっぱりガスで焼いたのとは一味違う！

味噌汁はユータ君が煮干から作る。やっぱりいつ
もの味噌汁と一味違う。

「おいしい！味噌汁に凝ってもいいかもね。」

これからは味噌汁シリーズが続くかな。

わくわく

飛ぶ教室「京都」はもう目の前。ガイドブック片手
にみんなわくわく。

「通天閣って見てみたいんだよね。」とユータ君。
歴史好きなきぐちゃんは、いろいろ説明も加えて
くれる。

各自で動くので事前の計画が大切。あれこれ、こ
ちらから言わずとも自分の興味関心のある場所
のせい、調べて、相談して計画作り。

「ここはどんな場所だろう？」

と想像する行くまでのこのわくわくもまた楽しいん
だよね。計画をどンドンつめていこう！

かおりさん！

「かおりさん！」に周りの子もびっくり。私はもっ
とびっくり。何かと思ったら、

「これ...。」と差し出す破片。私がつけてきたシャ
コ貝を一部割ったらしい。あやまりたかったようだ。
言葉遣いまでかわっちゃって。その気持ち伝わった
よ。

「かおりさん！」

とかい君。いつもは照れているのか、「ねえ。」と
か「ちょっと。」とか、「あのさ。」とか名前で呼
ばれたためしがない。

「かおりさん！」に周りの子もびっくり。私はもっ
とびっくり。何かと思ったら、

「これ...。」と差し出す破片。私がつけてきたシャ
コ貝を一部割ったらしい。あやまりたかったようだ。
言葉遣いまでかわっちゃって。その気持ち伝わった
よ。

「かおりさん！」

とかい君。いつもは照れているのか、「ねえ。」と
か「ちょっと。」とか、「あのさ。」とか名前で呼
ばれたためしがない。

「かおりさん！」に周りの子もびっくり。私はもっ
とびっくり。何かと思ったら、

デイリーフレネは、月～金の平日刊です。
第2期は体育祭を出発に大きな行事が目白押し。しかし、子どもたちのノリが今一つ…。じょじょにリズムを作っていこう！
PHPからの木幡の新作
『学ぶ力』がグングン育つ学習法」、好評です。

http://www.jfreinet.com/info/book/page_1.htm
新宿紀伊国屋本店4F教育書売り場では平積みになっていました。ぜひ、ご購読下さい。JFでも取り扱っています。
それでは、また、来週！

=====

===== **デイリー・フレネ** =====
----- VOL/0725----- 2003/09/16

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

1. けんご&やまちゃん、大検合格！
2. お散歩ー学食探検隊復活！
3. 本日のおすすめ 「身体の零度」

=====

今日はなんの日
2000 田村亮子がシドニーオリンピック女子柔道で
悲願の金メダル
今日の花言葉
りんどう「悲しむ君が好き」
今日は誰の誕生日
ジョージ・チャキリス（俳優 米 1934）
あの「ウェストサイド物語」のチャキリスももう70歳…。

今日の名言
「ただ一つの思想を知らないということは、思想というものを知らないというのと同じ」

西田幾太郎「続思索と体験」より

1. けんご&やまちゃん、大検合格！
「いやあ、動機がねえ…」
個人面談でけんごママが言う。
「大検合格したら、木幡さんが居酒屋に連れていってくれるのを楽しみに勉強しているんですよ」
昨年度の周君・正太郎君・キグちゃんに引き続き、けんご、残り1科目・世界史をクリアーし、大検に合格。やまちゃんも理科系2科目・数学をクリアーして、大検合格！
思えば1999年の9月、中1の時からだから、ジャパンフレネに通うようになって、丸4年。マイペースで学んだことが結果に出たね。めでたい、めでたい！
散財覚悟の木幡です。

2. お散歩ー学食探検隊復活！

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>
何年かぶりに復活の学食探検隊。都電で早稲田大学までという予定だったけれど、都電希望者がいなかったので急遽変更。しかも徒歩。
「多分30分くらいで着くよ。」
出発してしばらくすると、
「あと何分？」と、けんご君。
これこれ…。まだ出発したばかりだよ。

遅れてやってきた夏の空模様。暑いったらない。
「頭、こげてる。」と、やす君。ひたすらテクテク。だけど、いくら歩いても着かない。30分どころか1時間以上の道のり。

早稲田大学
学食に入ると、
「えーすごい！」
メニューケースにはいろんな種類。
ラーメンにスパゲッティ、ネギトロ丼とみんなそれぞれ。
ボランティアの二人はいかにもという「大隈ランチ」。味のほうは、なかなかみたい。ほっと一息。食堂を出てから、構内を少し散歩。大隈講堂の前で記念写真。穴八幡にも寄って地下鉄で四ッ谷へ。

上智大学
四ッ谷の駅を降りてから上智大学へ。在学生であるボラ・ふじさんの案内で構内へ。
食堂についても疲れきっているし食べられないなあと思ったら、
「オレ、ラーメン食う。」と、けんご君。今日二杯目。
「どっちのほうが美味かった？」
「上智の勝利！」
燃え尽きた…。

上智大学からフレネまではまた徒歩。
「10分くらいですよ。」というふじさんの言葉も何のその。40分の道のり。さすがにもうへ口へ口。フレネに着くともうみんなバツリ。何もしたくない…。けんご君は熟睡でした。
この炎天下の中、ほとんど歩きっぱなし。そりゃもう疲れるよね。今日はみんなよく眠れるかな。お疲れ様。
(新宿・テッシー)

3. 本日のおすすめ 「身体の零度」
「身体の零度 何が近代を成立させたか」
三浦 雅士【著】講談社選書メチエ

私 をつくりだす源に、何があるのだろうか。
泣きかた、笑いかた、行進、舞踏など人間の表情や動作に立ちむかい、身体へのまなざしの変容こそが、近代の起点であることを検証する。

- 第1章 亀裂
- 第2章 加工
- 第3章 表情
- 第4章 動作
- 第5章 軍隊
- 第6章 体育
- 第7章 舞踊

ちょっと古い本(1994)だが、身体論の入門的色合いが強い。17歳・しょうや君と二人だけの読書会のために選びました。
軍隊の行進や学校体育が何を狙っているのかよくわかります。

=====

===== **デイリー・フレネ** =====
----- VOL/0726----- 2003/09/17

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

1. マジックから学ぶ マジックショーに参加して
2. ミーティングで感じたこと

3. JF熊谷あれこれ

=====
 今日は何んの日
 1968(昭和43)阪神タイガースの江夏豊投手が対巨人戦で
 354個目の奪三振日本新記録

今日の花言葉
 エリカ 「孤独」
 今日是谁の誕生日
 正岡子規(歌人 1867)
 リーマン(数学者 独 1826)

今日の名言
 「活気が活気を生み、エネルギーはエネルギーを作り出す。最初に自分の力をつぎ込むことなしに、豊さは手に入らない。」

サラ・ベルナール(仏 女優)

- 1. マジックから学ぶ マジックショーに参加して
 昨日の木幡、腰痛でダウン...。にもかかわらず、かねてより約束していたマジシャン黒崎(クロッキー)さんのマジックディナーショーに参加。目の前で
 妙技に酔いしれる。

驚いたは手錠の通りぬけ。メキシコ警察の手錠をはめられた木幡。クロッキーは、アメリカの手錠をはめている。

「ワン! ツー! スリー!」で、クロッキーの手錠がぼくの手錠の中に入ってくるんです!

マジックショーは授業と全く同じ。演技者が楽しみ、観客も楽しむ。観客の様子をうかがいながら臨機応変の対応。マジックの原則として「ネタ」をばらさないというのがある。しかし、クロッキー、ばらしていいネタはばらして、笑いを誘い、修練の賜物的ネタはけっしてばらさない。

なにより、ぼくよりずっと年上の筈なのに、若いんですねえ。ぼくも、精神年齢12歳なんて言われるけれど、クロッキーの握手がとっても元気。

いろんな元気をいただきました。この冬の合宿では、クロッキーを招いてワークショップを行います。

<http://www.jfreinet.com/basic/index.htm>

2. ミーティングで感じたこと

ミーティング

今日のミーティングは議長・ぼく(手島)、書記・ひいちゃんでした。

1. 飛ぶ教室「京都」について
 参加者は自分の行きたいところ、そのために必要な時間、交通費を調べておかないと困ることに。

「どうする? 行きたいところある?」

「ホテルでマツタリ。」

「えー、めんどくさい。」

段取りすることとかも大事。できるのとできないのとは大きな違い。何よりも、フレネでは全員強制的に参加させるわけではなくて、希望者を募っている。

手をつけやすいようにと、用紙を作ってみたけれど...。なかなか難しいのかな。それとも、せっかく行くんだからというのは大人のエゴかなと頭の中はぐるぐる。結論を出す前に、もう少し「見てみたい」とかいう興味が生まれるものを準備しなければというのが何よりも先決だな。

2. 体育祭について

これは実行委員がすでに挙がっているし、前もって話し合いの場も持ったので発表だけ。やりたい種目を発表。

「えー、やりたくない。」と、誰かが言う。「それなら何か代案あげてよ。」という子どもの声。ミーティング後には熊谷の子との連絡も取れていました。

今日のミーティングを通してとにかく今日のミーティングはうるさかった。チャチャをいれたり、関係のない話をしていたり。

「いらいらする!」と、さきちゃん。

「なんでこんなにまとまれないんだ?」と、ひいちゃん。

議長をやっていたばくも感じていたところ。最後に一言。

「いつも議長とか書記をやっている子は同じ。それは、自分がやらないこと、やりたくないことを誰かにお願いしているんでしょ? ここじゃなかったらハジかれるよ。」

何事も「してもらうのが当たり前」というのはいつまでも通用しないんじゃないかな。これは、子どもと子ども、大人と大人、子どもと大人というあらゆる相互関係において。社会にでたら、そりゃもう。いろんなところで素直に誰かの存在に感謝できるっていうのは、お互いにとって、とても安心できることだと。

体が大きくなるように他のあらゆるところも大きくなっていくかということ、そうもいかないところ。勉強のように「必要に迫られて」、というものでない気がする。そのために「躰」でも「教授」でもなくて、「教育」という言葉があってほしいな。

先生でも親でもないけれど、一応「教育」の世界に携わっている現在の立場から。

(新宿・テッシー)

3. JF熊谷あれこれ

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>

解けるかな?

紙に五円玉が2個ついた紐が通っている。紙と紐を切らずに5円玉のついた紐をはずす事ができるか!? 単純といえば単純なパズル。連休明けの頭には丁度いいかなと思ったけれど。

けれどこれがなかなかできないときぐちゃん奮闘...。「イライラする。」でおしまい。奮闘実らず。

解けるかな?

ダーツでピンゴ!

「日本全国どこに行ったことがある?」

「岩手!」「北海道!」「長野!」

出てくる出てくる。みんないろいろなところに行ったことがある。自分の行ったところのある場所から、日本の地方の話へ。

最後はみんなでダーツでピンゴ! 日本の都道府県の位置が遊びながら確認。みんな白熱。

なんと一番はかい君でした!

かい

「字を書くのはちょっと...。」という調子のかい君。ピンゴで県名を書くのには、いつもとは違う表情。「日本地図を的にすんの? じゃあ、大きいところ

にしないとな。」
 「ここはなんていうところ？え、北海道？こんな
 でっけーの!!! すげー。」と表情をこころ変え
 ながら書いていく。
 なかなか当たらないので、「太平洋」と「日本海」
 もビンゴの対象。
 「長いけれど書ける？」と声をかけると、
 「にほんかい。『かい』は俺の名前で書きなれて
 るからねっ。」と得意そうな表情。スラスラ。
 ちょっとしたところから、字を書くことすきになっ
 ていって欲しいな。

(熊谷・かおりん)

=====

=====**デイリー・フレネ**=====

----- VOL/0727----- 2003/09/18

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

- 1. 都会の子どもは苦手？ 数学パズルにて
- 2. 地震が来るぞ！どうしよう？
- 3. 熊谷ドームに行ってきた

=====

今日はなんの日
 1851 ニューヨークタイムス創刊
 今日の花言葉
 あざみ 「厳格」
 今日是谁の誕生日
 横山大観(日本画家 1868)
 中井貴一(俳優 1961 A型)
 今日の名言
 「人間は遅疑しながら何かをするときは、その行為
 の動機を有り合わせの物に帰するものと見える」
 森鷗外
 - 1. 都会の子どもは苦手？ 数学パズルにて

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>

「指定した5円玉を揺らして見せるからね」
 木幡が持ってきたのは、竹の棒にそれぞれ長さが違
 う糸で結ばれた三つの5円玉。
 「じゃあ、一番長い糸のをやってみて」
 けんごの指定に従い、木幡、念力を！
 「なんだよー！他のも揺れてるジャン！」
 「微妙に手首を使ってる！」
 「いんちき」
 「今度は、一番短いのを揺らしてよ」とミッキー。
 「待って、おれ、木幡さんの手首を押さえるから」
 がっちり手首を押さえられながらも、木幡、指定の
 5円玉を揺らす。
 「あ！やっぱり！」
 「手の震動を伝えているんだ」
 「つまんねー！」
 引き続き、数学的マジック！6枚のカードの中に書
 かれてある1～60までの数字の中から好きな数字を
 思い浮かべ、それが書かれているカードを指差す。
 それだけで数字がわかる！
 例えば、24を思い浮かべる。その数字は、DとE
 のカードの中にある。DとEのカードを指差すだけ
 で数字をあてることができる。
 ミッキーあれこ考え、「わかった！」と数字当ての

方法を説明。
 「あっているけれど、どうしてそうなるの？説明し
 ようか？」
 「聞きたくねえ！」
 都会の子どもは苦手な木幡です…。????
 2. 地震が来るぞ！どうしよう？
 「やべー！おれんち5000番中15位だった！」
 とまっつぁん。
 何の話かと思っていたら、関東に大地震がきたら
 危ない地域のランキングを見たらしい。
 「おれは、余震を感じたら新宿御苑に逃げるよ。」
 そう。それはぼくも最近の色んな情報を聞いて思
 っていたこと。フレネの周りで一番安全は新宿御苑。
 「でも、このビル倒れそうだよな。」
 それも感じていること…。
 「実は、今日が地震予定日らしい。」という話をし
 ていて一番動揺していたのがボラ・らんちゃん。
 「まだ死にたくないよぉ。」
 「みんなは迎えきてもらうようにいってある？」
 と、ぼく。
 「うち近いし。歩いて帰れるよ。」
 「おれに歩いて帰っていいのか？」とは、神奈川
 県民けんご君。みんなの安全を確認するまでは帰
 れないよぉ。でも、全員を家に送り届けるのは不可
 能。交通機関麻痺だろうからなぁ。
 今日はおきずにすんだけど、結構真面目な話。日
 にちが延びれば延びるほど歪みは大きく溜まるわ
 けだし、いつかは必ずおきること。阪神大震災を見
 ればその惨事は実感に。新宿なんて大火事。人も
 火も多だろうからなぁ。
 おきてからじゃ遅いのは当たり前。先の長いみんな
 の将来はちゃんと残しておけるように。大袈裟な話
 ではなくて。
 自分より若い世代の命を預かっているなど改めて。
 (新宿・テッシー)
 3. 熊谷ドームに行ってきた

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>

お散歩の授業 熊谷ドーム
 行き帰りの電車の中から、何やら白いドーム。
 「何だあれ？」とずっと気になっていたが、「熊谷
 ドーム」と言うらしい。2004年に開催される国体の
 メイン会場。
 「一般にも開放されていますよ。」とボラ田中君。
 みんなも気になっていたようで、「行って見よう！」
 と言うことに。
 今日は特別に主査さんが、室内を案内してくれた。
 中に入ると、人工芝の室内。空調設備も抜群。ベン
 チの下から風が出てくる。テニスコートが20
 面ぐらい取れる。フットサル、ソフトボール、ゲ
 ートボールなどもできる。
 「広ーい！こんなところで競技したいなあ。」
 とときぐちゃん。
 「俺走ってくる。」と駆け回るかい君。
 「こういうところで、運動会できたらいいね。」
 とショータ君。
 「予約してもらえれば、使えますよ。」とのこと。
 今度はみんなで予約して、運動しにこようね。

ドームのほかに15
場も案内してもらおう。貴重な経験。よかった！
ドリアン？

「なんかドリアンみたいな形だね。」
「いや、ハリセンボンだよ。」
とドームの形をみんなで話す。
「これは、『ラグビーボール』なんです。」
と苦笑する主査さん。
ラグビータウン熊谷と言うだけあるのかな。

スポーツ文化公園

ドーム周辺はまだ工事中の部分も。今日はお隣の
スポーツ文化公園（ラグビー場）で運動！天気は
いいものの、風は秋風。トンボも飛んでいる。み
んなで外でお弁当もおいしい！
お腹がいっぱいになったらひと運動。アスレチック
にキャッチボール・バトミントン。やり方を丁寧に
教えていたり。遊ぶ中で自然にできている。
天気だけではなくて気持ちのいいお散歩。

(熊谷・かおりん)

=====

===== デイリー・フレネ =====

----- VOL/0728----- 2003/09/19

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

1. うっちーからのお便り
2. お料理対決！牛丼VS炊きこみご飯
3. 子ども達との会話

=====

今日は何の日

1931（昭和6）ラジオで初の臨時ニュース、内容は満州事
変の第一報

今日の花言葉

すげ 「自重」

今日は誰の誕生日

デビッド・マッカラム（俳優 英 1933）

今日の名言

「大切なことは勝敗ではない、なんて、おおかた敗者が
言う言葉だ。」

マルチナ・ナブラチロワ 1956 ~ プロテニス

- 1. うっちーからのお便り

元ボラ、うっちーです。お元気ですか？2期も始ま
り、お忙しい日々を送られていることと思います。
旅人の樹を辞めてから3ヶ月経ちました。

旅人の樹

西表島に宿泊型のフリースクールを作るという事だ
ったらしいが、だんだん主旨と離れていったようだ。
いろいろな経験をしようと思い、豊年祭など、いく
つかの行事に参加したりしてきました。と同時にこれ
からどうしようという疑問をずっと自分に投げかけ
ていました。

前に木幡さんからのメールで「帰ってきませんか」
のお話があったのにはすごく嬉しかったです。

正直自分でも帰ろうかなと思ったりもしましたが
ただ自分自身まだ考えを整理できていないのと
変に意地っ張りや途中で投げ出すのが嫌だったので
保留にしていまいました。

島の人と仲良くなり温かいふれあいを感じ楽しい時
もありましたがやりたいことがやれていない自分に

もどかしさを感じて過ごしていました。

「俺は何をしているんだろう？今の生活に意味があ
るのだろうか？」

「この先どうしていけばいいのだろうか？」

疑問の繰り返しでした・・・。

時間が経ちだいが整理できるようになりました。西
表は本当にいい所で生活するには素晴らしいところ
です。ただ観光や農業をやるのならいいのですが、
教育をやるという自分にとってはすぐわかない場所
なのだと思います。

これから西表にいてもいろいろな経験はできると
思いますが自分の道は止まったままだと思うので帰
ろうと思います。僕は教育がやりたい、常に走り続
けたい、そのために自分にふさわしい場所にいた
いと思います。

この先ですが、東京に帰る前に一度九州に戻ります。
それで次のステップを考えようと思います。

いろいろ書きたいことがあるのですが

今回はここまでにします。

あまり無理はしないようにお仕事頑張ってくださいね。
失礼します。

2. お料理対決！牛丼VS炊きこみご飯

お料理一本格牛丼（しかし、悲しいお知らせ）

今日のお料理は牛丼。これは、お昼の定番メニュー
になりつつあるかな。何しろフレネの周りには3軒
もあるしね。「何食べよっかなあ」と悩んでいると
牛丼屋の前ってこともあるくらい。

だけど、今日作るのは「本格牛丼」。材料も多い。

「牛丼に豆腐なんて入れるの？」なんて。

切るのはあつという間。

「豆腐はこうやって切るんだ！」って案配にドラゴン。

もうお手の物だね。

味付けは、木幡さんにボラ・なおちゃん、それにぼく。

「薄いかな？」

「ちょっと少ないんじゃない？」

3人であれこれ試行錯誤。

後は煮込むだけ。ご飯もスイッチオン。

「できたよー。」という声の時には裏で仕事をして

いたぼく。気がつくと、

「テッシー、悲しいお知らせです。」

「？」

「ごはん売り切れ。」

お肉だけ頂きました。だけど、すき焼きみたい。普

段の牛丼じゃこういう味にならんあ。おいしい！

帰り際、

「みんな自分のお皿ちゃんと洗ってましたよ。」と、

嬉しそうななおちゃんでした。よかった！！

(新宿・テッシー)

お料理の授業 きのこの炊き込み御飯

「秋だし、炊き込み御飯食べたいね。」

今日は、しめじ・まいたけ・しいたけときのこたつぷ

りの炊き込み御飯。具を作って、お釜にセットすれ

ば後は待つばかり。「匂いがしてきた！」待ち遠しい。

お味噌汁も「なめこ」ときのこ尽くし。

「ベタベタするよお。」

といいながらもかい君がほぐす。きぐちゃん母直

伝の鳥の皮の煮物もついた。「デザートも！」と

今日は梨。和食ないちにち。

「ピーピーピー」っと炊き上がりの合図。
 「本当は10分蒸らすんだってよ。」
 そんなのは待ちきれずにみんなのおなかの中に。
 「おいしー!」「やっぱりおこげがいいよね。」
 今日はあつという間に完売。
 かい君の本日の感想には、
 「たきこみごはんをたべすぎて、おなかがかくる
 しかつた。」と。かい君だけではなくみんなおな
 かいっぱい。

「きのこってどうやってなるの?」と話も炊き込み
 ご飯からいろんな方向へ発展。ご飯がおいしい
 と会話も弾むね。

(熊谷・かおりん)
 3. 子ども達との会話

「木幡さん!火曜日、どうしてこなかったんだよ!」
 「来たよ」
 「えっ?本当?」
 (テッシーに確認)
 「終わってから」
 「最悪!」
 「徹夜で原稿書くなよ」
 「いやそう言うわけじゃなく、腰痛がひどかったの」
 横にいたタカぼう、
 「木幡さん、マジックショーを見に言ったんだぜ」
 「なんで、よけいなこというんだよ」
 「だって、昨日そう言ってたじゃん」
 「あーあ、ひでえなあ。フレネに来なくてマジック
 ショーかよ」
 「フレネにはいつでも来られるけれど、マジック
 は約束してたから」
 「おれなんか、数学やろうと思ってたんだぜ」
 「あんまり、勉強するもんじゃないよ」(爆笑)
 「もう、あんまりかまわないほうがいいぜ。精神年
 齢5歳なんだから」
 けんご、「そうじゃなく『ガキオヤジ』って言わな
 きゃ」(爆笑)

いつも、こんなふうには話が収束する昨今です。
 - - - - -
 デイリ フレネは、月～金の平日刊です。来週は、
 「飛ぶ教室 in 京都」のため、24日(水)～26日(金)
 の三日間、新宿・熊谷ともにスペースは閉鎖になります。
 木幡は、お留守番なので連絡はつきまます。
 では!楽しい週末を!

=====

==== デイリー・フレネ =====

----- VOL/0729----- 2003/09/22

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

1. 木幡のあれこれ おすすめ
2. マンジュシャゲの巾着田へ! 新宿・お散歩
3. 木幡のお授業あれこれ 熊谷

=====

今日はなんの日
 1862 アメリカ・リンカーン大統領が奴隷解放宣言布告
 今日の花言葉
 こばん草「興奮」
 今日は誰の誕生日
 幸徳秋水(社会主義者 1871)

今日の名言

「海のほか何も見えないときに、陸地がないと考える
 のは、けっしてすぐれた探検家ではない」

ベーコン

9月24日(水)～26日(金)まで「飛ぶ教室」
 in 京都のため、新宿・熊谷のスペースはとも
 に閉鎖になります。
 それにともない、デイリーフレネの次回の発
 信は9月29日(月)となります。

- 1. 木幡のあれこれ

9月初旬、「『学ぶ力』がグングン育つ学習法」
 (PHP研究所)を上梓した。立て続けにもう
 1冊書いています。やはり、PHPからマジ
 ックやパズルを使ったおもしろ授業の数々を今
 週中に脱稿します。発売は11がつ初旬。
 乞う、ご期待。

先週の週刊現代に『百マス計算は子供をダメに
 する!』(芳沢光雄東京理科大学教授)という文
 章が出ていたので読んでみる。内容は、ぼくが
 以前から一貫して言っていた事とほぼ同じ。

ドリルだけやらせても数学好きの子どもは
 生まれません。重要なのは、論理的思考力。
 親の自己満足で、安心したいだけ。

こういう批判が出てきたのは初めてじゃないでしょ
 うか?遅きに失するという感があります。流行り物
 には、気をつけましょう。

学校でも百マス計算をずいぶんやらせているよう
 ですが、これは教師の力量がなくなってきた一つの証
 拠です。手間暇かけて、教える教師も楽しむ。しか
 も、確固とした指導力を持っている教師が少なく
 なってきました。

そこで、本日のおすすめ!

「教えることの復権」

大村はま / 苅谷剛彦 / 刈谷夏子(ちくま新書)

苅谷さんとは一緒にシンポジウムのパネラーをや
 ったりしたこともある。彼の奥さん・夏子さんがあ
 の伝説の教師・大村はまの教え子。
 大村はま、おん年97歳!今だ健在!戦後国語教育の
 パイオニア。50年以上にわたり実践的指導に関わる。
 いまだに全然古くない。素晴らしい実践家だ。
 この本は、大村国語教室の当時の様子を振り返りな
 がら、その教育的意味を探っていく。
 ありとあらゆる種類の教材を使う。だから、ページ
 編集ができない市販のノートは使わない。情報管理
 を徹底的に行う。

掲示板の掲示物は一日ではずす。同じ掲示物が何日
 もそのままでは、だれ掲示板を見なくなる。真剣に
 聞いてもらうため、話は一回しかしない。そのため
 には聞いてもらうための話術を教師は持たなければ
 ならない。授業もマンガを文章化するなど、画期的
 なんです。

ぜひ、一読を!

2. マンジュシャゲの巾着田へ! 新宿・お散歩

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>
 お散歩ー巾着田

今週は高麗にある巾着田へ。ここは、毎年この時期

になるとマンジュシャゲの花が一面に咲き乱れることで有名。

ぼくが前に住んでいた所から近く、小学校の遠足の定番コース。車に乗れば20分くらいの馴染みのある土地。みんなとは少し違った感情が。

だけど、朝9時に池袋駅に集合したみんなからは、「どんくらいかかるの？」

「1時間半くらいかな。」

「そんなに!？」

高麗の駅に着くと、もう人で大変。

「若い人はうちらしかいないんじゃない？」という言葉の通り、近所のおばちゃんといった雰囲気の人でごった返している。

歩く時間は少し。それに、ハイキングとはいっても平坦な道のり。道に並べられたお店には、珍しいものがたくさん。大きなキュウリ、鑑賞ナスなどなど...

巾着田について一面を真っ赤に染めているマンジュシャゲ。まだ満開じゃないけれど、真っ赤。広く見るとじゅうたんのようだけど、一つ一つに目をやると、それぞれ綺麗な表情。ぼくはホッと一息。

だけど、それより人、人、人...。そして、暑い...。みんなイライラ。

高麗民俗資料館

「もう、ここやだ。地図見せて。」

ドラゴンが発見したのは民俗資料館。

「ここ、いこ!」

人込みを避けるようにして資料館へ。

外見はとても立派といえるようなものではないけれど、中はおもしろい。ドラゴンは展示の本棚で見つけた「尋常小学校」の教科書を手。

「こういうのって、こんな風に触っていいの？」

複製ではなくて本物だもんね。

さらには、農作業の道具などなど。お茶や養蚕が盛んだったみたいで、これらに関するものがたくさん。周りのお年寄りが、「これ、懐かしいなあ。」

「おれ、こういう古い農具とかは詳しいんだよな。」

と、けんご君。年下のりょうすけにいろいろ説明していました。

なんだかんだと結構歩き回りました。暑かったし、人もたくさんだったしね。帰りの電車の中ではみんなぐったりでした。

「お花、綺麗だったね。」

帰り際のりょうすけの一言です。

(新宿・テッシー)

3. 木幡のお授業あれこれ 熊谷

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>

お土産大抽選会!

暑さ寒さも彼岸までとは言うが残暑の厳しい熊谷。

「みんな夏休みどこに行ったの？」

とちょっと時期はずれ。

「ぼくはハンガリーに行ってきたよ。」と木幡さん。

お土産話と一緒に、本物のお土産の大抽選会!

ハンガリーのきれいな絵葉書から、飛行機のエコ

ノミークラスの塩までありとあらゆるものが!

「よし!これだ!」とくじを引けば、スカの連続...

「なんか書いてあるけれど、字が読めないよう。」

「何々、エコノミークラスの楊枝だ!」(笑)

「エコノミークラスの楊枝は品切れだから、ビジネスクラスの楊枝。」ランクアップ?

「帽子だって。」

とユータ君。どんな立派な帽子かと思ったら、

「ハンガリーの温泉に入るときにはこれかぶらないとだったんだ。」と水色のシャワーキャップ!

似合ってたよユータ君...

大笑いのひととき。

マジック!

「15まで思い描いてね。ぼく当てるから。このカードの中に数はありますか？」

と木幡さん。

「あなたの思い描いた数はこれだ!」

と見事に正解。みんなビックリの顔。

「難しい話だけれどこれは、数学の2進法が関わっているんだよ。カードのコピーをあげるから仕組みを考えてね。」と置きみやげ。

木幡さんの帰ったあと、

「これってどういうことなの？」

ときぐちゃんはボラ田中くんに説明を聞く。

学びのきっかけはいろいろだ。

揺れるコイン

「次はこの3つのコインの中のひとつだけを動かすよ!」

ひとつのコインだけがゆ~らゆら。

みんな不思議な顔。

「どうなるの?どうなるの?」

みんな解き明かそうと必死に見つめる。

今度はどんなのが飛び出すのか楽しみだね。

(熊谷・かおりん)

9月24日(水)~26日(金)まで「飛ぶ教室」

in 京都のため、新宿・熊谷のスペースはとも

に閉鎖になります。

それともない、デイリーフレネの次回の発信

は9月29日(月)となります。

よろしく、お願いいたします。

=====

===== デイリー・フレネ =====

----- VOL/0730----- 2003/09/29

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

1. 「飛ぶ教室」in 京都特集 木幡バージョン
2. 「飛ぶ教室」in 京都特集 テッシーバージョン
3. 「飛ぶ教室」in 京都特集 かおりんバージョン

=====

今日はなんの日

1972 日中国交正常化、北京で調印

今日の花言葉

りんご「名声」

今日は誰の誕生日

徳川慶喜(第15代将軍 1837)

今日の名言

「才能を疑い出すのがまさしく才能の証なんだよ」

「G町のジェズイット教会」ホフマン短編集より

- 「飛ぶ教室」も終了し、久々のDFです。お知りあいにもぜひDFをご紹介下さい。

1. 飛ぶ教室」in 京都特集 木幡バージョン

今回の京都、木幡はお留守番。ひたすら原稿を書き、部屋のお片付け。250枚書き上げました。発売は11月上旬。えう、ご期待！

「お部屋、ずいぶんきれいになったねえ」

と、りょうすけ。そりゃそうだ。

「ぼくが掃除したんだから」

「そうなんだ」

それだけ？

「ところで、お土産買ってきてくれた？」

「もみあげ？」(爆笑)

「ぼくはハンガリーで買って来たじゃない」

りょうすけ、「だって、お金なかったんだもん」

「おれは、あったけれど買わなかった」

と、につっきけんご。

JFのHPを見ると、りょうすけは美人のお姉さんとばかり写真を撮っている。開君は、さんざん迷った挙句、清水寺で木刀を買ったとか…。いるんだよなあ、必ず。

2. 飛ぶ教室」 in 京都特集 テッシーバージョン

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>

一日目

7月の沖縄に続いて、今回は2泊3日の京都旅行。午前中に京都に到着後、前もって調べておいた行きたい所へ。

ただ、京都に近づくにつれて大降りになった雨。かなり悩まされました。

初日は、6人連れ立って梅小路機関車博物館へ。中には所狭しと並べられた蒸気機関車。小さい子は大はしゃぎ！

同じように見える機関車でも、ちゃんと違いが。

「テッシー、機関車のCとかDとかの意味って知ってる？」と、りょうすけ。

これがまた詳しい！思わず、

「へえ…。」

時間の関係で蒸気機関車には乗れなかったけど、楽しかったね！

雨の中みんなでテクテク。途中お昼を食べて、西本願寺へ。あいにく中には入れず…。

その後は駅を越えて、三十三間堂に京都国立博物館へ。

膨大な数の千手観音に思わず、目が点。

「こんなにあると思わなかった…。」とは、かい君でした。

その後はお隣の京都国立博物館へ。

刀やら何やら、興味の引くものがたくさん。

貝塚の前では、

「どうしてこんなにいっぱい貝があるんだと思う？」

と、みんなで推理。ちゃんと答えにもたどり着いたね。

帰りはさすがにバスにしようと思ったけれども、バスを待っているのも困難なくらいの雨。結局タクシーで帰って、即お風呂でした。

二日目

りょうすけとぼくは奈良へ。着いたときには雨は小降りに。そして、お出迎えは鹿。

「おいで、おいで。」と呼ぶと寄ってくる。

「うぁー、こわい！助けて！！」と、りょうすけ。

ぼくもポケットから出ていたガイドブックをかじられてしまう始末。

国宝館へ行って阿修羅などを鑑賞。その目を見てみると何とも言えない気持ちになるな。

その後、リクエストの東大寺へ。

やっぱり大きい大仏さん。柱の穴に通ってそのすごさを実感。

「大仏さんの口の大きさがりょうすけと大体同じくらいだって。」周りのガイドさんの話に聞き耳を立てて。

大仏を見た後は電車で移動して大和郡山へ。

ここは、なんと全国の40%の金魚を養殖しているところ。城下町だったこともあり細い路地をクネクネ進むと、広い水田のようなところへ。だけど、それは全部金魚の池！圧巻！

資料館の中でいろいろな金魚を鑑賞。その動きは種類によって違って何とも面白い！

一匹5000円の金魚なども養殖されていてびっくり。帰り際には、雨を避けるようにしてたこ焼き屋さんへ。カウンターだけの店内はまだ他のお客もいなくてのんびり。

たこ焼きさんのお姉さんはコテコテの関西人。

りょうすけは、

「ぼくのお父さんじゃないよ！」とぼくを紹介。

「お兄さん、もっと若いのぐらいわかるよ！」

東京の人とは違う！

一時間近く色んな話をしてホテルへ。

「気をつけてえな！」とのお見送りでした。

三日目

最終日はみんなで連れ立って清水寺へ。バスに揺られて、長い坂道を登って…。ようやく到着した清水の舞台。深い緑とやっと見られた青い空は、とつてもすがすがしい。ほっと一息。

みんなでおみくじを引いたりしながら、ゆっくりとした時間。もうじきこの旅もおしまいだなど、妙に実感。

お土産を探しながら歩く京都の町並み。瓢箪だったり木刀だったり。みんなの興味はたくさん。

お昼を食べて、帰京。新幹線の中ではみんなぐっすりでした。無事で何より。お疲れ様！

3. 飛ぶ教室」 in 京都特集 かおりんバージョン

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>

3日間京都へ。天気は警報が出るほどの大雨。

3日目はよい天気。天気負けずにみんなそれぞれ楽しんでできました。

一日目編

あなたのお家はどこでしょう？～京都編

JF熊谷を支えてくれる水野さん、ただいま京都大学大学院の研究生として、京都に滞在中。

「水野さんちにいつてみたいなあ。」

とひょんなひと言で決まった1日目。京都にいる水野さん宅へ行くことに。きぐちゃん、ユータ君、しゅん君で向かう。

ただ尋ねるだけではない。水野さんから事前に指図なるFAXが届いている。

「何？京都駅を背にして鉄腕アトム像をみて…。」

指令のとおり道を進む。京都の道は碁盤のように張り巡らされていることを、体験するためにまず「道の資料館」へ。

そこは床一面が京都の地図になっている。そこで京都の道が碁盤のようになっていること、その道が座標軸のようになり住所が出来ているので、水野さんの住所から予め場所の見当をつける

「この通りと、この通りの交わったところだから。」

「あ、ここらへんかぁ。」

「下るってなんだ？」

「御所が中心になっているから...。」

と言う説明からみんなはわかったようだ。

東本願寺、錦市場、寺町通りを抜け、本能寺を横目にいざ道を進む。無常にも雨はどしゃぶり。

「ここまできたら、歩き通す！」

とみんな半ば意地になりながらひたすら進む。

京都の道は...

目的のマンションを見つけインターホンを押すと...

「京都の道は？」と水野さんの声。

「碁盤の目！」と合言葉。

がちやりとドアが開き、久々の水野さんとの再会。

「お久しぶり！」と元気な水野さんの声と

「疲れたぁ。」の声。さすがにぐったり。よく歩いた。マリモや大きな観葉植物などなどいろんなものがあるととっても素敵なお部屋！梨をご馳走になり、ここからは水野さんも合流して、いっしょに行動。

熱湯！？

水野さんも一緒に二条城へ。開城400年ということで特別展。普段は見ることの出来ない、台所・お清所・東大手門も見学。中でも東大手門には不思議な穴が。

「何だこれ？」とユータ君。

説明を読むと、侵入者を攻撃する「石落とし」というもの。しかも、当時は意志だけではなく「熱湯」も降り注いだという。

「あつついよなぁ...。」と思いを巡らせる。あついでどころではなくて、熱湯がかかってきたらたまったもんじゃない。

5万円

道の途中で錦市場に寄り道。ここは京都の台所。見たことのない京野菜や高級食材が並ぶ。

「こういう所で買い物をしてお料理の授業したいよね。」

「みんなで買い物をするだけでも楽しいし。」

見ているだけでも本当に飽きない。鹿が谷かぼちゃや賀茂茄子などなど。京都独特のものも。

「あ！見て見て。」と見てみるとそれはマツタケ。

お値段は5万円。次のお店には10万円のものも！うーん。すごい。

いい人ばかり？

お昼を迷っていると、

「おにいちゃん、あそこはたくさん食べられるよ。」と道行く人。

記念写真を撮ろうとしていると、

「とってやるか？」とタクシーのお兄さん。

たこ焼きのソースで迷っていると、

「ここのはボン酢もいいよ。お兄ちゃん達は若いからソースでもええかぁ。」

と、たこ焼きを頼るおばちゃま。

「ごちそう様。おいしかったわ。」

「京都の人はいい人ばかりだね。」とみんな。

京都の言葉は柔らかいし、気さくでいいね。

2日目編

国立民族博物館

2日目は、かい君・ユータ君・しゅん君と大阪にある国立民俗学博物館（みんぱく）へ。ユータ君が事前にばっちり調べた経路で乗り換えもスムーズ。大阪万博の跡地にあるので、太陽の塔がお出迎え。「うぉ！あれはなんだ！」とカメラを握り締めるかい君。その大きさとダイナミックさは圧巻。

みんぱくは世界各地の民族の文化を理解するため、衣・食・住や音楽・言語・信仰などのものが展示してある。一日でもとても回りきらないぐらい。

「モアイ像だ！」

「こんなに、槍や釣り針がある！」

「ひょうたんで出来た器だ。」

「変なお面。」

博物館いながら、世界中を旅行しているようだ。各地域によってやはり特色が全然違う。気候・風土のちがいによるものなのだろう。満喫。今度またゆっくり来たいなぁ。

タコ！カニ！フグ！

お次は場所を移して、大阪道頓堀へ。最近タイガース優勝でテレビではおなじみの場所。

「思ったより、汚くないね。」とかい君。

「川には飛び込まないでください」の看板がかかる道頓堀川。

「あ、グリコは阪神のユニフォーム！」

「このタコ動くんだね。」とたこ焼き屋の看板。目玉の取れたカニの看板（もう元に戻っていた）ぶら下がるフグに、くだおれ人形（本名：くだおれ太郎）みんなで記念撮影。

さすがにグリコの前で万歳のポーズは恥ずかしくて出来なかったけれど...念願達成。

あちち...

「ここのだこ焼きが絶対に食べたいんだ！」とユータ君。今回の一番。

「みんなでいろんな種類を買って、分けっこしよう。」

「ここのは、だしが入っているんだっ。」

「これ、12個入り。」

6個で300円とお手ごろ。

しかーし、みんな出来たてで熱くて熱くて飲み込めず。熱かったけれどとってもおいしかった。おなかいっぱい。今度は食い倒れるまで食べないと。

「来てよかった！また来たいな。」と

満面の笑みを浮かべるユータ君。よかった！

きよろきよろ

京都の中でもメインの通り、四条通りを通りながら。

「あんな所に孔雀が！」ときぐちゃんにかいくん。

デパートの上に孔雀のオブジェが。そのほかにも、きよろきよろいろんなものに目が行く。

人ごみも歩きづらい。

しかし、すたすたと前を進む、りょうちゃんとしてっしー。「やっぱり、新宿に普段いるからなれているかね。」とユータ君。田舎もの丸出しかしら。興味関心がいろいろなところに行くのよね。

3日間天気負けずに歩き通した3日間。

あつという間だったけれど、楽しかったね。お疲れ様！
お次は体育祭だ！

==== デイリー・フレネ =====

----- VOL/0731----- 2003/09/30

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

1. お便り三連発！
2. のんびりの一日 新宿
3. ものづくり 紙ベット 熊谷

=====
今日はなんの日
1955 アメリカの俳優ジェームス・ディーンが自動車
事故で死亡

今日の花言葉
杉「雄大」

今日は誰の誕生日
石原慎太郎(1932)
五木寛之(1932)

今日の名言
「わが身を歴史に刻んで生きているか？時間に刻まれて生きているだけか？」

むのたけじ詞集『たいまつ』より

「飛ぶ教室」 in 京都の様子がホームページに完全アップ！

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>

- 1. お便り三連発！

まずは、元気に高校に通っているこのちゃんママからのお便りです。

木幡さんへ

いつも楽しくデイリーフレネ読ませていただいています。このちゃんがフレネを卒業(!?)してからどのくらいたったのでしょうか？

今彼女は、ほんとうにいきいきと高校生活を enjoy しています。自ら文化祭のリーダーを買って出たり、ダンスの出し物の企画を打ち出したり、毎日お弁当を持って朝早くにおきて出かけていっています。

人間のきっかけってどこにあるかわからないものです。毎日家にいて、生きる希望を失ったようにみえたときもあったとは思えないほど、今の彼女は生き生きと人生を楽しんでいます。

フレネがなかったら、木幡さんがいなかったら今のこのちゃんは無かったと思います。ほんとうに感謝しております。

高校の文化祭が10月25日26日(土日)に行われます。お忙しいとはおもいますが、もしお時間があつたら彼女のその後を見に来てやってください。

それでは、今後のフレネの発展をお祈りしています。

続いて元ボラ・ウッチー

東京はもう涼しいそうですね。西表はまだまだ常夏です。10日間ほど、「ガイアシンフォニー」という映画の撮影の現地コーディネーターのバイトをしていました。短い間でしたが素晴らしい経験が出来ました。実は事務所が新宿2丁目でフレネのすぐそばでビックリしましたよ。

東京には、来年の頭ぐらいに帰ろうかなと思います。とりあえず4月から何をするかを考えて逆算して行こうと思います。

「仕事」という物について自分はずっと考えてきました。僕にとって「仕事」とは、自分を表現するための手段。自分の生きる道のようなものです。そう考えてずっと探してきましたが、なかなか答えが出ませんでした。最近思うのは、自分は「仕事」という物に対しシビアに考えすぎてきたのだろうか？ということです。

理想とする仕事という物はそう簡単に見つからないのかもしれませんが。すべてが完璧で素晴らしい仕事なんて存在しないのかもしれませんが。まずはやってみることが大事なのではないだろうか？と思うきもします。

自分が一番やりたいのはフリースクールですが、前に進むという意味では学校の教師も一つの選択肢かもしれません。例えどんなことであれ一生懸命やったことには無駄にならないと思います。

フレネのほうはいかがですか？出来ればフレネで働きたいと思いますがそれが叶わないのなら他の選択肢を探そうと思います。出来れば不登校の子を応援する仕事がしたいと思うのですがなければ教採を受けるかなとも考えています。

一番は自分が一生懸命完全燃焼できる場所にいます。ことです。

最後は、湘南の授業作りの会でおなじみのSさん。

素晴らしい本が出ましたね。木幡さんの授業パフォーマンスが伝わってきます。大道芸人の木幡さんの技をまた見たくまりました。またお会いできるのを楽しみにしています。

2. のんびりの一日 新宿

OB 周君が受験勉強の合間に来訪！

京都での雨が嘘のような青空。仕事が終わって非常階段でタバコをふかしながらのんびり。目には大きな雲が真っ赤に。

ビルの谷間で夕日が見えないのは残念だったけど、せわしい地上とのコントラストは妙に寂しげでいいな...

今日はとっても静かな一日。久しぶりに顔を見せてくれた周君も、

「フレネってこんなに静かだったっけ？」

のんびり京都の話やら。

でも、しばらくすると

「あー、暇。なんかやることないんかあ。」

ここで取り出したのは、りょうすけの持って来たジグゾーパズル。今までで一番大きくて一番細かい。いい頭の体操になるかな。

「何の絵になるの？」

「ないよ。」

なんと！ゴールの絵がないでは！！大きさもわからない状態。

目の前につまれたパズル。おもむろにみんなで着手。これがやっぱり一筋縄ではいかない...

ひいちゃんも、

「そろわない！」
 少しずつみんなで分担。やっぱり(?)新幹線の絵。
 3時に始めてフレネ終了の5時にも終わらない始末。
 明日へ持ち越しです。

3. ものづくり 紙ペット 熊谷

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>

今日のものづくりは紙ペット。工作用紙で胴体と足を作る。足は洗濯バサミで。4本足歩行をする。ちょこちょこちょこ。ヤドカリが砂浜をちょこまか歩くような感じ。壁にかけてあったコルクボードをはずしてコースに。

情けない姿のスタかおり号を見て、
 「ほんとに歩くの?無理なんじゃない?」
 とときぐちゃん、しゅん君。
 コルクボードにのせるとチョコチョコと地味に歩くスタかおり号。百聞は一見に如かず。
 「ほんとに歩くんだ。」と驚いた顔。
 「僕は、歩くようにがんばる！」意気込むユータ君。
 「負けないからなあ。」と意気込むかい君。
 単純なつくりだけれど、歩く以前に立たなかつたり、立っても転がっていったり。試行錯誤。
 「なんか、くだらないんだけどはまるなあ。」
 とユータ君。出来たらみんなで競争だ!

いざ勝負

コルクボードの斜面に並べて競争。すたすた歩くエリ君のや土壇場で調子を上げてきたしゅん君。「たこ焼き号」と名づけたユータ君に、地道にチョコチョコ歩くかおり号。

勝ち抜き戦。よーいドンでスタート。気になる結果は地味にチョコチョコ進んだスタかおり号の優勝。

「下半身が重いから減量してもダメかあ。うーん。家で研究してきます。」とエリ君は工作用紙を持って帰った。

「明日は、吉田さんを負かしてやる。」そうだ。

また勝負しようね!

メダル

なかなか歩かず、早々に作るのをあきらめたかい君。

「競争のトーナメント作る。」

「勝ったら、商品ないの?」の声に、

「じゃあ、優勝した人にはこれ。」と夏休み中ブルタブで作ったトカゲを差し出す。

「準優勝にはこれ。」と使わないCDでメダルを作る。

3位の人には、「わかだいしょう、おめでとう」と文字を書いたスズランテープで作ったタスキ。

競争しなくても、かわり方はいろいろあるよね。メダルをもらって嬉しそうユータ君に、喜んでもらえて嬉しそうなかい君。それを見ていて嬉しくなったスタかおりでした。

=====

==== デイリー・フレネ =====

----- VOL/0732----- 2003/10/01

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

- 1. 久しぶりに一日いたら...木幡な日々...
- 2. 湘南BASIC 10月学習会へのお誘い
- 3. 10月のジャパンフレネ

=====

今日はなんの日

1948 警視庁 110番設置

今日の花言葉

菊(紅)「愛」

今日は誰の誕生日

ジュリー・アンドリュース(女優 英 1935)

今日の名言

「多数に追随すれば必ず自分を見失う。孤独を恐れず、したいことを続けるしかない。」

安藤忠雄(建築家)

- 1. 久しぶりに一日いたら...木幡な日々...

最近、11月に出版する本の原稿書きや雑用に追われ、一日ゆっくり新宿にいたことができなかった。久々にじっくり子ども達と関わったら、実に気分がいい。すべてはここに尽きるんですね。

ミーティング

体育祭の内容が決定!後は組み分けし、各自、参加種目を決めるだけ。

「おれ、テッシーのチームがいいな。バスケット強いんだもん。木幡さんは、いらない」とドラゴン。
 「俺のチームが優勝したら、祝勝会で焼き肉パーティーだよ」と、えさで釣る木幡。

「えっ!本当!俺、木幡さんのチームがいい!」

豹変するドラゴン...。爆笑!

ミーティングのやり方

「前もって資料を配るなどしないとミーティングが集中しない。ミーティング委員会を作ったらどうだろう?」

木幡提案に、「いや、わざわざ委員会を作らなくとも提案者がきちんと資料を作ればいいんじゃない」うん、その声、聞きたかった。

歩くペットを作る

昨日、熊谷でも作った歩くペット

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>を作る。

ようすけはボディーと洗濯バサミの横に自動車の側面を貼りつけ、「いいでしょう!」たかちゃんは自分のステーションナリーで!

よちよち斜面を歩く様子にみんな爆笑。最初は興味を示さなかったちせちゃんも転ばないペットを完成させ、満足な一日でした。

将棋二番!

「木幡さん、さいならー!その前に将棋を一番!」けんごと久々の将棋。後半、圧倒。木幡、勝利!「じゃあ、木幡さん、俺とやろう!」

やまちゃんには前半押されたが、後半、やはり圧倒し、木幡、やまちゃんを撃破!

それにしても、子ども達成長してきている。甘く見ると負けそうになる木幡です。

2. 湘南BASIC 10月学習会へのお誘い

日時/10月11日(土)

14:00~17:00

会場/(中海岸の)

茅ヶ崎市海岸青少年会館

*会議室名は、掲示板をみてください

今回会場、変更しています。ご注意下さい

BASICでは、基礎・基本を問い直し、新しい授業の展開を進めています。品川遊びなど楽しめるいろ

いろなレシピや素材が待っています。参加をお待ちしています。保護者の方もどうぞ！

** ちょっと 紹介 **

木幡 寛氏の新刊

「学ぶ力」がグングン育つ学習法

PHP研究所 ¥1

ジャパンフレネのおもしろ授業の数々をライブ形式でまとめました。楽しいから夢中になる！夢中になるから学力が伸びる！子どもが大好きなパズルやマジックを使った小学生の親子のためのおもしろ学習ヒント集。大人も子どもも楽しめます。教師には授業作りのヒントになるでしょう。

(木幡氏 談)

:: 9月BASIC報告::

子ブタの兄弟

カードを使ったコミュニケーションゲーム「子ブタの兄弟」。一人ひとりに与えられた5匹の子ブタに関する情報カードをチームで解読しあい、提示された課題を時間内に解決します。

ここまでがゲームの流れですが、目的は、解決のために個々がどのような役割で連携して行ったのかということです。会社の新人研修などでよく使われるそうです。

3. 10月のジャパンフレネ

10月のジャパンフレネのと木幡の動きです。11月上旬、PHP研究所より、またまた、ライブな本を出します。

乞う、ご期待！

- - - - -
- 4日(土) 木幡、熊谷サタディースクール
- 5日(日) 体育祭
- 10日(金) 木幡、山梨ベーシック(授業作りの会)に参加。会場は下部町・久那土小学校。
- 11日(土) 木幡、湘南サタディースクール 湘南ベーシック
- 18日(土) 木幡、湘南サタディースクール 湘南教育研究集会(藤沢)に共同研究者として参加。
- 22日(水) 木幡、山梨・南アルプス市の小学校校内研で助言。
- 26日(日) JF、フリースクールフェスタに参加。テーマは「マジックとパズルで遊ぼう！」会場は旧港区立南海小学校(山手線・都営三田線田町駅下車)

=====

==== デイリー・フレネ =====

----- VOL/0733----- 2003/10/02

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

- 1. 行事に向けて出発進行！
- 2. 社会科の授業が始まった
- 3. 野鳥の森にお散歩に行く 熊谷

=====

今日はなんの日

1961 大鵬・柏戸同時に横綱昇進

今日の花言葉

あんず「乙女のはにかみ」

今日は誰の誕生日

스팅(ミュージシャン 英 1951)

今日の名言

「誰かをあんまり崇拜しすぎると、本当の自由は得られないんだよ」

トーベ・ヤンソン(ムーミン作者)

- 1. 行事に向けて出発進行！

体育祭！

いよいよ今日の日曜に迫った体育祭。今日はミーティングもあるので朝からその話し合い。

「競技はどうしよう??」

「どのくらい時間がかかるかなあ」

実行委員もそうでない子も一緒になって考える。去年に一度やっているの、その経験も踏まえてあれこれ。

熊谷からの連絡を受けて競技は決定！ミーティングで、たかちゃんが発表。詳しいことは文章にはしり出すことに。

ミーティング終了後は、チーム分けやルールのことでも話し合い。

「去年はさあ...」と、いろんな反省が生きているのがよくわかる。いろんなアイデアの出し合い。調整をつけて完了。

去年は確か30人弱の参加者。今年は保護者の方にも参加していただくことになり、すでに40人の参加者。さらにもっと増えそう。更に増えることを期待。

年々レベルアップしてるなど実感。楽しくなるように頑張ろうね。

でも、一番楽しいのは勝つことかな！

昨年は、木幡のチームが優勝！テッシーのチームが最下位...

すみれちゃん・ふみかちゃん・たかちゃん...、体育祭の得点板やお花の飾りを作っている。種目や参加人数も決まった。

【第2回体育祭プログラム】

1 開会式

開会宣言(熊谷・かい君)

はじめの言葉(木幡)

注意事項 (手島)

準備体操

2 スプーンリレー

3 ドッチボール

4 じゃんけんリレー

5 バスケットボール

6 しっぽとり

8 総合リレー

9 閉会式

得点発表(新宿・たかちゃん)

表彰式(木幡)

講評(木幡)

閉会宣言(新宿・りょうすけ)

ジャパンフレネフェスティバルも進む

「ひいちゃん、さきちゃん、文化祭の実行委員やってくれない?」と、お願い。

「でも、当日こられないかもよ。」
 「でも、準備の段取りとか中心にやってもらいたいな。」
 「んー。」
 だけど気がつくとき紙の上に「JFF でやること」と模擬店の案などを。うれしい！
 「出し物は、ブルさんのダンス。」
 「え？おれ？おどるの？」
 「そう、セクシーダンス。」
 「なんだそりゃ！？」
 そのあとも作って売れそうなものをたくさん。もうこの二人にお任せです。よかった！
 2. 社会科の授業が始まった

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>
 「子ども達が『社会科の授業をやって』って言っているんですよ」とスタ・テッシー。
 「じゃあ、歴史や経済を考えるためのベースとして、気候や風土を考える地理からスタートしよう」というわけで、今日は、テッシーの授業！

 「社会やって！」と、ドラゴン。
 「いいけど、学校でやるようなのじゃないよ。」
 通史をやるのもいいけれど、ただの暗記科目としての印象が強くなっちゃう。
 そんなで、歴史をやる前の布石。
 「日本の特徴をどんどん書いてみて。」
 一人一枚ずつ紙を渡して、そこに羅列していく。
 「政治が悪い。」「アメリカや官僚のいいなり。」
 なかなか厳しいご意見...。
 「魚の消費量が世界3位。」とはさきちゃん。
 中には、
 「西川口には風俗が多い。」
 「それは、日本じゃなくて西川口の特徴だろ！」なんて。
 みんなが出尽くした頃に発表。そこから再確認。
 「特徴っていうのは、他にはないものなんだよね。例えば政治が悪いっていうのは日本だけかな？」
 今日ではなかったけれど、よくあるのが「狭い」。
 だけど、日本より狭い国ってたくさんあるんだよね。
 残った中から、「米」をピックアップ。
 「他の国だって食べるよ。」
 そう。だけど、水田というのがこれだけある国も珍しい。
 浮稲などの例を出すと、
 「それ、知ってる！」とひいちゃん。お米の種類と栽培法、ちょっと違う。
 桃太郎の冒頭から、日本の田園風景を作り出してみる。
 「芝刈りっていうのは薪拾い。」とまっつあん。
 出来上がった絵は、山に木があってふもとに家。その前には水田と、そのための川が流れていく。田舎を車で走ると間違いなくこの風景。
 ここで、ハイジの風景との比較。外国の山に木は...？それが特徴を浮き上がらせる手順なんだよね。広く見ることができて一つのものがよく見える。
 来週からはヨーロッパの歴史。どうして古代・中世・近代と分けられるのかということ、それぞれに特徴があるからということ。
 歴史上の人物や年代中心ではなくて、教科書とは違う

視点の考え方で進めていきたいな。
 3. 野鳥の森にお散歩に行く 熊谷

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>
 お散歩の授業ー野鳥の森
 「ひろせ野鳥の森」という駅が今年秩父鉄道に一つ増えた。その近くにある野鳥の森に出かけることに。見事な秋晴れ風もない、澄み渡る空。とても気持ちがいい。
 「何か面白いものを探しながら森の中を歩こう！」
 あたりをきょろきょろしながら森の中を歩く。
 「クヌギ！」「鳥の骨だ...。」「松ボックリ！」
 「黒いカメムシだ。」「変なきのこ。」
 普通に歩くとただの道だけれど、ちょっと気にしながら歩くとまた違ったものが見えてくるね。
 道の途中で大きなカメラを担いだ人に出会う。
 「『カケス』という鳥の仲間だけれど、羽が水色の鳥がいるよ。」
 と教えてもらったけれど、野鳥には出会えず。その代わりに(?) 蚊にたくさん出会いました...。
 近くのただっ広い公園でみんなでお昼。缶ケリ、野球にみんなそれぞれに汗を流す。体育祭には余力を残しておいてね。
 疲れたけれど楽しかった一日でした。



===== デイリー・フレネ =====
 ----- VOL/0734----- 2003/10/03

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

- 1. 新宿&熊谷、体育祭準備！
- 2. 新宿VS 熊谷、お料理対決！
- 3. 本日のおすすめ 「教師大村はま 96 歳の仕事」

 今日は何の日
 1920 明治神宮創建
 今日の花言葉
 もみじ「自制」
 今日のは誰の誕生日
 山本耀司(1943 ファッションデザイナー)
 今日の名言
 「人生五十年、下天の内をくらぶれば、夢幻のごとくあり。一度生を受け、滅せぬ者のあるべきか」

織田信長
 - 1. 新宿&熊谷、体育祭準備！
 もういくつ寝ると体育祭...、あと二日だよ！
 新宿も熊谷もわくわく、うきうき...。
 昨年の体育祭、バスケットの試合でシューズの底がはがれた木幡。まず、シューズを買うところからスタートしなければなりません。
 【新宿での準備】
 もう目前に迫った体育祭。だけど、しなきゃいけない仕事は山積み。プログラム作りから、得点配分などなど。実行委員じゃない子も一緒になってあれやこれや。
 今日は横断幕が完成！去年はワープロうちしたものをそのままはっつけたけれど、今年は装飾も。ふみかちゃんは器用にバスケットボールやピンポン玉。

ちせちゃんとボラ・なおちゃんは色紙を使って万国旗の飾り付け。

準備の買い物に奔走して帰ってくると、立派なもののできあがり！

さらには、大きい男の子たちで得点板作り。着々と進んでいます。この調子で、なんとか明日完成できそうだね。もうひと頑張り！

【熊谷での準備】

いよいよ目前に迫った体育祭。移動もあるので新宿ほど大きなものの準備は出来ないけれど、パン食い競争用の紐を作る。

声をかけると、みんな「何をすればいいの？」と集まってきた。

「紐の長さは小さい子もいるしね。どうしよう？」うちわなど、パンの代わりにいろんなものを釣りに掛けて試作。

「パンを取り付ける用と、競技用で何本かあるといいね。」と3セット作る。

去年、紐を持っていった時に絡まってしまった失敗を踏まえて、からまないように、ダンボールにくるくる。

「釣りの時、こうやるんだ。」とかい君がダンボールに切り込みを入れてひとアイデア。いいねえ。

いよいよ、3日後。楽しくできるといいなあ。体育祭の始めの挨拶は熊谷の子が1人やることに。

「かい君、お願いがあるんだけど。」と開会宣言をお願い。

「えー。俺が!!!」と少し戸惑った様子。「『始めます』って一言だけだから。」

うーんと悩んだ様子。すると横から、「心配なら後ろついていってあげるから。」ときぐちゃん。

このひと言に励まされたのか、「やってみる。おー。」と雄叫びつき。

当日、かい君の元気な声で始められるといいなあ。

2. 新宿VS熊谷、お料理対決！

【新宿のお料理—スープご飯】

今日のお料理はスープご飯。韓国でいうクッパのようなもの。

「そろそろ始めるよ。」というもののなかなか集まりが悪い。そんな中、ドラゴンは一黙々と調理。買い物組が帰ってくる頃にはご飯の準備完了。スープの準備もあつという間。後は煮えるのを待つだけ。

出来上がりにそれぞれキムチをのせたりと思いの味の付け。これがまたおいしい！

片付けも自分達で。一段落して時計を見るとまだ1時前。こんなに早く終わったのは久しぶりかな？あとは、もう少しみんなで協力できるように。

【熊谷のお料理 豚キムチ】

今日は豚キムチ。昨日お散歩の帰り道、八百屋さんでお買い物。キムチの素を使って作った、一晩みんなで漬けたキムチで作る。本場のキムチには及ばないけれど、辛くておいしい。

「にら玉のスープが飲みたい！」というリクエスト。八百屋さんで丁度ニラも安かった。

「あれが安い！これが安い！パインが100円！」とみんなで買い物をするのもまた楽しい。

昨日買出しをしていたので、ご飯が炊けるのを待って、豚肉と炒めてあつという間に出来上がり。ニラ玉スープに、白菜の浅漬けも添えて。お手軽でもおいしい。

今までで、一番早くできたかな？

やることも少なかったので、

「何かやることないの...。」と仕事争奪戦。あつという間のお料理でした。

3. 本日のおすすめ 「教師大村はま96歳の仕事」

大村はまという教師がいた。いや、「いる」といったほうがいいかもしれない。御年96歳ながら、全国各地を講演して歩く。

ぼくが初めて彼女のことを知ったのは、教師になった1970年代の後半だ。テレビのドキュメント番組で彼女の国語の授業を見た。確か、四コママンガ「クリちゃん」を使い、その内容を要約し、文章にするというものだったと記憶する。しかも、図書室を教室代わりに常時使用していた。

「すごい！」と感じた。「教えることのプロになりたい」と率直に思った。その内容は今でも古くない。というより、彼女の突出した力量とバイタリティーを超える教師が輩出していなく、同時に、集団として彼女の仕事を追試することが行われていない。彼女は「研究しない教師は、教師失格」と断言する。研究しないということは、先にある喜びに到達すべき努力を怠ることであり、年齢に関係なく「若くない」と言うことだ。

彼女に学ぶことはたくさんある。しかし、「教えること」の意味が最近はやりの「百マス計算」や「声に出して読む...」うんぬんの鍛練派に表層の部分を利用される危険性が無きにしもあらず...、と感じているのはぼく一人だろうか？

もう一つ。公教育の教師とフリースクールの教師(スタッフ)は、本質的に全く異なるものだということを忘れてはいけない。

ここを誤るとフリースクールの学校化が始まり、不幸の拡大再生産が懸念される。

「教師大村はま96歳の仕事」

ISBN:4098400863

小学館 (2003-06-20出版)大村 はま【著】

[B6判] NDC分類:370.4 販売価:¥1

プロとして「教えること」を厳しく追求し、膨大なエネルギーをもって展開してみせた、生涯現役教師・大村はま96歳の1年間の発言と軌跡を集成。

1 大村はまの発言(講演「学力低下」の声を聞きながら;保護者の質問に答えて 豊かな言葉を育てる;三津浜小学校にて;講演 子どもを知るには、お話を;インタビュー「子どもに力をつけること」を見きわめて;講演 教材をつくる、授業をつくる)

2 大村はまの軌跡(2002~2003年 大村はま96歳の仕事;大村はまの軌跡 1906~2002)

デイリーフレネは月~金の平日刊です。

いよいよ、行事週間に突入!体育祭をかきりに、全国フリースクールカルチャーフェスタ、ジャパンフレネフェスティバルと三連チャン。

行事を経験し、一回り大きくなった子どもの姿を見たいものです。

では、楽しい週末を！チャオ！

(木幡)

=====

===== **デイリー・フレネ** =====
 ----- VOL/0735----- 2003/10/06

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

1. 運動会大特集！ Shinjyuku's eye
2. 運動会大特集！ Kumagaya's eye
3. 周君からのお便り

=====

今日はなんの日
 1891「北の国から」TV放映開始
 今日の花言葉
 はしばみ「仲直り」
 今日是谁の誕生日
 佐藤允彦(ジャズピアニスト 1941)
 今日の名言
 「心は正しい目標を欠くと、偽りの目標にはけ口を向ける」

モンテニュー「エセー」

- 運動会から一夜明けた...、筋肉痛でばりばりの木幡。運動会前日は朝方まで仕事。着替えをとり家に戻る暇もなく、近くの伊勢丹でウェアやシューズを購入して体育館へ。こういうのを「泥縄」と言う。それにしても、今回は大人も子どもも楽しんだ運動会だった。OBの周君、正太郎君も参加。大人も結構本気。

「ひゃっほー！大人気ないぞ！」と言いつつ、言った本人も大人気なくマジだったのは、けんごパパ。熊谷・かい君パパもマジマジ！すみれちゃんのところはファミリーで参加(かい君のところも)。

また、やろう！みんなありがとう！

木幡のチームは第2位。優勝したらみんなで焼き肉の約束。「焼き肉、おごれよ！」ドラゴン

はぼくのチームではない。
 「俺のチームじゃないし、優勝もしなかったからダメ」

「なんだー！大人気ないぞ！」

子ども気ないぞ！

1. 運動会大特集！ Shinjyuku's eye

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>

第二回ジャパンフレネ体育祭

今年はなんと40人以上の参加者。保護者の方もチームに入ってもらって、それはそれは、盛大なものになりました。事前の準備も時間をかけただけあって、一つ一つの装飾も去年より豪華。

「それでは、始めます！」

かい君の開会宣言でスタート！

チームは新宿・木幡さんチームが黄色、熊谷チームが赤、そして新宿・ぼくチームが青。各チーム15人弱の大所帯。

ドッチボール

去年の体育祭、球技大会と幾度となくやっている競技。今回はまっつぁんの案によって王様ドッチボールに。

ルールは各チーム一人王様を決めて、王様が当てられた時点で試合終了というもの。小さい子を王様にする

と、年齢に関係なく楽しめる。各チームとも、王様を背負ったり、だっこしたり。いろんな工夫。

優勝は黄色チームでした。

しっぽとり

これは小さい子用の競技。小学生を一人ずつだして、あとはみんなで応援。

だけど、

「でたい！」という大きい子の声も。

そんなで、最終戦はひいちゃん、けんごママ、りょうすけママの大將戦。これがかなり白熱。やっている方はもちろん、見ている方も真剣そのもの。

最後はひいちゃんとけんごママの一騎打ち。そして優勝はけんごママでした！

バスケットボール

今年は順位点に総得点もプラスすることに。この時点でビリは青チーム。何とかここで挽回したいと、必死の戦い。

だけど、ちょっと走るとすぐに息があがってしまうのがぼく。なかなか集中力が続かない。

「もう、だめえ。」と交代。

「えー、ブルさんもう少し頑張れよ！！」

とは、言ってもねえ。

だけど、なんとかこの競技で盛り返した青チーム。やっぱり、大きい子と小さい子が一緒にやるのは難しい競技。もう少しみんなで選手を回せるようになったらいいんだけどね。これは来年への課題だね。

総合リレー

最後の種目はリレー。単純に走るだけ。

だけど、これが結構盛り上がった！

「位置について...。」で走っちゃたり。フライング。

仕切りなおして、

「位置について...。」またまたフライング。

しっかりしないままレースが始まり。ここで頑張ったのはやっぱりお父さん方。大人の速さ、見ているだけで伝わってくる。

優勝は青チーム！って思いきや、

「もう一回！だって、スタートが良くなかったから。」

というわけ、点数関係なしにして、リベンジ戦。これで最終決着。

みんなさっきより目が真剣だったかも。走り方も要領を得てたし。

リベンジ戦の結果は、やっぱり同じ順位。これすっきりおしまい！

閉会式

たかちゃんから得点発表。

3位は赤チーム、2位は黄色チーム、一位は青チーム！

ぼくは去年ビリの借りを返せた言うこともあって嬉しい！表彰式では各チームの小学生が賞状を受け取りに。

そして、閉会宣言。

「これで体育祭を終わりにします。ありがとうございました。」と、りょうすけ。おもわず拍手喝采。

気持ちいい幕切れでした。

次は文化祭2連発。楽しいこと、また増やしていこうね！

去年は初めてということもあって、手探りの体育祭だ

ったけれど、前例があるということで今年はあらゆる面でもよかったです。準備の段階から子どもの参加はたくさんだったし、参加者もたくさんで楽しかった！保護者の方々、ボランティアの方々の協力無しには、このような思い出ができることもなかったと思います。本当にお疲れ様でした。そして、ありがとうございます。

(新宿・テッシー)

2. 運動会大特集! Kumagaya's eye

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>

電車で作戦会議

10時に熊谷駅に集合。みんな気合は十分？朝が早かったせい、電車の中でこっくりこっくりの子も。大会へ向けてパワー充電。

熊谷はみんな同じチームなので、ユータ君ときぐちゃんは各種目どういった作戦で動こうか、あれこれ考える。

考える表情はとても真剣。この気持ちが勝利につながるといういな。何よりけがなく行きたいね。

「あ、鉄腕アトム曲だ！」と高田馬場で下車。

いよいよ新宿スポーツセンターへ出発だ。

開会宣言！

予定通り、かい君が開会宣言。

「運動会をはじめます。」と見事に宣言。

参加者40人以上の前で、ちょっと緊張していたかな。よく出来たね。

抱っこで逃げろ！

今年のドッチボールは、王様ドッチボール。熊谷の王様はかい君。「逃げろかい君！」

みんなでかい君を守る。極めつけは、けんご君パパがだっこ。

きぐちゃん、ユータくん中心の威力のあるボールのパス回し。がんばって2位でした。

じゃんけんリレー

「じゃんけんは運次第だから、足の速さは気にしないようにね。」と声をかけるとみんな参加。

「ユータ君はちょっと無理なんじゃない？」とかい君。フレネでゲームをするとき、運がないのかなかなか

じゃんけんに勝てないユータ君。とはいえ、リレー。結果はどうなるのかわからない。

しかーし、蓋を開くと。相手のりょうちゃんママにほとんどみんな負けているではないか。

うーん。ついていなかったなあ。

パン食い競争

「パン食い競争はやりたい！」とショータ君ユータ君。エリ君も気合が入っている。

ぶらぶら揺れるパンはなかなかとりづらい様子。

魚釣り好きなかい君は、「魚になった気分だよ。」と。結果はイマイチだったけれど、もらったパンにみんな笑顔でした。

総合リレー

最終種目はリレー。

「やっぱり最後のポイントは、300点とかでしょ。」とけんごパパにママ。

「なんだよ、ビリじゃん。」

とかい君の通りポイントが欲しい熊谷・赤チーム。てっシーの合図でよいドン！みんな一生懸命。

「僕、走るの苦手だからなあ。」と言っていたショータ君も、なかなかのスピード。

「ストレートが短すぎるよ。」とユータ君はカモシカのようないい走りっぷり。

「走るのちょっと...。」とという声も多かったけれど、みんなのがんばりがバトンと一緒につながったかな。

2番でした。300点はさすがに入らなかったけれどね...。お疲れ様でした。

気になる結果は、第3位。(ビリとはいわないように。)

やっぱり悔しいなあ。きっと赤いハチマキのせい？(去年も赤いハチマキがビリだった。)

「バスケ練習しようか。」と意気込むきぐちゃん。

やっぱり悔しいよね。

「パン食いは、よかったけれど走るのやっぱり...。」というエリ君。

去年は参加しなかったけれど、今年はいろんな種目に積極的に参加できていたね。

結果がついてくればなお嬉しかったけれど、みんなの新たな一面も見れたね。

疲れた体で、また1時間半の道のりを帰る。本当にお疲れ様でした。

よく休んで、次は文化祭へ向けて行こう。

3. 周君からのお便り

周です、こんにちは。

昨日はありがとうございました。個人的にはケガで動けなかったのが残念でしたが、楽しく過ごせたと思います。

僕としては、センターまで残り3ヶ月、一般入試まで残り4ヶ月と、残り時間がどんどん少なくなってきて

いますが、1度、壊れたペースを少しずつ修正していけたらいいなと思います。

それでは、また機会があったらフレネにお邪魔するかもしれませんが、そのときはよろしくお願いします。

=====

===== デイリー・フレネ =====

----- VOL/0736----- 2003/10/07

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

- 1. 11月に新しい本が出ます！
- 2. ドラゴン、サンキュー！
- 3. 体育祭、一夜明けて 新宿・テッシー

=====

今日はなんの日

1946 日本国憲法成立

今日の花言葉

もみ「高尚」

今日は誰の誕生日

氷室京介(1960 O型)

今日の名言

「友への同情は、固い殻の下にひそんでいるのがいい」

ニーチェ「ツアラトウストラはこう言った」より

1. 11月に新しい本が出ます！

ジャパンフレネは授業するフリースクール。タイトルはまだ未定だが、ジャパンフレネで行った「科学実験&算数もの作り&パズル」を中心にした本を11

月に上梓する。原稿はすでに上がっている。
運動会の翌日、筋肉痛を押してPHP東京本社へ、
本に出てくる教材や実験の写真撮り。結構時間か
かかる。午前10時から午後10時までほとんど12時
間ぶっ通し…。泣ける…。
いい本ができればいいなあ。生協でも直販します。
ぜひ、読んで下さいね！

2. ドラゴン、サンキュー！

ところで、上記の写真撮り、回転力やヤジロペエの
実験でバツとが必要。

「誰か、バツ持ってる？」
「俺、待ってるよ。何するの？」と、ドラゴン。
「実験に使うんだ。写真を撮って、本に載るかもし
れない。貸してくれない？」
「えっと、どこにあったかな？もしかして無いかも
しれないなあ」
「明日、持ってきてよ」
「やーだね！絶対、持ってこない」
まいったなあ…。翌日は、熊谷で授業の木幡。テッ
シーから電話あり。「ドラゴンがバツを持って来
ましたよ」
ドラゴンにお礼を言ったら、「また、数学、教えてね」
可愛いなあ…。あれこれ言うけれど、ちゃんと考えて
くれたことが嬉しかったなあ。

「俺のバツが本に載る！」

騒ぎまくる本日のドラゴンでした。

3. 体育祭、一夜明けて 新宿・テッシー

今日は予想通りに人が少ない。午前中はボラ・きょう
さんと体育祭の片付けと、スペース内の整理。みんな
が来るのを待つ。だけど、みんなやっぱり今日は疲れ
てるよな、と自分の体で実感。
一番の登場はひろ君。だけど、二人しかいないのを見
ると、

「今日、休み？帰る。」
「休みじゃないよ！！待って待って」
次に登場はりょうすけ。そして、まっつぁんにミッキ
ー。ミッキーは疲れに負けずに漢字の練習。どうやっ
て進めていくかを話し合い。
「じゃあ、帰るわ。」と、まっつぁんとミッキー。
「えっ！もう帰っちゃうの？帰らないで！」
と、りょうすけ。
「どうして？気まずいから？」
「気まずいって？」
「んー、話がなくて困っちゃうような。」

結局、3人でお留守番状態。先週からやっているパズ
ルやレゴで一日。
残っていた仕事も片付けたし、これで文化祭へ取り組
めるね。

=====

===== デイリー・フレネ =====

----- VOL/0737----- 2003/10/08

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

- 1. 熱く語った(！?)木幡
- 2. ミーティング 新宿・テッシー
- 3. 32円パズル 熊谷・かおりん

=====

今日はなんの日

1880 小笠原諸島、東京府に編入

今日の花言葉
イブニングスター「余裕」
今日は誰の誕生日
室伏広治(1974 ハンマー投げ)
武満徹(1930 作曲家)
今日の名言

「良識とは、選ぶ行為である。選ぶ能力を欠いた学識は、がら
くたの百科事典である」 むのたけじ詞集「たいまつ」より

- 1. 熱く語った(！?)木幡

ミーティングが終わった後、さおちゃんがぼくのど
ころにやってきた。

「木幡さん、今日も熱く語ったね！言ってること、
よくわかったよ。木幡さんの言っていること、当然
だよな。家に帰ってお母さんに話すと、『そうなん
だ！』って聞いてくれるよ」

実は、ミーティングでこんなことがあった。

11月にハイキングに行こうと提案があった。この時、
「ハイキングに行くのはいいけれど遅い奴がいて、
そのために待たされたりするのはいやだ！」という
意見をいう子どもが…。

木幡、反論！

「それはおかしい。みんなでハイキングに行くとき
は、小さい子や弱い子にあわせなきゃダメ」
「おかしいよ！前に俺らが下ネタをしたとき、『み
んなが不愉快になり、迷惑かける』って言ったのは
木幡さんじゃない！待たされるのは不愉快だ！」
「それとこれとは全然違うだろう。このことわから
ないの？弱い子の側にたつのはあたり前だ！」
「へー！へー！わかりませんね！」(と、TV番組
「トリビアの泉」のマネ)

「じゃあ、世に出て恥じかいて覚えるしかないね。
もう一度言うから、よく考えてごらん。学校の遠足
の場合は、学年によってレベルを変えるけれど、こ
こでは大きい子も小さい子も一緒に行動するよね。
その時、大きい子は小さい子や弱い子の立場にたっ
たり、手助けしなきゃいけないんじゃないの？下ネ
タの時とは全然違う！そういう意見を言う前に、実
行委員になって、大きい子も小さい子も一緒に行け
る行く先を調整するほうが先決じゃないの。そうい
うこともしないで、遅い子を攻撃するならハイキン
グに参加しないほうがいいと思う。言ってること、
おかしい？」

全員、しーん…。身勝手な意見には徹底的に壁とな
って立ちばかなければならない。これがぼくの
フレネでの役割だ。その子も自分がいっていること
のおかしさに気づいたのだろう。反論は一切出てこ
ない。

さおちゃんが言った「熱く語った」は以上のことを
指す。熱かったかどうかはわからない。しかし、も
のの道理は腰を引かず、大人がしっかり教えなけれ
ばいけない。

こんな時、和ませてくれるのは、けんご君。
「俺、高尾山に登りたいなあ。前に行った時、親子三
代に間違われたんだぜ。木幡さんがじいさんでおれは
その
孫」(笑)

「うん、高尾山なら小さい子も登れるね」
 ぼくが壁になるより、「こういう意見、どう思う？」と子ども達に振って、討論させたほうがよかつたかもしれない。
 まだまだ、エキサイトしてしまう木幡です。反省...
 2. ミーティング 新宿・テッシー
 ミーティング
 今日は司会・木幡さん、書記・すみれちゃんでした。おととい行われた体育祭の反省から。
 「時間が余ったから、もうちょっと何かできたかも。」
 「審判の進め方とかもう少し。」
 「バスケの時とかに、小さい子を出さなかったというのは良くないよ。」
 などなど。思ったところを発表。
 当日、体育祭終了後にスタ・ボラでも話し合ったことにつながることが多かったかな。同じ場にいた者として共通の感想が多かったというのは、やっぱり改善しなくてはならないというところ。
 だけど、去年の反省点があまり復唱されなかったというのが、良かったな。去年の感覚で時間配分したけれど、時間が大幅に余ったというのは成長しているということだもんね。
 「これで完璧！」ということはある種自己満足であるし、次につながる課題が見えなくなっちゃう。参加したみんなで、似通った課題を確認できたというのはとても有意義だったなと。
 ドラゴンから
 「お料理の時に、11時からって言ってるのにゲームをやったりしてるのを止めて欲しい。食うな。」と、ドラゴン。
 先週のお料理のときのこと。声をかけてもなかなか動けない。
 「食べるの？」
 「食べるよ。」
 「じゃあ集まって。」
 の問答が続いて動き出したのが15分後。しびれをきらしたドラゴンがせっせと始めてなんとか。
 「食うな。」ってというのは乱暴かもしれないけれど、彼の主張に反論はなし。その通りだもんね。
 気がつけば料理などで働いているのは同じ子。これは、ちょっと甘えているとしか言えないかもよ。今週のお料理で改善されることを期待して。
 3. 32円パズル 熊谷・かおりん
 切手4枚が入る厚紙を16枚準備。そこに、指定された位置に1円切手を順番に貼っていく。
 1円切ってが32枚で、32円パズル。
 6人分の1円切手を準備すると、200枚近く。
 「こんなに切手見るの初めて。」
 「1円切手なんてあるんだ。」
 「この人は誰？」1円切手の顔を見て質問。
 厚紙16枚を4×4長方形の形に置き、縦8列、横8列、対角線2列に、切手が4枚ずつ並ぶように、厚紙を組み合わせる。パズルとにらめっこ。
 「この切手が邪魔なんだよなあ。」
 と愚痴りながらも、みんな顔は真剣。1時間は続けている。見事な集中力。

「1・2・3・4...」
 縦に横、斜め...。何度も確認をして、エリ君、「出来ましたよ！」の声。
 「エリ君には負けない。」とがんばっていたユータ君は残念そうな表情。
 お見事エリ君!!!
 くつつくの???
 パズルを作っていて、意外にびっくりしたのが、切手にみんな馴染みがない。メールばかりで私も言われてみれば手紙はご無沙汰。
 「いくらの切手があるんだろう？」
 「どんな絵の切手があるんだろう？」
 話はいろいろ膨らんでいく。
 切手を使うのが初めてなのか、かい君。
 「裏をぬらすと、くつつくんだよ。」
 というと驚いた顔。恐る恐る、裏をペロッと舐める。
 「あ、くつついた。」
 そう、くつつくのです。
 ユータ君にエリ君も切手を舐めてくつつける。
 「よく考えると、このパズルちょっと汚いよね。」
 「味がまずい。いちご味とかあればいいのに。」って。切手用にとぬれたフキン準備したのに。
 「だって、めんどくさい。」だそう。もう！
 今週もみんな元気。この調子で行こう！
 mailto : -----> sinjyuku@jfreinet.com まで。
 =====

e-mail : sinjyuku@jfreinet.com
 URL : http://www.jfreinet.com
 =====

===== デイリー・フレネ =====
 ----- VOL/0738----- 2003/10/09
 ////////// CONTENTS //////////////////////////////////////
 1. 正しい(?) 休日の過ごし方
 2. ディスプレー 染め物
 3. お散歩の授業 うらわ美術館
 =====
 今日は何の日
 1967 キューバの革命家チェ・ゲバラ、ボリビア山中で射殺される
 今日の花言葉
 ういきょう「賞賛」
 今日誰の誕生日
 ジョン・レノン(ミュージシャン 英 1940)
 今日の名言
 「無知は富みと結びついて初めて人間の品位をおとす」
 ショウベンハウエル「読書について」より
 - 1. 正しい(?) 休日の過ごし方
 腰痛が悪化...。他にも病院に行かねばならないので家を出るが、主治医のいる病院にたどり着くまでに腰が痛くてリタイア...。悲しい...。
 八王子そごうで買い物。マガジンラックと果物を入れる器。地下の食品売り場で「おでん種」各種(これだけで4000円にもなる!) たたみいわし、泡盛の古酒。
 駅前の熊沢書店で千葉てつやのマンガ「のたり松太郎」(4~8巻)、「ことばを鍛えるイギリスの学校」

(山本麻子 岩波書店)を購入。
 自宅に戻り、おでんを作る。家人が帰るまで「教えるということ」(大村はま ちくま学芸文庫)を読む。大村はまはなかなか厳しい人だ。

「一生懸命にやりましたけれども、というのは、だいたい非常に甘えたことばだと思えます。一生懸命やるのは、人間一人前ならあたりまえのことで、怠けてやられたらたまったものではないと思えます。ただうまくいかないことがあるだけの話なので、一生懸命やったからといって、どうしてうまくいかないことの言い訳になるでしょう」(p 55)

すでに96歳ながら現役の彼女に学ぶところが多い。泡盛を飲み、おでん・モヤシサラダ・たたみいわしを食し寝る。腰痛、治らず...

2. ディスプレー 染め物

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>
 去年は絞り染め一辺倒だったので、今年はいろいろと試してみることに。

その一つが、刺繍のように糸で模様をきつくつけていくこと。糸と一緒に染まってしまうかもという不安もありながら、この作業をふみかちゃん、すみれちゃんとぼくでひたすら。ドラゴン達はタイルを入れてしぼったり、割り箸ではさんでみたり。とてもじゃないけど、大変な作業。1時間半から2時間、ひたすら針を走らせる...

「これでできなかつたら泣けるよね。」なんていっていたのが大当たり。見事に全部が真っ黄色に染まってしまいました。ああ...

だけど、割り箸組みはなかなか。綺麗な模様が規則的に。これは使えるかも。今度の文化祭にむけてもう一ひねりすればいけるね!

(テッシー)

3. お散歩の授業 うらわ美術館

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>
 テッシー

今日のお散歩は、うらわ美術館へ。できて4年目。センチュリーシティというビルの中にあることもあって、とてもきれい。「読む風景・眺める本」という企画展が行われている。

今回は入館料も無料。

「辞書を高温で燃やしたらどうなるのか?」

本のもとの銅版、海外の作家の作品が本や造本と言う立場から展示してある。

ユータ君は、

「辞書を目の前で燃やしてくれるのかと思った。」と期待していただけに少しがっかりだった様子。初めての美術館へのお散歩は真っ二つ。興味深くじっくり眺める子と、美術館の静けさに絶えられずにギブアップの子。

からだを動かさないお散歩は物足りない様子も。からだを動かすのもいいけれど、たまにはこういうお散歩もね。

道の角に...

「何だあれ!？」とユータ君。

歩道の角に銅像。近くに行ってみてみると、手ぬぐいをしたおばあさんが、大根を持ってしゃがみこんだ形の銅像。

説明を読むと、公園の前では昔市場が開かれ、その当時の野菜を売る女の人の姿を作ったものらしい。具合悪い人がしゃがみこんでいるのが、心配しそうだけれど。

銅像と一緒に記念写真を撮ってきました。浦和の町も1本裏の道に入ると、神社や旧中山道沿いに栄えたような街の様子が残る。いつもの街並みが少し違って見えるね。

(かおりん)

=====

===== デイリー・フレネ =====

----- VOL/0739----- 2003/10/10

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

1. 木幡の格言コーナー、生まれる!
2. 新宿 VS 熊谷・お料理対決
3. 「はかないなあ...」

=====

今日はなんの日

この日はスポーツの記録が目白押し!

1962 ファイティング原田ボクシング世界フライ級王座獲得

1968 江夏豊(阪神)年間奪三振数401個の世界新記録

1969 金田正一(巨人)400勝達成

1976 具志堅用高世界ジュニアフライ級王座獲得

今日の花言葉

メロン(飽食)

今日は誰の誕生日

野坂昭如(作家 1930)

今日の名言

「いま、世界の他の土地が私の小さな努力を求めている」

チェ・ゲバラ

- 1. 木幡の格言コーナー、生まれる!

ジャパンフレネは、ピシバシ、授業するフリースクール。ただし、スペースが狭いのでホワイトボードをはさんで同時進行が多い。そんなある日の一こま...

13歳以上を対象に、テッシーが英語を教えている。かたや、ホワイトボードの反対側では、小さい子を対象に木幡が「シャボン玉の科学」の授業。

「わー!でっかいシャボン玉!」

「すごい!」

洗剤にグリセリンを混ぜた本格的なシャボン液が膨らむ膨らむ...

英語を学習しているお兄さん・お姉さん、

「うるさいなあ。静かにしろよ」

すかさず、木幡、「こっちは授業してるからいいんだ」(爆笑)

「あー!ひでえ!こっちだって授業してるのに!」

またまた、木幡、「こっちの方が将来性あるからいいの」(爆笑)

「ひでえ!どういう意味?」

「だって、こっちの方が年齢が低いんだから、君たちより将来性あるでしょ」

帰り際、子ども達がミスタードーナツでもらった小さな黒板に書いていました。

【コハタの格言】

こっちは授業しているからいいんだ
 こっちの方が将来性あるからいいんだ
 しかし、これって格言かなあ？
 2. 新宿VS 熊谷・お料理対決

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>

【新宿のお料理ー海老のかき揚げうどん】

今日は「芝海老クッキング」という予定だったけれど、芝海老ってスーパーで思うように手に入るの？という一抹の不安。

「もしもなかったら、他の海老でいいから。」と、買い物付き添いのボラ・なおちゃんに。心配で電話をしてみると、やっぱりないみたい。

そこで、買ってきてくれたのが「白海老」。これでも十分。さすが！ありがとう！！

切るものは少し。あとは衣を作るだけ。これはもうあっという間。

ここからが本番。揚げる。これは危ないのでぼくの仕事。フレネの小さい鍋でひたすら揚げる。体中油の臭い。和食レストランでバイトをしていた頃をフィードバックさせる臭い。

揚げて揚げて45分近く。もうこの臭いだけでお腹いっぱい。(そういやバイトのあとも食欲なくてビールしか喉を通らなかつたなあ。)

味はなかなかみたい。

「店で食ったら800円くらいかな。」とは木幡さん。苦労の甲斐あった！あまったかき揚げには塩をつけて食べていました。

余った衣ではボラ・中野さんがホットケーキ作り。これもなかなか人気だった！

終いは油だらけの台所と格闘でした。

(新宿・テッシー)

【熊谷お料理 鶏スープビーフン】

今日のお料理はスープビーフン。よくお目にかかる焼きビーフンではなく、スープで煮込んだもの。

「こんなにいれるの？」と驚くぐらい、

16本の手羽先を入れてぐつぐつスープを取る。ナンブラーにオイスターソースで独特の味。手作りのフライドオニオンを添えて完成。

「思ったよりもおいしい！」

鶏ガラのあっさりとしたスープがおいしい。

「レモンをかけてもいいね。」

「鷹の爪も入れてみよう！」

と各自で味付けも。お鍋いっぱいあっという間に完売でした。

かたづけ

きぐちゃんの提案で、9月からみんないろんな片づけができるように、当番制を試験的に行なっている。今日の食器洗いは、ユータ君とかい君。どんぶりを使ったので食器の量もあるし、ひとつひとつが重い。

「かい君大変だったら、俺の仕事今日は少ないから手伝うよ。」ときぐちゃん。

「かい君には大変だから、鍋とか大きいものは俺がやっちゃうね。」とユータ君。

自然とこんな言葉が飛び交っている。聞いていてとても嬉しい。

「かい君、大丈夫？」と確認すると、

「やってやるぞ。」と意気込む。

流しもなんとか届くぐらい。人数のどんぶり・マグカップを洗う。みんなひやひやしながらも見守る。泡を立てて必死に洗う。

「おわったぁー。やったぞ。」と満足そうな表情。

「見てみて。」と見せる両手はふやけてしわしわ。

みんなもテキパキ動いてあっという間の片付けでした。

(熊谷・かおりん)

3. 「はかないなあ...」

ジーコと二人で写真屋さんへ。その道のりです。

「ああはかないなあ。」と、ジーコ。

「なんだよ。急に。」と、ぼく。

『人』の『夢』と書いて『儂い』かあ。空しい...」

そんな話をしながら歩いていると、二丁目のカラオケ

パブから、女性のような男性の歌声。(昼間から?)

「しちやいけないぜ、スキヤンダル~」

「ああ、儂いなあ。」

妙に実感。

夢は夢のままだと空しい。自分のことなのに何だか御伽噺のよう。膨らむだけ膨らんで、いつかははじめてしまいそうな不安にかられちゃう。

ぼんやりとしている夢。その輪郭をはっきりさせて色をつけて、いかに現実味をおびたものしていくか。やっぱり本人の決心と努力という働きかけが必要なんだろうな。そしたら夢は夢じゃなくなりそう。

楽しそうな歌声を聞きながらそんな風に思ったのでした。

(新宿・テッシー)

=====

===== デイリー・フレネ =====

----- VOL/0740----- 2003/10/14

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

1. 「へえー！」禁止なるか？
2. 恐竜を見てきたぞ！ 新宿・テッシー
3. フェスティバルでやりたいこと 熊谷・かおりん

=====

今日はなんの日

1974 長嶋茂雄引退

今日の花言葉

菊(白)「真実」

今日は誰の誕生日

正岡子規(作家 1868)

今日の名言

「わたしは書物はきらいだ。書物は知りもしないことについて語ることを教えるだけだ」

ルソー「エミール」より

- ハイキングの下見に行こうと思ったら、二日続けての雨。まさしく、「女心と秋の空」の東京でした。

1. 「へえー！」禁止なるか？

「トリビアの泉」という番組がある。知っていてもなんの役にも立たないネタを集めるというコンセプトのもと、本当にどうでもいいネタを紹介する。例えば、「青森県には階段のある国道がある」ゲストは興味を持ったものに、「へえー！」をポイントとして与え、「へえー！」が多いものが優秀賞をとる。

その「へえー！」が全国の子ども達に流行っている。何か言うたびごとに「へえー！」。時と場合を考えてやるのは言いが、真面目な話や提案をしている時

に「へえー！」をやられると気分が悪い。
 「うざい！」と、テッシー。
 ドラゴン、「だったら、ミーティングに出したら？
 俺、だしてやるか？『へえー！』禁止を」
 その意見に賛成！「へえー！」、禁止なるか？
 2. 恐竜を見てきたぞ！ 新宿・テッシー
 お散歩—大恐竜探検館 in ユネスコ村
 今日のお散歩は西武球場の横にあるユネスコ村へ。朝
 の10時に集まって出発。ぼくはご近所なので来た道
 をそのまま戻ることには。
 ここには大恐竜探検館なるものが。いろいろな恐竜の
 化石や、さらには体験コーナーも。
 まずは短い映画のようなものを鑑賞。ジュラシックパ
 ークのような画像を見た後、スクリーンが上がったと
 思うと、目の前には船が用意。(ディズニーランドの
 アトラクションのようなもの)
 その船に揺られて館内めぐり。いろんな恐竜が迫って
 きたり。よくできているような、できていないような。
 「あっ、仕掛けが見える。」なんて。
 恐竜のお腹の下を通るときに思わず触ってみる。
 「ブルさん、触っちゃいけないんだよ。」
 と、これまた触りながらまっつあん。
 15分くらい船に揺られた後は展示へ。

化石の発掘体験??
 いろんな化石があって、これまた楽しい。実際の大き
 さを感じると、本当にこんな生き物がゴロゴロいたの
 かなあと思議な気分。
 「なんだこりゃ??」
 けんご君が取り組んでいるのは、化石の発掘体験なる
 もの。ケースの中に手を入れて、トンカチ(ゴム製)
 とノミでコンコン。これがなかなかうまくできない。
 よく見ると、「本物の化石を発掘してみよう！」の文
 字。
 「こんなことしちゃっていいのかな？」と、ボラ・な
 なちゃん。硬くて削れなかったのは保護してあるって
 ことかな？

ちょっとお散歩
 その後は少し歩いて狭山湖へ。今は工事中で水はない。
 その代わりに草がたくさん生えている。夏前に小さく
 生え出したのがあつという間に一面緑に。今はちょう
 ど色が変わってきていてとっても綺麗。
 みんなはバツ取りに夢中。
 「でかい！しかも超いるよ！」
 確かに少し草むらをはくと、大きなトノサマバツが飛
 んでいく。
 「仮面ライダーだ！」
 広い草むらと走り回っているみんなは、とつてもしっく
 りくる景色になっていました。
 「いいところだなあ。」と、言っていたななちゃん。何
 だかホッと一息。
 帰りの電車ではもうグッタリ。「終点だから」とグース
 カ。みんな、お疲れ様！！

3. フェスティバルでやりたいこと 熊谷・かおりん
 魚釣り
 体育祭も終了し、文化祭へ。熊谷からも去年の経験
 からいろいろな声があがる。
 「おれ、釣りのやりたい。釣堀みたいにしてさ、つれた
 ら商品が出るの。」とかい君。

とてもダイナミックな魚の絵を描くかい君。自分の描
 いた魚を何匹も作りお客さんに釣ってもらおうようにし
 たいそう。早速、おうちからいらぬ自分の釣り竿
 を持ってきて準備を始めた。
 「青いビニールのも買わなきゃ。池にするんだ。」
 と意気込む。今までものづくりで作ったものも、
 「作って売ろうよ！」
 とかい君。それにつられて(釣られてかな)、
 みんなからもいろいろな声。この調子でいきたいねえ。
 針金くん
 「これも商品にならないかな？」ときぐちゃんにえり君。
 以前、知り合いの雑貨屋さんに、いただいた針金
 のおもちゃ。
 ぐにゃぐにゃとくねらせた針金に、U字型の針金を落
 とさないようにゴールまでたどり着かせる。単純なつ
 くりだけど、結構難しい。
 「持つ部分割り箸じゃなくて、もっと売り物として見栄え
 のいいものにしたらいけるかなあ。」
 「いつも遊びに行く、公園の途中に木材屋さんがあ
 って『ご自由にどうぞ』って木が置いてあるからそれ使
 えば？」とユータ君。
 三人寄れば文殊の知恵。いろんなアイデアが飛び交う。
 「やってみる？」と熊谷に遊びに来たしゅう君にきぐ
 ちゃんが針金のおもちゃを勧める。
 「結構はまるかも。左手でやるとまた難しい。」としゅう君。
 「左手でやるなんて思いもつかなかったね。」
 ときぐちゃん。あれやこれや。
 午後のひと時、盛り上がる熊谷スペースでした。

=====

===== デイリー・フレネ =====

----- VOL/0741----- 2003/10/15

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

- 1. ミーティングにて 新宿・テッシー
- 2. 熊谷でも「へえー！」が 熊谷・かおりん
- 3. 保護者からのお便り二つ

=====

今日はなんの日
 1990 ゴルバチョフ書記長(ソ連)ノーベル平和賞受賞
 今日の花言葉
 めぼうき 「よい望み」
 今日のは誰の誕生日
 ニーチェ(哲学者 独 1844)
 今日の名言
 「人生に解決などない。あるのはただ、前進してゆく力だ
 けだ。その力を創造しなければならない。解決などそのあ
 とで見つかる。」

サン・テグジュペリ

【木幡の一日】

腕相撲
 帰り際、「木幡さん、腕相撲やろうよ！」と、ミッキー。
 「ようし！勝負！」
 簡単に勝てるかと思いきや、想像以上に力が強い。
 「木幡さん！ずるいよ！手首動かした！」
 「動かしていいの。俺の勝ちだもんね」
 その後、けんご君と指相撲。これまた、木幡の勝ち
 で面目躍如！

しかし、手首が痛い…。ミッキーとの勝負で捻挫をしたようだ。

寄りの冷や水かな？

「俺は、お前が…」

「ドラゴン、数学やろうよ！」

「いやあ、今日は宿題やってこなかったから次に進めないんだ」

「そんなこといわないで、やろうよ！俺は、君のことが好きなんだ！」

「やめてくれ！きもい！」逃げ出すドラゴン。

それを見ていたジーコ、「わーい！木幡さんがドラゴンにこくった（告白した）！」

さっそく、黒板の「木幡の格言」欄に「俺は、君のことが好きなんだ！」と書いていました。

実験あれこれ

これは

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>

を見てください

1. ミーティングにて 新宿・テッシー

1. 文化祭について

午前中に熊谷からのファックス。文化祭でやる予定のことをお知らせ。それを見ながらさきちゃんと話し合い。

「原価が安くて、よく売れるものは何だろう。」

「人件費はかからないからね。」

去年はどのくらい準備して、どのくらい売れたか。そんなデータもしっかり。これは、もう商売・経済の世界。

そんなで今日のミーティングで実行委員からの案を発表。新宿で準備するものは、

手打ちうどん

スイートポテト

缶バッジ

パズル各種の作成などなど。

さらには装飾の類。なかなか詰まって来たね。

「手打ちうどん？どうせおれがやるんだろうな！」と、ドラゴン。そう。これが一番大変で男手の必要なところ。

ぜひぜひお願いね！

終了後には「去年はこれが大変だった！」と、とうこちゃんがせっせとお花作り。

そろそろ準備も本腰入れてこうかね！！

2. 「へえ」について

最近流行の「へえ」。普段のときには何とも思っていなかったけれど、嫌味を含ませる「へえ」も。正直、話をする気も失せる。真面目に話してる時にボタンをポンポン押しながら連発なんかされたら、そりゃもう。

そんなで、

「何か『へえ』って、やかましいよ。」といていたのが先週。

で、子どもから提案。

「『へえ』がうざったいっていう、ブルさんも木幡さんもうざったい。」

「??」何を言われるかと思ったら…。

「ちゃんと、使うところを判断すればいいんだよ。」

と、木幡さん。

そもそも、「へえ」なんて感情の表われで意識して使うもんじゃないんだけどね。思わず出る言葉だから禁止したいなんてさらさらないけど。

ちなみに「トリビアの泉」って何回か見てみたけど、出て来た言葉は、ほとんどが「ふ～ん…。」だったな。

年取ってるのかなあ。

見てないけど、ネタをほとんど知ってるべく。だって次の日には「知ってる？」ってみんなが教えてくれるからね

2. 熊谷でも「へえー！」が 熊谷・かおりん

マッチ棒パズル(熊谷)

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>

「雨で外にいけないし、なんかゲームやって。」

と子どもからの声。体は動かささないけれど、頭はたくさん使うマッチ棒パズル。

うーんと悩むみんな。悩んだわりにはあっという間にクリア。何問か解いてから、品川遊び。みんなはまって大バトル。静かな戦い。

小さい子から大きい子まで、頭を悩ませていました。

熊谷のスペースはしーん。黙々と3本のマッチ棒だけが動く。

「すごく静かだよな。」

「俺が、静かだからでしょ。」とかい君(笑)。

「すごく、地味だよな。」

地味と言いながらも、気がつけばあっという間に1時間。ぐったり。頭を使った証拠かな。

田んぼの「田」

「僕もこういうの知ってるよ。」とユータ君。

「マッチ棒4本で、田んぼの『田』をつくるんだよ。」

これも、気がつけばなんと言おうことのない問題。

解けるかな。

「へえ」の波紋? ユータ君とのはなし

熊谷でも流行っている「トリビアの泉」役に立たないことばかりだけど、それが笑える。あまりのくだらなさが私も結構好き。木曜日の朝はトリビアの話で持ちきるほど。

トリビア好きな、ユータ君。今日のデイリーフレネの新宿の記事を見せる。

「え、禁止になっちゃうの?」と。

デイリーフレネをよく読んで、

「デイリーフレネに書いてある、『へえー!』って横棒も気になる。」って。

「?」

「『へえ』ってさ、『へえー!』って『ー』じゃなくて、

『へえ~』って『~』って感じなんだよね。くにゃってさ。」なるほど、なるほど。

「知らないことに『へえ~。そうなんだ。』って感じでしょ。

わざとつぼくいうとかさ、僕もふざけていたりもするけれど、真面目なこと話している時とかは、やっぱよくないよねえ。時と場合によると言うか…。新宿は人も多いからなのかなあ。」

「そうだよな。みんなの前で真面目に話している時に、自分の伝え方もあるのかもしれないけれど、『はあ』とか『へえ』とかそういう反応されちゃうとやっぱりがっかりしてしまうね。」

「新宿の『へえ』のその後気になるから、聞いといてね。」

とユータ君は帰って行った。

その後はどうなったのでしょうか。熊谷でのちょっとしたひとコマでした。

3. 保護者からのお便り二つ

ジャパンフレネでは、原則、毎月1回、保護者会を行っています。お二人から、お便りをいただきました。

ありがとうございます！
 お互い、自由にものが言える場であってほしいと思います。

【まっつあんママ】

いつもお世話になってます
 フレネにお世話になって もう3年なんだと
 なんとなく 思いにふけていました
 その間にずいぶんと 成長したなと思います
 木幡さんはじめ 多くのボラやスタッフの方のおかげだと
 ころより感謝しています
 最近は すっかり主のようになっていて
 どんな様子だか 少し心配です
 フレネの主旨である 自由教育・
 その自由の意味を彼が体感できればいいとおもいますが
 どうも 楽なほうに流れているように感じます
 私と主人としましては 彼に
 上限 中学の間は在籍させていただいても
 高校に行かないのなら フレネはやめて
 アルバイトなどをして働くのもいいとすすめています
 ちょっと そのへんのプレッシャーを与えているので
 手島さんが最近の彼を不安定と思われたのかもしれない
 手島さんには ほんとうによく様子を見ていただいています
 感謝しています ありがとうございます
 おそらく勉強も 四月には新たな気持ちではじめても
 きっと 今ごろはだらだらして 離れているのではと思いま
 す
 木幡さんにも 新聞と一緒に読んでもらったり
 いろいろしていただきましたが なかなかつづきませぬね
 続けることも 本人の意志以外にないと思いますが
 継続してやるということが フレネでは少しやりにくいか
 な
 思います
 保護者会でも申し上げましたが
 勉学に対して やりっぱなし感が すこし気になります
 子供に自分の目標を持ってもらって
 学期末にでも それがどれくらい達成できたか・
 そのような 方法で 子供の勉強を見ていただけないでし
 ょうか
 当然 家庭でもその目標を共有できたらと思います
 あと ほんと僭越だとは思いますが
 もう少し子供たちといる時間を 木幡さんに増やしていただ
 けた
 らと思います
 手島さんやかおりんさんのご様子を見てみると
 ほんとうに日々大変そうで 頭が下がります
 お父さんの木幡さんがいてくださると もっと
 子供たちの意識も 少し違うと思うのです
 フリースクールフェスティバルなども
 彼などは まったく意識になくて
 一部の人に負担がかかって
 毎日の生活がおろそかになるようだ
 すこし 親としても申し訳ないし
 心もとない気持ちがします
 かってなことを申し上げているのはわかっています
 いろいろなことを すこし振り返る時期に
 フレネもあるのではないかと思
 い
 メールを書かせていただきました

【ちせちゃんママ】

先日の保護者会ありがとうございました。
 保護者会の中で話し合われた話題の中で
 その後考えた事がありましたので
 メ - ルさせていただきました。
 木幡さんは保護者会では
 『ハイキングに行くにも
 大きい子と小さい子と歩調を揃えて
 一緒に行くのは難しい』
 とおっしゃってましたよね。
 デイリ - フレネの中でも
 『大きい子は小さい子や弱い子にあわせなくちゃ』
 とも話されてました。
 確かにそうなんです
 大きい子からすれば自分達も
 『大人から見れば小さい子』ではないか？
 大きい子が小さい子に合わせるように
 大人が大きい子にも合わせて欲しいと
 云っている事かなとも思ったんです。
 ハイキングでも体育祭のスポ - ツでも
 小さい子になんでも合わせてたら
 どうしたって大きい子はずまらないですよ。
 それでは学校の中と同じですよ。
 同じクラスの中にも勉強などが
 出来る子とそうでない子と一緒になのが学校。
 でも先生は出来る子に合わせて
 どんどん授業を進めていってしまう。
 それだと出来ない子は増々ついていけなくなる。
 または先生は世話がかかる子につきっきりで
 多少出来る子にはかまわなくなってしまう。
 それだと出来る子はおもしろくなくなってしまう。
 でもどんな子でも子どもは子どもですよ？
 それがどんな表現方法でも
 『見て欲しい』『分かって欲しい』と
 その子なりのシグナルみたいなのを発信しているのは
 どの子も同じかなと思うので
 ハイキングにしるスポ - ツにしる
 ここはスキ - などにあるコ - スのような
 『上級コ - ス』『初級コ - ス』などと分けて
 対応されたらどうなのでしょうね。
 マラソンでも5Km コ - ス・20Km コ - スとあって
 あるじゃないですか。
 それに小さい子は出来ない・大きい子が出来る
 とも限りませぬしね。
 体育祭でも
 『小さい子だってバスケやりたい』
 『大きい子だってシッポ取りやりたい』
 だったじゃないですか。
 学校ではない楽しさをたくさん与えてくれる
 フレネだからこそそういった行事などでも
 たった一つにだけ標準を合わせたものしか
 ないのではなく
 参加するならせめて2パタ - ンの選択が
 子ども自身に出来るところであって欲しいと願います。
 mailto : -----> sinjyuku@jfreinet.com まで。
 =====
 e-mail : sinjyuku@jfreinet.com

URL : <http://www.jfreinet.com>

==== デイリー・フレネ =====
 ----- VOL/0743----- 2003/10/17

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

1. 最近のお散歩は寂しい...
2. 新宿 VS 熊谷 お料理対決
3. フェスタの準備は？

=====

今日はなんの日
 1781 アメリカ独立戦争イギリス降伏
 今日の花言葉
 ぶどう 「信頼」
 今日是谁の誕生日
 アーサー・ミラー (劇作家 米 1915)
 今日の名言
 『例』という文字を『時』という文字に言い換えて考えよ

山名持豊 (応仁の乱 西軍の旗頭)

先例や古い習慣にこだわらず、時代の流れを見て行動しなくてはならない。

- 1. 最近のお散歩は寂しい...
 毎週金曜日は、新宿のお散歩。
 熊谷に授業&面談に行く途中、新宿に寄って見ると...、なあん、りょうすけ・たかぼうの二人しかきていないでは...。
 本日は、「学食探検隊 in 東大本郷キャンパス」。このラーメンは、おすすめ。「寂しいなあ...、前の学食探検隊はみんなで行ったのに」そう言っていると、集合時間のジャスト11時、けんご君登場！
 「東大に行ったら、トイレに行こうぜ。『トリビアの泉』でやっていただけ、東大独自のトイレトペーパーがあるんだって」
 「じゃあ、1個もらってきなよ」そういう木幡に、「『持ってきちゃだめ』って言おうとした」と苦笑いのテッシー。
 一生行けるかどうか分からないから、行けばいいのに、東大に。ちなみに代表木幡の大学入試時は、東大入試が唯一無かつたんです。残念だったなあ...。
 (?????)

2. 新宿 VS 熊谷 お料理対決

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>
 お料理ーたこ焼&焼きそば 新宿・テッシー
 今日のお料理は大阪づくし。たこ焼といえばついでこの間行って来た飛ぶ教室でも定番だった料理。ついでこの間のことだけれど、ちょっと懐かしい。
 みんなが買い出しに行っている間に、残っている子でタネ作り。秤でしっかり分量を計って混ぜる混ぜる。
 「こんなに水っぽかったっけ？」
 少し不安な様子。
 買い物組が帰ってきたらみんな下準備。
 タコをさばいて出て来たのがタコの歯。
 「これ、歯だよ。」と、みんなに差し出すと、「えっ！これが??」と、みんな手にとって。
 たこ焼は作っているところを見ることは結構あるけ

れど、作るのは初めてという子がほとんど。かく言うぼくも初めて。記憶をたどって真似ながら。一番手のぼくはまずまず。

二番手ちせちゃんは上手い！ころころ器用に回して

る。
 ジーコなんかは、もうプロの手つき。思わず「おー！」
 「たこ焼屋でバイトしろよ！」

負けじとけんご君も。「オリジナルのを」といいつつ具に偏りを。

焼きそばは、さおちゃんとボラ・なおちゃんがせっせと調理。これまたおいしい！屋台で売っていきそうな味。「はい、ブルさんの。」と、ぼくにはタコなしたこ焼つきの焼きそば。うれしいなあ。

片付けもしっかり。

「今日は何もしていないから。」と、まっつぁん。途中からひいちゃん。

油だらけだったテーブルもいつも以上に綺麗になりました！

お料理の授業 もつ煮 熊谷 かおりん

今日のお料理は、もつ煮。野菜を切って煮込むだけだから、あっという間。ご飯も炊けた！もつ煮ができるのを待つばかり。いい匂い。匂いが誘っている。お腹が鳴る。

味付けは「これでどうだろ？」ときぐちゃん。

お鍋の周りにみんな群がる。

「あともうちょっと、味噌が...。」

とあれこれ言いながら、味付けも完璧。

時間があまりないから30分ぐらいしか煮込めなかったけれど、大根など、味が染み込んでいてとてもおいしい。

ユータ君は2、3杯おかわり。エリ君がお鍋を覗く頃には、

「もう、もつがないじゃないですか...。」

野菜がちょっところころ。大鍋のもつ煮はあっという間に完売。みんなお腹いっぱい。おいしかったあ。

かき玉汁

汁物は、かき玉汁。卵キャンドルも意識して、殻は頭だけ割って、とっておく。

エリ君、しゅん君にお任せ。料理の本をみながら、「この味でいいかな。」

「もうちょっと塩味。」

「俺もやる！」とかい君も卵をきれいにに入れる。

みんなで試行錯誤。そのかいあってとってもおいしかった。

「俺、3杯も飲んじゃったよ。」とおなかを見せるかい君。カエルのように大きなおなかになっていました。

もつ煮もかき玉汁も白菜の浅漬けもみんなおいしかったね。大満足なお料理でした。こんな日は会話も弾むね。

3. フェスタの準備は？

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>

進む！文化祭の準備 新宿

今日も空いた時間で文化祭の準備。ちせちゃんが持

って来てくれたパズルの作成。
 まずは木の棒を糸鋸で切って。その後にドリルで穴を空けるという作業。みんなで分担。角型の木だったのを、「ヤスリをかけたほうがいいんじゃない？」という声で、みんなでせっせとヤスリがけ。やっぱり見た目も手触りも断然よくなる。「ほら。」と、山ちゃんが差し出した木は指圧の棒のようになってる。この根気、スゴいなあと思っていると、「できた！」と、ドラゴンが差し出したのは、もう鉛筆みたいに尖がってる…。こういう作業が丁寧なのはひいちゃん。両端だけではなくて周りも。これも今日の目標は達成！追われながらやっているという雰囲気ではなくて、わいわいと。来週の準備期間も頑張ろうね。
 視力検査？ 熊谷
 文化祭の準備で買出し。材料やダンボールも看板用などのために山ほどもらってくる。その途中で視力検査のポスターを無料でもらう。視力検査が始まった。目の調子はどうかしら。「雰囲気が出るように。」と片目をスプーンで隠して。「結構悪くなっているかも…。」「こっちの目のほうがいいのかも。」とみんな盛り上がる。視力検査もいけれど、準備もやろうね。今週もあと1日。もうひとふんばりだ。

 デイリーフレネは、月～金の平日刊です。10月～11月は、各種教育研究会のシーズンです。週末から来週にかけて、木幡は湘南、山梨と三つの研究会を共同研究者&助言と飛びまわります。学校とフリースクールの交流が生まれるといいなあと思っています。では、楽しい週末を！

===== デイリー・フレネ =====

----- VOL/0744----- 2003/10/20

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

- 1. 26日(日)は、カルチャーフェスタ！
- 2. お散歩ー学食探検隊 in 東京大学
- 3. 木幡マンの実験の数々

 今日は何の日
 1274 元大軍、台風のため多数沈没
 今日の花言葉
 麻「運命」
 今日是谁の誕生日
 ランポー(詩人 仏 1854)
 坂口安吾(作家 1906)
 今日の名言
 「反論し論破するために読むな。信じて丸呑みするためにも読むな。話題や論題を見つけるためにも読むな。しかし、熟考し熟慮するために読むがいい」
 『ベーコン随想集』より
 - 1.26日(日)は、カルチャーフェスタ！

次の日曜、26日は、フリースクールカルチャーフェスタが旧港区立南海小学校(田町駅下車徒歩5分)で行われる。「やるからには勝ちに行く！」と意気込んで参加した昨年。大々大成功！そして、今年も「勝ちに行く！」とばかりに、着々と準備が進んでいます。今年のメインは、「マジック&パズル」。科学マジック、パズルの販売を中心に楽しい広場を作っていきます。内容の詳細は後日ね！スペースのデコレーションイメージを頼んだ水野さんから、次のようなコンセプトが届いた。

【街の中の広場】
 その広場の中央には「生命の木」が天高くそびえたつ。その木は悠久の歴史をずっと見守り続けて来た老木だ。人々の喜びも哀しみも…、全てに立ちあい黙して立ち続ける孤高の老木。そんな木のある街の広場に、今日、旅芸人のマジシャンがやって来た…。

 いいなあ、いいなあ！このイメージで素適なスペースを作り、マジックやパズルで遊ぶ。助走をつけて満足いくフェスタにしていこうね！
 2. お散歩ー学食探検隊 in 東京大学

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>
 学食探検隊第2弾は、東京大学。ぼくは初めて。本郷三丁目の駅から早速逆方向に歩いてしまって、通りがりの人に道を聞いてしまいました。赤門が見えたら一安心。せっかくなので記念撮影。門をくぐって中に入ると、学生の多さにびっくり。前回の学食探検のときにはまだ夏休み中だったからね。学食に行ってみると、満席状態。「ちょうどお昼時だからね。ちょっと散歩しようか。」と、キャンパスの中をブラブラ。「あっ！猫だ！！」たしかに猫がたくさん。よく見ると、えさのお皿があったりしてほのぼの。東大食の評価は?? やっと入って目的のお昼。人気はラーメン。「東大のラーメンはどう？」と、聞くと、「今までの2校(早稲田、上智)と、比べて一番下かな？」と、けんご君。話をしていると、その採点基準はなかなか細かい。「味、見た目、値段、ボリューム、そして学食の雰囲気それぞれ20点ずつで100点満点なんだよ。ここは味が10点で…」結構辛口採点。ちなみに東大ラーメンは77点とのことでした。本当だ！！ ちょっと前に「トリビアの泉」で取上げられた「東大専用のトイレトペーパー。」「ちょっとトイレに行ってくるね。」と、りょうすけ。そしてドアの中から、「あー！本当だ！！」という声。そして、さらに中から「記念に持って帰ろう！」の声。トイレの外で思わず苦笑い。

ばくも写真くらいと思ったら、すでに周りの包み紙がない状態…。似たこと考えている人がいるんだな…。悔しい！

その後も三四郎池で散歩をして、キャンパス内の博物館へ。ちょうどシーボルトの企画。江戸時代に実際に採取された花の押し花標本などがたくさん。ちょっとやさつとこの企画展というレベルじゃない手のこりよう。しかも、入場無料。んー、さすが東大。「東大はいるとどうなるの？」と、りょうすけ。「んー、電車作れるよ。リニアモーターカーだって。」「ほんと？！じゃあ、東大入ろ！」「お！言ったね！それじゃあ勉強しなきゃ！！」こんな会話で今日のお散歩はおしまい。

(新宿・テッシー)

3. 木幡マンの実験の数々

毎週金曜日は木幡マンの授業の日。実験道具をたくさん準備して木幡マンが現れた。みんなもわくわく。どんな実験が飛び出すのかな。

対称マン

自分の顔は一見対称に出来ているようで、左右対称には出来ていない。準備したのは、写真の表焼きと裏焼き。中心の部分にあわせて、写真の顔を真っ二つ。表焼きと裏焼きの写真を張り合わせ、顔が左右対称になるようしてみると、

「ぶつぶつぶ。なんだかウルトラマンみたい。」と爆笑。「プロレスラーみたい。」とあちこちから。かいくんの写真は、「こっちは、おりこうさん、左の対称の顔は『ナメケモノ』だよ。」

私は、片方はラガーマンといわんばかりの男前になってしまった。大笑い。

トルネード！

「このペットボトルの中の水を早く出すにはどうしたらいいか知っている？」と木幡マン。ペットボトルには水。ひっくり返してもそんなに勢いよくは落ちていかない。なぜ水は落ちていかないのか。解説も加わる。

私は以前、料亭の職人さんが一升瓶に入った醤油を鍋に入れるシーンをテレビで見て驚いたのを覚えている。

「うーん。」みんな悩んだ顔。

「じゃあ、『トルネード』と呪文をかけてね。」と木幡マン。かいくん、元気よく、

「トルネード！！」ちょっと呪文を間違えたようだ。次に「トルネード！！！」と呪文をかけ木幡マンが動かすと…。

どうしたら早く落ちるのは、考えてみてくださいね。

「わあ、すごい。」

あっという間に水は落ちていく。

「俺も、これ家で作ってみよう。」とかい君。

すごいいきおいだったねえ。

シャボン玉

最後はシャボン玉の実験。シャボン玉液に、いろいろな針金で出来た枠を液につけて行く。

金魚すくいのような丸い輪っかの針金にできるシャボン玉の膜は予想できるけれど、

「立方体のワクの場合は？」

「知恵の輪のようにくっついている針金は？」

「螺旋の形は？？」

思いもよらない形が目の前に！びっくり。こんなシャボン玉になるとは…。

授業が終わったら、みんなでシャボン玉遊び。大きいのを作ったり、飛ばしたり。みんなの笑い声が響く。遊び終わった後は、片付け。片付けもばっちりでした。

この他にも、3つのスイッチのついた黒い木の箱のマジックや風船、ろうそくを使った実験がばんばんと出てきた。

楽しくて時間が経つのも忘れるほど。きぐちゃん・ユータ君の本日の感想は2人とも授業の調子は100%でした。

だいぶ朝晩が冷え込みはじめました。熊谷に来た木幡さんから、「熊谷はさむいよ。」の声。

寒いのは苦手だけれど、だんだんと空が澄んでくる。昨日は星空がきれいでした。

ただ、風邪だけには気をつけたいものです。それでは。

(熊谷・かおりん)

=====

===== デイリー・フレネ =====
----- VOL/0745----- 2003/10/21

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

- 1. 合格記念お食事会 in 新宿
- 2. ジャパンフレネの出し物です！
- 3. 文化祭準備

=====

今日はなんの日
1970 日本初のウーマンリブのデモ

今日の花言葉

あざみ「独立」

今日は誰の誕生日

江戸川乱歩(作家 1894)

今日の名言

「自分のショーは自分で演出する」

エルウィル・ロンメル

「砂漠のきつね」と異名を取ったドイツの名将で信念を貫くためヒトラーと対立してもひるまなかった。

- 1. 合格記念お食事会 in 新宿

けんご君とやまちゃんが、大検に合格！昨年の夏の周君、正太郎君につぐ快拳！『木幡さんと居酒屋に行く』という目的で大検受けてるんですよ」と、けんごママ。周君、正太郎君の合格を祝し、新宿・池林坊で祝賀会を行ったのだ。

「俺が合格した時もやってくれる？」

「もちろん！」

ということで、今回は居酒屋ならぬ焼き肉やで祝賀会。

「長春館っていう焼き肉やに行こう。新宿で一番おいしいと思うよ」

「うん、親父も言っていた。長春館じゃなきゃめろって」

そんなこんなで、3人だけの焼き肉パーティー！カルビにタン塩、ナムル…。やまちゃんはあっという間に肉を平らげ、半ライスをお替り。焼き肉のたれをご飯にかけて食べていた。けんご君も丼飯を平らげ、半ライスを二度お替り。食うなあ…。二人とも…。

やっぱり、若いっていいなあ。

「二人ともあと1年半あるね。大学に行ったら何やりた

いの？」

「まだ決まってない」

けんご君は、「薬剤師」

へー、意外。

若い二人のこれからに幸あらんことを願う木幡であった。次回のい大検合格者の候補は、ドラゴンかな？

2. ジャパンフレネの出し物です！

10月26日(日)午前10時～4時、旧港区立海南小学校(田町駅北口徒歩5分)で行われるフリースクールフェスタ。ジャパンフレネの出し物が決定しました。

昨年に続き、勝ちに行くぞ！

1. パズル作成(ラッピングも含む)

柔軟角形・馬パズル・ガチョウとたまご

かわいい魚・作れそうもない形(以上、新宿)

針金パズル(熊谷)

トリックスティック(完了)

32円パズル(完了)

2. 模擬店

手打ちうどん・スイートポテト(新宿)

角煮・鳥皮煮・飲み物(以上熊谷)

3. 販売

缶バッジ・ステンシル・版画(新宿)

魚釣りゲーム・キャンドル(以上熊谷)

4. 展示

染め物、室内装飾の類(広場のイメージ)

フレネの紹介、フレネに置いてあるパズル各種

5. 木幡の授業あれこれ(当日のお楽しみ)

6. フレネの紹介紙芝居

3. 文化祭準備

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>

【新宿】

- 柔軟角形

今日は朝から文化祭の準備。いよいよ本格的に準備期間突入。あと一週間と思いきや、もうあと一週間しかないの??といった印象も。

まずは柔軟角形。これがかなり根気のいる作業。板目紙に千代紙をひたすら張りつけるはボラ・きょうさん。それを切って、セロハンテープで補強はまっつぁん。

「あっ！失敗！」といっても、まっつぁんがリカバー。「どれが失敗か分かる？」と、差し出されても完璧に補修。

半分くらいのパーツ作成で今日はおしまい。これはなかなか大変そう...

文化祭準備その2 - トリックスティック

これは、先週中にみんなでパーツ作りが終わっている状態。

「ちょっとやってみよ。」の声で、りょうすけとたかちゃん。カッターをつかう作業なので、まずはその使い方から。

「カッターの刃の方向に手は置かないようにね。」

注意深く作業。

「せっかくだから絵を描いてもいい？」と、りょうすけ。ふと見ると、パズルの形を生かした絵の数々。

「これ、ほしい！」なんて声もでるくらいに、アイデアに満ちた作品になったね。

今度の文化祭では、今までに作って棚の中に眠っていた作品を売ってみよう。これらに「ジャパンフレネ」のスタンプを押す作業も完了。

ぼくは資料作り。けんご君は何も言わずに手伝ってくれました。んー嬉しい！

今日はみんなの数が少なかったけど、明日以降全員で取り組めたらね。

【熊谷】

文化祭の準備へ。

みんなで分担して文化祭に向けての作業を行う。

看板づくり・キャンドル作り・針金くん作り。各場所ですべてみんなフル稼働。

何度もやっているキャンドル作りは、

「クレヨンで色つけだから準備しなきゃ。」

「ホットプレートも使うよね。」

とユータ君中心にテキパキと準備。体験でやってきたあすちゃんも一緒になってがんばってくれました。卵キャンドルはほとんど完成。この息で進めて行きたいね。

看板作りのりょう君は、

「この台詞は自分のよくいくラーメン屋さんにあったよ。」と。ダンボールに台詞を。

フレネのスペースはごった返し状態。狭いスペースがよりいっそう狭く感じる...。けれど、片付けまでみんなで協力して。土曜日までひとがんばり。

=====

===== デイリー・フレネ =====

----- VOL/0746----- 2003/10/22

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

1. 進むフェスタの準備 新宿

2. 熊谷も頑張っています！

3. 「大英博物館の至宝展」で感じたこと

=====

今日はなんの日

794 平安遷都

1926 明治神宮外苑が完成

今日の花言葉

ダリア(dahlia)「移り気」

今日は誰の誕生日

イチロー(野球 1973)

カトリーヌ・ドヌーブ(仏・女優 1943)

今日の名言

「愛は自分でできずくもの、真実は自分でつきとめるもの、書物は自分で探してめぐりあうもの」

詞集「たいまつ」むのたけじ

- 1. 進むフェスタの準備 新宿

もうてんでこ舞い

今日も朝から柔軟角形の作成。昨日のうちにその大変さを実感。やってきたのはドラゴン。

「こんなん、50円くらいでしょ？」

と、値段についてあれやこれや。

「作ってると思うもいってられないよ。200円くらいにしたいけど。100円くらいかな。」

やっぱり、だんだん手先がぶれてくる。腕全体がダルい。カッターを走らせながらの中腰はつらいのなんの。それもそのはず。朝来てから1時過ぎまでぶっ

通し。だけど、だんだんみんな作業に加わるように。ミーティングで文化祭の確認をした後に、再度作業。なんとか15個近く完成。

「やっば50円なんかじゃ安いよ！」と、ドラゴン。そうでしょう？頑張り料が欲しくなる大変さでした。途中からぼくは、当日のフレネの資料作り。ひたすら印刷をしていると、

「なんか手伝うことある？」と、たかちゃん。

「ある！」

250枚近くのパンフレット作り。みんなでワーツとやってくれました。その後は他の資料と一緒に封筒詰め。

「もう、終わったよ。もうないの？」

「まだ印刷中...。」これは持ち越し。

3時過ぎからは大きい子を連れて新宿買い物巡り。木材から様々な材料を揃える。当日の部屋作りのイメージを聞いたひいちゃん、さきちゃんは世界堂にているいろいろなアイデア。思わず「なるほどね」と唸るもの。

「必要なもの買っちゃお。言ってね。」

だんだん勢いに乗って来ています。

「明日もくるよ！」と、帰っていったみんな。がんばろうね！

2. 熊谷も頑張っています！

文化祭の準備 キャンドル編

今日も文化祭の準備。看板づくりに、キャンドル作り。少しずつであるけれど、着実に進んでいる。キャンドルは、「殻はここはこうして。」としゅん君が最後までがんばったかいあって完成。

「これ、芯が入ってないよ。」

と芯のないろうそくを発見。見つけたかい君。

「じゃあ、むいてみようか。」とむいてみると、予想以上にきれいなろうそく。みんな満足顔。うまく出来たね。

文化祭の準備 看板編

商品が出来たら目立つように看板作りも。

「看板はどうでしょうか？こんな風にしたらどう？」と子ども達も取っ掛かりやすいように、簡単にイメージを準備していたけれど、

「キャンドルの看板はすごくカラフルにした方がいいと思うんだ。」とユータ君から提案。

お、いいぞ！ユータ君にキャンドルの看板はお任せ。

「たまごキャンドルだし、たまごの形は？」

「ギザギザに割れているようにして、裏からひよこを出したらどうだろう？」とかい君。

みんなのイメージを凝縮していざ取り掛かる。

「筆を使うのは苦手なんだよなあ。」

と言いながらも、アクリル絵の具でかわいらしいたまご看板が。熊谷からの持ち運びも楽なようにと、

「パタパタ看板にする！」と紐で結ぶ。いいねえ。

針金くんの看板作りにも取り掛かる。ポラさゆりちゃんと相談していると、体験のあすちゃんが

「針金のおもちゃだし、針金で看板を作ったら？」

と。おお、グットアイデア。一文字一文字を針金で作っていく。針金を何本も一緒に折り曲げる作業はなかなか重労働。

「『ね』ってちょっと大変...。」「ねえ〜〜！」

と話をしながら手も進んでいく。

「文字は出来たが、看板にどう取り付ける??？」

「ガムテープ、両面テープ？」困った。

「ダンボールに穴をあけて、紐でくっつけたら？」とユータ君。

「紐は目立つから、針金にしよう！」とあすちゃん。針金君の看板も完成。

作業は盛りだくさんだけれど、みんなであれこれ相談や意見を交換しながら進めていく、こういう瞬間が好き。3人寄れば文殊の知恵。どんどんよりいい物を作っていこう。文化祭まで後わずか...

3. 「大英博物館の至宝展」で感じたこと

東京都美術館で開催されている「大英博物館の至宝展」を見てきた。予想通りの大混雑！入場するのに30分待ち...。会場に入ると芋を洗うがごとき状態で、とてもゆっくり見ることができない。

大英博物館と言えば、ロゼッタストーンやエジプト期の展示を思い出すが、日本の掛け軸・ゴヤの絵をはじめいやはやありとあらゆるものがあるのには驚いた。

この種のものを見ていつも考える。これらの展示物は、いい意味で考えると文化財の保護・保存だが、これも大英帝国の植民地主義のなせる技。権力にものをいわせての略奪行為と取る向きも被植民地側にはある。

これは、戦前の日本にも言えることだ。物だけではなく人間までも強制的に連行した過去の歴史がそのことを雄弁に物語っている。

何度か南米に行ったことがあるが、そこでも同じことを考える。かつて存在していたインカ帝国はピサロ率いるわずか百数十名のイスパニア軍に一扫され、そのご数百年の支配下に置かれる。イスパニアはインカ帝国の金銀の美術品を延べ棒にして本国に輸送した。

支配するものと支配されるもの...。なにやら複雑な気持ちで美術館を出た。

mailto:-----> sinjyuku@jfreinet.com まで。

=====

e-mail : sinjyuku@jfreinet.com

URL : http://www.jfreinet.com

=====

===== デイリー・フレネ =====

----- VOL/0747----- 2003/10/23

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

1. 南アルプス市の小学校で...
2. 紙芝居もできるぞ！ 進む準備 新宿
3. フレネの様子を知らせたい 熊谷

=====

今日はなんの日

1973 江崎玲於奈ノーベル物理学賞・第1次オイルショック

今日の花言葉

ミニバラ「特別の功績」

今日は誰の誕生日

ベレ(サッカー 1940)

土井晩翠(詩人 1871)

今日の名言

「自分が知りたくないことについては自主的に情報を遮断してしまっている。ここに壁が存在していま

す。これも一種の『バカの壁』です」
 養老孟司「バカの壁」より

1. 南アルプス市の小学校で...
 カルチャーフェスタの準備でおおわらわの毎日だが、以前から頼まれていた南アルプス市の小学校の校内研究会に招かれ、助言をしてきた。
 小学校3年生の算数の授業。テーマは「直角」。チームティーチングといって、二人の教師で教えるシステム。
 授業を見て感じたことをいくつか...。
 学校でも学校以外の学びの場でも、ベースは教材。教材の良し悪しで授業は、90パーセント決定付けられる。小3の段階では、まだ、角と角度の授業をやっていない。そこで「直角」を指導することに無理があった。
 教科書には、「三角定規のこの形を直角いいます」という、実にあいまいな表現しかなされていない。いきおい授業は、「直角」という言葉を知っている子どもの発言に支えられて進む。ついていけない子ども、なんとなくわかったような子ども...。
 授業にはリズムがある。最初は元気だった子どもたちが次第に沈んでいく様子が見えてきた。
 一人の子どもの間違えを教師がどう取り上げ、それを全体に還すか...。互いの意見をよく聴き、その中で自分の考えを変えることも潔しとする対話の精神。他者の授業を見ると、自分のこともよくわかる。最近、フレネの中でぼくは、どんな授業をしているのだろうか？粘り強く子どもと関わっているのだろうか？そんなことを考えた。
 2. 紙芝居もできるぞ！ 進む準備 新宿

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>
 今日も朝から準備準備。午前中は昨日の続きで資料作り。机の上に積まれた印刷物をひたすらまとめて折る。3つの資料を封筒に入れていくのはたかちゃん。「これは、昨日やったから。」と、テキパキ。
 その後もあれこれ。まずは、アフリカンボール作り。原価を安く買って来た木材。これを切って穴を空けていく。手では追いつかないので、電動のこぎりとドリルの出番。
 「ちょっとおっかない。」ということで大人の仕事。確かに目の前でキーンと音をたてて回るのこぎりは怖いよね。眠気もふつとぶ音だし。
 これに穴を空けていくと、
 「やっぱりヤスリで綺麗にしたほうがいいよね。」と、ということでみんなでヤスリがけ。結構固い木だったので、これがまた大変だった...。
 さすが！
 棚をあさって出て来たのが折り染めをした紙。「これ、なんかに使えないかなあ。」と言っていると、「柔軟角形の袋にすればいいんじゃない。」と、ひいちゃん。
 これには圧巻。早速袋を作ってくれました。感心というレベルじゃない感情が湧きあがった瞬間。正直鳥肌が立ちました。本当にすごいなあ。
 紙芝居作り
 すみれちゃんとりょうすけにお願いしていたのがフレ

ネ紹介の紙芝居作り。今日はその脚本から。
 「京都で楽しかったことって何だった？」
 「もちろん梅小路蒸気機関車館！」
 「じゃあ、機関車描こう！」
 結構時間がかかるかなと思っていただけ、去年の作品も参考にしながら絵コンテまで午前中にクリア。すみれちゃんにお願いした表紙はとっても楽しい！
 「こういうのって、思いつかないなあ。」と、大きい子。今年も出来上がりに期待が膨らむな。
 他にも割れないシャボン玉作り、缶バッチ、馬パズルなどなど、みんなで協力して一斉に。
 それにしても今日の進み具合はすごかった！この調子でもう少し！！

3. フレネの様子を知らせたい 熊谷

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>
 針金くん
 針金で出来たおもちゃ。きぐちゃんを中心になってやっている。今日は持ち手の部分もみんなでいっきに進める。いつも行く公園前の木材屋さんで無料でもらってきた木を、持ちやすいようにカットして、みんなで紙やすり。
 それをペンキで塗って、完成。
 単純な作業だけれど、カットするのがなかなか大変。みんな出始めたらあつという間。
 出来た針金を合体させて後もう一息。先が見えてきたぞ。

フレネの様子づくり
 熊谷の様子も模造紙で紹介。今年もやろうという声があがった。写真をプリントアウトしてペタペタ。ユータ君が「僕やるよ！」とひと声。
 「俺も手伝う！」とかい君もユータ君のお手伝い。
 「そういえばこういうことやったね。」
 「ユータ君がなんか若いね。」
 比べるとちょっと前のことなのに、みんなの顔がだいぶ大人っぽくなった。
 「写真を貼り付けてしまえば、明日は完成だね。」とユータ君から力強いひと言。
 この息だ！
 連日の準備で「疲れたあ」の声も。さすがに疲れる。疲れるけれど、作業の合間にいろいろな話が弾む。大変だけれど、楽しみながらやっていけるといいね。あともう一息。

mailto:-----> sinjyuku@jfreinet.com まで。
 =====

e-mail : sinjyuku@jfreinet.com
 URL : <http://www.jfreinet.com>
 =====

===== デイリー・フレネ =====
 ----- VOL/0748----- 2003/10/24
 ////////// CONTENTS //////////////////////////////////////
 1. 20:50、まだ、仕事
 2. 文化祭準備ーフル稼動（新宿）
 3. 文化祭準備 ちよっとお疲れ（熊谷）
 =====
 今日は何の日

1929 ニューヨーク株式大暴落（暗黒の木曜日）

世界恐慌始まる

今日の花言葉

梅「高潔な心」

今日は誰の誕生日

渡辺淳一（作家 1933）

今日の名言

「われ横に歩みながらに、子蟹には直ぐに歩めと無理な親蟹」

神田山陽（講談師）

- 1.20:50、まだ、仕事

「デイリーフレネ、まだ、できていないの？おれ、楽しみにしてんのにー！」と、ドラゴン。

そうは言われても、フリースクールのカルチャーフェスタの準備に追われて、そこまで手が回らない。木幡、昨日・一昨日と山梨に出張のため、ようやく、カルチャーフェスタの準備に取り掛かる。

うどん、うめーえ！

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>

ドラゴン、まっつぁん、けんごの3人が手打うどんの試作。強力粉7：薄力粉3をませ、こねこね。そして、足でこねこね。

寝かせて待つこと暫し40分。麺棒で伸ばしてアトランダムに切る。ちゃちゃっとゆでて、醤油をさっとかければ、これがぶっ掛けうどん！

うめえのなんの！

- - - - -

そして、フェスタでの授業の準備やらなにやらで、ただいま20:50分。ドラゴンが最後まで残って来て助かるなあ。

明日は、泊まりになりそうなジャパンフレネです。

2. 文化祭準備ーフル稼動（新宿）

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>

朝来るや否や、

「何すればいい？」という声。みんなのやる気もうなぎ上り。

今日はアフリカンボール作りに、ラッピング。これがなかなか手際がいい。みんなでワートとやってみればあつという間。

その横では紙芝居作りの仕上げ。色付けをどんどん。これも今日で完了！あとはしっかりと補強をして、読む練習だね。

男の子達は染め物の準備。今年は棒を使った絞り染め。さらにはボール状にして、マーブル模様。みんなが他の作業をしている間にボラ・中野さんが鍋番。できあがりは去年と一味違ったものに。一日でなんと30m近くの生地を染色！

手打ちうどん

今年が目玉の一つが手打ちうどん。その大変さは経験者からのアドバイスからよくわかる。

「うどんに関しては全部を任せようと思ってるんだけど。」という言葉に答えてきています。

今日は、段取りから必要なもの、それに見積もりまで。

「何か必要なものある？持ってくるよ。」

ちょっと大変だけれど、みんなの頑張りからやる気が強く伝わって来ています。この調子！

今日一日でさらに看板作りに割れないシャボン玉作り、

缶バッジ作りに室内装飾などなど数え切れない作業。フレネのスペースはもう足の踏み場もないほど。気がつけばみんなが床に向かって何かをしていたり。

こういう風景、とってもいいな。文化祭の空気です。

3. 文化祭準備 ちよっとお疲れ（熊谷）

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>

文化祭の準備もいよいよ終盤戦。キャンドル・針金くんなどなど、完成品は新宿へ。今日は、模造紙でフレネの様子づくり。

「ずっと下を向いていると腰があ...。」

「眠くなってきちゃった。」

「風邪気味...。」

「ああ！」と思えば、絵の具の水がひっくり返っている...。足元がふらついているのか...。

みんな月曜日からフル回転でがんばっているもんね。

ちよっと疲れちゃったね。そんな矢先にひよっこりボラの高田さん。

「これ、みんなで食べてね。」

と、袋の中には巨峰。

「わぁ。」とみんなから歓声。

「片付けておやつだ。」みんなの動きも早い。

ぶどうを食べながら、残りあと2日の準備期間で何を

すればいいのか、もう一度作戦会議を開いて再確認。

泣いても笑っても、あと2日！

あすちゃん入会

文化祭準備でてんてこ舞いの毎日。こんな準備期間に体験でやってきているあすちゃん。いろいろな作業も積極的。本人曰く「こういうの好き。」

なのだそう。夕方お母さんから入会の電話が！

近くにいたみんなも、「そっかあ。」と笑顔。

「入会するんだあ。」

すこし、停滞気味の空気が和んだね。

- - - - -

26日（日）は旧港区立海南小学校で「フリースクールカルチャーフェスタ」が開催されいます。ジャ

パンフレネのスペースは3階。パズルの販売や科学

マジックの授業でやる気満々！

参加するには、しっかり仕事をして、達成感を持って

もらいたいと思う木幡です。みなさん、ぜひ、お

越し下さい。

27日（月）は代休のため、次回のDFは28日（火）

になります。

みなさん、楽しい週末を！

=====

=====

=====

=====

=====

=====

=====

=====

=====

=====

=====

=====

=====

=====

=====

=====

=====

=====

=====

=====

今日は誰の誕生日

小栗康平（映画監督 1945）

ハレー（天文学者 イギリス 1656）

今日の名言

「鉄も使わなければ錆び、水も用いらざれば腐敗し、あるいは寒冷にあたって凍結する。人間の知力もまたこれと同じで、絶えず用いざればついに退化する。」

レオナルド・ダ・ヴィンチ

- 本日は、26日に行われたフリースクールカルチャーフェスタの話題が満載！

1. 「生命の木」を立てる カルチャーフェスタ

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>

【街の中の広場】

その広場の中央には「生命の木」が天高くそびえたつ。その木は悠久の歴史をずっと見守り続けて来た老木だ。人々の喜びも哀しみも...、全てに立ちあい黙して立ち続ける孤高の老木。

そんな木のある街の広場に、今日、旅芸人のマジシャンがやって来た...

水野さんに頼んだスペースのイメージをもとにカルチャーフェスタの前日、室内装飾。天井から緩衝材のパッキンで直径1メートルぐらいの円筒形を床まで吊り下げ、大木をイメージ。さらに英字新聞で三角錐を作り、それに刺す。これが枝。新宿で染めた緑色の絞り染めや半透明の布をたらす。

駄目押しは、山梨県の上野原の大工さんからもってきた端材とかんなくず。大木の下に端材でサークルを二重に作り、その間にかんなくずを敷く。

いいねえ！いいいねえ！

部屋の周りは西岸良平のマンガ「三丁目の夕日」をイメージした風景を模造紙に三層に描いてはる。一番下が茜色で街並みの黒いシルエット。窓にはセロファン。優しい光りがあるような暖かい家庭団欒。真ん中がだいたい色、一番上が赤...。見事に夕焼けがイメージできた。

やったね！

みんないろいろと頑張ってくれた。街並みのイメージはひいちゃんが出してくれ、とうこちゃんが下書きしてくれた。文句言いつつ、ドラゴンが最後まで手伝ってくれた。いったんも早朝から参加。まっつあんパパ&ママ、ミッキーパパ&ママは車を出してくれた。けんごママはお掃除の手伝い。ちせちゃんママもさし入れのお握り持参で来てくれた。感謝！感謝！

中身の詳細はテッシー&かおりんが報告してくれる。

木幡の授業のところを少しだけ...

「あ！爆発のおじさんだ！」

「今年も爆発の授業やるの？」

「違うものやるから見に来てね」

「うん！」

木幡の授業、おなじみができたようです。

マジックの授業の三姉妹

木幡のマジックの授業。机の上にいるんなものを出して、大道芸の雰囲気。「押してもならないプザー」...

三つのボタンの中で一つだけプザーが鳴るボタンを実際に押してから、

「じゃあ、三つの中から一つ選んでね」

ところがいくら押しても鳴らない。木幡が押すときだけ「プー」。幼稚園から小学校中学年ぐらいの年齢の三姉妹、目が点...。?????

NPOのお姉さんたちも...

ござの上にいるいろいろなパズル。「カンボジア教育支援を！」のNPOのお姉さん、お兄さんがあれこれ楽しんでいる。

木幡、トルネードチューブを出して芸を披露。二本のペットボトルの口をつなぎ、水を一方から他方に一気に流す。「すっごーい！」と拍手！

「勉強したいので」と本も買ってくれました。

欲しかったんだね...

後片付けをしていると、ござの上をじっと見ている子ども...。どうやら、沖縄で買ってきたヘビのオモチャがほしいらしい。

「これ、ほしいの？」

こっくりうなづく子ども。

「でもこれ、売り物じゃないんだよなあ。これいくらしたっけ？」

「200円じゃないですか」と、テッシー。

その子、握り締めていた200円を差し出す。ヘビのオモチャを持ってうれしそうに帰りました。

よっぽど欲しかったんだねえ...

2. フェスタ 新宿編(テッシー)

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>

カルチャーフェスタ - 土曜の準備

準備の段階でかなりへろへろ。体力がなくなっていくのがよくわかる。

「おはよう。」と、入って来たたかちゃんの目は明らかに腫れている。

「大丈夫か？」と思わず。

新宿に残っていたぼくはひいちゃんとスイートポテト作り。後からきた男の子達も一緒に作る。50個分という量はやっぱり結構大変...。サツマイモの皮をむいて下湯で、つぶして味付け。さらに火にかけてながら混ぜる。

だけど、さすがはひいちゃん。手際がいい！ちょっとした時間を見つけては、次の準備。ぼくはそれを見てお手伝い。

3時間ちょっとかけて出来上がり！

その後は買い物しながら田町の現場へ。ここは、完全に肉体労働。あれやこれやとてんてこ舞い！

フェスタ当日 - 手打ちうどんの仕込み

朝起きるは、なんと4時。新聞配達のパイクを横目に出勤。だけど、さすがは新宿。6時前だと楽しそうな若者がまだまだたくさん。

みんな来るかなと思っていると、6時過ぎにドラゴン登場。一休みする間もなく手打ちうどんの仕込み。朝早すぎて頭が起きていないのか、

「これ、どうしますか？」なんて。しばらく聞きなれない敬語で話し掛けてくるドラゴン。ちょっとおかしくなっちゃったな。

そのあとも、

「今から行くから...。」と電話の後、山ちゃんも到

着。みんなでひたすらうどんをこねる。踏む。みんな揃ってくるともう急ピッチ。なんとか間にあいそう！

フェスタ本番！ - パズル編

みんなで準備した販売物。

「これ、やってみて！」と、ちせちゃん。なかなか解けずに困っているお客さん。

「じゃあ、三分でできたら割り引き。」なんて。

順調、順調。パズルの得意なちせちゃんは、お客の前でスラスラ。

「えー！もう一回！」

展示の場所にあったパズルに興味のある子に、

「これ、やってごらん？」と、差し出したやつリックスティック。

「あっ、これ知ってる。」なんて言ってみたものの解けない…。友達も、お母さんも一緒になってあれやこれや。

「ヒント、ほしい？」と、いうと、

「いらない！」と、子ども。

「欲しい！」と、お母さん。

ちなみに最初に解けたのはお母さんでした。

「だてにみんなより年とってないのよ！少しだけだけどね！」

フェスタ本番！ - 模擬店編

模擬店班と、フレネスペース班。どっちにも顔を見せつつうろちょろ。

手打ちうどんは、完全分業。子どもを中心にしっかり係ができていたね。伸ばして、切って、茹でて、盛り付けて…。一人一人がそれぞれの仕事を一生懸命。これはとっても良かった！

(良かったなんて簡単な言葉じゃ表せないな。)

一杯のうどんを出すのに何人もの子どもの手を経ていました。誰かが手を抜くとこういう結果は出なかったもんね。

「関係者に出す量はないよ！」って言っていたけれど、しっかり食べました。(しかも、おごってもらっちゃいました。ごちそうさまです！)

もう、とってもおいしかった！こんな思いの食事、したことないな。いろんな思いの詰まった一杯、ごちそうさま！

フリースクール紹介

今年もフレネ紹介の紙芝居。すみれちゃんとりょうすけの作ったものを発表。りょうすけの手にある台本には、「がんばってね」と応援メッセージ。

「練習、した？」

「したよ！」

これは心強い！

発表はちせちゃんにりょうすけ。壇上にあがって台本を読む。紙芝居を抱えているは、お手伝いのドラゴン。りょうすけもちせちゃんも堂々とした発表っぷり。

壇を降りると、りょうすけ、

「テッシー、続きあったんだよ！」

「？全部読んでたよ。」

裏表紙を忘れていたぼく。これは失敗！ごめんね。

」FFFで再度ご披露です。

全てがナントカ終了。片付けをしながら、気が抜けていくのがわかりました。2週間に渡る準備の結果、あらゆる所に出ていたな。みんなの新しい顔もたくさんみることもできました。ここまでやるかっていうくらい頑

張っている姿もたくさんあったしな。

子どもも大人も、当日参加するしない関係なしにみんな仕事をした、そんな印象です。みなさん、お疲れ様でした。

3. フェスタ 熊谷編(かおりん)

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>

天気は晴れ。遂にこの日がやってきた。フリースクールカルチャーフェスタ。熊谷から電車で揺られること約2時間。みんな朝早くから集合。いち早くフレネの部屋につくと、中央にはオブジェの『生命の木』周りに張られたオレンジ色の模造紙でやさしい日差しに包まれている教室。「すごいなあ。」ときぐちゃん。素敵な部屋。みんなで準備をして始まり始まり。

角煮

前日寸胴でコトコト煮込んだ3kgの豚のばら肉。30個のたまごもいい色に仕上がった。

「売れるのかなあ。」と心配な声もあったけれど、準備をしてすぐに、

「もう角煮売れたんだよ。」と。

びっくり。結構好評なようだ。と思っていたら、しゅん君から、「角煮完売！」のお知らせ。時計はまだ12時前。あつという間でした。

「何度か買い来てくれた人も居たんだよ。」って。よかった。よかった。熊谷の名物になるかしら。

コーヒー

カルチャーフェスタ直前、

「あの、コーヒーを売ります。」とエリ君。

お散歩でみんなでエリ君のお宅を訪問した時、えり君がコーヒーを入れてくれた。とってもおいしかったので、「コーヒー売らない？」との声に、あれこれ悩んだ結果のようだ。

やるとなったら、「あの、豆の量は…」と相談。

マスターエリ君の誕生。コーヒーメーカーもお家から持参する意気込み！看板の作成、コーヒー豆、砂糖、ミルクの購入も全部自分でやった。

「18杯売れば元は取れます。」と計算もばっちり。

エリ君に入れてもらったコーヒーのお味はとってもおいしかった。

終ってみると、

「」FFFでもまたやりますよ。」の声。嬉しいね。

針金くん

ぐにゃぐにゃの針金U字の針金を落とさずに通すゲーム。ほとんどきぐちゃんの手作り。(お見事)

当日はきぐちゃんが針金くんの見本を実際にやってもらいながら、「いかがですか？」と勤める。

最初のお客さんが、なんと「これ、7個ください！」と！出足は好調。

見本片手に「ちょっとやってみない？」と声をかけると、ちょっとのつもりが目は真剣。「1個ください。」の声に変わる。

「もう少し難しいのがいい。」とのリクエストに、

実際にきぐちゃんはその場で作って販売。まるで職人さんのよう。針金くんも見事に完売。

きぐちゃんががんばりました！お疲れ様でした。

魚釣り

「魚をたくさん描いて、魚釣りをやりたい。」とかい君。かい君の魚はとってもダイナミック。

ブルーシートで海を作ってばっちり。
 出始めはなかなかお客さんはいなかったけれど、
 お昼を過ぎるころには、池の周りに人だかりも。
 「もう一回やってもいい？」と何回かやってくる子も
 いた。クリップで魚を引っ掛けるのだけれど、なかなか
 難しい。
 「やったあ、釣れたあ。」と満足そうなお客さん。
 「釣れたこの魚は、大きいからこの大きい鮎をどうぞ。」と、少し照れながらかい君。いいぞ！
 中には「この魚の絵がほしい。」という声も。
 予想以上に大繁盛。満足そうな笑顔を見せる
 かい君。がんばったぞ！
 朝早くから、夕方まで本当にお疲れ様でした。
 準備から片づけまで、みんなよくがんばったね。
 フル回転の一週間でした。
 お次はJFFだ。

=====

===== デイリー・フレネ =====

----- VOL/0750----- 2003/10/29

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

- 1. トピックス！
- 2. ミーティング 新宿
- 3. JFFに向けて 熊谷

=====

今日はなんの日
 1951 日本人初のプロレス試合開催(力道山VSブランズ)
 今日の花言葉
 むくげ「デリートな美」
 今日是谁の誕生日
 石川啄木(歌人 1886)
 今日の名言
 「人間の苦しみや悲しみで、人間の戦い得ないものはないのだ」
 椎名麟三

- 1. トピックス！
 木幡の新著、11月中旬発売！
 9月に出版した『『学ぶ力』がグングン育つ学習法』(PHP研究所)が生協のルートでも販売開始！
 11月には、やはりPHP研究所より「子どもの発想力を育てる『なぜ？なに？』科学教室」(仮題)が出版されます。科学パズルや実験、算数的もの作りが満載！
 乞う、ご期待！
 北海道・岩見沢市で授業！
 11月4日(火)、北海道岩見沢市のフリースペースで木幡が授業します。詳細は、後日！来てね！

2. ミーティング 新宿
 今日は、ノートを開きながら簡単にミーティング。内容はJFFについて。先日のFSCFの準備でほとんどは手がつけられている状態。何が足りないかを確認。

「うどん、どうする？」

「...。やりますか。」

決定。

その後は、JFF独自のイベントについて。

「紙芝居、またやるよ。」と、りょうすけ。

「じゃあ、違う紙芝居、やるよ。」と、木幡さん。
 「正太郎君が来るって言ってたから。」と、ギターも。
 「他にも何かないかな。みんなできそうなやつ。」
 「腕相撲大会とか。」
 「指相撲も！」
 「カルタは？」と、ちせちゃん。グッドアイデア！
 そんなで、今年のJFFはイベント目白押しになりそうです。お客さんも含めてみんなでワイワイやろうね。間髪入れずに準備で大変だけど、あと一息！

3. JFFに向けて 熊谷

昨日の代休から一日明けて今日からまた始まり。雨降りの天気だけれど、元気な顔が揃う。先週は一週間がんばったので今日はひと休み。けれど、JFFは目前なのでカルチャーフェスタのよかった点と次へ向けての作戦会議。

「角煮はもう少し多くてもよかったね。お昼前には完売だったし。」

「煮たまごの色がよかったよ。」

「けど、少ししょっぱかったよ。」

「爪楊枝があったほうがよかったかも。肉が歯に結構詰まるんだよ。」

「ジュースは、ちょっと多かったね。」

「コーヒーはまた売りますよ！けど、5つぐらい売っている人がいたからなあ、ライバルが多かったよ。」

「魚釣りはよかったねえ。」

「かい君の魚の絵売れるんじゃないの？」

「廊下に張る看板をもっと作った方がよかったね。」

お互いを誉めあう。実際に売ってみてわかってきた点もたくさん。

「コーヒーは、砂糖はあまり使われなかったけれど、ミルクがたくさん出たよ。」

「ぼく、パズルとかもいいんだけどなくしちゃったりするから、すぐ遊べるものの方がいいなあ。」

「キャンドルは結構よかったけれど、お家でも楽しめる柔何角形とか針金くんみたいなものもいいかも。」

「針金くんは、その場で注文を受けてから売るのでいいかもしれない。それと、結構簡単な方が売れたよ。」

「お家で作れるように針金くんキットみたいにしてみたいかもね。」

「魚釣りはもうちょっとルールきちんとしないと...。」

みんなで感じたこと、こうした方がいいところなど、思いもしないような点が指摘されたり。実際に自分でやって感じたことだから説得力もある。話し合いは白熱気がつけば一時間を回っていた。けれど、

あつという間で疲れは感じなかった。話し合いがよいほうに回った証拠かな。

「JFFはどうしょ？」という声に、

「また、やろうよ。」「ダンボールのまた作るね。」

「あたし、クッキーを売りたい！」

と意欲的な声も。

JFFまで一週間もない。今回の経験を生かして行きたいね。もうひとふんばり一緒にがんばっていこう。

=====

===== デイリー・フレネ =====

----- VOL/0751----- 2003/10/30

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

- 1. 木幡の「お授業」 in 岩見沢・北海道！

2. 大好評の「柔軟角形」作り 新宿

3. ビートルズを歌います! 熊谷

=====
 今日は何の日
 1952 シュバイツァー(独)ノーベル平和賞受賞
 今日の花言葉
 ロベリア「悪意」
 今日是谁の誕生日
 ディエゴ・マラドーナ(サッカー アルゼンチン 1960)
 今日の名言

「事実がわかっている間にも前進することだ。やっている間に、事実もわかってこよう」

フォード

- 1. 木幡の「お授業」in 岩見沢・北海道!
 11月4日(火)、北海道の岩見沢市で授業を行います。会場は、フリースペース「ユリーカ」。
 札幌近郊の皆さん、ぜひ、来てね!

コハタマンのおもしろ授業

日時:11月4日(火)午後1時30分~3時30分
 内容:定番「大根切り」!

水物特集「ジャガイモは水に浮くか?」
 「トルネード!」
 「シャボン玉の科学」

その他多数。乞う、ご期待!

授業後、大人の話し合いを持ちます。

会場:「IPC ユリーカ」

北海道岩見沢市春日町4-19-2
 電話・ファックス 0126-22-6431
 開室時間 平日10:00~15:00

「場所は住宅街のなかで、初めていらっしゃる人には分かりづらい場所です。事前にお電話いただければご説明します」、とのことですよ。

2. 大好評の「柔軟角形」作り 新宿

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>

JFF準備開始! - 柔軟角形

ぼちぼちということで準備開始。今日は材料がすべて揃っている柔軟角形作り。

お昼を食べた後からみんなも一緒に。

「これ、また作るの?めんどくさいんだよね。」

そう。いろんなパズルの中でこれが一番手間のかかるもの。1時過ぎから始めて4時過ぎまでぶっ通し。

だんだんみんなの口も止まらなくなってくる。

「ぼくには、彼女いるんだ。」なんて仰天発言も。

「今度の文化祭に連れておいでよ。」

「無理だよ。今オーストラリアに行っちゃってるから。」

「...。遠距離かぁ。」

「ところで、テッシーには彼女いないの?」

「そういうこと言うなよ!かわいそうだろ!!」

そのフォローもまた空しい...

途中からはもう訳の分からないテンション。はっちゃけていました。気がつけばスペースのみんなが同じ話で笑っていました。賑やかな作業の中、材料分はすべて完了!

金券作りも

「ねえ、金券もやってくれないかな?」

「丸とか切り取りづらいのでもいいならやるよ。」

「いやいや...。そういうんじゃないかと...。」

柔軟角形作りが一段落してくると、まっ君が作ってくれました。

「フォント、どうなのがいいかなあ。」

「んー、任せるよ。」

「そういうのが一番困るんだよねえ。」

といいながら、いくつかのサンプル。それを見て形は決定。

「10枚で一綴りだから、準備しやすくしてほしいな。」というリクエストにしっかり答えてくれました。

準備するものは少ないし、一度手をつけているものばかりだから順調。気がつけば目の前に迫っているけれどこの調子なら大丈夫だね!

3. ビートルズを歌います! 熊谷

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>

ビックオコゼ

「ダンボールの工作をやるんだ!」

と朝からダンボールに向かうかい君。FSCFでは、「これ売ってくれないかな?」とお客さんもいたほどの作品。夏前に作り始めたころはカッターの使い方もぎこちなかったけれど、今ではとてもうまくなった。

型紙を大きくコピーして大きなオコゼをせっせと作るかい君。帰るころには両手で抱っこするほどの大きなオコゼの完成。

「見てみて、こんなにぶっといの。」

と見せるオコゼの厚みはすごい。

「今度新宿にもっていく?」

「持ってこようかな。」と。

JFFでは是非見てね。

クッキー

「あたし、JFFクッキー作りしたいな。」

とあすちゃん。早速今日はお家にあるお菓子の本を持ってきて、材料の計算。

「このクッキーはサクサクしてておいしいの。」

と解説も。何度も作ったのが伺える。当日はおいしいクッキーが届けられるといいな。

歌う!?

あれこれ作業をする時に作業の邪魔にならない程度の音量で、みんなの了承を取って流されている。最近の定番はビートルズ。行き詰まる作業も、流れてくる音楽で和む。

かい君は自分なりに聞こえてくる歌詞でのりのりで歌っている。

イエローサブマリンは、「ぎょうぎ焼き」に聞こえるらしく、イエローサブマリンになると、

「ぎょうぎ焼き、ぎょうぎ焼き。」の歌声が。

「JFF、てっシーのギターで歌ってみるかねえ。」

とひょんなひと言から、話が盛り上がる。

「歌いたい。」

「1人じゃなかったら、いいよ。」の声多数。

なら、せっかくだし歌ってしまおうかと電話でてっシーに確認。

そんなことで、歌うことになりました。

・Let it be

・Top of the world

・All you need is love
JFF 直前3日前。間に合うのか!?

=====

===== デイリー・フレネ =====

----- VOL/0752----- 2003/10/31

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

1. 第4回ジャパンフレネフェスティバル開催!
2. JFF 最後の追いこみだけれど疲れ気味
3. 熊谷は元気です JFに向けて...

=====

今日はなんの日

1993 リバー・フェニックス(俳優 米)が死去
あの「スタンド バイ ミー」は何度見てもいいなあ

今日の花言葉

カラー(かいり)「熱血」

今日は誰の誕生日

飯島 愛(1972 A型)

蒋介石(政治家 台湾 1887)

灰谷健次郎(作家 1934)

今日の名言

「人は両端の燃えているローソクのようにでなければならない」

ローザ・ルクセンブルグ「強者の行動訓」より

- 1. 第4回ジャパンフレネフェスティバル開催!
第4回ジャパンフレネフェスティバルのご招待状をお送りいたします。先週のフリースクールカルチャーフェスタに続き2週連続の行事でかなり疲れ気味ですが、今年最後の大きな行事、頑張ります。お知り合いをお誘い合わせの上、ぜひ、おこしください。

【第4回ジャパンフレネフェスティバル】

日時:11月2日(日)午前11時30分~午後3時30分

会場:新宿ジャパンフレネ

内容

模擬店

おでん、トック(韓国風お雑煮)、お握り、豚の角煮、クッキー、飲み物

販売

パズル各種(アフリカンボール、32円パズル、トリックスティック)、われないシャボン玉、柔軟角形、エッグキャンドル、針金滑り台

イベント

12時30分:紙芝居(りょうすけ&ちせちゃん、木幡)

木幡のおもしろ科学マジック

13時30分:歌謡ショー(熊谷合唱団、テッシー&正太郎)

14時00分:不用品たたき売り

14時30分:大カルタ大会(参加自由、賞状・賞品付き!)

2. JFF 最後の追いこみだけれど疲れ気味

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>

フェスティバルの最終追い込みだけれど、子ども達は疲れ気味。そりゃあそうだ。2週続けての行事だもの...

今日は朝からお花作り。

「これ、綺麗でしょ?」と、りょうすけが差し出したるやカラフルなお花。ちょっとした楽しみ。みんな同じじゃつまらないもんね。

「どのくらい作るの?」

「んー、できるだけ。」と、あいまいな返事をしたのだけれど、気がつけば机の上はお花だらけ。

すごい!

その後は、割れないシャボン玉作り。コレはもう定番。最初だけ一緒にいれば、あとはみんなにお任せ。材料分全部が出来上がり。

その横でぼくは一日ギターの選曲。

「ブルさん、これどう?」と、ジーコや山ちゃんがいろいろ調べてくる。

「やっぱ、尾崎でしょ?」なんて『15の夜』とか。

ちょっと歌ってみるけど、

「恥ずかしいな。こりゃ。」

んー、ぼくも尾崎豊は卒業かぁと実感。

気がつけばみんなでワンヤワンヤ歌を歌っていました。大きい声が恥ずかしい子も、口ずさんでいたり。だから歌って好きだな。

当日、熊谷の子とは合唱。歌はテクニックよりも気持ち。自分が楽しんでやるのが一番。気楽に楽しくやろうね!

3. 熊谷は元気です JFに向けて...

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>

へびの卵

「俺、へびの卵をつくるんだ。JFFで売る。」

と朝、かい君が宣言。

へびの卵はJFFのお楽しみ。

もの作りハンドブックに作り方が載っていたけれど、「いや、これはちょっと...。」とかい君の思い描くものとは違うご様子。うまくことばでは表せないようだけれど、彼の中にはしっかりとした完成図があるようだ。

まずは、材料集めから。

「ここには針金を使いたいんだ。針金みたいのってないの?」

「ここはこういう感じなんだけどなぁ。」と。

「こういうものならあるよ。」とフレネの中にあるもの

を取り繕う。

「よし、こうしよう。」とあるものでかい君は試行錯誤を始める。

「手伝うよ。」とあすちゃん。

「なんかすることない?」とユータ君も助っ人。

「ここは、かい君こうしたほうがいいんじゃない?」

「この大きさでどう?」

とみんなでオリジナルへびの卵を作る。

「かい君、ここはどうしたら言いの?」と言う声には、「ここは、こうだよ。」

「しゅん君はこれをこうして。」

とかい君がテキパキと指示を出す一面も。

今までにないものを作るのには、とてつもないパワーを使う。作り終えたかい君もお疲れの様子。

けれど、一度決めると、

「遊びにいかない?」と言う誘いもそっこのけ。

「いや、俺はこれをする。」と最後まで。

そんなかい君の姿に脱帽。

へびの卵是非お試しあれ。

歌う!ーその2

昨日の話の中から決まった、JFFで歌うこと。
 今日は作業の合間にもビートルズが流れる。
 あすちゃんは歌詞を覚えようと、歌詞カードと
 にらめっこ。
 「もう、自分の世界に入り込んでしまっているよ
 ね。」とのりのり。
 さびの部分はばっちりのかい君。
 「イエローサブマリンってさノリはいいけれど、
 歌詞をよく読むと変な歌だね。黄色い潜水艦、
 黄色い潜水艦ってさ。変なの。」
 それをいいたらおしまいよ。
 「そういえば、潜水艦に持ち込めないものが
 あります。なんでしょう。」
 とエリ君からなぞなぞ。(答えはなんでしょう?)
 話は横道にそれながら、口ずさむ。
 「ダビングしたの持って帰って家で聞きたい。」
 という声も。
 JFFは目前。みんなで楽しくやっついこうね。

 デイリーフレネは月～金の平日刊です。10月
 の体育祭やフリースクールカルチャーフェスタ
 の代休のため、ジャパンフレネは11月4日(火)
)～7日(金)までスペース閉鎖となります。
 そのため、デイリーフレネもお休みとなります。
 11月10日(月)にお会いしましょう!
 ジャパンフレネフェスティバルに、ぜひ、お越し下
 さい!

==== デイリー・フレネ =====
 ----- VOL/0753----- 2003/11/10

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

- 1. ジャパンフレネフェスティバル成功!
- 2. お便り2本です 湘南・沖縄
- 3. 11月のジャパンフレネ

=====
 今日は何の日
 1900 軍艦三笠の進水式
 今日の花言葉
 プリオニア「拒絶」
 今日のは誰の誕生日
 原日出子(1959 女優)
 糸井重里(1948 コピーライター)
 今日の名言
 「逆境こそが学校である。但し、それが学校だとわ
 かるのはそれを卒業したあとである」
 詞集「たいまつ」むのたけじ

- フェスティバルの後の代休...。久々のDFです。
- 1. ジャパンフレネフェスティバル成功!

http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm
 11月2日(土)第4回ジャパンフレネフェスティバル
 が行われた。詳細は上記のURLにアクセスしてく
 ださい。懐かしい人がフェスティバルに来てくれた。
 「あ!木幡さん!案内をいただいたので来ましたよ」
 明星学園時代の教え子、コバタケ君。彼は6年生の
 時、イギリスから帰ってきた帰国子女。

クリスマスの時、壁にかける箱を持ってきてくれた。
 その箱は押すと四角な穴があき、その中に小さなお
 もちゃが入っている。イギリスではクリスマスの1ヶ
 月前からその箱を飾り、毎日1つずつ穴をあけて、ど
 んなおもちゃが出てくるか楽しみにするそうだ。そ
 して24日には天使が現れる仕組みになっている。さ
 っそく、その箱を教室の壁にかけた。
 翌日、教室に行ってみると、コバタケ君と何人かの男
 の子が取っ組み合いの大喧嘩。「だって、だって...」
 泣きじゃくるコバタケ君の指差すほうには、すべて穴
 があけられてしまったクリスマスの箱が...。
 クリスマスまで待ちきれなくなった悪がき連中が全部
 穴をあけてしまったのだ。
 「そんなこともありましたねえ」と、コバタケ君。
 「今日、ここに来て良かったなあ。今の子ども達の様
 子もわかったし、なんか癒されたなあ」
 終了まで楽しんだ33歳のコバタケ君でした。
 2週続きの行事はきつかったなあ。ようやく平常に戻る
 フレネです。

2. お便り2本です 湘南・沖縄
 湘南サタディースクールに参加しているゆうき君の
 お母さんからのお便りです。湘南サタディースク
 ールでは月に2回楽しい実験や授業をしています。

-----以下、転載。
 『学ぶ力』がグングン育つ学習法』を楽しく読ま
 せて頂きました。「海亀のスープ」は怖かったです。
 影山民夫の勿体ぶった本まで読んでしまいました。
 木幡先生が「ウルスリの鈴」を読まれていたなんて...
 だいたい前にうちでもベッドタイムに子ども達に読み
 ましたが印象は薄いかも。絵もいいですし、私は好
 きな絵本でしたが...。今度、是非『アニメーション』
 なるものを授業でやって下さい!
 ゆうきのクラスで小学校6年間、読み聞かせを有志の
 保護者とやってきました。あと、弟の方が1年半で終
 わります。今年は長編「モモ」(ミヒヤエル・エンデ)
 を読んでいます。

この間、松井直氏の講演の中で、中学になっても読み
 聞かせは良いと伺いました。たまたま「竹取物語」を
 ゆうきが国語で読んでいたので口語訳の絵本を1時間
 ばかり読んでみたら弟の方が面白がって聞いていまし
 た。なぞなぞと宇宙人の来訪ですもんね。
 いつだったか、「ゆうきくんの好きなことやらせてく
 れる学校あるよ」と、木幡先生仰っていましたよね。
 学校名を教えてください!忘れてしまいましたので。
 ではまた、サタディースクールにて宜しくお願い申し上
 げます。

-----以上、転載終了。
 続いて、もとボランティアのウッチ! 沖縄は西表
 島からのお便りです。
 -----以下、転載

立て続けにイベントごころうさまでした!大成功だ
 ったみたいでよかったみたいですね。去年の今頃を
 思い出しますよ。
 僕は今カーナビの仕事をしています。ピナイサ
 ーラの滝ヘカーナビを使って行くツアーのガイドの仕
 事です。マングローブの中を漕いでいるととても日
 本とは思えません。
 静かな時間の中でただただ自然の素晴らしさに心打

たれる日々です。人間としてのパワーを得ることが
できるような気がします。病んでいる子ども達にぜ
ひ味わってもらいたいなぁと思います。フリースク
ールと自然学校の融合、できないかなぁ～
この先ですが、12月末に一度親元(九州)に行き
、家の仕事を手伝った後、1月末頃に上京しようか
なと思っています。それから、次のステップへ向け
て準備しようと思います。

-----以上、転載終了。

3.11月のジャパンフレネ

大きな行事も終了し、2月の飛ぶ教室(スキー)ま
で平穏なジャパンフレネです。

8日(土)木幡、山梨教研に共同研究者として参加

9日(日)木幡、山梨教研に共同研究者として参加

15日(土)午前 湘南サタディースクール

午後 保護者会

13時 相談会(上智大学)

16日(日)13時 相談会(埼玉会館 浦和)

17日(月)木幡 神奈川教研に共同研究者として参加

22日(土)13時半 新宿BASIC(授業作りの会)

13時 相談会(国分寺ステーションビル)

mailto:----->:sinjyuku@jfreinet.com まで。

=====

e-mail : sinjyuku@jfreinet.com

URL : http://www.jfreinet.com

=====

===== デイリー・フレネ =====

----- VOL/0754----- 2003/11/11

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

1. 北の国から 「ユリーカ」からのおたより

2. ゆっくりな一日 新宿

3. ものづくり3連発 熊谷

=====

今日はなんの日

1984 シンボリルドルフ、菊花賞を制し三冠馬となる

今日の花言葉

つばき(白)「ひかえめな愛」

今日は誰の誕生日

ドストエフスキー(作家 露 1821)

レオナルド・ディカプリオ(俳優 米 1974)

今日の名言

「弱いのは、けっして恥ではない。その弱さに徹しえな
いのが恥だ」

島崎藤村

- 1. 北の国から 「ユリーカ」からのおたより

11月4日(火)、北海道の岩見沢市にあるフリース
ペース「ユリーカ」で授業してきた。ジャパンフレ
ネの「おもしろ通信講座」の会員・しゅう君が在籍
しているフリースペースなので、さっそく、「私の
お家はどこでしょう?」で地図を作る。

しゅう君が駅からフリースペースまでの道順を

200字の文章にし、それを讀んだ木幡が地図を

作る。当日は、それを見ながら場所を探す。

岩見沢市には行政の発表では70名の不登校児が
いるそうだが、保健室登校など含めると、その数はも
っと多いに違いない。

目がクリクリしたしゅう君をはじめ、多数の方(ボ
ランティア、保護者)が授業に参加してくれた。し
ゅう君の妹も学校を休んでの参加。

授業は、「おしてもならないブザー」「爆発」「シ
ャボン玉」「トルネード」「大根切り」などなど。
コーンスターチバーナーに散布すると「パワー!」
とのすごい燃焼!「すごい!」「やりたーい!」
それではしゅう君のおかあさんさん、なつさんか
らのお便りです。

-----以下、転載。

昨日は、本当に楽しい授業をありがとうございました。
娘は帰ってから興奮状態で、「赤・青・黄の
スイッチ」を紙に書いて、どういう仕組みで音が鳴
るかを、こんこんと説明してくれました。

私には理解不能でしたが、「これが、こうなって、
こうなるから...つまり...だから...」と知っている言
葉を駆使していました。そして、「木幡さんの授業
のときは学校を休む!」と宣言。周に「いや、いつ
もあるわけじゃないから」と諭されていました。
周は、今日もユリーカで実験の続きをやりました。
昨日来なかった子どもやスタッフに、いろいろと得
意げに説明していました(私も同じでしたが...)
みんなが「へえ～」と驚くときの快感がくせになり
そうですね。

ロートを使う爆発の実験、もう少し大きいドームを
針金とラップで作ってトライしてみましたが、ろう
そくの火でラップが溶けてしまい、今日はいま
きませんでした。何か代わりになるものがないかな
あと考えています。

木幡さんを見ていて、「自分が楽しいことを...」の
意味が実感できました。これから周と「おもしろ通
信講座」をやるときの心構えがほんの少し、分か
つたような気がします。

これからもどうぞよろしくお願いします。

第2信

フィルムケースを使った爆発の実験がうまくいきま
した。

圧電ボン

フィルムケースの中に圧延素子からリード線を引
いた端子を組みこむ。中に、アルコールを1滴入れ
スイッチを入れると...

なかなかうまくいかず、今度も無理かなあと油断し
ていたため、とても大きな音にびっくりしました!

-----以上、転載終了。

呼んで下さい!いつでもどこにでも授業道具を持
って、馳せ参じる木幡です。

2. ゆっくりな一日 新宿

http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm

行事立て続けの毎日から一休み明けての今日。久し
ぶりに集まるみんな。お土産を持って来てくれたり
と、休み中の様子もチラホラうかがえました。

そろそろ大検も近いということで、その勉強をし
たり。それぞれのペース。

「なんかしょうか。」ということで糸電話作り。ヨ
ーヨーの余り風船と紙コップを使って、4人同時の
糸電話作り。出来上がって試してみるけど、なか
なか上手く行かない。

その横で、黙々と二人用の糸電話をつくるたかちゃん。こちらは成功！
 「ちゃんと糸を張らないと聞こえないんだよ。」
 これも一つ可能性を含んでいる知恵だね。
 その後も、「なんかみんなでやろうよ。」という
 ことで、カルタ大会。
 雨ということもあり、みんなでフレネに残ってゆ
 っくりな一日。だけど、気がつくとは外は真っ暗の
 時間。「さあ、もう遅いから帰ろう。」
 あっという間に今年も終わっていってしまいそう
 だな。

3. ものづくり3連発 熊谷

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>

りんご飴

文化祭の準備で、久々の日常。みんなパワフル。
 あれやこれやと、ものづくりが3連発。
 「これ作りたい！」
 とものづくりハンドブックを指差す。「りんご飴」
 「お祭りで食べるのがおいしいんだよね。」と。
 飴を作って、りんごにコーティング。りんごに割り
 箸を刺して、鍋を覗きながら飴の完成を待つ。
 みんななわくわく。
 ところが、最初は砂糖が再結晶化してしまい、こり
 や失敗。
 「なんかちょっと...。」「雪りんご...。」
 「また溶かせばいいんじゃない。」と再びチャレ
 ンジ。二度目は見事に成功！
 みんなでりんご飴を頬張る。
 「やっぱり、お祭りのとは違うね。」
 けれど、みんなペロっとりんご1個がおなかの中。
 毎日りんご1個食べると医者要らずとか。
 寒くなってきたけれど、元気にいきたいね。
 残った飴で、べっこう飴も！二度おいしい。

スライム

「スライム作りたいんだ。」
 今日は盛りだくさん。何度か作っているから、みん
 なお手の物。お互いに、教えあっている。私は無理
 そうなところをサポートするだけ。
 「この前はここで失敗したから。先にこっこの粉を
 入れるといいんだ。」と失敗から、学んでいる。
 「出来た！出来た！」と喜んでいたら
 「ああ。」とみんなの声。
 「天井にくっついた。」って笑うユータ君。
 「くもの糸みたい！」
 垂れてくるスライムを見てあすちゃん。キャピ。キ
 ャピ。「・・・。」
 楽しんだ後は、もちろんきれいに片付けてくれました。

ポップコーン

ポコポコはじけるのがおもしろい、ポップコーン。
 透明のふただから、どのようににはじけているのか
 がわかって楽しい。りょう君、きぐちゃんが作った。
 パターの味が香ばしい。
 おなかも満腹。盛りだくさんな一日でした。
 一週間何してた？
 久々に顔を合わせると、話も弾む。長かった代休、

みんな何をしていたのか。
 「『へえ』のボタン買うのに熊谷中自転車で走り回
 ったよ。」
 「畑行った。」
 「DVD観たよ。」
 「芋堀して、サツマイモたくさんとったよ！」
 みんなそれぞれ、楽しんでいた様子。
 「でも、暇だった。」
 「休みはちょっと、嫌だな。」
 一息ついて、残りの2期をたのしみましょ。

=====

===== デイリー・フレネ =====

----- VOL/0755----- 2003/11/12

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

- 1. フレネな子ども達 みんないるととても楽しい！
- 2. 机の修理 新宿
- 3. 選挙ってなあに？ 熊谷

=====

今日はなんの日

1948 極東国際軍事裁判で戦犯25名に有罪判決

今日の花言葉

一文字菊「貞節」

今日は誰の誕生日

孫文(1866 革命家)

ロダン(1840 芸術家)

今日の名言

「青春時代とは、問題のないことが異常なのである。問題が
 あるほうが正常なのである」

加藤諦三

- 1. フレネな子ども達 みんないるととても楽しい！

山梨県から新会員！たころう君は朝6時ごろ家を出
 て、新宿まで通う。新しいお友達を迎えて、元気な
 子ども達の様子を紹介しましょう。

不気味な赤ん坊

ジャパンフレネのパザーで木幡がゲットしたお気に
 入りの一つ。手のひらに乗る硬質プラスチックで
 できた赤ん坊の人形。

口に哺乳瓶を差し込むと...

「木幡さん、これ貸してよね」

りょうすけが赤ん坊の口に哺乳瓶を差し込むと、

「フンギャー！フンギャー！」

「お腹すいてるんだね」

哺乳瓶をそのままにしておくと「ごっくんごっくん...」
 とミルクを飲む音。離すと「フンギャー！フンギャー！」
 ずっとミルクを飲ませていると「ふふふ ふふふ」と赤
 ちゃんの笑い声。

これの繰り返しで音声が切れる。

りょうすけ、「赤ちゃん、死んじゃった！」(爆笑)

木幡とりょうすけで毎日赤ちゃんの争奪戦です。

ダーツ、流行る！

好きなことを書き込み、回転させてマグネットの矢
 をあてるダーツがフレネで流行っています。たかち
 ちゃん、たころう、りょうすけの三人でもう夢中。何
 を書き込むかわいいわいやっています。

「木幡さん！のぞみの500系が当たった！」

「どうしよう、フレネが当たったよ！」

「おれなんか、たわしばっかり当たるの」
 当たるたびに報告に来る三人。それを見ていたさきちゃん、「何が楽しいんだろうねえ？実際に当たるわけでもないのに。同じ年なのに、片やダーツで大騒ぎ。片や静かに本を読んでいるすみれちゃん。とっても、同じ年とは思えない！ねえ、すみれちゃん！」
 静かに本を読んでいたすみれちゃん、「くっくっくっ」と笑う。

みんな小6 なんですよ！
 やる気満々！

携帯電話の音。
 「木幡さん、今日、数学教えてほしいんです」
 やまちゃんからだ。
 大検に受かり、来年の大学受験をにらみ、予備校にも通い出した。
 「三角関数教えて。通い出した時には、すでに講座が始まっていて、途中からだについていけないんだ」
 やるき満々のやまちゃんです。

2. 机の修理 新宿

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>
 今日は朝から大仕事。この前から気になっていた机の足の交換。何のことはない作業だと思っていたけれど、これが大変。古い足を取り外して、新しい足をつけて...と、ここまでは順調。
 だけど、梁をはろうとしたところで大苦戦。最初から一緒に頑張ってくれていたのはジーコ。ボラ・中野さんと一緒にあれやこれやと、アイデアを出し合う。

気がついてみればお昼過ぎ。
 「これは一日仕事だな。」とっていると、
 「梁、なくてもいいんじゃない？」という木幡さんの一言で終了。なんとかミーティングにも間に合いました。

手伝ってくれたみんな、ありがとうね！
 - - - - -

実はこのテーブル、フレネの前の粗大ゴミ捨て場にあったものを木幡が腰痛にもかかわらず、必死になって運んできたものです。
 捨ててあるもの拾うのは、なんとなくみっともないので、一気に運びました。火事場の馬鹿力と同じですね。今は、とてももてない...。

ミーティング

今日は議長・木幡さん、書記・さきちゃんでした。
 内容はお散歩・お料理中心です。

お料理

11 / 13 カレーうどん
 20 ちゃんこ鍋

お散歩

11 / 14 大英博物館の至宝展
 21 ハイキング(日の出山)&温泉
 28 学食探検隊(立教大学)
 12 / 5 餅つき&ハイキング(飯能の先)
 12 鎌倉散歩(北鎌倉~鎌倉~江ノ島)

最終日(12 / 19)は終業パーティー。
 です。ちょっと遠出の散歩が多いけど、色んな景色を見て今年もおしまいになるかな。たくさん参加者、

待ってます！

3. 選挙ってなあに？ 熊谷

先週の土日は、衆議院選挙。テレビはほとんど選挙づくし。駅前での演説、車からの宣伝。みんなも気にならないわけがない。

「選挙番組で、見たいテレビがなくてやだなあ。」
 「道の周りを走っている車、すごくうるさいよね。」
 みんなにとっては、ちょっと迷惑そう。
 しかし、ただの迷惑なものではない。じゃあ選挙って一体なんだ？

「エライ人を選ぶんでしょ。」
 「たくさん点取った人が勝ちなんでしょ。」
 うーん。

選挙云々の前に、国のしくみ。
 「お散歩ここに行きたいな。こういうことやりたいな。こういうことが嫌だな。そういうことがあったらフレネならどうする？」

「提案する！」「話す！」
 週に一回のミーティングの場であれこれみんなで話し合うことができる。多くても9人の人数の少ない熊谷ならみんなで集まってひとりづつ話すことができる。じゃあ、もっと人数が多い場合はどうしたらいいだろう。「100人でお散歩どこに行きたいか決めるとしたらどうする？」

熊谷の少ない人数でも話がまとまらないことも当然のようにある。100人となったらどれだけ時間があっても決まらない。

「代表を決めて話し合うとか？」
 「グループに分けて話し合って、そこから話し合う？」
 「代表ってどうやって決めるの？」
 「！」

フレネの中のことでなく、国のこととなったら？と話を進めていく。どんな人が選挙ができるのはどんな人？「党」ってなんなの？話は広がって行く。フレネの日常を置き換えて考えてみると、みんなしっくり来るようだ。選挙が別世界の関係のないものから、少し身近なものになったかな。

それよりも、フレネでの日常は小さいながらもとても民主的。子ども達みんなが主役。改めて再確認。

mailto:-----> sinjyuku@jfreinet.com まで。

e-mail : sinjyuku@jfreinet.com

URL : <http://www.jfreinet.com>

===== デイリー・フレネ =====

----- VOL/0756----- 2003/11/13

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

1. 山梨・南アルプス市近郊の皆さんへ 木幡の講演
2. ディスプレー クリスマス！ 新宿
3. お散歩の授業 荒川の土手 熊谷

=====

今日はなんの日
 1981 沖縄本島北部で「ヤンバルクイナ」が発見される
 今日の花言葉
 こうすいばく「忍耐」
 今日は誰の誕生日

木村哉拓 (SMAP 1972 0型)

今日の名言

「家康の敗北の異化し方とは、次の機会までの力の蓄積の期間に転じることであった。ここに、敗けて勝つ秘法がある。柔よく剛を制するのである」

早乙女貢「風雲児列伝」

1. 山梨・南アルプス市近郊の皆さんへ 木幡の講演
南アルプス市立白根飯野小学校で木幡が授業と講演をします。山梨の皆さん、ぜひ、おいでください！

白根飯野小学校地区教育を語る会

日時：12月1日(月)午後2時30分～4時35分

会場：南アルプス市立白根飯野小学校

内容：『コハタマンのおもしろ授業』(2時40分から)

『家庭の役割 学校の役割』(3時25分から)

それぞれ100人規模の授業と講演です。

2. ディスプレー クリスマス！ 新宿

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>

今日は久しぶりにディスプレイの更新。今期最後の模様替えとなりそうなので、一足早くにクリスマス準備。

とは言っても新宿の町並みも次第とクリスマス気分。伊勢丹の入り口には大きな飾り付け。サンタさんの絵もたくさん。もう、そんな時期かあとしみじみ。「テッシーはクリスマスに、お母さんから何ももらうの？」

「おれはもう催促されてるよ...。」

プレゼントをもらえるっていうのは羨ましい。もう、そんな年じゃないしなあ、思っていると、

「私は去年もらいましたよ。いくつになってもプレゼントもらったら嬉しいでしょって言われて。」

とは、ボラ・えっちゃん。

んー、なかなかいいエピソード...

フレネにはちせちゃん寄贈の大きなクリスマスツリーがある。その大きさなんと150cm！そのツリーに並んだまっつあん、

「去年はおれのほうが小さかったのにな。おれ、背が伸びたよ。」

その通り。みんなぐんぐん大きくなっているよ。

でも、季節物で成長を実感できるって、なんかいいな。

ただ飾り付けをするだけではつまらないので、オブジェ作り。ちょっと前にぼくが見かけたものを、見よう見まねで。

これがなかなか大変！同じ形に切り取った紙を貼りつけていくだけの作業なんだけど、一つ一つにとても時間と神経を使うことに。ヤッキになって作り続けたのは大人。なんとか3つ完成！

明日ももう少し飾り付けをすれば完成。なんだかいつもと違う気持ちにさせるもんだなあとしみじみでした。

3. お散歩の授業 荒川の土手 熊谷

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>

今日の久々のお散歩は文化祭お疲れ様もかねて、お弁当をみんなで作ってお散歩へ。

お手軽なホットドックを作る。しゅん君は家で採れ

たレタスを持ってきてくれた。サラダにドレッシング。みんな手作り。昨日の雨はどこへやら。天気もいいし、わくわく。

公園でお昼。しかし、「ドレッシング忘れた...。」せっかく作ったのに。とほほほ。作ったばかりのホットドックを頬張る。

「外で食べると、やっぱりおいしい!!!。」

「げ、毛虫が足をはっている...。」

とそんな声も外だからこそ。ケヤキやイチョウも紅葉。天気もよくて、気持ちがいい。みんなで食べるからもっと気持ちがいい。

荒川の土手

お腹がいっぱいになったら、ひと運動。バトミントンはトーナメントで勝負。優勝はユータ君。みんなは、かい君に5点のハンデ。こういうことが自然と出来ている。見ていて微笑ましい。

空が高い。雲が走る。土手は一面のススキ。

春は花が咲き乱れていた桜堤も、今は紅葉。

のんびり歩いているだけでも、話も弾む。

雲がきれい。

「あれ何に見える？」

「ススキ雲！」とあすちゃん。すてき。

「いやあ、焼肉の煙雲。」とショータ君。

「お刺身の切り身が並んでいるように見える。」

スタ香織。食欲の秋だね。(といってももう終わり)

たまにはのんびりもいいね。

「競争しよう。」といきなりかけっこ勝負。う--。

体が痛い。

ブラネタリウム

「ブラネタリウムみたいな。」とショータ君。

土手のすぐ近く。入館料も100円だしということで、ボラユキちゃんとりょう君、ショータ君、かい君はブ

ラネタリウムへ。

「なんか思ったよりも、つまらなかったよ。」

と戻ってきたかい君。

「なんて言ってるけど、かい君1人でクイズに正解したりしていたし、真剣に見ていましたよ。」

とボラユキちゃん。

これから空気が澄んで星がきれいに見える。

冬の夜空を楽しむのもいいね。

=====

===== デイリー・フレネ =====

----- VOL/0757----- 2003/11/14

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

1. 大英帝国博物館の至宝展...100分待ち！

2. 新宿VS熊谷お料理対決

3. ジャパンフレネあれこれ

=====

今日はなんの日

1930 マレーネ・ディードリヒ(独 女優)主演のハリ

ウッドデビュー作「モロッコ」が完成

今日の花言葉

松 「不老長寿」

今日は誰の誕生日
 チャールズ皇太子(英 1948)
 ネール(政治家 印 1889)

今日の名言

「あえて馬鹿に見せるということは大きな知恵である。
 だが、そのためには、私にはいつも欠けていたある種の
 勇気を必要とする」

ジード

- 1. 大英帝国博物館の至宝展...100分待ち!
 携帯にメールの着信音。開いてみると...、「なんと
 100分待ちです。実際は、もっと並びそうです。決
 行組と国立科学博物館組にわかれまして」と、テッ
 シーから。そうか!
 そうなんです!本日のお散歩は、上野。初日に木幡
 が見に行った時は、30分待ち。平日だから大丈夫と
 思っていたのだが...。
 11月14日(金)は、埼玉県民の日ということで、埼
 玉県の学校はお休み。埼玉県民がどーとなだれ込
 んできたのかもしれない。
 お散歩の授業では、行った先で何か記念になるもの
 を買ってやることになっている。今回は、南海堂の
 フィギアを頼んでおいたのだが...、嫌な予感がして
 きた...

18:25分、テッシーから悲しいお知らせ...

「ちなみにフィギアは品切れでした」

2. 新宿VS 熊谷お料理対決

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>

お料理-カレーうどん(新宿)

今日のお料理はカレーうどん。

「ついこの間作ったよね?」

そう。そんな気もする。だから全てがあっという間。
 買い物が終われば切るものは鶏肉とネギだけ。
 それを鍋に入れてグツグツ。フレネの中はカレー
 のにおいでいっぱい。カレー粉を入れて、とろみを
 つけて味見。

「何か足りなくない?」と、木幡さん。

ぼくとさきちゃんも味見。

「んー、塩気じゃない?」

醤油を足して、塩を足していろいろ試行錯誤。湯
 気が立っているおたまをぐるぐる回しているさき
 ちゃんを見て、

「魔女みたい!」なんて、おしゃべりをしている間
 になんとか完成。

お味のほうは、

「結構、おいしいんじゃない?」と言いながら、

「ゴホゴホッ」ってむせちゃったり。

だけど、15人前のうどんが完売ってことはおいし
 かった証拠だね。片付けもみんなを中心に良くで
 きた!

お料理の授業 牛井(熊谷)

今日は牛井と卵とジャガイモの味噌汁にりんごの
 デザート、キャベツの塩もみ、サラダ。牛井定食。
 玉ねぎと肉を炒めて調味料でぐつぐつ煮たら
 出来上がりのお手軽メニュー。

手分けをして、みんな取り掛かる。

玉ねぎを切りながら、目がウルウルのかい君。

「こんな時は、鼻にティッシュを詰めるといいんだ」

とティッシュを鼻に詰め込みながら玉ねぎと奮闘。
 今日はお肉を奮発!

「わぁ、パックじゃなくてこんな包みに入っている
 のって、見たことないよね。」と感動している。

何品も作ったけれどあっという間に完成。

「もうやることないの?」

「いつもよりすっごく早いね。」

早くできたけれど、もちろんお味もバッチリ。牛井
 がとってとっておいしかった!

お鍋もあっという間に空っぽでした。

3. ジャパンフレネあれこれ

ミッキーマウス??(新宿)

近くのスーパーで、ミッキーマウスの絵を描いたら
 お菓子をくれるという企画。それを知ってボラ・な
 おちゃんは用紙をたくさん。

さっそくみんなでミッキーのお絵描き。

りょうすけは上手にミッキー。(見てわかる)

だけど、あとは「ハァハァ」言ってるミッキー、下
 着姿のミッキー、ドラえもんみたいなミッキー...

「ちょっと恥ずかしいなぁ。」とは、木幡さん。そ
 んな言葉にもめげずにお店に出しに行ったみんな。

帰ってくると、

「こんなにもらっちゃった!」と袋にいっぱいのお

菓子。「お店の人、どんな顔してた?」と、聞くと、
 「苦笑いでしたよ。」

しっかりお菓子はいただきちゃいました!

セラマットパオさんへ(熊谷)

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>

熊谷フレネから5分程度の場所にあるエスニックギ
 ャラリー「セラマットパオ」水野さんから紹介して
 もらったお店。

パオさんのHP

<http://www.selamatpau.com/>

赤道を中心として南半球のアフリカ

アジア諸国の衣料・グッズ/人形・模型・雑貨/
 工芸品・民芸品・陶芸品などなど店中に所狭し
 と商品が並んでいる。ちょっとした博物館並み。

「もう現地でもない商品もあるんだよ。」とのこと。
 何時間見ていても飽きないほどおもしろい。

子ども達を連れてきたいなぁいつも思っていた。
 社長のしんさんと話をしていたら、

「連れておいで!」

子ども達に提案をしたら、「行く行く!」

早速今日みんなで行ってきました。

What is this???

アフリカの珍しい水筒、楽器、興味あるものがたく
 さん。しんさんと事前に打ち合わせをし、「はい・
 いいえ」クイズをすることに。「これは一体何だ?」

というものを、しんさんに質問して、正体に迫る!
 「これは、今の日本でも使われているものですか?」

「はい。」

「武器として使うものですか?」

「いいえ。」

などなど、やり取りを続ける。正体がわかった時は
 嬉しいし、どのように使われているか、作る過程な
 ど説明も加えてもらうと「へえ~。」の声。

「自分の興味を持ったものに触って、いろいろ感じて。どんどん質問してね。」と。みんな目を輝かせる。普段は触ることの出来ない、アフリカのハーブ（名前を忘れてしまった...）も特別に触らせてもらう。

「すごい。こんなものがあるよ。ひょうたんの楽器」とかい君は動き回る。

ボール型のおもしろパズルを

「やってみて！解いてごらん。」の声に、みんな真剣。「解けた！」と喜ぶ顔。きぐちゃんはこのパズルを購入。

物珍しい商品やしんさんとのやり取りに時間の経つのも忘れるほど。あっという間の1時間。

「もう、こんな時間になっちゃったの？」とみんな。今日は、名残惜しいけれどお礼を言ってこれにておしまい。また行きたいね。

=====

===== デイリー・フレネ =====
----- VOL/0758----- 2003/11/20

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

1. 木幡、ダウン...
2. 木幡がいなくてもお授業
3. 今週は熊谷も行けません、しかし...

=====

今日はなんの日

1971 日活ロマンポルノ第一作

「団地妻・昼下がりの情事」が封切

今日の花言葉

うしのしたくさ 「真実」

今日は誰の誕生日

萬屋錦之助（1932）

今日の名言

「行動だよ。何もしないで、ある日突然潜在能力は現れはしない」

勝沼精蔵（解剖学の大家）

- 1. 木幡、ダウン...

16日（月）の神奈川県教研（相模原市）から帰ってくると、身体が重い...。熱が出る前兆か、関節も痛くなる...。夕方6時から布団にもぐる。

予感はお中...。さほど高熱ではないが、下痢を併い、持病の腰痛もひどい。火曜・水曜と完全に死んでいました。ようやく熱が引いたのでパソコンの前に座っていますが、まだ、ふらふら状態。

スタッフ・手島君に連絡し、今週いっぱい自宅療養とすることにしました。

そんなわけで、デイリーフレネは、本日分をのぞき来週までお休みさせていただきます。いろいろご迷惑かけます。

疲れがどっと出たようです。季節の変わり目、みなさまもお気をつけ下さい。

2. 木幡がいなくてもお授業

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>

漢字の成り立ち

プリントされたのは、漢字の原型となった象形文字。現在では、どの漢字になっているのかというクイズ。

「なんだこれ？ぜんぜんわからない」

「これは、簡単。」

わかりやすいものとわかりづらいもの、両極端。

二枚目のプリントは、さらに漢字に近づいたもの。

「あれっ？これは違うかな？」

答えを変えるのはもちろんOK。漢字に近づくにしたがってはっきりとわかってくるもののほうが多いかな。

これを4回繰り返して、答え合わせ。

「漢字っていうのは、もともとは形を表していたもので...。」と、表意文字と表音文字の違いを簡単に。以前から気になっていたのが、漢字を「図形」のようにして覚えている子が多いこと。そうすると、どっかで間違えちゃうことが多い。さらには、部首とかの意味もイマイチってことも。

もう少し直接的に入っていける授業も考えなきゃといったところです。

平面から立体へ

紙に円。

「これを何とかして球に見えるようにしましょう。」

ということで、手には鉛筆。

「影を描けばいいんでしょう。」

机の上にはボールを置いて影がわかりやすいようにライトを当てる。

「何してもいいよ。」という言葉に、

「地球儀。」というたくろう。

これには脱帽。確かに地球儀の地図を写せば球体に見えるよね！地球儀も机の上に。

その後も、四角から箱型、三角から三角すい。濃い目の鉛筆を指先で伸ばしたりと、そのテクニックもすごい。すみれちゃんは、大人顔負けの上手さでした！

3. 今週は熊谷も行けません、しかし...

ミーティング

普段は金曜日にやっているミーティング。今日は変則的にミーティング開催。12月の予定などを決める。

みんなからもあれこれ提案。最終日はクリスマス会を行う事が決定。

「あたし実行委員やる！」とあすちゃん。

さっそく意見箱を作りました。

「プレゼント交換をしよう！」

「Xmasの歌が歌いたい。」

「ゲーム大会をしよう。」

みんなからもあれこれ。盛り上がるといいなあ。

やみ鍋委員会

来週のお料理は、やみ鍋。

「食べられないものいれなどこうよ。」

「どういう味にしようか。」

「自分の食べられないものは入れないようにしよう。」

やみ鍋のルールを決めようとやみ鍋委員会も結成。

おいしく食べれるといいね。

12月までの予定は以下のとおり。

お散歩

11月26日 大英博物館至宝展

12月5日 新宿と合同餅つき大会

10日 森林公園

17日 上野動物公園

お料理

- 11月27日 やみ鍋
- 12月4日 グラタン
- 11日 タンタンゴマ鍋
- 18日 鳥の丸焼き

体でしりとり

新宿に続いて、熊谷でもしりとり。しりとりでも、ただのしりとりではなく、ことばを使わずに体でものを表現して、相手に伝えていく。ことばでは、単語ひとつで伝わるものも、ことばを使わないで相手に伝えるのはなかなか難しい。体全体で表現。

かい君はなかなかリアル。

「うききききい。」

「あ、サル！」

「り、『り』が付くものってなかなかないよね。」

「リズム、ってあるけれど伝えられないなあ。」

みんな試行錯誤。人にものを伝えることは

なかなか大変。伝えるということを考えて行きたいね。

mailto:-----> sinjyuku@jfreinet.com まで。

=====

e-mail : sinjyuku@jfreinet.com

URL : http://www.jfreinet.com

=====

===== デイリー・フレネ =====

----- VOL/0759----- 2003/11/25

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

- 1. 教育研究集会にて...フリースクールと学校の連携
- 2. 新宿のお散歩 - in 立教大学
- 3. 熊谷のお散歩 ポーリング

=====

今日はなんの日

1970 三島由紀夫、自衛隊市谷駐屯地で割腹自殺

今日の花言葉

紅の椿「ひかえめな告白」

今日は誰の誕生日

吉本隆明(1924 評論家・ばなな父)

カーネギー(1835 米・実業家)

今日の名言

「芸って誰のものか...。一人の批評家を感心させるより、百人の大衆を喜ばすほうがいいんじゃないか」
寄席芸人伝(古谷三敏)「ドサ回り小遊」より

- ひどい風邪でした...。今週より復活予定の木幡です。先週一週間布団の中で買いためていたミステリーなど読み、冬眠している熊のような生活でした。ご迷惑をかけ、申し訳ありません...

1. 教育研究集会にて...フリースクールと学校の連携

10月~11月は、教育研究集会月間。あちこちの校内研究会や県単位の教育研究集会に呼ばれた。教育実践の内容はぼくが教員になった30年前の状況とほとんど変わっていない。それだけ進歩がない。旧態依

然と言ってもいいだろう。

特徴は、次の三つだ。

授業実践の方法やカリキュラム構成の進歩がない例えば、小学校3年で「直角」を教える。しかし、角や角度の概念を教えるのは4年生。いきおい、「三角定規のこの形を直角といいいます」式の説明に終わる。また、文部科学省が「自力解決」を唱えるとそれに乘っかり、具体的なベース(基礎概念)のチェックなしに授業が進む。

小数の割り算の授業を見たが、「割り算とはなにか?」のチェックがないままいきなり割り算の文章題から立式させようとする。一部できる子どもたちと教師の一問一答。他の子ども達は、何がなんだか分からないまま授業が進む。

「自力解決」の意味が教師にわかっていない。

研究のフィードバックがない

シーラカンスのような実践が毎年出てくる。掛け算を「累加」で教えようとする。「2 + 2 + 2 = 2 × 3」で教える。つまり2を3回たすことの簡便算。×2.3はどのように説明するのか?「二点3回たす?」

このようにすでに克服されているはずの指導法が毎年亡霊のように現れる。研究の成果が現場に戻っていない証拠だ。

システムに頼る

少人数制の授業や能力別クラス編成など、これまた文部科学省の路線に乗った実践が多い。授業は少人数でも大人数でも臨機応変に組み立てることができる。

授業で何を獲得するのか?何を目的にしているのか?単に受験技術や計算力などの学力を考えるなら塾のほうが数段上。

そういう土俵に乗らない授業を考えて行かなければならない。

学校とフリースクールは、その性質がおのずと違う。しかし、授業については双方が考えていかなければならない。

先日の朝日新聞の記事によると、クラスがうまくいく原因について、教師と子どもの考えには大きなずれがあることがわかった。

教師は「人間関係」を強調し、子どもは「楽しい授業」が行われるとクラスも楽しくなると答えている。フリースクールは、単に「居場所」としての機能から大きく脱皮しなければいけない。同時に学校も今までの価値基準を変え、一斉伝達からダイアログ型の授業を目指さなければならない。

フリースクールと学校の連携が必然になる時代がきっと来る。ジャパンフレネの存在意義もそこにあるだろう。

風邪を引き、布団の中でそんなことを考えていた。

2. 新宿のお散歩 - in 立教大学

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>

今日は山登りの予定だったけれど、昨日の雨で予定変更。来週分の立教大学を前倒し。

天気はいいしお散歩日和。池袋の駅からみんなでテクテク。ようやくついた立教大学はなんともお洒落な校

舎。木もたくさんで心地よい。
さっそくみんなで学食へ。やっぱり安いし、種類もいろいろ。人気はラーメン。熊谷ボラ・田中君お勧めのカツ丼も。

「天気がいいから外で食べよう。」というボラ・みよちゃんの誘いに、ラーメンを持って外に行く子も！僕はカツ丼。これはおいしかった！ラーメン担当のけんご君、

「今日は何点？」と聞くと、
「んー...。」と、計算中。

でた結果は「65点」。
ラーメンは不人気でした。

古代オリент博物館

立教大学からサンシャイン横の古代オリент博物館へ。人ごみの中をこの大人数で歩くのはなかなか骨が折れる...

博物館の中は、先週とは打って変わって人がいない。入り口にボンと置かれたるは口ゼッタストーンのリブリカ。

「おれは、これを全部解説するぞー！」とドラゴン。ちょうど世界のゲームの企画展。中には世界各国の将棋やチェス。なかでもウズベキスタンのチェスの駒は色がとっても綺麗。

「これ、いいな。」というと、
「こんなん、高くても買えないよ！」

中は広くはないけれど、展示物は結構興味深い。先週の大英博物館に通じる展示物もたくさん。

帰りの電車の中はみんなぐったり。なんともよく歩いたし、いかんせんあの人ごみの中を歩いていくのは疲れた。この連休で一休みしようね！

3. 熊谷のお散歩 ポーリング

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>

今日は水曜日と交換をして、お散歩。みんなで夕々のポーリング。予約をしたので、かい君が始球式。ポーリングのはじまり。はじまり。

みんなでポーリングも4回目。回を重ねるごとにみんな上達。ガータにならないフェンスをとってやる子も増えた。「緊張感が違うね。」と。

その反対に、つるつと滑ってボールが反対に飛んでいく子も...

みんなそれぞれに、ポーリングを満喫。うまい子のフォームをまねしたり、ストライクやスペアがでると、「おお、すごいねえ。」

「やったねえ。」と、自分のことのように喜んでいたり。いいねえ。みんな上手になってきたよ。

帰りのバスではコックリ、コックリ。お疲れ様でした。大丈夫かなあ

木幡さんが調子が悪いのをみんなが心配。

「だいじょうぶなのかあ。」

「よく休んだ方がいいよね。」

「ちょっとさあ、忙しすぎなんじゃない。」

「年なんだし。」

みんなあれこれ。早く元気になってくださいな。

mailto:-----> sinjyuku@jfreinet.com まで。

=====

e-mail : sinjyuku@jfreinet.com

URL : <http://www.jfreinet.com>

=====

===== デイリー・フレネ =====

----- VOL/0760----- 2003/11/26

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

1. 「ジェスチャーしりとり」で盛りあがる！
2. お授業 ことばの表情 新宿
3. 熊谷のお授業 「どこだどこだ？」

=====

今日はなんの日

1898 キューリー夫妻ラジウムの存在を発表

今日の花言葉

クリスマス・ローズ 「追憶」

今日は誰の誕生日

徳川家康(1542)

毛沢東(政治家 中国 1893)

今日の名言

「決断 なすべきことをなそうと決心せよ。いったん決心したことは必ず実行にうつせ」

フランクリン

- 1. 「ジェスチャーしりとり」で盛りあがる！
熊谷でやったという「ジェスチャーしりとり」、先日のBASIC(授業作りの会)でやってみました。大人がやっても結構盛りあがる。これなら、子どもに受けること間違いなし！

「ジェスチャーしりとり」のやりかた

二つのチームを作る。あるいは、普通のしり通りのように一人一人順番に行ってもいい。

先攻・後攻を決め、後攻側が「お題」を出す。

例えば、「足(あし)」。先攻側は、「し」で

始まる単語をジェスチャーで表現する。

例えば「シマウマ」をジェスチャーで表現する。

この繰り返し

どうしても表現できないときには、そのものを

指差しても構わない。「る」のつく単語が思い

浮かばず、電話を指差し「るすばん電話」など...

表現したものがわからない時には、「はい い

いえ」で答える質問をしてもいい。

「それは、動物ですか?」「はい」など

単語が思い浮かばない、表現がうまくいかず単

語が相手側に伝わらない時には、ペナルティー1

など、独自のルールを作ってもいい。

「る」や「り」で始まる単語が少なく、これで攻めていくのも方法。

「えー?! また『り』?」

困った木幡、器を手で表現し、その中に四角いものを指でつまんで入れるしぐさ...

「なに、それ? わかんないよ」

「ええっ? もう一回やるよ」

「わかった! 『リトマス試験紙』!」

盛りあがったなあ!

2. お授業 ことばの表情 新宿

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>

今日は、五味太郎さんの「ことば」という絵本を題材に授業。

(この絵本はセリフの吹き出しが絵になっていて、何

て言っているのかが見てわかるようになってる。) 最初は、この絵本のセリフ当てクイズ。1ページずつみんなで予想。セリフぴったりに当てるというよりも、どんなことを言っているのか吹き出しの持っている表情を。

「『ばーか、ばーか』とかじゃない？」

「そう！そんな感じ！！」

これが結構盛り上がった！絵本と似たり寄ったりの予想がたくさんだったからね。

その後は逆の作業。セリフから吹き出しの絵を描く。最初は3つの場面の「さようなら」。自分の好きな色が使えように絵の具を使うことに。暖かい色、冷たい色。それも表情を大きく変えるからね。

見ていて、「ああ！わかる！」といった絵が出来上がってくる。その後は違うことばにもチャレンジ。色と形を上手に使ってことばの表情を描いていきました。

最後に、みんなの描いた「さようなら」のセリフを読み分けてみることに。

「さようなら！」

「さようなら...。」

上手に読み分けるりょうすけ。

「役者になってもいいんじゃない？」と、さきちゃん。言葉は目に見えないし、同じ言葉だったら文字にしてしまうとその気持ちはわかりづらい。だけど、言葉には、時には相手を安らげたり、時には相手を殴ってしまったらという色んな表情を常に併せ持っている。どんな時のどんな言葉がどういう印象を相手に伝えているのか。普段の自分をふと振り返るきっかけでした。

お誕生日は...??

「おととい誕生日だったんだ。」と、さきちゃん。それを聞いていたりょうすけ、

「あっ、ぼくたかちゃんの誕生日知ってるよ。」

「いつ？」

「金曜日。」

「??？」

さらに、

「あっ！間違えた！さそり座だった！」

みんな大笑いでした。

3. 熊谷のお授業 「どこだどこだ？」

みんなの前に世界の白地図。

「わかる国を書き込んでみてね。」

バレーボールのワールドカップもやっているし、国の名前は知っている人も多いけれど、場所がわからない。

「ブーツの形は...、どこだどこだ。」

「ここはどこだろう??？」

世界地図を広げて、場所の確認。アジア、アメリカ、ヨーロッパ、オセアニア。

「今騒いでいる、イラクってここなのかぁ。」

と改めて確認の声。

「イギリスはわかる？」

「知ってる！日本と同じ島国でしょ。」

と白地図を指差すあすちゃん。

明日みんなで行く、大英博物館の至宝展。大英博物館があるのは、確認した通り、イギリス。

「大英博物館には、何点の収蔵品があるでしょう？」

「100万？」

「500万？」

「大きく出て、1億！」

クイズ形式で。正解は約700万点のものがあるそう。

その中でも、選りすぐりのものが来ているのだとか。5つのテーマに分かれているんだって、

- ・大英博物館の歴史
- ・古代オリエント
- ・アメリカ・アフリカ・オセアニア
- ・アジア

「え、なんで？」

「イギリスとアジア？」

「オセアニアって、ヨーロッパからすごく遠いよね。」

「イギリスのものだけじゃないの？」

「なんでだろう？」

「どうして？」

みんなの声が飛び交う。

白地図で地域の確認をしておいたので、一目瞭然。「？」と思ったらもってこい。今のように交通網の発達していない時代に、なぜ各地のものを700万点も集めることが出来たのか。

ただ見に行くだけでなく、そんなことも気にしながら見てこれたらいいね。

明日は混んでいるのかなぁ。

うーん？

連休明け、天気も大雨。週明けからちどんより。木幡さんも風邪がすっきりしないとか。熊谷の元気印かい君も、おなかの調子が悪いみたい。

「明日、お散歩で上野だけど行けそうかねえ。」

「おなか大丈夫？」みんなも心配そう。

「うーん。」

みんなに心配されてちょっと照れている。

「明日は、明日のおなかに聞いてくれ。」

と捨て台詞。

明日は天気もいいみたい。お散歩みんなで行けるといいね。

=====

===== デイリー・フレネ =====

----- VOL/0761----- 2003/11/27

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

1. フレネはいいなあ...
2. お授業あれこれ 新宿
3. お散歩の授業 大英博物館の至宝展(熊谷)

=====

今日はなんの日
1992 貴花田(貴ノ花)宮沢りえ、婚約 のちに破棄
今日の花言葉
ぬるで「信仰」
今日は誰の誕生日
松下幸之助(実業家 松下電器創始者 1894)
今日の名言
「兵法に通じている者は兵の多少によらず、勢いに乗ずるものである。自分が歌を唱う声に和唱して進んで戦えば勝つ」
太田道灌
- 1. フレネはいいなあ...

病み上がりの木幡、久々に子どもと接する。いいなあいいなあ。気分がいいなあ。

身体でしりとり

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>
 まったりした1日...、「ジェスチャーしりとり、やろう！」

「やだよ」と言いつつも、みんながやりだすと一人二人と輪に入ってくる。
 「か」で始まるしりとり、「はいはい！」と木幡が演技。床にはいつくばって...。
 「わかった！とかげ！」(爆笑)
 「『か』で始まるんだよ」
 答えは、「かめ」でした。
 けんごが教えてくれた
 「ねえ、木幡さん、知ってる？」
 「なあに？」
 「ドラゴン、大検を受けたんだけど日にち間違えたんだって。15日なのに18日だと思って、いろいろ準備しようとして気づいたんだって。それが15日の夕方。笑えるでしょう」
 やまちゃん、けんごに引き続き、にったん、ドラゴンが大検にチャレンジ中です。

2. お授業あれこれ 新宿

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>
 単位ってなあに

まずはりょうすけとマンツーマンの授業。形の違う容器をたくさん用意。それに同じ量の水を入れておいて、「どれが一番たくさん入ってるでしょう？」というクイズ。
 順番が決まったらその理由も。
 「じゃあ、どうやって比べてみたらいいかな？」
 「んー一定規を持ってきて...。」
 いろんな方法を考えるりょうすけ。
 その後は秤を使ったりしながら、単位のことについて。長さの単位、重さの単位、容積の単位などなど。一段落したところで木幡さんとバトンタッチ。比べるということ、その方法、そして単位の存在へとお話し。
 30分近くの授業でした。

実験！ - 一円玉を浮かせてみよう
 フィルムケースの中に入っている一円玉。
 「これをストローで吹いて出してごらん。」
 と、木幡さん。
 挑戦するはりょうすけ、たかちゃん、たくろう。たまにフウッと一円玉が出てくると、
 「おお！」と歓声。
 「おれにもやらせて。」と、まっつぁんは一発で成功！
 「じゃあ、安定して飛び出すようにするにはどうしたらいい？」という木幡さんの質問。
 取り出したるは、身の回りにあるもの。これ一つでなかなかの成功率アップ。
 その後はこの仕組みを生かした乗り物の話し。
 「スーパーで取ってきたんだ。」というビニール袋をつかって工作まで。
 みんなで盛りだくさんの授業でした。

3. お散歩の授業 大英博物館の至宝展(熊谷)

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>
 今日のお散歩は上野の東京都美術館で行われている、大英博物館の至宝展へ。いつもお世話になっているタウンタウン熊谷の栗原さんから、割引券をいただいた。みんなに話すと、
 「行きたい!!!」「絶対行く行く!」の声。
 ところが、新宿のみんなが行った時は「2時間」並んだとの話を聞いていたので、みんなとも相談。
 「それでも、絶対に行く。」
 「ディズニーランド並だね。」

みんなで覚悟してお出かけ。ショータ君は並んでいる時に聴くようにCDを4枚準備(笑)今日は80分待ち。知らなかったら、人を見ただけでグッタリだったね。

覚悟はしていたものの、人ひとヒト。酸欠にならないかなあ。並んでいるだけでも、くたびれる。人の頭しかみえない。かい君の姿はいずこ...

じっくり派、ささっと派

見始めると、じっくり派とささっと派。かい君は、「見えない...。」と人をかき分け。並んでいる時点で、もうぐったり。この人波では仕方がないかな。さささっと見て、おしまい。

けれど、大理石の像におでこにひびが入っていたのを見て

「あ、木幡さん。」

(木幡さんのおでこの傷を覚えていたのかな。)

他のみんなはじっくり。できてきた時には2時間が経っていた。

「最初の方はじっくり見てたけど、あとは疲れちゃった。もっとゆっくり見たいなあ。」

じっくり派も、ささっと派もやっぱりそれぞれみんな感じたものがある様子。できてきて顔をあわせると、「これがよかったよ。」「ミイラがすごかった。」

「パンフレットに載っていたの全部観たよ。」

みんな思い思いに感じたことを言いあう。

中でも一番多かった声が、

「本物の大英博物館に行きたい!」

「250点でもこれだけ疲れるんだから、1ヶ月ぐらいみても足りないよね。けど、行きたいなあ。」

じっくりみて体もくたくた。お疲れさま。

外に出て解きほぐしたら、帰路につきましようか。本物の作品に触れるのもいいけれど、なぜこういったものが集まっているのかという背景も考えて行きたい。

=====

===== デイリー・フレネ =====

----- VOL/0762----- 2003/11/28

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

1. 美沙ちゃんが就職したよ！おめでとう！
2. こんなことって？ 新宿
3. 新宿VS熊谷 お料理対決

=====

今日はなんの日

1262 親鸞(浄土真宗開祖)死去

1553 上杉謙信、武田信玄、川中島の陣

今日の花言葉
えぞ菊 「追想」
今日は誰の誕生日
常陸宮正仁(1935)

今日の名言
「重要なことは何を耐え忍んだかということではなく、
いかに耐え忍んだかということだ」

セネカ

1. 美沙ちゃんが就職したよ！おめでとう！
ジャパンフレネの元会員・美沙ちゃんの就職が決まりました。先日、お母さんと美沙ちゃんが来訪し、就職の事を報告してくれました。ダウン症に併発する心臓疾患で何度も手術…。様々な困難を克服してきた美沙ちゃんに幸いあれ！
-----お母さんのからのお便り
ご無沙汰しております。お元気でどうぞですか。さて、この11月より美沙が就職しました。「工房ラピール」障害有る子供達のお母様方が1998年4月に「一人一人を大切にしたい作業所」を目指して立ちあげた作業所。場所は港区高輪でクッキー作りやさをり織りをしています。現在5人ほどの子供達、そして母親が通い楽しく作業しています。

美沙、芽生え始めた大人らしい責任感そして育ててきた社会性と自立性、それらを大切にしながら育ててあげたい。そんな場での人様との関わりや友達関係ができたなら素敵だな、それが生きる原動力にもなるのではないかな。近頃そんな思いを持ち始めていました。

美沙の健康を鑑みながらの場を考えていました。そして今までの人様との輪を思い出しながら情報網を広げて模索して今「工房ラピール」に巡り会えました。テクニクで教えていただいたさをりの技、それを生かして現在は週に3日2時間ほどラピールでさをり織りを仲間と楽しくしてすごしています。私はクッキー作りを手伝ったりおしゃべりしたりして親子で楽しく仲間に入れていただいています。美沙も段々とさをりの時間をのびたりクッキー部門では体に無理ない様にシール貼りや袋入れなどをできるようにになったらいいなあ、と考えています。お母様方の「無理なく本人の意思を大切にしてお通ってね。楽しくお互いが刺激し合い生き生きとすごしましょう」との暖かなお言葉に感謝の日々です。美沙が就職。ここまで育ってきました。夢のようです、よね。これからもまずは健康を第一に、その健康を増進しつつ、皆様とのお縁を大切にしながら大きく育つ毎日を過ごして行きたいと思っています。

「工房ラピール」 鶴 美沙

オレンジ、黄色、黄緑、青
くるくる、きれいです。

クッキー作りは楽しみにしています。

皆さんののはた織りがステキです。

教会学校で「あなたにとってイエスは十字架はなんですか？」との宿題がありました。それに対する美沙の答え...

「いつも両手を広げて立っています。『いい子いい子』と頭をなでてくれます。困った時や悲しい時に

傍に行くとやさしく抱っこしてくれます。」
それでは、お元気で「嬉しいと思うことを楽しんでください。気持ちのいい朝になってください。」

鶴 正代・美沙

-----以上、転載終了。
「私、美沙ちゃんのこととっても心配だったんだ。でも、良かったあ」と、さきちゃん。美沙ちゃんの持ってきてくれた手作りクッキー、とーっても美味しかった！やさしい心がこもっているんだね。

工房ラピール

港区高輪1-4-8 港区立授産所3F

TEL/FAX 03-3444-5223

賛助会員を募集しています。

2. こんなことって？ 新宿

昨日、ある自然学校の営業がやってきた。パンフレットを見てみるとどうやらモンゴルの生活が体験できるということらしい。

その中で思わず目を疑ったのが、

『遊牧民族の家に泊まれます。』

ここまでは興味が合ったけれど、続いたのが、

『冷暖房、テレビ、電話完備で快適！』

といったうたい文句。目が点。なんだこりゃ？？

みんなに見せると、

「なんだよ！それ！」

「糞を燃やしたりして暖を取らなきゃ意味ないだろ！」とは、山ちゃんでした。

3. 新宿VS熊谷 お料理対決

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>

お料理 - チリコンカン

今日のお料理はメキシコ料理。簡単に言うと豆シチュー。味はスパイスのきいたハヤシライスといったところ。

材料は牛肉に玉ねぎ。それと、昨日買っておいだしたチリコンカンセット。今日はいよいよサラダも作ることに。豆をしっかり煮ること1時間近く。さらには具と合わせて味付けをしながら40分近く。チリコンカンのスパイスをあげると、

「あっ！このにおいはドンタコス！」

そう。なんとなく最近口にするようになってきたような味になるはず。

だけど、いざ味見をすると、

「ん？辛い！」

別に封入されている辛さ調節のスパイスはまったく入れていないのに結構辛い...

いざ食べる。だけど、みんな豆とご飯と一緒に食べるのは苦手なよう。肉と玉ねぎばかり減っていく...。ちょっと多めに作ってしまったかな。久しぶりに余ったお料理でした。

お料理の授業 闇なべ

今日のお料理は「闇なべ」事前には闇なべ委員会を作って、ルールも決めた。1人1品以上持ちよる。ベースは味噌味。

「何をもってきたのかは秘密！」

みんな何を持ってきたのか、食べるときのお楽しみ！
台所の前にホワイトボードをおいて、お鍋の中に

何を入れているのかは内緒！
 「お鍋が溢れちゃうよ。」というぐらい、みんないろ
 んな材料をもって来た。一体どうなるのか。
 「闇なべだから、部屋を暗くして食べよう。」
 ろうそくまで準備して準備万端。お鍋もぐつぐつ。
 「お玉でひとすくいしたものは食べようね。」
 と事前に打ち合わせしたとおり。順番はあみだくじ
 で決定。お玉でひとすくいすると何が出てくるのか。
 わくわく、どきどき。

闇なべ委員会会長のエリくんがあいさつをして、闇
 なべの始まりは始まり。

何がでてる？
 お玉でひとすくいしてみたら...なんと大当たり。
 かい君の入れた、イカが丸ごと！
 「何がでてるんだろ？楽しみ！」みんな救う。
 「ぼくハマグリ入れたんだよね。」とボラしんちゃん。
 「あ、食べたい！」
 みんなの入れたものは...、すいとん、焼き鳥、ウイ
 ンナー、ブロッコリー、カリフラワー、ハマグリ、だん
 ご、うずらの卵、えのき、白菜、ねぎなどなど。
 味噌味で思ったよりもおいしい。
 ところが、
 「イカは内臓が入っていたよ...。」とユータ君。
 イカは丸ごと何の処理もなく入っていたのでちょっと
 辛かったようだ。
 どじょう！？
 「俺、闇なべの日わからなくて、材料忘れた...。」
 朝フレネにつくとかい君。
 「俺さあ、たこ5匹姿のまんまの用意しておいたんだよ。」
 と残念そうな表情。
 「他の子も何品か用意しているから、平気だよ。」
 と声をかけても浮かない顔。お財布にあるお金をだして、
 「自分のものがないのは嫌だ！買いに行く。」
 と買い出しへ。
 満足そうな表情で戻ってきたかい君。
 タコではなく、いか3匹。鍋には豪快に丸ごと！
 「生でもっと大きなイカもあったんだよ。こーんなくらい。」
 と手を広げる。
 「どじょうもいたんだよ。迷ったけれどやめといた。」
 どじょうが入ってたら、びっくりだったな。
 =====

==== デイリー・フレネ =====
 ----- VOL/0763----- 2003/12/01

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////
 1. 熊谷サタディースクールにて
 2. お散歩 - バドミントン 新宿・テッシー
 3. 照明作り 熊谷・かおりん
 =====

今日はなんの日
 1958 1万円札初発行
 今日の花言葉
 よもぎ菊「平和」
 今日のは誰の誕生日
 ウディ・アレン(俳優・映画監督 米 1935)
 今日の名言

「悪魔でも聖書を引くことができる、身勝手な目的にな」
 シェイクスピア「ヴェニスの商人」より

1. 熊谷サタディースクールにて
 「木幡さんが来るって言うのと、みんな集まるんです
 よ」嬉しいことを言ってくれるスタ・かおりん。本
 日のサタディースクールは、総勢6人。
 テーマは「百均ショップの科学実験」。つまり、100
 円ショップで買いそろえた材料で実験やもの作りを行
 う。
 金網の杓子に満タンにしたコップの水をコップごとひ
 っくり返して乗せると...、あれあれ不思議あれ不思議！
 コップの水は金網の下にこぼれていかない！かなり網
 目が粗くてもうまくいく。空気と水の実験だ。
 傑作は、マッサージ器(なんと！これも100円)をたわ
 しに針金でくくりつけてスイッチを入れると、テー
 プルの上を走り出す。震動がうまく伝わるんだね！耳
 や尻尾をつけて、ねずみやうさぎ。
 その他、口紅でろうそくを作ったり、スチールたわし
 を燃やしたり。100円ショップ、ばんざーい！
 2. お散歩 - バドミントン 新宿・テッシー

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>
 今日のお散歩は体育館へ。なんだかとても久しぶ
 り。ずっと忙しかったからね。
 最初はみんなポンポン打つだけ。それが次第に本気
 になってくる。小さい子同士、大きい子とぼくとい
 った形でやっていたのも次第にごちゃごちゃに。
 「正々堂々勝負！2対1で！」と、りょうすけ。
 「それって正々堂々してないよ...。」
 山ちゃんとは久しぶりの手合わせ。テニス経験者だ
 けあっていつも接戦に。終わると汗だく。
 ちょっと休憩している間に、山ちゃんがりょうすけ
 を特訓。笑いが絶えずになんとも和やかな雰囲気。
 それが終わると、急に上達。なかなか当たらなかつ
 た羽根がポンポン飛んでくる。
 「ほらっ！ぼくの勝ち！」とりょうすけの声。山ち
 ちゃんのおかげだね。
 気がついたら、
 「ぼくのことコーチって呼んでよ！」と、りょうす
 けでした。
 バドミントンは男の子、女の子、大きい子、小さい
 子関係なく楽しめてなかなかよかった！
 3. 照明作り 熊谷・かおりん

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>
 イメージトレーニング
 金曜日は木幡マンのスペシャル授業の日。今回は、
 照明作り。発光ダイオードや抵抗をはんだ付して、
 ランプシェードを作る。クリスマスシーズンにはも
 ってこい。
 荷物が多いので、ボラ田中君とかい君が木幡さん
 をお迎え。帰ってきたかい君。荷物の中から半田ごて
 を持ち出して、テーブルにじっと座っている。
 何かと思ったら、「作る練習！」
 半田ごてを使うイメージトレーニングだ。木幡さん
 の準備も完了。いよいよ授業の始まりだ。
 気分は...
 「俺、こういう細かい作業きらいだからなあ。」

ときぐちゃん。口ではこういいながらも、木幡さんの説明を真剣に聞く。以前、通電チェッカーを作ったのもあってかみんな上手になってる！顔はみんな真剣。

「あだし、半田ごて使うの初めて！」

とあすちゃん。

「半田ごてをってなんか、歯医者さんの気分。それが、手術をするお医者さんの気分だなあ。おもしろい！」

約1時間半でほとんどみんな完成。「やったあ。」

という達成感。りょうくんも満足そうな表情。早くできた子はまだ出来ていない子をサポート。自然にこういうことが出来ているのは嬉しいね。

あちちちっ

「あちちっ！半田ごて触っちゃった。」

とスタかおり。「あぶないあぶない。」と思いつつ、また「あちちっ！」基盤が熱くなっていた…。

それを見た木幡さん。ポソッと、

「学習能力ないなあ。」

数分後。

「あちちちっ。」と木幡さん。

するとまた、「あちちっ。また触っちゃったよ。」にやり。

「学習能力ないなあ～。」とすかさずスタかおり。

それを見つめる熊谷の子ども達。やけどは大人2人だけでした。学習しないとね。

月曜日からは12月。時の流れるのは早い。

残り3週間。風邪を引かずに元気に行きたいね。

=====

==== デイリー・フレネ =====

----- VOL/0764----- 2003/12/02

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

1. 「BASIC」合宿に参加しませんか？
2. 実験「音を見てみよう」 新宿
3. ランプシェードづくり 熊谷

=====

今日はなんの日

1929 中国で北京原人の頭骨発見

今日の花言葉

こけ「母性愛」

今日は誰の誕生日

ジャンニ・ベルサーチ(デザイナー 伊)

今日の名言

「青春時代にさまざまな愚かさももたなかった人間は、中年になってなんらの力をも、もたないだろう」

モルチモアー・コリンズ

- 1. 「BASIC」合宿に参加しませんか？

1999年より行われている学校と学校以外の学びの場を結ぶ「BASIC」の合宿も11回目をむかえました。BASICの成果の一つとして

『『ぶ力』がグングン育つ学習法』(木幡 寛

著 PHP研究所)も9月に上梓されました。

今回も、下記のような要項で楽しい合宿にしたいと思います。是非ご参加ください。

デイリーフレネの読者の皆さんへの先行お知らせです。

メールにてお申し込み下さい。

合宿テーマ 【対話の力】

ゲスト : 水野しづえさん(京都大学)

黒崎正博さん(マジシャン)

日時: 2004年1月10日(土)午後1時半集合

2004年1月11日(日)午後12時解散

<日帰りの参加も可>

場所: 宿坊・柏尾山大善寺

山梨県・勝沼町勝沼3559

tel 0553-44-0027

(武田家とかかわりの深い寺。自家ブドウ園でとれた

ブドウを住職自らが搾ったワインがおいしい!!)

アクセス: 中央高速道・勝沼インター降りて約2分。

(駐車場はとて広くて無料です。相乗りどうぞ!)

JR線JR中央本線・勝沼ぶどう郷駅

下車。タクシーで5分(1000円以内)。

費用: 13

内訳: 参加費・イベント費 5000円 宿泊費 8500円

食堂への飲み物の持込は出来ませんが、各部屋への持込はOK

宿泊なしの方は、参加費(5000円)と夕食代(4000円)

計9000円をお支払いください

子どもは11500円です

参加費・宿泊費は当日集めさせていただきます

スケジュール

【10日(土)】

午後

・ワークショップ【対話の力】

自己紹介後、2003年夏合宿で発表された水野さんのレシピに従い、ワークショップ「対話のちから」を行ないます。

「ジョハリの窓」という手法を通し、具体的な記述の中から自分を知り、他者とつながるためのワークショップです。下記の文章をご参照下さい。

【対話の力】 水野 しづえ

「対話する」というように、行為として表される言葉を発する主体はいったいどこにあるのでしょうか？それは他でもない「わたし」と「あなた」の間に生じる出来事なのですが、今回は特に「わたし」の意識のベクトルに焦点をあわせ、「対話」を探って見たいと思います。

ワークショップのイントロで、京都大学総合人間学部・岡田敬司さんの『かかわりの教育学-教育役割くずし試論-』から「四つの教育的かかわり」のモデルを紹介します。

BASICで語られている「授業」がその中の「認知葛藤的かかわり」に近接していると考えられたので木幡さんに「授業における対話を」少し論じていただいた後、「ジョハリの窓」(カウンセリングでの心の分野のモデル)で「わたし」を再確認したあと、橋口譲二さんの写真集『視線』を手がかりにして、対話の片方の主体である「わたし」の視線を皆さんに語っていただき、そこから「対話」について探っていきたいと考えています。

その内的なうごめきが参加者相互の対話となり、今回のテーマである「対話の力」へのプロセスとなれば幸いです。

今回の主役は参加者である「あなた」なのです。

【「対話の力」コンテンツ】

イントロ：岡田敬司さんの「かかわりの教育学」を紹介し、その中の「認知葛藤のかかわり」に対応すると思われる木幡氏の授業論の提示。

1. あなたはどんなひと？

参加者に対して次の質問を投げかける 参加者を知るためのインタビューみたいなもの。

* 今日の朝ごはんは？

* あなたが拒否するものはなに？

2. わたしはこんなひと

「ジョハリの窓」を使い、自覚している自分、気づいていない自分、隠している自分、未知の自分を書き出す。自己像の確認。1のインタビュー後、参加者が二人組みになって書き込む。

3. 「視線」が語るもの

橋口譲二の『視線』から何点かの作品を提示し、その視線と対話する。どんな対話が発生するか…。

4. 「あなたはいまどこにいますか？」

参加者がお互いに写真を取り合い、最後に相互にコメントする。人と人が繋がるその息遣いを感じる。

夜

・ワークショップ「マジックで対話」

マジシャン黒崎正博さんによるワークショップ「マジックで対話」を行ないます。マジックであなたは人気者。

人と人をつなぐのは言葉だけではありません。マジックは世界のどこでも通用するコミュニケーションツールです。簡単なマジックをちょっと覚えると、とても効果があります。

マジックアーティスト 黒崎 正博プロフィール

東洋大学マジシャンズ・ソサエティー創立。

在学中から学生マジシャンとして、NHKの超人気番組「私の秘密」に出演。

1976年 PCAM国際東京大会でNET大賞受賞、コメディ部門優勝。

1985年 マジック界世界最高峰、米国アカデミー・オブ・マジックのパーティーに日本人初のスペシャルゲストとして招待され、レーガン大統領のマスクをかぶって演技をし、大好評を博す。フジテレビ「花王名人劇場」にも出演。

1988年 台湾の全国児童魔術大会に、アメリカの超スーパーマジシャン、デビット・カッパーフィールド氏と共に招待され、特別出演する。

現在、バルコ毎日新聞カルチャーシティー他、超面白手品入門講座の講師として、手品の普及活動中。

著書：ミスター・クロッキーのマジックで人気者になろう！（PHP研究所）

クロッキー校長のマジックのじかん（フレーベル館）他

コミカルなタッチのマジックを得意とし、個性あふれるアクトとユニークなアメリカンスタイルの演出が特徴。

【11日（日）】

朝食後、座禅（希望者のみ）

授業レシビヤレポート発表

（レシビを是非ご持参ください）

東京方面からは次の列車が便利です。

・ 高尾発（11：21）～勝沼ぶどう郷着（12：31）

・ 高尾発（11：48）～勝沼ぶどう郷着（13：01）

「勝沼ぶどう郷駅」近くには大衆食堂が1軒のみです
お昼は各自で済ませてきた方が無難です

参加費・宿泊費は当日集めさせていただきます

宿間近でのキャンセルは不可です

資料を配布される方は、30部御用意ください

夜の部では、ワイン・ウイスキー・ソフトドリンクをご用意します

参加の申し込みは同封のメールにて12月17日

（水）までにご連絡下さい。また、何かご不明な点がございましたら、ジャパンフレネ新宿までご連絡ください。

どうぞお誘い合わせの上、ご参加下さい。

〒160-0022

東京都新宿区新宿2-8-17 SYビル6F

ジャパンフレネ新宿

代表 木幡 寛

tel:03-3352-3135

e-mail : sinjuku@jfreinet.com

2. 実験「音を見てみよう」 新宿

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>
「音はどこでわかるの？」

「耳だよ。」というところから始まり。

「じゃあ、どうして耳で音がわかるの？」

「それはねえ...。」と、ホワイトボードを使って説明を始めるりょうすけ。

「こっちの耳から音が入って、反対の耳に抜けて...」

って...。抜けたら駄目じゃない...。

ここで一つ簡単に。

「紙を唇に当てて話してごらん。」

「震えてる！」

「そうなんだよね。震えるの。」

と、この前作った糸電話などで音の振動のお話を簡単に。

最後にメインの実験。ポールに黒いビニールを被せてテープで止める。ちょうど太鼓みたいな感じに。

その上に塩をまいて、

「あーっていつてごらん。」

「あー！！」

見事に踊る塩。今度は小さい声。高い音、低い音、色んな音を出して、塩の動きを観察。

最後に鼓膜の話しを簡単に。「あー！！」と大きな声が響きわたった実験でした。

3. ランプシェードづくり 熊谷

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>

金曜日にみんな四苦八苦して作った照明の基盤。

今日のものづくりは、その上にランプシェードを作る。発光ダイオードは熱を発しないので、紙でも大丈夫。

「この和紙を使って、くらげのようにふんわりとしたのを作ろう。」とあすちゃん。

紙コップ、ビニールのプラコップ、ラッピング用の和紙、アルミホイル。いろんなものが材料になる。ここからはみんなの腕のみせどころ！

お見事！

「これ使っていい？」とユータクン。アルミホイルをプラコップにくるくる。

「これで反射するでしょ。」なるほど！そこから、千枚通しで、穴をあけて…。

「穴から光が出て、プラネタリウムのようになる。」

おお！

暗いところで、見るとすごくきれい。

トイレで…

「暗いところで試してみたいなあ。」

フレネの一番暗いところは、

「じゃあ、トイレで見たら？」とかい君。

トイレの中にぞろぞろ入っていく。

「わあ、きれい！」

「こんな感じになるとはね。」

「優しい光だね。」

とトイレ中から声が聞こえてくる。

「写真もとっておこうか。」と密室で…。

きれいなランプが完成しました。夜のおともに。

Xmas シーズンにいいかね。

=====

===== デイリー・フレネ =====

----- VOL/0765----- 2003/12/03

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

- 1. ジャパンフレネのおもしろい仲間
- 2. ものつくり - 風船スライム テッシー
- 3. JF熊谷あれこれ かおりん

=====

今日はなんの日

1967 南アフリカで世界初の心臓移植手術

今日の花言葉

ラベンダー「期待」

今日は誰の誕生日

篠山紀信(写真家 1940)

永井荷風(作家 1879)

今日の名言

「空気と光と、そして、友達のおもひ、これだけ残ってれば、気を落とすことはない」

ゲーテ

- 1. ジャパンフレネのおもしろい仲間

頭、頭がああ…！

スライムのバージョンアップ「風船スライム」で遊ぶ。洗濯糊と水、ホウ砂を混ぜると簡単にできるのだが、洗濯糊が特別なので手にべたつかない、すごく伸びる。

最大の特長はストローで吹くと風船が作れる。すごいスライムなんです。

さて、木幡「見てみて！風船ができたよ！」

「すごい！」

しかし、その風船、穴があいて一気にしぼむ。

そして、その下にはりょうすけの頭…。

「りょうちゃん！りょうちゃんの頭が危ない！」

すでに遅し…。ああ無常！スライムがべったりこ

びりついてしまった…。ごめん…。

2 週間ぶりのご対面

「ひさしぶり！」木幡は先々週、風邪でダウン。ドラゴンも、同じく先週、風邪でダウン。そんなわけで2週間ぶりのご対面。

因数分解と式の展開の意味を押さえ、さっそく、式の展開の授業。完璧に理解し、よくできている。

そんなドラゴンのお昼…。

「鍋？」

「そう、寒いから鶏鍋」

食べた後は、ご飯を入れておじやにするなど芸が細かい。

しからば木幡は、ボラ・藤本君に頼み永福町「大勝軒」のラーメンを買ってきてもらう。これがうまいんです！煮干味！藤本君は、残した汁にご飯を入れておじやも作るそうです。

時間がふんわり流れるフレネです。

2. ものつくり - 風船スライム テッシー

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>

今日はものつくり。

「スライム作るよ。」

「あー、やったことある。」

「でも今までとはちょっと違うみたいよ。」

木幡さんを中心にみんなの輪。薬品を調合して、あとはみんなで好きに色をつけながらの作成。

「できた！」と、取り出したるやちょっと固め。みんなですトローを手に吹いてみる。と、

「おお！すごい！」

さきちゃんが上手に膨らませてる！チューインガムよりも断然大きい風船のできあがり。

膨らますのに失敗すると、

「ブルッ！」っと、おかしな音。勢いよく吹きすぎて横に破片が飛んでいったり、みんなの笑いもたくさん。

みんなの作った色を混ぜて違う色のスライムを作っていくと、なんとも変な色…。テーブルの上で大きなスライムがヘナってつぶれていくのもおかし。

「もっと作ってもいい？」

「おれも作ってもいい？」

みんなで、結構楽しめた証拠の言葉だね

3. JF熊谷あれこれ かおりん

断髪？

今日は久々のいい天気。季節はずれの台風も過ぎて、雲ひとつない。「外に行くしかないでしょ。」とみんなして外へ。久々に缶ケリをするそう。戻ってくると、顔は真っ赤。

突然、「俺、髪の毛切るよ。」ときぐちゃん。

「だって風で髪の毛がまとわりついてもう大変。」

「俺みたいにすればあ。(笑)」とぐりぐり坊主のかい君。

いよいよ熊谷も風の強い季節になってきたね。冬ですなあ。

もちが詰まったら

「餅つき楽しみ～。」わくわくしているあすちゃん。もしも、もちがのどに詰まったら…。という話になった。

「詰まって、お正月に亡くなるお年よりも多いんだよね。」

「のどに餅が詰まったら、息が出来なくなるから、掃除機口に入れて、吸い取るってテレビでやってたよ。」なんて真剣な話。

かい君も真剣に話題に入ってきた。

「けどさあ、入れ歯だったら歯も吸い取られちゃうのかなあ。」

みんな爆笑。

入れ歯も取れちゃうのかなあ???

金曜日のもちがのどに詰まることなく楽しく行って来ようね。

=====

===== デイリー・フレネ =====

----- VOL/0766----- 2003/12/04

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

- 1. しずかちゃんからの電話
- 2. ちょっといい話、他 新宿
- 3. Xmas デコレーション 熊谷

=====

今日はなんの日

1982 アメリカ映画「E・T」日本公開

今日の花言葉

すいば「情愛」

今日は誰の誕生日

セルゲイ・ブブカ（棒高跳び ウクライナ 1963）

今日の名言

「軍争の難は、迂を持って直となし、患をもって利となすなり」

孫子

急がば回れ、臨機応変に対処せよ

- 1. しずかちゃんからの電話

「木幡さん、以前、ボランティアをしていたしずかさんから電話がありましたよ。日本に帰ってきているみたいですよ」と、テッシー。

そういえば、昨年今ごろ、ハワイの大学に留学したっけ…。どうしているのかなあと思ったら、携帯にしずかちゃんから連絡。

「もしもし、いつ日本に帰ってきたの？今、何をしているの？」

「数ヶ月前なんです。今、秘書をやっているんです」

「前にやっていた大学教授？」

「いや、代議士の秘書なんです…」

「えっ?!」

話によると今回の総選挙で当選した最若手議員の秘書でめちゃくちゃ忙しいとか。

「それで木幡さん、新聞記事の教育関係の切り抜き雑誌がありましたよね。あれってどこで出しているかわかりますか？」

「少人数学級の件でいろいろと資料が必要だそうだよ。」

雑誌社を教えてあげて、「でもね、しずかちゃん。」

「少人数にすればいいってもんじゃないんだよ。それ以前の問題があるんだよ」

「それってどういう意味ですか？」

「大人数には大人数の、少人数にあつた少人数の授業法があり、臨機応変に対応できる力や教材の系統性や技の話をしてあげる。」

「今度、ぜひ、シンクタンクで協力してください」

「そうなんだよねえ…。少人数教室にしても抜本的な

解決にならない。教師が変わらなきゃ…。器を変えることも重要なんだけど、それ以前の問題なんだよ。しずかちゃん…。

2. ちょっといい話、他 新宿

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>

すこし前のお話し

最近小さい子が公園に行くことが多い。もちろんボランティアの人にはついていってもらっている。この前、ボラ・やくし君から聞いたエピソード。どうやら公園に住んでいるホームレスを追い出すために花壇を作る工事があったみたい。

その横で遊んでいたりょうすけに、

「ここに变な人たちがいて恐かったでしょ？」という工事の人。

こう話しかけられて、

「でも、ここに花壇を作ったら住むところがなくなっちゃってかわいそうだよ。」と、りょうすけ。

こういう心が育ってきているのはとても嬉しい。臭いものにはフタをしないと、弱い立場の人たちを十把一絡げに扱うことが多すぎるからね。その人たちの立場に立てるっていうのは素晴らしい。

「あぁいいなあ」と素直に感じたエピソードでした。

ものづくり - 紙すもう

「ねえ、なんかしよう。」と、たかちゃん。

「なんか、何したいん？」

「んー…。なんか。」

「じゃあ…」と、紙すもう作り。画用紙を使って思い思いのお相撲さん作り。

「できた！」というのを覗いてみると、お相撲さんじゃなくてガチャピンなどいろんな形。やっぱりこの方が面白い。

「トントン」と試合をしている音がするのでまたまた覗いてみると、大きさまでマチマチ。こりゃ勝負が見えてる…。

「新しいのつくろ！」って。そりゃそうだよな。

3. Xmas デコレーション 熊谷

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>

今日はクリスマスの雰囲気部屋をデコレーション。

窓にスプレーで模様をつけるための型抜きづくり。Xmas といえば、ツリー！雪！キャンドル！星！というみんなそれぞれのイメージを言い合って絵を描きだす。あすちゃんはポインセチアの絵を描く。(うまい!)切り抜きもうまい。

スプレーをしてみると、見事に完成。素晴らしい!

「我ながら、自分を誉めてあげたいよ。」

とあすちゃん。たくさん。誉めてあげてね。

「こういうの苦手だよ。」といいつつも、みんなチャレンジする姿が多くなってきたね。

クリスマスツリーも出したし、部屋の中もきれいにデコレーション。雰囲気が華やいだよ。いるだけでもわくわくするね。

なんだっけ?

「クリスマス時期になると、でてくる花があるよね。葉っぱみたいなヤツ。」

「知っているよ！『セインボチア』！」と勢い勇んで言ってみたボラヒロちゃん。

けど、なんか違うみたい。ほんとはポインセチア。スタかおりはこの花の名前はなぜか、「セントポーリア」が出てきちゃうんだよね。

最終日は？

あすちゃんが作ったクリスマス会に何をやるかの意見箱。その中には紙がたくさん。

- ・シャンパンを飲む。(お子様だからシャンメリーかな)
- ・ゲームをする
- ・プレゼント交換をする
- ・ビンゴ大会！
- ・クリスマスの歌を歌う
- ・ケーキを食べる

などなど。

嬉しいぐらいにたくさん。けれど、時間は限られているのでスケジュールを組む。

「お昼前は食事の準備をして、午後からゲームだね。」

「クリスマスの歌はCD流しておこうか。」

「ビンゴ大会とプレゼント交換を合体させちゃおうか。」

「プレゼントは500円までにしようか。」

そんなこんなで、最終日の予定は決定。ゲームの係りも分担。お昼ご飯は鳥の丸焼きを前の日から作る予定。うまくできるかな。楽しく終わるといいね。

10:30 ~ お昼準備 (鳥の丸焼き)

12:00 お昼 (シャンメリーで乾杯?) 片付け

14:00 ~ ゲーム大会 (チーム対抗)

- ・サンタの福笑い
- ・伝言ゲーム
- ・箱の中に何が入っているかゲーム
- ・ビンゴ大会とプレゼント交換

ケーキを食べておしまい。

みんなからどんどんやろうと言う声。私は調整するだけ。この雰囲気いいねえ。

mailto:-----> sinjyuku@jfreinet.com まで。

=====

e-mail : sinjyuku@jfreinet.com

URL : http://www.jfreinet.com

=====

===== デイリー・フレネ =====

----- VOL/0767----- 2003/12/05

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

1. みっ君ママからのお便り
2. お料理 - チーズフォンデュ 新宿 (テッシー)
3. お料理 グラタン・ドリア 熊谷 (かおりん)

=====

今日はなんの日

603 聖徳太子、冠位十二階制定

今日の花言葉

アンブローシア 「幸せな恋」

今日は誰の誕生日

ウォルト・ディズニー (映画製作者 アメリカ 1901)

今日の名言

「何千年という間、人間の歴史は愛という言葉の小汚く使いなれてきてしまった」

大宅歩「詩と反逆と死」

- 多忙で一日遅れのデイリーです...

1. みっ君ママからのお便り

5日(金)は、前から計画していた「餅つきハイキング」だ。埼玉県茂呂山町の民宿「啓明荘」(最寄り駅は西武秩父線「武蔵横手」、そこから徒歩50分)で一日6500円でつかしてくれる。これで15人~20人分、しかも、大根おろし・黄粉・あんこ付きだから、とてもリーズナブル。

熊谷の子ども達も合わせて総勢20名。新宿の子ども達は池袋集合だけれど、新入会のみっ君はぼくと同じ八王子なので直接、JR東飯能に行き、みんなと合流。

秩父線の乗り換え時間が三分しかないので、急いでホームへ。みっ君を電車に乗せて、「じゃあね！」りょうすけ、ボラ・やくし君、「あれ、木幡さん、乗らないの？」

「ぼくは、お仕事だから都心に戻るの」

「?????」

唾然としているみんなを乗せて電車はホームから滑り出す。どんな餅つきだったかな? 詳細は、月曜のデイリーフレネをお楽しみに!

早速、みっ君ママから、お便りいただきました。

-----以下、転載。

ハイキング、餅つき。そして東飯能から無事にご帰還! 息子にとっては初めてのこともありましたがとってもいい顔で帰宅でした。

母が半ば冗談で(しかし半分本気)コンビニにて購入した「もしプチ遭難したらこれを食べて何とか生き延びて!」と持たせたカロリーメイト(チョコレート味)は帰宅後 旅人の小腹を満たしておりました・・

お疲れさまでした。そしてありがとうございます。各家庭からこども達を託されてのイベントはいつもより緊張しお疲れになられたと思います。息子の様子に家族はとっても嬉しかった!

久々に嬉しかった!

感謝

2. お料理 - チーズフォンデュ 新宿 (テッシー)

http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm

「木幡さん、明日のお料理何をやるの? 私の食べたものだったら明日行こうかなあと思って」とさきちゃん。

そこで、さきちゃんのリクエストに応えることにしました

今日はチーズフォンデュと野菜スープの二本立て。

チーズフォンデュのチーズは手に入れるまでが大変だった...。買い物隊は3箇所のお店をまわってきたみたい。でも、おかげでフォンデュ用のチーズを購入!

まずは野菜スープ作り。ベーコン、ウィンナー、それにキャベツににんじん、たまねぎに...とたくさんの野菜。それをみんなで手分けして切って味付けをしながら煮込む。一番大きい鍋にいっぱい野菜。とっても体に良さそう。最近風邪も流行ってきてるしね。あったかい野菜で栄養補給。

チーズはさきちゃんにお任せ。

「なんか臭くない?」

チーズに入っているワインのにおいかな。ちょっとなめると、

「酒っばい！」って。
 アルコールを飛ばすためにも焦がさないように気をつけながら更にあたため。
 出来上がったらみんなで食事。
 「パンがうまい！」チーズはどんどん減っていく。スープは味が薄いということでもう一度味付け。
 おかげでチーズがなくなったらスープにつけて。なんだかんだとほぼ完食のお料理でした。
 お授業 - 骨ってどうなってる？
 「骨ってどういうところ？」という質問。
 「んー、硬いところ。」
 ということで、みんなそれぞれに自分の手をコピー。右手で骨を探しながらそれを描いていくという作業。
 「あっ、ここが硬い...。」
 自分の手をこんなにまじまじと触る事ってないよね。
 「こういうゴツってなっているところって、どういうところ？」
 「曲がるそこじゃない？」
 関節がどういうところにあるのかも、確認しながらの作業。
 最後にレントゲン写真と照らし合わせ。手は、ちょっと骨が複雑。なかなか触っただけではわかりづらいところも。
 「あーこんな風なんだあ。」なんて声。
 おまけに大人と子どもの手の違いを実際に比べてみる。
 「んー、関節の太さが違う...。」
 「やわらかさも違うね。」
 30分近くのお授業でした。
 3. お料理 グラタン・ドリア 熊谷(かおりん)

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>

今日のお料理は「グラタン・ドリア」ホワイトソースも手作りで！ユータ君がじっくりコトコト作ったホワイトソースは滑らかでキメ細やか。
 味見をしてみると、「おいしーい。」みんなの期待も膨らむ。「おいしくそうだね。」なんていったら、「おいしそうじゃなくて、絶対おいしいの!!!」って。チーン！と焼き上がり。
 みんなの自信の通り、
 「おいしーい。」「最高！」の声。快心の出来！

ギターが来たー
 フレネのスペースの片隅でこそと弾かれることなく、置かれていたギター2台。
 JFF でてっしーのギターの前で歌ってから、「ギターやりたい。」の声。
 「ギターを教えてくれる人見つけたよ。」ときぐちゃん。立正大のススム君が今日から教えてくれることになりました。
 始まるとみんなの顔は真剣。
 「普段使っていない筋肉を使っている...。」
 「大変だけど、楽しい！」
 曲が弾けるようになっていいね。そしたら、みんなと一緒に歌えるね。

明日は餅つき。天気はいいみたいだけど、最高気温は8 だとか。元気に行ってくださいね。

mailto:-----> sinjyuku@jfreinet.com まで。
 =====
 e-mail : sinjyuku@jfreinet.com
 URL : <http://www.jfreinet.com>
 =====

===== デイリー・フレネ =====
 ----- VOL/0768----- 2003/12/08

- //////// CONTENTS //////////////////////////////////////
 1. 餅つきハイキング その(1)
 2. 餅つきハイキング その(2)
 3. 正しい休日の過ごし方

=====

今日はなんの日
 1941 太平洋戦争勃発 真珠湾攻撃
 1963 プロレスラー力道山、暴漢(村田勝志)に刺される
 1980 ジョン・レノン射殺される(マーク・チャプマン)
 今日の花言葉
 スターチス「さりげない心づかい」
 今日誰の誕生日
 稲垣吾郎(SMAP・タレント 1973)
 和久井映見(タレント1970)
 サミー・デビスJr(歌手 米 1925)
 嵐寛寿郎(俳優 1903)
 今日の名言
 「小石をいくら集めても、岩にはならない。岩はいくら大きくても、山ではない。経験をいくら積んでも、それを総括して体系だてないと力にはならない。知識のこまぎれをいくら集めても判断は生まれない」
 詞集「たいまつ」むのたけじ

- 1. 餅つきハイキング その(1)

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>
 餅つき

朝9時に池袋で集合して、電車で揺られる1時間ちょっと。途中、東飯能駅でみっ君と、お見送りの木幡さん。
 「じゃあ、行ってらっしゃい！」と、ドアの向こうの木幡さんを見て、
 「あー！木幡さん乗り遅れちゃってる！」と、りょうすけ。電車の中で思わず大笑い。
 いやいやこれからお仕事です...。
 武蔵横手の駅で熊谷と合流。てくてく山を登ること45分。目的地の「啓明荘」に到着。
 ついたらさっそく開始。あんこを丸めたり、大根をおろしたりと、仕事はたくさん。みんなで手分け。
 だけど、メインはもちつき。
 「もちをつかないと食えないよ！」ということで全員で交代しながら。
 周りはみんなで掛け声。
 「べったん」「べったん」「ひっくり返す」の三拍子に合わせて周りは掛け声。
 「笑って!」「いいとも!」「増刊号!」なんてへんな掛け声が出るたびにみんな大笑い。

ボラ・きょうさんとスタかおりんの番になると、
 「華の!」「女!」「30代!」
 みんな大笑い!さらには、
 「そろそろ!」「お肌の!」「曲がり角!」だって。
 掛け声に合わせて杵にも次第と力が入ってきて(?)
 美味しいおもちの完成。!
 お座敷に移動してみんなで「いただきます!」
 準備してもらっていた豚汁もゆず風味でとっても美味
 しかった!長いテーブルをみんなで囲んでしばし休憩。
 「なんか、同窓会みたい。」とは、りょう君。なんか
 懐かしい雰囲気。
 しばらくしたらみんなで出発。しりとりをしたり、お
 しゃべりをしたり。帰りはのんびり。
 さすがに帰りの電車はぐったり。朝早かったし、よく
 歩いたし、よく食べたしね。みんなお疲れ様でした!
 2. 餅つきハイキング その(2)

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>

餅つきヘゴ

5日(金)は新宿・熊谷と合同の餅つき。いつもより
 も早い集合。わたしはまだ日が昇らない暗いうちか
 ら...。今年一番の冷え込みだとか。息は白い。私は
 6枚着て、だるまのようになりながら到着。みんなも
 元気な様子。どんな一日になるのか楽しみだね。
 くれぐれもおもちを詰まらせないように。

何がでてる?

「お汁粉食べたいから、水筒にお汁粉持ってこよ
 うかなあ。」と言っていたユータ君。今回はさすがに
 持ってこなかったみたい。

「お持ち帰りようにサランラップもって来たよ。」
 とスタかおり。

「俺は、洗顔フォーム!？」

ボラ田中君のかばんからはなぜか洗顔フォーム。
 「手を洗う時に石鹸がないと...。」と洗顔フォームを
 持ってきたようだ。

みんな準備万端!?

乗り換えもみんなのおかげでスムーズに。お見事!

おいしょー

テクテク歩いて到着。いよいよ餅つき。とんかちの
 ような杵を使って、いよいよはじまり。

最初は、てっしーとボラやくし君が炊き立てのお米
 をつぶして・・・

「やりたい人ー!」

「つかないと食べられないよー!」

「じゃあ、やってみる。」

べたっ、べたっ、ぺこっ?うまくつけると音もいい。
 お餅をつくよりも、みんなが気になるのはつきたて
 のお餅。

「ちょっともち米が潰れた方がおいしい。」

と杵にくっついたお米を食べたり。早く食べたくて
 うずうず。

「ちょっとだけいい?」がみんなばくばく。

「おいしー。」みんなでついたもんね。

おいしー!

きな粉・あんこ・大根おろしに持参した納豆。あん
 こをくるんで大福も。トン汁も一緒に。とても寒かつ
 たので嬉しい一品。「いただきます!」と食べる
 頃には、みんなつまみ食いでおなかいっぱいかな。

トン汁には柚子が入っていてさっぱりとおいしい。
 おなかもいっぱいになると会話も弾む。
 「ねえねえ、このクイズ知ってる?」とちせちゃん。
 「え、よくわからないよ。」とスタかおりとあすちゃん、
 ユータ君で悩んだり。畳の部屋でみんなでくつろぐ
 姿は、親戚の集まりのようだ。空気がほんわか。
 お土産のお餅も詰めて、帰り支度。

しりとり

帰り道。ドラゴン、けんご君、あすちゃんと一緒に
 しりとりをしながら。

「7文字以上のしりとりだからねっ!」

「えー。」「うらしまたろう。」

「ウルトラマンたろう。」

「あー、6文字で終わってしまった。」

白熱。あっという間に駅についてしまった。

「またねえ!今度はスキーかなあ。」

「ばいばい。」

みんな一日お疲れ様でした。

3. 正しい休日の過ごし方

みんなは餅つきハイキング...、いいなあ...。木幡は、
 みつ君を東飯能駅まで送ってから、都心で仕事でし
 た。

さて、6日(土)、7日(日)は何年来の休日。嬉しい!
 いつも土日に仕事が入るので、久々の連休!

5日(土)

午後2時まで、ため寝...。遅い昼食後、レンタルビ
 デオショップへ行き、ビデオを5本借りる。

夜は、山海漬け・ほうれん草おひたし・たらこ・ゴ
 ーヤチャンプルとコロケを食しながら、何回目か
 の「砂の器」(松本清張)を見る。野村芳太郎監督
 の映像は、原作を超えた数少ない映画だと思う。
 ちなみに、今まで見た映画で原作を越えたと思うの
 は、吉永小百合主演の「キューポラのある街」(こ
 れは浦山桐郎監督)とジャック・ニコルソン主演の
 「カッコーの巣の上で」かなあ...

22時半には就寝。

6日(日)

午前9時就寝。ぐちゃぐちゃになっていた自室を2ヶ
 月ぶりに片付ける。ぼくの部屋には、回りまわって
 やってきた田園調布双葉の木製机が二つあり、これ
 をパソコン用と仕事用に使っている。久しぶりの掃
 除なので埃がひどく、急性の鼻炎になる。

昼食は抜き。鍋焼きうどんを本格的に作ろうと決心
 し、八王子そごうに鍋焼きうどん用の土鍋を買いに
 行く。隣りのまるいが閉店とかでセール中。ナイキ
 のシューズが安かったので衝動的に買ってしまふ。
 干しいたけ・こぶ・かつおぶしで本格的にだしを
 とり、鍋焼きうどんを作る。具材は、しいたけ・は
 くさい・にんじん・豚肉・たけのこ・かまぼこ・タ
 マゴ・ほうれん草・絹さや・海老天・麩...、美味!
 借りてきたビデオ「天国と地獄」(黒澤明)も見る。
 これは山崎努のデビュー作。これも何回も見ている
 作品だ。

「過去の声 一八世紀日本の言説における言語の地
 位」(酒井直樹)を読みながら、23時就寝。

これにて週末も終了...

「過去の声 一八世紀日本の言説における言語の地位」

[原書名:Voices of the Past Sakai]

酒井 直樹【著・監訳】(以文社 6800円)
 酒井直樹はコーネル大学教授。1983 シカゴ大学の学位論文として認定されたものの日本語訳だ。かなり難解だが、昨今の「日本語ブーム」を考えるうえで大きなヒントになる。

「私が話し、書く言語は、私に帰属するものではない」この意表をつく言葉で始まる本書は、18世紀日本(徳川期)の言説空間 漢学・国学・文学・歌論・歌学における言語をめぐる熾烈な議論が、その果てになぜ日本語・日本人という起源への欲望を生み出したかを解き明かす。

シュタイ(主観・主体・主語・主題)・言語・文化・歴史の不可分の関係を論じ、「日本思想史研究」を塗り替える、丸山真男以来の達成。(帯より)

mailto:-----> sinjyuku@jfreinet.com まで。

e-mail : sinjyuku@jfreinet.com

URL : http://www.jfreinet.com

==== デイリー・フレネ =====

----- VOL/0769----- 2003/12/09

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

1. ワークショップ「マジックで対話」
2. 裁縫をしたよ! 新宿
3. はんこづくり 熊谷

=====

今日はなんの日

1986 ビートたけし「FRIDAY」襲撃事件

今日の花言葉

菊「高潔」

今日は誰の誕生日

落合博満(1953 野球)

今日の名言

「男が一人で戦っていく時、女を必要とすることは確かだ。しかし、それはけして結婚とかたちのものではない。それは男の孤独な戦いを理解してくれるだけでいいのだ。たとえ分かれて生活する運命にあったとしても、ある思い出だけでもいいものだ」

加藤諦三

- 1. ワークショップ「マジックで対話」
 年に2 回行われるジャパンフレネ主催の合宿。授業を楽しんだり、教育を語ったり...。今回はマジシャン・クロッキーこと黒崎正博さんのワークショップがわれます。

新春1月10日(土)~11日(日)山梨県・勝沼の宿坊で行われる合宿、お子様の参加も可。
 詳細は、ジャパンフレネにお問い合わせ下さい。

マジシャン黒崎正博さんによるワークショップ「マジックで対話」を行ないます。マジックであなたは人気者。

人と人をつなぐのは言葉だけではありません。マジックは世界のどこでも通用するコミュニケーションツールです。簡単なマジックをちょっと覚えると、とても効果があります。

マジックアーティスト 黒崎 正博プロフィール
 東洋大学マジシャンズ・ソサエティー創立。

在学中から学生マジシャンとして、NHKの超人気番組「私の秘密」に出演。

1976年 PCAM国際東京大会でNET大賞受賞、コメディ部門優勝。

1985年 マジック界世界最高峰、米国アカデミー・オブ・マジックのパーティーに日本人初のスペシャルゲストとして招待され、レーガン大統領のマスクをかぶって演技をし、大好評を博す。フジテレビ「花王名人劇場」にも出演。

1988年 台湾の全国児童魔術大会に、アメリカの超スーパーマジシャン、デビット・カッパーフィールド氏と共に招待され、特別出演する。

現在、パルコ毎日新聞カルチャーシティー他、超面白手品入門講座の講師として、手品の普及活動中。

著書：ミスター・クロッキーのマジックで人気者になるう！(PHP研究所)

クロッキー校長のマジックのじかん(フレーベル館)他

コミカルなタッチのマジックを得意とし、個性あふれるアクトとユニークなアメリカンスタイルの演出が特徴。

2. 裁縫をしたよ! 新宿

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>

「ねえねえテッシ、ボタンのつけ方知ってる？」

と、りょうすけ。取り出したるや、ボタンがたくさんついた布。

「練習したんだあ。」

というわけで、ボラ・きょうさんと一緒にボタン探しの旅へ。布は、こっちで準備。買い物から帰ってきたらさっそく開始。

「まずは、糸の結び方は...。」と、きょうさんに教えるりょうすけ。これがなかなか上手い。

「だって、練習したんだから！」

ボタンの講義終了後は、せっかくなので残った布を使ってペンケース作り。せっせと縫うりょうすけ。

「ボタンもちゃんとつけようか。」

「あー、もうめんどくさいな。」なんていいながらも、しっかり3つのボタンつき。

「これはちゃんと使えるね。」

「ミニカーいれんるんだから！」

なんだかんだといいながらも飾り付けまで。いいもの作ったね！りょうすけも満足そうでした。

3. はんこづくり 熊谷

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>

今日のものづくりは、はんこ作り。年賀状で使う「はんこが作りたーい。」っということで、ゴム板を彫刻刀で彫る。

どんなデザインにしようか。

「俺は、魚！」

「文字でもいいかなあ。」

みんな思い思いにゴム版に描いていく。どんなのが出来るかな。
 ゴム板に下絵を描いたら、彫刻刀で彫る。使い慣れなのでなかなか難しい。
 「手が痛いよぉ〜。」少しずつ作っていきこうね。道のりはまだまだかな。

プレゼント

「Xmas プレゼントは何がいいかなあ。」
 「悩むなあ。」とユータ君にあすちゃん。
 「俺は、イグアナ。休みの日に買ってもらうんだ。」と楽しそうなかい君。
 イグアナの住む場所の設計図も作るんだって。
 「かおりさんならどうする？」
 うーん。そういわれると悩む…。とはいえXmas プレゼントなんて縁がない。自分にプレゼント買っていたしなあ。去年は自分にチョコQ だったし…。(なんて寂しい)
 「わかった、身長もらえば！」って。もらえるものならもらいたいワ・・・。
 今週も寒いけれど、元気に行きましょう。

=====

==== デイリー・フレネ =====
 ----- VOL/0770----- 2003/12/10

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

- 1. 「エロマンガ」騒動記
- 2. ジャパンフレネあれこれ
- 3. ものづくり - 版画で年賀状

=====

今日はなんの日
 1903 マリー・キュリー女性初のノーベル賞受賞
 今日の花言葉
 つばき(赤)「高潔な理性」
 今日は誰の誕生日
 坂本九(1941)
 寺山修二(脚本家 1935)
 今日の名言
 「いちばんいいそがしい人間が、いちばんたくさん時間をもつ」

アレクサンドル・ピネ

- 1. エロマンガ騒動記
 さきちゃんがまっつぁんにならやら耳打ち。それを見た木幡、ぴんと来ました。
 「なあに?」「なんでもないよ」
 奥の方から声がする。「エロ本、読んでるよ」
 奥のこどもスペースに行ってみると、みっ君が真剣に読書。マンガだけれどかなりエロい。グロいといってもいい。
 「誰だ? こんなの持ってきたの?」
 「ここにもあるよ」とたかぼう。計3冊。
 「おれ」と、まっつぁん。
 「見たいっていったから、家から持ってきたんだ。『隠しとけよ』って言って、ソファの下に入れていたのに、出して見やがるの」
 みっ君、我慢できずに見たってわけか...
 「おふくろさんに言っちゃうぞ」と、木幡、まっつぁんに脅しをかける。
 「いいよ。知ってるもん」ぎゃふん。

「とりあえず、これは没収」
 「まって、取り上げないで! まだ、見てないのあるから」みっ君の言葉に爆笑! 女の子たち、しょうがないなあという顔で「もう本当に馬鹿みたい」「責任もって各自処分しておくこと」
 これにて一件落着!

その後、エロマンガはどうなったんでしょう? エロマンガを読みたい人は太平洋上のエロマンガ島行きましょうね!(本当にあるんですよ)
 まあ、男だったら誰にでも覚えがあること、「性」に目覚めて、また一つ成長するってことかな。

2. ジャパンフレネあれこれ

ジャパンフレネの年賀状

ジャパンフレネの年賀状は毎年、子ども達がデザインしてくれる。今年は、すみれちゃんが作ってくれました。
 第一プランがでっかいサルの顔。
 「これじゃ、『猿の惑星』だよ。もっとかわいいのがいいなあ」
 「じゃあ、直しますね」と、すみれちゃん、パソコンを使ってちょちょいのちょい。
 メスぎるがフレアーのワンピースを着ていて...、なるほどフラメンコか!

「リクエストお願いね。バックに富士山。おめでたい感じにね。それとフラメンコと言えば『バラ』だよねバラをくわえさせて」
 「はい」

「木幡さん、注文多いなあ。手書きだから大変なんだよ」と、さきちゃん。
 なかなかサイケデリックな年賀状ができました。
 えう、ご期待!

今日は誰の誕生日~番外編

「今日はタンが出る日...」
 (いきなりお下品ですが。)とかい君。なんて言いながらも、今日はかい君の誕生日。一ヶ月前から「もうすぐ12月?」とわくわくしていた。
 いつもよりも、嬉しそう。フレネに来る子からも、「おめでとう!」の声。
 「かい君これ、誕生日プレゼント!」
 とあすちゃんから袋包み。中から、おでんのタコ!(笑)
 「あ、ありがとう。」と照れくさそうに。
 「いくつになったの?」
 「8歳!」「タコの足の数とおなじだね。」
 よい一年でありますように!
 ちなみに木幡の誕生日は12月18日です。
 かい君と同じ「射手座」だね!
 木幡さんの漢字クイズ

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>
 「この形から漢字を作るクイズ。50個以上あるみたいなんだけど。」

「この形」はHPをごらん下さい。
 ホワイトボードを囲んでんやわんや。最初の簡単な答えはみんなです。
 だけど、行き詰まってくると、みんなのひらめきが光る。横で見ていて、「あー、なるほど!」と唸るようなものばかり。
 結局60個以上の答えを出しました。すごい!

3. ものづくり - 版画で年賀状

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>

新宿バージョン

そろそろ年賀状の準備。ジャパンフレネの年賀状は毎年子どもにお願い。今年も楽しい年賀状を作ってくれました。お楽しみに！

それとは別に一人一人の年賀状作り。前に版画はやったことがあったけど、まずは彫刻刀の使い方を確認。

「手を切らないようにこうやって...。」と、木幡さんの説明。

りょうすけは富士山。それに「JR」。

「りょうちゃんはいつもJRだよねえ。」

「もうサインみたいなもんだよね。」

だけど、

「逆さにしないと、刷ったとき反対だよ...。」

「あっ！」

すみれちゃんも挑戦。またまた鏡文字を忘れちゃった！だけど、ハートマークでしっかりリカバー。

オリジナルな年賀状。やっぱりいいね！

熊谷バージョン 続き編

昨日からゴム板を彫って版画作り。

「思ったより、うまく出来なかったあ。」

とちょっと残念そうなみんなの様子。

「今日もやろう！」ということで、みんな真剣。フレネの中は静まりかえるほど。

「みてみて、できた！」とかい君。

そこにはブラックバス。昨日は彫刻刀の使い方ままならなかったのに！すごい。

「今度はかばにするんだ。」

「これは満足！」「あたしはほうきで空を飛んでいる様子。」とあすちゃん。

それにつられて、みんななかなかのでき。よいところはどんどん真似していこう。

作り終えてお片付け。声をかけると、みんなで、すさささーとあーという間、版画で彫ったカスや道具も片付け終わる。

いいねえ。この調子でラストスパート！

<mailto:-----> sinjyuku@jfreinet.com> まで。

e-mail : sinjyuku@jfreinet.com

URL : <http://www.jfreinet.com>

==== デイリー・フレネ =====

----- VOL/0771----- 2003/12/11

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

- 1. うーん！うんまい！ ちゃんこ鍋
- 2. 迷路と作文 新宿
- 3. お散歩の授業 森林公園 熊谷

=====
今日はなんの日

1957 百円硬貨発行

今日の花言葉

松葉菊 「愛国心」

今日は誰の誕生日

コッホ（細菌学者 独 1843）

今日の名言

「乗りかけた舟には、ためらわずに乗ってしまえ」

ツルゲーネフ

- 1. うーん！うんまい！ ちゃんこ鍋

「冬は、やっぱり鍋さ！」というわけで、たった今、ちゃんこ鍋を作って食べました。ちゃんこといえば、ぼくの場合、「鶏つみれ」。

鶏ひき肉にみじん切りのねぎ、生姜汁、お塩を入れて粘り気が出るまでこねこね。お肉が「冷たーい！これ北海道弁でなんて言うか知ってる？」「しゃっこい！」

豚肉にねぎ、豆腐、油揚げ、もやし、白菜、キャベツ、さといももいれて...、そうするになんでもいいんですね！さあ、できあがり！

「おいしー！」鶏が苦手なたかちゃん、「もっと鶏肉食べていい？」さあ、来週は大パーティーだ！

2. 迷路と作文 新宿

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>

頭の体操 - 迷路

今日は頭の体操。朝日新聞の日曜版に載っている迷路解き。結構細かくて大変。

「迷路やるやる！」

「俺、迷路結構得意！」

と意気込んだけど、やっぱり難しい。

「できた！」と、一番手はりょうすけ。と、思いきやスタートからしばらく頑張った後は、ゴールへ一直線...

本当の一番手はミッキー。見事にカブトムシの絵が出てきました。

その後は、

「じゃあ、オリジナルの迷路を作って問題を出そう」ということで自作の迷路。解くのは大変だったけど、作るのもまた大変...

「とりあえず正解ルートを作っちゃうのがいいんだよ。」と、ジーコ。

頭の体操になったかな？

作文

昨日、とうとう自衛隊派遣が決定。イラクに注目が集まっている中、アフガニスタンでも犠牲者は出続けている。

月曜日の朝日新聞に、アメリカ軍の誤爆(?)によって9人の子どもが犠牲になった記事が出ていたので、それを使って大きいこを中心に作文。

「自分の意見を書いてね。」と、ということのみ。何かに対して自分の意見をしっかり持つ、そしてそれを言葉にして他者に伝えるというのは難しい。日々、いろんなことにアンテナを張って自分なりの意見を持って欲しいな。

一人で書く子、みんなでワイワイの子、書く環境もそれぞれ。

作文、みんなの話、共通して言えることは、『他人事』ということでした。だけど、これが日本社会全体の流れなのかなあ。

3. お散歩の授業 森林公園 熊谷

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>
 今日のお散歩は森林公園へ。紅葉も終わって、辺り一面は枯葉。公園内には家族連れが2・3組のみ。「やったあ。人がいない！」ほとんど貸切状態!!!
 11月に出来たばかりのアスレチックも、順番を待たずにやりたい放題。ユータ君を追い掛け回すかい君。走り回って、汗だくだく。動き回れば体もぼかぼか。体を動かすと気持ちがいいね。

サクサクサク
 あたり一面は枯葉。
 「枯葉をサクサク踏むのおもしろいよね。」
 わざと、枯葉の山の中に突っ込んでいく。
 枯葉をかけっこしたり、
 「一度枯葉の中に入って見たかったんだ。」
 と枯葉の中に埋めてもらうスタかおり。
 「端たら見ると、死体を隠しているみたいだよ。」
 といいながら、みんな一生懸命枯葉をかける。
 枯葉の中はとても温かい。気分は干草の中で眠るハイジ。けれど、見た目は死体ようだった。
 今の時期しか出来ない遊び。

モーメントォ!
 アスレチックの中に大きなシーソー。
 「かい君とあすちゃんがつり合うにはどうしたらいい?」
 「かい君覚えてる?木幡さんのやった大根の授業?」
 「もーめんとお。」と叫ぶかい君。
 「そっかあ、つり合うには支点からの距離を調節すればいいんだね。」とあすちゃん。
 ちょっ学んでしまいました。

ポコポコマウンテン
 今年の11月に出来たばかりの遊具。ポコポコマウンテン。屋外型巨大トランポリン。ポヨンポヨンと弾む!「すごくおもしろいですよ。」とボラヒロちゃんやりえちゃんから教えてもらった。今日はこれがメイン。
 雑木林を抜け、前方にぼんぼこマウンテン。
 「あれだあ!!!!」みんな大はしゃぎ!人がいないのでもちろん貸切!全身で飛び跳ねるとってもおもしろい!
 「空が近くなるね。」
 「わーい。わーい。」
 思いっきり飛び跳ねる。「また絶対に来ようね。」とユータ君。みんな満足のお散歩でした。
 寒さに負けずに行きましょう。

=====

==== デイリー・フレネ =====
 ----- VOL/0772----- 2003/12/12

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

1. 救急車出動!
2. 新宿VS熊谷お料理対決
3. おすすめ二つ URLとマンガ

=====

今日はなんの日
 1988 黒人差別と判断、絵本「ちびくろさんぼ」絶版
 今日の花言葉
 わた 「優秀」
 今日のは誰の誕生日
 小津安二郎(映画監督 1903)
 福沢諭吉(教育者 1834)
 今日の名言
 「ねむるなら目をつぶりなさい。考えるなら目をあけなさい。目をつぶって考える中身は大概くだらない。決断に向かって思考するとき、目は必ず見ひらかれて輝いている」
 むのたけじ「たいまつ」

- 1. 救急車出動!
 「木幡さん、誰かがいたずらしてみっ君のポカリの中に消臭剤の粒を入れたみたいなんです」と、緊迫した表情のテッシー。もしものことがあってはいけませんので、テッシーが付き添いすぐに病院へ!しかし、「たらいまわしにされて、どこも引き受けてくれないんです」と連絡あり。
 「じゃあねえ、新宿御苑前駅の近くの消防署に行つて、救急車で病院に行つて」
 待つことしばし、慶應大学付属病院からテッシーの電話。消臭剤の成分を調べて、問題はないがなにがあったらまた来てくれとのこと。ああ、良かった!しかし、おふざけも度がすぎるとしゃれにならないぞ。事件の当事者は、「ごめんなさい」と、さすがにへこんでいました。
 こういう事件のとき、ぼくは、お説教をたれない。事実確認とこの意味を話すだけ。後は、このことを自分で保護者に話すこと。これだけ。「もうしません」という約束は、約束が守れなかったとき、かえって守れなかった自分のプライドを傷つける。
 夜、「ねえ、ちゃんと話した?」
 「う、うん。まだ...」
 「話しくいの?」
 「明日必ず話す」
 「だめ、今じゃなきや。5分後にもう一度電話するから、ちゃんと話すんだよ」
 さすがに話しぶりよなあ...。フレネ、久々の事件でした。
 テッシー談
 消防署では救急車が出払っていて、待っていたんですよ。そうしたら2階から6~7人、どかどかって滑り降りてきて『どうしたどうした!何があったんだ!』で聴くから驚きましたよ。
 それしても、たらいまわしはひどいよなあ

2. 新宿VS熊谷お料理対決
<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>
 お料理 - ちゃんこ鍋 味噌風味 新宿
 今日のお料理は鍋。決まっていたのはここまで。「何鍋にしようかあ。」と、話し合い。
 「チゲ鍋がいい。」
 「辛いのが苦手...。」とは、ボラ・ゆうちゃん。
 というわけで、ちゃんこ鍋に決定。前はしょうゆだしだったので、今回は味噌で。基本的な材料、準備は手

際よく。さらにとうこちゃん差し入れの白菜に里芋もたくさん。寒いこの時期に鍋はいいね。野菜もたくさん食べられるしね。

と準備を進めているあいだにアクシデント…。ぼくは子どもをつれて病院へ。

お昼時ということもあったのかもしれないけれど、何件もの病院をまわったり、電話をしても、
「～電話をしてみてください。」

言われたその先でも全く同じ対応。これはいったいなんなんだ？？まさにタイムワシ…。結局直接消防署で救急車。

今回はそこまでの大事にならなかったけれども、この状況は何とかならないのかなあ。

お料理の授業 坦々ごま鍋 熊谷
今日のお料理は坦々ごま鍋。テレビのCMでやっているような。ポラヒロちゃんの「おいしいですよ！」のひとりで決定。

「一体どんな味がするのだろうか？」と興味津々。
白菜・チンゲン菜・豆腐・豚肉を入れる。「餃子を入れるとおいしいですよ！」とアドバイス。

中に入れる餃子はみんなで手作り。
「これ練習して出来るようになったんだ！」

「具が出ちゃったあ…。」
言葉を交わしながら、おいしい、餃子が出来たよ！坦々ごま鍋の素でぐつぐつ煮込んであつという間の出来上がり。

食べてみると…。
「辛い！けどすごくおいしい。家でもやろう！」ときぐちゃん。

「暖まるを通り越して、アツイよ。」
と辛くて、汗がだらだら。のユータ君。
「鍋の閉めはラーメンでしょう。坦々麺になるよね。」
閉めはラーメンで。最後の最後までおいしい。体も心もホカホカのお料理でした。

3. おすすめ二つ URLとマンガ
「イグアナのポスターを作る。」

誕生日プレゼントのイグアナが待ちどろしいかい君。図鑑から、イグアナを拡大コピーしてポスターに。その下に、イグアナを飼う為の注意事項を書く。

「グリーンイグアナニサルナ！」
「アケツバナシニスルナ！」
「字を書くのはちょっとお…。」といつもは腰がひけてしまうかい君だけれど、今日は一日中机に向かっていました。すごい集中力。

「字を書くのはちょっとお…。」のためのHP
きれいな字を書こう！きれいな字を教えよう！！
きれいな文字は一生の宝です。小さい時にしっかりと基礎を身に付けたいものです。小学校の先生、小さいお子さんをお持ちのお父さんお母さんご一緒に勉強しませんか。きれいな手書き文字が必ず書けるようになります。ひらがなカタカナ小学校で習う漢字(教育漢字)を練習する講座形式のホームページです。メルマガも毎週土曜日に発行。

<http://www.mag2.com/m/0000116574.htm>
<http://www.geocities.jp/ki07ji/>

受験マンガもいいことを言う
木曜日発売の雑誌「モーニング」に「ドラゴン桜」というマンガが連載されている。
おちこぼれ&はみ出し生徒が集まる高校を立て直そうと主人公の弁護士が乗り込んできた。その作戦とは、「東大合格者を出す」ということ。集まったのは、たった。二人その特訓の過程が描かれている。今週号の吹き出しから抜粋！

東大新聞の受験生特集号を読み、「(新聞を)教えてもらって良かった…」それ以上のことを考えられない二人の生徒を前にして、…。弁護士のせりふ。
「情報を手にしてそこから何を教訓として得たかが、大事なんだ！この、東大新聞の存在を全国の受験生が全員知ってることはない。それはつまり、『知る者』と『知らざる者』に分かれるということだ。『知らない』ということは、実に恐ろしいことだ。逆に『知る』ということ…、その知識や情報は幸せをもたらす協力的な武器だということだ」

何がわかったか、自分なりの結論を導き出すよう要求された生徒…。そのせりふ。
「つまり、自分の意見を主張するにも、判断を下すにも、考える材料がいっぱいなきやだめってこと」「それも、ひとからただ教えられたり偶然やラッキーじゃなく、自分で調べたり、わかんなかったら聞くとか…。『知る』ためのトレーニングを今積んでいるってことね」
「なるほど、これが『勉強』ってやつか」

いかがでしょう？どんなところにも「学び」がありますね！

mailto:-----> sinjyuku@jfreinet.com まで。
=====

e-mail : sinjyuku@jfreinet.com
URL : <http://www.jfreinet.com>
=====

===== デイリー・フレネ =====
----- VOL/0773----- 2003/12/15

- //////// CONTENTS //////////////////////////////////////
1. お散歩の授業「鎌倉散策」新宿(テッシー)
2. お授業-きもち
3. 風船スライムを作ったよ！

今日はなんの日
1963 プロレスラー力道山、暴漢(村田勝志)に刺され(8日)、死亡(39歳)
今日の花言葉
シクラメン「嫉妬」
今日は誰の誕生日
谷川俊太郎(詩人 1931)
A. エッフェル(エッフェル塔設計者 1832)
今日の名言
「すなわち、最も良き人々は戻ってこなかった」
『夜と霧』(アラン・レネ)より
ここでの最も良き人々とは、勇敢な者、信念に基づ

いて行動した勇気ある人々を指す。ナチの強制収容所から出てきたのは、臆病な卑怯者だけであったという、生き残ったものの凄絶な自己処罰の哲学が、この一行から読み取れると、森巢博（国際ギャンブラー、作家）は言う。

1. お散歩の授業「鎌倉散策」新宿（テッシー）

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>

今日のお散歩はなんと鎌倉へ。お散歩というよりも遠足。朝集まったのは8時前！

ちょうど通勤ラッシュ。電車で一休みと思っていたけれどそうもいかない。座れない…。

それと、心配だった天気はやはり雨…。ここ2回鎌倉で雨に遭遇しているぼくに「雨男！」と、ドラゴン。んー、これには言い返せない…。

鶴岡八幡宮

北鎌倉の駅からハイキングをしていく予定だったけれど、雨だったので鎌倉の駅まで行くことに。

駅から鶴岡八幡宮の参道をみんなで歩く。

「夏に来て綺麗なんだよ！」と、たくろう。どうやら、修学旅行で鎌倉に来たことがあるみたい。

みんなでお清めをして中へ。

「せっかくだから…。」と、おみくじ。ぼくは末吉…。

「おみくじなんて非科学的なものにどうして金を出すんだあ！」と言っていたドラゴンも、「みんなやってるから…。」一番よかった子で中吉。

「結構辛口だな、このおみくじ。」

もちろんみんな結んできました。

その後は鎌倉国宝館へ。

「テッシー、ほら！」と、りょうすけが指差すのは千手観音。京都で見たもんね。

長谷寺

鎌倉から江ノ電に乗って移動。長谷寺へ。

「ここにはでっかい大黒様がいるんだよ！」

と、またまたたくろう。

「おれはここで木刀買って帰ったんだ！」

「やっぱり？」京都でのかい君を思い出す。だけど、

「おれはこの木刀、かあちゃんには…。」と、どうやら何本も買ったみたい。

中は紅葉。だけど、ふと見るとお弁当をあけるみんな…。花より団子。

洞窟の中にはたくさんの像。

「ブルさん！おれ、ちゃんとろうそく立ててきたよ！」

「ちなみにおれは、恋愛愛情の像にろうそく立ててきた。」と、けんご君。

「でも、この像を見てると人間の欲がわかるよな。勉強、恋愛、健康、金銭とかだもん。」と、またまたけんご君。これには大笑い！

鎌倉大仏殿

お約束の鎌倉の大佛さまへ。中に入ることもできたね。やっぱりインパクトがあるね。

さらにはリスに遭遇。このリスがまた人に慣れていてエサをもらいに寄ってくる。これが一匹や二匹といった数じゃない。カサカサあちこちで音を立てているのはさすがに怖い。みんなでワイワイあげていると、

「日光の猿みたいになっちゃうよ！」

と、ドラゴン。鋭い意見。

海へ

最後に七里ヶ浜で降りて、ちょっと遅めのお昼を海岸で。やっと覗いた青空。みんなでお昼を食べながらぼんやり…。

砂に絵を書いたり、波と追いかっこをしたり。のんびりの時間。

そんな中、ドラゴンの始めたゲーム。それは、交代で棒を波打ち際に向かってさしてくるというもの。（次々と奥のほうへ！）戻って来的时候には猛ダッシュ！

「ぬあぁ〜！」と、けんご君。跳ね上がる水しぶき。びしょびしょ。

「夏に海に入らないおれが、この時期に入っちゃったよ！」

その横では、

「あぁ〜！」という声。見ると、りょうすけの靴が波にさらわれている。濡れないようにと脱いでおいたのに…。だけど、全てがほんわか。ゆっくり。笑いが絶えませんでした。

遠出で大変だったけど、楽しかったね。たまにはこういう日帰り遠足もいいね。

2. お授業 - きもち

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>

今日は谷川俊太郎さん・長新太さんの絵本を使っただけの授業。この絵本には、セリフがない。一人の男の子を中心に、絵だけでストーリーが進んでいくというもの。まずは最初に「きもちを表すことば」をみんなで出し合う。楽しい、嬉しい、悲しい、などはどんでん返ってくるけれど、10個過ぎからは難しい。普段いろんな感情を持って生活しているけれど、他者に伝えるということが少ないからかな。

そして、本題。一ページずつ出して、その場面場面の主人公の気持ちを書いていく。その仕方は自由。

「じゃあ『あぁ〜！！』ってのはいいの？」

「いいよ。好きに書いて。」

大きく分けて、4つの場面（人間関係）に分けられているお話し。1つの場面が終わるたびに、

「じゃあ、この子（主人公）ってどういう子？」

という質問。

「意地悪、根性悪い」から、「やさしい、動物思い」

へ。「弱虫」から「やさしい、家族思い」へ。場面ごとに主人公の印象が移り変わっていく。

喜怒哀楽あらゆる感情っていうのは誰もが持っているんだよね。強がっている子でも弱いところは多分にある。

そして誰もが「いいところ」を持っているんだよね。これはぼくが今この仕事についている理由の一つ。何かを見つけたときの嬉しさは他じゃないもの。もしもこの探究心がなくなったら辞めなきゃなあ。

3. 風船スライムを作ったよ！

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>

木幡マンの授業 風船スライム

今日の木幡マンの授業は、「風船スライム」子ども達もわくわくドキドキ。

「ふわふわ飛ぶのかなあ。」

「あたしも一緒に飛びたいなあ。」

みんなの想像も風船のように膨らむばかり。

「風船スライム。作り方は一回しかいわないよ。」
と木幡マン。
「ほんとに出来んの?」「できるのかなあ?」
みんなは真剣に見つめる。
「ぶうう。」とスライムが膨らんでいく。
「わぁ!!!!」「早くやりたい!」と身を乗り出す。
しかし、失敗すると...、ぷりっ。ぷりぷりぷり。お
食事中にはちょっと聞きたくない音。
順番どおりに混ぜて...。 あっという間に出来上がり。
スライムは作りなれているから、お手の物。けれど、
膨らませるのがなかなか大変。失敗すると、プリッと
変な音。
「やったあ。出来てる。」
と見ると、顔を真っ赤にするユータ君の姿。パッチリ
膨らんでいる。お見事!
ぷりぷり言わせながらもかい君ずっとスライムと楽し
んでいました。

漢字ゲーム

新宿でも白熱した、漢字ゲーム。
「ここから漢字を見つけてね。」と木幡さん。
探し出すぞおとみんな真剣。
「これはどうだろう?」
「60個までいったら広辞苑を見ようか。」
意気込む。70文字近く発見!がんばったのあ。

mailto:-----> sinjyuku@jfreinet.com まで。
=====

e-mail : sinjyuku@jfreinet.com
URL : http://www.jfreinet.com
=====

===== デイリー・フレネ =====
----- VOL/0774----- 2003/12/16

- //////// CONTENTS //////////////////////////////////////
1. ミーティングにて
 2. 勝ちに行く! 新春サッカー大会
 3. 一足早い「JF熊谷十大ニュース」
- =====

今日はなんの日
1932 日本橋白木屋デパート、初の高層ビル火災
今日の花言葉
はんのき「壮巖」
今日は誰の誕生日
森田健作(1949 O型)
松山千春(1955 O型)
今日の名言
「死と同じように避けられないものがある。それは生
きることだ」

映画「ライムライト」より

- 1. ミーティングにて
「パーティーの後、ボーリングに行きたい人、手を
上げて」
恒例のクリスマスパーティーの後、ボーリングに行
くのがこれまた恒例。
「5時前にボーリングに行きたいんだ」
「テッシー自分の仕事を減らしたいんだ」

和やかにミーティングが進む。
「パーティーの時、鶏の丸焼きを作るから、誰か手
伝って。その前に、風邪引いてて調子悪いから、18
日、うまくできるかなあ。俺の誕生日なんだけれど、
去年は熱出してホテルに泊まっちゃったから...」
「木幡さん、さりげなく、自分の誕生日をアピール
したね!」
ジャパンフレネ、残り三日...。本日も快調なり。

2. 勝ちに行く! 新春サッカー大会

越谷にあるフリースクール「りんごの木」から電話
があった。新春サッカー大会を行うのだが、ぜひ、
参加してほしいとのこと。

「りんごの木」の母体・越谷ラルゴの理事長竹村
さんとは、自由の森以来のお付き合い。
ただし、マジに戦いたいとのこと、小学生などは
ご遠慮というニュアンス。うーん、どうしようかな
あ?
というわけで、本日のミーティングでみんなに聞いて
みた。

「小学生は戦力外だから、だめだって」
「戦力外ってなあに?」
「おれは、やる」とドラゴン。
けんごは、「ちょっと待って、人数考えてみる」
「その前に戦力になるのが何人いるか考えなきゃ。
ここにいるメンバーなら、ドラゴンだけじゃん」
けんごもいるのに木幡のこの発言。爆笑!
熊谷やボランティアも含め、参加することに決定!
「女の子も応援に来てね!やっぱり華がなきゃね」
対戦相手は、越谷「りんごの木」、所沢「バクの会」、
東京「東京シューレ」
ファイト!

3. 一足早い「JF熊谷十大ニュース」

- ・かい君、あすちゃん入会
- ・JFFにてビートルズを歌う
- ・角煮・クッキー、見事完売。かい君の魚釣り・ハ
ブの卵大盛況。
- ・水野さん、京都へ
- ・飛ぶ教室In京都、大阪食い倒れ
- ・飛ぶ教室in沖縄、ウッチーと再会。シャコ貝、
拾う。
- ・熊谷3周年記念「高田渡」ライブ
- ・新宿・熊谷合同餅つき大会
「十大ニュースを送って」と頼んだんだけど、
来たのは八つでした...

===== デイリー・フレネ =====
----- VOL/0775----- 2003/12/17

- //////// CONTENTS //////////////////////////////////////
1. ちびくるサンボについてのお便りです
 2. 実験 - 味覚の実験 新宿
 3. ねんどでつくろう! 熊谷
- =====

今日はなんの日
1903 ライト兄弟、複葉機で初飛行に成功
今日の花言葉

さくららん 「同感」

今日は誰の誕生日

夏目雅子(1957)

有森裕子(マラソン 1966)

今日の名言

「青年はけっして安全な株を買ってはならない」

コクトー

1. ちびくろサンボについてのお便りです
 デイリーフレネの読者Tさんからのお便りです。

昨日のデイリーフレネの今日は何の日で、『ちびくろサンボ』絶版が出ていました。わたしも子供の時に、その絵本に親しんでいましたし、また自分の子供にも喜んでもらっていました。それが黒人差別だ、という理由で、各社揃って絶版とは、どういうことだと思いました。どこかの誰かを知らぬ間に傷つけているんだぞ、と言われて、本当にそうだと考える出版社もあったでしょうが、こんなに素敵な絵本を絶版にする訳には行かない、と主張する会社もあって良さそうなものじゃないですか。

差別ということについて、単線な反応しかできないのでしょうか。何年かの後に、有志のグループによって、また出されたというニュースもありましたが、テレビで『ハックルベリーフィン』について、アメリカで作った番組をやりました。その中である黒人の評論家は、恐るべき差別の書で、そんな物の出版を続け、図書館で閲覧させ、学校で勤めるとは、言語道断と言っていました。

たしかに、ハックがトムの叔母さんに、リバーボートの火事で、乗組員が大火傷を負った。でもそれが黒人だったことは不幸中の幸いだった、と言っています。

でもこの本の一番良い所は、逃亡奴隷のジムを、ミシシッピーを下る間に奴隷州を過ぎて、自由州に入ろうとするとき、ハックがジムの元の持ち主に通報すべきかどうか、ひどく迷う所です。

ハックのそれまでの生活の中では、逃亡しようとする奴隷を見つけたら、それは柵の隙き間から逃げた家畜を捕まえて、知らせてあげるのと、同じようにすべきことだったからです。

ハックは長く苦しんだ末に、ジムを誰かの持ち物ではなくて、旅の仲間にするほうを選びました。

『ハックフィン』は、わたしの読んだ本の中でも、かなり上位にランクされるものです。また、アメリカという国のことを考えるのに、この本は、「アメリカらしさ」の最上の部分に当たると思います。

木幡さんは、ちび黒サンボ事件のころには、どんなことを考えましたか？

こんにちは！木幡です。お便りありがとうございます。ちびくろサンボは小さいときに、岩波子どもの本(?)で読んだ記憶があります。トラがお互いの衣装をめぐり、ぐるぐる回ってバターになっちゃうなんて...?なんでだろ?なんでだろ?と不思議に思いました。差別の「さ」の字も思いませんでした。思うに、幼い子どもの目には、差別以前のファンタスティックなと

ころに目が行くのでしょうか。

好きだった絵本は、前にも書きましたが、「ウルスリのですず」や「山の少女フルリーナ」など外国ものです。「ちびくろサンボ」は確か復刊されたと思います(径書房?)。

紀伊国屋書店ブックウェブで調べたところ、『ちびくろサンボ』関係で書店で手に入るのは下記のものだけです。

ちびくろさんぽのおはなし

ヘレン・バンナ-マン / 灘本昌久 / 径書房 1999/05

ちびくろサンボよすこやかによみがえれ

灘本昌久 / 径書房 1999/05

さよならサンボ『ちびくろサンボの物語』とヘレン・バナマン

エリザベス・ヘ- / 湯浅フミエ / 平凡社 1993/01

「ちびくろ・さんぽ」はどこへいったの？

子どもの本の明日を考える会 / 子どもの本の明日を考える会 1990/02

ちびくろサンボとピノキオ差別と表現・教育の自由

杉尾敏明 / 棚橋美代子 / 青木書店 1990/12

『ちびくろサンボ』絶版を考える

径書房 / 径書房 1990/08 出版 266

2. 実験 - 味覚の実験 新宿

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>

今日は体を使った体験実験。

「舌で感じる事ができるのってどんなこと？」

「味。」「形。」「硬さ。」「などなど。」

「あとは？」

「んー...。」出尽くしているようなので、りょうすけの

手にジュースをあてると、

「冷たい！そうだ！冷たいだ！」

そう。温度もだね。

その後、舌をティッシュで拭いてからチョコレートのをせてみる。

「味はどう...？」

「んー、??しない。」

じゃあ、普段はどうして味がするのかなと、さかのぼってみる。

そのあともう一つ。目隠しでジュースを当てるゲーム。用意したのはリンゴ、ぶどう、オレンジ。

まずは鼻をつまんで飲む。

「ん？ぶどう？」

「いいや、リンゴでした。」

次は飲まずに、においだけ。こっちは一発正解。食べられるかどうか確かめる時ににおいをかいでみるよってお話。おまけに、目だけで判断するのは？

口だけで食べているようだけど、いろんな感覚を働かせているんだよね。

3. ねんどでつくろう！ 熊谷

http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm
 今日釜のあるかい君のおうちの協力で、粘土
 でのつくり。「粘土で好きなものを作ろう！」
 「何を作るか、考えておいてね。」と事前に予告し
 ておいた通り、みんなそれぞれに考えてきた様子。
 「俺は、箸置き！」貯金箱作るんだ。」
 「あたしは、十二支の置物」「灰皿！」
 「早く粘土こねたい！」簡単な説明をして、みんな
 作り出す。さてさてどんなものが出るのかな。

大きさ
 「これだけ大きな穴ならどんなお金でも入るぞ！」
 と作った貯金箱に穴を作るユータ君。
 「どんなお金も入るけれど、もってかれちゃうよ。」
 「あ！しまった！いかんいかん。」
 「どれだけ、お金たまるかなあ。」
 出来上がりも、貯金も楽しみだね。

お猪口
 「おれ、お父さんにお猪口作るんだ。」とかい君。
 「けどさあ、京都に行ったときにあげた灰皿全然
 使わないんだよ。また、使ってもらえないかな。」
 「かい君からもらったから、もったいなくて使えな
 いんだよ。」と諭すあすちゃん。親心だよな。
 「使わなきゃ意味ないじゃーん。」とかい君。
 けれど、顔は少し照れていたかな。
 あたしも父親にバレンタインにチョコあげたけ
 れど、父親は食わず、がっかりしたのを思い出
 したよ。結局チョコ食べられなくなっていたんだ
 けど...

味見皿
 ワイワイ、コネコネ。話も弾む。
 「作りながら、何を作ろうか...。」と息づまった。
 「お料理で使えるものもいいな。」
 「うーん。うーん。」
 「あっ、味見用のお皿にしよう！！！」
 「My 味見皿！名前も入れておこう。」
 お料理が楽しくなるね。
 乾かして、素焼きをして...、完成まではまだ
 まだだけど。出来上がりが楽しみだね！

mailto:-----> sinjyuku@jfreinet.com まで。
 =====
 e-mail : sinjyuku@jfreinet.com
 URL : http://www.jfreinet.com
 =====

==== デイリー・フレネ =====
 ----- VOL/0776----- 2003/12/18

- //////// CONTENTS //////////////////////////////////////
 1. 54回目の誕生日に思う...
 2. 授業 - 視覚とバランス感覚 新宿
 3. お散歩の授業 上野動物公園 熊谷

=====
 今日なんの日
 1914 東京駅開業式
 今日の花言葉
 セージ 「家庭の徳」
 今日誰の誕生日

スティーブン・スピルバーグ (映画監督 1949 米)
 ブラッド・ピッド (俳優 米 1963)
 木幡寛 (変なおじさん 1949 北海道北見市に生まれる)

今日の名言
 「いつも一所懸命ではだめ。やる時はやる。抜く時は
 抜く。このスタンスが大切」
 木幡寛
 「木幡さん、抜くほうが多いんじゃない？」(爆笑)と、
 子ども達

- 1. 54回目の誕生日に思う...
 昨年の誕生日前後は、インフルエンザにやられた。
 確か、高熱が出て、伊勢丹の受付で夜間診療をして
 いる医院を紹介してもらい、家に帰ることもあたわ
 ず、ホテルですごしていた。
 例年、この時期は疲れが蓄積され必ずダウンするの
 が年中行事。今年は11月に風邪を引いて1週間ダ
 ウンしたので安心していましたが...、やっぱりダウン...。
 へろへろ状態の木幡です。
 54歳にもなると誕生日が来ても、格別嬉しくもな
 く、これといった感慨もない。かつて、高石友也と
 ナターシャセブンは、こんな風に歌っていた。

 いつの世も人は海へ山へと旅に出かけるけど
 私の好きな谷間の村に 私を待つ人がいる

 きっとどこかに、ぼくを待っている人がいるに違
 いない。例えば、ぼくの母親だ。そもそも誕生日は、
 生まれてきた人を祝うのではなく、生んでくれた人
 に感謝する日だと思う。

木幡寛というたった一つの生命を生み出してくれな
 ければ、その存在すらないのだ。嬉しいも悲しいも、
 腹を立てることも喜びもない無の存在。
 一度、母からこんな話を聞いたことがある。
 「寛、お母さんはね、お前が小さい時、一緒に連れ
 立って歩いていたら、すれ違った男の人にこう言わ
 れたことがあるんだよ。『奥さん、このお子さんは
 家にいつかないね。遠いところに言ってしまう星を
 持っていますよ。自分の好きなように生きていく人
 だね。私は占いをやっている者ですが、ぴんと来ま
 した』その時は、薄気味悪いと思ったけれど、今考
 えると当たっていたねえ...。まあ、あんたは好きな
 ことをやって生きていく性分だから、好きなように
 生きなさい」
 母に感謝していることはたくさんあるが、一番は、
 一度たりとも「勉強しなさい」と言われなかったこ
 とだ。

「自分の人生は自分で責任を持たなければいけない
 のだから、勉強するもしないもあなたの考え次第な
 んだよ」
 そんな意味がこめられていたと思う。
 思うに、本当に好きに生きてきた。ぼくの方には、
 たくさんの重たいものが乗っかっている。それを一
 つ一つ振り返りながら、生きていきたい。
 ぼくの甘えを許してくれたたくさんの人に感謝！
 そして、ぼくもたくさんの人の甘えを引き受け
 ていきたいものだ。
 年老いた母は、北海道で一人暮らしをしているが、
 時々、携帯にメールが入る。

「寛、元気にしているかい？出る杭は打たれるって言うんだよ。まわりの人とうまくやるんだよ」

2. お授業 - 視覚とバランス感覚 新宿

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>

まずはボラ・ふじさんの実験から。

机の上に間を置いて右に一円玉、左に十円玉。

「顔を近づけて左目をつぶって十円玉を見ながら頭を引いていくと...。」

「あっ！消えた！」とみっ君。

視界から一円玉が消えるというもの。

だけど他の子は、

「??」

「どれどれ...。」と、ふじさん。

「??」

なかなか条件付けが難しいみたい。

「じゃあ...。」とぼく。紙の筒を左目に付けて右目の前に手のひら。

「それ、知ってる！」

どうやらテレビでやっていたみたい。

「どうして？」との問いに説明もばっちり。すごい！

次は、バランス感覚。

「ぐるぐる回ると目が回るでしょ？あれってどうしてかな。」

「？」

三半規管のお話しをペットボトルを使いながら。

「なるほど。」と納得。

そして、片足立ち選手権。目を開けた場合と閉じた場合とバランスの取りやすいものを比べてみる。いろんな感覚を働かせて立っていることができるんだよね。最後に利き目をみんなで調べておしまい！

3. お散歩の授業 上野動物公園 熊谷

<http://www.jfreinet.com/report/index2003.htm>

今日のお散歩は上野動物園。

「去年は風邪をひいて行けなかったんだよね。」

ユータ君。

「ひさびさあ。楽しみ！」

「40枚撮りのカメラ買って来た。」わくわく。

かい君は『動物園の動物』というポケット図鑑を電車の中で見て予習もしながら。みんなわくわくの様子。寒さに負けずにレッツゴ！

さむい...

今日はこの冬一番の寒さ。

「動物園じゃなくて、温泉に行きたいよ。」と声を揃える、ユータ君とあすちゃん。

「俺は5枚着て来た。」といつも薄着のかい君も完全に寒さ対策。

見ている動物たちももちろん寒い。ビックリしたのはゴリラ君。麻袋をかぶって、干草の上でゴロン。

人間と同じだね。

爬虫類館

「俺は、爬虫類館へ行くんだ。」

とかい君。お目当ての爬虫類館へ一直線。外の寒さはどこへやら。とても暖かい、爬虫類館。

「これ図鑑で見たわに！すっげー。」大興奮。

「カメレオンだ！」

「きゃー かわいい!!!」とあすちゃん。

夢中で爬虫類館をぐるぐる回る。かい君は4周はしていたかな。

「俺んちにいるグリーンイグアナだ。」と目の前に体調1mぐらいのグリーンイグアナ。

「俺のはまだ細くて小さいの。ここまで育てるのは、たいへんだよなあ。」としみじみ。

シュアンシュアン

テレビで話題になっている、メキシコから来たパンダ「シュアンシュアン」もお目見え。見られる。

パンダを見てみると、動物園のボランティアの人からクイズ。

「パンダのしっぽは黒か白か知っている？」

(さて何色でしょう?)

実際目で見て確認。この他にも、パンダのうんちの匂いをかいだり、すこし勉強にもなりました。

体験！ゴリラの食事！？とパンダのだんご！？

お昼で食堂に入ると、なにやら不思議なメニュー。

「体験！ゴリラの食事」の文字。

どんなものが入っているのか、写真も解説もない。

お店の人に聞くと、

「ゴリラのえさを人間風にアレンジしてあります。」

とのこと。せっかくだからと買ってみた。

わくわくして開けてみると

はっば、ゆで卵、食パン、落花生、煮干、レーズン、ミニトマト、ヨーグルト、バナナ

本当にえさでした。これで680円はなあ...

お次は「パンダのだんご」

ボラユキちゃんが、「パンダが競って取り合うという、とうもろこしの粉で出来ただんごが人間用に売られているらしいのです！」とさっそく買って実食...

けれど、やっぱりパンダが食べるものでした。

逃げる

動物と触れ合える、子ども動物園。やぎ・鶏・羊などなどたくさん。中には七面鳥も。

「捕まえて行って、明日の丸焼きにしよう！」

(飼育員さんの目の前で...)

やぎのえさをあげる体験をする。草を持っていると、どこからともなくやぎが集まってくる。

「わあすごーい。」とユータ君にあすちゃん。

「かい君もやろうよ！」と誘う。飛びついてくるかと思えば、

「俺はダメだ。」とにげるかい君。意外や意外。

怖くて泣きじゃくる女の子もいたからね。

やっば怖いね。

ありがとうゴザイマス

お目当ての動物の写真をとりまくるかい君。

「あー、ゴリラが！」

「ライオンだ！」

周りの人も目に入らないぐらい。小回りを聞かせてに前へ入り込んでいく時も。

「先に見ている人もいるよ。」と声をかける。

写真をとり終え、かい君。

「ありがとうゴザイマス。」と会釈をする。

微笑ましいね。

みんなおつかれさまの帰り道。この冬一番と言って

いた寒さも夕方には雲ひとつない青空。
 (晴れ女りりちゃんが来たからかな)
 電車の中からはとてもきれいな夕陽。
 「わにがすごかったよなあ。」
 「やぎの糞をしているところが印象的。」
 などなどみんなそれぞれに楽しんだ様子。
 かい君と一緒に見た、図鑑の動物が目の前にいる。
 何度も言った上野動物園だけれど、新鮮だった。
 今年最後のお散歩。お疲れ様でした。あと2日だ。
 mailto :-----> sinjyuku@jfreinet.com まで。

=====

e-mail : sinjyuku@jfreinet.com

URL : http://www.jfreinet.com

=====

===== デイリー・フレネ =====

----- VOL/0777----- 2003/12/19

//////// CONTENTS //////////////////////////////////////

- 1. 2003年ジャパンフレネ重大ニュース!
- 2. 和やかな空気の中で...
- 3. 新宿も熊谷も鶏の丸焼き

=====

今日はなんの日
 日本初飛行の日。
 埼玉県所沢市が、その場所。航空公園やプロペ
 (プロペラ) 通りなんてのもある
 1月7日、JFが参加するサッカー大会もここで
 行われる。

今日の花言葉
 スノーフレーク「美」
 今日のは誰の誕生日
 尾崎紅葉(作家 1867)
 今日の名言

「私はこの聖杯と愛する人達に賭けて誓う。人生とは
 成功より失敗の方が多。ならば成功のために安全な道
 を選択するのではなく、失敗した時絶対後悔しない道を選
 ぼうと思う。それは、好きなことをすること...自分が
 何になりたいかを決めること...そしていつか自分の選択
 に納得ができた時、私はこのプレゼントを持ち、キミを
 迎えに行く...」

「イリヤッド」(ビッグコミック連載のマンガより)
 本日で2002年度第2期の終了です。2003年度第3期は
 2004年1月9日(金)から始まります。
 B A S I C合宿のお申し込みはお早めをお願いいたし
 ます

- 1. 2003年ジャパンフレネ重大ニュース!
 TV東京・読売新聞にジャパンフレネが紹介される
 いずれも不登校特集。いずれのメディアにもジャパ
 ンフレネと東京シュールのみが紹介されていた。

沖縄・鳩間小中学校で交流授業!
 毎年「飛ぶ教室」の企画で訪れる鳩間島の小中学校
 で木幡が「カメラ」の授業を! フリースクールと公
 立学校の交流授業は、おそらく、日本初ではないで
 しょうか...
 豊年祭のお手伝いもしました。
 木幡新著、PHPより出版!

『学ぶ力』がグングン育つ学習法」を上梓。木幡
 的には「楽しいだけでいい!」という過激なタイト
 ルにしたかったのだが、生協でも販売するというこ
 とで...

2004年1月にはもう1冊上梓の予定。

大検合格者続々!

周君、正太郎君に引き続き、けんご君、やまちゃん
 も大検に合格! 合格すると、木幡がお食事会をする
 という既定事実になってしまい。木幡、散財...

飛ぶ教室「沖縄」&「京都」、体育祭、フリー
 スクールフェスタ、JFフェスティバル...、行
 事五連発を乗り切る!

後半はきつかった子どももスタッフもへろへろ...

でも、充実感、あったなあ...

2. 和やかな空気の中で...

持ってこなかった

「あ、今日は一人一品持ちよりかあ」と、たかち
 ちゃん。新宿のパーティーは、一人一品持ちよりが
 原則。

「でも去年も忘れたからいいや」

テッシーも「おれも忘れた...」

ドラゴン合格!

「木幡さん、おれ三つ受かった」とドラゴン。日に
 ちを間違え二日間のところを1日しか受験できな
 かったのだが、数学・理科1、生物に合格!

「おれ、英語がなあ」

おそらく、来年の8月の大検には、全部合格するで
 しょう。

尊敬する人

「今日は面接の練習を英語で木幡さんにやってもら
 いました。すごく助かりました。もう面接は恐くな
 いので、自信を持ってやれそうな気がします。感謝
 したいです」と、スケジュール表に書いていたさお
 ちゃん。英語関係の大学に進学希望。

「木幡さん、面接で『尊敬する人は?』って英語で
 聞かれたから、『ミスターコハタ』ってこたえたよ。
 優しいから...。テッシーのことも話したよ」

「へー、嬉しいなあ! 面接官はなんて言っていたの」
 「『Really!!』だって」

ボランティアの日記より きょうこさん

りょうちゃんと丸エツに行って100円の石焼イモを
 買った。知らないおばさんに「かわいい」と言われ
 て、りょうちゃんは「かわいって言われるのが世
 界で一番イヤ!」と、言っていた。そういう年頃な
 んだなあつくづく思った。

たかちゃん、りょうちゃんと公園へ。二人ともよく
 けんかをするけれど、私が抜けて二人だけにすると
 仲直りする。

今年最後のボラの日。あっという間の1年だった。
 すみれちゃん作のJF年賀状を見せてもらった。す
 みれちゃんは、絵を描いたり本を読んだりするのが
 好きらしいから、その才能がぐんぐんのびていくと
 いいなと思う。

王様だって...!

帰り際、何やらもめている。どうやら、トランプの
 片付けをしない子がいるみたい。

やれやれ...、としばらく様子を見てみると、

